

教 育 要 項

—— 履修の手引き ——

2024 年 4 月～2025 年 3 月

第 1 学年～第 6 学年



東京医科歯科大学医学部医学科

医学部医学科

教育理念

疾患の治療と予防及び健康の保持・増進を研究し、その成果を広く医療・福祉に応用する医学の発展を担う指導者を育成する。

教育目標

1. 幅広い教養と豊かな感性を備え、広い視野と高い倫理観をもつ人間性を培う。
2. 自ら問題を提起して解決し、医学のフロンティアを切り開く創造能力を修得する。
3. 世界的規模で働く国際人としての意識を持ち、世界に貢献できる医師・医学研究者を養成する。

求める学生像

1. 医学・医療に深い関心を有する。
2. 協調性とコミュニケーション能力に優れている。
3. 創造性とチャレンジ精神に富んでいる。
4. 高い倫理性を備えている。

カリキュラムポリシー

東京医科歯科大学の教育理念、および医学部医学科の教育理念に基づき「疾患の治療と予防及び健康の保持・増進を研究し、その成果を広く医療・福祉に応用する医学の発展を担う指導者を育成する」を見据え、ディプロマ・ポリシーを実現するためのカリキュラムの策定方針を以下の通り定める。

1. 幅広い教養と豊かな感性を備え、広い視野と高い倫理観をもつ人間性を培う。
専門教育に併走する形で教養教育および医療倫理教育を実施し、時間をかけて幅広い教養と感性を磨くと共に、医学医療に求められる高い倫理観の醸成をはかる。また、歯学科、保健衛生学科、口腔保健学科と共に学ぶ機会を設け、医療における広い視野を獲得する機会を与える。
2. 自ら問題を提起して解決し、医学のフロンティアを切り開く創造能力を修得する。関連基礎医学分野の講義実習を一体的に実施(モジュール化)し、基礎的知識の統合的理解を促す。さらに、モジュールの配置はマクロからミクロへ基礎医学から臨床医学へと順次性にも配慮し、段階的な理解の深化をはかる。

また、臨床医学教育においては、臓器別に講義・演習・実習を集約し、関

連する基礎医学知識の確認、臨床医学の基本的知識を学ぶ講義とその知識の応用演習を通じて、臨床医学に関する基本的知識の深い理解を促す。

以上の教育に関連する医学英語および医学医療統計の講義・演習が行われ、医学・医療情報の批判的吟味能力を養成する。加えて、自由選択研究において研究面での問題提起、解決能力の基礎を固めるとともに、臨床導入実習および臨床実習においても少人数による演習を通じて臨床上の問題発見、解決能力の強化をはかる。

- 3.世界的規模で働く国際人としての意識を持ち、世界に貢献できる医師・医学研究者を養成する。入学当初に国際医療に関する学習機会を設定する他、その後も継続して医学を英語で学ぶ機会を設け、さらに海外の提携大学を中心とした単位互換の短期留学機会を設定し、国際人としての意識を高めるよう配慮する。

ディプロマ・ポリシー

医学部医学科では、全学共通科目の一部、研究実践プログラムおよび地域医療学習プログラムを除き全ての科目が必修科目であり、学年ごとに設定された進級要件（東京医科歯科大学全学共通科目履修規則及び東京医科歯科大学専門科目履修規則）を満たし、卒業までに、所定の単位を修得し、以下の要件を満たしている者に学位を授与する。

1.幅広い教養と豊かな感性

自然科学から人文科学に至る全学共通科目を履修するとともに、医学科専門科目においては生命科学に関する基本的な知識を修得し、実習を通じてその概念への理解を深めることが不可欠となる。さらに、医歯学融合教育科目においては、医歯学の隣接領域の学習を通じて多職種が連携する医学医療への認識を深めることが必要となる。

2.問題提起、解決能力

全教育課程を通じてその涵養を目指す、殊に自由選択学習（プロジェクトセメスター）は、自ら設定した課題を探究し成果を報告する貴重な機会であり、その履修は必須となる。

3.国際性

全学共通科目と医歯学基盤教育を通じて医学を英語で学ぶ基盤を確固たるものとするとともに、海外実習にも積極的に参加することが求められる。

上記の要件を満たし、さらに臨床実習の修了と卒業試験の合格が必須となる。卒業生が修得した学術的・臨床的知識を基盤として、研究意欲に富み、すぐれた人格と洞察力を持つ医療人となり、国内・世界の人々に貢献していくことを本学は強く望んでいる。

2024(令和6)年度医学部医学科授業計画

第1学年			第2学年			第3学年			第4学年			第5学年			第6学年					
区 分		期 間	区 分		期 間	区 分		期 間	区 分		期 間	区 分		期 間	区 分		期 間			
前 期 授 業	16W	2024(令和6)年 4.15(月)～8.2(金)	前 期 授 業	16W	2024(令和6)年 4.8(月)～7.26(金)	前 期 授 業	17W	2024(令和6)年 4.1(月)～7.26(金)	前 期 授 業	17W	2024(令和6)年 4.1(月)～8.2(金)	臨 床 実 習 総 論	1W	2024(令和6)年 4.1(月)～4.5(金)	臨 床 実 習	3W	2024(令和6)年 4.8(月)～4.26(金)			
夏 季 休 業		8.5(月)～8.30(金)	夏 季 休 業		7.29(月)～8.23(金)	夏 季 休 業		7.29(月)～8.23(金)				臨 床 実 習	2W	4.8(月)～4.26(金)	臨 時 休 業		4.29(月)～5.6(月)	臨 床 実 習	7W	5.7(火)～6.21(金)
前 期 授 業	4W	9.2(月)～9.27(金)	前 期 授 業	4W	8.26(月)～9.20(金)	前 期 授 業	4W	8.26(月)～9.20(金)				臨 時 休 業		4.29(月)～5.6(月)						
後 期 授 業	12W	9.30(月)～12.20(金)	後 期 授 業	14W	9.24(火)～12.27(金)	後 期 授 業	14W	9.24(火)～12.27(金)	*夏季休業		8.5(月)～8.16(金) *学生により異なる	臨 床 実 習	33W	5.7(火)～12.20(金)	包 括 医 療	2W	6.24(月)～7.5(金)			
									後 期 授 業	10W	8.19(月)～10.25(金)				臨 床 実 習	12W	7.8(月)～9.27(金)			
									PCC	8W	11.5(火)～12.27(金)									
									冬 季 休 業		12.30(月)～2025.1.3(金)							卒 業 試 験		10.7(月)～10.25(金)
冬 季 休 業		12.23(月)～2025.1.3(金)	冬 季 休 業		12.30(月)～2025.1.6(月)	冬 季 休 業		12.30(月)～2025.1.3(金)	PCC	3W	2025(令和7)年 1.6(月)～1.24(金)				Post-CC OSCE		10.26(土)			
後 期 授 業	8W	2025(令和7)年 1.6(月)～2.28(金)	後 期 授 業	7W	2025(令和7)年 1.7(火)～2.21(金)	後 期 授 業	6W	2025(令和7)年 1.6(月)～2.14(金)	冬 季 休 業		12.23(月)～2025.1.3(金)	臨 時 休 業		10.28(月)～ 11.4(月)						
									臨 時 休 業		1.27(月)～1.31(金)	臨 床 実 習	12W	2025(令和7)年 1.6(月)～3.28(金)	卒 試 再 試 験		11.5(火)～11.22(金)			
									CBT		2.3 (月) ・ 4 (火) (予 定)				臨 時 休 業		11.25(月)～12.20(金)			
									Pre- CC OSCE		2.15(土)・16(日)(予定)				冬 季 休 業		12.23(月)～2025.1.3(金)			
									CBT・ Pre- CCOS CE 再試験	2W	2.24(月)～3.9(日)				臨 時 休 業		2025(令和7)年 1.6(月)～3.24(月)			
臨 時 休 業		2025.3.3(月)～	臨 時 休 業		3月中旬～	臨 時 休 業		3月中旬～	臨 時 休 業		3月中旬～	卒業式		3.25(火) (未定)						

主な行事
(2024年度)

入学式
M2・3・4合同オリエンテーション
M4プロジェクトセメスター開始
健康診断
実験動物慰霊式
M4臨床実習前研修プログラム

2024.4.8(月)
2024.4.1(月)
2024.5.27(月)
2024.5.22(水)～29(水)
2024.9.25(水):予定
2024.11.1(金):予定

解剖体追悼式
プロジェクトセメスター発表会
ご遺骨返還式

2024.10.17(木)
2024.10.25(金)
2025.2.21(金):予定

2024年度（令和6） 授業時間割 第1学年

		同期	非同期	登校																								
日付		8:50～10:20	10:45～12:15	13:30～15:00	15:25～16:55	17:15～18:45	日付		8:50～10:20	10:45～12:15	13:30～15:00	15:25～16:55	17:15～18:45	日付		8:50～10:20	10:45～12:15	13:30～15:00	15:25～16:55	17:15～18:45								
4/1	月						6/17	月	教養部講義						9/30	月	自習・補講	自習・補講	自習・補講	自習・補講								
4/2	火						6/18	火							10/1	火	医学導入 3					12/17	火	医学導入 14				
4/3	水						6/19	水							10/2	水	英語教養基礎セミナー		CS/SC養成教育			12/18	水	英語教養基礎セミナー		CS/SC養成教育		
4/4	木						6/20	木							10/3	木	教養科目					12/19	木	教養科目				
4/5	金						6/21	金							10/4	金	細胞生物学 1	匠講話2	医学導入	自習・補講		12/20	金	自習・補講	人体構造総論16	人体構造総論17	自習・補講	
														冬季休業：12月23日（月）～2025年（令和7年）1月3日（金）														
4/8	月	入学式					6/24	月	教養部講義						10/7	月	細胞生物学 2	匠講話3	自習・補講	自習・補講		12/23	月	冬季休業				
4/9	火	新入生健康診断、抗体検査 ※湯島地区					6/25	火							10/8	火	医学導入 4					12/24	火					
4/10	水	情報システム説明会（午前）、医学科オリエンテーション（午後）					6/26	水							10/9	水	英語教養基礎セミナー		CS/SC養成教育			12/25	水					
4/11	木	教養部オリエンテーション					6/27	木							10/10	木	教養科目					12/26	木					
4/12	金	教養部講義					6/28	金							10/11	金	細胞生物学 3	匠講話4	自習・補講	自習・補講		12/27	金					
4/15	月	教養部講義					7/1	月	教養部講義						10/14	月	スポーツの日					1/6	月	人体構造総論18	人体構造総論19	自習・補講	自習・補講	
4/16	火	多職種連携Ⅰ					7/2	火							10/15	火	医学導入5					1/7	火	医学導入 15				
4/17	水	教養部講義					7/3	水							10/16	水	英語教養基礎セミナー		CS/SC養成教育			1/8	水	英語教養基礎セミナー		CS/SC養成教育		
4/18	木						7/4	木							10/17	木	教養科目					1/9	木	教養科目				
4/19	金						7/5	金							10/18	金	細胞生物学 4	匠講話5	自習・補講	自習・補講		1/10	金	人体構造総論20	人体構造総論21	自習・補講	自習・補講	
4/22	月	教養部講義					7/8	月	教養部講義					10/21	月	(仮) 臨時休業					1/13	月	成人の日					
4/23	火						7/9	火						10/22	火	医学導入6					1/14	火	医学導入 16					
4/24	水						7/10	水						10/23	水	英語教養基礎セミナー		CS/SC養成教育			1/15	水	英語教養基礎セミナー		CS/SC養成教育			
4/25	木						7/11	木						10/24	木	教養科目					1/16	木	教養科目					
4/26	金						7/12	金						10/25	金	自習・補講	匠講話6	細胞生物学5	自習・補講		1/17	金	人体構造総論22	人体構造総論23	人体構造総論24	自習・補講		
4/29	月	昭和の日					7/15	月	海の日					10/28	月	細胞生物学6	匠講話7	自習・補講	自習・補講		1/20	月	自習・補講	自習・補講	自習・補講	自習・補講		
4/30	火	教養部講義					7/16	火	教養部講義					10/29	火	医学導入7					1/21	火	医学導入 17					
5/1	水						7/17	水						10/30	水	英語教養基礎セミナー		CS/SC養成教育			1/22	水	英語教養基礎セミナー		CS/SC養成教育			
5/2	木						7/18	木						10/31	木	教養科目					1/23	木	教養科目					
5/3	金	憲法記念日					7/19	金						11/1	金	細胞生物学7	匠講話8	自習・補講	自習・補講		1/24	金	自習・補講	自習・補講	自習・補講	自習・補講		
5/6	月	振替休日					7/22	月	教養部講義					11/4	月	振替休日					1/27	月	自習・補講	自習・補講	自習・補講	細胞生物学		
5/7	火	教養部講義					7/23	火						11/5	火	医学導入 8					1/28	火	自習・補講	自習・補講	自習・補講	自習・補講		
5/8	水						7/24	水						11/6	水	英語教養基礎セミナー		CS/SC養成教育			1/29	水	自習・補講	自習・補講	自習・補講	自習・補講		
5/9	木						7/25	木						11/7	木	教養科目					1/30	木	自習・補講	自習・補講	自習・補講	自習・補講		
5/10	金						7/26	金						11/8	金	細胞生物学8	医学導入	自習・補講	自習・補講		1/31	金	自習・補講	自習・補講	自習・補講	人体構造総論		
5/13	月	教養部講義					8/26	月	夏季休業					11/11	月	細胞生物学9	匠講話9	自習・補講	自習・補講		2/3	月	自習・補講	自習・補講	自習・補講	自習・補講		
5/14	火						8/27	火						11/12	火	匠講話10	医学導入 9				2/4	火	自習・補講	自習・補講	自習・補講	自習・補講		
5/15	水						8/28	水						11/13	水	英語教養基礎セミナー		CS/SC養成教育			2/5	水	自習・補講	自習・補講	自習・補講	自習・補講		
5/16	木						8/29	木						11/14	木	教養科目					2/6	木	自習・補講	自習・補講	自習・補講	自習・補講		
5/17	金						8/30	金						11/15	金	細胞生物学10	匠講話11	自習・補講	自習・補講		2/7	金	自習・補講	自習・補講	自習・補講	自習・補講		
5/20	月	教養部講義					9/2	月	教養部講義					11/18	月	細胞生物学11	匠講話12	自習・補講	自習・補講		2/10	月	再試験期間					
5/21	火						9/3	火						11/19	火	医学導入10					2/11	火	建国記念日					
5/22	水						9/4	水						11/20	水	英語教養基礎セミナー		CS/SC養成教育			2/12	水	再試験期間					
5/23	木						9/5	木						11/21	木	教養科目					2/13	木						
5/24	金						9/6	金						11/22	金	細胞生物学12	匠講話13	人体構造総論1	自習・補講		2/14	金						
5/27	月	教養部講義					9/9	月	教養部講義					11/25	月	人体構造総論2	匠講話14	人体構造総論3	自習・補講		2/17	月	自習・補講	自習・補講	自習・補講	自習・補講		
5/28	火	教養部講義					9/10	火	教養部講義				11/26	火	医学導入 11	自習・補講	医学導入 11			2/18	火	自習・補講	自習・補講	自習・補講	自習・補講			
5/29	水						9/11	水					11/27	水	英語教養基礎セミナー		CS/SC養成教育			2/19	水	自習・補講	自習・補講	自習・補講	自習・補講			
5/30	木						9/12	木					11/28	木	教養科目					2/20	木	自習・補講	自習・補講	自習・補講	自習・補講			
5/31	金						9/13	金					11/29	金	人体構造総論4	医学導入	人体構造総論5	自習・補講		2/21	金	自習・補講	自習・補講	自習・補講	自習・補講			
6/3	月	教養部講義					9/16	月	敬老の日					12/2	月	人体構造総論6	匠講話15	自習・補講	自習・補講		2/24	月	振替休日					
6/4	火						9/17	火	医学導入 1					12/3	火	医学導入 12					2/25	火	自習・補講	自習・補講	自習・補講	自習・補講		
6/5	水						9/18	水	英語教養基礎セミナー		CS/SC養成教育			12/4	水	英語教養基礎セミナー		CS/SC養成教育			2/26	水	自習・補講	自習・補講	自習・補講	自習・補講		
6/6	木						9/19	木	教養科目					12/5	木	教養科目					2/27	木	自習・補講	自習・補講	自習・補講	自習・補講		
6/7	金						9/20	金	自習・補講	自習・補講	自習・補講	自習・補講		12/6	金	人体構造総論7	人体構造総論8	人体構造総論9	自習・補講		2/28	金	自習・補講	自習・補講	自習・補講	自習・補講		
6/10	月	教養部講義					9/23	月	秋分の日					12/9	月	人体構造総論10	人体構造総論11	自習・補講	自習・補講		3/3	月	春季休業					
6/11	火						9/24	火	医学導入2	匠講話1	医学導入		12/10	火	医学導入 13					3/4	火							
6/12	水						9/25	水	英語教養基礎セミナー		CS/SC養成教育			12/11	水	英語教養基礎セミナー		CS/SC養成教育			3/5	水						
6/13	木						9/26	木	教養科目					12/12	木	教養科目					3/6	木						
6/14	金						9/27	金	自習・補講	自習・補講	自習・補講	自習・補講		12/13	金	人体構造総論12	人体構造総論13	自習・補講	自習・補講		3/7	金						

2024（令和6）年度 授業時間割 第2学年

日付		8:50～10:20	10:45～12:15	13:30～15:00	15:25～16:55	17:15～18:45
4/1	月	合同リレーション	合同リレーション	(編)細胞生物学1	(編)細胞生物学2	(編)細胞生物学3
4/2	火	(編)人体構造総論1	(編)人体構造総論2	(編)細胞生物学4	(編)細胞生物学5	(編)細胞生物学6
4/3	水	(編)人体構造総論3	(編)人体構造総論4	CS/SC養成教育（4限に教養セミナーI）1（※1）	(編)細胞生物学9	
4/4	木	(編)人体構造総論5	(編)人体構造総論6	(編)細胞生物学10	(編)細胞生物学11	(編)細胞生物学12
4/5	金	(編)人体構造総論7	(編)人体構造総論8	(編)人体構造総論9	(編)人体構造総論10	(編)人体構造総論11

(※1)編入生は、(編)細胞生物学7 (編)細胞生物学8

4/8	月	入学式	(編)人体構造総論12	(編)人体構造総論13	(編)細胞生物学	
4/9	火	組織学 1	組織学 2	(編)人体構造総論14	(編)人体構造総論15	(編)人体構造総論16
4/10	水	生理学 1	生理学 2	CS/SC養成教育（4限に教養セミナーI）2（※2）	(編)人体構造総論19	
4/11	木	自習	人体解剖学 1	人体解剖学 2	(編)人体構造総論20	
4/12	金	人体解剖学 3	人体解剖学実習1	人体解剖学実習2	人体解剖学実習3	(編)人体構造総論21

(※2)編入生は、(編)人体構造総論17 (編)人体構造総論18

4/15	月	組織学 3	組織学実習1	組織学実習2	組織学実習3	(編)人体構造総論22
4/16	火		自習			
4/17	水	生理学 3	生理学 4	CS/SC養成教育（4限に教養セミナーI）3	(編)人体構造総論23	
4/18	木	自習	人体解剖学 4		(編)人体構造総論24	
4/19	金	解剖実習説明会	人体解剖学実習4	人体解剖学実習5	人体解剖学実習6	

4/22	月	組織学 4	組織学実習4	組織学実習5	組織学実習6	(編)人体構造総論
4/23	火	人体解剖学5	人体解剖学実習7	人体解剖学実習8	人体解剖学実習9	
4/24	水	生理学 5	生理学 6	CS/SC養成教育（4限に教養セミナーI）4		
4/25	木	2限に医療とAI・ビッグデータ応用1,12	人体解剖学 6	組織学 5		
4/26	金	人体解剖学 7	人体解剖学実習10	人体解剖学実習11	人体解剖学実習12	

4/29	月	昭和の日				
4/30	火	人体解剖学 8	人体解剖学実習13	人体解剖学実習14	人体解剖学実習15	
5/1	水	生理学 7	生理学 8	CS/SC養成教育（4限に教養セミナーI）5		
5/2	木	人体解剖学 9	人体解剖学実習16	人体解剖学実習17	人体解剖学実習18	
5/3	金	憲法記念日				

5/6	月	振替休日				
5/7	火	人体解剖学 10	人体解剖学実習19	人体解剖学実習20	人体解剖学実習21	
5/8	水	生理学 9	生理学 10	CS/SC養成教育（4限に教養セミナーI）6		
5/9	木	2限に医療とAI・ビッグデータ応用3,4	人体解剖学 11			
5/10	金	人体解剖学 12	人体解剖学実習22	人体解剖学実習23	人体解剖学実習24	

5/13	月	組織学 6	組織学実習7	組織学実習8	組織学実習9	
5/14	火	人体解剖学13	人体解剖学実習25	人体解剖学実習26	人体解剖学実習27	
5/15	水	生理学 11	生理学 12	CS/SC養成教育（4限に教養セミナーI）7		
5/16	木	2限に医療とAI・ビッグデータ応用5,6	人体解剖学 14	組織学 7		
5/17	金	人体解剖学 15	人体解剖学実習28	人体解剖学実習29	人体解剖学実習30	

5/20	月	組織学 8	組織学実習10	組織学実習11	組織学実習12	
5/21	火	人体解剖学 16	人体解剖学実習31	人体解剖学実習32	人体解剖学実習33	
5/22	水	生理学 13	生理学 14	CS/SC養成教育（4限に教養セミナーI）8		
5/23	木	自習	人体解剖学 17			
5/24	金	人体解剖学 18	人体解剖学実習34	人体解剖学実習35	人体解剖学実習36	

5/27	月	組織学 9	組織学実習13	組織学実習14	組織学実習15	
5/28	火	人体解剖学 19	人体解剖学実習37	人体解剖学実習38	人体解剖学実習39	
5/29	水	生理学 15	生理学 16	CS/SC養成教育（4限に教養セミナーI）9		
5/30	木	2限に医療とAI・ビッグデータ応用7,8	人体解剖学 20	組織学 10		
5/31	金	人体解剖学 21	人体解剖学実習40	人体解剖学実習41	人体解剖学実習42	

6/3	月	組織学 11	組織学実習16	組織学実習17	組織学実習18	
6/4	火	人体解剖学22	人体解剖学実習43	人体解剖学実習44	人体解剖学実習45	
6/5	水	生理学 17	生理学 18	CS/SC養成教育（4限に教養セミナーI）10		
6/6	木	生理学 19	生理学 20	人体解剖学 23	人体解剖学 24	
6/7	金	人体解剖学 25	人体解剖学実習46	人体解剖学実習47	人体解剖学実習48	

6/10	月	組織学 12	組織学実習19	組織学実習20	組織学実習21	
6/11	火	人体解剖学 26	人体解剖学実習49	人体解剖学実習50	人体解剖学実習51	
6/12	水	自習	CS/SC養成教育（4限に教養セミナーI）11			
6/13	木	自習	人体解剖学 27			
6/14	金	人体解剖学 28	人体解剖学実習52	人体解剖学実習53	人体解剖学実習54	

日付		8:50～10:20	10:45～12:15	13:30～15:00	15:25～16:55	17:15～18:45
6/17	月	組織学 13	組織学実習22	組織学実習23	組織学実習24	
6/18	火	自習	人体解剖学実習55	人体解剖学実習56		
6/19	水	生理学 21	生理学 22	CS/SC養成教育（4限に教養セミナーI）12		
6/20	木	2限に医療とAI・ビッグデータ応用9,10	組織学 14	組織学 15		
6/21	金	人体解剖学 29	生理学 23	納納式		

6/24	月	組織学実習	組織学実習			
6/25	火					
6/26	水		組織学	CS/SC養成教育（4限に教養セミナーI）13		
6/27	木	自習				
6/28	金		生理学			

7/1	月	人体解剖学				
7/2	火	神経解剖学 1	神経解剖学 2	薬理学 1		
7/3	水	薬理学 2	薬理学 3	CS/SC養成教育（4限に教養セミナーI）14		
7/4	木	2限に医療とAI・ビッグデータ応用11,12	分子遺伝学 1	分子遺伝学 2		
7/5	金	生化学 1	生化学 2	生化学 3		

7/8	月			分子遺伝学 3	分子遺伝学 4	
7/9	火	薬理学 4	薬理学 5	生化学 4		
7/10	水	薬理学 6	薬理学 7	CS/SC養成教育（4限に教養セミナーI）15		
7/11	木	2限に医療とAI・ビッグデータ応用13,14	神経解剖学実習 1			
7/12	金	薬理学 8	薬理学 9	生化学 5	生化学 6	

7/15	月	海の日				
7/16	火	神経解剖学 3	神経解剖学 4	薬理学 10		
7/17	水	生化学 7	生化学 8	CS/SC養成教育（4限に教養セミナーI）16		
7/18	木	2限に医療とAI・ビッグデータ応用15,16	分子遺伝学 5	分子遺伝学 6		
7/19	金	薬理学 11	薬理学 12	薬理学 13		

7/22	月			分子遺伝学 7	分子遺伝学 8	
7/23	火	生化学 9	生化学 10	生化学 11		
7/24	水	生化学 12	生化学 13	CS/SC養成教育予備日		
7/25	木	神経解剖学実習 2				
7/26	金	生化学 14	生化学 15	薬理学 14	薬理学 15	

夏季休業：7月29日（月）～8月23日（金）

8/26	月		生化学			
8/27	火					
8/28	水		薬理学			
8/29	木					
8/30	金		分子遺伝学			

9/2	月	神経解剖学 5	神経解剖学 6			
9/3	火	神経科学 1	神経科学 2	神経科学 3	神経科学 4	
9/4	水	神経科学 5	神経科学 6			
9/5	木			神経科学 7	神経科学 8	
9/6	金			神経解剖学実習 3		

9/9	月	神経解剖学 7	神経解剖学 8	神経解剖学 9		
9/10	火	神経科学 9	神経科学 10	神経科学 11	神経科学 12	
9/11	水	神経科学 13	神経科学 14			
9/12	木	神経科学 15	神経科学 16	神経科学 17	神経科学 18	
9/13	金			神経解剖学実習 4		

9/16	月	敬老の日				
9/17	火	神経解剖学 10	神経解剖学 11			
9/18	水	神経科学 19	神経科学 20	CS/SC養成教育（4限に教養セミナーI）17		
9/19	木	神経解剖学実習 5				
9/20	金					

9/23	月	秋分の日				
9/24	火			実験動物慰霊式（未定）		
9/25	水	神経科学 21	神経科学 22	CS/SC養成教育（4限に教養セミナーI）18		
9/26	木	神経解剖学 12	神経解剖学 13	神経科学 23	神経科学 24	
9/27	金	神経解剖学実習 6				

日付		8:50～10:20	10:45～12:15	13:30～15:00	15:25～16:55	17:15～18:45
9/30	月					
10/1	火	神経科学 25	神経科学 26	神経科学 27		
10/2	水	神経解剖学 14	神経解剖学 15	CS/SC養成教育（4限に教養セミナーI）19		
10/3	木					
10/4	金			神経解剖学実習 7		

10/7	月	神経解剖学 16	神経解剖学 17			
10/8	火					
10/9	水	神経解剖学 18	神経解剖学 19	CS/SC養成教育（4限に教養セミナーI）20		
10/10	木					
10/11	金			神経解剖学実習 8		

10/14	月	スポーツの日				
10/15	火		神経解剖学			
10/16	水			CS/SC養成教育（4限に教養セミナーI）21		
10/17	木	解剖体追悼式(予定)				
10/18	金					

(仮) お茶の水祭：10月19日（土）～20日（日）

10/21	月	(仮) 臨時休業				
10/22	火		神経科学			
10/23	水	感染・基礎 1	感染・基礎 2	CS/SC養成教育（4限に教養セミナーI）22		
10/24	木					
10/25	金	免疫学 1	免疫学 2	免疫学 3	免疫学 4	

10/28	月	免疫学 5	免疫学 6	感染・基礎 3	感染・基礎 4	
10/29	火	免疫学 7	免疫学 8	免疫学 9	免疫学 10	
10/30	水	免疫学 11	免疫学 12	CS/SC養成教育（4限に教養セミナーI）23		
10/31	木	感染・基礎 5	感染・基礎 6	感染・基礎 7	感染・基礎 8	
11/1	金	免疫学 13	免疫学 14	感染・基礎 9	感染・基礎 10	

11/4	月	振替休日				
11/5	火	免疫学 15	免疫学 16			
11/6	水	免疫学 17	免疫学 18	CS/SC養成教育（4限に教養セミナーI）24		
11/7	木			免疫学 19		
11/8	金	医動物学 1	医動物学 2	感染・基礎 11		

11/11	月	医動物学 3	医動物学 4			
11/12	火	医動物学 5	医動物学 6	医動物学 7		
11/13	水	感染・基礎 12	感染・基礎 13	CS/SC養成教育（4限に教養セミナーI）25		
11/14	木			感染・基礎 14	感染・基礎 15	
11/15	金	医動物学 8	医動物学 9	医動物学実習 1	医動物学実習 2	

11/18	月	医動物学実習 3	医動物学実習 4	医動物学実習 5	医動物学実習 6	
11/19	火	医動物学実習 7	医動物学実習 8	医動物学実習 9	医動物学実習 10	
11/20	水	医動物学実習 11	医動物学実習 12	CS/SC養成教育（4限に教養セミナーI）26		
11/21	木		免疫学			
11/22	金			医動物学実習 試		

11/25	月					
11/26	火					
11/27	水			CS/SC養成教育（4限に教養セミナーI）27		
11/28	木		感染・基礎			
11/29	金		医動物学			

12/2	月	基礎医学実習	基礎医学実習	基礎医学実習	基礎医学実習	
12/3	火	基礎医学実習	基礎医学実習	基礎医学実習	基礎医学実習	
12/4	水	基礎医学実習	基礎医学実習	CS/SC養成教育（4限に教養セミナーI、5限にアントレプレナー）28		
12/5	木	基礎医学実習	基礎医学実習	基礎医学実習	基礎医学実習	
12/6	金	基礎医学実習	基礎医学実習	基礎医学実習	基礎医学実習	

12/9	月	基礎医学実習	基礎医学実習	基礎医学実習	基礎医学実習	
12/10	火	基礎医学実習	基礎医学実習	基礎医学実習	基礎医学実習	
12/11	水	基礎医学実習	基礎医学実習	CS/SC養成教育（4限に教養セミナーI、5限にアントレプレナー）29		
12/12	木	基礎医学実習	基礎医学実習	基礎医学実習	基礎医学実習	
12/13	金	基礎医学実習	基礎医学実習	基礎医学実習	基礎医学実習	

日付		8:50～10:20	10:45～12:15	13:30～15:00	15:25～16:55	17:15～18:45
12/16	月	基礎医学実習	基礎医学実習	基礎医学実習	基礎医学実習	
12/17	火	基礎医学実習	基礎医学実習	基礎医学実習	基礎医学実習	
12/18	水	基礎医学実習	基礎医学実習	CS/SC養成教育（4限に教養セミナーI、5限にアントレプレナー）30		
12/19	木	基礎医学実習	基礎医学実習	基礎医学実習	基礎医学実習	
12/20	金	基礎医学実習	基礎医学実習	基礎医学実習	基礎医学実習	

冬季休業：12月30日（月）～2025年（令和7年）1月6日（月）

12/23	月					
12/24	火					
12/25	水					
12/26	木					
12/27	金					

1/6	月	冬季休業				
1/7	火	病理学総論1	自習	病理学総論2		
1/8	水	病理学総論3	病理学総論4	CS/SC養成教育（4限に教養セミナー、5限にアントレプレナー）31		
1/9	木	病理学総論5	病理学総論6	病理学総論7		
1/10	金	病理学総論8	病理学総論9	病理学総論10		

2024年度（令和6） 授業時間割 第3学年

日付		9:00～10:20	10:30～11:50	12:50～14:10	14:20～15:40	15:50～17:10
4/1	月	合同リエンテーション	合同リエンテーション	行動科学 1	自習・補講	自習・補講
4/2	火	公衆衛生学 1	公衆衛生学 2	行動科学 2	行動科学 3	東洋医学 1
4/3	水	法医学 1	法医学 2	衛生学 1	衛生学 2	自習・補講
4/4	木	教養1／歯医学基盤教育		法医学 3	法医学 4	法医学 5
4/5	金	衛生学 3	衛生学 4	公衆衛生学 3	公衆衛生学 4	

4/8	月	法医学 6	法医学 7	行動科学 4	行動科学 5	自習・補講
4/9	火	法医学 8	法医学 9	衛生学 5	衛生学 6	東洋医学 2
4/10	水	法医学 10	法医学 11	行動科学 6	行動科学 7	東洋医学 3
4/11	木	教養2／歯医学基盤教育		衛生学 7	衛生学 8	自習・補講
4/12	金	行動科学 8	行動科学 9	公衆衛生学 5	公衆衛生学 6	

4/15	月	法医学 12	法医学 13	法医学 14	法医学 15	法医学 16
4/16	火	自習・補講	衛生学実習 1	衛生学実習 2	衛生学実習 3	衛生学実習 4
4/17	水	自習・補講	衛生学実習 5	衛生学実習 6	衛生学実習 7	衛生学実習 8
4/18	木	教養3／歯医学基盤教育		衛生学実習 9	衛生学実習 10	衛生学実習 11
4/19	金	自習・補講	衛生学実習 12	衛生学実習 13	衛生学実習 14	衛生学実習 15

4/22	月	法医学実習 1	法医学実習 2	法医学実習 3	法医学実習 4	法医学実習 5
4/23	火	自習・補講	法医学実習 6	法医学実習 7	法医学実習 8	法医学実習 9
4/24	水	行動科学 10	公衆衛生学 7	公衆衛生学 8	公衆衛生学 9	東洋医学 4
4/25	木	教養4／歯医学基盤教育		衛生学 9	衛生学 10	衛生学 11
4/26	金	衛生学 12	行動科学 11	公衆衛生学 10	公衆衛生学 11	公衆衛生学 12

4/29	月	昭和の日				
4/30	火	公衆衛生学 13	公衆衛生学 14	公衆衛生学 15	公衆衛生学 16	行動科学 12
5/1	水	自習・補講	自習・補講	東洋医学 5	東洋医学 6	東洋医学7
5/2	木	教養5／歯医学基盤教育		腫瘍学ブロック		
5/3	金	憲法記念日				

5/6	月	振替休日				
5/7	火	腫瘍学ブロック				
5/8	水					
5/9	木	教養6／歯医学基盤教育				
5/10	金					

5/13	月	自習・補講	法医学	自習・補講	行動科学	
5/14	火	自習・補講	自習・補講	自習・補講	自習・補講	
5/15	水	自習・補講	衛生学	自習・補講	公衆衛生学	
5/16	木	教養7／歯医学基盤教育		自習・補講	自習・補講	
5/17	金	自習・補講	東洋医学	自習・補講	腫瘍学	

5/20	月	臨床医学導入ブロック				
5/21	火					
5/22	水					
5/23	木	教養8／歯医学基盤教育				
5/24	金	チーム医療導入（仮）				

5/27	月	臨床医学導入ブロック				
5/28	火	循環器ブロック（1週目）				
5/29	水					
5/30	木	教養9／歯医学基盤教育				
5/31	金					

6/3	月	循環器ブロック（2週目）				
6/4	火					
6/5	水					
6/6	木	歯医学基盤教育				
6/7	金					

6/10	月	循環器ブロック（3週目）				
6/11	火					
6/12	水					
6/13	木	教養10／歯医学基盤教育				
6/14	金					

日付		9:00～10:20	10:30～11:50	12:50～14:10	14:20～15:40	15:50～17:10
6/17	月	消化器ブロック（1週目）				
6/18	火					
6/19	水					
6/20	木	教養11／歯医学基盤教育				
6/21	金					

6/24	月	消化器ブロック（2週目）				
6/25	火					
6/26	水					
6/27	木	教養12／歯医学基盤教育				
6/28	金					

7/1	月	消化器ブロック（3週目）				
7/2	火					
7/3	水					
7/4	木	教養13／歯医学基盤教育				
7/5	金					

7/8	月	呼吸器ブロック（1週目）				
7/9	火					
7/10	水					
7/11	木	教養14／歯医学基盤教育				
7/12	金					
7/13	土					

7/15	月	海の日				
7/16	火	呼吸器ブロック（2週目）				
7/17	水					
7/18	木	教養15／歯医学基盤教育				
7/19	金					

7/22	月	呼吸器ブロック（3週目）				
7/23	火					
7/24	水					
7/25	木	歯医学基盤教育/教養教育（予備）				
7/26	金					
7/27	土					

夏季休業：7月29日（月）～8月21日（水）※8月22日（木）教養教育予備日

8/26	月	感染・臨床ブロック				
8/27	火					
8/28	水					
8/29	木	歯医学基盤教育				
8/30	金					

9/2	月	神経科学（臨床）ブロック（1週目）				
9/3	火					
9/4	水					
9/5	木	歯医学基盤教育				
9/6	金					
9/7	土					

9/9	月	神経科学（臨床）ブロック（2週目）				
9/10	火					
9/11	水					
9/12	木	教養1／歯医学基盤教育				
9/13	金					

9/16	月	敬老の日				
9/17	火	神経科学（臨床）ブロック（3週目）				
9/18	水					
9/19	木	教養2／歯医学基盤教育				
9/20	金					

9/23	月	秋分の日				
9/24	火	神経科学（臨床）ブロック（4週目）				
9/25	水					
9/26	木	教養3／歯医学基盤教育				
9/27	金					

日付		9:00～10:20	10:30～11:50	12:50～14:10	14:20～15:40	15:50～17:10
9/30	月	臨時休業				
10/1	火	体液制御・泌尿器ブロック（1週目）				
10/2	水					
10/3	木	歯医学基盤教育				
10/4	金					

10/7	月	体液制御・泌尿器ブロック（2週目）				
10/8	火					
10/9	水					
10/10	木	教養4／歯医学基盤教育				
10/11	金					

10/14	月	スポーツの日				
10/15	火	体液制御・泌尿器ブロック（3週目）				
10/16	水					
10/17	木	教養5／歯医学基盤教育				
10/18	金					

（仮）お茶の水祭：10月19日（土）～20日（日）

10/21	月	（仮）臨時休業				
10/22	火	一般外科ブロック（1週目）				
10/23	水					
10/24	木	教養6／歯医学基盤教育				
10/25	金					
10/26	土					

10/28	月	一般外科ブロック（2週目）				
10/29	火					
10/30	水	血液・腫瘍ブロック（1週目）				
10/31	木	教養7／歯医学基盤教				
11/1	金					

11/4	月	振替休日				
11/5	火	血液・腫瘍ブロック（2週目）				
11/6	水					
11/7	木	歯医学基盤教育				
11/8	金					
11/9	土					

11/11	月	血液・腫瘍ブロック（予備）				
11/12	火					
11/13	水					
11/14	木	教養8／歯医学基盤教育				
11/15	金					
11/16	土					

11/18	月	皮膚・アレルギー・膠原病ブロック（1週目）				
11/19	火					
11/20	水					
11/21	木	教養9／歯医学基盤教育				
11/22	金					
11/23	土					

11/25	月	皮膚・アレルギー・膠原病ブロック（2週目）				
11/26	火					

2024年度（令和6） 授業時間割 第4学年

日付		9:00～10:20		10:30～11:50		12:50～14:10		14:20～15:40		15:50～17:10		日付		9:00～10:20		10:30～11:50		12:50～14:10		14:20～15:40		15:50～17:10		日付		9:00～10:20		10:30～11:50		12:50～14:10		14:20～15:40		15:50～17:10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
4/1	月	合同研修会		合同研修会								6/17	月											9/16	月			敬老の日						12/2	月																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
4/2	火	生殖・発達ブロック（1週目）										6/18	火	自由選択学習（プロジェクトセメスター）（4週目）										9/17	火	自由選択学習（プロジェクトセメスター）（15週目）										12/3	火	臨床導入実習（5週目） 各論③																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
4/3	水																																																	6/19	水											9/18	水																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
4/4	木											医学基礎教育																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
4/5	金											6/20	木																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		

2024年度（令和6） 授業時間割 第5学年

日付		9:00～10:20	10:30～11:50	12:50～14:10	14:20～15:40	15:50～17:10	
4/1	月	臨床実習総論					
4/2	火						
4/3	水						
4/4	木						
4/4	木	白衣式／臨床実習総論					
4/5	金	臨床実習総論					
4/8	月	臨床実習（第1クール）					
4/9	火						
4/10	水						
4/11	木						
4/12	金						
4/15	月	臨床実習（第1クール）					
4/16	火						
4/17	水						
4/18	木						
4/19	金						
4/22	月	臨床実習（第2クール）					
4/23	火						
4/24	水						
4/25	木						
4/26	金						
4/29	月	昭和の日					
4/30	火	臨時休業					
5/1	水						
5/2	木						
5/3	金						憲法記念日
5/6	月	振替休日					
5/7	火	臨床実習（第2クール）					
5/8	水						16:30～17:30 包括医療統合教育①-1
5/9	木						
5/10	金						
5/13	月	臨床実習（第3クール）					
5/14	火						
5/15	水						
5/16	木						
5/17	金						
5/20	月	臨床実習（第3クール）					
5/21	火						
5/22	水						
5/23	木						
5/24	金						
5/27	月	臨床実習（第4クール）					
5/28	火						
5/29	水						
5/30	木						
5/31	金						
6/3	月	臨床実習（第4クール）					
6/4	火						
6/5	水						
6/6	木						
6/7	金						
6/10	月	臨床実習（第5クール）					
6/11	火						
6/12	水						16:30～17:30 包括医療統合教育①-2
6/13	木						
6/14	金						
6/17	月	臨床実習（第5クール）					
6/18	火						
6/19	水						
6/20	木						
6/21	金						
6/24	月	臨床実習（第6クール）					
6/25	火						
6/26	水						
6/27	木						
6/28	金						
7/1	月	臨床実習（第6クール）					
7/2	火						
7/3	水						
7/4	木						
7/5	金						
7/8	月	臨床実習（第7クール）					
7/9	火						
7/10	水						16:30～17:30 包括医療統合教育①-3
7/11	木						
7/12	金						
7/15	月	海の日					
7/16	火	臨床実習（第7クール）					
7/17	水						
7/18	木						
7/19	金						
7/22	月	臨床実習（第8クール）					
7/23	火						
7/24	水						
7/25	木						
7/26	金						
7/29	月	臨床実習（第8クール）					
7/30	火						
7/31	水						
8/1	木						
8/2	金						
8/5	月	臨床実習（第9クール）					
8/6	火						
8/7	水						
8/8	木						
8/9	金						
8/12	月	山の日					
8/13	火	臨床実習（第9クール）					
8/14	水						
8/15	木						
8/16	金						
8/19	月	臨床実習（第10クール）					
8/20	火						
8/21	水						
8/22	木						
8/23	金						
8/26	月	臨床実習（第10クール）					
8/27	火						
8/28	水						
8/29	木						
8/30	金						
9/2	月	臨床実習（第11クール）					
9/3	火						
9/4	水						
9/5	木						
9/6	金						
9/9	月	臨床実習（第11クール）					
9/10	火						
9/11	水						16:30～17:30 包括医療統合教育①-4
9/12	木						
9/13	金						
9/16	月	敬老の日					
9/17	火	臨床実習（第12クール）					
9/18	水						
9/19	木						
9/20	金						
9/23	月	秋分の日					
9/24	火	臨床実習（第12クール）					
9/25	水						
9/26	木						
9/27	金						
9/30	月	臨床実習（第13クール）					
10/1	火						
10/2	水						
10/3	木						
10/4	金						
10/7	月	臨床実習（第13クール）					
10/8	火						
10/9	水						16:30～17:30 包括医療統合教育①-5
10/10	木						
10/11	金						
10/14	月	スポーツの日					
10/15	火	臨床実習（第14クール）					
10/16	水						
10/17	木						
10/18	金						
10/21	月	(仮)お茶の水祭：10月19日(土)～20日(日)					
10/22	火	臨床実習（第14クール）					
10/23	水						
10/24	木						
10/25	金						
10/28	月	臨床実習（第15クール）					
10/29	火						
10/30	水						
10/31	木						
11/1	金						
11/4	月	振替休日					
11/5	火	臨床実習（第15クール）					
11/6	水						16:30～17:30 包括医療統合教育①-6
11/7	木						
11/8	金						
11/11	月	臨床実習（第16クール）					
11/12	火						
11/13	水						
11/14	木						
11/15	金						
11/18	月	臨床実習（第16クール）					
11/19	火						
11/20	水						
11/21	木						
11/22	金						
11/25	月	臨床実習（第17クール）					
11/26	火						
11/27	水						
11/28	木						
11/29	金						
12/2	月	臨床実習（第17クール）					
12/3	火						
12/4	水						
12/5	木						
12/6	金						
12/9	月	臨床実習（第18クール）					
12/10	火						
12/11	水						16:30～17:30 包括医療統合教育①-7
12/12	木						
12/13	金						
12/16	月	臨床実習（第18クール）					
12/17	火						
12/18	水						
12/19	木						
12/20	金						
12/23	月	冬季休業					
12/24	火						
12/25	水						
12/26	木						
12/27	金						
1/6	月	臨床実習（第19クール）					
1/7	火						
1/8	水						
1/9	木						
1/10	金						
1/13	月	成人の日					
1/14	火	臨床実習（第19クール）					
1/15	水						
1/16	木						
1/17	金						
1/20	月	臨床実習（第20クール）					
1/21	火						
1/22	水						
1/23	木						
1/24	金						
1/27	月	臨床実習（第20クール）					
1/28	火						
1/29	水						
1/30	木						
1/31	金						
2/3	月	臨床実習（第21クール）					
2/4	火						
2/5	水						
2/6	木						
2/7	金						
2/10	月	臨床実習（第21クール）					
2/11	火	建国記念日					
2/12	水	臨床実習（第21クール）					
2/13	木						
2/14	金						
2/17	月	臨床実習（第22クール）					
2/18	火						
2/19	水						
2/20	木						
2/21	金						
2/24	月	振替休日					
2/25	火	臨床実習（第22クール）					
2/26	水						
2/27	木						
2/28	金						
3/3	月	臨床実習（第23クール）					
3/4	火						
3/5	水						
3/6	木						
3/7	金						
3/10	月	臨床実習（第23クール）					
3/11	火						
3/12	水						
3/13	木						
3/14	金						
3/17	月	臨床実習（第24クール）					
3/18	火						
3/19	水						
3/20	木						
3/21	金						
3/21	金	春分の日					
3/21	金	臨床実習（第24クール）					
3/24	月	臨床実習（第24クール）					
3/25	火						
3/26	水						
3/27	木						
3/28	金						

2024年度（令和6） 授業時間割 第6学年

日付		9:00～10:20	10:30～11:50	12:50～14:10	14:20～15:40	15:50～17:10
4/1	月	臨時休業				
4/2	火					
4/3	水					
4/4	木					
4/5	金					
4/8	月	臨床実習（第2 5 クール）				
4/9	火					
4/10	水					
4/11	木					
4/12	金					
4/15	月	臨床実習（第2 5 クール）				
4/16	火					
4/17	水					
4/18	木					
4/19	金					
4/22	月	臨床実習（第2 6 クール）				
4/23	火					
4/24	水					
4/25	木					
4/26	金					
4/29	月	昭和の日				
4/30	火	臨時休業				
5/1	水					
5/2	木					
5/3	金	憲法記念日				
5/6	月	振替休日				
5/7	火	臨床実習（第2 6 クール）				
5/8	水					
5/9	木					
5/10	金					
5/13	月	臨床実習（第2 7 クール）				
5/14	火					
5/15	水					
5/16	木					
5/17	金					
5/20	月	臨床実習（第2 7 クール）				
5/21	火					
5/22	水					
5/23	木					
5/24	金					
5/27	月	臨床実習（第2 8 クール）				
5/28	火					
5/29	水					
5/30	木					
5/31	金					
6/3	月	臨床実習（第2 8 クール）				
6/4	火					
6/5	水					
6/6	木					
6/7	金					
6/10	月	臨床実習（第2 9 クール）				
6/11	火					
6/12	水					
6/13	木					
6/14	金					
6/17	月	臨床実習（第2 9 クール）				
6/18	火					
6/19	水					
6/20	木					
6/21	金					
6/24	月	包括医療統合教育②	包括医療統合教育②	包括医療統合教育②	包括医療統合教育②	
6/25	火	チーム医療入門	チーム医療入門	チーム医療入門	チーム医療入門	
6/26	水	チーム医療入門	チーム医療入門	チーム医療入門	チーム医療入門	
6/27	木	包括医療統合教育②	包括医療統合教育②	包括医療統合教育②	包括医療統合教育②	
6/28	金	包括医療統合教育②	包括医療統合教育②	包括医療統合教育②	包括医療統合教育②	
日付		9:00～10:20	10:30～11:50	12:50～14:10	14:20～15:40	15:50～17:10
7/1	月	包括医療統合教育②	包括医療統合教育②	包括医療統合教育②	包括医療統合教育②	
7/2	火					
7/3	水					
7/4	木					
7/5	金					
7/8	月	臨床実習（第3 0 クール）				
7/9	火					
7/10	水					
7/11	木					
7/12	金					
7/15	月	海の日				
7/16	火	臨床実習（第3 0 クール）				
7/17	水					
7/18	木					
7/19	金					
7/22	月	臨床実習（第3 1 クール）				
7/23	火					
7/24	水					
7/25	木					
7/26	金					
7/29	月	臨床実習（第3 1 クール）				
7/30	火					
7/31	水					
8/1	木					
8/2	金					
8/5	月	臨床実習（第3 2 クール）				
8/6	火					
8/7	水					
8/8	木					
8/9	金					
8/12	月	山の日				
8/13	火	臨床実習（第3 2 クール）				
8/14	水					
8/15	木					
8/16	金					
8/19	月	臨床実習（第3 3 クール）				
8/20	火					
8/21	水					
8/22	木					
8/23	金					
8/26	月	臨床実習（第3 3 クール）				
8/27	火					
8/28	水					
8/29	木					
8/30	金					
9/2	月	臨床実習（第3 4 クール）				
9/3	火					
9/4	水					
9/5	木					
9/6	金					
9/9	月	臨床実習（第3 4 クール）				
9/10	火					
9/11	水					
9/12	木					
9/13	金					
9/16	月	敬老の日				
9/17	火	臨床実習（第3 5 クール）				
9/18	水					
9/19	木					
9/20	金					
9/23	月	秋分の日				
9/24	火	臨床実習（第3 5 クール）				
9/25	水					
9/26	木					
9/27	金					
日付		9:00～10:20	10:30～11:50	12:50～14:10	14:20～15:40	15:50～17:10
9/30	月	臨時休業				
10/1	火					
10/2	水					
10/3	木					
10/4	金					
10/7	月	卒業試験1W				
10/8	火					
10/9	水					
10/10	木					
10/11	金					
10/14	月	スポーツの日				
10/15	火	卒業試験2W				
10/16	水					
10/17	木					
10/18	金					
（仮）お茶の水祭：10月19日（土）～20日（日）						
10/21	月	卒業試験3W				
10/22	火					
10/23	水					
10/24	木					
10/25	金					
10/26	土	Post-CC-OSCE（本試験）				
10/28	月	臨時休業				
10/29	火					
10/30	水					
10/31	木					
11/1	金					
11/4	月	振替休日				
11/5	火	再試験1W				
11/6	水					
11/7	木					
11/8	金					
11/11	月	再試験2W				
11/12	火					
11/13	水					
11/14	木					
11/15	金					
11/18	月	再試験3W				
11/19	火					
11/20	水					
11/21	木					
11/22	金					
11/25	月	臨時休業				
11/26	火					
11/27	水					
11/28	木					
11/29	金					
11/30	土	Post-CC-OSCE（延長試験日）				
12/2	月	臨時休業				
12/3	火					
12/4	水					
12/5	木					
12/6	金					
12/9	月	臨時休業				
12/10	火					
12/11	水					
12/12	木					
12/13	金					
12/16	月	臨時休業				
12/17	火					

1/13	月	成人の日				
1/14	火	臨時休業				
1/15	水					
1/16	木					
1/17	金					
1/20	月	臨時休業				
1/21	火					
1/22	水					
1/23	木					
1/24	金					
1/27	月	臨時休業				
1/28	火					
1/29	水					
1/30	木					
1/31	金					
2/3	月	臨時休業				
2/4	火					
2/5	水					
2/6	木					
2/7	金					
2/10	月	臨時休業				
2/11	火	建国記念日				
2/12	水	臨時休業				
2/13	木					
2/14	金					
2/17	月	臨時休業				
2/18	火					
2/19	水					
2/20	木					
2/21	金					
2/24	月	振替休日				
2/25	火	臨時休業				
2/26	水					
2/27	木					
2/28	金					

5/27	月	臨床実習（第2 8 クール）				
5/28	火					
5/29	水					
5/30	木					
5/31	金					
6/3	月	臨床実習（第2 8 クール）				
6/4	火					
6/5	水					
6/6	木					
6/7	金					
6/10	月	臨床実習（第2 9 クール）				
6/11	火					
6/12	水					
6/13	木					
6/14	金					
6/17	月	臨床実習（第2 9 クール）				
6/18	火					
6/19	水					
6/20	木					
6/21	金					
6/24	月	包括医療統合教育②	包括医療統合教育②	包括医療統合教育②	包括医療統合教育②	
6/25	火	チーム医療入門	チーム医療入門	チーム医療入門	チーム医療入門	
6/26	水	チーム医療入門	チーム医療入門	チーム医療入門	チーム医療入門	
6/27	木	包括医療統合教育②	包括医療統合教育②	包括医療統合教育②	包括医療統合教育②	
6/28	金	包括医療統合教育②	包括医療統合教育②	包括医療統合教育②	包括医療統合教育②	
9/23	月	秋分の日				
9/24	火	臨床実習（第3 5 クール）				
9/25	水					
9/26	木					
9/27	金					
12/23	月	冬季休業				
12/24	火					
12/25	水					
12/26	木					
12/27	金					

時間割番号	011200					
科目名	多職種連携 I			科目 ID		
担当教員						
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1	単位数	0.5	
実務経験のある教員による授業	該当する					
主な講義場所						
MD タワー 1F 鈴木章夫記念講堂ほか(状況により変更の可能性あり)						
授業の目的、概要等						
現代の医療・歯科医療は、様々な専門職種が連携したチームで実施されている。本授業は本学の全学科の学生が参加する多職種連携教育(Inter-Professional Education: IPE)として実施する。医療・歯科医療において協働する保健・医療・福祉の専門職とその役割を相互に理解するとともに、共通する職業倫理や仕事に対する姿勢、多職種連携の重要性を学び、多職種連携の将来像を考察できることを目的とする。また、医療チームの中心である患者・家族の講演を通して医療者のプロフェッショナリズムについて考察しその自覚を持つことも期待される。						
チーム医療においてはコミュニケーション及びチームダイナミクスの理解も必須であり、本学の第一学年として、自らの知識や価値観を他学科の学生と共有すること、他学科学生の役割や意見を尊重する態度、チームにおけるリーダーシップやフォロワーシップの理解が求められる。学修方法として演習形式をとり、チームでの協働を実現するために自らの役割を果たすことが求められる。						
授業の到達目標						
1. 本学初学年の学生として、自らの知識や価値観を、他学科の学生に共有することができる。 2. 本学初学年の学生として、他学科学生の役割や意見を尊重した説明や返答、問いかけができる。 3. 他学科学生との演習活動の中で、協働を実現するために、自らの役割を果たすことができる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/16	08:50-10:20	鈴木章夫 記念講堂	オリエンテーション 教員講演	実習の概略説明各学科教員から講演(学科専攻・キャリア紹介、学生に期待することなど)	山脇 正永
2	4/16	10:35-11:25	鈴木章夫 記念講堂	グループワーク1		山脇 正永
3	4/16	11:40-12:25	鈴木章夫 記念講堂	質疑応答		山脇 正永
4	4/16	13:25-14:10	鈴木章夫 記念講堂	患者講師講演		山脇 正永
5	4/16	14:25-15:10	鈴木章夫 記念講堂	グループワーク2		山脇 正永
6	4/16	15:25-16:10	鈴木章夫 記念講堂	質疑応答・全体討論		山脇 正永
7	4/16	16:10-17:10	鈴木章夫 記念講堂	グループワーク3 まとめ		山脇 正永
授業方法						
講義、演習(グループワーク)						
医学部歯学部の全学科全専攻の1年生が参加し、グループに分かれて討論を行う。						
成績評価の方法						
成績はグループワークへの参加態度(50%)、レポート等の提出物(50%)により評価する。						
出席状況、授業態度を総合評価に加味する。						
成績評価の基準						

・合計点数が 60%以上のものを合格とする。 参加態度は、司会や書記を務め、積極的に発言しただけではなく、グループメンバーの話しやすい雰囲気を作るなど、聞く姿勢も評価の対象となる。 期日までに提出された課題を採点対象とし、講演で聞いた内容やグループワークで話し合った内容が含まれているか、自分自身の考えが描かれているかについて授業の到達目標の達成度に応じて採点する。
準備学習等についての具体的な指示 資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合は、各自視聴すること。課題の提出を WebClass にて行うこと。
試験の受験資格 試験は行わない。 ・2/3 以上の出席を基本とする。 ・授業に出席し、演習に参加する。 ・演習発表資料などの課題を提示された期限までに提出すること。 ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。
参考書 患者中心の医療の方法／Moira Stewart [ほか] 原著；若手医師によるグローバルにプライマリ・ケアを考えるための翻訳研究会 訳 Stewart, Moira, Brown, Judith Belle, Weston, W. Wayne, McWhinney, Ian R., McWilliam, Carol L, Freeman, Thomas R., 葛西, 龍樹, 若手医師によるグローバルにプライマリ・ケアを考えるための翻訳研究会, 羊土社, 2021
他科目との関連 多職種連携Ⅱ、多職種連携Ⅲの導入科目である。歯科衛生士のプロフェッショナリズムを育成するための科目である。
履修上の注意事項 積極的に参加すること。課題を提出すること。
備考 責任者 樺沢勇司:kabasawa.ocsh@tmd.ac.jp 質問等は、責任者までメールで随時行うこと。
参照ホームページ チーム医療 全日本病院協会. chrome-extension://efaidnbnmnibpcajpcgclefindmkaj/https://www.ajha.or.jp/guide/pdf/080821.pdf

時間割番号	011001				
科目名	医学導入		科目ID		
担当教員	山脇 正永[YAMAWAKI Masanaga]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1	単位数	6.5
実務経験のある教員による授業	該当する				
英文名:Medical Introductory Course					
主な講義場所 基本的に湯島キャンパスでの講義とする。 詳細は9月17日のオリエンテーションで説明する。					
授業の目的、概要等 医学部医学科のアウトカムである「知と癒しの匠」としての Clinician Scientist, Scientific Clinician を目指すための専門課程への導入として位置付けられる。最先端の医療・医学の現場、医療者及び医学者となるための資質と能力(コンピテンシー)、将来のキャリアの展望、グローバルコミュニケーションについて理解を深めるとともに、医療現場・研究現場・イノベーションと体験することを目的とする。本授業と匠講話(医療と医学の最前線)とを組み合わせることにより、学生諸君の知的好奇心の拡大を目指す。 以下の A)~E)の項目に分け、到達目標等を記す。					
授業の到達目標 A) 医学—過去、現在、未来 医学の発展の歴史を学び、医学の様々な分野でフロンティアを切り開く創造能力を養う。社会における医師の役割(過去、現在および今後の様々な形)、中核病院医療、地域医療、研究、先進医療、医療行政、新しい医療技術など社会貢献の形を説明でき、将来のキャリアビジョンを描き始める。 B) 症候学導入 これから学習する基礎医学・臨床医学において、臨床症状からの視点を備えるため、主要な症候と疾患を学ぶ。 C) 世界の医療 国際医療について学び、国際人としての意識、そして広い視野を習得する。 D) 議論の技法 自ら問題を提起し、解決に向けてチームメンバーと協力し、効果的に取り組むことができる。 E) 医療の現場 シャドウイングを通して医療の現場を体験し、社会における医療従事者の役割を説明できる。医師というプロフェッションに必要な態度を習得するための基盤を形成する。 文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(令和4年度改訂版) https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/116/toushin/mext_01280.html PR-04-01)01 GE-01-04)04 GE-02-02)01 GE-02-03)02 LL-01-01)01,02 LL-01-02)01 LL-02-01)01 RE-01-02)02 RE-04-01)01 RE-05-02)01 CS-05-02)01 CM-01-01)01,02,03 CM-01-02)02					

CM-03-01)01,02,03

CM-03-02)01,02

IP-02

SO-01-02)03

SO-04-05)01

SO-05-02)01,03

医学科コンピテンシーよりこの科目で身につけるレベル

[I-2-B]世界的に注目されている医学／歯学／健康に関する主たるトピックについて、議論できる

[I-3-C]非専門的(一般的)英語表現・英単語の表記・発音等ができる

[II-1-A]医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる

[II-3-B]臨床的あるいは科学的問題提起ができる

[III-1-A]他者の貢献、時間、価値感、人格を尊重し、常に敬意を払って接することができる

[III-2-C]専門職にある者としての立場を理解している

[III-6-A]医療における他の専門職との交流に際して、尊敬、共感、責任能力、信頼性、誠実さを示すことができる

[III-7-C]ラポールについて説明できる

[III-8-C]患者との関係(情報漏洩、親密性、金品授受など)において適切な距離を維持する必要性を説明できる

[III-9-A]個人の生活における責務と医学科での学習及び社会的な責務について、適切にバランスを取ることができる

[III-10-A]自立と監督・指導の必要性との適切なバランスを常に保つことができる

[III-12-B]メンタルストレスやその対処法を説明できる

[III-13-B]医学生としての健康管理(予防接種を含む)の重要性を説明できる

[III-14-A]時間厳守、信頼性、適切な準備、率先性、遂行能力を示すことができる

[III-15-A]文書課題を、正確で判読しうる質にて作成し、規定期限内に提出できる

[III-16-A]本学を含めた当該機関内規、法律、専門職社会内規範を遵守できる

[III-17-B]常に、誠実さ、正直さ、確実さをもって行動する必要性を理解している

[III-18-A]他者への良識を逸する振舞い(無礼、短気など)を認識し、助言を求め、今後起こさぬよう振舞いを修正することができる

[III-21-A]患者情報の守秘義務を守り、患者のプライバシーを尊重できる

[III-23-A]記述、プレゼンテーション、論文、および研究情報などの利用において、著作権を尊重し、それに沿って行動できる

[III-26-A]自身の知識・能力・振舞いを批判的に省察し、長所と課題点を同定し、改善の為の学習目標を設定し、それを達成するのに適した学習活動に取り組むことができる

[III-27-B]フィードバックの意義を説明でき、受容できる

[III-28-A]他人に建設的なフィードバックを適切な形で提示できる

[III-29-A]ポートフォリオを活用して、課題設定を行い、自己学習・自己研鑽できる

[IV-6-B]患者の様々な背景や文化がどれだけ医者-患者間のコミュニケーションに影響するかを説明できる

[IV-7-B]重大で繊細な難しいトピック(sexual history、疾患名告知、退院計画議論、ターミナルケアなど)について患者や患者家族と議論する際に、配慮すべき点や重要な点を説明できる

[IV-9-C]患者中心の医療について説明できる

[V-6-B]世界の保健・医療関連事象の推移と地域分布を説明できる

[VI-1-C]E-learning、文献検索エンジンなどを利用できる

[VI-5-D]情報の信頼性および有用性について、批判的視点を持つ

[VI-8-D]臨床推論にもとづく診断過程を説明できる

[VI-9-D]患者から基本的情報を収集・統合し、病歴の標準書式にまとめることができる

[VI-15-D]正常所見を説明できる

[VII-1-B]医療機関内インフラ(医療情報、医学情報、様々な診療部門、運営/管理業務)を説明できる

[VII-2-D]診療チームを構成するメンバーを同定し、彼らの役割を説明できる

[VII-3-C]病院、診療所、福祉施設など、様々な診療提供システム・機関の役割を説明できる

[VII-7-C]医療政策形成過程を説明できる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	9/17	08:50-10:20	医学科講義室2	総論	医学を学ぶために	山脇 正永	講義、課題提出
2	9/17	10:45-12:15	医学科講義室2	症候学導入	医療コミュニケーション入門	岡田 英理子	B 講義、課題提出
3	9/17	13:30-15:00	医学科講義室2	症候学導入	医療コミュニケーション実習	岡田 英理子, 山口 久美子	B 実習、課題提出
4	9/17	15:25-16:55	医学科講義室2	医学-過去・現在・未来	デザイン思考入門①	長堀 正和, 沼沢 益行	A 講義、課題提出
5	9/24	08:50-10:20	アクティブラーニング教室	医療の現場	実習オリエンテーション	中川 美奈, 浅香 えみ子	E 講義、課題提出
6	9/24	10:45-12:15	遠隔授業(同期型)	医学-過去・現在・未来	未来医療を変えるクリエイティブ研究 -Future of Healthcare2020-	武部 貴則	A 講義、小テスト
7	9/24	15:25-16:55	アクティブラーニング教室	医学-過去・現在・未来	デザイン思考入門②	長堀 正和, 沼沢 益行	A 講義、グループワーク、課題提出
8-10	10/1	08:50-15:00	スキルスラボ, 共用講義室1	医療の現場	実習	中川 美奈, 山口 久美子, 金子 英司, 岡田 英理子, 鹿島田 彩子	E グループワーク、課題提出
11	10/1	15:25-16:55	アクティブラーニング教室	医療の現場	実習総括	中川 美奈	E グループワーク、課題提出
12	10/4	13:30-15:00	アクティブラーニング教室	議論の技法	オリエンテーション	秋田 恵一	講義、課題提出
13-15	10/8	08:50-15:00	スキルスラボ	医療の現場	実習	金子 英司, 中川 美奈, 山口 久美子, 岡田 英理子, 鹿島田 彩子	E グループワーク、課題提出
16	10/8	15:25-16:55	アクティブラーニング教室	症候学導入	オリエンテーション	岡田 英理子	B 講義、グループワーク、課題提出
17-20	10/15	08:50-16:55	その他	医学-過去・現在・未来	デザイン思考入門③: CEATEC2024 (幕張メッセ)	長堀 正和, 中川 美奈, 山口 久美子, 岡田 英理子, 赤石 雄, 沼沢 益行, 鹿島田 彩子	A 講義、グループワーク、課題提出
21-23	10/22	08:50-15:00	スキルスラボ	医療の現場	実習	金子 英司, 中川 美奈, 山口 久美子, 岡田 英理子,	E グループワーク、課題提出

						鹿島田 彩子	
24	10/22	15:25-16:55	アクティ ブラーニ ング教室	医学-過去・現在・未来	デザイン思考入門④	長堀 正和 沼沢 益行	A 講義、グルー プワーク、課題提 出
25-27	10/29	08:50-15:00	スキルス ラボ	医療の現場	実習	金子 英司, 中川 美奈, 山口 久美子, 岡田 英理子, 鹿島田 彩子	E グループワー ク、課題提出
28	10/29	15:25-16:55	アクティ ブラーニ ング教室	医療の現場	実習総括	中川 美奈	E 講義、グルー プワーク
29-30	11/5	08:50-12:15	アクティ ブラーニ ング教室	症候学導入	症候学導入① 胸痛	金子 英司	B 講義、グルー プワーク、課題提 出
31	11/5	13:30-15:00	アクティ ブラーニ ング教室	医学-過去・現在・未来	ロボット手術	絹笠 祐介	A 講義、小テスト
32	11/5	15:25-16:55	アクティ ブラーニ ング教室	医学-過去・現在・未来	デザイン思考入門⑤	長堀 正和 沼沢 益行	A 学生発表、講 義、課題提出
33	11/8	10:45-12:15	アクティ ブラーニ ング教室	医学-過去・現在・未来	起業	加藤 浩晃	A 講義、小テスト
34	11/12	10:45-12:15	アクティ ブラーニ ング教室	医学-過去・現在・未来	近代医学に至る歩み	秋田 恵一	A 講義、小テスト
35	11/12	13:30-15:00	アクティ ブラーニ ング教室	世界の医療	英語講義&討論① Environmental causes of disease: Aral Sea Disaster (講者: Abdullaeva, Gulnoz)	山口 久美子, JANELLE R ENEE MOR OSS	C 講義、グルー プ討論、個人テス ト
36	11/12	15:25-16:55	アクティ ブラーニ ング教室	医学-過去・現在・未来	ワクチン	具 芳明	A 講義、小テスト
37-38	11/19	08:50-12:15	アクティ ブラーニ ング教室	症候学導入	症候学導入② 腰痛	平井 高志	B 講義、グルー プワーク、課題提 出
39	11/19	13:30-15:00	アクティ ブラーニ ング教室	世界の医療	英語講義&討論② Planning for Research: What to study and what it takes to be a researcher	山口 久美子, JANELLE R ENEE MOR OSS	C 講義、グルー プ討論、個人テス ト
40	11/19	15:25-16:55	アクティ ブラーニ ング教室	医学-過去・現在・未来	災害医療	植木 穂	A 講義、小テスト
41	11/26	08:50-10:20	アクティ ブラーニ ング教室	世界の医療	癌治療の最前線:基礎から臨床へ	笠原 典之	C 講義、小テスト
42	11/26	13:30-15:00	アクティ ブラーニ	世界の医療	英語講義&討論③ Introduction of Brazilian healthcare system (講	JANELLE R ENEE MOR	C 講義、グルー プ討論、個人テス

			ング教室		者: Moreira, Bruna)	OSS, 山口 久美子	ト
43	11/26	15:25-16:55	アクティ ブラーニ ング教室	医学-過去・現在・未来	地域に根差した医療と介護	和田 忠志	A 講義、小テスト
44	11/29	10:45-12:15	アクティ ブラーニ ング教室	医学-過去・現在・未来	がんゲノムで挑む、がん治療の新時代	池田 貞勝	A 講義、小テスト
45-46	12/3	08:50-12:15	アクティ ブラーニ ング教室	症候学導入	症候学導入③ 頭痛	沼沢 祥行	B 講義、グループワーク、課題提出
47	12/3	13:30-15:00	アクティ ブラーニ ング教室	世界の医療	英語講義&討論④ The interconnection between oral health and systemic health (講者: Zhou, Zhiwei)	山口 久美子, JANELLE R ENEE MOR OSS, Farha Naomi Binti Omar Farouk	C 講義、グループ討論、個人テスト
48	12/3	15:25-16:55	アクティ ブラーニ ング教室	医学-過去・現在・未来	災害と倫理:福島からコロナまで	越智 小枝	A 講義、小テスト
49	12/10	08:50-10:20	アクティ ブラーニ ング教室	医学-過去・現在・未来	日本の総合診療のあり方	橋本 正良	A 講義、小テスト
50	12/10	10:45-12:15	アクティ ブラーニ ング教室	総論	メンタルヘルスケア	平井 伸英	B 講義、課題提出
51	12/10	13:30-15:00	アクティ ブラーニ ング教室	世界の医療	英語講義&討論⑤ Medical Racism, global healthcare challenges (講者: Adewunmi, Oluwaseun)	JANELLE R ENEE MOR OSS, 山口 久美子	C 講義、グループ討論、個人テスト
52	12/10	15:25-16:55	アクティ ブラーニ ング教室	医学-過去・現在・未来	Society5.0:これからの社会, 技術と人工知能	小柴 等	A 講義、小テスト
53-54	12/17	08:50-12:15	アクティ ブラーニ ング教室	症候学導入	症候学導入④ 腹痛	赤石 雄	B 講義、グループワーク、課題提出
55	12/17	13:30-15:00	アクティ ブラーニ ング教室	世界の医療	英語講義&討論⑥ An Introduction to Medicine in the Philippines Ryota Adachi, Janelle Moross, 山口久美子,	JANELLE R ENEE MOR OSS, 山口 久美子	C 講義、グループ討論、個人テスト
56	12/17	15:25-16:55	共用講義 室1, アク ティブラ ーニング 教室				予備枠
57-58	1/7	08:50-12:15	アクティ ブラーニ ング教室	症候学導入	症候学導入⑤ 咳	角 勇樹	B 講義、グループワーク、課題提出
59	1/7	13:30-15:00	アクティ	医学-過去・現在・未来	厚生労働省医系技官という道〜国	佐野 隆一郎	A 講義、小テスト

			ブルーニ ング教室		民の健康を制度で支える～		
60	1/7	15:25-16:55	共用講義 室1, アク ティブラ ーニング 教室				予備枠
61	1/14	08:50-10:20	情報検索 室	症候学導入	試験(TBL)	山口 久美子, 岡田 英理子	B 個人テスト、グ ループテスト
62	1/14	10:45-12:15	共用講義 室1	世界の医療	地域間の健康格差とその是正	藤原 武男	予備枠
63	1/14	13:30-15:00	共用講義 室1				予備枠
64	1/14	15:25-16:55	共用講義 室1				予備枠
65	1/21	08:50-10:20	医学科講 義室2				予備枠
66	1/21	10:45-12:15	医学科講 義室2				予備枠
67	1/21	13:30-15:00	医学科講 義室2	医学-過去・現在・未来	スポーツが変える 未来を創る	室伏 広治	A 講義、小テスト
68	1/21	15:25-16:55	医学科講 義室2	総論	総括/卒業時の獲得資質について	山脇 正永, 岡田 英理子	講義、課題提出

授業方法

講義は基本的に対面とする。

A) 医学—過去、現在、未来

講演、グループ討論、プレゼンテーション

B) 症候学導入

自己学習とプレゼンテーション、グループ討論、講義

C) 世界の医療

講義、グループ討論

D) 議論の技法

講義、グループ討論、自己学習とプレゼンテーション

E) 医療の現場

シャドウイング・実習、グループ討論

授業内容

A) 医学—過去、現在、未来

講演(近代医学前史、現代の医療を作り上げた研究、地域中核病院勤務医、アカデミックドクター(基礎、臨床)、医療行政従事者)、グループ発表(新しい医療技術について)

B) 症候学導入

与えられた課題に対し自己学習し小グループにて情報共有する、プレゼンテーション

C) 世界の医療

講演(国際医療従事者)、グループ英語議論を行い、問題提起および考察を行う。

D) 議論の技法

小グループにて良好なコミュニケーションをとるための実習を行う

E) 医療の現場

実習(シャドウイング;教員、第5学年学生の臨床実習、看護師、患者、Basic Life Support: BLS)を行う。

成績評価の方法

評価の大部分は提出課題で行うが、一部試験によって行うものもある。

A) 医学一過去、現在、未来

提出課題、参加態度

B) 症候学導入

提出課題、参加態度、テスト

C) 世界の医療

提出課題、参加態度

D) 議論の技法

提出課題、参加態度

E) 医療の現場

提出課題、参加態度

成績評価の基準

細かい配点については WebClass 上に「評価のための資料」として提示する。

提出された各課題は採点され、上記の配点に従って集計される。

60%以上の得点を B とし、点数に応じて評価が決まる。

期日までに十分な質の課題を提出する、自己管理能力が求められる。

準備学習等についての具体的な指示

○ デザイン思考入門ではオリエンテーションで示された課題について事前に自己学習することが求められる。

○ 症候学導入は与えられた課題に対して教科書等を用いて事前に自己学習することが求められる。講義の前の週に予習内容をまとめたスライドの提出・当日のプレゼンテーションが必要になる。

試験の受験資格

1) 講義の 2/3 の出席が必要である。

以下2)3)で示されるグループ英語討論と実習を除いたすべてを講義とする。

小テスト・講義中または講義後の課題提出で出席確認をする。

2) 6 回あるグループ英語討論のうち 4 回以上の出席が必要である。

3) 実習の 3/4 の出席が必要である。

実習の出席に関しては教員が確認する。

実習は 5 回(「シャドウイング①②③④」、「CEATEC2024」)であり、4 回の出席が必要になる。

試験の受験資格には直接かわらないが、グループワークを伴う講義は同じグループのメンバーの学習を妨げることになるので必ず求められる予習・課題等の準備をしたうえで参加すること。

教科書

内科学 = ASAKURA Internal Medicine / 矢崎義雄 総編集、伊藤貞嘉、伊藤裕、岩本愛吉、岡芳知、金倉譲、工藤正俊、島本和明、菅野健太郎、須永真司、永井良三、長谷川好規、永澤英洋、山本一彦 編集: 朝倉書店、2017

標準生理学 / 小澤瀬司、福田康一郎 監修、本間研一、大森治紀、大橋俊夫、河合康明、黒澤美枝子、鯉淵典之、伊佐正 編集、小澤、瀬司、福田、康一郎、本間、研一、1946-、大森、治紀、1950-、大橋、俊夫、1949-、医学書院、2014

グレイ解剖学 / Richard L. Drake, A. Wayne Vogl, Adam W.M. Mitchell [原著]; 秋田恵一訳 Drake, Richard L. (Richard Lee), Vogl, Wayne, Mitchell, Adam W. M. 秋田、恵一、Gray, Henry.: エルゼビア・ジャパン、2019

・ Harrison's Principles of Internal Medicine 20th Edition (McGraw-Hill iPad 版)

・ 病気がみえるシリーズ (MEDIC MEDIA)

病気がみえる vol.1 消化器 第 6 版 2020 年 4 月発行

病気がみえる vol.2 循環器 第 5 版 2021 年 3 月発行

病気がみえる vol.3 糖尿病・代謝・内分泌 第5版 2019年 3月発行
病気がみえる vol.4 呼吸器 第3版 2018年 12月発行
病気がみえる vol.5 血液 第2版 2017年 3月発行
病気がみえる vol.6 免疫・膠原病・感染症 第2版 2018年 9月発行
病気がみえる vol.7 脳・神経 第2版 2017年 11月発行
病気がみえる vol.8 腎・泌尿器 第3版 2019年 10月発行
病気がみえる vol.9 婦人科・乳腺外科 第4版 2018年 10月発行
病気がみえる vol.10 産科 第4版 2018年 10月発行
病気がみえる vol.11 運動器・整形外科 第1版 2017年 7月発行

参考書

君はどんな医師になりたいのか：「主治医」を目指して／川越正平 [ほか]著、医学書院, 2002
知的生活の方法／渡部昇一／著、講談社, 1984
科学者という仕事：独創性はどのように生まれるか／酒井邦嘉 著、中央公論新社, 2006
死ぬ瞬間 死とその過程について／エリザベス・キューブラー・ロス 著、鈴木晶 訳、浜松市立中央図書館, 2001
なぜ、国際教養大学で人材は育つのか／中嶋嶺雄 著、祥伝社, 2010
健康・老化・寿命：人といのちの文化誌／黒木登志夫 著、中央公論新社, 2007

履修上の注意事項

すべてを通して一つの単位認定とする。単位未取得者は第2学年への進級を認められず、コース全体を再履修することが求められる。

備考

2023年度コース評価からの改善点
・議論の技法の内容を見直した。

連絡先(メールアドレス)

山脇 正永:myamawaki.merd@tmd.ac.jp

オフィスアワー

山脇 正永:毎週金曜日 12時～13時、その他でも随時受け付けます。事前にメールで連絡してください。

時間割番号	011210				
科目名	匠講話:医学・医療の最前線			科目ID	
担当教員	山脇 正永[YAMAWAKI Masanaga]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				
英文名(案):Professorial Lecture Series					
主な講義場所					
基本的には湯島キャンパスにて講義を行う。一部 Zoom による遠隔授業となる。					
授業の目的、概要等					
医学部医学科のアウトカムである「知と癒しの匠」としての Clinician Scientist, Scientific Clinician を目指すための専門課程への導入として位置付けられる。本学教授陣がそれぞれの分野(基礎医学・社会医学・臨床医学)で、現在起こっていること、将来どのように変容してゆくか等を紹介することを目的とする。本授業と MIC とを組み合わせることにより、学生諸君がこれから何を学び、何をを目指すのかの「問い」を自ら提起することを目指す。					
授業の到達目標					
1)第一線で活躍されている本学大学院医歯学総合研究科(医学系)の教授の先生方がこれまで行ってきた教育、研究、診療等を理解する。					
2)今後履修する基礎医学、社会医学、臨床医学を学んでいくうえでの心構えを醸成する。					
3)自身が Clinician Scientist / Scientific Clinician になるためにどのように自ら学び、成長するべきかを知る。					
文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(令和4 年度改訂版)					
https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/116/toushin/mext_01280.html					
PR-01-01)01,02					
PR-01-02)01,02					
PR-02-01)01,02					
PR-02-02)01,02					
PR-02-03)01,02					
PR-03-01)01,02					
LL-01-01)01					
LL-01-02)01					
RE-01-01)01,02					
RE-01-02)01,02					
RE-01-01)01					
医学科コンピテンシーよりこの科目で身につけるレベル					
[I-1-B]健康/医療/歯科医療に貢献する者として必要な、幅広い教養と豊かな感性を持つ					
[I-2-C]世界的に注目されている医学／歯学／健康に関する主たるトピックについて、説明できる					
[I-3-C]非専門的(一般的)英語表現・英単語の表記・発音等ができる					
[II-3-B]臨床的あるいは科学的問題提起ができる					
[III-2-C]専門職にある者としての立場を理解している					
[III-7-C]ラポールについて説明できる					
[III-9-A]個人の生活における責務と医学科での学習及び社会的な責務について、適切にバランスを取ることができる					
[III-10-A]自立と監督・指導の必要性との適切なバランスを常に保つことができる					
[III-12-B]メンタルストレスやその対処法を説明できる					
[III-14-A]時間厳守、信頼性、適切な準備、率先性、遂行能力を示すことができる					
[III-17-B]常に、誠実さ、正直さ、確実さをもって行動する必要性を理解している					
[III-18-A]他者への良識を逸する振舞い(無礼、短気など)を認識し、助言を求め、今後起こさぬよう振舞いを修正することができる					
[III-26-A]自身の知識・能力・振舞いを批判的に省察し、長所と課題点を同定し、改善の為の学習目標を設定し、それを達成するのに適した					

学習活動に取り組むことができる

[Ⅲ-27-B]フィードバックの意義を説明でき、受容できる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	9/24	13:30-15:00	アクティブラーニング教室	脳の病気を切らずに治す～血管内治療の発展～	壽美田 一貴	1)2)3)講義・グループ討論・個人レポート
2	10/4	10:45-12:15	共用講義室1	ホンネのキャリアパス	高橋 英彦	1)2)3)講義・グループ討論・個人レポート
3	10/7	10:45-12:15	共用講義室1	キャリアってどうやってできるの？	堤 剛	1)2)3)講義・グループ討論・個人レポート
4	10/11	10:45-12:15	共用講義室1	女性不妊について科学する	金井 正美	1)2)3)講義・グループ討論・個人レポート
5	10/18	10:45-12:15	アクティブラーニング教室	集中治療室の歴史と今、そしてこれから	若林 健二	1)2)3)講義・グループ討論・個人レポート
6	10/25	10:45-12:15	共用講義室1	電気と光で脳の仕組みを知る	礪村 宜和	1)2)3)講義・グループ討論・個人レポート
7	10/28	10:45-12:15	共用講義室1	皮膚を通して病態を知る	沖山 奈緒子	1)2)3)講義・グループ討論・個人レポート
8	11/1	10:45-12:15	遠隔授業(同期型)	精緻な腎臓の構造と機能	内田 信一	1)2)3)講義・グループ討論・個人レポート
9	11/11	10:45-12:15	共用講義室1	周術期の全身管理を考える	内田 篤治郎	1)2)3)講義・グループ討論・個人レポート
10	11/12	08:50-10:20	アクティブラーニング教室	遺伝子 Operating System の解読	浅原 弘嗣	1)2)3)講義・グループ討論・個人レポート
11	11/15	10:45-12:15	共用講義室1	血液がんって、治るの？	森 毅彦	1)2)3)講義・グループ討論・個人レポート
12	11/18	10:45-12:15	共用講義室1	お膝の話～スポーツ選手からお年寄りまで～	古賀 英之	1)2)3)講義・グループ討論・個人レポート
13	11/22	10:45-12:15	共用講義室1	未知の世界の画像診断:知覚の視覚化	立石 宇貴秀	1)2)3)講義・グループ討論・個人レポート
14	11/25	10:45-12:15	アクティブラーニング教室	国際保健からプラネタリーヘルス	中村 桂子	1)2)3)講義・グループ討論・個人レポート
15	12/2	10:45-12:15	共用講義室1	超早期治療に向けて:制	井村 順一	1)2)3)講義・グ

			室 1	御工学からのアプローチ？		ループ討論・個人レポート
授業方法 講義は基本的に対面授業とする。 約 60 分の講義を聞いたのち、グループ討論を行い、レポートを提出する。						
成績評価の方法 課題レポートによる。						
成績評価の基準 各講義終了後のレポートを 60 点、シリーズ終了後のレポートを 40 点として 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。						
準備学習等についての具体的な指示 講演する教授の研究について、分野のホームページ等で事前に把握して授業に臨むこと。						
試験の受験資格 講義の 2/3 には出席して課題を提出する必要がある。						
履修上の注意事項 すべてを通して一つの単位認定とする。単位未取得者は第 2 学年への進級を認められず、コース全体を再履修することが求められる						
連絡先(メールアドレス) 山脇 正永myamawaki.merd@tmd.ac.jp						
オフィスアワー 山脇 正永:毎週金曜日 12 時～13 時、その他でも随時受け付けます。事前にメールで連絡してください。						

時間割番号	011220				
科目名	AI・データサイエンスのための数学			科目ID	
担当教員	中林 潤, 中山 まどか[NAKABAYASHI Junn, NAKAYAMA Madoka]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表 2-1)					
主な講義場所 同期型遠隔授業					
授業の目的、概要等 数論など数学の基本から始めて、微積分や代数、行列など基礎数学について学び、AI やデータサイエンスを習得するために必要な数理リテラシーを身につける。					
授業の到達目標 数論や微積分、代数、行列などの基礎的知識を理解し、AI・データサイエンスを習得するのに必要な数学的基礎知識を身につける。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室		
1	9/19	10:45-11:30			
2	9/19	11:40-12:25			
3	9/26	10:45-11:30			
4	9/26	11:40-12:25			
5	10/3	10:45-11:30			
6	10/3	11:40-12:25			
7	10/10	08:50-09:35			
8	10/10	09:45-10:30			
9	10/10	10:45-11:30			
10	10/10	11:40-12:25			
11	10/24	08:50-09:35			
12	10/24	09:45-10:30			
13	11/7	08:50-09:35			
14	11/7	09:45-10:30			
15	11/21	08:50-09:35			
16	11/21	09:45-10:30			
17	12/5	08:50-09:35			
18	12/5	09:45-10:30			
19	12/19	08:50-09:35			
20	12/19	09:45-10:30			
21	1/15	08:50-09:35			
22	1/15	09:45-10:30			
23	1/16	08:50-09:35			
24	1/16	09:45-10:30			
25	1/22	08:50-09:35			
26	1/22	09:45-10:30			
27	1/23	08:50-09:35			
28	1/23	09:45-10:30			
29	1/30	10:45-11:30			
30	1/30	11:40-12:25			
授業方法					

講義と実習により進める
授業内容 数論、微積分、代数、行列、確率
成績評価の方法 出席状況と授業中の態度、授業内課題と最終レポートの点数などを勘案して総合的に判断する。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」に従う。
準備学習等についての具体的な指示 特に準備学習は不要であるが、講義後の復習を行い毎回の講義内容をしっかり理解することが重要である。
試験の受験資格 授業数の 2/3 以上に出席すること
他科目との関連 「医療と AI・ビッグデータ入門」の講義を理解し、実習を行うための基礎知識となる。
連絡先(メールアドレス) 中林 潤:nakab.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 中林 潤:月曜～金曜 A.M.10:00 – P.M. 05:00 国府台キャンパス 4 階 教官研究室—9

時間割番号	011230						
科目名	医療と AI・ビッグデータ入門			科目 ID			
担当教員	宮野 悟, 中林 潤, 高橋 邦彦, 坂内 英夫, 清水 秀幸, 檜枝 光憲, 越野 和樹, 徳永 伸一, 木下 淳博, 岡田 英理子, 那波 伸敏, 鹿島田 彩子, 森田 久美子, 土田 優美, 河原 智樹, 竹内 康雄, 角 勇樹, 平川 晃弘, 須藤 毅頭, 石丸 美穂, 曹 日丹, 中山 まどか, 中島 義和, 江花 有亮[MIYANO Satoru, NAKABAYASHI Junn, TAKAHASHI Kunihiko, BANNNAI Hideo, SHIMIZU Hideyuki, HIEDA MITSUNORI, KOSHINO KAZUKI, TOKUNAGA SHINICHI, KINOSHITA ATSUHIRO, OKADA ERIKO, NAWA Nobutoshi, KASHIMADA Ayako, MORITA KUMIKO, TSUCHIDA Yuumi, KAWAHARA Tomoki, TAKEUCHI YASUO, SUMI YUKI, HIRAKAWA Akihiro, SUDOU Takeaki, ISHIMARU MIHO, SOU Hitann, NAKAYAMA Madoka, NAKAJIMA Yoshikazu, EBANA YUSUKE]						
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1	単位数	2		
実務経験のある教員による授業							
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表 2-1)							
主な講義場所 同期型遠隔授業							
授業の目的、概要等 今後のデジタル社会の基礎知識として捉えられている数理・データサイエンス・AI の基礎的素養を習得する。 なぜ、数理・データサイエンス・AI を学ぶのか、社会でどのように活用され新たな価値を生んでいるのかという全体像の把握と、健康・医療分野での AI の活用事例を学ぶ。 将来的に保健医療分野における AI 技術研究を自ら進めるもしくは企業等の技術者と共同で AI 技術開発を推進する機会を得た際に必要となる素養を習得する。							
授業の到達目標 ・社会で起きている変化を理解し、数理・データサイエンス・AI を学ぶことの意義を説明できる。 ・AI を活用した新しいビジネス/サービスを説明できる ・どんなデータが集められ、どう活用されているかを説明できる。 ・データ・AI を活用するために使われている技術を概説できる。 ・データ・AI を活用することによって、どのような価値が生まれているかを説明できる。 ・データ・AI 利活用における最新動向(ビジネスモデル、テクノロジー)を説明できる。 ・データ利活用プロセスを体験し、データを解析して考察できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	10/17	10:45-11:30		講義 1			
2	10/17	11:40-12:25		講義 2			
3	10/24	10:45-11:30		講義 3			
4	10/24	11:40-12:25		講義 4			
5	10/31	10:45-11:30		講義 5			
6	10/31	11:40-12:25		講義 6			
7	11/7	10:45-11:30		講義 7			
8	11/7	11:40-12:25		演習 1:python 基礎 1	python の復習	曹 日丹, 石丸 美穂	Google Colaboratory の使い方の復習ができる
9	11/14	10:45-11:30		演習 2:python 基礎 2	データの型、リストの概念、制御構文	曹 日丹, 石丸 美穂	python のデータ型とリストの概念、制御構文について復習できる

10	11/14	11:40-12:25		演習 3:python 基礎 3	関数、モジュール、パッケージ、ライブラリ	曹 日丹, 石丸 美穂	pythonの関数、モジュール、パッケージ、ライブラリ等の概念について理解できる
11	11/21	10:45-11:30		演習 4:python 基礎 4	配列概念、多次元配列、ファイル操作	曹 日丹, 石丸 美穂	python の numpy ライブラリ、配列概念、多次元配列について理解できる
12	11/21	11:40-12:25		演習 5:python 基礎 5	データ読み込み	曹 日丹, 石丸 美穂	python でデータフレーム(csc ファイル)を読み込める
13	11/28	10:45-11:30		演習 6:python 基礎 6	データフレーム取り扱い	曹 日丹, 石丸 美穂	python で実際にデータクレンジングを行える
14	11/28	11:40-12:25		演習 7:python 基礎 7	データ可視化	曹 日丹, 石丸 美穂	python でデータの可視化を行える
15	12/5	10:45-11:30		演習のための講義 1:機械学習概論 1	機械学習(回帰分析)の概念の解説	清水 秀幸	回帰分析の概念について理解できる
16	12/5	11:40-12:25		演習 8:回帰分析 1	線形回帰分析	石丸 美穂 曹 日丹	python で実際に線形回帰分析を行える
17	12/12	10:45-11:30		演習 9:回帰分析 2	線形回帰分析	石丸 美穂 曹 日丹	python で実際に線形回帰分析を行える
18	12/12	11:40-12:25		演習 10:回帰分析 3	ロジスティック回帰分析	石丸 美穂 曹 日丹	python で実際にロジスティック回帰分析を行える
19	12/19	10:45-11:30		演習 11:回帰分析 4	ロジスティック回帰分析	石丸 美穂 曹 日丹	python で実際にロジスティック回帰分析を行える
20	12/19	11:40-12:25		演習のための講義 2:機械学習概論 2	機械学習(教師あり学習)の概念の解説	清水 秀幸	教師あり機械学習の概念について理解できる
21	1/9	10:45-11:30		演習 12:教師あり機械学習 1	教師あり学習(サポートベクターマシン)	石丸 美穂 曹 日丹	python でサポートベクターマシンを行える
22	1/9	11:40-12:25		演習 13:教師あり機械学習 2	教師あり学習(決定木)	石丸 美穂 曹 日丹	python で決定木分析を行える
23	1/15	10:45-11:30		演習 14:教師あり機械学習 3	教師あり学習(ランダムフォレスト)	石丸 美穂 曹 日丹	python でランダムフォレストを行える
24	1/15	11:40-12:25		演習のための講義 3:深層学習概論	深層学習の概念の解説	清水 秀幸	深層学習の概念について理解できる
25	1/16	10:45-11:30		演習 15 深層学習 1	深層学習の基礎	石丸 美穂	python で深層学

						曹 日丹	習を行う方法を理解する
26	1/16	11:40-12:25		演習 16 深層学習 2	深層学習の結果の可視化	石丸 美穂 曹 日丹	python で深層学習の結果を可視化する
27	1/22	10:45-11:30		演習 17 深層学習 3	画像の読み込みと前処理	石丸 美穂 曹 日丹	python で画像の読み込みと前処理を行える
28	1/22	11:40-12:25		演習 18 深層学習 4	深層学習モデルの設計	石丸 美穂 曹 日丹	python で画像の深層学習モデルを設計できる
29	1/23	10:45-11:30		演習 19 深層学習 5	肺レントゲンでの深層学習	石丸 美穂 曹 日丹	python で肺レントゲン写真を用いて深層学習を行える
30	1/23	11:40-12:25		まとめの演習	機械学習と深層学習についての課題	石丸 美穂 曹 日丹	自分で学習モデルを設計することができる

授業方法

・前半は講義、後半は自分の PC で演習を行う。

授業内容

AI・数理・データサイエンスに関する概論講義、実習

社会におけるデータ・AI 利活用に関する講義:

社会に起きている変化、社会で活用されているデータ、データ・AI の活用領域、データ・AI 利活用のための技術、データ・AI 利活用の現場、データ・AI 利活用の最新動向など

データ解析実習:

データハンドリング、機械学習、深層学習など

成績評価の方法

・各講義及び演習後の課題により成績評価を行う。

・試験は実施しない。

・最終回終了時までに、以下の授業評価に回答していることを成績評価の前提とする。

○医学科の学生:「M1 コース評価アンケート 2024」の「2024 年度「医療と AI・ビッグデータ入門」コース評価」

○保健衛生学科看護学専攻の学生:「N1 教務係等からのお知らせ 2024」の「N1 2024「医療と AI・ビッグデータ入門」授業評価」

○保健衛生学科検査技術学専攻の学生:「MT1 教務係等からのお知らせ 2024」の「MT1 2024「医療と AI・ビッグデータ入門」授業評価」

○歯学科の学生:「歯学科授業評価アンケートコース 2024」の「医療と AI・ビッグデータ入門」

○口腔保健学科口腔保健衛生学専攻の学生:「OH1-4 口腔保健衛生学専攻授業評価アンケートコース 2024」の「医療と AI・ビッグデータ入門」

○口腔保健学科口腔保健工学専攻の学生:「OE1-4 口腔保健工学専攻授業評価アンケートコース 2024」の「医療と AI・ビッグデータ入門」

成績評価の基準

・課題をすべて期限内に提出し、提出課題により本科目の到達目標を全て達成したと判断された場合は、科目の評点を 80 点以上とする。

・課題が提出されない場合は、当該授業を欠席として扱うのみならず、当該課題は 0 点として評価するので注意すること。

・期限内に提出された課題、および期限後に再提出された課題は 100 点満点で、期限後に初めて提出された課題は 79 点満点で評価する。

・WebClass 上で提出された課題のみを評価対象とし、個別メール等で送られた課題は原則受け付けない。

準備学習等についての具体的な指示

・webclass にあげている動画教材を活用して予習・復習に役立てること。

試験の受験資格

- ・講義のコマは webclass 上の課題の提出をもって出席とみなす。
- ・演習のコマは授業最後に与える課題の提出をもって出席とみなす。
- ・webclass の必修 IT 基礎研修のスタートアップ編および情報セキュリティ編を受講しテストに合格していることを単位取得の条件とする。

参考書

参考書

- ・東京大学のデータサイエンティスト育成講座：Python で手を動かして学ぶデータ分析／中山浩太郎 監修、塚本邦尊、山田典一、大澤文孝 著、中山、浩太郎、塚本、邦尊、山田、典一、大沢、文孝、1973-、マイナビ出版、2019
- ・データサイエンスの基礎／濱田悦生著；狩野裕編、濱田、悦生、狩野、裕、講談社サイエンティフィク、講談社、2019
- ・Python3 スキルアップ教科書／辻真吾、小林秀幸、鈴木庸氏、細川康博、技術評論社
- ・みんなの Python 第4版／柴田淳／SB Creative
- ・新しい人工知能の教科書／多田智史、石井一夫／翔泳社
- ・いちばんやさしいディープラーニング入門教室／谷岡広樹、廉鑫／ソーテック社
- ・医療 AI とディープラーニングシリーズ 医用画像ディープラーニング入門 / 藤田広志 / オーム社

他科目との関連

- ・情報処理、数学、統計学の授業内容と密接に関わる。

履修上の注意事項

- ・グループ演習および課題提出を行うので、対面授業の選択学生を含めて参加者は PC 持参を原則とする。

備考

- ・実習では 1 人 1 台のコンピュータを使用する。
- ・事前に WebClass の資料『事前資料』に目を通しておくこと

オフィスアワー

中林 潤:月曜～金曜

AM.10:00 – P.M. 05:00

国府台キャンパス 4 階 教官研究室—9

木下 淳博:金 16:00—17:00 3 号館 5 階 教育メディア開発学分野

曹 日丹:毎週木曜日 AM.10:00–PM.5:00 10 号館 3 階 301 室

須藤 毅顕:毎週火曜日 AM.11:00–PM.5:00 湯島キャンパス 1 号館東 3 階 教育メディア開発学分野研究室

連絡先(メールアドレス)

中林 潤:nakab.las@tmd.ac.jp

木下 淳博:kinoshita-emd@tmd.ac.jp

曹 日丹:caoemd@tmd.ac.jp

須藤 毅顕:t-sudo.ioe@tmd.ac.jp

連絡先(メールアドレス)

中林 潤:nakab.las@tmd.ac.jp

曹 日丹:caoemd@tmd.ac.jp

石丸 美穂:ishimaru.ohp@tmd.ac.jp

オフィスアワー

中林 潤:月曜～金曜

AM.10:00 – P.M. 05:00

国府台キャンパス 4 階 教官研究室—9

曹 日丹:毎週木曜日 AM.10:00–PM.5:00 10 号館 3 階 301 室

石丸 美穂:毎週木曜日 AM.10:00–PM.5:00 1 号館 3 階 統合教育機構

時間割番号	011240				
科目名	アカデミック・リテラシー			科目 ID	
担当教員	木谷 真紀子[KITANI Makiko]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
別表 1-1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する 別表 1-3) 人間の歴史的営みを理解する 別表 1-5) 人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る 別表 1-6) 優れた芸術作品に触れて完成を高める 別表 1-7) 人間の心への理解を高める 別表 1-10) 現代社会における科学の責任を意識できるようになる 別表 3-2) 自らの考えを的確に伝えるための基本的な文章表現能力を身につける					
主な講義場所 国府台キャンパスにて対面で実施予定。					
授業の目的、概要等 「アカデミック・リテラシー」は、調査力・思考力・表現力・コミュニケーション能力を総合的に向上させ、高校までの学習に対する受動的な意識から、大学生としての主体的な学びの意識へと早期に転換させることを目指した取り組みである。「文章表現リテラシー」「情報活用リテラシー」「口頭表現リテラシー」で構成される。大学生生活や今後に向け、調査、分析、考察し、論理的また明確に文章にし、またプレゼンテーションやディスカッションなどをする能力を身につけることを目標とする。 三つに分けて改めて記す。 1情報活用リテラシー：レポートや論文などアカデミックな論理的文章の執筆や、発表のために必要で正確な情報を収集し、活用できるようになる。 2文章表現リテラシー：複数の文献を用いて 3000 字以上の論理的文章が書けるようになる。 3口頭表現リテラシー：PPT を用いたアカデミックプレゼンテーションができるようになる。					
授業の到達目標 1情報活用リテラシー ・研究倫理の観点から、情報収集のために必要なリテラシーを身につける ・複数の情報を比較して、情報を精査する視点を得ることができるようになる 2文章表現リテラシー ・論理的に展開するための定型に則った文章を書けるようになる ・自ら問いを立て、調査やデータに基いた考察分析ができるようになる 3口頭表現リテラシー ・論理的に展開するためのを身につけることができる ・定型に則った明解なプレゼンテーションができるようになる					
授業方法 文章表現、情報活用、口頭表現の三種類の内容で構成し、担当者が講義を行う。受講者には、課題の執筆や口頭発表、ディスカッションなどを課す。アクティブラーニング形式で行うため、出席し、能動的な態度で臨むこと。					
授業内容 1. ガイダンス ・リテラシー授業、今後の課題について説明 ・自己紹介文執筆、提出(400 字) ・文献検索と引用法について Zoom 講義で振り返り 2. 情報活用Ⅰ、文章表現Ⅰ 書評とディスカッションへの記事提出					

優れた自己紹介文の紹介、メールの書き方、論理的文章の型や、レポートの描き方など説明。この授業で書く 3000 字のレポートについての説明。 3. 情報活用Ⅱ、口頭表現Ⅰ、文章表現Ⅱ ディスカッションで提出した記事について、他紙、全国紙、地方紙などを提出、記事内容の比較分析。情報倫理・研究倫理の要点について Zoom 講義で説明。 ディスカッションについての説明の後、新聞記事に基づいたディスカッション 提出した記事から引用した論理的文章の提出。 4. 情報活用Ⅲ、文章表現Ⅲ 記事の比較分析、ディスカッションを通して考えたことなどを提出。書評記事を提出。 前回の文章の返却。それに基づいた説明。 5. 文章表現Ⅳ、口頭表現Ⅱ 第 4 回で提出した書評を引用し書籍を紹介する文章の提出。 アカデミックプレゼンテーションの型、スライドの作成方法など説明。 ブックトークについての説明。 6. 口頭表現Ⅲ 第 4 回で提出した書籍の、PPT を用いたブックトークの実施。 7. 文章表現Ⅴ、情報活用Ⅳ この授業で書く 3000 字のレポートについてのテーマの決定。 自分のテーマに基づく、アンケート、インタビューの実施について。 アンケート項目の検討と提出。
成績評価の方法 情報活用の課題 30%、文章表現の課題 30%、口頭表現 20%、 期末コメントシート 20%
成績評価の基準 (授業開始前)授業内容を把握し、学期を通して扱う書評と、ディスカッションのテーマとしたい記事を探し、初回授業で提出する。 (授業開始後)シラバスに則った課題を遅れることなく提出する。
準備学習等についての具体的な指示 与えられた課題に取り組み、〆切を遅れず提出すること。
試験の受験資格 授業内の課題を提出し、3 分の 2 以上の授業に出席していること。
教科書 授業内で指示。
参考書 授業内で指示。
他科目との関連 グローバル教養総合講座「情報活用」。また本講義で学んだアカデミック・リテラシーを、他の授業でいかす。
履修上の注意事項 「アカデミック・リテラシー」そのものを身につける授業であるため、生成 AI などの使用が認められた場合は、厳しく対応する。課題は遅れることなく提出すること。授業には能動的に臨むこと。
連絡先(メールアドレス) makiko.las@trnd.ac.jp
オフィスアワー 月、金曜 12:20～13:30 管理研究棟 2 階 ※原則的に上記の曜日時間としますが、事前に連絡のある学生には、上記時間外でも対応します。

時間割番号	011002				
科目名	人体構造総論			科目ID	
担当教員	秋田 恵一[AKITA KEIICHI]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	2	単位数	1.5
実務経験のある教員による授業	該当する				
英文名:Introduction to Human Body					

授業の目的、概要等

人体構造総論は、人体解剖学の総論ならびに人体発生学の総論・各論からなる。これらには明確な区別がないため、混在する。人体解剖学の総論は、人体の構造を理解し説明するための基本的事項、ならびに人体の構造の基本的な成り立ちについての学習する。

人体発生学総論は、生殖子の形成から出生に至る正常過程ならびにその異常についての概略を学習する。また、人体がこのような構造を形成するメカニズムの基本についても学習する。

人体発生学各論は、器官系ならびに器官それぞれの発生過程について学習する。これらは、人体解剖学の学習の基盤として必要な、器官の配置の必然性についての基本についても学習する。

ここでは、発生過程の理解ということのみならず、先天異常の理解についても学ぶ。先天異常の多くにおいて、その発生のメカニズムを理解するためには、正常発生メカニズムを理解することが必要である。また、人体の複雑な構造は、多くの単純な発生プロセスの組み合わせによるものであるから、この発生プロセスの基本を理解し様々なところで応用することができれば、解剖学的構造の位置関係を理解するための助けとなる。それによって「解剖学は暗記である」ということからの呪縛を解くことができるはずである。

人体解剖学の講義は、人体構造総論の内容を踏まえたうえで行われることになるので、十分な理解が必要である。

人体解剖学、人体発生学は非常に古い学問である。そのため、人名のついた用語が多数現れる。国際的通用性の高い人名のついた用語については折に触れて紹介する。また、国家試験等においては、人名は原語の綴りで出題されるため、慣れ親しんでいただきたい。

授業の到達目標 到達目標は、以下のとおりである。 ①基本的な発生生物学の基本概念を理解すること。 ②基本的な発生過程やそのタイミングを、人体解剖学と関連付けながら理解すること。 ③人体の構造の配置を、発生過程から導き出すことができること。 ④臨床的に重要な事項との関連を踏まえながら理解すること。 以下のような学習に努めていただきたい。非同期型の授業ビデオ、講義資料、授業の参考資料は、WebClass にあげる。集合セッションでは、シラバスに示された範囲について、非同期型の授業ビデオなどで予習をしてから臨むことが求められている。 教科書「ウォルパート 発生生物学 第4版」の第1章「発生生物学の歴史と基本概念」で示される基本的な概念を理解する。巻末の「用語解説」にでている用語については、様々な科目とも関連があるので、概ね理解する。 教科書「ラングマン 人体発生学 第 11 版」の太字となっている用語については、理解する。また、本書の図については、解剖学を理解するうえで、非常に助けになるので、理解し、説明できることが必要である。また、『臨床関連事項』については、正常発生を理解するための助けとなり、将来、臨床科目を理解する基礎となるので、発展的学習として学習することが必要である。 教科書「グレイ解剖学 第4版」の第1章ならびに第2～8章の「概観」は、人体発生学を理解する上で、また人体解剖学を理解するための基礎として重要であるので理解する。 「人体構造総論」の講義資料に載せてある重要な用語、人の名前前のついた用語や疾患名などは、英語または原語でも理解できるようにすることが必要である。用語の中には、表記にゆれがあるものがあり、本によって異なっている場合もあるが、明らかな間違い以外についてはとくに問題にしない。 学習するにあたっては、教科書「ラングマン 人体発生学 第 11 版」の各章末にある要約にまず目を通し、内容を簡単に把握した後に詳細を理解するとよい。また、章末の問題についても、用語を適切に使用し、重要な点を文章に簡潔にまとめられるようにする。 分子的制御とシグナル伝達については、講義でとくに強調して触れたところ以外は、「人体構造総論」の科目における到達目標とはしないが、発展的学習として自習することが望ましい。また、「臨床的事項」については、正常構造や正常な発生過程の理解の助けとなるので、発展的学習として自習する。

PS-01-02)16,22,23,24,25,26

PS-02-05)01

PS-02-06)01

PS-02-07)01

PS-02-08)01

PS-02-09)01

PS-02-10)01

PS-02-13)01

PS-02-14)01

医学科コンピテンシーよりこの科目で身につけるレベル

[I-2-B]世界的に注目されている医学／歯学／健康に関する主たるトピックについて、議論できる

[I-3-B]科学/医学/歯学専門用語/表現の理解/表記/発音ができる

[II-1-A]医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる

[II-3-B]臨床的あるいは科学的問題提起ができる

[III-1-A]他者の貢献、時間、価値感、人格を尊重し、常に敬意を払って接することができる

[III-9-A]個人の生活における責務と医学科での学習及び社会的な責務について、適切にバランスを取ることができる

[III-12-A]メンタルストレスに直面した際、それを認識し、適切な解消処置をとれる

[III-14-A]時間厳守、信頼性、適切な準備、率先性、遂行能力を示すことができる

[III-15-A]文書課題を、正確で判読しうる質にて作成し、規定期限内に提出できる

[III-16-A]本学を含めた当該機関内規、法律、専門職社会内規範を遵守できる

[III-18-A]他者への良識を逸する振舞い(無礼、短気など)を認識し、助言を求め、今後起こさぬよう振舞いを修正することができる

[III-23-A]記述、プレゼンテーション、論文、および研究情報などの利用において、著作権を尊重し、それに沿って行動できる

[III-26-A]自身の知識・能力・振舞いを批判的に省察し、長所と課題点を同定し、改善の為の学習目標を設定し、それを達成するのに適した学習活動に取り組むことができる

[III-27-A]自身に対するフィードバックにもとづき省察し自己改善を実現できる

[III-28-A]他人に建設的なフィードバックを適切な形で提示できる

[III-29-A]ポートフォリオを活用して、課題設定を行い、自己学習・自己研鑽できる

[V-1-B]疾患の病因・病態・臨床徴候などの理解に必要な基礎医学知識を提示できる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/2	08:50-10:20	遠隔授業 (非同期型)	総論 1-1	秋田 恵一	①②③④動画視聴後に WebClass にて多肢選択式問題に回答
2	4/2	10:45-12:15	遠隔授業 (非同期型)	総論 1-2	秋田 恵一	①②③④動画視聴後に WebClass にて多肢選択式問題に回答
3	4/3	08:50-10:20	遠隔授業 (非同期型)	総論 2-1	秋田 恵一	①②③④動画視聴後に WebClass にて多肢選択式問題に回答
4	4/3	10:45-12:15	遠隔授業 (非同期型)	オリエンテーション、スケッチについて	秋田 恵一	①②③④授業後に個人課題の提

			型)			出
5	4/4	08:50-10:20	遠隔授業 (非同期 型)	総論 2-2	秋田 恵一	①②③④動画視 聴後に WebClass にて多肢選択式 問題に回答
6	4/4	10:45-12:15	遠隔授業 (非同期 型)	総論 2-3	秋田 恵一	①②③④動画視 聴後に WebClass にて多肢選択式 問題に回答
7	4/5	08:50-10:20	遠隔授業 (非同期 型)	総論 3	秋田 恵一	①②③④動画視 聴後に WebClass にて多肢選択式 問題に回答
8	4/5	10:45-12:15	遠隔授業 (非同期 型)	総論 4	秋田 恵一	①②③④動画視 聴後に WebClass にて多肢選択式 問題に回答
9	4/5	13:30-15:00	遠隔授業 (非同期 型)	各論 1-1	秋田 恵一	①②③④動画視 聴後に WebClass にて多肢選択式 問題に回答
10	4/5	15:25-16:55	遠隔授業 (非同期 型)	各論 1-2	原田 理代	①②③④動画視 聴後に WebClass にて多肢選択式 問題に回答
11	4/5	17:15-18:45	遠隔授業 (非同期 型)	各論 2	秋田 恵一	①②③④動画視 聴後に WebClass にて多肢選択式 問題に回答
12	4/8	13:30-15:00	遠隔授業 (非同期 型)	総論	秋田 恵一	①②③④
13	4/8	15:25-16:55	遠隔授業 (非同期 型)	各論 3	秋田 恵一	①②③④動画視 聴後に WebClass にて多肢選択式 問題に回答
14	4/9	13:30-15:00	遠隔授業 (非同期 型)	各論 4-1	秋田 恵一	①②③④動画視 聴後に WebClass にて多肢選択式 問題に回答
15	4/9	15:25-16:55	遠隔授業 (非同期 型)	各論 4-2	秋田 恵一	①②③④動画視 聴後に WebClass にて多肢選択式 問題に回答
16	4/9	17:15-18:45	遠隔授業 (非同期 型)	各論 4-3	秋田 恵一	①②③④動画視 聴後に WebClass にて多肢選択式 問題に回答
17	4/10	17:15-18:45	遠隔授業	各論 6	秋田 恵一	①②③④動画視

			(非同期型)			聴後に WebClass にて多肢選択式問題に回答
18	4/11	17:15-18:45	遠隔授業 (非同期型)	各論 7-1	秋田 恵一	①②③④動画視聴後に WebClass にて多肢選択式問題に回答
19	4/12	17:15-18:45	遠隔授業 (非同期型)	各論 7-2	秋田 恵一	①②③④動画視聴後に WebClass にて多肢選択式問題に回答
20	4/15	17:15-18:45	遠隔授業 (非同期型)	各論 7-3	秋田 恵一	①②③④動画視聴後に WebClass にて多肢選択式問題に回答
21	4/17	17:15-18:45	遠隔授業 (非同期型)	各論 8	秋田 恵一	①②③④動画視聴後に WebClass にて多肢選択式問題に回答
22	4/18	17:15-18:45	遠隔授業 (非同期型)	各論 5-8	秋田 恵一	①②③④
23	4/22	17:20-18:50	医学科講義室 1	試験	秋田 恵一, 山口 久美子, 室生 暁 原 田 理代	①②③④試験

授業方法

参考(下記は 2023 年度の内容)

● 非同期授業

指定された動画ならびに講義資料、参考資料を閲覧し、指示にあるように課題に回答する。4月12日・17日・24日に行われる集合セッションでは、その前までに閲覧するように指示された非同期授業の内容を含むため、集合セッション前に当該講義の動画は閲覧し、指示された問題に答えておくこと。

WebClass 上に用意されているリアクションペーパーを用意する。これは、感想や質問、コメントを自由に記述してもらうためのものであり、出席管理に使うものではない。人間関係についての問題や、学習法についての質問など自由に書いていただくのもよい。内容によっては全員に対してではなく、個人的に答えることもある。コミュニケーションツールとして非常に有効であるので十分に活用してほしい。

重要な質問やコメント、ならびに全体に回答したほうが良いようなものについては集合セッションの中で答えるか、WebClass 上で答えることにする。優れた質問が授業内容を深める助けとなることが多い。また、講義資料、教科書等の誤りの指摘が授業の質を高めることに繋がるので、十分に活用してほしい。

授業の動画は復習に使用できるよう、WebClass 上に閲覧可能な状態に置いておくので、本年度のみならず高学年になっても活用していただきたい。

● 同期授業 4月7日・12日・17日・24日の集合セッションは、ZOOMによって行われる。

4月7日の集合セッションでは、人体構造総論や人体解剖学の学習方法、評価の方法や基準等について説明する。また、人体解剖実習における形態の観察方法や注意すべきポイントについて、説明する。実際に図の描き方についての実習も行うので、紙やペンなどを用意しておく必要がある。

4月12日・17日・24日の集合セッションでは、それまで行われた非同期授業の中から重要なポイントについて示す。さらに、最後に自習課題を示すので、学習の参考にする。

授業の動画は復習に使用できるよう、卒業まで、WebClass 上に閲覧可能な状態に置いておくので、活用していただきたい。ただし、ブレイクアウトルームの内容は録画されない。

授業内容 授業スケジュール参照
成績評価の方法 参考(下記は 2023 年度の内容) ***** 人体構造総論の評価は、提出課題ならびに 4 月 28 日に実施される筆記試験(80 分)によって行う。 1)提出課題 4月7日 提出課題 10 点 4月 12 日・17 日・24 日の集合オンラインテスト(個人) 5 点×3 回 4月 12 日・17 日・24 日の集合オンラインテスト(グループ) 5 点×3 回 * 特別な事情なく提出期限を超えたものは未提出として扱う 2)筆記試験(4 月 28 日の 80 分の試験に含まれる) 基本多肢選択式問題 10 題 10 点 基本記述式問題 8 題 40 点 基本記述式問題の合格水準については、集合セッションの中で理解できるようにする。 3)筆記試験(4 月 28 日の 80 分の試験に含まれる) 応用多肢選択式問題 5 題 10 点 応用記述式問題 3 題 30 点 応用問題については、臨床関連事項、臨床症例を含む範囲から出題される。
成績評価の基準 人体構造総論の評価は、提出課題ならびに筆記試験(80 分)の結果から、次のように行う。 ・1)と2)の合計が 90 点中 50 点以上の場合に合格とし、科目評価基準点として 60 点を与える。 ・60 点に3)の点数を加えたものを、この科目の評価とする。
準備学習等についての具体的な指示 参考(下記は 2023 年度の内容) ***** 高校での生物学の履修の有無を考慮にいれないのかという声がしばしば聞かれるが、教養部での1年間に基本的な生物学的な事項についての差は埋められているはずである。また、これまでの経験上、高校での生物学の履修の有無による成績の差はほとんど見られていない。よって、高校での生物学履修の有無については人体構造総論の履修に際しては一切考慮しない。 重要なことを見極められているかについては、集合セッションでのディスカッションの中で判断していただきたい。 他の科目と関連することが多い。重要な関連項目については、講義の中で折に触れて述べるので、とくにそのあたりを意識して理解していただきたい。
試験の受験資格 参考(下記は 2023 年度の内容) ***** 次のすべてが、4 月 28 日に行われる定期試験ならびに追・再試験を受験する資格となる。 4 月 7 日・4 月 12 日・17 日・24 日に行われる計 4 回の集合セッションに参加し、提示される問題に解答し、与えられる課題を期限までに提出すること。 特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や、集合セッションに参加できない場合には、その事情とともに、締め切り期日が過ぎる前、ならびに集合セッションの始まる前までに科目責任者または医学教務係にメールのように日時の記録が残る形で連絡することを必須とする。なお、緊急の場合には電話でもよいが、その後メールはすること。連絡ができないような特別な事情があったとあとで判断された場合には、その限りではない。

十分な対応がおこなわれていたと判断された場合には、事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。	
教科書 ラングマン人体発生学／T.W.サドラー 著、安田峯生、山田重人 訳：メディカル・サイエンス・インターナショナル、2016 ウォルパート発生生物学／レイス・ウォルパート、シェリル・ティツクル 著、武田洋幸、田村宏治 監：メディカル・サイエンス・インターナショナル、2012 グレイ解剖学／Richard L.Drake, A.Wayne Vogl, Adam W.Mitchell [著]、秋田恵一 訳：エルゼビア・ジャパン、2019	
参考書 体表からわかる人体解剖学：ポケットチューター／Richard Tunstall, S. Ali Mirjalili [著]； [大川淳[ほか]訳]、Tunstall, Richard, Mirjalili, S. Ali, 大川, 淳, 秋田, 恵一, 南江堂, 2021	
他科目との関連 「人体構造総論」は、「人体解剖学」と密接な関係があるだけでなく、「組織学」、「生理学」、「神経解剖学」といった他の解剖学の科目、「生理学」のような機能について学ぶ科目とも密接な関係にある。 臨床的な事項との関連を、積極的に意識することで、臨床系の科目を学習する際に有機的につなげていくことができる。様々なところで関連を考えながら学んでいただきたい。	
履修上の注意事項 個人課題について、他の学生のもをそのまま提出するようなことはしないこと。そのような事実が発覚した場合には、関係した学生すべてにつき未提出とする。 講義動画、講義資料、参考資料などは著作権の問題があるので、受講登録者以外に公開することを禁ずる。	
備考 参考(下記は 2023 年度の内容) ***** 授業最終日(4月24日)から、科目についてのアンケートがWebClass でできるようになっている。アンケートに回答しない場合は、本科目の合否が WebClass に表示されない。 昨年のアンケートよりの改善点 ・非同期と同期のバランスが良かった点が好評であったが、同期授業では質問に十分に対応できていないという指摘があった。より十分な質問への回答ができる仕組みを取り入れ、自分の質問したところだけを見られるように工夫する。 ・WebClass 上のに表示される教材の数が多すぎるという指摘があったため、改善する。	
連絡先(メールアドレス) 秋田 恵一 akita.fana@tmd.ac.jp	
オフィスアワー 秋田 恵一 メール等でアポイントメントを取る。	

時間割番号	011002A				
科目名	人体構造総論		科目ID		
担当教員	秋田 恵一[AKITA KEIICHI]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1	単位数	1.5
実務経験のある教員による授業	該当する				
英文名:Introduction to Human Body					
授業の目的、概要等					
人体構造総論は、人体解剖学の総論・概論ならびに人体発生学の総論・各論からなる。これらには明確な区別がつけられないため、授業はそれらが並行して進むことになる。 人体解剖学の総論・概論は、人体の構造を理解し説明するための基本的事項、ならびに人体の構造の基本について学習する。 人体発生学総論は、発生のメカニズムの基本ならびに、生殖子の形成から出生に至る正常過程ならびにその異常についての概略を学習する。 人体発生学各論は、器官系ならびに器官それぞれの発生過程について学習する。これらにより、人体解剖学の学習の基盤として必要な、器官の配置の必然性について理解することとなる。 人体発生学では、発生過程の理解ということのみならず、先天異常の理解についても学ぶ。先天異常の発生メカニズムを理解するためには、正常発生メカニズムを理解することが必要である。また、人体の複雑な構造は、多くの基本的な発生プロセスの組み合わせによるものであるから、この発生プロセスの基本を理解し様々なところで応用することができれば、解剖学的構造の位置関係を理解するための助けとなる。それによって一般に言われる「解剖学は暗記である」という呪縛を解くことができるはずである。 人体解剖学の講義は、人体構造総論の内容を踏まえたうえで行われることになるので、十分に理解することが求められる。 人体発生学、人体解剖学は非常に古い学問である。そのため、人名のついた用語が多数現れる。国際的通用性の高い人名のついた用語については折に触れて紹介する。また、国家試験等においては、人名は原語の綴りで出題されるため、慣れ親しんでいただきたい。					
授業の到達目標					
到達目標は、以下のとおりである。 ①基本的な発生生物学の基本概念を理解すること。 ②基本的な発生過程やそのタイミングを、人体解剖学と関連付けながら理解すること。 ③人体の構造の配置を、発生過程から導き出すことができること。 ④臨床的に重要な事項との関連を踏まえながら理解すること。					
以下のような学習に努めていただきたい。非同期型の授業動画、講義資料、授業の参考資料は、WebClass に提示する。集合セッションでは、シラバスに示された範囲について、非同期型の授業ビデオなどで予習をしてから臨むことが求められる。 教科書「ウォルパート 発生生物学 第4版」の第1章「発生生物学の歴史と基本概念」で示される基本的な概念を理解する。巻末の「用語解説」にでている用語については、様々な科目とも関連があるので、概ね理解するように務める。 教科書「ラングマン 人体発生学 第 11 版」の太字となっている用語については、理解する。また、本書の図については、解剖学を理解するうえで、非常に助けになるので、理解し、説明できることが必要である。また、『臨床関連事項』については、正常発生を理解するための助けとなり、将来、臨床科目を理解する基礎となるので、発展的学習として学習することが必要である。 教科書「グレイ解剖学 第4版」の第1章ならびに第2～8章の「概観」は、人体発生学を理解する上で、また人体解剖学を理解するための基礎として重要であるので理解する。 「人体構造総論」の講義資料に載せてある重要な用語、人の名前のついた用語や疾患名などは、英語または原語でも理解できるようにすることが必要である。用語の中には、表記にゆれがあるものがあり、本によって異なっている場合もあるが、明らかな間違い以外についてはとくに問題にしない。					
分子的制御とシグナル伝達については、講義でとくに強調して触れたところ以外は、「人体構造総論」の科目における到達目標とはしないが、発展的学習として自習することが望ましい。また、「臨床的事項」については、正常構造や正常な発生過程の理解の助けとなるので、発展的学習として自習する。					

PS-01-02)16,22,23,24,25,26

PS-02-05)01

PS-02-06)01

PS-02-07)01

PS-02-08)01

PS-02-09)01

PS-02-10)01

PS-02-13)01

PS-02-14)01

医学科コンピテンシーよりこの科目で身につけるレベル

[I-2-B]世界的に注目されている医学／歯学／健康に関する主たるトピックについて、議論できる

[I-3-B]科学/医学/歯学専門用語/表現の理解/表記/発音ができる

[II-1-A]医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる

[II-3-B]臨床的あるいは科学的問題提起ができる

[III-1-A]他者の貢献、時間、価値感、人格を尊重し、常に敬意を払って接することができる

[III-9-A]個人の生活における責務と医学科での学習及び社会的な責務について、適切にバランスを取ることができる

[III-12-A]メンタルストレスに直面した際、それを認識し、適切な解消処置をとれる

[III-14-A]時間厳守、信頼性、適切な準備、率先性、遂行能力を示すことができる

[III-15-A]文書課題を、正確で判読しうる質にて作成し、規定期限内に提出できる

[III-16-A]本学を含めた当該機関内規、法律、専門職社会内規範を遵守できる

[III-18-A]他者への良識を逸する振舞い(無礼、短気など)を認識し、助言を求め、今後起こさぬよう振舞いを修正することができる

[III-23-A]記述、プレゼンテーション、論文、および研究情報などの利用において、著作権を尊重し、それに沿って行動できる

[III-26-A]自身の知識・能力・振舞いを批判的に省察し、長所と課題点を同定し、改善の為の学習目標を設定し、それを達成するのに適した学習活動に取り組むことができる

[III-27-A]自身に対するフィードバックにもとづき省察し自己改善を実現できる

[III-28-A]他人に建設的なフィードバックを適切な形で提示できる

[III-29-A]ポートフォリオを活用して、課題設定を行い、自己学習・自己研鑽できる

[V-1-B]疾患の病因・病態・臨床徴候などの理解に必要な基礎医学知識を提示できる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	11/22	13:30-15:00	医学科講義室1	集合セッション1:オリエンテーション、スケッチについて	秋田 恵一、 山口 久美子、 原田 理代、 室生 暁	①②③④授業後に個人課題の提出
2	11/25	08:50-10:20	遠隔授業(非同期型)	総論 1-1	秋田 恵一	①②③④動画視聴後にWebClassにて多肢選択式問題に回答
3	11/25	13:30-15:00	遠隔授業(非同期型)	総論 1-2	秋田 恵一	①②③④動画視聴後にWebClassにて多肢選択式問題に回答

4	11/29	08:50-10:20	遠隔授業 (非同期型)	総論 2-1	秋田 恵一	①②③④動画視聴後に WebClass にて多肢選択式問題に回答
5	11/29	13:30-15:00	遠隔授業 (非同期型)	総論 2-2	秋田 恵一	①②③④動画視聴後に WebClass にて多肢選択式問題に回答
6	12/2	08:50-10:20	遠隔授業 (非同期型)	総論 2-3	秋田 恵一	①②③④動画視聴後に WebClass にて多肢選択式問題に回答
7	12/6	08:50-10:20	遠隔授業 (非同期型)	総論 3	秋田 恵一	①②③④動画視聴後に WebClass にて多肢選択式問題に回答
8	12/6	10:45-12:15	遠隔授業 (非同期型)	総論 4	秋田 恵一	①②③④グループ討論、グループおよび個人課題の提出
9	12/6	13:30-15:00	医学科講義室 2	集合セッション2:総論	秋田 恵一, 山口 久美子, 原田 理代, 室生 暁	①②③④個人テスト
10	12/9	08:50-10:20	遠隔授業 (非同期型)	各論 1-1	秋田 恵一	①②③④動画視聴後に WebClass にて多肢選択式問題に回答
11	12/9	10:45-12:15	遠隔授業 (非同期型)	各論 1-2	原田 理代	①②③④動画視聴後に WebClass にて多肢選択式問題に回答
12	12/13	08:50-10:20	遠隔授業 (非同期型)	各論 2	秋田 恵一	①②③④動画視聴後に WebClass にて多肢選択式問題に回答
13	12/13	10:45-12:15	遠隔授業 (非同期型)	各論 3	秋田 恵一	①②③④動画視聴後に WebClass にて多肢選択式問題に回答
14	12/16	08:50-10:20	遠隔授業 (非同期型)	各論 4-1	秋田 恵一	①②③④動画視聴後に WebClass にて多肢選択式問題に回答
15	12/16	10:45-12:15	遠隔授業 (非同期型)	各論 4-2	秋田 恵一	①②③④動画視聴後に WebClass にて多肢選択式問題に回答
16	12/20	10:45-12:15	遠隔授業	各論 4-3	秋田 恵一	①②③④動画視聴後に WebClass にて多肢選択式問題に回答

			(非同期型)			聴後に WebClass にて多肢選択式問題に回答
17	12/20	13:30-15:00	医学科講義室 2	集合セッション3:各論 1-4	秋田 恵一, 山口 久美子, 原田 理代, 室生 暁	①②③④個人テスト
18	1/6	08:50-10:20	遠隔授業 (非同期型)	各論 5	秋田 恵一	①②③④動画視聴後に WebClass にて多肢選択式問題に回答
19	1/6	10:45-12:15	遠隔授業 (非同期型)	各論 6	秋田 恵一	①②③④動画視聴後に WebClass にて多肢選択式問題に回答
20	1/10	08:50-10:20	遠隔授業 (非同期型)	各論 7-1	秋田 恵一	①②③④動画視聴後に WebClass にて多肢選択式問題に回答
21	1/10	10:45-12:15	遠隔授業 (非同期型)	各論 7-2	秋田 恵一	①②③④動画視聴後に WebClass にて多肢選択式問題に回答
22	1/17	08:50-10:20	遠隔授業 (非同期型)	各論 7-3	秋田 恵一	①②③④動画視聴後に WebClass にて多肢選択式問題に回答
23	1/17	10:45-12:15	遠隔授業 (非同期型)	各論 8	秋田 恵一	①②③④動画視聴後に WebClass にて多肢選択式問題に回答
24	1/17	15:25-16:55	医学科講義室 2	集合セッション4:各論 5-8	秋田 恵一, 山口 久美子, 原田 理代, 室生 暁	①②③④個人テスト
25	1/31	15:25-16:55	医学科講義室 1	試験	秋田 恵一, 山口 久美子, 原田 理代, 室生 暁	①②③④試験

授業方法

● 非同期などの動画授業

指定された動画ならびに講義資料、参考資料を閲覧し、指示にあるように課題に回答する。11月22日・12月6日・12月20日・1月17日に行われる集合セッションでは、その前までに閲覧するように指示された非同期授業の内容を含むため、集合セッション前に当該講義の動画は閲覧し、指示された問題に答えておくこと。

WebClass 上にリアクションペーパーを用意する。これは、感想や質問、コメントを自由に記述してもらうためのものであり、出席管理に使うものではない。人間関係についての問題や、学習法についての質問など自由に書いていただいてもよい。内容によっては全員に対してではなく、個人的に答えることもある。コミュニケーションツールとして非常に有効であるので十分に活用してほしい。

重要な質問やコメント、ならびに全体に回答したほうが良いものについては集合セッションの中で答えるか、WebClass 上で答えることにする。優れた質問が授業内容を深める助けとなることが多い。また、講義資料、教科書等の誤りの指摘が授業の質を高めることに繋がる

ので、十分に活用してほしい。

授業動画は復習に使用できるよう、WebClass 上に閲覧可能な状態に置いておくので、本年度のみならず高学年になっても活用していただきたい。

● 同期授業 11月22日・12月6日・12月20日・1月17日の集合セッションは、講義室にて行う。

11月22日の集合セッションでは、人体構造総論や人体解剖学の学習方法、評価の方法や基準等について説明する。また、人体解剖実習における形態の観察方法や注意すべきポイントについて、説明する。実際に図の描き方についての実習も行うので、紙やペンなどを留意しておく必要がある。

12月6日・12月20日・1月17日の集合セッションでは、それまで行われた非同期授業の中から重要なポイントについて示す。さらに、最後に自習課題を示すので、学習の参考にする。

授業の動画は復習に使用できるよう、卒業まで、WebClass 上に閲覧可能な状態に置いておくので、活用していただきたい。

授業内容

授業スケジュール参照

成績評価の方法

人体構造総論の評価は、集合セッションで提示される提出課題ならびに個人テスト、1月31日に実施される筆記試験によって行う。

1)提出課題ならびに個人テスト

11月22日 提出課題 10点

12月6日・20日・1月17日の個人テスト 10点×3回

* 特別な事情なく提出期限を超えたものは未提出として扱う

2)筆記試験

基本多肢選択式問題 10題 10点

基本記述式問題 10題 50点

基本記述式問題の合格水準については、集合セッションの中で理解できるようにする。

3)筆記試験

応用多肢選択式問題 5題 10点

応用記述式問題 3題 30点

応用問題については、臨床関連事項、臨床症例を含む範囲から出題される。

成績評価の基準

人体構造総論の評価は、提出課題ならびに筆記試験の結果から、次のように行う。

・1)と2)の合計が100点中60点以上の場合に合格する。

・これに3)の点数を加えたものを、この科目の評価とする。

準備学習等についての具体的な指示

高校での生物学の履修の有無を考慮にいれないのかという声が生じはば聞かれるが、教養部での半年間に基本的な生物学的な事項についての差は自主的に埋められるはずである。また、これまでの経験上、高校での生物学の履修の有無による成績の差はほとんど見られていない。よって、高校での生物学履修の有無については人体構造総論の履修に際しては一切考慮しない。

重要なことを見極められているかについては、集合セッションで判断していただきたい。

他の科目と関連することが多い。重要な関連項目については、講義の中で折に触れて述べるので、とくにそのあたりを意識して理解していただきたい。

試験の受験資格

次のすべてが、1月31日に行われる定期試験ならびに追・再試験を受験する資格となる。

11月22日・12月6日・20日・1月17日に行われる計4回の集合セッションに参加し、提示される問題に解答し、与えられる課題を期限までに提出すること。

集合セッションに参加できない場合には、開始前の連絡を必須とする。

期限内に課題提出ができない場合には、期限前の連絡を必須とする。

いずれも、医学教務係にメールすることを原則とするが、緊急事態で電話連絡をした場合は後日メールで事情を説明することが必要である。 連絡ができないような特別な事情があったとあとで判断された場合はその限りではない。
教科書 ラングマン人体発生学／T. W. サドラー (T. W. Sadler) : メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2024 年 ウォルパート発生生物学／ルイス・ウォルパート, シェリル・ティックル 著, 武田洋幸, 田村宏治 監: メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2012 グレイ解剖学／Richard L.Drake, A.Wayne Vogl, Adam W.M.Mitchell [著], 秋田恵一 訳: エルゼビア・ジャパン, 2019
参考書 体表からわかる人体解剖学: ポケットチューター／Richard Tunstall, S. Ali Mirjalili [著]; [大川淳(ほか訳), Tunstall, Richard, Mirjalili, S. Ali, 大川, 淳, 秋田, 恵一, : 南江堂, 2021
他科目との関連 「人体構造総論」は、「人体解剖学」と密接な関係があるだけでなく、「組織学」、「生理学」、「神経解剖学」といった他の解剖学の科目、「生理学」のような機能について学ぶ科目とも密接な関係にある。 臨床的な事項との関連を、積極的に意識することで、臨床系の科目を学習する際に有機的につなげていくことができる。様々なところで関連を考えながら学んでいただきたい。
履修上の注意事項 個人課題について、他の学生のもをそのまま提出するようなことはしないこと。そのような事実が発覚した場合には、関係した学生すべてにつき未提出とする。 講義動画、講義資料、参考資料などは著作権の問題があるので、受講登録者以外に公開することを禁ずる。
備考 授業最終日から、行われるコース評価アンケートがWebClass できるようになっている。アンケートに回答しない場合は、本科目の合否が WebClass に表示されない。 昨年のアンケートよりの改善点 ・グループテストにただのりが多いというので、個人テストのみ評価の対象とする。
連絡先(メールアドレス) 秋田 恵一 akita.fana@tmd.ac.jp
オフィスアワー 秋田 恵一 メール等でアポイントメントを取る。

時間割番号	011003A						
科目名	細胞生物学			科目ID			
担当教員	中田 隆夫[NAKATA TAKAO]						
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
英文名: Cell Biology							
授業の目的、概要等							
細胞生物学は細胞を単位として生命や病気を考えるというここ100年来の生物学の哲学を基にし、多様な研究方法を駆使する学問である。実際には1960年代に始まる電子顕微鏡で発見した細胞内の構造と生化学的な機能とをリンクさせる研究から始まっている。そうすると現代生物学の大部分は細胞生物学となり、すでに高校や教養でも或る程度習っていることになる。それらとの重複を避けて、少しだけ進んだ細胞生物学になるようにした。細胞内小器官の構造と機能をやや進んだ観点から学習し、さらに細胞の自己組織化、幹細胞、オートファジー、器官形成、数理モデル化、構造生理学、光遺伝学等をそれぞれ専門の先生にお話をいただく。							
授業の到達目標							
1) 最先端研究を理解して楽しむ。 2) それぞれの先生の問題へのアプローチの違い、ものの見方の違いのようなものを理解する。 3) 現代生物学、医学研究の基本を理解する。							
文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(令和4年度改訂版) https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/116/toushin/mext_01280.html							
PS-01-01)03,04,09 PS-01-02)02,03,07,08,09,15,22							
医学科コンピテンシーよりこの科目で身につけるレベル							
Ⅰ-2-B)世界的に注目されている医学／歯学／健康に関する主たるトピックについて、議論できる							
Ⅰ-3-B)科学/医学/歯学専門用語/表現の理解/表記/発音ができる							
Ⅱ-1-A)医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる							
Ⅱ-3-B)臨床的あるいは科学的問題提起ができる							
Ⅲ-1-A)他者の貢献、時間、価値感、人格を尊重し、常に敬意を払って接することができる							
Ⅲ-9-A)個人の生活における責務と医学科での学習及び社会的な責務について、適切にバランスを取ることができる							
Ⅲ-12-A)メンタルストレスに直面した際、それを認識し、適切な解消処置をとれる							
Ⅲ-14-A)時間厳守、信頼性、適切な準備、率先性、遂行能力を示すことができる							
Ⅲ-15-A)文書課題を、正確で判読しうる質にて作成し、規定期限内に提出できる							
Ⅲ-16-A)本学を含めた当該機関内規、法律、専門職社会内規範を遵守できる							
Ⅲ-18-A)他者への良識を逸する振舞い(無礼、短気など)を認識し、助言を求め、今後起こさぬよう振舞いを修正することができる							
Ⅲ-23-A)記述、プレゼンテーション、論文、および研究情報などの利用において、著作権を尊重し、それに沿って行動できる							
Ⅲ-26-A)自身の知識・能力・振舞いを批判的に省察し、長所と課題点を同定し、改善の為の学習目標を設定し、それを達成するのに適した学習活動に取り組むことができる							
Ⅲ-27-A)自身に対するフィードバックにもとづき省察し自己改善を実現できる							
Ⅲ-28-A)他人に建設的なフィードバックを適切な形で提示できる							
Ⅲ-29-A)ポートフォリオを活用して、課題設定を行い、自己学習・自己研鑽できる							
Ⅳ-1-B)疾患の病因・病態・臨床徴候などの理解に必要な基礎医学知識を提示できる							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他

1	10/4	08:50-10:20	共用講義 室1	メンブレントラフィック	メンブレントラフィックについて学 ぶ	中田 隆夫	【到達目標】1)2)3) 【学習方法】対面 講義【アクティ ブラーニング】質疑 応答
2	10/7	08:50-10:20	共用講義 室1	器官形成の遺伝学（モ デル動物としての魚類）	器官形成の遺伝学について学ぶ	仁科 博史	【到達目標】1)2)3) 【学習方法】対面 講義【アクティ ブラーニング】質疑 応答
3	10/11	08:50-10:20	共用講義 室1	オートファジー、細胞内 分解系	オートファジー、細胞内分解系に ついて学ぶ	水島 昇	【到達目標】1)2)3) 【学習方法】対面 講義【アクティ ブラーニング】質疑 応答
4	10/18	08:50-10:20	アクティ ブラーニ ング教室	細胞の自己組織化	細胞の自己組織化について学ぶ	武部 貴則	【到達目標】1)2)3) 【学習方法】 ZOOM使用【アク ティブラーニン グ】質疑応答
5	10/25	13:30-15:00	共用講義 室1	オルガネラ品質管理と 神経変性疾患の関連に ついて	オルガネラ品質管理と神経変性疾 患の関連について学ぶ	松田 憲之	【到達目標】1)2)3) 【学習方法】対面 講義【アクティ ブラーニング】質疑 応答
6	10/28	08:50-10:20	共用講義 室1	Cell biology in English	細胞生物学について英語で学ぶ	CHENG LIH ONG	【到達目標】1)2)3) 【学習方法】対面 講義【アクティ ブラーニング】質疑 応答
7	11/1	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	幹細胞を用いた再生医 療	幹細胞を用いた再生医療につい て学ぶ	難波 大輔	【到達目標】1)2)3) 【学習方法】対面 講義【アクティ ブラーニング】質疑 応答・レポート課 題
8	11/8	08:50-10:20	共用講義 室1	細胞死の分子機構	細胞死の分子機構について学ぶ	瀬川 勝盛	【到達目標】1)2)3) 【学習方法】対面 講義【アクティ ブラーニング】質疑 応答
9	11/11	08:50-10:20	共用講義 室1	細胞骨格と分子モー ター	細胞骨格と分子モーターについて 学ぶ	吉原 壮悟	【到達目標】1)2)3) 【学習方法】対面 講義【アクティ ブラーニング】イマ ギクによる質疑 応答
10	11/15	08:50-10:20	共用講義 室1	構造生理学	構造生理学について学ぶ	藤古 好則	【到達目標】1)2)3) 【学習方法】対面

							講義【アクティブラーニング】小テスト(ノート閲覧可)
11	11/18	08:50-10:20	共用講義室1, 遠隔授業(同期型)	細胞内シグナル伝達系の数理モデル	細胞内シグナル伝達系の数理モデルについて学ぶ	中林 潤	【到達目標】1)2)3) 【学習方法】ZOOM使用【アクティブラーニング】質疑応答、レポート課題
12	11/22	08:50-10:20	共用講義室1	光遺伝学	光遺伝学について学ぶ	浅野 豪文	【到達目標】1)2)3) 【学習方法】対面講義【アクティブラーニング】イマキクによる質疑応答
13	1/27	08:50-10:20	医学科講義室2	細胞生物学試験		CHENG LIHONG 吉原 壮悟	

授業方法

講師により対面授業あるいはZOOMによる同期授業の形式となるので、授業スケジュールの授業明細を確認しておくこと。ZOOMチャット機能やイマキクなどを使った双方向授業、レポート課題といったアクティブラーニングを行う。講義後の質問には、WebClass上に講義毎のリアクションペーパーを用意し、WebClass上で回答することで対応する。出席は確認しないが、講義中にレポート課題が出されることがある。

授業内容

授業スケジュール参照

成績評価の方法

授業でレポート課題が出た場合、一つにつき10点満点(アンケート形式のものは2点)で採点する。2025年1月27日に実施される筆記試験と合わせて合計100点満点とし、成績評価とする。

成績評価の基準

成績評価100点満点中、60点以上で合格とする。それぞれの講義の内容をその人なりに大まかに理解できているかどうかが合格の基準であり、より深く理解している場合に評価が上がる。

準備学習等についての具体的な指示

教養で学習した細胞生物学関連の内容について復習しておく。教養までの生物学でややふやな点がある者は細胞生物学のごく簡単な教科書でよいから、読んでおくとい(特に方法)。

試験の受験資格

原則として出席は取らないが、授業中に課されたレポート提出が受験資格となる。

教科書

Molecular biology of the cell, 7th ed./Bruce Alberts 著:WW Norton & Co, 2022

細胞の分子生物学 原著第6版/Bruce Alberts, Alexander Johnson, Julian Lewis, David Morgan, Martin Raff, Keith Roberts, Peter Walter 著, 中村桂子, 松原謙一 監訳:ニュートンプレス, 2017

ESSENTIAL CELL BIOLOGY, 5th Edition/B. Alberts 著:WW Norton & Co, 2018

Essential 細胞生物学 原著第5版/BRUCE ALBERTS, KAREN HOPKIN, ALEXANDER JOHNSON, DAVID MORGAN, MARTIN RAFF, KEITH ROBERTS, PETER WALTER 著,中村桂子, 松原謙一, 榎佳之, 水島昇 監訳,青山聖子 [ほか] 訳,Alberts, Bruce,Hopkin, Karen,Johnson, Alexander D,Morgan, David Owen, 1958-,Raff, Martin C,Roberts, K. (Keith:南江堂, 2021

参考書

数でとらえる細胞生物学/Ron Milo, Rob Phillips 著,Milo, Ron,Phillips, Rob (Robert Brooks),舟橋 啓,:羊土社, 2020

各講義で適宜紹介する。

履修上の注意事項

未発表の研究内容も含まれている可能性があること、講義資料などは著作権の問題があることなどから配布された資料は外部に公開することを禁じる。また、その関係からすべての講義で資料は配布されるわけではない。

備考

例年コース評価では最新の研究内容の講義が好評である。講師の入れ替えや講義内容の更新などを行っている。
またレポート課題が出された場合、それを採点し成績評価に加えることにした。

参照ホームページ

iBiology

<https://www.ibiology.org/>

細胞生物学を含めた生物学各分野の世界の第一人者が 20 分程で自分の研究の話をする(英語)。研究者の人となりも分かるし、英語の聞き取りの勉強にもなる。

連絡先(メールアドレス)

中田 隆夫:info.cbio@tmd.ac.jp

オフィスアワー

中田 隆夫:10:00-17:00 事前連絡してから訪問すること。
M&D タワー18 階 細胞生物学分野事務室・教員室

時間割番号	011010		
科目名	医歯学基盤教育(臨床統計Ⅰ)	科目ID	
担当教員	小池 竜司, 能登 洋, 木下 淳博, 徳永 伸一 [KOIKE RYUJI, NOTO HIROSHI, KINOSHITA ATSUHIRO, TOKUNAGA SHINICHI]		
開講時期	2024 年度通年	対象年次	2
実務経験のある教員による授業	該当する		
主な講義場所 オンラインによる遠隔講義（非同期型）および対面式試験			
授業の目的、概要等 医療・研究において必要とされる統計学の基礎と臨床的意義を学ぶ。基本的な概念や手法や臨床での活用を習得するほか統計学の思想や数学的原理の理解にも触れる。さらに、問題解決において必須となる情報収集を適切に効果的に行う能力を習得するほか、情報セキュリティと著作権にも触れる。 実験デザインの基礎を学び、プロジェクトセメスターで臨床研究を行う際の研究基盤をつくる。			
授業の到達目標 1) エビデンスを正しく読解できる統計学的知識と臨床的技能を習得する。 2) 医療論文の批判的吟味・検定の選択と実践を習得する。 3) 統計学の基礎となる数学的理論を習得する。 4) 適正な情報管理を習得する。 文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(令和4 年度改訂版) https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/116/toushin/mext_01280.html GE-01-04)01,02,04 GE-02-02)05 GE-04-01)03 GE-04-02)01,02,03 GE-01-04)04 RE-03-02)01 RE-04-01)03 RE-05-02)01 IT-01-02)01 IP-02-03)02 IP-02-04)01 SO-01-01)03 SO-01-03)01,02 SO-02-01)02 SO-02-02)03,04,05 SO-02-03)02,03,04,05 SO-03-01)05 SO-04-01)01 医学科コンピテンシーよりこの科目で身につけるレベル [I-2-B]世界的に注目されている医学/歯学/健康に関する主たるトピックについて、議論できる [I-3-B]科学/医学/歯学専門用語/表現の理解/表記/発音ができる [II-3-B]臨床的あるいは科学的問題提起ができる [III-1-A]他者の貢献、時間、価値感、人格を尊重し、常に敬意を払って接することができる			

[Ⅲ-9-A]個人の生活における責務と医学科での学習及び社会的な責務について、適切にバランスを取ることができる

[Ⅲ-12-A]メンタルストレスに直面した際、それを認識し、適切な解消処置をとれる

[Ⅲ-14-A]時間厳守、信頼性、適切な準備、率先性、遂行能力を示すことができる

[Ⅲ-15-A]文書課題を、正確で判読しうる質にて作成し、規定期限内に提出できる

[Ⅲ-16-A]本学を含めた当該機関内規、法律、専門職社会内規範を遵守できる

[Ⅲ-18-A]他者への良識を逸する振舞い(無礼、短気など)を認識し、助言を求め、今後起こさぬよう振舞いを修正することができる

[Ⅲ-23-A]記述、プレゼンテーション、論文、および研究情報などの利用において、著作権を尊重し、それに沿って行動できる

[Ⅲ-26-A]自身の知識・能力・振舞いを批判的に省察し、長所と課題点を同定し、改善の為の学習目標を設定し、それを達成するのに適した学習活動に取り組むことができる

[Ⅲ-27-A]自身に対するフィードバックにもとづき省察し自己改善を実現できる

[Ⅲ-28-A]他人に建設的なフィードバックを適切な形で提示できる

[Ⅲ-29-A]ポートフォリオを活用して、課題設定を行い、自己学習・自己研鑽できる

[Ⅳ-4-C]多学科チームでの学習の場で、敬意を払って会話し、チームに貢献し学習できる

[Ⅴ-1-B]情報技術を利用し、関連する情報源/エビデンスを発見できる

[Ⅴ-2-B]臨床上の問題を明確化できる

[Ⅴ-3-B]研究デザインや統計的手法についての知識を提示できる

[Ⅴ-4-B]医学的介入(予防/治療)に関するエビデンス吟味に用いられる用語(NNT, NNH など)を説明できる

[Ⅴ-5-C]入手したエビデンスのレベルを正確に説明できる

[Ⅴ-6-B]診療ガイドラインにアクセスし、仮想症例の検討に活用できる

[Ⅴ-7-B]診断に関するエビデンス吟味に用いられる用語(感度、特異度、尤度比など)を説明できる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/11	10:05-10:55	遠隔授業 (非同期型)	臨床統計Ⅰ-1	統計学と医療(総論)	能登 洋	【到達目標】1), 2) 【学習方法】講義 聴講 【その他】 授業終了後 15 分 以内に小テストの 回答を能登にメール送信する。
2	4/11	11:10-12:00	遠隔授業 (非同期型)	臨床統計Ⅰ-2	統計学と医療(統計の種類)	能登 洋	【到達目標】1), 2) 【学習方法】講義 聴講 【その他】 授業終了後 15 分 以内に小テストの 回答を能登にメール送信する。
3	4/18	10:05-10:55	遠隔授業 (非同期型)	臨床統計Ⅰ-3	統計学と医療(相関)	能登 洋	【到達目標】1), 2) 【学習方法】講義 聴講 【その他】 授業終了後 15 分 以内に小テストの 回答を能登にメール送信する。
4	4/18	11:10-12:00	遠隔授業 (非同期型)	臨床統計Ⅰ-4	統計学と医療(因果)	能登 洋	【到達目標】1), 2) 【学習方法】講義 聴講 【その他】 授業終了後 15 分 以内に小テストの 回答を能登にメール送信する。

							ル送信する。
5	5/23	10:05-10:55	遠隔授業 (非同期 型)	臨床統計 I -5	統計学と医療(検査特性)	能登 洋	【到達目標】1)、2) 【学習方法】講義 聴講(授業時間内 に聴講)【その他】 授業終了後 15 分以内に小テスト の回答を能登に メール送信する。
6	5/23	11:10-12:00	遠隔授業 (非同期 型)	臨床統計 I -6	統計学と医療(検査前後確率)	能登 洋	【到達目標】1)、2) 【学習方法】講義 聴講【その他】 授業終了後 15 分 以内に小テストの 回答を能登にメー ル送信する。
7	6/13	10:05-10:55	遠隔授業 (非同期 型)	臨床統計 I -7	統計学と医療(事象と確率)	徳永 伸一	【到達目標】1)、3) 【学習方法】講義 聴講、演習、小テ スト(回答方式は 後日指示)
8	6/13	11:10-12:00	遠隔授業 (非同期 型)	臨床統計 I -8	統計学と医療(確率変数と確率分 布)	徳永 伸一	【到達目標】1)、3) 【学習方法】講義 聴講、演習、小テ スト(回答方式は 後日指示)
9	6/25	10:05-10:55	医学科講 義室 1	臨床統計 I -9	応用演習(能登担当分)	能登 洋	【到達目標】1)、2) 【学習方法】演習
10	7/8	10:05-10:55	遠隔授業 (非同期 型)	臨床統計 I -10	統計学と医療(分布1)	徳永 伸一	【到達目標】1)、3) 【学習方法】講義 聴講、演習、小テ スト(回答方式は 後日指示)
11	7/8	11:10-12:00	遠隔授業 (非同期 型)	臨床統計 I -11	統計学と医療(分布2)	徳永 伸一	【到達目標】1)、3) 【学習方法】講義 聴講、演習、小テ スト(回答方式は 後日指示)
12	7/22	10:05-10:55	遠隔授業 (非同期 型)	臨床統計 I -12	統計学と医療(検定1)	徳永 伸一	【到達目標】1)、3) 【学習方法】講義 聴講、演習、小テ スト(回答方式は 後日指示)
13	7/22	11:10-12:00	遠隔授業 (非同期 型)	臨床統計 I -13	統計学と医療(検定2)	徳永 伸一	【到達目標】1)、3) 【学習方法】講義 聴講、演習、小テ スト(回答方式は 後日指示)
14	9/5	10:05-10:55	遠隔授業	臨床統計 I -14	統計学と医療(検定3)	徳永 伸一	【到達目標】1)、3)

			(非同期型)				【学習方法】講義 聴講、演習、小テスト(回答方式は後日指示)
15	9/5	11:10-12:00	遠隔授業 (非同期型)	臨床統計Ⅰ－15	統計学と医療(検定4)	徳永 伸一	【到達目標】1), 3) 【学習方法】講義 聴講、演習、小テスト(回答方式は後日指示)
16	9/20	10:05-10:55	遠隔授業 (非同期型)	臨床統計Ⅰ－16	情報セキュリティと情報倫理	木下 淳博	【到達目標】1), 4) 【学習方法】講義 聴講 【その他】 学習評価テスト (多肢選択および事例に対する自身の判断とその根拠・考え方の記述)を行う
17	10/3	11:10-12:00	医学科講義室Ⅰ	臨床統計Ⅰ－17	応用演習(徳永担当分)	徳永 伸一	【到達目標】1), 3) 【学習方法】演習
18	10/8	10:05-10:55	遠隔授業 (非同期型)	臨床統計Ⅰ－18	統計学と医療(治療・予防1)	能登 洋	【到達目標】1), 2) 【学習方法】講義 聴講 【その他】 授業終了後15分以内に小テストの回答を能登にメール送信する。
19	10/8	11:10-12:00	遠隔授業 (非同期型)	臨床統計Ⅰ－19	統計学と医療(治療・予防2)	能登 洋	【到達目標】1), 2) 【学習方法】講義 聴講 【その他】 授業終了後15分以内に小テストの回答を能登にメール送信する。
20	10/10	10:05-10:55	遠隔授業 (非同期型)	臨床統計Ⅰ－20	統計学と医療(治療・予防3)	能登 洋	【到達目標】1), 2) 【学習方法】講義 聴講 【その他】 授業終了後15分以内に小テストの回答を能登にメール送信する。
21	10/10	11:10-12:00	遠隔授業 (非同期型)	臨床統計Ⅰ－21	統計学と医療(治療・予防4)	能登 洋	【到達目標】1), 2) 【学習方法】講義 聴講 【その他】 授業終了後15分以内に小テストの回答を能登にメール送信する。
22	10/24	11:10-12:00	医学科講義室Ⅰ	臨床統計Ⅰ－22	応用演習(能登担当分)	能登 洋	【到達目標】1), 2) 【学習方法】演習

授業方法 非同期型遠隔授業(録画放映)を行う。 講義動画を WebClass にアップし、視聴期間を設定する(授業スケジュール参照)。期間内の視聴が確認できたら出席とする(アクセス記録の有無で判定)。 講義動画を視聴後、指示された課題レポートを期日内に提出する。 視聴期間後も講義録画を再視聴できる。 質問がある場合は、まずメールにて担当教員に連絡を取る。担当教員は質問内容に応じた方式で回答する。
授業内容 ・Evidence-Based Medicine ・統計の種類と研究の種類 ・相関・検査特性・治療/予防に関する統計学の基礎と応用法 ・統計学の思想や確率と確率分布を含む数学的原理 ・情報セキュリティと情報倫理
成績評価の方法 応用演習(3回のテスト)とレポートを主として評価する(約 90%)。具体的には、能登担当分は前半および後半の計 2 回のテスト得点を合算し、再試験対象者を選定する。徳永担当分は 1 回のテスト得点およびレポートに基づいて再試験該当者を選定する。木下担当分はレポートを採点する。その上で各テスト/レポート範囲の授業数や平均点に基づいて各担当者の得点を二重合算する(ただし、[例年と比較した総合平均点の差]や、[試験ごとの平均点の乖離]が狭まるよう配分を適宜事後調整する)。また、小テスト回答や積極性や出席数についても適宜勘案する(約 10%)。 授業中のクイズ・アンケートには回答投票しなくてよいが、その場で考えること。授業後の小テストは出席点として加味したり Web Class トラブル時の出席カウント代替法として利用したりする。小テストは学生の理解度を把握する目的なのでその得点は成績に関係しない。なお、能登担当講義での小テストは授業終了後 15 分以内に能登宛にメールで回答すること、他の教官担当レポートの提出期日については講義時に指示する。
成績評価の基準 上記の応用演習・レポートによる得点および小テスト回答や積極性や出席数による得点を合計し、100 点満点に換算して 60 点以上の場合に合格とする。 60 点以上の得点をそのまま当科目の最終評価点とする。 成績評価・追試・再試については、上記成績評価(計 100%)に基づき、原則として東京医科歯科大学試験規則に従う。 レポート内容については電子的ツールでも分析し、剽窃が判明した場合は減点対象とする。
準備学習等についての具体的な指示 教科書および Web Class 上にアップロードされる資料等を活用して予習・復習に役立てること。 生協での教科書販売については生協に直接問い合わせること。教科書は授業前に購入しておくことが望ましい。
試験の受験資格 医学部・歯学部第 2 学年(履修上の注意事項参照) 本学規定のとおり、ブロック全体で 2/3 以上の出席と試験での合格評価を履修要件とする。出席数の計算に関しては、視聴履歴(アクセス記録の有無で判定)と小テスト回答数を確認し、従来と同じ規定に基づいて出欠席を判定する。 特別に勘案すべき事情により指示が達成できない場合や授業を視聴できない場合には、その事情とともに締め切り期日前、ならびに授業の始まる前までに科目責任者または教務係にメールなどで日時の記録が残る形で連絡すること。緊急の場合は電話でもよいが、その後メール連絡すること。連絡ができないような特別な事情があったと後で判断された場合はその限りでない。これらの十分な対応が行われていたと判断された場合には、事情に応じてレポートなどでの対応を行う。
教科書 スッキリわかる臨床統計ははじめの一步：統計のイロハからエビデンスの読み解き方・活かし方まで／能登洋：羊土社、2018
参考書 日常診療にすぐに使える臨床統計学：ベストな診断と治療ができる!／能登洋：羊土社、2011 数学/統計学／井川俊彦 [ほか]：医歯薬出版、2005 やさしい医療系の統計学／佐藤敏雄・村松幸：医歯薬出版、2002 入門統計解析／松原望：東京図書、2007-10

誰でも分かる著作権：情報化・コンテンツ・教育関係者のために：この1冊で／岡本薫:全日本社会教育連合会, 2005

他科目との関連

グローバルコミュニケーション・生命倫理と相互関連した講義内容である。

履修上の注意事項

・予習課題について事前連絡することがあるため、WebClass を受講前に確認すること。・「応用演習」の回では到達度を測る目的で試験を実施する。・進級条件は原則として東京医科歯科大学試験規則に従う。・各講義の遅刻・早退は原則的に認めない。また、出席手続きなどの不正に対しては厳正に対処する。・講義動画、講義資料・参考資料などは著作権の問題があるため、受講登録者以外に公開することを禁ずる。

備考

連絡先(メールアドレス)

能登 洋: hpnytx@icloud.com

時間割番号	011006		
科目名	生理学	科目ID	
担当教員	磯村 宜和, 古川 哲史, 平 理一郎, 吉田 雅幸, 金兼 弘和, 蘇原 映誠, 池田 賢司, ALAIN ANTONIO RIO S, 角 勇樹, 川端 政則[ISOMURA Yoshikazu, FURUKAWA TETSUSHI, HIRA Riichirou, YOSHIDA MASAYUKI, KANEGANE HIROKAZU, SOHARA EISEI, IKEDA Kenji, ALAIN Antonio Rios, SUMI YUKI, KAWABATA Masanori]		
開講時期	2024 年度前期	対象年次	2
実務経験のある教員による授業	該当する		
生理学			
授業の目的、概要等			
生理学は、ヒトや動物が生存するために必要な身体の正常な仕組みや働きを、分子、細胞、組織、器官、系、個体、社会レベルにわたる階層性を踏まえて理解する学問である。この生理学の授業では、医師や研究者を目指すにあたって、医学・科学の理解に必要な基礎知識を幅広く身につけるとともに、物事を科学的に議論できる力を養うことを目的とする。			
授業の到達目標			
人体機能の特性とメカニズムを理解する上で必要な以下の能力を身につける。 ①医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる。 ②疾患の病因・病態・臨床徴候などの理解に必要な基礎医学知識を提示できる。 ③世界的に注目されている医学／歯学／健康に関する主たるトピックについて、議論でき、臨床的あるいは科学的問題提起ができる。 ④実習実験を実施して結果を得、それを口頭あるいは書面で明確に説明できる。 ⑤本学を含めた当該機関内規、法律、専門職社会内規範を遵守し、基礎的および臨床的研究の倫理的事項に配慮して実習を行える。 ⑥文書課題を、正確で判読しうる質にて作成し、規定期限内に提出できる。 ⑦記述、プレゼンテーション、論文、および研究情報などの利用において、著作権を尊重し、それに沿って行動できる。 ⑧科学/医学/歯学専門用語/表現の理解/表記/発音ができる。 ⑨他者の貢献、時間、価値感、人格を尊重し、常に敬意を払って接することができる。 ⑩時間厳守、信頼性、適切な準備、率先性、遂行能力を示すことができる。 ⑪自身の知識・能力・振舞いを批判的に省察し、長所と課題点を同定し、改善の為の学習目標を設定し、それを達成するのに適した学習活動に取り組むことができる。			
文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(令和4年度改訂版) https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/116/toushin/mext_01280.html			
PS-01-01)02,03,04,09 PS-01-02)01,02,03,04,05,06,07,08,10,11,12,14,19,20,21,27,28,29,30,35,36 PS-01-04)07,12,14 PS-02-14)06			
医学科コンピテンシーよりこの科目で身につけるレベル			
[I-2-B]世界的に注目されている医学／歯学／健康に関する主たるトピックについて、議論できる [I-3-B]科学/医学/歯学専門用語/表現の理解/表記/発音ができる [II-1-A]医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる [II-2-B]基礎的および臨床的研究の倫理的事項に配慮して実習を行える [II-3-B]臨床的あるいは科学的問題提起ができる [II-4-B]実習実験を実施して結果を得ることができる [II-5-B]実習実験により得られた結果の意義を、口頭あるいは書面で明確に説明できる [III-1-A]他者の貢献、時間、価値感、人格を尊重し、常に敬意を払って接することができる [III-9-A]個人の生活における責務と医学科での学習及び社会的な責務について、適切にバランスを取ることができる [III-10-A]自立と監督・指導の必要性との適切なバランスを常に保つことができる [III-12-A]メンタルストレスに直面した際、それを認識し、適切な解消処置をとれる			

[Ⅲ-14-A]時間厳守、信頼性、適切な準備、率先性、遂行能力を示すことができる
 [Ⅲ-15-A]文書課題を、正確で判読しうる質にて作成し、規定期限内に提出できる
 [Ⅲ-16-A]本学を含めた当該機関内規、法律、専門職社会内規範を遵守できる
 [Ⅲ-17-A]常に、誠実さ、正直さ、確実さをもって行動できる
 [Ⅲ-18-A]他者への良識を逸する振舞い(無礼、短気など)を認識し、助言を求め、今後起こさぬよう振舞いを修正することができる
 [Ⅲ-19-B]情報やデータ収集におけるエラーを認識し、学習グループのメンバーや指導・監督者に報告できる
 [Ⅲ-23-A]記述、プレゼンテーション、論文、および研究情報などの利用において、著作権を尊重し、それに沿って行動できる
 [Ⅲ-26-A]自身の知識・能力・振舞いを批判的に省察し、長所と課題点を同定し、改善の為の学習目標を設定し、それを達成するのに適した学習活動に取り組むことができる
 [Ⅲ-27-A]自身に対するフィードバックにもとづき省察し自己改善を実現できる
 [Ⅲ-28-A]他人に建設的なフィードバックを適切な形で提示できる
 [Ⅲ-29-A]ポートフォリオを活用して、課題設定を行い、自己学習・自己研鑽できる
 [V-1-B]疾患の病因・病態・臨床徴候などの理解に必要な基礎医学知識を提示できる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/10	08:50-10:20	医学科講義室 1	生理学総論	生理学の考え方と細胞の仕組みと働きを学習する。eラーニングの学修方法を指示をする。	礒村 宜和	①②③⑥⑦⑧ 規則正しい生活習慣を心がけ、同期型授業・非同期型授業ともに可能な限りの出席/視聴に努めること。別途、必ずeラーニングを学修し、期限内に所定の成績を収めておくこと。
2	4/10	10:45-12:15	医学科講義室 1	筋収縮(1)	筋収縮の仕組みと働きを細胞・分子レベルで学習する。	礒村 宜和	①②③⑥⑦⑧
3	4/17	08:50-10:20	医学科講義室 1	筋収縮(2)	筋収縮の仕組みと働きを細胞・分子レベルで学習する。	礒村 宜和	①②③⑥⑦⑧
4	4/17	10:45-12:15	医学科講義室 1	内分泌(1)	身体機能や恒常性に必要な内分泌系の仕組みと働きを学習する。	平 理一郎	①②③⑥⑦⑧
5	4/24	08:50-10:20	医学科講義室 1	循環(1)	循環器系の生理学を臨床を見据えて学習する。	吉田 雅幸	①②③⑥⑦⑧
6	4/24	10:45-12:15	医学科講義室 1	内分泌(2)	身体機能や恒常性に必要な内分泌系の仕組みと働きを学習する。	平 理一郎	①②③⑥⑦⑧
7	5/1	08:50-10:20	医学科講義室 1	心臓(1)	心臓の生理学を臨床を見据えて学習する。	古川 哲史	①②③⑥⑦⑧
8	5/1	10:45-12:15	医学科講義室 1	循環(2)	循環器系の生理学を臨床を見据えて学習する。	吉田 雅幸	①②③⑥⑦⑧
9	5/8	08:50-10:20	医学科講義室 1	呼吸生理(1)	呼吸器系の生理学を臨床を見据えて学習する。	角 勇樹	①②③⑥⑦⑧動画視聴後、小テストを解く。(要確認)
10	5/8	10:45-12:15	医学科講義室 1	内分泌(3)	身体機能や恒常性に必要な内分泌系の仕組みと働きを学習する。	平 理一郎	①②③⑥⑦⑧

11	5/15	08:50-10:20	医学科講義室 1	心臓(2)	心臓の生理学を臨床を見据えて学習する。	古川 哲史	①②③⑥⑦⑧
12	5/15	10:45-12:15	医学科講義室 1	代謝生理	代謝や内分泌の生理学を臨床を見据えて学習する。	池田 賢司	①②③⑥⑦⑧
13	5/22	08:50-10:20	医学科講義室 1	呼吸生理(2)	呼吸器系の生理学を臨床を見据えて学習する。	角 勇樹	①②③⑥⑦⑧動画視聴後、小テストを解く。(要確認)
14	5/22	10:45-12:15	医学科講義室 1	体温調節	体温調節の仕組みと働きを学習する。英語授業	ALAIN ANTONIO RIOS	①②③⑥⑦⑧
15	5/29	08:50-10:20	医学科講義室 1	心臓(3)	心臓の生理学を臨床を見据えて学習する。	古川 哲史	①②③⑥⑦⑧
16	5/29	10:45-12:15	医学科講義室 1	血液生理	血液系の生理学を臨床を見据えて学習する。	金兼 弘和	①②③⑥⑦⑧
17	6/5	08:50-10:20	遠隔授業(非同期型)	腎臓(1)	腎臓・泌尿器系の生理学を臨床を見据えて学習する。	蘇原 映誠	①②③⑥⑦⑧動画視聴後、小テストを解く。(要確認)
18	6/5	10:45-12:15	医学科講義室 1	生体リズム	生体が示す概日リズムなどの仕組みと働きを学習する。	礒村 宜和	①②③⑥⑦⑧
19	6/6	08:50-10:20	遠隔授業(非同期型)	腎臓(2)	腎臓・泌尿器系の生理学を臨床を見据えて学習する。	蘇原 映誠	①②③⑥⑦⑧動画視聴後、小テストを解く。(要確認)
20	6/6	10:45-12:15	医学科講義室 1	消化と吸収	消化と吸収と消化管運動の仕組みと働きを学習する。	川端 政則	①②③⑥⑦⑧
21	6/19	08:50-10:20	遠隔授業(非同期型)	e-ラーニング	各自、e-ラーニングに取り組む。	礒村 宜和	①②③⑥⑦⑧
22	6/19	10:45-12:15	医学科講義室 1	アクティブラーニング	生理学の課題を主体的に考えて解決する。	礒村 宜和 平 理一郎 A LAIN ANTONIO RIOS, 川端 政則	①～⑪(すべて)生理学の課題を巡ってグループ討論を実施する予定である。全員出席(対面式予定)。
23	6/21	10:45-12:15	医学科講義室 1	脳と体(研究紹介)	脳と身体の相互作用を研究例から学習する。	礒村 宜和	①②③⑥⑦⑧
24	6/28	10:45-12:15	医学科講義室 1	生理学試験	授業で学んだ内容を中心に出題する。選択肢および記述式問題を予定している。	礒村 宜和	①～⑪(すべて)

授業方法

同期型授業(対面式またはZoomオンライン)または非同期型授業(動画視聴など)の混成とし、本学の生理学(細胞生理学分野)および臨床系の教員が担当する。一部の授業では、応用力を養うためにアクティブ・ラーニング(対面式グループ討論の予定)を導入する。また、国際感覚を養うために英語による授業も一部導入する。授業後の質問や問い合わせは、各授業の担当教員または科目責任者にメールで連絡すること。

各講義とは別に、生理学の理解に必要な基礎的な知識を自己学習で身に付けるために、所定の期限までの e-ラーニング(エルゼビア・ジャパン社 ClinicalKey student(CKSJ)生理学)の受講を義務付ける。e-ラーニングに取り組むための授業時間(非同期型)を設定するので、その時間を利用してもよいし、先取りして進めても構わない。e-ラーニングの受講は生理学試験の受験資格の一つとし(前述)、成績評価に

も使用する(後述)。e ラーニングの問題や解説の内容に関する疑問点は、オンライン解説や教科書(推奨:ガイトン生理学※)を参考にして自ら解決すること(質問は受け付けない)。受講方法に関する問い合わせは科目責任者まで、システムに関する問い合わせはエルゼビア・ジャパン社の担当窓口まで連絡すること。
授業内容 授業では、心機能・循環、筋収縮、呼吸、腎機能、血液、消化・吸収、内分泌、代謝などの生理学を中心に扱う。一部に順番が前後したり、重複したりする項目がある。従って、教育カリキュラムに従うのみではなく、教科書や e ラーニング教材を活用して自主的に学習して、断片的ではない体系化された基礎医学を各自構築されたい。教科書にはガイトン生理学、標準生理学、ギャノン生理学を挙げる。いずれも優れた生理学の教科書であり、購入または図書館の貸出利用を勧める。特にガイトン生理学(原著第 13 版 2018 年訳)は、e ラーニングと連携して学習できる利点がある。
成績評価の方法 筆記試験(A)の得点(配点 70 点)と e ラーニング(B)の最高得点(配点 30 点)の合計(100 点満点)で評価する。※ただし、本学医学科以外の履修生に対してはレポート等により個別に成績評価する。 A) 筆記試験(本試験 2024 年 6 月 28 日予定) 生理学試験の受験資格 1)2)を有する履修生に対し、基本的に同期型および非同期型の授業内容および関連事項を中心として、選択肢および記述式問題として出題する(70 点)。従って、毎回の授業に出席し、教員が示す重要な項目を良く理解することが肝要である。一部は英語で出題する(日本語による授業の範囲を含む)。 B) e ラーニング(2024 年 6 月 21 日 17 時締切) e ラーニング(エルゼビア・ジャパン社 ClinicalKey student(CKSJ)生理学)を指定通りに受講し、すべての回(全 6 回)で所定の正解率(60%)を上回る成績に到達していることが前提である。e ラーニングの問題は基礎レベルの選択肢問題(日本語を中心とし、各自に異なる問題が毎回 10 問ずつ出題される(総計 60 問)。本人自らが取り組む限り、教科書や授業ノートを参考にしてもよいし、同一問題あるいは問題を入れ替えた 10 問を再設定して何度でも挑戦してもよい。6 回分の取り組み順も問わない。各回すべてで所定の正解率(60%)を上回ったうえで、各々の最高得点を合計して e ラーニングの取り組みを評価する。評価点は 1 問正解につき 0.5 点を与える。従って、各回の合格点は 5 点満点中の 3 点以上となり、e ラーニング全体の合格点は 18 点から 30 点までの範囲となる。締切日までに所定の成績に達していない場合は、理由の如何にかかわらず(接続不良を含む)、生理学試験の受験資格を得られないことになるので注意すること。
成績評価の基準 筆記式の本試験(配点 70 点)と e ラーニング(配点 30 点)の合計点(100 点満点)を算出し、合計 60 点を合格(B)の基準点とする。この基準を上回る得点に応じて、(B)より上の評価を与える。追試験の評価には e ラーニングの実績を含めるが、再試験には含めない。
準備学習等についての具体的な指示 最初の授業で指示する通りに e ラーニングを計画的に受講しておくこと。また、教科書を使って授業の予習や復習をしておくことが望ましい。
試験の受験資格 1)同期型・非同期型授業の受講 同期型／非同期型授業ともに原則として出欠はとらないが、可能な限りの出席／視聴に努めること。ただし、アクティブラーニングを実施する授業では授業開始からの出席を必要とする。やむを得ない理由による場合を除き、アクティブラーニングの欠席者は本試験の受験資格を失うことがある。 ※原則として個々の出席回数(視聴履歴)の問い合わせには対応しない。 ※大幅な遅刻・早退をしないように規則正しい生活習慣に努め、オンライン接続環境の維持に留意すること。 2)e ラーニングの完了 2024 年 6 月 21 日(金)17 時までに、最初の授業で指示する方法で e ラーニング(エルゼビア・ジャパン社 ClinicalKey student(CKSJ)生理学)を自己学習として受講し、全 6 回いずれも所定の正解率を上回る成績に到達していること(成績評価の方法を参照のこと)。各自の受講状況は、当該システム上で科目責任者が確認することができる。 上記の 1)2)の条件を満たすことを、生理学試験の受験資格とする。不正が発覚した場合、アンプロフェッショナルな行為として懲戒の対象となるため、受験資格の取り消しも含め厳正に対処する。 教科書

ガイトン生理学／Guyton, Arthur C., Hall, John Edward, 1946-, 石川, 義弘, 岡村, 康司, 尾仲, 達史, 金子, 猛, 呼吸器内科学, 北村, 義浩, 藤乗, 嗣泰, ガイトン [原著], John E. Hall 著, 石川義弘, 岡村康司, 尾仲達史, 河野憲二 総監訳, 金子猛, 北村義浩, 藤乗嗣泰, 松嶋成志 監訳: エルゼビア・ジャパン, 2018.3

標準生理学／本間, 研一, 1946-, 大森, 治紀, 1950-, 大橋, 俊夫, 1949-, 本間研一 監修, 大森治紀, 大橋俊夫 総編集: 医学書院, 2019.3

ギャノン生理学／Barrett, Kim E., Barman, Susan M., Boitano, Scott, 岡田, 泰伸, 佐久間, 康夫, 1946-, 岡村, 康司, Kim E. Barrett, Susan M. Barman, Scott Boitano, Heddwen L. Brooks [著], 岡田泰伸 監修, 佐久間康夫, 岡村康司 監訳: 丸善出版, 2017.11

参考書

必要に応じて参考書を紹介する。

他科目との関連

特に解剖学や神経科学基礎などの各科目と密接な関係があるので、幅広く知識を得るように留意して授業を受けること。

履修上の注意事項

対面式授業中は、携帯電話の通話や過度の私語や飲食などを禁ずる。同期型オンライン授業中は、大学の定める受講ルールと端末機器の設定を遵守すること。講義スライド資料の図表類および e ラーニングの問題と解説には著作権の許諾範囲に制限があるものが含まれるので、いかなる媒体を介しても履修者以外に授業資料を公開することを禁ずる。

備考

本学の教育改革と本科目のコース評価に基づき、下記の改善を採り入れた。

- ・同期型および非同期型の混成授業を導入した。
- ・アクティブ・ラーニング授業や英語による授業の導入を明確化した。
- ・生理学の学修期間中に基礎的な知識を効率よく習得してもらうために、2021 年度より e ラーニング(エルゼビア・ジャパン社 eReview Assessment 生理学)を導入した。(Clinical Key student(CKSJ)生理学に改称)
- ・コース評価(コメント含む)を担当教員すべてに周知し、授業スライドや口頭説明などの改善に努めた。
- ・本試験では、英語による問題数が過大にならないように配慮する。

連絡先

細胞生理学分野 教授 礒村 宜和(いそむら よしかず)

M&D タワー17 階南西側(必ず事前に訪問予約をとること)

メール: isomura.phy2@tmd.ac.jp

電話: 03-5803-5156 (研究室)

連絡先(メールアドレス)

礒村 宜和 isomura.phy2@tmd.c.jp

オフィスアワー

礒村 宜和 平日朝10時～夕方6時まで

※授業の内容に関する質問は、各回の担当教員に直接尋ねてください。

※試験・レポートに関することは、なるべく科目責任者(礒村)にまとめて問い合わせ、各担当教員に直接尋ねることは極力避けてください。

時間割番号	011250						
科目名	英語Ⅱ: Academic Reading			科目ID			
担当教員	JEANETTE DENNISSEON[JEANETTE DENNISSEON]						
開講時期	2024 年度通年	対象年次	2～6	単位数	1		
実務経験のある教員による授業							
・曜日・時間:水曜5・6限(3講) ・対象学科:全学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3) 別表4ー5)							
授業の目的、概要等 さまざまなテーマについて英語の原文を読書します。また、学生が書いた文章と専門家が書いた文章の両方について話し合い、評価します。 このコースの主な目標は、英語の読解力を向上させることです。							
授業の到達目標 (さまざまな種類の作品や書き物を読むことで)より広い知識と見解を持つ 自分の考えを、さまざまな参照手段や方策を効果的に活用しながら、より明確かつ論理的に文章で表現することができる 新しい語彙を理解して使用することができる 完璧な英語でなくとも、羞恥心に打ち勝ち、自分の意見を英語で伝え議論に参加することができる 以下の3点を満たすことが、B 評価(70点以上)の必要条件として要求される。 1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。 2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。 3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/3	13:30-14:15	未定 遠隔授業 (同期型)	Orientation	Webclass/online set up	JEANETTE DENNISSEON	アクティブラーニング:グループワーク Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911
2	4/10	13:30-14:15	未定 遠隔授業 (同期型)	Discussion 1	Online task: Brainstorming	JEANETTE DENNISSEON	アクティブラーニング:グループワーク Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911
3	4/10	14:25-15:10	未定 遠隔授業	Discussion 1	Online task: Reading	JEANETTE DENNISSEON	アクティブラーニング:グループワ

			(同期型)				ーク/リアクション ペーパー Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911
4	4/17	13:30-14:15	未定, 遠 隔授業 (同期型)	Discussion 2	Online task: Brainstorming	JEANNETTE DENNISSE	アクティブラーニ ング:グループワ ーク Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911
5	4/17	14:25-15:10	未定, 遠 隔授業 (同期型)	Discussion 2	Online task: Reading	JEANNETTE DENNISSE	アクティブラーニ ング:グループワ ーク/リアクション ペーパー Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911
6	4/24	13:30-14:15	未定, 遠 隔授業 (同期型)	Discussion test 1	Group discussion	JEANNETTE DENNISSE	アクティブラーニ ング:グループワ ーク Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911
7	4/24	14:25-15:10	未定, 遠 隔授業 (同期型)	Discussion 3	Online task: Brainstorming	JEANNETTE DENNISSE	アクティブラーニ ング:グループワ ーク Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911
8	5/1	13:30-14:15	未定, 遠 隔授業 (同期型)	Discussion 3	Online task: Reading 3	JEANNETTE DENNISSE	アクティブラーニ ング:グループワ ーク/リアクション ペーパー Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911
9	5/1	14:25-15:10	未定, 遠 隔授業 (同期型)	Discussion 4	Online: Brainstorming	JEANNETTE DENNISSE	アクティブラーニ ング:グループワ ーク Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911
10	5/8	13:30-14:15	未定, 遠 隔授業 (同期型)	Discussion 4	Online task: Reading	JEANNETTE DENNISSE	アクティブラーニ ング:グループワ ーク/リアクション ペーパー Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911
11	5/8	14:25-15:10	未定, 遠 隔授業 (同期型)	Discussion test 2	Group discussion	JEANNETTE DENNISSE	アクティブラーニ ング:グループワ ーク Meeting ID: 919 5730 6571

							Passcode: 351911
12	5/15	13:30-14:15	未定, 遠隔授業 (同期型)	Discussion 5	Online: Brainstorming	JEANETTE DENNISSE	アクティブラーニング:グループワーク Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911
13	5/15	14:25-15:10	未定, 遠隔授業 (同期型)	Discussion 6	Online task: Reading	JEANETTE DENNISSE	アクティブラーニング:リアクションペーパー Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911
14	5/22	13:30-14:15	未定, 遠隔授業 (同期型)	Final assessment Review	Discussion	JEANETTE DENNISSE	アクティブラーニング:リアクションペーパー Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911
15	5/22	14:25-15:10	未定, 遠隔授業 (同期型)	Final assessment Review	Review/Feedback	JEANETTE DENNISSE	アクティブラーニング:リアクションペーパー Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911
16	9/18	13:30-14:15	未定, 遠隔授業 (同期型)	Orientation	Webclass/online set up	JEANETTE DENNISSE	アクティブラーニング:グループワーク Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911
17	9/25	13:30-14:15	未定, 遠隔授業 (同期型)	Discussion 1	Online task: Brainstorming	JEANETTE DENNISSE	アクティブラーニング:グループワーク Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911
18	9/25	14:25-15:10	未定, 遠隔授業 (同期型)	Discussion 1	Online task: Reading	JEANETTE DENNISSE	アクティブラーニング:グループワーク/リアクションペーパー Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911
19	10/2	13:30-14:15	未定, 遠隔授業 (同期型)	Discussion 2	Online task: Brainstorming	JEANETTE DENNISSE	アクティブラーニング:グループワーク Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911
20	10/2	14:25-15:10	未定, 遠隔授業 (同期型)	Discussion 2	Online task: Reading	JEANETTE DENNISSE	アクティブラーニング:グループワーク/リアクション

							ペーパー Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911
21	10/9	13:30-14:15	未定, 遠隔授業 (同期型)	Discussion test 1	Group discussion	JEANETTE DENNISSON	アクティブラーニング: グループワーク Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911
22	10/9	14:25-15:10	未定, 遠隔授業 (同期型)	Discussion 3	Online task: Brainstorming	JEANETTE DENNISSON	アクティブラーニング: グループワーク Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911
23	10/16	13:30-14:15	未定, 遠隔授業 (同期型)	Discussion 3	Online task: Reading 3	JEANETTE DENNISSON	アクティブラーニング: グループワーク/リアクションペーパー Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911
24	10/16	14:25-15:10	未定, 遠隔授業 (同期型)	Discussion 4	Online: Brainstorming	JEANETTE DENNISSON	アクティブラーニング: グループワーク Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911
25	10/23	13:30-14:15	未定, 遠隔授業 (同期型)	Discussion 4	Online task: Reading	JEANETTE DENNISSON	アクティブラーニング: グループワーク/リアクションペーパー Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911
26	10/23	14:25-15:10	未定, 遠隔授業 (同期型)	Discussion test 2	Group discussion	JEANETTE DENNISSON	アクティブラーニング: グループワーク Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911
27	10/30	13:30-14:15	未定, 遠隔授業 (同期型)	Discussion 5	Online: Brainstorming	JEANETTE DENNISSON	アクティブラーニング: グループワーク Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911
28	10/30	14:25-15:10	未定, 遠隔授業 (同期型)	Discussion 6	Online task: Reading	JEANETTE DENNISSON	アクティブラーニング: リアクションペーパー Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911

29	11/6	13:30-14:15	未定, 遠隔授業 (同期型)	Final assessment Review	Discussion	JEANETTE DENNISSON	アクティブラーニング:リアクションペーパー Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911
30	11/6	14:25-15:10	未定, 遠隔授業 (同期型)	Final assessment Review	Review/Feedback	JEANETTE DENNISSON	アクティブラーニング:リアクションペーパー Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911

授業方法

スキルの指導と実践

授業内容

クラス 1: Orientation

クラス 2-11: Skills Instruction and Continuous Assessment

クラス 12-15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: Participation: 30% assignments: 30% final assessments: 40%

再評価はありません

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語Ⅱ」の各科目(1単位)は、45 分×15 コマです。科目ごとに成績がつきます。試験が実施される場合、受験資格があるのは、原則としてその科目に3分の2以上出席した者です。「英語Ⅱ」では再評価は行いません。

教科書

We will use articles from the internet.

参考書

Reliable news websites will be used as material.

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

備考

PC、タブレットなどが必要です。

参照ホームページ

連絡先(メールアドレス)

JEANETTE DENNISSON:dennisson.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

JEANETTE DENNISSON:Wednesday/Thursday 12:30 – 13:00 PM 管理研究棟3階

時間割番号	011260				
科目名	英語Ⅱ: Global Connections			科目ID	
担当教員	PATRICK FOSS[PATRICK FOSS]				
開講時期	2024 年度通年	対象年次	2～6	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
・曜日・時間:水曜 3 講 ・対象:全学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－4) 別表4－5)					
授業の目的、概要等					
While it is important for medical professionals in Japan to study and understand issues specific to their own country, it is also crucial to remember that we are all part of a global community as well. Learning about problems or innovations in other contexts can lead to greater respect and empathy and may spark ideas concerning ways we can better help others or even ourselves. This course will examine societal and healthcare-related challenges being faced in various countries through the perspectives of people from those countries.					
授業の到達目標					
To be able to engage in extended discussions in English on a range of topics 多様なトピックについて、英語でより長い議論をすることができる					
To be able to comprehend and use new vocabulary 新しい語彙を理解して使用することができる					
To be able to speak in front of others more effectively 他の人の前でより効果的に話すことができる					
To be able to overcome shyness and worries about stating opinions and communicating in imperfect English 完璧な英語でなくとも、羞恥心に打ち勝ち、自分の意見を英語で伝え議論に参加することができる					
To be able to productively engage in activities in a cross-cultural environment by collaborating with people from different cultural backgrounds in English 様々な文化的背景を持つ仲間と協働し、生産的に業務に貢献・遂行できる					
To be able to utilize critical thinking skills (including productively making and responding to counterarguments) and lateral thinking skills in English 英語でクリティカルシンキングやラテラルシンキングスキルを活用できる(健全で建設的な反論およびそれへの対応を含む)					
To be able to productively engage in academic and professional activities using English in an international setting 国際的な場面で、英語を使い、学問的および専門的な活動に生産的に貢献することができる					
以下の 3 点を満たすことが、B 評価(70 点以上)の必要条件として要求される。					
1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。					
2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。					
3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。					

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	9/18	13:30-14:15	遠隔授業 (同期型)	Orientation	Introduction to course	PATRICK F OSS	Active learning/seminar Zoom Meeting ID: 974 0503 2702 Passcode: 803253
2-3	9/25	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Discussion 1	Listening and speaking activities	PATRICK F OSS	Active learning/seminar Zoom 同上
4-5	10/2	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Discussion 2	Listening and speaking activities	PATRICK F OSS	Active learning/seminar Zoom 同上
6-7	10/9	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Discussion 3	Listening and speaking activities	PATRICK F OSS	Active learning/seminar Zoom 同上
8-9	10/16	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Discussion 4	Listening and speaking activities	PATRICK F OSS	Active learning/seminar Zoom 同上
10-11	10/23	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Discussion 5	Listening and speaking activities	PATRICK F OSS	Active learning/seminar Zoom 同上
12-13	10/30	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Discussion 6	Listening and speaking activities	PATRICK F OSS	Active learning/seminar Zoom 同上
14-15	11/6	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Discussion 7	Listening and speaking activities	PATRICK F OSS	Active learning/seminar Zoom 同上

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Class 1: Orientation

Classes 2–15: Skills Instruction and Continuous Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

Active and thoughtful participation: 80% Group discussion: 20%

再評価: 再評価はありません。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語Ⅱ」の各科目(1単位)は、45 分×15 コマです。科目ごとに成績がつきます。試験が実施される場合、受験資格があるのは、原則とし

てその科目に3分の2以上出席した者です。「英語Ⅱ」では再評価は行いません。

履修上の注意事項

教員がとる出欠を優先します。

連絡先(メールアドレス)

PATRICK FOSS:foss.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

PATRICK FOSS:毎週水曜日 PM.12:30-PM.1:00

管理研究棟 3階 フォス研究室

時間割番号	011270						
科目名	英語Ⅱ: Conversation I(前期)			科目ID			
担当教員	Reed Jesse Ryan[REED Jesse Ryan]						
開講時期	2024 年度通年	対象年次	2～6	単位数	1		
実務経験のある教員による授業							
・曜日・時間:水曜 3 講 ・対象:全学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－4) 別表4－5)							
授業の目的、概要等							
English II, “Conversation I” is a course for students who want to improve their spoken English skills. The course focuses on practical conversational abilities, and students will engage in interviews, role-playing, and group discussions on a variety of topics. The course prioritizes vocabulary development, effective public speaking, and the development of confidence in expressing opinions, even in imperfect English. The course aims to create an active and supportive learning environment, emphasizing not only the improvement of English skills but also the use of those skills in real-world situations.							
授業の到達目標							
To be able to engage in extended discussions in English on a range of topics 多様なトピックについて、英語でより長い議論をすることができる							
To be able to comprehend and use new vocabulary 新しい語彙を理解して使用することができる							
To be able to speak in front of others more effectively 他の人の前でより効果的に話すことができる							
To be able to overcome shyness and worries about stating opinions and communicating in imperfect English 完璧な英語でなくとも、羞恥心に打ち勝ち、自分の意見を英語で伝え議論に参加することができる							
以下の 3 点を満たすことが、B 評価(70 点以上)の必要条件として要求される。							
1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。							
2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。							
3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/3	13:30-14:15	遠隔授業 (同期型)	Class 1	Intro to Conversation I	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom ID: 945 4009

							3684 Passcode: 575373
2-3	4/10	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 2, Class 3	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上
4-5	4/17	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 4, Class 5	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上
6-7	4/24	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 6, Class 7	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上
8-9	5/1	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 8, Class 9	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上
10-11	5/8	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 10, Class 11	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上
12-13	5/15	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 12, Class 13	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar Zoom 同上
14-15	5/22	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 14, Class 15	Discussion Test	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar Zoom 同上

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Class 1: Orientation

Classes 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Classes 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

Conversation I 評価: Attendance & Participation: 50% Homework: 10% English Interview: 15%

Discussion Test: 25%

再評価: 再評価はありません。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語Ⅱ」の各科目(1単位)は、45分×15コマです。科目ごとに成績がつきます。試験が実施される場合、受験資格があるのは、原則としてその科目に3分の2以上出席した者です。「英語Ⅱ」では再評価は行いません。

履修上の注意事項

教員がとる出欠を優先します。

連絡先(メールアドレス)

畔柳 和代 kuroyanagilas@tmd.ac.jp

オフィスアワー

畔柳 和代:水・木 12:30-13:00 管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	011271						
科目名	英語Ⅱ:Conversation I (後期)			科目ID			
担当教員	Reed Jesse Ryan[REED Jesse Ryan]						
開講時期	2024 年度通年	対象年次	2～6	単位数	1		
実務経験のある教員による授業							
・曜日・時間:水曜 3 講 ・対象:全学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－4) 別表4－5)							
授業の目的、概要等							
English II, “Conversation I” is a course for students who want to improve their spoken English skills. The course focuses on practical conversational abilities, and students will engage in interviews, role-playing, and group discussions on a variety of topics. The course prioritizes vocabulary development, effective public speaking, and the development of confidence in expressing opinions, even in imperfect English. The course aims to create an active and supportive learning environment, emphasizing not only the improvement of English skills but also the use of those skills in real-world situations.							
授業の到達目標							
To be able to engage in extended discussions in English on a range of topics 多様なトピックについて、英語でより長い議論をすることができる							
To be able to comprehend and use new vocabulary 新しい語彙を理解して使用することができる							
To be able to speak in front of others more effectively 他の人の前でより効果的に話すことができる							
To be able to overcome shyness and worries about stating opinions and communicating in imperfect English 完璧な英語でなくとも、羞恥心に打ち勝ち、自分の意見を英語で伝え議論に参加することができる							
以下の 3 点を満たすことが、B 評価(70 点以上)の必要条件として要求される。							
1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。							
2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。							
3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	9/18	13:30-14:15	遠隔授業 (同期型)	Class 1	Intro to Conversation I	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom ID: 945 4009

							3684 Passcode: 575373
2-3	9/25	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 2, Class 3	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上。
4-5	10/2	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 4, Class 5	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上。
6-7	10/9	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 6, Class 7	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上。
8-9	10/16	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 8, Class 9	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上。
10-11	10/23	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 10, Class 11	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上。
12-13	10/30	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 12, Class 13	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上。
14-15	11/6	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 14, Class 15	Discussion Test	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上。

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Class 1: Orientation

Classes 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Classes 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

Conversation I 評価: Attendance & Participation: 50% Homework: 10% English Interview: 15%

Discussion Test: 25%

再評価: 再評価はありません。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語Ⅱ」の各科目(1単位)は、45分×15コマです。科目ごとに成績がつきます。試験が実施される場合、受験資格があるのは、原則としてその科目に3分の2以上出席した者です。「英語Ⅱ」では再評価は行いません。

履修上の注意事項

教員がとる出欠を優先します。

連絡先(メールアドレス)

畔柳 和代 kuroyanagilas@tmd.ac.jp

オフィスアワー

畔柳 和代:水・木 12:30-13:00 管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	011280						
科目名	英語Ⅱ: ConversationⅡ(前期)			科目ID			
担当教員	Reed Jesse Ryan[REED Jesse Ryan]						
開講時期	2024 年度通年	対象年次	2～6	単位数	1		
実務経験のある教員による授業							
・曜日・時間:水曜 3 講(ただし、後期は水曜 3 講および 5 講) ・対象:全学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3ー4) 別表4ー5)							
授業の目的、概要等							
EnglishⅡ“ConversationⅡ”(Improving Conversational Proficiency) is an advanced course designed for students aiming to refine their spoken English skills. Students will actively engage in extensive discussions, interviews, and group discussion tasks, fostering a higher level of language proficiency, cultural adaptability, and effective communication. The course places a strong emphasis on vocabulary expansion, advanced public speaking techniques, and the continued cultivation of confidence in expressing opinions, even within the complexities of the English language. Evaluation methods include individual interviews, group discussions, and reflective homework assignments. The objective is to create a stimulating and encouraging learning environment, helping students to not only excel in language proficiency but also to develop the application of advanced English skills in diverse real-world contexts.							
授業の到達目標							
To be able to engage in extended discussions in English on a range of topics 多様なトピックについて、英語でより長い議論をすることができる							
To be able to comprehend and use new vocabulary 新しい語彙を理解して使用することができる							
To be able to speak in front of others more effectively 他の人の前でより効果的に話すことができる							
To be able to overcome shyness and worries about stating opinions and communicating in imperfect English 完璧な英語でなくとも、羞恥心に打ち勝ち、自分の意見を英語で伝え議論に参加することができる							
以下の 3 点を満たすことが、B 評価(70 点以上)の必要条件として要求される。							
1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。							
2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。							
3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	5/29	13:30-14:15	遠隔授業 (同期型)	Class 1	Intro to ConversationⅡ	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom ID: 945 4009 3684 Passcode:

							575373
2-3	6/5	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 2, Class 3	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上
4-5	6/12	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 4, Class 5	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上
6-7	6/19	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 6, Class 7	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上
8-9	6/26	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 8, Class 9	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上
10-11	7/3	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 10, Class 11	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上
12-13	7/10	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 12, Class 13	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上
14-15	7/17	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 14, Class 15	Discussion Test	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Class 1: Orientation

Classes 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Classes 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

Conversation II 評価: Attendance & Participation: 40% Homework: 10% English Interview: 25% Discussion Test: 25%

再評価: 再評価はありません。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語Ⅱ」の各科目(1単位)は、45分×15コマです。科目ごとに成績がつきます。試験が実施される場合、受験資格があるのは、原則としてその科目に3分の2以上出席した者です。「英語Ⅱ」では再評価は行いません。

履修上の注意事項

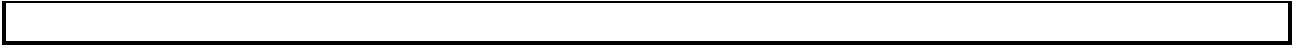
教員がとる出欠を優先します。

連絡先(メールアドレス)

畔柳 和代 kuroyanagi.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

畔柳 和代 水・木 12:30-13:00 管理研究棟3階畔柳研究室



時間割番号	011281						
科目名	英語Ⅱ:ConversationⅡ(後期)			科目ID			
担当教員	Reed Jesse Ryan[REED Jesse Ryan]						
開講時期	2024 年度通年	対象年次	2～6	単位数	1		
実務経験のある教員による授業							
・曜日・時間:水曜 3 講 および 5 講 ・対象:全学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－4) 別表4－5)							
授業の目的、概要等							
EnglishⅡ“ConversationⅡ”(Improving Conversational Proficiency) is an advanced course designed for students aiming to refine their spoken English skills. Students will actively engage in extensive discussions, interviews, and group discussion tasks, fostering a higher level of language proficiency, cultural adaptability, and effective communication. The course places a strong emphasis on vocabulary expansion, advanced public speaking techniques, and the continued cultivation of confidence in expressing opinions, even within the complexities of the English language. Evaluation methods include individual interviews, group discussions, and reflective homework assignments. The objective is to create a stimulating and encouraging learning environment, helping students to not only excel in language proficiency but also to develop the application of advanced English skills in diverse real-world contexts.							
授業の到達目標							
To be able to engage in extended discussions in English on a range of topics 多様なトピックについて、英語でより長い議論をすることができる							
To be able to comprehend and use new vocabulary 新しい語彙を理解して使用することができる							
To be able to speak in front of others more effectively 他の人の前でより効果的に話すことができる							
To be able to overcome shyness and worries about stating opinions and communicating in imperfect English 完璧な英語でなくとも、羞恥心に打ち勝ち、自分の意見を英語で伝え議論に参加することができる							
以下の3点を満たすことが、B評価(70点以上)の必要条件として要求される。							
1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。 2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。 3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	11/13	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 1, Class 2	Intro to ConversationⅡ, Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom ID: 945 4009 3684 Passcode:

							575373
3	11/13	17:15-18:00	遠隔授業 (同期型)	Class 3	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上
4-5	11/20	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 4, Class 5	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上
6-7	11/20	17:15-18:55	遠隔授業 (同期型)	Class 6, Class 7	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上
8-9	11/27	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 8, Class 9	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上
10-11	11/27	17:15-18:55	遠隔授業 (同期型)	Class 10, Class 11	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上
12-13	12/4	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 12, Class 13	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上
14-15	12/4	17:15-18:55	遠隔授業 (同期型)	Class 14, Class 15	Discussion Test	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Class 1: Orientation

Classes 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Classes 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

Conversation II 評価: Attendance & Participation: 40% Homework: 10% English Interview: 25% Discussion Test: 25%

再評価: 再評価はありません。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語Ⅱ」の各科目(1単位)は、45分×15コマです。科目ごとに成績がつきます。試験が実施される場合、受験資格があるのは、原則としてその科目に3分の2以上出席した者です。「英語Ⅱ」では再評価は行いません。

履修上の注意事項

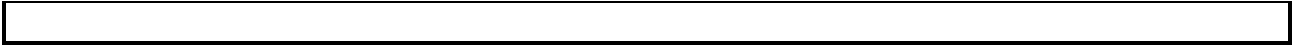
教員がとる出欠を優先します。

連絡先(メールアドレス)

畔柳 和代 kuroyanagi.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

畔柳 和代 水・木 12:30-13:00 管理研究棟3階畔柳研究室



時間割番号	011012				
科目名	組織学			科目 ID	
担当教員					
開講時期	2024 年度前期	対象年次	2	単位数	2.5
実務経験のある教員による授業	該当する				
英文名: Histology					
授業の目的、概要等 組織学では、人体の顕微鏡レベルの構造を学ぶ。医学のプロフェッショナルとして、さらには国際人の基盤として人体の組織の名称を英語も含め正しく習得する。 授業の目的、概要等については、「組織学(講義)」ならびに「組織学実習」で詳細に示す。					
授業の到達目標 「組織学(講義)」ならびに「組織学実習」で詳細を示す。 文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(令和4年度改訂版) https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/116/toushin/mext_01280.html PS-01-01)01,02 PS-01-02)10,11,12,13,14					
授業方法 講義とそれに続く実習からなる。講義では、実習する組織について概説し、実習のポイントを解説する。非同期授業(講義動画視聴)での学習と ZOOM による同期型アクティブラーニング授業からなる。実習では、オンライン・バーチャルスライド(同期 ZOOM)および顕微鏡(実習室対面)を用いて標本を観察する。					
授業内容 授業スケジュール参照					
成績評価の方法 「組織学(講義)」と「組織学実習」にそれぞれ合格することが必要である。最終的に、どちらかでも不合格であった場合には、「組織学」を不合格とする。 講義については筆記試験で評価する。 実習は実習試験とレポートの提出により評価する。 評価のウエイトは、「講義:50%」、「実習:50%」とする。					
成績評価の基準 「組織学(講義)」と「組織学実習」で詳細に示す。					
準備学習等についての具体的な指示 「組織学(講義)」と「組織学実習」で詳細に示す。					
教科書 標準組織学総論 第6版／藤田尚男, 藤田恒夫 原著,藤田, 尚男, 1928-2014,藤田, 恒夫, 1929-2012,岩永, 敏彦, 1954-,岩永, ひろみ,小林, 純子, 1977-,: 医学書院, 2022 標準組織学各論 第6版／藤田尚男, 藤田恒夫 原著,藤田, 尚男, 1928-2014,藤田, 恒夫, 1929-2012,岩永, 敏彦, 1954-,渡部, 剛, 医学,: 医学書院, 2022 Ross 組織学／Wojciech Pawlina 著,内山安男, 相磯貞和 監訳,Pawlina, Wojciech,内山, 安男, 1947-,相磯, 貞和, 1951-,: 南江堂, 2019 バーチャルスライド組織学／駒崎伸二著,駒崎, 伸二,: 羊土社, 2020 ウィーター図説で学ぶ機能組織学／Barbara Young [ほか] 著 ; 後藤薫, 和栗聡監訳,Wheater, Paul R.,Young, Barbara, PhD,O'Dowd, Geraldine,Woodford, Phillip,後藤, 薫(解剖学),和栗, 聡,: エルゼビア・ジャパン, 2018					
参考書 Molecular biology of the cell, 7th ed／Bruce Alberts ら著:WW Norton & Co, 2022 細胞の分子生物学 原著第6版／Bruce Alberts [ほか] 著 ; 青山聖子 [ほか] 翻訳,Alberts, Bruce,Johnson, Alexander D.,Lewis,					

Julian,Morgan, David Owen,Raff, Martin C.,Roberts, K. (Keith),Walter, Peter,青山, 聖子,斉藤, 英裕,滋賀, 陽子,田口, マミ子,滝田, 郁子,中塚, 公子,羽田, 裕子,船田, 晶子,宮下, 悦子,中村, 桂子,松原, 謙一,:ニュートンプレス, 2017
はたらく細胞／清水 茜 著,清水／茜,:講談社
バーチャルスライド口腔組織学 = Oral histology of virtual slides／田畑純, 杉浦真琴著,田畑, 純,杉浦, 真琴,:羊土社, 2021

他科目との関連

人体解剖学や生理学の講義と密接な関連がある。

参照ホームページ

細胞生物学分野
www.tmd.ac.jp/cbio/index.html

時間割番号	011013		
科目名	組織学	科目ID	
担当教員	中田 隆夫[NAKATA TAKAO]		
開講時期	2024 年度前期	対象年次	2
実務経験のある教員による授業	該当する		
英文名: Histology			
授業の目的、概要等 組織学では、人体の顕微鏡レベルの構造を学ぶ。医学のプロフェッショナルとして、さらには国際人の基盤として人体の組織の名称を英語も含め正しく習得する。講義では、折に触れて、組織学に関わる科学の発展の歴史や最新の細胞生物学的知見についても紹介する。人体解剖学でもそうであるが、形態の記述は慣れていないと難しい。これに慣れること。人体の構造を総論では上皮組織、結合組織、筋組織、神経組織に分けるが、それらの特徴はどのようなものであるかについて理解する。そして、後半は各器官がそれぞれの組織のどのような組み合わせでできているかについて説明できるようにする。また、これらの基礎となる標本の作製についての知識も重要である。			
授業の到達目標 1) 科学者として形態学の研究法を知ること、形態の表現のしかたを学ぶ(見たとおりに述べるだけだが、案外難しい)。 2) 医師、医学生としては、主要な器官、組織について、あるいは標本内の正常組織について、臨床の現場で、教員(あるいは医療チームのだれか)に尋ねられたとき、それについて2-3分、満足のいくコミュニケーションができること。 文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(令和4 年度改訂版) https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/116/toushin/mext_01280.html PS-01-01)01,02 PS-01-02)10,11,12,13,14 医学科コンピテンシーよりこの科目で身につけるレベル Ⅰ-2-B]世界的に注目されている医学／歯学／健康に関する主たるトピックについて、議論できる Ⅰ-3-B]科学/医学/歯学専門用語/表現の理解/表記/発音ができる Ⅱ-1-A]医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる Ⅱ-2-B]基礎的および臨床的研究の倫理的事項に配慮して実習を行える Ⅱ-3-B]臨床的あるいは科学的問題提起ができる Ⅱ-4-B]実習実験を実施して結果を得ることができる Ⅱ-5-B]実習実験により得られた結果の意義を、口頭あるいは書面で明確に説明できる Ⅲ-1-A]他者の貢献、時間、価値感、人格を尊重し、常に敬意を払って接することができる Ⅲ-9-A]個人の生活における責務と医学科での学習及び社会的な責務について、適切にバランスを取ることができる Ⅲ-10-A]自立と監督・指導の必要性との適切なバランスを常に保つことができる Ⅲ-12-A]メンタルストレスに直面した際、それを認識し、適切な解消処置をとれる Ⅲ-14-A]時間厳守、信頼性、適切な準備、率先性、遂行能力を示すことができる Ⅲ-15-A]文書課題を、正確で判読しうる質にて作成し、規定期限内に提出できる Ⅲ-16-A]本学を含めた当該機関内規、法律、専門職社会内規範を遵守できる Ⅲ-17-A]常に、誠実さ、正直さ、確実さをもって行動できる Ⅲ-18-A]他者への良識を逸する振舞い(無礼、短気など)を認識し、助言を求め、今後起こさぬよう振舞いを修正することができる Ⅲ-19-B]情報やデータ収集におけるエラーを認識し、学習グループのメンバーや指導・監督者に報告できる Ⅲ-23-A]記述、プレゼンテーション、論文、および研究情報などの利用において、著作権を尊重し、それに沿って行動できる Ⅲ-26-A]自身の知識・能力・振舞いを批判的に省察し、長所と課題点を同定し、改善の為に学習目標を設定し、それを達成するのに適した学習活動に取り組むことができる Ⅲ-27-A]自身に対するフィードバックにもとづき省察し自己改善を実現できる Ⅲ-28-A]他人に建設的なフィードバックを適切な形で提示できる			

[Ⅲ-29-A]ポートフォリオを活用して、課題設定を行い、自己学習・自己研鑽できる
 [V-1-B]疾患の病因・病態・臨床徴候などの理解に必要な基礎医学知識を提示できる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/9	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	組織学・組織学実習の受講の仕方	ZOOM を使用し同期型で説明を行う。	中田 隆夫 吉原 壮悟 浅野 豪文, C HENG LIHONG	【到達目標】1)2) 【学習方法】Zoom、Teams 使用。
2	4/9	10:45-12:15	遠隔授業 (非同期型)	組織学序論	WebClass 上の資料と動画で学習する。	中田 隆夫	【到達目標】1)2) 【学習方法】非同期ビデオ。質問は WebClass 上のリアクションペーパーで受け付ける。
3	4/15	08:50-10:20	遠隔授業 (非同期型)	上皮組織、結合組織	WebClass 上の資料と動画で学習する。	中田 隆夫 石井 智浩	【到達目標】1)2) 【学習方法】非同期ビデオ。質問は WebClass 上のリアクションペーパーで受け付ける。
4	4/22	08:50-10:20	遠隔授業 (非同期型)	筋組織、神経組織	WebClass 上の資料と動画で学習する。	浅野 豪文 中田 隆夫	【到達目標】1)2) 【学習方法】非同期ビデオ。質問は WebClass 上のリアクションペーパーで受け付ける。
5	4/25	15:25-16:55	遠隔授業 (同期型)	アクティブラーニング 1	同期型授業。アクティブラーニングにより復習を行う。	中田 隆夫 吉原 壮悟 浅野 豪文, C HENG LIHONG	【到達目標】1)2) 【学習方法】Zoom 使用。【アクティブラーニング】双方向授業
6	5/13	08:50-10:20	遠隔授業 (非同期型)	血管、軟骨、骨、血液	WebClass 上の資料と動画で学習する。	石井 智浩 浅野 豪文	【到達目標】1)2) 【学習方法】非同期ビデオ。質問は WebClass 上のリアクションペーパーで受け付ける。
7	5/16	15:25-16:55	遠隔授業 (同期型)	アクティブラーニング 2	同期型授業。アクティブラーニングにより復習を行う。	中田 隆夫 吉原 壮悟 浅野 豪文, C HENG LIHONG	【到達目標】1)2) 【学習方法】Zoom 使用。【アクティブラーニング】双方向授業
8	5/20	08:50-10:20	遠隔授業 (非同期型)	リンパ性器官、呼吸器、皮膚	WebClass 上の資料と動画で学習する。	石井 智浩 中田 隆夫	【到達目標】1)2) 【学習方法】非同期ビデオ。質問は

							WebClass 上のリ アクションペーパ ーで受け付ける。
9	5/27	08:50-10:20	遠隔授業 (非同期 型)	消化器、肝胆膵	WebClass 上の資料と動画で学習 する。	石井 智浩	【到達目標】1)2) 【学習方法】非同 期ビデオ。質問は WebClass 上のリ アクションペーパ ーで受け付ける。
10	5/30	15:25-16:55	遠隔授業 (同期型)	アクティブラーニング 3	同期型授業。アクティブラーニン グにより復習を行う。	中田 隆夫 吉原 壮悟 浅野 豪文 C HENG LIHO NG	【到達目標】1)2) 【学習方法】Zoom 使用。【アクティ ブラーニング】双 方向授業
11	6/3	08:50-10:20	遠隔授業 (非同期 型)	内分泌器官、泌尿器	WebClass 上の資料と動画で学習 する。	石井 智浩 中田 隆夫	【到達目標】1)2) 【学習方法】非同 期ビデオ。質問は WebClass 上のリ アクションペーパ ーで受け付ける。
12	6/10	08:50-10:20	遠隔授業 (非同期 型)	男性・女性生殖器	WebClass 上の資料と動画で学習 する。	中田 隆夫	【到達目標】1)2) 【学習方法】非同 期ビデオ。質問は WebClass 上のリ アクションペーパ ーで受け付ける。
13	6/17	08:50-10:20	遠隔授業 (非同期 型)	眼、耳	WebClass 上の資料と動画で学習 する。	石井 智浩	【到達目標】1)2) 【学習方法】非同 期ビデオ。質問は WebClass 上のリ アクションペーパ ーで受け付ける。
14	6/20	13:30-15:00	遠隔授業 (同期型)	アクティブラーニング 4	同期型授業。アクティブラーニン グにより復習を行う。	中田 隆夫 吉原 壮悟 浅野 豪文 C HENG LIHO NG	【到達目標】1)2) 【学習方法】Zoom 使用。【アクティ ブラーニング】双 方向授業
15	6/20	15:25-16:55	遠隔授業 (同期型)	アクティブラーニング 5	同期型授業。アクティブラーニン グにより復習を行う。	中田 隆夫 吉原 壮悟 浅野 豪文 C HENG LIHO NG	【到達目標】1)2) 【学習方法】Zoom 使用。【アクティ ブラーニング】双 方向授業
16	6/26	10:45-12:15	医学科講 義室 1	組織学試験		吉原 壮悟 浅野 豪文 C HENG LIHO NG	

授業方法

指定された講義資料を閲覧しながら講義動画を視聴する。資料や動画では実習で観察する各組織について概説し、実習のポイントにつ
いても解説する。出席(動画視聴)は確認しない。実習当日までに該当する講義資料、動画を閲覧し学習しておく。各実習日の 1 限に非同

期授業が組まれているが、1 コマ内で終わらない回の講義動画もあるため事前に視聴しておく。学生からの質問やコメントは Webclass 上のリアクションペーパーを利用する。これは出席管理に利用するわけではない。回答を要する質問については全員に、内容によっては個人に回答する。追加説明が必要な場合はアクティブラーニングセッションで解説する。動画は一定期間 WebClass 上で閲覧できるようにしておく。 ・同期授業 初回は ZOOM で本科目の取り組み方を説明する。また閲覧した非同期授業の内容とそれまでに行われた組織学実習の内容を含む同期型アクティブラーニングセッションを数回行う。提示した課題について個人またはグループで討論して回答する形式で行う。出席は提出された課題により確認する。
授業内容 各回の内容は授業スケジュールに示してある。
成績評価の方法 組織学の評価は、アクティブラーニング、筆記試験によって行う。 アクティブラーニング:出席点・成績点(一回2点) 筆記試験:6月26日。アクティブラーニングとの合計で100点満点とする。人体解剖学や生理学で習ったことでのみの解答は不可。
成績評価の基準 成績評価の方法で書いた点数をこの科目の評価とし、60点以上で合格とする。「授業の到達目標」に達していれば合格とし、より深く理解している場合に評価が上がる。
準備学習等についての具体的な指示 非同期型授業に関しては、その日のテーマについて組織学の教科書に目を通しておく。 同期授業のアクティブラーニングでは、それまでの講義は学習済みとして課題に取り組むので、動画の視聴を済ませておくことが望ましい。
試験の受験資格 全ての同期型アクティブラーニングセッションに参加し、個人／グループワークに取り組むことが受験資格となる。 特別に勘案すべき事情があるためにアクティブラーニングセッションに参加できない場合は、始まる前に科目責任者および医学教務係にメールで連絡することを必須とする。緊急の場合や連絡ができないような特別な事情があったと判断された場合には、その限りではない。
教科書 標準組織学総論 第6版／藤田尚男, 藤田恒夫 原著,藤田, 尚男, 1928-2014,藤田, 恒夫, 1929-2012,岩永, 敏彦, 1954-,岩永, ひろみ,小林, 純子, 1977-,:医学書院, 2022 標準組織学各論 第6版／藤田尚男, 藤田恒夫 原著,藤田, 尚男, 1928-2014,藤田, 恒夫, 1929-2012,岩永, 敏彦, 1954-,渡部, 剛, 医学,:医学書院, 2022 Ross 組織学／Wojciech Pawlina 著,内山安男, 相磯貞和 監訳Pawlina, Wojciech,内山, 安男, 1947-,相磯, 貞和, 1951-,:南江堂, 2019 バーチャルスライド組織学／駒崎伸二著,駒崎, 伸二,:羊土社, 2020 ウィーター図説で学ぶ機能組織学／Barbara Young [ほか] 著 ; 後藤薫, 和栗聡監訳,Wheater, Paul R.,Young, Barbara, PhD,O'Dowd, Geraldine,Woodford, Phillip,後藤, 薫(解剖学)和栗, 聡,:エルゼビア・ジャパン, 2018
参考書 Molecular biology of the cell, 7th ed／Bruce Alberts ら著:WW Norton & Co, 2022 細胞の分子生物学 原著第6版／Bruce Alberts [ほか] 著 ; 青山聖子 [ほか] 翻訳,Alberts, Bruce,Johnson, Alexander D.,Lewis, Julian,Morgan, David Owen,Raff, Martin C.,Roberts, K. (Keith),Walter, Peter,青山, 聖子,齊藤, 英裕,滋賀, 陽子,田口, マミ子,滝田, 郁子,中塚, 公子,羽田, 裕子,船田, 晶子,宮下, 悦子,中村, 桂子,松原, 謙一,:ニュートンプレス, 2017 はたらく細胞／清水 茜 著,清水/茜,:講談社 バーチャルスライド口腔組織学 = Oral histology of virtual slides／田畑純, 杉浦真琴著,田畑, 純,杉浦, 真琴,:羊土社, 2021
他科目との関連 人体解剖学や生理学の講義と密接な関連がある。
履修上の注意事項 講義動画、講義資料などは著作権の問題があるので、外部に公開することを禁じる。
備考 講義担当教員の問い合わせ先(後ろに@tmd.ac.jp をつける)

中田隆夫 細胞生物学分野 info.cbio
浅野豪文 細胞生物学分野 asano.cbio
吉原壮悟 細胞生物学分野 yoshihara.cbio

昨年度のコース評価を受けて、アクティブラーニングではグループ内で討論しやすいような内容を増やす。

参照ホームページ

細胞生物学分野
www.tmd.ac.jp/cbio/index.html

連絡先(メールアドレス)

中田 隆夫 info.cbio@tmd.ac.jp

オフィスアワー

中田 隆夫:10:00-17:00 事前連絡してから訪問すること。
M&D タワー18 階 細胞生物学分野事務室・教員室

時間割番号	011014		
科目名	組織学実習	科目ID	
担当教員	中田 隆夫[NAKATA TAKAO]		
開講時期	2024 年度前期	対象年次	2
実務経験のある教員による授業	該当する		
英文名: Histology			
授業の目的、概要等			
組織学(講義)では人体の顕微鏡レベルの構造を学んだが、実習では全身の組織の標本を観察する。標本の中から自分の目で細胞・組織構造を同定し、特徴を理解できることを目的とする。実習をやりぬくことで、忍耐とともに、人体の主な構造については全て見たという達成感と自信を得る。実習では、教員が質問に答えるが、学生がお互いに教えあい議論することも歓迎される。実習の最後には実習試験があり、組織学全体を振り返る機会となっている。			
授業の到達目標			
講義、実習、試験を通じての目標			
1) 科学者として、形態学の研究法を知ること、形態の表現のしかたを学ぶ(見たとおりに述べるだけだが、案外難しい)こと。 2) 医師、医学生としては、主要な器官、組織について、あるいは標本内の正常組織について、臨床の現場で、教員(あるいは医療チームのだれか)に尋ねられたとき、それについて2-3分、満足のいくコミュニケーションができることが目標である。			
実習の主な目標			
3) 標本の中から典型的な視野を探し出すこと。 4) 形態的特徴を理解すること。 5) 顕微鏡の正しい使い方をすること。 6) これらのスキルを習得する。			
文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(令和4 年度改訂版) https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/116/toushin/mext_01280.html			
PS-01-01)01,02 PS-01-02)10,11,12,13,14			
医学科コンピテンシーよりこの科目で身につけるレベル			
Ⅰ-2-B)世界的に注目されている医学／歯学／健康に関する主たるトピックについて、議論できる Ⅰ-3-B)科学/医学/歯学専門用語/表現の理解/表記/発音ができる Ⅱ-1-A)医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる Ⅱ-2-B)基礎的および臨床的研究の倫理的事項に配慮して実習を行える Ⅱ-3-B)臨床的あるいは科学的問題提起ができる Ⅱ-4-B)実習実験を実施して結果を得ることができる Ⅱ-5-B)実習実験により得られた結果の意義を、口頭あるいは書面で明確に説明できる Ⅲ-1-A)他者の貢献、時間、価値感、人格を尊重し、常に敬意を払って接することができる Ⅲ-9-A)個人の生活における責務と医学科での学習及び社会的な責務について、適切にバランスを取ることができる Ⅲ-10-A)自立と監督・指導の必要性との適切なバランスを常に保つことができる Ⅲ-12-A)メンタルストレスに直面した際、それを認識し、適切な解消処置をとれる Ⅲ-14-A)時間厳守、信頼性、適切な準備、率先性、遂行能力を示すことができる Ⅲ-15-A)文書課題を、正確で判読しうる質にて作成し、規定期限内に提出できる Ⅲ-16-A)本学を含めた当該機関内規、法律、専門職社会内規範を遵守できる Ⅲ-17-A)常に、誠実さ、正直さ、確実さをもって行動できる Ⅲ-18-A)他者への良識を逸する振舞い(無礼、短気など)を認識し、助言を求め、今後起こさぬよう振舞いを修正することができる			

[Ⅲ-19-B]情報やデータ収集におけるエラーを認識し、学習グループのメンバーや指導・監督者に報告できる
 [Ⅲ-23-A]記述、プレゼンテーション、論文、および研究情報などの利用において、著作権を尊重し、それに沿って行動できる
 [Ⅲ-26-A]自身の知識・能力・振舞いを批判的に省察し、長所と課題点を同定し、改善の為に学習目標を設定し、それを達成するのに適した学習活動に取り組むことができる
 [Ⅲ-27-A]自身に対するフィードバックにもとづき省察し自己改善を実現できる
 [Ⅲ-28-A]他人に建設的なフィードバックを適切な形で提示できる
 [Ⅲ-29-A]ポートフォリオを活用して、課題設定を行い、自己学習・自己研鑽できる
 [V-1-B]疾患の病因・病態・臨床徴候などの理解に必要な基礎医学知識を提示できる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-3	4/15	10:45-16:55	遠隔授業 (同期型)	組織学実習導入、上皮組織、結合組織	WebClass に資料がある。バーチャルスライド NanoZoomer、Teams の動作確認を行う。	中田 隆夫 石井 智浩 吉原 壮悟 浅野 豪文 C HENG LIHONG	【到達目標】1)2)3)4)6) 【学習方法】Zoom、Teams、NanoZoomer 使用。質問は画面共有により行う。
4-6	4/22	10:45-16:55	遠隔授業 (同期型)	筋組織、神経組織	WebClass に資料と説明動画がある。標本観察はバーチャルスライド NanoZoomer を用いる。	中田 隆夫 石井 智浩 吉原 壮悟 浅野 豪文 C HENG LIHONG	【到達目標】1)2)3)4)6) 【学習方法】Zoom、Teams、NanoZoomer 使用。質問は画面共有により行う。
7-9	5/13	10:45-16:55	遠隔授業 (同期型)	血管・軟骨、骨、血液	WebClass に資料と説明動画がある。標本観察はバーチャルスライド NanoZoomer を用いる。	中田 隆夫 石井 智浩 吉原 壮悟 浅野 豪文 C HENG LIHONG	【到達目標】1)2)3)4)6) 【学習方法】Zoom、Teams、NanoZoomer 使用。質問は画面共有により行う。
10-12	5/20	10:45-16:55	遠隔授業 (同期型)	リンパ性器官、呼吸器、皮膚	WebClass に資料と説明動画がある。標本観察はバーチャルスライド NanoZoomer を用いる。	中田 隆夫 石井 智浩 吉原 壮悟 浅野 豪文 C HENG LIHONG	【到達目標】1)2)3)4)6) 【学習方法】Zoom、Teams、NanoZoomer 使用。質問は画面共有により行う。
13-15	5/27	10:45-16:55	遠隔授業 (同期型)	消化器、肝胆膵	WebClass に資料と説明動画がある。対面実習にて顕微鏡による観察を行う。	中田 隆夫 石井 智浩 吉原 壮悟 浅野 豪文 C HENG LIHONG	【到達目標】1)2)3)4)5)6) 【学習方法】Teams、顕微鏡使用、スケッチを行う。【その他】色鉛筆、講義資料閲覧や Teams 利用のための PC 等端末を持参のこと。

16-18	6/3	10:45-16:55	4 階学生 実習室	顕微鏡の使い方、内分 泌、泌尿器	WebClass に資料と説明動画があ る。 対面実習にて顕微鏡による 観察を行う。	中田 隆夫 石井 智浩 吉原 壮悟 浅野 豪文 C HENG LIHO NG	【到達目標】1)2)3) 4)5)6) 【学習方 法】Teams、顕微 鏡使用、スケッチ を行う。【その 他】色鉛筆、講義 資料閲覧や Teams 利用のた めの PC 等端末を 持参のこと。
19-21	6/10	10:45-16:55	遠隔授業 (同期型)	男性生殖器、女性生殖 器	WebClass に資料と説明動画があ る。 標本観察はバーチャルスラ イド NanoZoomer を用いる。	中田 隆夫 石井 智浩 吉原 壮悟 浅野 豪文 C HENG LIHO NG	【到達目標】1)2)3) 4)6) 【学習方 法】Zoom、 Teams、 NanoZoomer 使 用。質問は画面 共有により行う。
22-24	6/17	10:45-16:55	遠隔授業 (同期型)	眼、耳	WebClass に資料と説明動画があ る。 標本観察はバーチャルスラ イド NanoZoomer を用いる。	中田 隆夫 石井 智浩 吉原 壮悟 浅野 豪文 C HENG LIHO NG	【到達目標】1)2)3) 4)6) 【学習方 法】Zoom、 Teams、 NanoZoomer 使 用。質問は画面 共有により行う。
25-26	6/24	08:50-12:15	情報検索 室	組織学実習試験		中田 隆夫 吉原 壮悟 浅野 豪文 C HENG LIHO NG	

授業方法

講義で解説された実習する組織についてのポイントを踏まえて、実習に取り組む。各回の実習標本解説動画を視聴し、実習資料を参考にしながら課題に取り組む。初回は同期授業(ZOOM)で本科目の取り組み方等を説明する。実習は顕微鏡実習以外は ZOOM と Teams を用いた同期型授業で、オンラインのバーチャルスライドを用いて標本を観察し、組織画像を使ったデジタルレポートを作成する。一回は実習室で顕微鏡を用いた標本の観察を行い、スケッチをする。デジタルレポート、スケッチでは指示された標本の課題に全て取り組むことが求められる。各回の実習終了後、翌週月曜日までにレポートを提出する。出席は確認しないが、レポートの進捗状況は毎週チェックする。学生が標本を観察する実習型のアクティブラーニングである。

授業内容

各回の内容は授業スケジュールに示してある。

成績評価の方法

6 月 24 日に実施される実習試験とレポート(スケッチを含む)の提出により評価する(それぞれ 50%で合計 100 点)。実習試験では、情報検索室で組織標本の画像を見て問題に答える。レポートは指示された標本の課題を全て含むこと。レポートの最終提出期限は 6 月 24 日(実習試験日)とする。

成績評価の基準

実習試験とレポートの点数の合計をこの科目の評価とし、60 点以上で合格とする。「授業の到達目標」に達していれば合格とし、より深く理解している場合に評価が上がる。

準備学習等についての具体的な指示

教科書、アトラス、講義資料に目を通し、観察すべき構造を把握しておく。講義を良く理解することが実習の最も良い準備となる。事前に実習標本解説動画を視聴しておいても良い。

試験の受験資格

原則として出席はとらないが、毎回の実習レポートを全て提出することが受験資格となる。	
教科書 標準組織学総論 第6版／藤田尚男, 藤田恒夫 原著, 藤田, 尚男, 1928-2014, 藤田, 恒夫, 1929-2012, 岩永, 敏彦, 1954-, 岩永, ひろみ, 小林, 純子, 1977-, :医学書院, 2022 標準組織学各論 第6版／藤田尚男, 藤田恒夫 原著, 藤田, 尚男, 1928-2014, 藤田, 恒夫, 1929-2012, 岩永, 敏彦, 1954-, 渡部, 剛, 医学, :医学書院, 2022 Ross 組織学／Wojciech Pawlina 著, 内山安男, 相磯貞和 監訳, Pawlina, Wojciech, 内山, 安男, 1947-, 相磯, 貞和, 1951-, :南江堂, 2019 バーチャルスライド組織学／駒崎伸二著, 駒崎, 伸二, :羊土社, 2020 ウィーター図説で学ぶ機能組織学／Barbara Young, Geraldine O'Dowd, Phillip Woodford 著 ; 後藤薫, 和栗聡監訳, Young, Barbara, PhD, O'Dowd, Geraldine, Woodford, Phillip, 後藤, 薫(解剖学)和栗, 聡, :エルゼビア・ジャパン, 2018	
参考書 Molecular biology of the cell, 7th ed.／Bruce Alberts 著:WW Norton & Co, 2022 細胞の分子生物学 原著第6版／Bruce Alberts [ほか] 著 ; 青山聖子 [ほか] 翻訳, Alberts, Bruce, Johnson, Alexander D., Lewis, Julian, Morgan, David Owen, Raff, Martin C., Roberts, K. (Keith), Walter, Peter, 青山, 聖子, 齊藤, 英裕, 滋賀, 陽子, 田口, マミ子, 滝田, 郁子, 中塚, 公子, 羽田, 裕子, 船田, 晶子, 宮下, 悦子, 中村, 桂子, 松原, 謙一, :ニュートンプレス, 2017 はたらく細胞／清水 茜 著, 清水／茜, :講談社 バーチャルスライド口腔組織学 = Oral histology of virtual slides／田畑純, 杉浦真琴著, 田畑, 純, 杉浦, 真琴, :羊土社, 2021	
他科目との関連 人体解剖学や生理学の講義と密接な関係がある。	
履修上の注意事項 実習方法の詳細については実習初回にガイダンスを行う。スケッチ用の色鉛筆やノートに関してはガイダンスの中で説明するので、初日に準備しておく必要はない。実習では各自のPCでZOOM、Teams、バーチャルスライド、レポートスライドなどを開くことになるので、拡張モニターなどがあると便利である。レポートは他の学生のレポートをコピーして提出しないこと。関係した学生は未提出として扱う。実習標本解説動画、実習資料などは著作権の問題があるので、外部に公開することを禁じる。	
備考 講義担当教員の問い合わせ先(後ろに@tmd.ac.jpをつける) 中田隆夫 細胞生物学分野 info.cbio 浅野豪文 細胞生物学分野 asano.cbio 吉原壮悟 細胞生物学分野 yoshihara.cbio 昨年度のコース評価を受けて、オンライン実習の形式を整備し直した。ZOOM、Nanozoomer、Microsoft Teams、パワーポイントを使用予定である。	
参照ホームページ 細胞生物学分野 www.tmd.ac.jp/cbio/index.html	
連絡先(メールアドレス) 中田 隆夫:info.cbio@tmd.ac.jp	
オフィスアワー 中田 隆夫:10:00-17:00 事前連絡してから訪問すること。 M&D タワー18階 細胞生物学分野事務室・教員室	

時間割番号	011016		
科目名	人体解剖学	科目ID	
担当教員	秋田 恵一[AKITA KEIICHI]		
開講時期	2024 年度前期	対象年次	2
実務経験のある教員による授業	該当する		
英文名:Human Anatomy			
授業の目的、概要等			
人体解剖学を学習することは、人体構造の名称を覚えるということだけではなく、その周囲の構造との位置関係も理解し、説明することができるといことである。そのためには、その器官の発生や、組織構造、その機能なども理解する必要がある。 学生からは、「どこが重要であるのか」という問いがしばしばよせられる。しかし、その構造がなぜ重要であるのかということは、臨床的な意義や重要性まで理解することによって十分に理解できるようになる。講義では、そのような意義や重要性の基盤となる点に注目しながら説明を行うことにする。 人体解剖学は、ある程度の名称や解剖学的構造を知らなくては理解が進まない。その一方で、解剖学用語を暗記するのみでは、無味乾燥でつまらないものになるだけでなく、解剖学的構造や位置関係を理解したことにもならない。教科書やアトラス、講義資料、人体解剖学実習手順などを十分に活用しながら、何が重要なのか考えながら学習するように努めていただきたい。 人体解剖学は非常に古い学問であり、部位によっては、人名のついた用語が多数現れる。国際的通用性の高い用語については折に触れて紹介する。また、国家試験等においては、人名は原語の綴りで出題されるため、慣れ親しんでいただきたい。			
授業の到達目標			
到達目標は、以下のとおりである。 ①基本的な解剖学的構造について、発生過程を念頭に置きながら説明できること。 ②基本的な解剖学的事項について、診察・診断・治療などとの関連を意識しながら説明できること。			
解剖学用語が多少曖昧であっても、重要な構造とその周辺領域についての理解ができることをめざす。臨床的に応用されるような事項については、小さな構造であっても重要度が高くなることもあるので重要度と構造の大きさにはあまり関係はない。重要度については、友人と一緒に考えながら見極めていくことが必要である。 以下のような内容の学習に努めていただきたい。非同期型の授業動画、講義資料、また授業の参考資料などは、WebClassに掲示する。集合セッションでは、シラバスに示された範囲について、非同期型の授業動画などで予習をしてから臨むことが求められる。 非同期型の授業動画では、人体解剖学実習において重要なところに触れていく。実習手順を十分に把握するためにも、予習する必要がある。「グレイ解剖学」や「人体解剖カラーアトラス」等の教科書を参照し、確認しておくようにする。 授業で扱われている内容は、人体解剖学実習で復習しながらさらに学ぶことができる。さらに、人体解剖学実習では、授業中に扱われた症例についての議論をしながら行うことで、授業で扱われた内容の意義を確認できるとともに、重要な構造についての確認や理解ができる。人体解剖学実習の予習テストのために、予め学んだ解剖学用語を用いて、基本的な構造を説明できるようにし、その領域の骨、筋、臓器と脈管や神経の相互の基本的な位置関係を説明できるようにする。上記の相互の位置関係を作り出すような、発生過程を説明することも求められる。これらのことは、人体構造総論で学んだことの復習であり、授業のなかでも、しばしばその考え方について触れる。 発展的学習として、教科書「グレイ解剖学」の『臨床的事項』について自主的に学習する。これらの臨床的事項は、臨床科目の学習に密接に関わり、臨床への応用を意識して書かれている。解剖学の学習の中で、なぜこの事項が必要なのかまたは重要なのかということを学ぶときに役立つので、十分に活用していただきたい。			
文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(令和4 年度改訂版)			
https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/116/toushin/mext_01280.html			
PS-02-05)01			
PS-02-06)01			
PS-02-07)01			
PS-02-08)01			
PS-02-09)01			
PS-02-10)01			

医学科コンピテンシーよりこの科目で身につけるレベル

[I-2-B]世界的に注目されている医学／歯学／健康に関する主たるトピックについて、議論できる

[I-3-B]科学/医学/歯学専門用語/表現の理解/表記/発音ができる

[II-1-A]医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる

[II-2-B]基礎的および臨床的研究の倫理的事項に配慮して実習を行える

[II-3-B]臨床的あるいは科学的問題提起ができる

[II-4-B]実習実験を実施して結果を得ることができる

[II-5-B]実習実験により得られた結果の意義を、口頭あるいは書面で明確に説明できる

[III-1-A]他者の貢献、時間、価値感、人格を尊重し、常に敬意を払って接することができる

[III-8-C]患者との関係(情報漏洩、親密性、金品授受など)において適切な距離を維持する必要性を説明できる

[III-9-A]個人の生活における責務と医学科での学習及び社会的な責務について、適切にバランスを取ることができる

[III-10-A]自立と監督・指導の必要性との適切なバランスを常に保つことができる

[III-12-A]メンタルストレスに直面した際、それを認識し、適切な解消処置をとれる

[III-14-A]時間厳守、信頼性、適切な準備、率先性、遂行能力を示すことができる

[III-15-A]文書課題を、正確で判読しうる質にて作成し、規定期限内に提出できる

[III-16-A]本学を含めた当該機関内規、法律、専門職社会内規範を遵守できる

[III-17-A]常に、誠実さ、正直さ、確実さをもって行動できる

[III-18-A]他者への良識を逸する振舞い(無礼、短気など)を認識し、助言を求め、今後起こさぬよう振舞いを修正することができる

[III-19-B]情報やデータ収集におけるエラーを認識し、学習グループのメンバーや指導・監督者に報告できる

[III-23-A]記述、プレゼンテーション、論文、および研究情報などの利用において、著作権を尊重し、それに沿って行動できる

[III-26-A]自身の知識・能力・振舞いを批判的に省察し、長所と課題点を同定し、改善の為の学習目標を設定し、それを達成するのに適した学習活動に取り組むことができる

[III-27-A]自身に対するフィードバックにもとづき省察し自己改善を実現できる

[III-28-A]他人に建設的なフィードバックを適切な形で提示できる

[III-29-A]ポートフォリオを活用して、課題設定を行い、自己学習・自己研鑽できる

[V-1-B]疾患の病因・病態・臨床徴候などの理解に必要な基礎医学知識を提示できる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/11	13:30-15:00	遠隔授業 (非同期型)	骨学 1	体幹の骨、上肢の骨	秋田 恵一	①②動画視聴後に多肢選択式問題
2	4/11	15:25-16:55	遠隔授業 (非同期型)	骨学 2	下肢の骨、頭蓋骨	秋田 恵一	①②動画視聴後に多肢選択式問題
3	4/12	08:50-10:20	情報検索 室 1	集合セッション1	集合セッション1	秋田 恵一、 山口 久美子、 室生 暁 原 田 理代	①②個人テスト
4	4/18	13:30-15:00	遠隔授業 (非同期型)	解剖学 1	体表観察(仰臥位) 皮膚 乳房 胸・腹部(皮下) 頸部(皮下) 下 腹部(皮下)	秋田 恵一	①②動画視聴後に多肢選択式問題
5	4/23	08:50-10:20	遠隔授業 (非同期型)	解剖学 2	肩部(皮下)・浅胸筋 大腿伸側 (皮下・浅層・中層)	秋田 恵一	①②動画視聴後に多肢選択式問題
6	4/25	13:30-15:00	遠隔授業 (非同期型)	解剖学 3	体表観察(腹臥位) 頭部・頸部・背 部・腰部(皮下)	秋田 恵一	①②動画視聴後に多肢選択式問題

			型)				題
7	4/26	08:50-10:20	遠隔授業 (非同期 型)	解剖学 4	後頭の筋・浅背筋 殿部 大腿屈 側(皮下) 上肢帯近位部 大腿 屈側(浅層) 殿部(浅層)	秋田 恵一	①②動画視聴後 に多肢選択式問 題
8	4/30	08:50-10:20	遠隔授業 (非同期 型)	解剖学 5	固有背筋 脊柱傍筋	秋田 恵一	①②動画視聴後 に多肢選択式問 題
9	5/2	08:50-10:20	情報検索 室 1	集合セッション2	集合セッション2	秋田 恵一, 山口 久美子, 室生 暁 原 田 理代	①②個人テスト
10	5/7	08:50-10:20	遠隔授業 (非同期 型)	解剖学 6	頸部(中層) 腹壁(浅層・深層)・鼠 径管 鼠径部の構造	秋田 恵一	①②動画視聴後 に多肢選択式問 題
11	5/9	13:30-15:00	遠隔授業 (非同期 型)	解剖学 7	腋窩・腕神経叢、上肢の切離 大 腿伸側(深層)・大腿屈側(深層)、 下肢の切離	秋田 恵一	①②動画視聴後 に多肢選択式問 題
12	5/10	08:50-10:20	情報検索 室 1	集合セッション3	集合セッション3	秋田 恵一, 山口 久美子, 室生 暁 原 田 理代	①②個人テスト
13	5/14	08:50-10:20	遠隔授業 (非同期 型)	解剖学 8	胸郭 上縦隔・甲状腺	秋田 恵一	①②動画視聴後 に多肢選択式問 題
14	5/16	13:30-15:00	遠隔授業 (非同期 型)	解剖学 9	自律神経系 心臓の神経 後縦 隔 心臓・肺	秋田 恵一	①②動画視聴後 に多肢選択式問 題
15	5/17	08:50-10:20	情報検索 室 1	集合セッション4	集合セッション4	秋田 恵一, 山口 久美子, 室生 暁 原 田 理代	①②個人テスト
16	5/21	08:50-10:20	遠隔授業 (非同期 型)	解剖学 10	腹膜 大腸 胃の血管 腸管の 血管と自律神経 肝門・門脈	秋田 恵一	①②動画視聴後 に多肢選択式問 題
17	5/23	13:30-15:00	遠隔授業 (非同期 型)	解剖学 11	十二指腸と膵臓 膵臓の血管と膵 管の分布 肝臓	秋田 恵一	①②動画視聴後 に多肢選択式問 題
18	5/24	08:50-10:20	遠隔授業 (非同期 型)	解剖学 12	L1 の重要性 消化管 腹膜後器 官 横隔膜 後体壁	秋田 恵一	①②動画視聴後 に多肢選択式問 題
19	5/28	08:50-10:20	情報検索 室 1	集合セッション5	集合セッション5	秋田 恵一, 山口 久美子, 室生 暁 原 田 理代	①②個人テスト
20	5/30	13:30-15:00	遠隔授業 (非同期 型)	解剖学 13	脳神経総論 脊柱管・脊髓 内頭 蓋底・頭頸部移行部 咽頭後壁 椎前筋・椎側筋 殿部(深層) 腰 神経叢	秋田 恵一	①②動画視聴後 に多肢選択式問 題
21	5/31	08:50-10:20	遠隔授業	解剖学 14	男性:会陰部 女性:会陰部 寛	室生 暁	①②動画視聴後

			(非同期型)		骨の除去 骨盤出口筋 仙骨神経叢 内腸骨動脈 骨盤神経叢 (下下腹神経叢) 骨盤内臓		に多肢選択式問題
22	6/4	08:50-10:20	情報検索室1	集合セッション6	集合セッション6	秋田 恵一, 山口 久美子, 室生 暁 原田 理代	①②個人テスト
23	6/6	13:30-15:00	遠隔授業 (非同期型)	解剖学 15	顔面(皮下・浅層) 咀嚼筋(浅層)	秋田 恵一	①②動画視聴後に多肢選択式問題
24	6/6	15:25-16:55	遠隔授業 (非同期型)	解剖学 16	肩甲帯 上腕 前腕屈側 手掌	秋田 恵一, 二村 昭元	①②動画視聴後に多肢選択式問題
25	6/7	08:50-10:20	遠隔授業 (非同期型)	解剖学 17	下顎骨 側頭下窩 顔面(深層)・舌 前腕伸側・手背 肘・手関節	秋田 恵一, 二村 昭元	①②動画視聴後に多肢選択式問題
26	6/11	08:50-10:20	情報検索室1	集合セッション7	集合セッション7	秋田 恵一, 山口 久美子, 室生 暁 原田 理代	①②個人テスト
27	6/13	13:30-15:00	遠隔授業 (非同期型)	解剖学 18	眼窩 外耳・中耳・内耳 下腿伸側・足背 下腿屈側	秋田 恵一, 二村 昭元	①②動画視聴後に多肢選択式問題
28	6/14	08:50-10:20	遠隔授業 (非同期型)	解剖学 19	鼻腔・副鼻腔・翼口蓋窩 口蓋 咽頭・喉頭 足底 膝・足関節	秋田 恵一, 二村 昭元	①②動画視聴後に多肢選択式問題
29	6/21	08:50-10:20	情報検索室1	集合セッション8	集合セッション8	秋田 恵一, 山口 久美子, 室生 暁 原田 理代	①②個人テスト
30	7/1	10:45-12:15	医学科講義室1	試験		秋田 恵一, 山口 久美子, 室生 暁 原田 理代, 二村 昭元	①②試験

授業方法

● 非同期授業

指定された動画ならびに講義資料、参考資料を閲覧し、指示にあるように課題に回答する。4月12日、5月2日、10日、17日、28日、6月4日、11日、21日の集合セッションでは、その前までに閲覧するように指示された非同期授業の内容ならびにそれまでに行われた人体解剖学実習での内容を含むため、集合セッション前に当該講義の動画は閲覧し、指示された問題に答えておくこと。

WebClass上にリアクションペーパーを用意する。これは、感想や質問、コメントを自由に記述してもらうためのものであり、出席管理に使うものではない。人間関係についての問題や、学習法、実習で苦労している点についての質問なども含め、自由に書いていただきたい。内容によっては全員に対してではなく、個人的に答える。コミュニケーションツールとして非常に有効であるので十分に活用してほしい。

すぐに解決できないような質問や、重要な質問やコメント、クラス全員に答えたほうが良いようなことについては集合セッションの中で答えるか、WebClass上で答える。優れた質問が授業内容を深める助けとなることが多い。また、講義資料、教科書等の誤りの指摘は授業の質を高めることに繋がるので、活用してほしい。

動画は復習に使用できるよう、卒業まで、WebClass上に閲覧可能な状態に置いておくので、活用していただきたい。

● 同期授業

4月12日、5月2日、10日、17日、28日、6月4日、11日、21日の集合セッションは、情報検索室で行われる。

集合セッションでは、それまで行われた非同期授業や事前または当日の人体解剖学実習の中で重要となることについて説明する。最後に示す課題については、自習する。

動画は復習に使用できるよう、卒業まで、WebClass上に閲覧可能な状態に置いておくので、活用していただきたい。

授業内容

授業スケジュールに各回の授業内容は示してある。

成績評価の方法

人体解剖学の評価は、個人テストならびに7月1日に実施される筆記試験によって行う。

1)個人テスト

4月12日、5月2日、10日、17日、28日、6月4日、11日、21日の集合セッションの個人テスト 5点×8回

※集合セッションで行われる解剖学用語試験は人体解剖学実習の成績評価に用いられる

2)筆記試験

基本多肢選択式問題 10題 10点

基本記述式問題 12題 60点

3)筆記試験

応用多肢選択式問題 5題 10点

応用記述式問題 3題 30点

成績評価の基準

人体解剖学の評価は、提出課題ならびに筆記試験の結果から、次のように行う。

1)と2)の合計が110点中70点以上の場合に合格とする。

これに3)の点数を加えたものを、この科目の評価とする。

準備学習等についての具体的な指示

人体構造総論を十分に学習しておくことが求められる。人体解剖学の講義では、人体構造総論で登場したものについては、学習済みのものとして扱う。また、組織学や生理学ですでに授業が行われているものについても、学習済みのものとして扱う。

人体解剖学実習手順は、単に実習の手順が書かれているだけではなく、臨牀的に重要となる点についても触れられている。非同期型の講義ビデオを視聴し、人体解剖学実習手順の概要を把握してから「グレイ解剖学」や「人体解剖カラーアトラス」の関連項目を読むことによって、理解すべき点が明確になるはずである。

試験の受験資格

7月1日に行われる定期試験ならびに追・再試験を受験する資格は、次のすべてを満たすものとする。

4月12日、5月2日、10日、17日、28日、6月4日、11日、21日の集合セッションの計8回に参加し、個人テストに回答すること。

集合セッションに参加できない場合は開始前の連絡を必須とする。

医学教務係にメールすることを原則とするが、緊急事態で電話連絡をした場合は後日メールで事情を説明することが必要である。連絡ができないような特別な事情があったとあとで判断された場合はその限りではない。

教科書

グレイ解剖学／Richard L.Drake, A.Wayne Vogl, Adam W.Mitchell [著],秋田恵一 訳:エルゼビア・ジャパン, 2019

人体解剖カラーアトラス(電子書籍付)(原書第8版)／佐藤 達夫 翻訳秋田 恵一 翻訳:南江堂, 2021

参考書

体表からわかる人体解剖学: ポケットチューター／Richard Tunstall, S. Ali Mirjalili [著]; [大川淳ほか訳],Tunstall, Richard,Mirjalili, S. Ali,大川, 淳,秋田, 恵一,:南江堂, 2021

他科目との関連

「人体解剖学」は、「人体構造総論」と密接な関係があるだけでなく、「組織学」、「生理学」、「神経解剖学」といった、他の解剖学の科目とも密

接な関係にある。また、1年生の「医学導入(MIC)」とくにその中の「症候学導入」とも関連が深く、その時には十分理解出来なかった症候のメカニズムを確認する機会とすることが必要である。 また、臨床各科と関連し集合セッション中に提示する症例や、教科書「グレイ解剖学」の臨床的事項や臨床症例ならびに「人体解剖学カラーアトラス」の臨床関連事項は、臨床との関連を十分に意識できる機会であるから、十分に活用していただきたい。	
履修上の注意事項 講義動画、講義資料、参考資料などは著作権の問題があるので、受講登録者以外に公開することを禁ずる。	
備考 授業最終日から、コース評価アンケートが WebClass でできるようになっている。アンケートに回答しない場合は、本科目の合否が WebClass に表示されない。	
連絡先(メールアドレス) 秋田 恵一 akita.fana@tmd.ac.jp	
オフィスアワー 秋田 恵一メール等でアポイントメントを取る。	

時間割番号	011017		
科目名	人体解剖学実習	科目ID	
担当教員	秋田 恵一[AKITA KEIICHI]		
開講時期	2024 年度前期	対象年次	2
実務経験のある教員による授業	該当する		
英文名:Human Anatomy			
授業の目的、概要等 人体解剖学(講義)で学んだ内容を、解剖実習体を自分の手で解剖し、自分の目で観察し、見出した構造を同定して、説明できることを目指す。 人体解剖実習は、人体に初めて直接触れる実習である。解剖実習体には十分に敬意を払って接することが必要である。献体について、解剖実習に臨むにあたっての注意については、解剖実習説明会の時に話す。敬意を表現するためにも、十分な予習をした上で参加することが求められる。			
授業の到達目標 人体解剖学実習に参加し、解剖実習体を人体解剖学実習手順にしたがって ①自分の手で解剖し、 ②自分の目で観察し、 ③剖出した構造を同定する。 人体を理解するためには、構造の名称をある程度知らなくては理解できないし、構造のもつ意味も理解できない。また、解剖学にかかわらず、すべての科目の教科書や論文等を読む時には、基本的な解剖学用語を知らずに内容の理解は覚束ない。そのため、人体解剖学実習の中で、基本的な解剖学用語を日本語と英語で覚えることを求めている。 人体解剖学実習手順にあるチェックリストは、実習の進行が適切に行われているかを判断ために用いる。			
文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(令和4 年度改訂版) https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/116/toushin/mext_01280.html			
PS-02-02)01 PS-02-03)01 PS-02-05)01 PS-02-06)01 PS-02-07)01 PS-02-08)01,05 PS-02-09)01 PS-02-10)01 PS-02-13)01			
医学科コンピテンシーよりこの科目で身につけるレベル [I-2-B]世界的に注目されている医学／歯学／健康に関する主たるトピックについて、議論できる [I-3-B]科学/医学/歯学専門用語/表現の理解/表記/発音ができる [II-1-A]医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる [II-2-B]基礎的および臨床的研究の倫理的事項に配慮して実習を行える [II-3-B]臨床的あるいは科学的問題提起ができる [II-4-B]実習実験を実施して結果を得ることができる [II-5-B]実習実験により得られた結果の意義を、口頭あるいは書面で明確に説明できる [III-1-A]他者の貢献、時間、価値感、人格を尊重し、常に敬意を払って接することができる [III-8-C]患者との関係(情報漏洩、親密性、金品授受など)において適切な距離を維持する必要性を説明できる [III-9-A]個人の生活における責務と医学科での学習及び社会的な責務について、適切にバランスを取ることができる			

[Ⅲ-10-A]自立と監督・指導の必要性との適切なバランスを常に保つことができる
 [Ⅲ-12-A]メンタルストレスに直面した際、それを認識し、適切な解消処置をとれる
 [Ⅲ-14-A]時間厳守、信頼性、適切な準備、率先性、遂行能力を示すことができる
 [Ⅲ-15-A]文書課題を、正確で判読しうる質にて作成し、規定期限内に提出できる
 [Ⅲ-16-A]本学を含めた当該機関内規、法律、専門職社会内規範を遵守できる
 [Ⅲ-17-A]常に、誠実さ、正直さ、確実さをもって行動できる
 [Ⅲ-18-A]他者への良識を逸する振舞い(無礼、短気など)を認識し、助言を求め、今後起こさぬよう振舞いを修正することができる
 [Ⅲ-19-B]情報やデータ収集におけるエラーを認識し、学習グループのメンバーや指導・監督者に報告できる
 [Ⅲ-23-A]記述、プレゼンテーション、論文、および研究情報などの利用において、著作権を尊重し、それに沿って行動できる
 [Ⅲ-26-A]自身の知識・能力・振舞いを批判的に省察し、長所と課題点を同定し、改善の為に学習目標を設定し、それを達成するのに適した学習活動に取り組むことができる
 [Ⅲ-27-A]自身に対するフィードバックにもとづき省察し自己改善を実現できる
 [Ⅲ-28-A]他人に建設的なフィードバックを適切な形で提示できる
 [Ⅲ-29-A]ポートフォリオを活用して、課題設定を行い、自己学習・自己研鑽できる
 [V-1-B]疾患の病因・病態・臨床徴候などの理解に必要な基礎医学知識を提示できる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/12	10:45-12:15	6階学生実習室	第1回	骨学実習(体幹、上肢、下肢、頭蓋骨)	秋田 恵一、 山口 久美子、 室生 暁 原 田 理代、奥 原 滋、藤代 瞳、二村 昭 元	①②③実習
2	4/12	13:30-15:00	6階学生実習室	第1回	骨学実習(体幹、上肢、下肢、頭蓋骨)	秋田 恵一、 山口 久美子、 室生 暁 原 田 理代、奥 原 滋、藤代 瞳、二村 昭 元	①②③実習
3	4/12	15:25-16:55	6階学生実習室	第1回	骨学実習(体幹、上肢、下肢、頭蓋骨)	秋田 恵一、 山口 久美子、 室生 暁 原 田 理代、奥 原 滋、藤代 瞳、二村 昭 元	①②③実習
4	4/19	08:50-10:20	医学科講義室1	第2回	解剖実習説明会	秋田 恵一、 山口 久美子、 室生 暁 原 田 理代、奥 原 滋、藤代 瞳、二村 昭 元	
5	4/19	10:45-12:15	解剖学実習室	第2回	体表観察(仰臥位) 皮膚 乳腺 胸・腹部(皮下) 頸部(皮下) 下 腹部(皮下)	秋田 恵一、 山口 久美子、 室生 暁 原	①②③実習

						田 理代, 太 田 正人, 藤 代 瞳, 二村 昭元, 中澤正 孝, 奥原 滋	
6	4/19	13:30-15:00	解剖学実 習室	第 2 回	体表観察(仰臥位) 皮膚 乳腺 胸・腹部(皮下) 頸部(皮下) 下 腹部(皮下)	秋田 恵一, 山口 久美子, 室生 暁 原 田 理代, 太 田 正人, 藤 代 瞳, 二村 昭元, 中澤正 孝, 奥原 滋	①②③実習
7	4/19	15:25-16:55	解剖学実 習室	第 2 回	体表観察(仰臥位) 皮膚 乳腺 胸・腹部(皮下) 頸部(皮下) 下 腹部(皮下)	秋田 恵一, 山口 久美子, 室生 暁 原 田 理代, 太 田 正人, 藤 代 瞳, 二村 昭元, 中澤正 孝, 奥原 滋	①②③実習
8	4/23	10:45-12:15	解剖学実 習室	第 3 回	肩部(皮下)・浅胸筋 大腿伸側 (皮下・浅層・中層)	秋田 恵一, 山口 久美子, 室生 暁 原 田 理代, 藤 代 瞳, 二村 昭元, 中澤正 孝	①②③実習
9	4/23	13:30-15:00	解剖学実 習室	第 3 回	肩部(皮下)・浅胸筋 大腿伸側 (皮下・浅層・中層)	秋田 恵一, 山口 久美子, 室生 暁 原 田 理代, 藤 代 瞳, 二村 昭元, 中澤正 孝	①②③実習
10	4/23	15:25-16:55	解剖学実 習室	第 3 回	肩部(皮下)・浅胸筋 大腿伸側 (皮下・浅層・中層)	秋田 恵一, 山口 久美子, 室生 暁 原 田 理代, 藤 代 瞳, 二村 昭元, 中澤正 孝	①②③実習
11	4/26	10:45-12:15	解剖学実 習室	第 4 回	体表観察(腹臥位) 頭部・頸部・背 部・腰部(皮下)	秋田 恵一, 山口 久美子, 室生 暁 原 田 理代, 太 田 正人, 藤 代 瞳, 中澤 正孝	①②③実習
12	4/26	13:30-15:00	解剖学実	第 4 回	体表観察(腹臥位) 頭部・頸部・背	秋田 恵一,	①②③実習

			習室		部・腰部(皮下)	山口 久美子, 室生 暁 原 田 理代, 太 田 正人, 藤 代 瞳, 中澤 正孝	
13	4/26	15:25-16:55	解剖学実 習室	第4回	体表観察(腹臥位) 頭部・頸部・背 部・腰部(皮下)	秋田 恵一, 山口 久美子, 室生 暁 原 田 理代, 太 田 正人, 藤 代 瞳, 中澤 正孝	①②③実習
14	4/30	10:45-12:15	解剖学実 習室	第5回	後頭の筋・浅背筋 殿部 大腿屈 側(皮下) 上肢帯近位部 大腿 屈側(浅層) 殿部(浅層)	秋田 恵一, 山口 久美子, 室生 暁 原 田 理代, 藤 代 瞳, 二村 昭元, 中澤正 孝	①②③実習
15	4/30	13:30-15:00	解剖学実 習室	第5回	後頭の筋・浅背筋 殿部 大腿屈 側(皮下) 上肢帯近位部 大腿 屈側(浅層) 殿部(浅層)	秋田 恵一, 山口 久美子, 室生 暁 原 田 理代, 藤 代 瞳, 二村 昭元, 中澤正 孝	①②③実習
16	4/30	15:25-16:55	解剖学実 習室	第5回	後頭の筋・浅背筋 殿部 大腿屈 側(皮下) 上肢帯近位部 大腿 屈側(浅層) 殿部(浅層)	秋田 恵一, 山口 久美子, 室生 暁 原 田 理代, 藤 代 瞳, 二村 昭元, 中澤正 孝	①②③実習
17	5/2	10:45-12:15	解剖学実 習室	第6回	固有背筋 固有背筋(外側系) 固有背筋(内側系) 脊柱傍筋	秋田 恵一, 山口 久美子, 室生 暁 原 田 理代, 藤 代 瞳, 二村 昭元, 中澤正 孝	①②③実習
18	5/2	13:30-15:00	解剖学実 習室	第6回	固有背筋 固有背筋(外側系) 固有背筋(内側系) 脊柱傍筋	秋田 恵一, 山口 久美子, 室生 暁 原 田 理代, 藤 代 瞳, 二村 昭元, 中澤正 孝	①②③実習
19	5/2	15:25-16:55	解剖学実 習室	第6回	固有背筋 固有背筋(外側系) 固有背筋(内側系) 脊柱傍筋	秋田 恵一, 山口 久美子,	①②③実習

						室生 暁 原 田 理代 藤 代 瞳 二村 昭元 中澤正 孝	
20	5/7	10:45-12:15	解剖学実 習室	第7回	頸部(中層) 腹壁(浅層・深層)・鼠 径管 鼠径部の構造	秋田 恵一, 山口 久美子, 室生 暁 原 田 理代 藤 代 瞳 二村 昭元 中澤正 孝	①②③実習
21	5/7	13:30-15:00	解剖学実 習室	第7回	頸部(中層) 腹壁(浅層・深層)・鼠 径管 鼠径部の構造	秋田 恵一, 山口 久美子, 室生 暁 原 田 理代 藤 代 瞳 二村 昭元 中澤正 孝	①②③実習
22	5/7	15:25-16:55	解剖学実 習室	第7回	頸部(中層) 腹壁(浅層・深層)・鼠 径管 鼠径部の構造	秋田 恵一, 山口 久美子, 室生 暁 原 田 理代 藤 代 瞳 二村 昭元 中澤正 孝	①②③実習
23	5/10	10:45-12:15	解剖学実 習室	第8回	腋窩・腕神経叢、上肢の切離 大 腿伸側(深層)・大腿屈側(深層)、 下肢の切離	秋田 恵一, 山口 久美子, 室生 暁 原 田 理代 太 田 正人 藤 代 瞳 二村 昭元 中澤正 孝 奥原 滋	①②③実習
24	5/10	13:30-15:00	解剖学実 習室	第8回	腋窩・腕神経叢、上肢の切離 大 腿伸側(深層)・大腿屈側(深層)、 下肢の切離	秋田 恵一, 山口 久美子, 室生 暁 原 田 理代 太 田 正人 藤 代 瞳 二村 昭元 中澤正 孝 奥原 滋	①②③実習
25	5/10	15:25-16:55	解剖学実 習室	第8回	腋窩・腕神経叢、上肢の切離 大 腿伸側(深層)・大腿屈側(深層)、 下肢の切離	秋田 恵一, 山口 久美子, 室生 暁 原 田 理代 太 田 正人 藤 代 瞳 二村 昭元 中澤正 孝 奥原 滋	①②③実習

26	5/14	10:45-12:15	解剖学実習室	第9回	胸郭 上縦隔・甲状腺	秋田 恵一, 山口 久美子, 室生 暁 原 田 理代, 藤 代 瞳, 二村 昭元, 中澤正 孝	①②③実習
27	5/14	13:30-15:00	解剖学実習室	第9回	胸郭 上縦隔・甲状腺	秋田 恵一, 山口 久美子, 室生 暁 原 田 理代, 藤 代 瞳, 二村 昭元, 中澤正 孝	①②③実習
28	5/14	15:25-16:55	解剖学実習室	第9回	胸郭 上縦隔・甲状腺	秋田 恵一, 山口 久美子, 室生 暁 原 田 理代, 藤 代 瞳, 二村 昭元, 中澤正 孝	①②③実習
29	5/17	10:45-12:15	解剖学実習室	第10回	自律神経系 心臓の神経 後縦 隔 心臓・肺	秋田 恵一, 山口 久美子, 室生 暁 原 田 理代, 太 田 正人, 藤 代 瞳, 二村 昭元, 中澤正 孝	①②③実習
30	5/17	13:30-15:00	解剖学実習室	第10回	自律神経系 心臓の神経 後縦 隔 心臓・肺	秋田 恵一, 山口 久美子, 室生 暁 原 田 理代, 太 田 正人, 藤 代 瞳, 二村 昭元, 中澤正 孝	①②③実習
31	5/17	15:25-16:55	解剖学実習室	第10回	自律神経系 心臓の神経 後縦 隔 心臓・肺	秋田 恵一, 山口 久美子, 室生 暁 原 田 理代, 太 田 正人, 藤 代 瞳, 二村 昭元, 中澤正 孝	①②③実習
32	5/21	10:45-12:15	解剖学実習室	第11回	腹膜 大腸 胃の血管 腸管の 血管と自律神経 肝門・門脈	秋田 恵一, 山口 久美子, 室生 暁 原 田 理代, 藤 代 瞳, 二村	①②③実習

						昭元 中澤正孝	
33	5/21	13:30-15:00	解剖学実習室	第 11 回	腹膜 大腸 胃の血管 腸管の血管と自律神経 肝門・門脈	秋田 恵一, 山口 久美子, 室生 暁 原田 理代, 藤代 瞳, 二村 昭元, 中澤正孝	①②③実習
34	5/21	15:25-16:55	解剖学実習室	第 11 回	腹膜 大腸 胃の血管 腸管の血管と自律神経 肝門・門脈	秋田 恵一, 山口 久美子, 室生 暁 原田 理代, 藤代 瞳, 二村 昭元, 中澤正孝	①②③実習
35	5/24	10:45-12:15	解剖学実習室	第 12 回	十二指腸と膵臓 膵臓の血管と膵管の分布 肝臓	秋田 恵一, 山口 久美子, 室生 暁 原田 理代, 太田 正人, 奥原 滋, 藤代 瞳, 中澤正孝	①②③実習
36	5/24	13:30-15:00	解剖学実習室	第 12 回	十二指腸と膵臓 膵臓の血管と膵管の分布 肝臓	秋田 恵一, 山口 久美子, 室生 暁 原田 理代, 太田 正人, 奥原 滋, 藤代 瞳, 中澤正孝	①②③実習
37	5/24	15:25-16:55	解剖学実習室	第 12 回	十二指腸と膵臓 膵臓の血管と膵管の分布 肝臓	秋田 恵一, 山口 久美子, 室生 暁 原田 理代, 太田 正人, 奥原 滋, 藤代 瞳, 中澤正孝	①②③実習
38	5/28	10:45-12:15	解剖学実習室	第 13 回	L1 の重要性 消化管 腹膜後器官 横隔膜 後体壁	秋田 恵一, 山口 久美子, 室生 暁 原田 理代, 藤代 瞳, 二村 昭元, 中澤正孝	①②③実習
39	5/28	13:30-15:00	解剖学実習室	第 13 回	L1 の重要性 消化管 腹膜後器官 横隔膜 後体壁	秋田 恵一, 山口 久美子, 室生 暁 原田 理代, 藤代 瞳, 二村 昭元, 中澤正孝	①②③実習

						孝	
40	5/28	15:25-16:55	解剖学実習室	第 13 回	Li の重要性 消化管 腹膜後器官 横隔膜 後体壁	秋田 恵一, 山口 久美子, 室生 暁 原田 理代, 藤代 瞳, 二村 昭元, 中澤正孝	①②③実習
41	5/31	10:45-12:15	解剖学実習室	第 14 回	脊柱管・脊髓 内頭蓋底・頭頸部移行部 咽頭後壁 椎前筋・椎側筋 殿部(深層) 腰神経叢	秋田 恵一, 山口 久美子, 室生 暁 原田 理代, 太田 正人, 藤代 瞳, 二村 昭元, 中澤正孝	①②③実習
42	5/31	13:30-15:00	解剖学実習室	第 14 回	脊柱管・脊髓 内頭蓋底・頭頸部移行部 咽頭後壁 椎前筋・椎側筋 殿部(深層) 腰神経叢	秋田 恵一, 山口 久美子, 室生 暁 原田 理代, 太田 正人, 藤代 瞳, 二村 昭元, 中澤正孝	①②③実習
43	5/31	15:25-16:55	解剖学実習室	第 14 回	脊柱管・脊髓 内頭蓋底・頭頸部移行部 咽頭後壁 椎前筋・椎側筋 殿部(深層) 腰神経叢	秋田 恵一, 山口 久美子, 室生 暁 原田 理代, 太田 正人, 藤代 瞳, 二村 昭元, 中澤正孝	①②③実習
44	6/4	10:45-12:15	解剖学実習室	第 15 回	男性:会陰部 女性:会陰部 寛骨の除去 骨盤出口筋 仙骨神経叢 内腸骨動脈 骨盤神経叢(下腹神経叢) 骨盤内臓	秋田 恵一, 山口 久美子, 室生 暁 原田 理代, 藤代 瞳, 二村 昭元, 中澤正孝	①②③実習
45	6/4	13:30-15:00	解剖学実習室	第 15 回	男性:会陰部 女性:会陰部 寛骨の除去 骨盤出口筋 仙骨神経叢 内腸骨動脈 骨盤神経叢(下腹神経叢) 骨盤内臓	秋田 恵一, 山口 久美子, 室生 暁 原田 理代, 藤代 瞳, 二村 昭元, 中澤正孝	①②③実習
46	6/4	15:25-16:55	解剖学実習室	第 15 回	男性:会陰部 女性:会陰部 寛骨の除去 骨盤出口筋 仙骨神経叢 内腸骨動脈 骨盤神経叢(下腹神経叢) 骨盤内臓	秋田 恵一, 山口 久美子, 室生 暁 原田 理代, 藤	①②③実習

						代 瞳, 二村 昭元, 中澤正 孝	
47	6/7	10:45-12:15	解剖学実 習室	第 16 回	顔面(皮下・浅層) 咀嚼筋(浅層) 肩甲帯 上腕 前腕屈側 手掌	秋田 恵一, 山口 久美子, 室生 暁 原 田 理代, 太 田 正人, 藤 代 瞳, 二村 昭元, 中澤正 孝, 奥原 滋	①②③実習
48	6/7	13:30-15:00	解剖学実 習室	第 16 回	顔面(皮下・浅層) 咀嚼筋(浅層) 肩甲帯 上腕 前腕屈側 手掌	秋田 恵一, 山口 久美子, 室生 暁 原 田 理代, 太 田 正人, 藤 代 瞳, 二村 昭元, 中澤正 孝, 奥原 滋	①②③実習
49	6/7	15:25-16:55	解剖学実 習室	第 16 回	顔面(皮下・浅層) 咀嚼筋(浅層) 肩甲帯 上腕 前腕屈側 手掌	秋田 恵一, 山口 久美子, 室生 暁 原 田 理代, 太 田 正人, 藤 代 瞳, 二村 昭元, 中澤正 孝, 奥原 滋	①②③実習
50	6/11	10:45-12:15	解剖学実 習室	第 17 回	下顎骨 側頭下窩 顔面(深層)・ 舌 前腕伸側・手背 肘・手関節	秋田 恵一, 山口 久美子, 室生 暁 原 田 理代, 藤 代 瞳, 二村 昭元, 中澤正 孝	①②③実習
51	6/11	13:30-15:00	解剖学実 習室	第 17 回	下顎骨 側頭下窩 顔面(深層)・ 舌 前腕伸側・手背 肘・手関節	秋田 恵一, 山口 久美子, 室生 暁 原 田 理代, 藤 代 瞳, 二村 昭元, 中澤正 孝	①②③実習
52	6/11	15:25-16:55	解剖学実 習室	第 17 回	下顎骨 側頭下窩 顔面(深層)・ 舌 前腕伸側・手背 肘・手関節	秋田 恵一, 山口 久美子, 室生 暁 原 田 理代, 藤 代 瞳, 二村 昭元, 中澤正 孝	①②③実習
53	6/14	10:45-12:15	解剖学実 習室	第 18 回	眼窩 外耳・中耳・内耳 下腿伸 側・足背 下腿屈側	秋田 恵一, 山口 久美子,	①②③実習

						室生 暁 原 田 理代 太 田 正人 藤 代 瞳 二村 昭元 中澤正 孝	
54	6/14	13:30-15:00	解剖学実 習室	第 18 回	眼窩 外耳・中耳・内耳 下腿伸 側・足背 下腿屈側	秋田 恵一、 山口 久美子、 室生 暁 原 田 理代 太 田 正人 藤 代 瞳 二村 昭元 中澤正 孝	①②③実習
55	6/14	15:25-16:55	解剖学実 習室	第 18 回	眼窩 外耳・中耳・内耳 下腿伸 側・足背 下腿屈側	秋田 恵一、 山口 久美子、 室生 暁 原 田 理代 太 田 正人 藤 代 瞳 二村 昭元 中澤正 孝	①②③実習
56	6/18	10:45-12:15	解剖学実 習室	第 19 回	鼻腔・副鼻腔・翼口蓋窩 口蓋 咽頭(外側) 咽頭・喉頭 足底 膝・足関節	秋田 恵一、 山口 久美子、 室生 暁 原 田 理代 藤 代 瞳 二村 昭元 中澤正 孝	①②③実習
57	6/18	13:30-15:00	解剖学実 習室	第 19 回	鼻腔・副鼻腔・翼口蓋窩 口蓋 咽頭(外側) 咽頭・喉頭 足底 膝・足関節	秋田 恵一、 山口 久美子、 室生 暁 原 田 理代 藤 代 瞳 二村 昭元 中澤正 孝	①②③実習

授業方法

人体解剖学実習は、実習を行う前に、人体解剖学用語の予習の程度の確認として、人体解剖学用語試験を行う。ここで人体解剖学用語を理解しておくことで、人体解剖学実習手順や教科書等を読みやすい状態にすることを旨とする。

人体解剖実習では、毎回の実習の進捗と手順を示した人体解剖実習手順が事前に配布されるので、それにしたがって実習を進める。実習に先立って行われる講義において、重要なポイントや臨床的関連事項などでふれるので、それらを参考にして解剖を進める。

人体解剖実習手順に求められているチェックリストは、解剖が予定通りに行われているかを確認する上での目安となるものである。また、その情報を班員全員で確認することにより、自分の担当しているところ以外についても進捗や手順を把握しているか知ることができる。

実習手順を読まないで実習に参加しても、破壊するだけに等しいので、予習をしていないと判断された場合には出席を認めない場合がある。

授業内容

授業スケジュール参照

成績評価の方法

人体解剖学実習の評価は、実習への参加、用語試験(30 分×8 回)ならびに提出されたチェックリストの評価によって行う。

次の2つの項目で評価を行う。

1) 人体解剖学用語試験

講義・実習を受ける際には、構造の名称がわからないと効率が悪いので、講義・実習の進捗に合わせた範囲の試験を行う。試験範囲は「GRAY'S ANATOMY FOR STUDENT FLASH CARDS 第5版(ただし教科書・日本語版はまだ4版)」のページ数で試験範囲を示す。ただし、解剖学用語は[日本解剖学会 解剖学用語委員会編「解剖学用語」(改訂13版)2007年 医学書院]に準拠する。FLASH CARDSや本によっては誤りやあいまいなものもあるので、注意してほしい。(間違いのあるところの問題は基本的に使わない)しかしながら慣用的にあいまいに使われている用語については用語試験の採点においてかなり広く認めている。

評価は、日本語:英語=1:3で採点し、各回4割以上、全体で6割以上の得点を必須とする。

2) チェックリスト

人体解剖学実習手順にて指示された基準を満たしているかで評価を行う。

人体解剖学実習手順の中にあるチェックリストの提出を行う。班ごとの提出となるので、分担した場合も班員全員で確認のうえで提出する。班員をランダムに指名して説明を求めることがあるが、指名された班員が説明できなかった場合は未提出として扱うことになり、程度によっては欠席扱いとなるので注意すること。

成績評価の基準

第一段階として、出席要件を満たすことが必要である。

第二段階として、1)が60%に達していること。分野内再試験*などによって、最終的に60%に達した場合には合格とする。

*分野内再試験は、7月29日10時(予定)より対面で行う。

1: 用語試験の総合成績が6割未満の学生に対しては全範囲について行う

2: 総合成績が6割以上でかつ4割未満の回がある学生に対してすべての4割未満の回の範囲について行う

成績については、

全部の学生は分野内再試験で6割以上得点すれば60%として扱い、

一部の学生は各回4割以上得点すれば40%として再集計する。

なお、正式な定期試験ではなくあくまで分野内試験のため、受験できなかった場合は1, 2の場合共に不合格と判定される。

準備学習等についての具体的な指示

実習の前までに、その範囲についての非同期授業の動画の視聴を行う。人体解剖学実習手順、参考資料、教科書、アトラス、補助教材などを用い、十分に予習をして実習に臨むことを求める。予習が不完全であると、それだけ実習作業に時間がかかり、時間内に終わらないという悪循環になる。解剖実習の進捗が遅くなるのは、多くの場合、わけがわからずに手を動かすということによって起こる。構造について事前に理解し、手順に十分に従うことにより、理解も深まり、進度も速くなる。

毎回手順に書いてある分量をこなさなくては、次回に持ち越すことになってしまうので、次回にその分だけ進捗が遅くなる。

試験の受験資格

4月19日の人体解剖学実習説明会、19回の人体解剖学実習のすべての参加が必要である。やむを得ない事情で出席できない場合は以下に示す所定の手続きをとること。

人体解剖学実習についての説明は、必ず出席すること。説明内容を理解したことを書面にて確認を行う。この書面が提出されない場合は、人体解剖学実習への参加を認めない。

人体解剖学実習は、班員との共同作業であるので、原則として出席すること。出席は、実習開始時ならびに実習中に確認する。時間内に作業が完了することができるように実習の手順を設定している。そのため、終了時刻を遅らせることはなく、時間厳守とする。作業の中断が長過ぎる場合には、出席の確認を行うことがある。無断欠席や、無断早退があった場合には、出席の要件を満たすとみなされないことがある。同じ班の班員から、作業にほとんど参加しないなどの苦情があった場合には欠席とすることがある。特別に勘案すべき事情がある場合には、その事情とともに、実習開始前までに科目責任者または医学教務係にメール等の日時の記録が残る形で連絡することを必須とする。なお、緊急の場合には電話でもよいが、その後メールはすること。連絡ができないような特別な事情があったとあとで判断された場合には、その限りではない。

これらの十分な対応がおこなわれていたと判断された場合には、事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。

実習の出席要件を満たさない場合は、人体解剖学用語の確認テストを採点対象外(0点)とする。	
教科書 グレイ解剖学／Richard L. Drake, A. Wayne Vogl, Adam W.M. Mitchell [原著]；秋田恵一訳:エルゼビア・ジャパン, 2019 人体解剖カラーアトラス(電子書籍付)(原書第8版)／佐藤 達夫 翻訳秋田 恵一 翻訳:南江堂, 2021 Gray's Anatomy for Students Flash Cards／Richard Drake, A. Wayne Vogl, Adam W. M. Mitchell:Elsevier, 2023	
参考書 体表からわかる人体解剖学：ポケットチューター／Richard Tunstall, S. Ali Mirjalili [著]；[大川淳(ほか訳)]Tunstall, Richard,Mirjalili, S. Ali,大川, 淳秋田, 恵一.:南江堂, 2021	
他科目との関連 「人体解剖学」は、「人体構造総論」と密接な関係があるだけでなく、「組織学」や「神経解剖学」といった、他の解剖学の科目とも密接な関係にある。また、1年生の「医学導入(MIC)」とくにその中の「症候学導入」とも関連が深く、その時には十分理解出来なかった症候のメカニズムを確認する機会とすることが必要である。臨床的な事項との関連は、意識しないとなかなか気付くことができない。講義中に提示する症例や、教科書「グレイ解剖学」の臨床的事項や臨床症例等を活用し、様々なところで関連を考えながら学んでいただきたい。実習中に、講義で提示された症例について班内で議論するなど、関連を考えながら、実習を進めるようにすることが求められる。	
履修上の注意事項 解剖学を学ぶということは、解剖学用語を暗記することがゴールではない。人体解剖学も、人体発生学と同様にストーリーで理解することが必要である。何が重要なのかということについては、講義で折に触れて述べているはずなので、意識して理解するように努めていただきたい。解剖実習体については、十分に敬意を払って接すること。人体解剖実習手順などに従わず、解剖学的な根拠なしに実習を進めようとすることは、死体損壊となることがあるので、十分に気を付けておこなうこと。人体解剖実習手順、参考資料等、教材は全て著作物であり、著作権の問題があるので、受講登録者以外に公開することを禁ずる。実習室内にスマートフォンやカメラ等の持ち込みを固く禁ずる。解剖実習に関することを SNS 等へ書き込みした場合には、厳しく処分を行う。	
備考 実習手順、参考資料等、教材は全て著作物であり、著作権の関係上、外部に流出することのないように十分に気を付けること。 2023 年度のコース評価を受けて： クラスを半分に分けた実習からクラス全体での実習へと戻した。	
連絡先(メールアドレス) 秋田 恵一 akita.fana@tmd.ac.jp	
オフィスアワー 秋田 恵一メール等でアポイントメントを取ること。	

時間割番号	011022		
科目名	薬理学	科目ID	
担当教員	仁科 博史, 永田 将司, 三枝 弘尚, 蘇原 映誠, 山田 哲也, 小藤 智史, 笹野 哲郎, 内田 智士, 高地 雄太, 具 芳明, 長谷川 純矢, 佐藤 卓, 七田 崇[NISHINA HIROSHI, NAGATA MASASHI, SAEGUSA HIRONAO, SOHARA EISEI, YAMADA Tetsuya, KOFUJI Satoshi, SASANO TETSUO, UCHIDA SATOSHI, KOUCHI Yuuta, GU Yoshiaki, HASEGAWA Junnya, SATOU Taku, SHICHITA Takashi]		
開講時期	2024 年度前期	対象年次	2
実務経験のある教員による授業			
英文名:Pharmacology			
主な講義場所			
対面および遠隔講義(同期及び非同期)とします。担当教員と学生との双方向のアクティブラーニングとなることを目指す。			
授業の目的、概要等			
基本的、代表的な薬物を取り上げて、その薬理作用、作用機序、代謝、臨床応用などについて系統的に解説し、その後の臨床講義や臨床の現場で多数の薬物に遭遇しても応用できるような薬理学的基礎を与えることを目的としています。また生理学、生化学、薬理学等の区別にあまりとらわれずに、広く「物質と生体の相互作用」という立場から教育を行います。			
授業の到達目標			
薬物がどのように体に作用するかを学ぶことは、薬物を用いた治療法を理解する上での基盤となります。本科目では、薬物の作用機序やそれを説明するための基本となる薬物受容体や細胞内シグナル伝達系、イオンチャネル等について理解することを目指します。			
文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(令和4 年度改訂版)			
https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/116/toushin/mext_01280.html			
PS-01-02)01,02,03,04,05,07,08,09,10,12,13,14,17,19,20,21,33,36			
PS-01-03)02,04,05,06,12,15,18,19,21,22,23,24,25,28,31,32,33			
PS-01-04)01,02,04,14,15			
医学科コンピテンシーよりこの科目で身につけるレベル			
[I-2-B]世界的に注目されている医学／歯学／健康に関する主たるトピックについて、議論できる			
[I-3-B]科学/医学/歯学専門用語/表現の理解/表記/発音ができる			
[II-1-A]医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる			
[II-2-B]基礎的および臨床的研究の倫理的事項に配慮して実習を行える			
[II-3-B]臨床的あるいは科学的問題提起ができる			
[II-4-B]実習実験を実施して結果を得ることができる			
[II-5-B]実習実験により得られた結果の意義を、口頭あるいは書面で明確に説明できる			
[III-1-A]他者の貢献、時間、価値感、人格を尊重し、常に敬意を払って接することができる			
[III-9-A]個人の生活における責務と医学科での学習及び社会的な責務について、適切にバランスを取ることができる			
[III-10-A]自立と監督・指導の必要性との適切なバランスを常に保つことができる			
[III-12-A]メンタルストレスに直面した際、それを認識し、適切な解消処置をとれる			
[III-14-A]時間厳守、信頼性、適切な準備、率先性、遂行能力を示すことができる			
[III-15-A]文書課題を、正確で判読しうる質にて作成し、規定期限内に提出できる			
[III-16-A]本学を含めた当該機関内規、法律、専門職社会内規範を遵守できる			
[III-17-A]常に、誠実さ、正直さ、確実さをもって行動できる			
[III-18-A]他者への良識を逸する振舞い(無礼、短気など)を認識し、助言を求め、今後起こさぬよう振舞いを修正することができる			
[III-19-B]情報やデータ収集におけるエラーを認識し、学習グループのメンバーや指導・監督者に報告できる			
[III-23-A]記述、プレゼンテーション、論文、および研究情報などの利用において、著作権を尊重し、それに沿って行動できる			
[III-26-A]自身の知識・能力・振舞いを批判的に省察し、長所と課題点を同定し、改善の為の学習目標を設定し、それを達成するのに適した学習活動に取り組むことができる			

[Ⅲ-27-A]自身に対するフィードバックにもとづき省察し自己改善を実現できる
 [Ⅲ-28-A]他人に建設的なフィードバックを適切な形で提示できる
 [Ⅲ-29-A]ポートフォリオを活用して、課題設定を行い、自己学習・自己研鑽できる
 [V-1-B]疾患の病因・病態・臨床徴候などの理解に必要な基礎医学知識を提示できる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	7/2	13:30-15:00	医学科講義室 1	薬理学総論	仁科 博史	質問は WebClass のリアクションペーパーにおいて授業日時の 1 週間後まで受け付ける。重要な質問・回答は WebClass で共有する。
2	7/3	08:50-10:20	医学科講義室 1	循環薬理 (1): 虚血性心疾患治療薬、心不全治療薬	笹野 哲郎	質問は WebClass のリアクションペーパーにおいて授業日時の 1 週間後まで受け付ける。重要な質問・回答は WebClass で共有する。
3	7/3	10:45-12:15	医学科講義室 1	薬物動態学 (1)	永田 将司	質問は WebClass のリアクションペーパーにおいて授業日時の 1 週間後まで受け付ける。重要な質問・回答は WebClass で共有する。
4	7/9	08:50-10:20	遠隔授業 (非同期型)	腎臓・体液	蘇原 映誠	Zoom によるオンライン授業(非同期)。質問は WebClass のリアクションペーパーにおいて授業日時の 1 週間後まで受け付ける。重要な質問・回答は WebClass で共有する。
5	7/9	10:45-12:15	遠隔授業 (同期型)	内分泌系(1): ホルモン・骨粗鬆症治療薬	長谷川 純矢	Zoom によるオンライン授業(同期)。質問は WebClass のリア

						クシヨンペーパー において授業日 時の 1 週間後ま で受け付ける。重 要な質問・回答は WebClass で共有 する。
6	7/10	08:50-10:20	医学科講 義室 1	内分泌系(2):糖尿病治療薬	山田 哲也	質問は WebClass のリアクシヨンペ ーパーにおいて 授業日時の 1 週 間後まで受け付 ける。重要な質 問・回答は WebClass で共有 する。
7	7/10	10:45-12:15	医学科講 義室 1	呼吸器・消化器作用薬	小藤 智史	質問は WebClass のリアクシヨンペ ーパーにおいて 授業日時の 1 週 間後まで受け付 ける。重要な質 問・回答は WebClass で共有 する。
8	7/12	08:50-10:20	医学科講 義室 1	薬物動態学 (2)	永田 将司	質問は WebClass のリアクシヨンペ ーパーにおいて 授業日時の 1 週 間後まで受け付 ける。重要な質 問・回答は WebClass で共有 する。
9	7/12	10:45-12:15	医学科講 義室 1	循環薬理(2):抗不整脈薬、高血圧 治療薬	内田 智士	質問は WebClass のリアクシヨンペ ーパーにおいて 授業日時の 1 週 間後まで受け付 ける。重要な質 問・回答は WebClass で共有 する。
10	7/16	13:30-15:00	医学科講 義室 1	血管系薬理・脂質異常症治療薬・ 血液作用薬	吉田 雅幸	質問は WebClass のリアクシヨンペ ーパーにおいて 授業日時の 1 週 間後まで受け付 ける。重要な質 問・回答は

						WebClass で共有する。
11	7/19	08:50-10:20	医学科講義室 1	NSAIDs, リウマチ、痛風、ヒスタミン	高地 雄太	質問は WebClass のリアクションペーパーにおいて授業日時の 1 週間後まで受け付ける。重要な質問・回答は WebClass で共有する。
12	7/19	10:45-12:15	遠隔授業(非同期型)	免疫抑制薬、免疫刺激薬	佐藤 卓	Zoom によるオンライン授業(非同期)。質問は WebClass のリアクションペーパーにおいて授業日時の 1 週間後まで受け付ける。重要な質問・回答は WebClass で共有する。
13	7/19	13:30-15:00	遠隔授業(非同期型)	鎮痛薬(麻薬性、非麻薬性)	七田 崇	Zoom によるオンライン授業(非同期)。質問は WebClass のリアクションペーパーにおいて授業日時の 1 週間後まで受け付ける。重要な質問・回答は WebClass で共有する。
14	7/26	13:30-15:00	遠隔授業(非同期型)	抗菌薬(抗生物質、合成抗菌薬)	具 芳明	Zoom によるオンライン授業(非同期)。質問は WebClass のリアクションペーパーにおいて授業日時の 1 週間後まで受け付ける。重要な質問・回答は WebClass で共有する。
15	7/26	15:25-16:55	医学科講義室 1	臨床薬理学	永田 将司	質問は WebClass のリアクションペーパーにおいて授業日時の 1 週間後まで受け付ける。重要な質問・回答は WebClass で共有する。

						問・回答は WebClass で共有 する。
16	8/28	10:45-12:15	医学科講 義室 1	薬理学試験	三枝 弘尚	

授業方法

パワーポイントを用いた講義形式です。対面および遠隔講義とします。

授業内容

授業では時間の関係で全てを教えることは不可能ですので足りない部分は教科書等で自習し補完することが重要です。

題目及び内容:担当

薬理学総論:仁科 博史
薬物動態学:永田 将司
腎臓・体液:蘇原 映誠
内分泌系(1):ホルモン・骨粗鬆症治療薬:長谷川純矢
内分泌系(2):糖尿病治療薬: 山田 哲也
呼吸器・消化器作用薬:小藤 智史
循環薬理(1):虚血性心疾患治療薬、心不全治療薬:笹野 哲郎
循環薬理(2):抗不整脈薬、高血圧治療薬:内田 智士
NSAIDs, リウマチ、痛風、ヒスタミン:高地 雄太
免疫抑制薬、免疫刺激薬:佐藤 卓
鎮痛薬(麻薬性、非麻薬性):七田 崇
抗菌薬(抗生物質、合成抗菌薬):具 芳明
臨床薬理学:永田 将司
血管系薬理:脂質異常症治療薬・血液作用薬:吉田 雅幸
試験、総合評価:三枝 弘尚

成績評価の方法

講義に関しては、筆答試験でその学習成果を問います。

成績評価の基準

講義内容(全 15 回)を問う筆記試験を実施して採点します。筆記式の本試験(100 点満点)の 60 点を合格の基準点 B とします。この基準を上回る得点に応じて、B より上の評価を与えます。

準備学習等についての具体的な指示

授業前には、これまでに講義が終了している、細胞生物学、解剖学、組織学、生理学の関連分野に関し、復習するとともに、薬理学教科書・参考書の関連領域のところに一通り目を通しておくことが望ましい。

試験の受験資格

特に出席は取りません。しかし試験は全ての授業項目から出しますので、WebClass に掲載の講義動画、講義資料で自習しておいてください。

教科書

薬がみえる vol.1 Pharmacology:An Illustrated Reference Guide／医療情報科学研究所 編集,医療情報科学研究所.:メディックメディア, 2014
薬がみえる vol.2 Pharmacology:An Illustrated Reference Guide／医療情報科学研究所 編集,医療情報科学研究所.:メディックメディア, 2015
薬がみえる vol.3 Pharmacology:An Illustrated Reference Guide／医療情報科学研究所 編集,医療情報科学研究所.:メディックメディア, 2016
臨床薬理学：ハーバード大学講義テキスト／David E.Golan, Armen H.Tashjian,Jr., Ehrin J.Armstrong, April W.Armstrong [執筆],渡邊裕司 監訳Golan, David E,Tashjian, Armen H., 1932-2009,Armstrong, Ehrin J,渡邊 裕司.:丸善出版, 2015

The Pharmacological Basis of Therapeutics 13 版／Brunton L et al.:McGraw-Hill, 2018 ・医系薬理学 2 版 2005 ISBN 9784498003194 ・イラストレイテッド薬理学 原書 6 版 2016 ISBN 9784621301043 ・イオンチャンネルの分子生物学 1998 ISBN 9784897063201 ・カラー図解 これならわかる薬理学 2 版 2012 ISBN 9784895927253 ・ローレンス臨床薬理学 2006 ISBN 9784890133413 ・標準薬理学 7 版 2015 ISBN 9784260017503 ・Color Atlas of Pharmacology 5 版 2017 ISBN 9783132410657
参考書 薬理書：薬物治療の基礎と臨床(上巻)／グッドマン／〔原編〕,ギルマン／〔原編〕,高折修二／監訳橋本敬太郎／監訳赤池昭紀／監訳石井邦雄／監訳Goodman, Louis, S,Gilman, Alfred,高折 修二,橋本 敬太郎,赤池 昭紀,石井:廣川書店, 2013 薬理書：薬物治療の基礎と臨床(下巻)／グッドマン／〔原編〕,ギルマン／〔原編〕,高折修二／監訳橋本敬太郎／監訳赤池昭紀／監訳石井邦雄／監訳Goodman, Louis, S,Gilman, Alfred,高折 修二,橋本 敬太郎,赤池 昭紀,石井:廣川書店, 2013 図解薬理学：病態生理から考える薬の効くメカニズムと治療戦略／越前宏俊 著,越前, 宏俊, 1954-,:医学書院, 2008 NEW 薬理学／田中千賀子, 加藤隆一, 成宮周 編集,田中, 千賀子, 1931-,加藤, 隆一, 1930-,成宮, 周,:南江堂, 2017 ・Principles of Neural Science 5th 2013 ISBN 9780071390118 ・Molecular Biology of the Cell 6th 2014 ISBN 9780815344322
他科目との関連 神経科学、生理学、生化学と密接に関連しています。さらに薬理学は臨床における薬物治療の基礎をなすものですので、全ての臨床科目と関連しています。
備考 薬の作用機構を詳しく説明するように改善する。
連絡先(メールアドレス) 仁科 博史 nishina.dbio@mri.tmd.ac.jp
オフィスアワー 仁科 博史:毎週木曜日 AM.10:00-12:00 M&D タワー21 階セミナー室

時間割番号	011025		
科目名	生化学	科目ID	
担当教員	大石 由美子[OOISHI Yumiko]		
開講時期	2024 年度前期	対象年次	2
実務経験のある教員による授業	該当する		
主な講義場所			
3 号館 2 階 医学科講義室1での対面講義と遠隔講義(非同期型)を組み合わせで行う			
授業の目的、概要等			
人体を構成する蛋白、糖、脂質、核酸などの合成、分解の過程を理解し、その破たんと各種疾病の病態の関係を理解することが目的です。			
授業の到達目標			
(1)糖、脂質、アミノ酸、核酸、金属、ビタミン、エネルギー代謝の概要を説明できる			
(2)それらの破たんがどのような病気につながるかを、自らの言葉で説明できる			
文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(令和4 年度改訂版)			
https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/116/toushin/mext_01280.html			
PS-01-02)27,28,29,30,31,32,33,34,35,36			
PS-01-04)07,08,09,10,11,12			
PS-02-14)06			
医学科コンピテンシーよりこの科目で身につけるレベル			
[I-2-B]世界的に注目されている医学／歯学／健康に関する主たるトピックについて、議論できる			
[I-3-B]科学/医学/歯学専門用語/表現の理解/表記/発音ができる			
[II-1-A]医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる			
[II-3-B]臨床的あるいは科学的問題提起ができる			
[II-4-B]実習実験を実施して結果を得ることができる			
[II-5-B]実習実験により得られた結果の意義を、口頭あるいは書面で明確に説明できる			
[III-1-A]他者の貢献、時間、価値感、人格を尊重し、常に敬意を払って接することができる			
[III-9-A]個人の生活における責務と医学科での学習及び社会的な責務について、適切にバランスを取ることができる			
[III-10-A]自立と監督・指導の必要性との適切なバランスを常に保つことができる			
[III-12-A]メンタルストレスに直面した際、それを認識し、適切な解消処置をとれる			
[III-14-A]時間厳守、信頼性、適切な準備、率先性、遂行能力を示すことができる			
[III-15-A]文書課題を、正確で判読しうる質にて作成し、規定期限内に提出できる			
[III-16-A]本学を含めた当該機関内規、法律、専門職社会内規範を遵守できる			
[III-17-A]常に、誠実さ、正直さ、確実さをもって行動できる			
[III-18-A]他者への良識を逸する振舞い(無礼、短気など)を認識し、助言を求め、今後起こさぬよう振舞いを修正することができる			
[III-19-B]情報やデータ収集におけるエラーを認識し、学習グループのメンバーや指導・監督者に報告できる			
[III-23-A]記述、プレゼンテーション、論文、および研究情報などの利用において、著作権を尊重し、それに沿って行動できる			
[III-26-A]自身の知識・能力・振舞いを批判的に省察し、長所と課題点を同定し、改善の為の学習目標を設定し、それを達成するのに適した学習活動に取り組むことができる			
[III-27-A]自身に対するフィードバックにもとづき省察し自己改善を実現できる			
[III-28-A]他人に建設的なフィードバックを適切な形で提示できる			
[III-29-A]ポートフォリオを活用して、課題設定を行い、自己学習・自己研鑽できる			
[V-1-B]疾患の病因・病態・臨床徴候などの理解に必要な基礎医学知識を提示できる			
授業計画			

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	7/5	08:50-10:20	医学科講義室 1	代謝総論	代謝総論、酵素について説明する	小池 博之	【到達目標】(1),(2) 【学習方法】対面講義
2	7/5	10:45-12:15	医学科講義室 1	脂質代謝	脂肪酸合成、分解、ケトン体、コレステロール代謝	栗木 麻央	【到達目標】(1),(2) 【学習方法】対面講義
3	7/5	13:30-15:00	医学科講義室 1	脂質代謝	リン脂質、糖脂質、リポ蛋白、脂質代謝の遺伝子制御	栗木 麻央	【到達目標】(1),(2) 【学習方法】対面講義
4	7/9	13:30-15:00	医学科講義室 1	糖代謝	糖の消化、吸収、解糖系	大石 由美子	【到達目標】(1),(2) 【学習方法】対面講義
5	7/12	13:30-15:00	医学科講義室 1	糖代謝	糖新生、TCA 回路、ペントースリン酸回路	大石 由美子	【到達目標】(1),(2) 【学習方法】対面講義
6	7/12	15:25-16:55	遠隔授業 (非同期型)	糖代謝	グリコーゲン代謝、グルコース以外の糖の代謝、多糖類	大石 由美子	【到達目標】(1),(2) 【学習方法】非同期ビデオ
7	7/17	08:50-10:20	医学科講義室 1	アミノ酸代謝	窒素代謝、尿素回路	小池 博之	【到達目標】(1),(2) 【学習方法】対面講義
8	7/17	10:45-12:15	医学科講義室 1	アミノ酸代謝	炭素骨格の代謝、生理活性物質	小池 博之	【到達目標】(1),(2) 【学習方法】対面講義
9	7/23	08:50-10:20	遠隔授業 (非同期型)	プリン・ピリミジン代謝	プリンとピリミジンの合成、分解	大石 由美子	【到達目標】(1),(2) 【学習方法】非同期ビデオ
10	7/23	10:45-12:15	遠隔授業 (非同期型)	プリン・ピリミジン代謝	プリン・ピリミジン代謝に関係する薬剤	大石 由美子	【到達目標】(1),(2) 【学習方法】非同期ビデオ
11	7/23	13:30-15:00	遠隔授業 (非同期型)	エネルギー代謝	電子伝達系、栄養センサー	大石 由美子	【到達目標】(1),(2) 【学習方法】非同期ビデオ
12	7/24	08:50-10:20	遠隔授業 (非同期型)	エネルギー代謝	栄養学的側面を論じる	大石 由美子	【到達目標】(1),(2) 【学習方法】非同期ビデオ
13	7/24	10:45-12:15	遠隔授業 (非同期型)	金属代謝	ポルフィリン代謝、鉄代謝	大石 由美子	【到達目標】(1),(2) 【学習方法】非同期ビデオ
14	7/26	08:50-10:20	遠隔授業 (非同期型)	ビタミン	水溶性ビタミン	大石 由美子	【到達目標】(1),(2) 【学習方法】非同期ビデオ
15	7/26	10:45-12:15	遠隔授業 (非同期型)	ビタミン	脂溶性ビタミン	大石 由美子	【到達目標】(1),(2) 【学習方法】非同期ビデオ
16	8/26	10:45-12:15	医学科講義室 1	生化学試験	生化学試験	大石 由美子	

授業方法 対面講義と非同期ビデオを組み合わせで実施します。なお、パワーポイントのスライドはあくまで参考にすぎません。標準的な教科書を参照し、書き込みなどしながら受講すると効率がよいと思います。受講直後に間を置かず当該箇所を通読すると内容が腑に落ちて理解が深まると思います。 アクティブラーニングとして自習課題(USMLE に準拠した問題)を課します。
授業内容 時間割を参照してください。標準的な生化学教科書の項目に沿っています。授業の進み具合によっては、時間割とずれが生じる可能性があります。
成績評価の方法 筆記試験で行います。
成績評価の基準 100 点満点の試験において 60 点以上をとった場合に合格とします。
準備学習等についての具体的な指示 標準的な生化学の教科書を一冊、所持し、授業の進行に合わせて読了してください。生化学の講義の範囲でなくても医学科学生が知っていて然るべきと思われることは授業中に指摘します。その部分について知識が欠けていると気づいた場合は、自主的に勉強してください。
試験の受験資格 対面講義への出席を基本とします。不正な行為をせずに受験すれば、受験資格ありと判定します。
教科書 デブリン生化学：臨床の理解のために／Thomas M.Devlin [編]、上代淑人、澁谷正史、井原康夫 監訳：丸善出版、2012 ストライヤー生化学 第8版／Jeremy M.Berg, John L.Tymoczko, Lubert Stryer 著、入村達郎、岡山博人、清水孝雄 監訳：東京化学同人、2018 イラストレイテッドハーパー・生化学 原書 30 版／清水孝雄 監訳 R.K.Murray, D.A. Bender, K.M. Botham, P.J. Kennelly, V.W. Rodwell, P.A. Weil [著]：丸善出版、2016 シンプル生化学／林典夫、廣野治子 監修、野口正人、五十嵐和彦 編集：南江堂、2014 付記)翻訳教科書は残念ながら値段が高価ですので、最新版でなく 1 版古いものを中古本として購入するのも結構です。
参考書 すべての診療科で役立つ栄養学と食事・栄養療法／曾根博仁 編集、曾根、博仁、1965-：羊土社、2019
他科目との関連 内科学との関係は深いです。生理学、組織学、薬理学とも重なりがあります。 学内では著明な研究者を講師とするセミナーが頻回に開催されます。「大学院特別講義」と表示されている場合が多いですが、学部学生のうちから積極的に聴講し、基礎・臨床を問わず医学の最先端の話題に触れることを強く推奨します。
履修上の注意事項 授業を聴くだけでなく、成書を読んでください。上記のように生理学、組織学、薬理学などの基礎系科目について十分な知識があることを前提として講義します。ですから、その部分に不足があると感じたならば、自学自習して補ってください。
連絡先(メールアドレス) 大石 由美子: oishi.yumiko@tmd.ac.jp
オフィスアワー 大石 由美子: 事前にメールアドレスまでご連絡をお願いいたします

時間割番号	011027				
科目名	分子遺伝学			科目ID	
担当教員	浅原 弘嗣, 千葉 朋希, 松島 隆英, 栗本 遼太, 田中 敏博[ASAHARA HIROSHI, CHIBA TOMOKI, MATSUSHIMA TAKAHIDE, KURIMOTO Ryouta, TANAKA TOSHIHIRO]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	2	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				
英文名:Molecular Genetics					
主な講義場所					
3 号館 2 階 医学科講義室1での対面講義をメインとする					
授業の到達目標					
(1)世界的に注目されている医学および健康に関する主たるトピックについて、議論できる					
(2)科学/医学/歯学専門用語/表現の理解/表記/発音ができる					
(3)医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる					
(4)疾患の病因・病態・臨床徴候などの理解に必要な基礎医学知識を提示できる					
文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(令和4 年度改訂版)					
https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/116/toushin/mext_01280.html					
PS-01-01)01,02,03,04,05,06,07,08,09,10,11					
PS-01-02)02,03,04,05,08,09,11,15,27,28,29,30,32					
PS-01-04)01,02,03,04					
医学科コンピテンシーよりこの科目で身につけるレベル					
[I-2-B]世界的に注目されている医学／歯学／健康に関する主たるトピックについて、議論できる					
[I-3-B]科学/医学/歯学専門用語/表現の理解/表記/発音ができる					
[II-1-A]医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる					
[II-3-B]臨床的あるいは科学的問題提起ができる					
[III-1-A]他者の貢献、時間、価値感、人格を尊重し、常に敬意を払って接することができる					
[III-9-A]個人の生活における責務と医学科での学習及び社会的な責務について、適切にバランスを取ることができる					
[III-10-A]自立と監督・指導の必要性との適切なバランスを常に保つことができる					
[III-12-A]メンタルストレスに直面した際、それを認識し、適切な解消処置をとれる					
[III-14-A]時間厳守、信頼性、適切な準備、率先性、遂行能力を示すことができる					
[III-15-A]文書課題を、正確で判読しうる質にて作成し、規定期限内に提出できる					
[III-16-A]本学を含めた当該機関内規、法律、専門職社会内規範を遵守できる					
[III-17-A]常に、誠実さ、正直さ、確実さをもって行動できる					
[III-18-A]他者への良識を逸する振舞い(無礼、短気など)を認識し、助言を求め、今後起こさぬよう振舞いを修正することができる					
[III-19-B]情報やデータ収集におけるエラーを認識し、学習グループのメンバーや指導・監督者に報告できる					
[III-23-A]記述、プレゼンテーション、論文、および研究情報などの利用において、著作権を尊重し、それに沿って行動できる					
[III-26-A]自身の知識・能力・振舞いを批判的に省察し、長所と課題点を同定し、改善の為の学習目標を設定し、それを達成するのに適した学習活動に取り組むことができる					
[III-27-A]自身に対するフィードバックにもとづき省察し自己改善を実現できる					
[III-28-A]他人に建設的なフィードバックを適切な形で提示できる					
[III-29-A]ポートフォリオを活用して、課題設定を行い、自己学習・自己研鑽できる					
[V-1-B]疾患の病因・病態・臨床徴候などの理解に必要な基礎医学知識を提示できる					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員 到達目標・学習方

						法・その他
1	7/4	13:30-15:00	医学科講義室 1	染色体とヒトゲノムの進化	千葉 朋希	【到達目標】(1)-(4) 【学習方法】対面講義 【その他】各回の確認テストによる重要事項の確認
2	7/4	15:25-16:55	医学科講義室 1	遺伝子工学、医学におけるオミックス解析	千葉 朋希	【到達目標】(1)-(4) 【学習方法】対面講義 【その他】各回の確認テストによる重要事項の確認
3	7/8	13:30-15:00	医学科講義室 1	遺伝子発現制御	浅原 弘嗣	【到達目標】(1)-(4) 【学習方法】対面講義 【その他】各回の確認テストによる重要事項の確認
4	7/8	15:25-16:55	医学科講義室 1	シグナル伝達、幹細胞	浅原 弘嗣	【到達目標】(1)-(4) 【学習方法】対面講義 【その他】各回の確認テストによる重要事項の確認
5	7/18	13:30-15:00	医学科講義室 1	RNA ワールド	栗本 遼太	【到達目標】(1)-(4) 【学習方法】対面講義 【その他】各回の確認テストによる重要事項の確認
6	7/18	15:25-16:55	医学科講義室 1	DNA 損傷とがん個別化医療	栗本 遼太	【到達目標】(1)-(4) 【学習方法】対面講義 【その他】各回の確認テストによる重要事項の確認
7	7/22	13:30-15:00	医学科講義室 1	ゲノムと医療	田中 敏博	【到達目標】(1)-(4) 【学習方法】対面講義 【その他】各回の確認テストによる重要事項の確認
8	7/22	15:25-16:55	医学科講義室 1	ゲノム編集と医学への応用	松島 隆英	【到達目標】(1)-(4) 【学習方法】対面講義 【その他】各回の確認テストによる重要事項の確認

9	8/30	10:45-12:15	医学科講義室 1	分子遺伝学試験	松島 隆英	【到達目標】(1)-(4)
授業方法 下記の教科書・参考書を用いて予習・復習をする。 1. 講義：対面講義及び模型を使用したアクティブラーニングを行う(詳細は備考を参照) 各回の確認テストによる重要事項の確認を 8 月 2 日(金)までに回答すること 2. 試験：科目終了時に科目修了試験を実施する(教室に集合して試験用紙を用いて行う)						
授業内容 全 8 回の講義で分子遺伝学における基礎的な事項及び最新のトピックスについて講義を行う。 事前に教科書を用いて自己学習により予習する。 また、各回の講義終了時に、webclass を用いて全参加学生を対象とした確認テストを実施する。8 月 2 日(金)までに回答すること。 最終日に試験を実施する。						
成績評価の方法 以下の項目を反映して成績評価を行う。 1. 各回の確認テストへの参加(基準 B: 8 回中 6 回以上) 2. 科目修了試験(基準 B: 100 点中 60 点以上)						
成績評価の基準 上記 1, 2 の基準 B 以上を満たしていることを基準 B とする。 B 以上の基準については科目修了試験の点数を反映することとする。						
準備学習等についての具体的な指示 基本的な遺伝子、分子生物学の知識(高校生の生物レベル)は各自、簡単な本を選び自習しておくことが望ましい						
試験の受験資格 試験問題は授業の中から出題しますので WebClass に掲載の講義スライドで自習を行い 各回の講義終了時に実施する確認テストでは 8 月 2 日(金)までに 4 分の 3 以上回答してください。						
教科書 Molecular biology of the cell／Bruce Alberts, Alexander Johnson, Julian Lewis, David Morgan, Martin Raff, Keith Roberts, Peter Walter,with problems by John Wilson, Tim Hunt,Johnson, Alexander D,Lewis, Julian, 1946-2014,Morgan, David Owen, 1958-,Wilson, John, 1944-,Hunt, Tim, 1943-: Garland Science, Taylor and Francis Group, 2015 Essential 細胞生物学／中村桂子, 松原謙一 監訳Bruce Alberts, Dennis Bray, Karen Hopkin, Alexander Johnson, Julian Lewis, Martin Raff, Keith Roberts, Peter Walter 著,中村, 桂子, 1936-,松原, 謙一, 1934-,Alberts, Bruce,Bray, Dennis,Hopkin, Karen,: 南江堂, 2016 ヒトの分子遺伝学 第 5 版／戸田達史・井上 聡・松本直通:メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2021-10						
参考書 よくわかる分子生物学の基本としくみ／井出利憲 著,井出, 利憲, 1943-,: 秀和システム, 2015						
他科目との関連 授業内容は生化学、生理学、組織学、薬理学、発生学との重なりがあります。						
備考 アクティブラーニングの内容 ・各回の確認テストによる重要事項の確認 ・確認テストの実施による基礎的な事項・重要事項・科目修了試験対象項目の確認 ・分子模型を用いたグループワーク 昨年のコース評価を受けて今年度はグループワークを増やし、同時期他講義と連携を行う						
参照ホームページ http://www.tmdsystemsbiomedicine.com/ (東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 システム発生・再生医学分野)						
連絡先(メールアドレス) 浅原 弘嗣asahara.syst@tmd.ac.jp						
オフィスアワー 浅原 弘嗣:事前の下記アドレスまでご連絡をお願いいたします。						

時間割番号	011029						
科目名	神経解剖学	科目ID					
担当教員	寺田 純雄[TERADA SUMIO]						
開講時期	2024 年度通年	対象年次	2				
実務経験のある教員による授業	該当する						
英文名:Neuroanatomy							
主な講義場所 対面講義とする。							
授業の目的、概要等 「神経解剖学」は「神経解剖学実習」と一体の科目です。関連する知識を整理しつつ、ヒト神経系の肉眼標本、組織標本を直接観察し、神経系の構造を深く理解することを目的としています。講義と実習を繰り返しつつ、少しずつその全体像に迫っていきます。用語や三次元的な位置関係の理解に当初は戸惑うことも多いと思いますが、その理解は今後学ぶ様々な科目を学ぶための前提となります。							
授業の到達目標 科目履修を通じて身に着けることが期待される能力(到達目標)は以下の通り。 1) 神経系の構造をその機能と関連付けて理解し、適切な専門用語を使用し的確に記述すること。 2) 実習を通じて生命倫理と規範の順守を実践し、バランスのとれた良識を形成すること。 3) 人体の正常機能と疾患、更には最新の神経科学を理解する基礎を確立すること。 4) 実習経験にもとづく思考、教員や同僚との議論、実習経過の記録や報告を通じて、問題の発見、提起からその解決に至る過程に含まれる科学的な方法論を体得すること。							
文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(令和4 年度改訂版) https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/116/toushin/mext_01280.html							
PR-01-02)02 PR-03-01)02 GE-01-05)01 RE-01-01)01,02 RE-01-02)01 PS-01-01)01,02,03,04,05,08,09,10 PS-01-02)01,02,03,04,05,07,08,09,10,11,12,13,15,16,17,18,19,20,23,24,26,29,33,36 PS-01-04)02,05,06,13,14 PS-02-17)01							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	7/2	08:50-10:20	医学科講義室 1	マクロ(1)	イントロダクション、神経系の発生総論	寺田 純雄	1), 3) 対面講義(双方向授業)
2	7/2	10:45-12:15	医学科講義室 1	マクロ(1)	脳の概観。髄膜と血管, 脳神経の観察	寺田 純雄	1), 3) 対面講義(双方向授業)
3	7/16	08:50-10:20	医学科講義室 1	ミクロ(1)	脊髄の組織学(1)	寺田 純雄	1), 3) 対面講義(双方向授業)
4	7/16	10:45-12:15	医学科講義室 1	ミクロ(1)	脊髄の組織学(2)	寺田 純雄	1), 3) 対面講義(双方向授業)
5	9/2	08:50-10:20	医学科講義室 1	ミクロ(2)・(3)	延髄、橋の組織学	寺田 純雄	1), 3) 対面講義(双方向授業)
6	9/2	10:45-12:15	医学科講義室 1	ミクロ(2)・(3)	中脳の組織学	寺田 純雄	1), 3) 対面講義

			義室 1				(双方向授業)
7	9/9	08:50-10:20	医学科講 義室 1	マクロ(3)	小脳の皮質区分と小脳核、線維結合の観察	寺田 純雄	1), 3) 対面講義 (双方向授業)
8	9/9	10:45-12:15	医学科講 義室 1	ミクロ(4)	小脳の組織学(1)	寺田 純雄	1), 3) 対面講義 (双方向授業)
9	9/9	13:30-15:00	医学科講 義室 1	ミクロ(4)	小脳の組織学(2)	寺田 純雄	1), 3) 対面講義 (双方向授業)
10	9/17	08:50-10:20	医学科講 義室 1	マクロ(4)	大脳の半切、大脳皮質(区分)、第三脳室 視床下部の観察	寺田 純雄	1), 3) 対面講義 (双方向授業)
11	9/17	10:45-12:15	医学科講 義室 1	マクロ(5)	島皮質、皮質における連合・交連・投射線維、視放線、内包、視床、基底核等の観察	寺田 純雄	1), 3) 対面講義 (双方向授業)
12	9/26	08:50-10:20	医学科講 義室 1	ミクロ(5)	大脳皮質の組織学、代表的な神経伝導路のまとめ(1)	寺田 純雄	1), 3) 対面講義 (双方向授業)
13	9/26	10:45-12:15	医学科講 義室 1	ミクロ(5)	大脳皮質の組織学、代表的な神経伝導路のまとめ(2)	寺田 純雄	1), 3) 対面講義 (双方向授業)
14	10/2	08:50-10:20	医学科講 義室 1	ミクロ(6)	辺縁系と海馬の組織学	寺田 純雄	1), 3) 対面講義 (双方向授業)
15	10/2	10:45-12:15	医学科講 義室 1	ミクロ(6)	視覚伝導路	寺田 純雄	1), 3) 対面講義 (双方向授業)
16	10/7	08:50-10:20	医学科講 義室 1	特別講義	形態学研究概論	寺田 純雄	1), 3) 対面講義 (双方向授業)
17	10/7	10:45-12:15	医学科講 義室 1	特別講義	顕微測光法	寺田 純雄	1), 3) 対面講義 (双方向授業)
18	10/9	08:50-10:20	医学科講 義室 1	マクロ(7)	大脳基底核	寺田 純雄	1), 3) 対面講義 (双方向授業)
19	10/9	10:45-12:15	医学科講 義室 1	マクロ(7)	大脳のスライス標本の観察、まとめ	寺田 純雄	1), 3) 対面講義 (双方向授業)
20	10/15	10:45-12:15	医学科講 義室 1	試験	神経解剖学試験	寺田 純雄	

授業方法

「神経解剖学」、「神経解剖学実習」は、実習講義・実習と特別講義から構成されます。各回の実習に先立って 1 から 2 コマ程度の実習講義を行います。実習では脊髄を除き、まず肉眼解剖学的観察を行い、その直後の時間枠で同じ場所の組織標本を鏡検します。また、実習講義だけでは十分に説明できない話題を取り上げる為、オンライン視聴教材を使用します。講義は原則として双方向授業形式で行います。最終回にはグループワークと課題発表を予定しています。授業・実習中を通じて質問を歓迎します。

授業内容

実習講義により説明を加えつつ、肉眼解剖、組織解剖の順で実習を行います。構造の比較的単純な脊髄から観察を開始し、脳幹、小脳、大脳の順に進めます。別途、実習講義の内容を補足したり、実習講義としては説明の難しい話題を取り上げたりするため、オンライン視聴教材を使用します。また形態学関連の研究の最前線を紹介する時間を設けます。

成績評価の方法

実習出席とスケッチ、筆記試験、場合により試問、レポートをあわせて行います。「神経解剖学(講義)」と「神経解剖学実習」は一体として評価します。実習では実物を見て重要な構造物(実習書に記載されているもの、講義で説明のあったもの)が同定できていること、筆記試験では関連する事項について理解できていることが評価の基準になります。

成績評価の基準

実習スケッチと筆記試験(記述式を主体とする)の評価の割合は 3 対 5 として合算し、成績を判定します。実習の出席状況やスケッチの評価が悪く、筆記試験で実習資料に掲載の参考課題に十分答えられる水準にないと判定される場合には不合格となります。

準備学習等についての具体的な指示

実習前に、事前に配布するマニュアルの該当箇所(実習の手順を記載したもの)と講義資料に目を通し、アトラスや参考書を利用して観察すべき構造物の名称と場所(特にマニュアル中、太字で記載されているもの)について下調べを済ませておいて下さい。各回の実習講義

の際には必ずマニュアルと講義資料を持参して下さい。実習では必要に応じて肉眼解剖標本と組織標本を比較し、標本のオリエンテーション(周辺部との位置関係)の理解に努めることをおすすめします。肉眼解剖用の解剖用具は一般の肉眼解剖用に使用したものを再利用し、白衣、前掛け、マスク、ゴム手袋などを適宜使用して下さい。肉眼、組織解剖実習ともに標本のスケッチを課題としますので、A4 版無地ノート(ルーズリーフ等バラバラになるものは不可)を持参して下さい。各回の実習終了後に教員から検印を受け、提出願います。筆記具は特定しませんが、組織解剖の際は特に青色系統の色鉛筆を持参すると便利です。スケッチは実習後の復習に役立つように各自考えながら描くことをおすすめします。

試験の受験資格

正当な理由なく実習を欠席した者は試験の受験を認めない。実習出席は実習ノート提出と内容チェックにより確認する。実習は献体された方々の御厚意をもとに用意された貴重な機会であり、真摯な姿勢で取り組むこと。正当な理由のある欠席の場合は、医学教務係宛に正当性を証明する届出を提出し、事後の対応につき科目責任者に相談すること。

教科書

特に指定しません。以下のリストを参考に自分にあうものを選んでください。
(リストに載っているもの以外でも構いません。よい解剖学の教科書は一生もので、かつ教科書にじっくり目を通す時間は学生時代を逃すとなかなか期待できません。高価でも後々の使用に耐える、記述のしっかりした教科書をおすすめします。)

参考書

分冊解剖学アトラス／W.KAHLE, M.Frotscher [著], 平田幸男 訳: 文光堂, 2011
神経解剖学: Core text／カーペンター [著], 嶋井和世, 出浦滋之 監訳: 廣川書店, 1996
脳解剖学／万年甫, 原一之 共著: 南江堂, 1994
神経解剖学／岩堀修明 著: 金芳堂, 1998
神経解剖学講義ノート: カラー図解／寺島俊雄 著: 金芳堂, 2011
図説中枢神経系／Rudolf Nieuwenhuys [ほか] 著, 水野昇 [ほか] 訳: 医学書院, 1991
ヒトの脳: 神経解剖学・組織学アトラス／平田幸男 著: 文光堂, 2006
脳の分子生物学／Zach W.Hall [著], 吉本智信, 石崎泰樹 監訳: メディカル・サイエンス・インターナショナル, 1996
参考書 9. The Human Brain and Spinal Cord, 2nd ed., L. Heimer, Springer-Verlag, 1995
参考書 10. The Human Brain: An Introduction to its Functional Anatomy, 7th ed., John Nolte, Mosby, 2020
参考書 11. The Human Nervous System, 3rd ed., J. K. Mai & G. Paxinos (Ed.), Academic Press, 2011
参考書 12. Neuroscience: Exploring the Brain, Enhanced Edition, 4th ed., M. F. Bear et al., Lippincott Williams & Wilkins, 2020
参考書 13. Neuroscience, 6th ed., D. Purves et al., Sinauer, 2018
参考書 14. Principles of Neural Science, E. R. Kandel et al., 6th ed., McGraw Hill, 2021
参考書 15. Essentials of Neural Science and Behavior, E. R. Kandel et al., Appleton & Lange, 1995
参考書 16. Fundamental Neuroscience, L. R. Squire et al., 4th ed., Academic Press, 2012
参考書 17. Histology of the Nervous System of Man and Vertebrates, Two-Volume Set, S. R. Cajal, Oxford, 1994
参考書 18. The Fine Structure of the Nervous System, A. Peters et al., 3rd ed., Oxford U. P., 1991
参考書 19. GRAY'S ANATOMY, L. H. Bannister et al., Churchill Livingstone, 1995

他科目との関連

神経系の関与する基礎、臨床系科目と広く関連します。

履修上の注意事項

科目の上では別れていますが、「神経解剖学」は「神経解剖学実習」と密接不可分であり、評価は両者を総合して行います。特に実習は、知識や解答そのものよりもむしろこれらに至る過程を学ぶ時間として重視します。献体された方々の御厚意をもとに用意された貴重な機会であることを忘れないように。

備考

神経解剖学の特徴のひとつはその階層性と全体性です。つまり、ある回の講義・実習はそれ以前の講義・実習での説明事項の(一定の)理解を前提として進みますが、一通り全体の勉強を終えないと個々の事項の意義が完全には理解できません。我慢して勉強を続けると、最初から積み上げていった知識が最後の実習時に閉じた環となって完結し、最終的に視界の開ける思いがするはずですが、また自学自習が困難な科目なので、教員の説明を聞いて、不明点について質問を重ねつつ、地道に実習に取り組むことを強くおすすめします。学習効果をあげるための学生からの有益な提案については歓迎します。

参照ホームページ

最近解剖学関係でも有用な画像やテキストをネット上で公開している例が増えてきましたが、定評ある教科書を越える出来栄のところは数少なく、あくまで教科書の二次的資料として位置付けられるのが現状です。また、神経解剖学習時に 3D モデルの概念図は有用ですが、実習時に参考になる様な詳細なものは十分な普及をみません。幾つか実習講義中に補助的に使用する予定ですが、神経系の三

次元的概念は実物をみて理解するのが最も早道です。

(1) 東京都医学研・脳神経病理データベース

<http://pathologycenter.jp/index.html>

(2) 解剖学電子教科書

<https://www.actioforma.net/kokikawa/academic/>

(3) Atlas of Microscopic Anatomy: A Functional Approach: Companion to Histology and Neuroanatomy

<http://www.anatomyatlases.org/MicroscopicAnatomy/MicroscopicAnatomy.shtml>

(4) Digital Anatomist Interactive Atlases

<http://da.si.washington.edu/da.html>

(5) Homo sapiens dissecatus

<http://www.drjastrow.de/HSDprofE.html>

(6) The Whole Brain Atlas

<http://www.med.harvard.edu/AANLIB/home.html>

(7) Neuroanatomy Video Lab: Brain Dissections

<https://neurologicexam.med.utah.edu/adult/html/brain-dissections.html>

(8) The Human Brain

<http://www.thehumanbrain.info/>

(ドイツ語だが関連サイトの <http://teaching.thehumanbrain.info/> も参考になる。)

(9) Brainmaps.org

<http://brainmaps.org/index.php>

(10) Allen Brain Atlas

<http://www.brain-map.org/>

(11) Mouse connectome project

<http://www.mouseconnectome.org/>

(*) 神経機能形態学分野ホームページ

<http://www.tmd.ac.jp/cgi-bin/nana/index.cgi>

連絡先(メールアドレス)

寺田 純雄 terada.nana@tmd.ac.jp

オフィスアワー

寺田 純雄特に定めませんが、面会希望の際はメールにより事前に相談願います。

時間割番号	011030						
科目名	神経解剖学実習	科目ID					
担当教員	寺田 純雄[TERADA SUMIO]						
開講時期	2024 年度後期	対象年次	2				
実務経験のある教員による授業	該当する						
英文名:Neuroanatomy							
授業の目的、概要等							
「神経解剖学」は「神経解剖学実習」と一体の科目です。関連する知識を整理しつつ、ヒト神経系の肉眼標本、組織標本を直接観察し、神経系の構造を深く理解することを目的としています。講義と実習を繰り返しつつ、少しずつその全体像に迫っていきます。用語や三次的な位置関係の理解に当初は戸惑うことも多いと思いますが、その理解は今後学ぶ様々な科目を学ぶための前提となります。							
授業の到達目標							
科目履修を通じて身に着けることが期待される能力(到達目標)は以下の通り。							
①神経系の構造をその機能と関連付けて理解し、適切な専門用語を使用し的確に記述すること。							
②実習を通じて生命倫理と規範の順守を実践し、バランスのとれた良識を形成すること。							
③人体の正常機能と疾患、更には最新の神経科学を理解する基礎を確立すること。							
④実習経験にもとづく思考、教員や同僚との議論、実習経過の記録や報告を通じて、問題の発見、提起からその解決に至る過程に含まれる科学的な方法論を体得すること。							
文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(令和4 年度改訂版)							
https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/116/toushin/mext_01280.html							
PR-01-02)02							
PR-02-03)02							
PR-03-01)02							
RE-01-01)01,02							
PS-01-01)01,02,03,04							
PS-01-02)03,07,08,09,10,11,12,13,16,17,18,23,26							
PS-02-17)01							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	7/11	13:30-15:00	解剖学実習室	マクロ(1)	マクロ実習1 脳の概観 髄膜と血管, 脳神経	寺田 純雄 川岸 将彦 齊藤 健太 佐藤 啓介	1), 2), 3), 4) 実習
2	7/25	08:50-10:20	解剖学実習室 医学科講義室 1	マクロ(2)	マクロ実習2 脳幹・小脳の分離, 菱形窩(第四脳室), 脳幹スライス標本(集合は講義室、その後実習室へ移動)	寺田 純雄 川岸 将彦 齊藤 健太 佐藤 啓介	1), 2), 3), 4) 実習 演習
3	9/6	13:30-15:00	4 階学生実習室	ミクロ(1)	ミクロ実習1 脊髄・脳幹	寺田 純雄 川岸 将彦 齊藤 健太 佐藤 啓介	1), 2), 3), 4) 実習
4	9/13	13:30-15:00	解剖学実習室	マクロ(3)	マクロ実習3 小脳	寺田 純雄 川岸 将彦 齊藤 健太 佐藤 啓介	1), 2), 3), 4) 実習

5	9/19	08:50-10:20	解剖学実習室	マクロ(4)・マクロ(5)	マクロ実習4 大脳の半切、大脳皮質(区分)、マクロ実習5 島皮質、皮質における連合・交連・投射線維、視放線、内包、視床、基底核等(集合は講義室、その後実習室へ移動)	寺田 純雄 川岸 将彦 齊藤 健太 佐藤 啓介	1), 2), 3), 4) 実習
6	9/27	08:50-10:20	解剖学実習室 医学科講義室1	マクロ(6)	マクロ実習6 側脳室、海馬と脳弓、扁桃体、視床、基底核等(集合は講義室、その後実習室へ移動)	寺田 純雄 川岸 将彦 齊藤 健太 佐藤 啓介	1), 2), 3), 4) 実習
7	10/4	13:30-15:00	4階学生実習室	ミクロ(2)	ミクロ実習2 小脳 中心前回と後回 海馬・視覚野	寺田 純雄 川岸 将彦 齊藤 健太 佐藤 啓介	1), 2), 3), 4) 実習
8	10/11	13:30-15:00	解剖学実習室	マクロ(7)	マクロ実習7 大脳のスライス標本	寺田 純雄 川岸 将彦 齊藤 健太 佐藤 啓介	1), 2), 3), 4) 実習

授業方法

「神経解剖学」、「神経解剖学実習」は、実習講義・実習と特別講義から構成されます。各回の実習に先立って1から2コマ程度の実習講義を行います。実習では脊髓を除き、まず肉眼解剖学的観察を行い、その直後の時間枠で同じ場所の組織標本を鏡検します。また、実習講義だけでは十分に説明できない話題を取り上げる為、オンライン視聴教材を使用します。講義は原則として双方向授業形式で行います。最終回にはグループワークと課題発表を予定しています。授業・実習中を通じて質問を歓迎します。

授業内容

実習講義により説明を加えつつ、肉眼解剖、組織解剖の順で実習を行います。構造の比較的単純な脊髓から観察を開始し、脳幹、小脳、大脳の順に進めます。別途、実習講義の内容を補足したり、実習講義としては説明の難しい話題を取り上げたりするため、特別講義を行います。また形態学関連の研究の最前線を紹介する時間を設けます。

成績評価の方法

実習出席とスケッチ、筆記試験、場合により試問、レポートをあわせて行います。「神経解剖学(講義)」と「神経解剖学実習」は一体として評価します。実習では実物を見て重要な構造物(実習書に記載されているもの、講義で説明のあったもの)が同定できていること、筆記試験では関連する事項について理解できていることが評価の基準になります。

成績評価の基準

実習スケッチと筆記試験(記述式を主体とする)の評価の割合は3対5として合算し、成績を判定します。実習の出席状況やスケッチの評価が悪く、筆記試験で実習資料に掲載の参考課題に十分答えられる水準にないと判定される場合には不合格となります。

準備学習等についての具体的な指示

実習前に、事前に配布するマニュアルの該当箇所(実習の手順を記載したもの)と講義資料に目を通し、アトラスや参考書を利用して観察すべき構造物の名称と場所(特にマニュアル中、太字で記載されているもの)について下調べを済ませておいて下さい。各回の実習講義の際には必ずマニュアルと講義資料を持参して下さい。実習では必要に応じて肉眼解剖標本と組織標本を比較し、標本のオリエンテーション(周辺部との位置関係)の理解に努めることをおすすめします。肉眼解剖用の解剖用具は一般の肉眼解剖用に使用したものを再利用し、白衣、前掛け、マスク、ゴム手袋などを適宜使用して下さい。肉眼、組織解剖実習ともに標本のスケッチを課題としますので、A4版無地ノート(ルーズリーフ等バラバラになるものは不可)を持参して下さい。各回の実習終了後に教員から検印を受け、提出願います。筆記具は特定しませんが、組織解剖の際は特に青色系統の色鉛筆を持参すると便利です。スケッチは実習後の復習に役立つように各自考えながら描くことをおすすめします。

試験の受験資格

正当な理由なく実習を欠席した者は試験の受験を認めない。実習出席は実習ノート提出と内容チェックにより確認する。実習は献体された方々の御厚意をもとに用意された貴重な機会であり、真摯な姿勢で取り組むこと。正当な理由のある欠席の場合は、医学教務係宛に正当性を証明する届出を提出し、事後の対応につき科目責任者に相談すること。

教科書

特に指定しません。以下のリストを参考に自分にあうものを選んでください。

(リストに載っているもの以外でも構いません。よい解剖学の教科書は一生もので、かつ教科書にじっくり目を通す時間は学生時代を逃すとなかなか期待できません。高価でも後々の使用に耐える、記述のしっかりした教科書をおすすめします。)

参考書

- 分冊解剖学アトラス／W.KAHLE, M.Frotscher [著], 平田幸男 訳: 文光堂, 2011
- 神経解剖学: Core text／カーペンター [著], 嶋井和世, 出浦滋之 監訳: 廣川書店, 1996
- 脳解剖学／万年甫, 原一之 共著: 南江堂, 1994
- 神経解剖学／岩堀修明 著: 金芳堂, 1998
- 神経解剖学講義ノート: カラー図解／寺島俊雄 著: 金芳堂, 2011
- 図説中枢神経系／Rudolf Nieuwenhuys [ほか] 著, 水野昇 [ほか] 訳: 医学書院, 1991
- ヒトの脳: 神経解剖学・組織学アトラス／平田幸男 著: 文光堂, 2006
- 脳の分子生物学／Zach W.Hall [著], 吉本智信, 石崎泰樹 監訳: メディカル・サイエンス・インターナショナル, 1996
- 参考書 9. The Human Brain and Spinal Cord, 2nd ed., L. Heimer, Springer-Verlag, 1995
- 参考書 10. The Human Brain: An Introduction to its Functional Anatomy, 7th ed., John Nolte, Mosby, 2020
- 参考書 11. The Human Nervous System, 3rd ed., J. K. Mai & G. Paxinos (Ed.), Academic Press, 2011
- 参考書 12. Neuroscience: Exploring the Brain, Enhanced Edition, 4th ed., M. F. Bear et al., Lippincott Williams & Wilkins, 2020
- 参考書 13. Neuroscience, 6th ed., D. Purves et al., Sinauer, 2018
- 参考書 14. Principles of Neural Science, E. R. Kandel et al., 6th ed., McGraw Hill, 2021
- 参考書 15. Essentials of Neural Science and Behavior, E. R. Kandel et al., Appleton & Lange, 1995
- 参考書 16. Fundamental Neuroscience, L. R. Squire et al., 4th ed., Academic Press, 2012
- 参考書 17. Histology of the Nervous System of Man and Vertebrates, Two-Volume Set, S. R. Cajal, Oxford, 1994
- 参考書 18. The Fine Structure of the Nervous System, A. Peters et al., 3rd ed., Oxford U. P., 1991
- 参考書 19. GRAY'S ANATOMY, L. H. Bannister et al., Churchill Livingstone, 1995

他科目との関連

神経系の関与する基礎、臨床系科目と広く関連します。

履修上の注意事項

科目の上では別れていますが、「神経解剖学」は「神経解剖学実習」と密接不可分であり、評価は両者を総合して行います。特に実習は、知識や解答そのものよりもむしろこれらに至る過程を学ぶ時間として重視します。献体された方々の御厚意をもとに用意された貴重な機会であることを忘れないように。

備考

神経解剖学の特徴のひとつはその階層性と全体性です。つまり、ある回の講義・実習はそれ以前の講義・実習での説明事項の(一定の)理解を前提として進みますが、一通り全体の勉強を終えないと個々の事項の意義が完全には理解できません。我慢して勉強を続けると、最初から積み上げていった知識が最後の実習時に閉じた環となって完結し、最終的に視界の開ける思いがするはずです。また自学自習が困難な科目なので、教員の説明を聞いて、不明点について質問を重ねつつ、地道に実習に取り組むことを強くすすめます。また初回の実習前に、感染予防やデジタル機器の使用制限等につき、注意喚起を行うので、厳守すること。

参照ホームページ

最近では解剖学関係でも有用な画像やテキストをネット上で公開している例が増えてきましたが、定評ある教科書を越える出来栄のところは数少なく、あくまで教科書の二次的資料として位置付けられるのが現状です。また、神経解剖学学習時に 3D モデルの概念図は有用ですが、実習時に参考になる様な詳細なものは十分な普及をみません。幾つか実習講義中に補助的に使用する予定ですが、神経系の三次元的概念は実物をみて理解するのが最も早道です。

- (1) 東京都医学研・脳神経病理データベース
<http://pathologycenter.jp/index.html>
- (2) 解剖学電子教科書
<http://www.anatomy.med.keio.ac.jp/funatoka/anatomy.html>
- (3) Atlas of Microscopic Anatomy: A Functional Approach: Companion to Histology and Neuroanatomy
<http://www.anatomyatlases.org/MicroscopicAnatomy/MicroscopicAnatomy.shtml>
- (4) Digital Anatomist Interactive Atlases
<http://www9.biostr.washington.edu/da.html>
- (5) Homo sapiens dissecatus
<http://www.uni-mainz.de/FB/Medizin/Anatomie/workshop/vishuman/Eready.html>
- (6) The Whole Brain Atlas

<http://www.med.harvard.edu/AANLIB/home.html>

(7) Neuroanatomy Video Lab: Brain Dissections

<https://neurologicexam.med.utah.edu/adult/html/brain-dissections.html>

(8) The Human Brain

<http://www.thehumanbrain.info/>

(ドイツ語だが関連サイトの <http://teaching.thehumanbrain.info/> も参考になる。)

(9) Brainmaps.org

<http://brainmaps.org/index.php>

(10) Allen Brain Atlas

<http://www.brain-map.org/>

(11) Mouse connectome project

<http://www.mouseconnectome.org/>

(*) 神経機能形態学分野ホームページ

<http://www.tmd.ac.jp/cgi-bin/nana/index.cgi>

連絡先(メールアドレス)

寺田 純雄 terada.nana@tmd.ac.jp

オフィスアワー

寺田 純雄 特に定めませんが、面会希望の際はメールにより事前に相談願います。

時間割番号	011031					
科目名	免疫学			科目ID		
担当教員	佐藤 荘[SATOH Takashi]					
開講時期	2024 年度後期	対象年次	2	単位数	2	
実務経験のある教員による授業						
主な講義場所						
基本的には ZOOM によるオンライン講義を実施する。						
対面講義の場合は、以下の場所にて実施する。						
3号館 医学科講義室 1						
授業の目的、概要等						
日常生活の中で、私たちの体は、外からは細菌やウイルスなど病原体の侵入、内においてはがん細胞の出現と、絶えず自己免疫の危険にさらされている。しかし実際には、体のなかに免疫システムが備わっているおかげで私たちの生命が守られているのだと実感することはまずない。本科目では、免疫システムがどのような基盤から成り立ち、全体としてどのように制御されて、私たちの身体を守ってくれているのかを基礎研究の観点から理解する。						
授業の到達目標						
「免疫学」では、まず前半では免疫システムの特徴を把握し、ミエロイド系細胞やリンパ球系細胞をはじめとする免疫担当細胞がどのような相互作用を経て外来異物に対する免疫反応を引き起こすのか、どのような機構によって免疫反応が統御されているのかを分子レベル、細胞レベル、個体レベルで理解することをめざす。後半では、アレルギー疾患や自己免疫疾患、免疫不全などの医療の現場で問題となる病態における免疫システムの関与と治療上の意義を理解する。一方、医療技術の進歩にともない、臓器(細胞)移植や再生医療、抗体医薬など本来免疫システムが想定していなかったような人為的な新しい治療方法が出現してきており、これらの機序や課題についても理解する必要がある。						
文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(令和4年度改訂版)						
https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/116/toushin/mext_01280.html						
PS-01-01)09						
PS-01-02)04,05,12,19,21						
PS-01-03)02,08,09,11,12,13,15,18,19,20,21,22,23,24,25,26,27,28,29,30						
PS-01-04)15,16,17						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	10/25	08:50-10:20	医学科講義室 1	1. 序論「免疫系の役割」	佐藤 荘	双方向性講義。講義内で解決しなかった質問は WebClass のリアクションペーパーにおいて授業日時の2日後まで受け付ける。重要な質問・回答は WebClass で共有する。
2	10/25	10:45-12:15	医学科講義室 1	2. 免疫系を構築する細胞と最近の知見	佐藤 荘	双方向性講義。講義内で解決しなかった質問は

						WebClass のリアクションペーパーにおいて授業日の 2 日後まで受け付ける。重要な質問・回答は WebClass で共有する。
3	10/25	13:30-15:00	医学科講義室 1	3. T細胞の種類と機能	佐藤 荘	双方向性講義。講義内で解決しなかった質問は WebClass のリアクションペーパーにおいて授業日の 2 日後まで受け付ける。重要な質問・回答は WebClass で共有する。
4	10/25	15:25-16:55	医学科講義室 1	4. T細胞の抗原認識と抗原提示、発生と分化	佐藤 荘	双方向性講義。講義内で解決しなかった質問は WebClass のリアクションペーパーにおいて授業日の 2 日後まで受け付ける。重要な質問・回答は WebClass で共有する。
5	10/28	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	5.B細胞の機能と役割	安達 貴弘	双方向性講義。講義内で解決しなかった質問は WebClass のリアクションペーパーにおいて授業日の 2 日後まで受け付ける。重要な質問・回答は WebClass で共有する。
6	10/28	10:45-12:15	遠隔授業 (同期型)	6. B細胞の制御と疾患	安達 貴弘	双方向性講義。講義内で解決しなかった質問は WebClass のリアクションペーパーにおいて授業日の 2 日後まで受け付ける。重要な質問・回答は

						WebClass で共有する。
7	10/29	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	7. 自然リンパ球とその役割	佐藤 荘	双方向性講義。 講義内で解決し なかった質問は WebClass のリア クションペーパー において授業日 時の2日後まで 受け付ける。重要 な質問・回答は WebClass で共有 する。
8	10/29	10:45-12:15	遠隔授業 (同期型)	8. 顆粒球の種類とその機能	三宅 健介	双方向性講義。 講義内で解決し なかった質問は WebClass のリア クションペーパー において授業日 時の2日後まで 受け付ける。重要 な質問・回答は WebClass で共有 する。
9	10/29	13:30-15:00	遠隔授業 (同期型)	9. 自然免疫と獲得免疫の相互作用とサイトカイン	金山 剛士	双方向性講義。 講義内で解決し なかった質問は WebClass のリア クションペーパー において授業日 時の2日後まで 受け付ける。重要 な質問・回答は WebClass で共有 する。
10	10/29	15:25-16:55	遠隔授業 (同期型)	10. NK細胞の機能と自己非自己 識別機構	反町 典子	双方向性講義。 講義内で解決し なかった質問は WebClass のリア クションペーパー において授業日 時の2日後まで 受け付ける。重要 な質問・回答は WebClass で共有 する。
11	10/30	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	11. がんと免疫系の攻防	佐藤 荘	双方向性講義。 講義内で解決し なかった質問は WebClass のリア

						クシヨンペーパー において授業日 時の2日後まで 受け付ける。重要 な質問・回答は WebClass で共有 する。
12	10/30	10:45-12:15	遠隔授業 (同期型)	12. 抗原提示細胞の分化と機能	構木 俊聡	双方向性講義。 講義内で解決し なかった質問は WebClass のリア クシヨンペーパー において授業日 時の2日後まで 受け付ける。重要 な質問・回答は WebClass で共有 する。
13	11/1	08:50-10:20	医学科講 義室1	13. 免疫系における細胞死の基礎 と疾患	瀬川 勝盛	双方向性講義。 講義内で解決し なかった質問は WebClass のリア クシヨンペーパー において授業日 時の2日後まで 受け付ける。重要 な質問・回答は WebClass で共有 する。
14	11/1	10:45-12:15	医学科講 義室1	14. 自己免疫疾患	保田 晋助	双方向性講義。 講義内で解決し なかった質問は WebClass のリア クシヨンペーパー において授業日 時の2日後まで 受け付ける。重要 な質問・回答は WebClass で共有 する。
15	11/5	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	15. アレルギー	沖山 奈緒子	双方向性講義。 講義内で解決し なかった質問は WebClass のリア クシヨンペーパー において授業日 時の2日後まで 受け付ける。重要 な質問・回答は WebClass で共有

						する。
16	11/5	10:45-12:15	遠隔授業 (同期型)	16. 呼吸器疾患と免疫	岡本 師	双方向性講義。 講義内で解決し なかった質問は WebClass のリア クションペーパー において授業日 時の2日後まで 受け付ける。重要 な質問・回答は WebClass で共有 する。
17	11/6	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	17. ビッグデータを用いた免疫系 の解析	高地 雄太	双方向性講義。 講義内で解決し なかった質問は WebClass のリア クションペーパー において授業日 時の2日後まで 受け付ける。重要 な質問・回答は WebClass で共有 する。
18	11/6	10:45-12:15	遠隔授業 (同期型)	18. 腸管の免疫と炎症	永石 宇司	双方向性講義。 講義内で解決し なかった質問は WebClass のリア クションペーパー において授業日 時の2日後まで 受け付ける。重要 な質問・回答は WebClass で共有 する。
19	11/7	13:30-15:00	医学科講 義室1	19. 神経免疫	七田 崇	双方向性講義。 講義内で解決し なかった質問は WebClass のリア クションペーパー において授業日 時の2日後まで 受け付ける。重要 な質問・回答は WebClass で共有 する。
20	11/21	10:45-12:15	医学科講 義室1	20. 免疫学試験	佐藤 荘	

授業方法

基本的には同期型の授業で実施されるが、講師の都合によっては非同期型に変更になることがある。その際には医学部教務係から事前に通知がある。

講義内で質問が生じた場合は、WebClass のリアクションペーパーにおいて授業日時の 2 日後まで受け付ける。重要な質問・回答は WebClass で共有する。優れた質問が授業内容を深める助けとなることが多いので、講義中の質問も zoom のチャット機能等を用いて随時受け付ける。また、講義資料、教科書等の誤りの指摘が授業の質を高めることにつながるので、十分に活用して欲しい。能動的な学習(アクティブラーニング)を奨励します。
授業内容 授業日程表参照
成績評価の方法 免疫学に関して、試験をおこない評価する(すべて正解で100点)。 また、各授業中に理解度を把握するため適宜小テストや講義内容に関するレポートをおこなうことがある。
成績評価の基準 各試験の得点が 100 点中 60 点以上を合格とし、60 点—69 点を C、70 点—79 点を B、80 点—89 点を A とする。
準備学習等についての具体的な指示 「全体を通してこれまでに学習した解剖学・組織学・薬理学・生化学・分子遺伝学などの基礎知識を復習し、しっかり理解しておくこと。
試験の受験資格 すべての学生が、定期試験ならびに追・再試験を受験する資格をもつ。 特別に勘案すべき事情があるために講義に参加できない場合には、その事情とともに医学部教務係にメールの様に日時の記録が残る形で連絡することを必須とする。なお、緊急の場合には電話でもよいが、その後メールはする事。連絡が出来ないような特別な事情があった後で判断された場合には、その限りではない。これらの十分な対応が行われていたと判断された場合には、事情などに応じて対応を行うこととする。
教科書 1. Immunobiology 9th Edition 2016 年発刊、Garland Science 社(日本語訳が南江堂から「免疫生物学」として出ているが原著第 7 版に基づくもの):免疫教科書の定番 2. Cellular and Molecular Immunology 9th Edition (with Student Consult Online Access) 2017 年発刊、Elsevier 社(日本語訳がエルゼビア・ジャパン社から「分子細胞免疫学」として出ているが原著第9版に基づくもの):免疫教科書の定番 3. The Immune System 4th Edition 2014 年発刊、Garland Science 社(日本語訳がメディカル・サイエンス・インターナショナル社から「エッセンシャル免疫学」として出ている) 4. 医系免疫学 改訂 14 版 2016 年発刊、中外医学社
参考書 1. もっとよくわかる！免疫学(実験医学別冊、著者:河本宏)羊土社 2. 新・現代免疫物語「抗体医薬」と「自然免疫」の驚異 (ブルーバックス、著者:岸本忠三、中嶋彰)講談社
履修上の注意事項 講義中にスクリーンの撮影をすることを禁止する。レポート等の個人課題について、他の学生のもの及びネット上に公開されているものをそのまま提出するようなことはしないこと。そのような事実が確認された場合には、関係した学生全てを未提出とする。講義動画、講義資料、参考資料などは著作権の問題があるので、受講登録者以外に公開することを禁ずる。
備考 以前の講義評価コメント内で「定期試験の出題範囲の偏りが見られる」という意見があったので、今年度も定期試験は講義内容から幅広く出題を行う予定である。
連絡先(メールアドレス) 佐藤 荘 satoh.mbch@tmd.ac.jp

時間割番号	011034				
科目名	神経科学・基礎			科目ID	
担当教員	磯村 宜和[ISOMURA Yoshikazu]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	2	単位数	3.5
実務経験のある教員による授業	該当する				
神経科学・基礎					
授業の目的、概要等					
神経科学は、ヒトや動物が生存するために必要な中枢神経系や末梢神経系の仕組みを、分子、細胞、組織、器官、系、個体、社会レベルにわたる階層性を踏まえて理解する学際的な学問である。この神経科学・基礎の授業では、医師や研究者を目指すにあたって、医学・科学の理解に必要な基礎知識を幅広く身につけるとともに、物事を科学的に議論できる力を養うことを目的とする。					
授業の到達目標					
1. 神経生理学・神経薬理学に関しての科学的理論と方法論を説明できる。					
2. 疾患の病因・病態・臨床徴候などの理解に必要な神経生理学・神経薬理学の知識を提示できる。					
3. 医学・歯学・健康に関して神経生理学的・神経薬理学な問題提起ができる。					
4. 神経生理学・神経薬理学の専門用語(日本語・英語)の理解/表記/発音ができる。					
5. 各授業参加者の人格を尊重し、敬意を払うことができる。					
6. 授業の時間を厳守し、信頼性を示すことができる。					
7. 自ら学習目標を設定し、学習活動に取り組むことができる。					
文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(令和4年度改訂版)					
https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/116/toushin/mext_01280.html					
GE-01-05)01					
GE-04-02)03					
PS-01-01)02,03					
PS-01-02)01,02,03,04,05,06,07,08,09,11,13,14,16,17,18,19,20,26,36					
PS-01-03)32					
医学科コンピテンシーよりこの科目で身につけるレベル					
[I-2-B]世界的に注目されている医学／歯学／健康に関する主たるトピックについて、議論できる					
[I-3-B]科学/医学/歯学専門用語/表現の理解/表記/発音ができる					
[II-1-A]医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる					
[II-2-B]基礎的および臨床的研究の倫理的事項に配慮して実習を行える					
[II-3-B]臨床的あるいは科学的問題提起ができる					
[II-4-B]実習実験を実施して結果を得ることができる					
[II-5-B]実習実験により得られた結果の意義を、口頭あるいは書面で明確に説明できる					
[III-1-A]他者の貢献、時間、価値感、人格を尊重し、常に敬意を払って接することができる					
[III-9-A]個人の生活における責務と医学科での学習及び社会的な責務について、適切にバランスを取ることができる					
[III-10-A]自立と監督・指導の必要性との適切なバランスを常に保つことができる					
[III-12-A]メンタルストレスに直面した際、それを認識し、適切な解消処置をとれる					
[III-14-A]時間厳守、信頼性、適切な準備、率先性、遂行能力を示すことができる					
[III-15-A]文書課題を、正確で判読しうる質にて作成し、規定期限内に提出できる					
[III-16-A]本学を含めた当該機関内規、法律、専門職社会内規範を遵守できる					
[III-17-A]常に、誠実さ、正直さ、確実さをもって行動できる					
[III-18-A]他者への良識を逸する振舞い(無礼、短気など)を認識し、助言を求め、今後起こさぬよう振舞いを修正することができる					
[III-19-B]情報やデータ収集におけるエラーを認識し、学習グループのメンバーや指導・監督者に報告できる					
[III-23-A]記述、プレゼンテーション、論文、および研究情報などの利用において、著作権を尊重し、それに沿って行動できる					

[Ⅲ-26-A]自身の知識・能力・振舞いを批判的に省察し、長所と課題点を同定し、改善の為の学習目標を設定し、それを達成するのに適した学習活動に取り組むことができる

[Ⅲ-27-A]自身に対するフィードバックにもとづき省察し自己改善を実現できる

[Ⅲ-28-A]他人に建設的なフィードバックを適切な形で提示できる

[Ⅲ-29-A]ポートフォリオを活用して、課題設定を行い、自己学習・自己研鑽できる

[V-1-B]疾患の病因・病態・臨床徴候などの理解に必要な基礎医学知識を提示できる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	9/3	08:50-10:20	医学科講義室 1	神経科学序論	神経科学(神経生理学)の考え方を学習する。eラーニングの学修方法を指示をする。	礒村 宜和	授業の到達目標 1～7(すべて) ※出席必須 本科目では規則正しい生活習慣を心がけ、同期型・非同期型授業ともに出席/視聴に努めること。別途、必ずeラーニングを学修し、期限内に所定の成績を収めておくこと。
2	9/3	10:45-12:15	医学科講義室 1	神経細胞とグリア細胞	神経細胞とグリア細胞の種類と役割を学習する。	七田 崇	授業の到達目標 1～7(すべて)
3	9/3	13:30-15:00	医学科講義室 1	膜興奮性	神経細胞の静止膜電位と活動電位の仕組みを学習する。	平 理一郎	授業の到達目標 1～7(すべて)
4	9/3	15:25-16:55	遠隔授業(非同期型)	脳の発達と可塑性	脳の発達と可塑性の仕組みを学習する。	上阪 直史	授業の到達目標 1～7(すべて)
5	9/4	08:50-10:20	医学科講義室 1	感覚機能:体性感覚	感覚系の種類と役割を理解し、体性感覚の仕組みを学習する。	礒村 宜和	授業の到達目標 1～7(すべて)
6	9/4	10:45-12:15	医学科講義室 1	感覚機能:視覚	視覚の仕組みを学習する。	川端 政則	授業の到達目標 1～7(すべて)
7	9/5	13:30-15:00	医学科講義室 1	感覚機能:聴覚・平衡感覚・嗅覚・味覚	聴覚・平衡感覚・嗅覚・味覚の仕組みを学習する。	川端 政則	授業の到達目標 1～7(すべて)
8	9/5	15:25-16:55	医学科講義室 1	シナプス伝達	シナプス伝達の仕組みを学習する。	松崎 政紀	授業の到達目標 1～7(すべて) ※出欠確認(学外講師)
9	9/10	08:50-10:20	医学科講義室 1	運動機能:小脳	小脳による運動機能の仕組みを学習する。	杉原 泉	授業の到達目標 1～7(すべて) ※出欠確認(学外講師)
10	9/10	10:45-12:15	医学科講義室 1	運動機能:筋・脊髄・大脳皮質	筋・脊髄・大脳皮質による運動機能の仕組みを学習する。	平 理一郎	授業の到達目標 1～7(すべて)
11	9/10	13:30-15:00	医学科講義室 1	運動機能:姿勢・歩行・眼球運動	姿勢・歩行・眼球運動の仕組みを学習する。	平 理一郎	授業の到達目標 1～7(すべて)
12	9/10	15:25-16:55	医学科講義室 1	運動機能:大脳基底核・	大脳基底核・視床による運動機能	ALAIN ANT	授業の到達目標

			義室 1	視床	の仕組みを学習する。英語授業	ONIO RIOS	1～7(すべて)
13	9/11	08:50-10:20	医学科講 義室 1	自律神経機能: 中枢・末 梢制御	自律神経機能の仕組みを学習す る。	礒村 宜和	授業の到達目標 1～7(すべて)
14	9/11	10:45-12:15	医学科講 義室 1	睡眠覚醒・概日リズム	睡眠覚醒・概日リズムの仕組みを 学習する。英語授業	ALAIN ANT ONIO RIOS	授業の到達目標 1～7(すべて)
15	9/12	08:50-10:20	遠隔授業 (非同期 型)	神経薬理学序論	神経科学(神経薬理学)の考え方 を学習する。	青木 和広	授業の到達目標 1～7(すべて)
16	9/12	10:45-12:15	遠隔授業 (非同期 型)	末梢神経薬理	末梢神経薬理学を体系的に学習 する。	青木 和広	授業の到達目標 1～7(すべて)
17	9/12	13:30-15:00	医学科講 義室 1	中枢神経薬理	中枢神経薬理学を体系的に学習 する。	七田 崇	授業の到達目標 1～7(すべて)
18	9/12	15:25-16:55	医学科講 義室 1	精神神経薬理	精神神経薬理学を体系的に学習 する。	七田 崇	授業の到達目標 1～7(すべて)
19	9/18	08:50-10:20	医学科講 義室 1	本能行動と生命維持	本能行動と生命維持の仕組みを 学習する。	礒村 宜和	授業の到達目標 1～7(すべて)
20	9/18	10:45-12:15	医学科講 義室 1	情動と動機づけ	情動と動機づけの仕組みを学習 する。	礒村 宜和	授業の到達目標 1～7(すべて)
21	9/25	08:50-10:20	医学科講 義室 1	記憶と学習	記憶と学習の仕組みを学習する。	礒村 宜和	授業の到達目標 1～7(すべて)
22	9/25	10:45-12:15	医学科講 義室 1	応用脳科学	神経科学の応用的研究の発展を 学習する。	柳澤 琢史	授業の到達目標 1～7(すべて) ※ 出欠確認(学外講 師)
23	9/26	13:30-15:00	医学科講 義室 1	理論脳科学	神経科学の理論的研究の概念を 学習する。	島崎 秀昭	授業の到達目標 1～7(すべて) ※ 出欠確認(学外講 師)
24	9/26	15:25-16:55	医学科講 義室 1	高次脳機能	ヒトの高次脳機能の仕組みと臨床 との接点を学習する。	高橋 英彦	授業の到達目標 1～7(すべて)
25	10/1	08:50-10:20	遠隔授業 (非同期 型)	e ラーニング	各自、e ラーニングに取り組む。	礒村 宜和	授業の到達目標 1～7(すべて)
26	10/1	10:45-12:15	医学科講 義室 1	アクティブ・ラーニング	神経科学の課題を主体的に考え て解決する(グループ討論)。	礒村 宜和 平 理一郎 A LAIN ANTO NIO RIOS, 川端 政則	授業の到達目標 1～7(すべて) ※ 参加必須
27	10/1	13:30-15:00	医学科講 義室 1	神経科学の最前線	神経科学の研究例に触れて神経 科学の発展性と方向性を理解す る。	礒村 宜和 平 理一郎	授業の到達目標 1～7(すべて)
28	10/22	10:45-12:15	医学科講 義室 1	試験 (生理・薬理)	授業で学んだ内容を中心に出題 する。選択肢および記述式問題を 予定している。	礒村 宜和	授業の到達目標 1～7(すべて)

授業方法

同期型授業(対面式または Zoom オンライン)または非同期型授業(動画視聴など)の混成とし、本学の生理学(細胞生理学分野)の教員を中心に、他の基礎系や臨床系の教員、さらに学外から招聘する学識豊かな非常勤講師数名が担当する。一部の授業では、応用力を養うためにアクティブ・ラーニング(対面式グループ討論の予定)を導入する。また、国際感覚を養うために英語による授業も一部導入する。授

業後の質問や問い合わせは、各授業の担当教員または科目責任者にメールで連絡すること。 各講義とは別に、神経生理学の理解に必要な基礎的な知識を自己学習で身に付けるために、所定の期限までの e ラーニング(エルゼビア・ジャパン社 ClinicalKey student(CKSJ)生理学)の受講を義務付ける。e ラーニングに取り組むための授業時間(非同期型)を設定するので、その時間を利用してもよいし、先取りして進めても構わない。e ラーニングの受講は神経科学・基礎試験の受験資格の一つとし(前述)、成績評価にも使用する(後述)。e ラーニングの問題や解説の内容に関する疑問点は、オンライン解説や教科書(推奨:ガイトン生理学※)を参考にして自ら解決すること(質問は受け付けない)。受講方法に関する問い合わせは科目責任者まで、システムに関する問い合わせはエルゼビア・ジャパン社の担当窓口まで連絡すること。
授業内容 授業では、脳の各種細胞、シナプス伝達、発達と可塑性、感覚・運動機能、自律神経、生命維持、情動・動機づけ、記憶・学習、高次機能、薬理機序、さらに応用脳科学と理論脳科学などの基礎系の神経科学を中心に扱う。一部に順番が前後したり、重複したりする項目がある。従って、教育カリキュラムに従うのみではなく、教科書や e ラーニング教材を活用して自主的に学習して、断片的ではない体系化された基礎医学を各自構築されたい。神経生理学の教科書には生理学と同じくガイトン生理学、標準生理学、ギャノン生理学を挙げる。いずれも優れた生理学の教科書であり、購入または図書館の貸出利用を勧める。特にガイトン生理学(原著第 13 版 2018 年訳)は、e ラーニングと連携して学習できる利点がある。神経科学や神経薬理学の教科書も下に挙げておく。
成績評価の方法 筆記試験(A)の得点(配点 80 点)と e ラーニング(B)の最高得点(配点 20 点)の合計(100 点満点)で評価する。合格の基準を 60 点(評価「B」)とし、高得点には「A」以上の評価を与える。※ただし、本学医学科以外の履修生に対してはレポート等により個別に成績評価する。 A) 筆記試験(本試験 2024 年 10 月 22 日予定) 神経科学・基礎の本試験の受験資格 1)2)を有する履修生に対し、基本的に同期型および非同期型の授業内容および関連事項を中心として、選択肢および記述式問題として出題する(80 点)。従って、毎回の授業に出席し、教員が示す重要な項目を良く理解することが肝要である。一部は英語で出題する(日本語による授業の範囲を含む)。 B) e ラーニング(2024 年 10 月 11 日 17 時締切) e ラーニング(エルゼビア・ジャパン社 ClinicalKey student(CKSJ)生理学)を指定通りに受講し、すべての回(全 4 回)で所定の正解率(60%)を上回る成績に到達していることが前提である。e ラーニングの問題は基礎レベルの選択肢問題(日本語を中心とし、各自に異なる問題が毎回 10 問程度ずつ出題される(総計 40 問)。本人自らが取り組む限り、教科書や授業ノートを参考にしてもよいし、同一問題あるいは問題を入れ替えた 10 問を再設定して何度でも挑戦してもよい。4 回分の取り組み順も問わない。各回すべてで所定の正解率(60%)を上回ったうえで、各々の最高得点を合計して e ラーニングの取り組みを評価する。評価点は 1 問正解につき 0.5 点を与える。従って、各回の合格点は 5 点満点中の 3 点以上となり、e ラーニング全体の合格点は 12 点から 20 点までの範囲となる。締切日までに所定の成績に達していない場合は、理由の如何にかかわらず(接続不良を含む)、神経科学・基礎の本試験の受験資格を得られないことになるので注意すること。
成績評価の基準 筆記式の本試験(配点 80 点)と e ラーニング(配点 20 点)の合計点(100 点満点)を算出し、合計 60 点を合格(B)の基準点とする。この基準を上回る得点に応じて、(B)より上の評価を与える。追試験の評価には e ラーニングの実績を含めるが、再試験には含めない。
準備学習等についての具体的な指示 最初の授業で指示する通りに e ラーニングを計画的に受講しておくこと。また、教科書を使って授業の予習や復習をしておくことが望ましい。
試験の受験資格 1)同期型・非同期型授業の受講 同期型／非同期型授業ともに原則として出欠はとらないが、可能な限りの出席／視聴に努めること。ただし、学外講師の授業では出欠をとり、総合的な成績評価に含めることがある。アクティブラーニングを実施する授業では授業開始からの出席を必要とする。やむを得ない理由による場合を除き、アクティブラーニングの欠席者は本試験の受験資格を失うことがある。 ※原則として個々の出席回数(視聴履歴)の問い合わせには対応しない。 ※大幅な遅刻・早退をしないように規則正しい生活習慣に努め、オンライン接続環境の維持に留意すること。 2)e ラーニングの完了 2024 年 10 月 11 日(金)17 時まで、最初の授業で指示する方法で e ラーニング(エルゼビア・ジャパン社 ClinicalKey student(CKSJ)生理学)を自己学習として受講し、全 4 回いずれも所定の正解率を上回る成績に到達していること(成績評価の方法を参照のこと)。各自の受講状況は、当該システム上で科目責任者が確認することができる。

上記の1)2)の条件を満たすことを、神経科学・基礎の本試験の受験資格とする。不正が発覚した場合、アンプロフェッショナルな行為として懲戒の対象となるため、受験資格の取り消しも含め厳正に対処する。
教科書 ガイトン生理学／Guyton, Arthur C,Hall, John Edward, 1946-,石川, 義弘,岡村, 康司,尾仲, 達史,金子, 猛, 呼吸器内科学,北村, 義浩,藤乗, 嗣泰,ガイトン [原著],John E.Hall 著,石川義弘, 岡村康司, 尾仲達史, 河野憲二 総監訳,金子猛, 北村義浩, 藤乗嗣泰, 松嶋成志 監訳:エルゼビア・ジャパン, 2018.3 標準生理学／本間, 研一, 1946-,大森, 治紀, 1950-,大橋, 俊夫, 1949-,本間研一 監修,大森治紀, 大橋俊夫 総編集:医学書院, 2019.3 カandel神経科学／Kandel, Eric R., 1929-,Koester, John,Mack, Sarah,Siegelbaum, Steven,宮下, 保司, 1949-,岡野, 栄之,エリック Rカandel, John D.Koester, Sarah H.Mack, Steven A.Siegelbaum 編,宮下保司 日本語版監修,岡野栄之 [[ほか] 監訳:メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2022.9 カールソン神経科学テキスト：脳と行動／Carlson, Neil R,Birkett, Melissa A., 1979-,中村, 克樹, 1963-,Neil R.Carlson, Melissa A.Birkett 著,中村克樹 監訳:丸善出版, 2022.12
参考書 臨床薬理学：ハーバード大学講義テキスト／Golan, David E,Tashjian, Armen H., 1932-2009,Armstrong, Ehrin J,渡邊, 裕司,David E.Golan, Armen H.Tashjian,Jr., Ehrin J.Armstrong, April W.Armstrong [執筆],渡邊裕司 監訳:丸善出版, 2015.6 必要に応じて参考書を紹介する。
他科目との関連 神経科学・基礎は神経解剖学、生理学、薬理学、生化学と密接に関連しており、神経系の臨床科目（神経内科、精神科、神経外科、耳鼻科、眼科、麻酔科など）とも関連している。また心理学や工学や情報学などとも幅広く関連する学際的な科目である。
履修上の注意事項 対面式授業中は、携帯電話の通話や過度の私語や飲食などを禁ずる。同期型オンライン授業中は、大学の定める受講ルールと端末機器の設定を遵守すること。講義スライド資料の図表類および e ラーニングの問題と解説には著作権の許諾範囲に制限があるものが含まれるので、いかなる媒体を介しても履修者以外に授業資料を公開することを禁ずる。
備考 本学の教育改革と本科目のコース評価に基づき、下記の改善を採り入れた。 ・同期型および非同期型の混成授業を導入した。 ・アクティブ・ラーニング授業や英語による授業の導入を明確化した。 ・神経科学・基礎の学修期間中に基礎的な知識を効率よく習得してもらうために、2024 年度より e ラーニング(エルゼビア・ジャパン社 Clinical Key student(CKSJ)生理学)を導入した。 ・コース評価(コメント含む)を担当教員すべてに周知し、授業スライドや口頭説明などの改善に努めた。 ・本試験では、英語による問題数が過大にならないように配慮する。 連絡先 細胞生理学分野 教授 礒村 宜和(いそむら よしかず) M&D タワー17 階南西側(必ず事前に訪問予約をとること) メール:isomura.phy2@tmd.ac.jp 電話:03-5803-5156(研究室)
連絡先(メールアドレス) 礒村 宜和isomura.phy2@tmd.c.jp
オフィスアワー 礒村 宜和平日朝10時～夕方6時まで ※授業の内容に関する質問は、各回の担当教員に直接尋ねてください。 ※試験・レポートに関することは、なるべく科目責任者(礒村)にまとめて問い合わせ、各担当教員に直接尋ねることは極力避けてください。

時間割番号	011038		
科目名	感染・基礎	科目ID	
担当教員	白銀 勇太, 鈴木 敏彦, 芦田 浩, 助川 明香, 武内 寛明, 林 隆也[SHIROGANE Yuta, SUZUKI TOSHIHIKO, ASHIDA Hiroshi, SUKEGAWA Sayaka, TAKEUCHI HIROAKI, HAYASHI Takaya]		
開講時期	2024 年度後期	対象年次	2
実務経験のある教員による授業	該当する		
主な講義場所 細菌学の講義は非同期録画で、ウイルス学の講義は対面で実施する。 非同期録画の場合は、講義動画が視聴可能な場所で視聴すること。			
授業の目的、概要等 病原体総論では微生物の概念と歴史、細菌の分類、構造、染色、代謝、培養について学ぶ。さらに微生物がなぜ宿主に感染病態をきたすのかについて学ぶ。 1. 細菌学 1)総論的に細菌感染、遺伝学、薬物治療について学び、グラム陽性菌とグラム陰性菌に分けて基礎的事項を学ぶ。2)比較的稀な微生物(クラミジア、リケッチア、嫌気性菌、梅毒トレポネーマ)についても学ぶ。3)抗酸菌の基礎的事項についての講義を通して結核、非定型抗酸菌の全体像を把握する。4)真菌に関しても同様に講義で理解する。 2. ウイルス学 1)ウイルス学総論ではウイルスの一般的性状、構造と分類、増殖、遺伝および進化について学ぶ。2)ウイルスの病原性、ウイルスによる発がん、ウイルス感染症に対する検査・予防・治療法について学ぶ。4)病原因子、宿主因子、感染防御機構などについて学ぶ。5)各論ではRNAウイルス、DNAウイルス、レトロウイルス、人獣共通感染症と新興・再興感染症のウイルス、肝炎ウイルス、急性胃腸炎を起こすウイルス、に分けて、ヒトの病原ウイルスについて詳しく学ぶ。 3. プリオン 蛋白性感染因子であるプリオンの性状と病原性プリオンが起こす疾患について学ぶ。			
授業の到達目標 微生物とは肉眼で認めることのできない小さな生物の総称である。微生物は分類的に多種にわたり、その中には細菌、真菌、ウイルスなどが含まれるが、このような生物を研究する科学が微生物学であり、それらによって引き起こされる病態が感染症である。医学の進歩により、多くの病原体による疾病の治療やワクチンによる予防が可能になった。しかし近年、薬剤耐性細菌感染症、結核、新型コロナウイルス感染症、エイズ、インフルエンザ、エボラ出血熱などの新興、再興感染症が大きな問題となっている。 各講義内容の理解が下記項目の達成に繋がる。 (1)微生物に関する基礎的知識と感染症の知識を身につける。 (2)微生物の構造、増殖、機能、遺伝、感染伝播に関する原理を理解する。 文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(令和4年度改訂版) https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/116/toushin/mext_01280.html PS-01-01)09 PS-01-03)01,02,03,04,05,06,08,09,10,11,12,14,15,16,17,18			

医学科コンピテンシーよりこの科目で身につけるレベル

[I-2-B]世界的に注目されている医学／歯学／健康に関する主たるトピックについて、議論できる

[I-3-B]科学/医学/歯学専門用語/表現の理解/表記/発音ができる

[II-1-A]医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる

[II-3-B]臨床的あるいは科学的問題提起ができる

[III-9-A]個人の生活における責務と医学科での学習及び社会的な責務について、適切にバランスを取ることができる

[III-12-A]メンタルストレスに直面した際、それを認識し、適切な解消処置をとれる

[III-13-B]医学生としての健康管理(予防接種を含む)の重要性を説明できる

[III-15-A]文書課題を、正確で判読しうる質にて作成し、規定期限内に提出できる

[III-26-A]自身の知識・能力・振舞いを批判的に省察し、長所と課題点を同定し、改善の為に学習目標を設定し、それを達成するのに適した学習活動に取り組むことができる

[III-27-A]自身に対するフィードバックにもとづき省察し自己改善を実現できる

[III-29-A]ポートフォリオを活用して、課題設定を行い、自己学習・自己研鑽できる

[V-1-B]疾患の病因・病態・臨床徴候などの理解に必要な基礎医学知識を提示できる

[VI-25-B]患者隔離の必要な感染症につき、感染経路や症候、予後、予防・治療を説明できる

[VI-26-C]針刺し事故、針刺し創等による感染症感染につき、感染経路や症候、予後、予防・治療を説明できる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	10/23	08:50-10:20	遠隔授業 (非同期型)	病原体総論	鈴木 敏彦	【到達目標】(1)、 (2) 【学習方法】 非同期ビデオ 【アクティブラーニング】講義は非同期授業であるが、Webclass で質問、コメントを受け付けて回答する。
2	10/23	10:45-12:15	遠隔授業 (非同期型)	細菌学総論	鈴木 敏彦	【到達目標】(1)、 (2) 【学習方法】 非同期ビデオ 【アクティブラーニング】講義は非同期授業であるが、Webclass で質問、コメントを受け付けて回答する。
3	10/28	13:30-15:00	遠隔授業 (非同期型)	細菌遺伝学	芦田 浩	【到達目標】(1)、 (2) 【学習方法】 非同期ビデオ 【アクティブラーニング】講義は非同期授業であるが、Webclass で質問、コメントを受け付けて回答する。
4	10/28	15:25-16:55	遠隔授業	細菌感染の治療と予防	芦田 浩	【到達目標】(1)、

			(非同期型)			(2) 【学習方法】 非同期ビデオ 【アクティブラーニング】講義は非同期授業であるが、Webclass で質問、コメントを受け付けて回答する。
5	10/31	08:50-10:20	遠隔授業 (非同期型)	グラム陽性菌	鈴木 敏彦	【到達目標】(1)、 (2) 【学習方法】 非同期ビデオ 【アクティブラーニング】講義は非同期授業であるが、Webclass で質問、コメントを受け付けて回答する。
6	10/31	10:45-12:15	遠隔授業 (非同期型)	グラム陰性菌	鈴木 敏彦	【到達目標】(1)、 (2) 【学習方法】 非同期ビデオ 【アクティブラーニング】講義は非同期授業であるが、Webclass で質問、コメントを受け付けて回答する。
7	10/31	13:30-15:00	遠隔授業 (非同期型)	その他のグラム陰性菌、細胞内寄生細菌、結核菌	鈴木 敏彦	【到達目標】(1)、 (2) 【学習方法】 非同期ビデオ 【アクティブラーニング】講義は非同期授業であるが、Webclass で質問、コメントを受け付けて回答する。
8	10/31	15:25-16:55	遠隔授業 (非同期型)	その他の病原体(真菌、放線菌)	鈴木 敏彦	【到達目標】(1)、 (2) 【学習方法】 非同期ビデオ 【アクティブラーニング】講義は非同期授業であるが、Webclass で質問、コメントを受け付けて回答する。
9	11/1	13:30-15:00	医学科講義室 1	ウイルス学総論	白銀 勇太	【到達目標】(1)、 (2) 【学習方法】対面講義 【アクティブラーニング】理解度を測るために必要に応

						じて小テストを実施する。また、質問、コメントを受け付けて回答する。
10	11/1	15:25-16:55	医学科講義室 1	RNA ウイルス(1)	白銀 勇太	【到達目標】(1)、(2) 【学習方法】対面講義 【アクティブラーニング】理解度を測るため必要に応じて小テストを実施する。また、質問、コメントを受け付けて回答する。
11	11/8	13:30-15:00	医学科講義室 1	RNA ウイルス(2)	助川 明香	【到達目標】(1)、(2) 【学習方法】対面講義 【アクティブラーニング】理解度を測るため必要に応じて小テストを実施する。また、質問、コメントを受け付けて回答する。
12	11/13	08:50-10:20	医学科講義室 1	DNA ウイルス	林 隆也	【到達目標】(1)、(2) 【学習方法】対面講義 【アクティブラーニング】理解度を測るため必要に応じて小テストを実施する。また、質問、コメントを受け付けて回答する。
13	11/13	10:45-12:15	医学科講義室 1	レトロウイルス	武内 寛明	【到達目標】(1)、(2) 【学習方法】対面講義 【アクティブラーニング】理解度を測るため必要に応じて小テストを実施する。また、質問、コメントを受け付けて回答する。
14	11/14	13:30-15:00	医学科講義室 1	人獣共通感染症と新興・再興ウイ	武内 寛明	【到達目標】(1)、

			義室 1	ルス感染症		(2) 【学習方法】対面講義 【アクティブラーニング】理解度を測るため必要に応じて小テストを実施する。また、質問、コメントを受け付けて回答する。
15	11/14	15:25-16:55	医学科講義室 1	肝炎ウイルス、急性胃腸炎を起こすウイルス、プリオン	白銀 勇太	【到達目標】(1)、(2) 【学習方法】対面講義 【アクティブラーニング】理解度を測るため必要に応じて小テストを実施する。また、質問、コメントを受け付けて回答する。
16	11/28	10:45-12:15	医学科講義室 1	感染・基礎試験	白銀 勇太	【到達目標】(1)、(2) 【学習方法】講義内容・非同期ビデオ、講義資料をもとに学習すること。

授業方法

講義では基本的な事項を中心に、発展的事項まで幅広く解説する。
講義は非同期授業(細菌学)および対面講義(ウイルス学)で実施する。
非同期授業については、メールで質問、コメントを受け付けて回答する。

授業内容

授業スケジュール参照。

成績評価の方法

対面講義(ウイルス学)では各講義の最後に小テストを実施する。また、講義内容に関して筆答試験で学習成果を問う。試験内容に関しては「授業の到達目標」を参照する。また試験・小テストの 10%程度は英文により出題される。

成績評価の基準

筆答試験の点数(100 点満点)に、小テストによる加点(提出 1 回につき 1 点)をした点数で評価する。合計が 100 点を超えた場合には一律 100 点とする。

準備学習等についての具体的な指示

アップロードされている講義資料および教科書で講義に該当する部分を読み込んで、疑問点等を整理しておくこと。

試験の受験資格

非同期授業(細菌学)については WebClass に掲載の講義動画および講義資料をもとに自学自習すること。
また、対面講義(ウイルス学)には必ず出席すること。
対面講義(ウイルス学)に関しては各講義の最後に小テストを出題し、Webclass で提出を求める。小テストの提出 1 回につき、筆答試験の点数に 1 点を加算する。

教科書 書名 / 著者名（発行所名） 標準微生物学 / 横田 健（医学書院） エッセンシャル微生物 / 高木 篤（医歯薬出版） 戸田新細菌学 / 天児和暢（南山堂） 微生物学実習提要 / 東京大学医科学研究所（丸善） 医学ウイルス学 / White, Fenner（近代出版） 一目でわかる微生物学と感染症 / Stephen H. Gillespie & Kathleen B. Bamford（メディカル・サイエンス・インターナショナル） Principles of Virology / Flint, Racaniello, Rall, Hatziiiannou, Skalka (ASM PRESS) Fields Virology / Kriple, Howley (Lippincott) Medical Microbiology (Eighteenth Ed.) / E.Jawetz (Maruzen Asia Ed.) Zinsser Microbiology (Nineteenth Ed.) / Jokil,Willet, Amos, Wilfert (Appleton Lange) Microbiology (Fourth Ed.) / Davis, Dulbecco, Eisen, Ginsberg (Lippincott)
他科目との関連 感染症は医学のほとんどの科目と深い関係をもっている。特に免疫学、公衆衛生学、病理学、衛生学、医動物学、臨床面では内科学、外科学、小児科学、皮膚科学、泌尿器科学、眼科学、耳鼻咽喉科学等と密接な関係がある。
履修上の注意事項 試験終了後、採点結果の個別開示は行わない。また、再試験の結果により評価は確定する。
備考 質問、コメント等がある場合は、Webclass のリアクションペーパーで連絡してください。
連絡先(メールアドレス) 白銀 勇太:shirogane.yuta@tmd.ac.jp
オフィスアワー 白銀 勇太:メールにて事前に連絡ののち、M&D タワーの 17 階 ウイルス制御学分野の教授室にて

時間割番号	011042				
科目名	病理学			科目ID	
担当教員	大橋 健一[OOHASHI Kennichi]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	2	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				
主な講義場所 講義・学生発表:3 号館講義室 1 実習:3 号館 4 階 実習室(場合によっては、バーチャルスライドを用いたオンライン同期式実習とする可能性もある)					
授業の目的、概要等 本科目は、1週間に講義と実習の全てを集中させた「病理総論ブロック」として授業が行われる。学生は数人ごとの小グループに分かれ、各グループには、病理学総論の4つの大テーマに関連して幾つかの課題が与えられる。ブロック週の前半はその課題に対する調査・探究をするための自習時間が多く取られる。授業は各グループによる課題の発表を主体として、学生同士で知識の共有とより深い理解を求められる。教官は網羅的授業は行わず、発表に対する補足の説明にとどまる。その後、テーマに関連する標本の顕微鏡実習を行う。講義と実習は必要最小限度にとどめてあり、自習時間を利用した、学生自身の十分な自己学習が求められる。					
授業の到達目標 1. 炎症、免疫、循環障害、代謝障害の各分野について基本的な概念を理解する。 2. 今まで学んだ組織学や免疫学などの知識との関連を踏まえ理解する。 3. 非腫瘍性疾患における病態・機序を理解する。 病理学とは、ヒトの疾病の理論を扱う学問であり、主に細胞・組織・臓器の形態像に基づき、各種疾患の原因・進行・転帰を追究していく。ヒトの疾患は大きく腫瘍性疾患と非腫瘍性疾患に分類されるが、腫瘍についての学習は「腫瘍学」に譲り、「病理学総論」においては非腫瘍性疾患に焦点を絞って、主に炎症、免疫、循環障害、代謝障害の概念・病態生理について学ぶ。「腫瘍学」および「病理学総論」にて得られる知識は、全ての疾患を理解するための“縦糸”となり、その後に予定されている授業で学ぶ各臓器の個々の疾患に関する各論的知識を“横糸”として組み合わせることで、ヒトの“病気”の姿が明確に織り成される。 文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(令和4 年度改訂版) https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/116/toushin/mext_01280.html PS-01-02)10,11,12,13,15 PS-01-03)18,28,29 PS-01-04)05,06,13,14,15,16,17 PS-03-05)02,14 医学科コンピテンシーよりこの科目で身につけるレベル [I-2-B]世界的に注目されている医学／歯学／健康に関する主たるトピックについて、議論できる [I-3-B]科学/医学/歯学専門用語/表現の理解/表記/発音ができる [II-1-A]医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる [II-2-B]基礎的および臨床的研究の倫理的事項に配慮して実習を行える [II-3-B]臨床的あるいは科学的問題提起ができる [II-4-B]実習実験を実施して結果を得ることができる [II-5-B]実習実験により得られた結果の意義を、口頭あるいは書面で明確に説明できる [III-1-A]他者の貢献、時間、価値感、人格を尊重し、常に敬意を払って接することができる [III-9-A]個人の生活における責務と医学科での学習及び社会的な責務について、適切にバランスを取ることができる [III-10-A]自立と監督・指導の必要性との適切なバランスを常に保つことができる [III-12-A]メンタルストレスに直面した際、それを認識し、適切な解消処置をとれる [III-14-A]時間厳守、信頼性、適切な準備、率先性、遂行能力を示すことができる					

[Ⅲ-15-A]文書課題を、正確で判読しうる質にて作成し、規定期限内に提出できる

[Ⅲ-16-A]本学を含めた当該機関内規、法律、専門職社会内規範を遵守できる

[Ⅲ-17-A]常に、誠実さ、正直さ、確実さをもって行動できる

[Ⅲ-18-A]他者への良識を逸する振舞い(無礼、短気など)を認識し、助言を求め、今後起こさぬよう振舞いを修正することができる

[Ⅲ-19-B]情報やデータ収集におけるエラーを認識し、学習グループのメンバーや指導・監督者に報告できる

[Ⅲ-23-A]記述、プレゼンテーション、論文、および研究情報などの利用において、著作権を尊重し、それに沿って行動できる

[Ⅲ-26-A]自身の知識・能力・振舞いを批判的に省察し、長所と課題点を同定し、改善の為の学習目標を設定し、それを達成するのに適した学習活動に取り組むことができる

[Ⅲ-27-A]自身に対するフィードバックにもとづき省察し自己改善を実現できる

[Ⅲ-28-A]他人に建設的なフィードバックを適切な形で提示できる

[Ⅲ-29-A]ポートフォリオを活用して、課題設定を行い、自己学習・自己研鑽できる

[V-1-B]疾患の病因・病態・臨床徴候などの理解に必要な基礎医学知識を提示できる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	1/7	08:50-10:20	医学科講義室 1	病理総論概説	大橋 健一、 大西 威一郎	到達目標 1,2,3 ※講義後、10 分程度実習形式についての説明があります。
2	1/7	13:30-15:00	医学科講義室 1	学生発表〈炎症〉	大西 威一郎	到達目標 1,2,3 1/7 に提示された課題について、グループにて担当課題を選択し、課題内容について教科書等で調べ、スライドにまとめる。講義日にグループ発表を行う。
3-4	1/8	08:50-12:15	医学科講義室 1	学生発表〈細胞障害〉	新宅 洋	到達目標 1,2,3 1/7 に提示された課題について、グループにて担当課題を選択し、課題内容について教科書等で調べ、スライドにまとめる。講義日にグループ発表を行う。
5-6	1/9	08:50-12:15	医学科講義室 1	学生発表〈免疫〉	大西 威一郎	到達目標 1,2,3 1/7 に提示された課題について、グループにて担当課題を選択し、課題内容について教科書等で調

						べ、スライドにまとめる。講義日にグループ発表を行う。
7	1/9	13:30-15:00	4 階学生実習室	実習(炎症) 実習(免疫)	大西 威一郎	顕微鏡を用いた実習 到達目標 1,2,3 炎症、免疫について学習したことを踏まえ、病理組織標本を観察して確認する。
8-9	1/10	08:50-12:15	医学科講義室 1	学生発表(循環障害)	木脇 祐子	到達目標 1,2,3 1/7に提示された課題について、グループにて担当課題を選択し、課題内容について教科書等で調べ、スライドにまとめる。講義日にグループ発表を行う。
10	1/10	13:30-15:00	4 階学生実習室	実習(細胞障害) 実習(循環疾患)	木脇 祐子、 新宅 洋	顕微鏡を用いた実習 到達目標 1,2,3 細胞障害、循環障害について学習したことを踏まえ、病理組織標本を観察して確認する。
11	2/5	10:45-12:15	医学科講義室 1	病理学試験	大西 威一郎	

授業方法

本ブロックでは基本的に対面型授業で行うが、与えられた課題に対する発表準備などは各自空いている時間に行ってもらう。

火曜～金曜の概説・学生発表・講義は対面で行う。

火曜～金曜の学生発表では、グループごとに事前に与えられた課題を各自発表する。講義で内容を教官が補足・修正する。

木金曜の午後は実習室において、関連する病理組織の検鏡実習を行う。最後に解説を行う。実習時は実習室に教官がいるので、質問等あれば直接聞いてもらう。

具体的な進行については火曜の概説後に説明を行う。

授業内容

○授業のキーワード

細胞障害、循環障害、代謝障害、炎症、免疫病理

授業スケジュール参照

成績評価の方法

筆記試験(80 分)を行う。試験範囲は、講義・実習およびブロック週的全課題のすべての内容である。

成績評価の基準

細胞障害、循環障害、炎症、免疫各 25 点ずつ、計 100 点の筆記試験で評価を行う。 60 点以上の場合を合格とする。 発表でより詳しい理解が得られていると判断できた場合に加点することもある。
準備学習等についての具体的な指示 事前に与えられた課題について、グループ毎に発表ファイルを作成する。 課題およびグループ分けはブロック週の前の週末頃に提示予定である。 質問にも答えられるように、関連する内容も十分理解しておく。
試験の受験資格 学生発表がオンライン同期式で 4 回行われる。また、組織実習室にて対面式で実習が行われる。本年度は学生発表をオンライン同期式で行う予定で、出席は取らない。実習については大学で行う予定であるが、解説はオンライン同期式で行うため出席を取らない。学生発表の資料を webclass に提出してもらい、出席の代わりとする。担当分の資料の提出があれば定期試験ならびに追・再試験を受験する資格となる。 やむを得ない事情により資料の提出が出来ない場合、理由を連絡すれば内容によって担当教員が受験資格の有無を判定する。
構成ユニット 細胞障害、循環障害、炎症、免疫
参考書 (1)Robbins & Cotran Pathologic Basis of Disease 9th ed. W B Saunders Co. 連携ウェブサイトあり。教科書付属のシリアルナンバー登録により、本文・図表の全てをウェブ上で閲覧可能。 (2)ロビンス基礎病理学 廣川書店 1)の簡約版(Robbins Basic Pathology)の旧版の翻訳。 (3)標準病理学 第 5 版 医学書院 編集協力:北川昌伸。 (4)組織病理学アトラス 第 6 版 文光堂 (5)外科病理学 文光堂 (6)現代の病理学(総論、各論)金原出版 (7)病理学(総論、各論)文光堂
他科目との関連 病理学はヒトの正常形態・機能を基盤として病的状態を学ぶ学問であるから、あらゆる基礎医学・臨床医学と強く関連している。すなわち病理学は、基礎と臨床を結ぶ学際的分野である。
履修上の注意事項 病理学はこれから臨床医学を学ぶ道程の一里塚であり、病理学講義では病気に関する数多くの医学用語に初めて接するところでもある。以後に続く臨床医学の講義に際しては、病理学総論に登場する医学用語の概念や各種病態を正しく把握しているか否かが、その理解度を大きく左右する。一方、病理学はヒトの病的なことの理論であるから、その基盤は当然、正常状態にある。従って病理学を学習する際には、常に正常状態との対比を忘れてはならない。
備考 昨年度のコース評価アンケートに基づく改善計画 実習資料や学生作成資料の予習をしたいという意見があったので、webclass に事前にアップロードする予定である。
連絡先(メールアドレス) 大橋 健一 kohashi.pth1@tmd.ac.jp
オフィスアワー 大橋 健一:毎日 PM12:00-13:00 MD タワー15 階、人体病理学分野教授室

時間割番号	011044		
科目名	医動物学	科目ID	
担当教員	石野 智子, 新澤 直明, 馬場 みなみ[ISHINO Tomoko, SHINNZAWA Naoaki, BABA MINAMI]		
開講時期	2024 年度後期	対象年次	2
実務経験のある教員による授業			
英文名: Medical Zoology			
主な講義場所 講義室: 3号館 医科学講義室 1			
対面講義を基本とするが、状況に応じてオンライン講義を実施することがある。			
授業の目的、概要等 病原体としての寄生虫はヒト宿主と同様に真核生物であり、寄生虫症は感染症の中でもユニークな疾患である。講義で対象疾患に関するアウトライン(病原体の形態学、生理・生化学、遺伝学、疫学、生活史、臨床所見、病理、診断、治療、予防など)を教授するので、寄生虫及び寄生虫感染症の医学・生物学的知識と臨床に必要な知識や識別能力を学習した上で、平行して実施する実習において実際の病原体と宿主の病理を観察し、医師として必要な総合的な能力を修得することをめざす。講義用の資料を配布するので、それにより講義内容を理解し、単なる知識の獲得だけではなく、疾病流行の背景にある社会文化、人々の行動／生活習慣なども考察し、流行成立に関わる様々な問題、疑問などについて教員と討議を行う。			
授業の到達目標 ここに示す各項目は本試験合格レベルである。各項目に関する重要な点は、講義において説明する。また、本年度より講義コマ数が減少したことによる措置として、時間の制限により説明が及ばない部分については参考書1の該当部分を指示する。 (1) 病原体としての寄生虫および宿主との相互作用の生物学的理解と研究能力の修得 ・ 寄生虫の形態、生活史、感染経路などの知識が得られる。 ・ 寄生虫に特有の感染防御免疫、免疫回避機構および免疫病因論の理解ができる。 (2) 臨床寄生虫病学の基本的知識の修得 ・ 寄生虫病の診断、治療、予防についての基本的な臨床的知識が備わる。 ・ 診断法、治療法、ワクチンを含む予防法開発など今日の医療イノベーションに関する知識が備わる。 ・ 渡航者の安全を向上するための感染予防に関する指導能力が備わる。 (3) 寄生虫感染症の社会医学的意義の修得 ・ 寄生虫病ワクチンが実現できないことから、感染症予防の基本である病気の知識と行動変容の重要性を理解する。 ・ 生活環境中の寄生虫汚染の実態を学習し、感染のリスク評価を考察する能力が備わる。 ・ 国際感染症としての寄生虫病の理解を通じて国際的視野が備わり、検疫行政や渡航医学等の専門性が獲得できる。 ・ 熱帯感染症としての寄生虫病を理解し、国際医療協力に必要な知識が備わる。 ・ 途上国医療に関係する国際機関や NGO の業務のために必要な基礎知識が修得できる。 a) 線虫類によって起きる病気について理解する。 b) 食品媒介吸虫症及び輸入吸虫症について理解する。 c) 組織寄生条虫類によって起きる病気について理解する。 d) 消化管寄生原虫類によって起きる病気について理解する。 e) 熱帯輸入原虫症によって起きる病気について理解する。 f) 衛生動物によって引き起こされる／媒介される病気について理解する。			
文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(令和4年度改訂版) https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/116/toushin/mext_01280.html			
PS-01-01)05 PS-01-03)06,13,14,15,16,17			

S0-05-02)01

医学科コンピテンシーよりこの科目で身につけるレベル

[I-2-B]世界的に注目されている医学／歯学／健康に関する主たるトピックについて、議論できる

[I-3-B]科学/医学/歯学専門用語/表現の理解/表記/発音ができる

[II-1-A]医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる

[II-3-B]臨床的あるいは科学的問題提起ができる

[II-4-B]実習実験を実施して結果を得ることができる

[II-5-B]実習実験により得られた結果の意義を、口頭あるいは書面で明確に説明できる

[III-1-A]他者の貢献、時間、価値感、人格を尊重し、常に敬意を払って接することができる

[III-9-A]個人の生活における責務と医学科での学習及び社会的な責務について、適切にバランスを取ることができる

[III-10-A]自立と監督・指導の必要性との適切なバランスを常に保つことができる

[III-12-A]メンタルストレスに直面した際、それを認識し、適切な解消処置をとれる

[III-14-A]時間厳守、信頼性、適切な準備、率先性、遂行能力を示すことができる

[III-15-A]文書課題を、正確で判読しうる質にて作成し、規定期限内に提出できる

[III-16-A]本学を含めた当該機関内規、法律、専門職社会内規範を遵守できる

[III-17-A]常に、誠実さ、正直さ、確実さをもって行動できる

[III-18-A]他者への良識を逸する振舞い(無礼、短気など)を認識し、助言を求め、今後起こさぬよう振舞いを修正することができる

[III-19-B]情報やデータ収集におけるエラーを認識し、学習グループのメンバーや指導・監督者に報告できる

[III-23-A]記述、プレゼンテーション、論文、および研究情報などの利用において、著作権を尊重し、それに沿って行動できる

[III-26-A]自身の知識・能力・振舞いを批判的に省察し、長所と課題点を同定し、改善の為の学習目標を設定し、それを達成するのに適した学習活動に取り組むことができる

[III-27-A]自身に対するフィードバックにもとづき省察し自己改善を実現できる

[III-28-A]他人に建設的なフィードバックを適切な形で提示できる

[III-29-A]ポートフォリオを活用して、課題設定を行い、自己学習・自己研鑽できる

[V-1-B]疾患の病因・病態・臨床徴候などの理解に必要な基礎医学知識を提示できる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	11/8	08:50-10:20	医学科講義室 1	医動物学総論	医動物学講義の目的、講義の進め方等に関するイントロダクションと医動物学総論	石野 智子	(到達目標)3 (学習方法)対面講義 (その他)全体で議論を行う中でアクティブラーニングを実施する。AL総論に関する小テスト
2	11/8	10:45-12:15	医学科講義室 1	線虫病1	腸管寄生線虫症(回虫症、鞭虫症、鉤虫症、糞線虫症など) 幼線虫移行症(アニサキス症、旋尾線虫症、広東住血線虫症など)、旋毛虫症	石野 智子	(到達目標)1、2 (a) (学習方法)対面講義 (その他)AL線虫に関する小テスト
3	11/11	08:50-10:20	医学科講義室 1	線虫病2／吸虫病1	組織寄生線虫症(リンパ系フィリア症、オンコセルカ症など) 肝吸虫症、横川吸虫症、有害異型吸虫症、棘口吸虫症など	熊谷 貴、石野 智子	(到達目標)1、2 (a, b) (学習方法)対面講義 (その他)AL吸虫に関する小テスト
4	11/11	10:45-12:15	医学科講義室 1	吸虫病2	ウエステルマン肺吸虫症、肝蛭症、住血吸虫症など	熊谷 貴	(到達目標)1、2 (b) (学習方法)対面講義 (その他)

							他)AL吸虫に関する小テスト2
5	11/12	08:50-10:20	医学科講義室 1	条虫病	腸管寄生条虫症(日本海裂頭条虫、クジラ複殖門条虫、孤虫症、無鉤条虫、有鉤条虫など)	馬場 みなみ	(到達目標)1、2 (c) (学習方法)対面講義 (その他)AL条虫に関する小テスト
6	11/12	10:45-12:15	医学科講義室 1	原虫病1	原虫総論、消化管寄生アメーバ、自由生活性アメーバなど 組織寄生原虫	新澤 直明	(到達目標)1、2 (d,e) (学習方法)対面講義 (その他)AL原虫に関する小テスト
7	11/12	13:30-15:00	医学科講義室 1	原虫病2	マラリア原虫	石野 智子	(到達目標)1、2 (e) (学習方法)対面講義 (その他)ALマラリアに関する小テスト
8	11/15	08:50-10:20	医学科講義室 1	衛生動物	マダニ感染症、ハチ刺傷、ヘビ咬傷 蚊、その他昆虫類による感染症	新澤 直明	(到達目標)1、2 (f) (学習方法)対面講義 (その他)AL衛生動物に関する小テスト
9	11/15	10:45-12:15	医学科講義室 1	特別講義	学外講師による臨床症例と関連づけた医動物学講義	中村 ふくみ	(到達目標)2、3 (学習方法)対面講義 (その他)臨床症例と関連づけてこれまでの知識を整理することで応用できる知識として定着させる。AL特別講義に関する小テスト
10	11/29	10:45-12:15	医学科講義室 1	医動物学試験	筆答試験	石野 智子、 新澤 直明、 馬場 みなみ	

授業方法

各单元ごとに、事前に資料を web class に掲示しておくので、予習をして対面講義に参加すること。また、非同期型遠隔教材を活用して事前学習を行う。対面講義では、特に重要な寄生虫疾患について、寄生虫の生活環や、診断方法、治療法などについて解説する。不明な点について質問があれば、全体で議論をしながら理解を深める。時間的な制約により説明できない部分は、参考書1の該当部分を指示するので合わせて学習すること。復習として、小テスト等の AL を Webclass 上に準備するので必ず当日中に受験すること。

授業内容

- 1)各回の講義の資料をあらかじめ提示しておくので、参考書を参照しながら、その対象となる寄生虫に関する生物学、臨床的側面、社会医学的側面などについて総合的に解説する。
- 2)各講義ごとに、10 分程度の小テストを webclass に掲示する。よく理解しながら、小テストにのぞむように。(講義終了直後から当日中まで受験可能とする。)

成績評価の方法

記述試験:80%:講義全般のうち、重要事項について簡潔に文章にまとめて説明する記述形式で行われる。多肢選択式問題が出題されることもある。試験は講義において重要であると説明された部分を中心に出题される。内容に関しては「授業の到達目標」を参照する。一方

で、単純な記憶問題でない総合的な問も 10%程度出題されうる。10%程度は、英文により出題される。
成績評価の基準 「成績評価の方法」に示す各項目の成績の合計により評価を行う。試験では講義の到達目標に達しているかを評価し、本試験にて、60%以上の到達が確認された場合を合格とし、評価(B)となる。また、80%を達成した場合、評価は(A)となる。更に 90%を達成した場合は(A+)の評価となる。また、再試験にて合格した場合には評価(C)となる。
準備学習等についての具体的な指示 講義資料は事前に閲覧できるので、講義予定に沿って、事前に内容を把握する事前学習に努め、講義時間中／後には質問など積極的に発言するように準備すること。特に提示された講義内容のキーワードについては参考図書等で確認してから講義に臨むことが必要である。
試験の受験資格 出席管理は実施しないが Webclass 上の小テストの受講回数が7割(6/9)を超えないものは、試験の受験資格を与えない。なお、小テストの受講期間は、各講義の終了後、当日中とする。
教科書 講義資料を Webclass に載せるので、事前学習を行う。
参考書 図説人体寄生虫学／吉田 幸雄, 1925-,日本寄生虫学会,吉田幸雄 原著,日本寄生虫学会「図説人体寄生虫学」編集委員会 編:南山堂, 2021.3 標準医動物学 第2版／石井明,鎮西康雄,太田伸生,インイキヲチンゼイヤス,オオタノブオ.:医学書院, 2009-01-06 寄生虫学テキスト／上村清 [ほか] 著,上村, 清,木村, 英作,金子, 明,丸山, 治彦,所, 正治,大槻, 均.:文光堂, 2019 人獣共通感染症／木村哲, 喜田宏編,木村, 哲,喜田, 宏.:医薬ジャーナル社, 2011 寄生虫のはなし : この素晴らしき, 虫だらけの世界／永宗喜三郎 [ほか] 編,永宗, 喜三郎,脇, 司,常盤, 俊大,島野, 智之.:朝倉書店, 2020 Peters' atlas of tropical medicine and parasitology／Nabarro, Laura,Morris-Jones, Stephen,Moore, David A. J.,Laura Nabarro, Stephen Morris-Jones, David A.J. Moore:Elsevier, c2019 医動物学／吉田 幸雄, 1925-,有蘭, 直樹, 1947-,山田, 稔,吉田幸雄, 有蘭直樹, 山田稔 著:南山堂, 2023.2 寄生蟲図鑑 : ふしぎな世界の住人たち／大谷, 智通, 1982-,目黒寄生虫館,佐藤, ダイスケ, 1976-,大谷智通 著,目黒寄生虫館 監,佐藤大介 絵:講談社, 2018.1 絵でわかる寄生虫の世界／長谷川, 英男,小川, 和夫, 1949-,長谷川英男 著,小川和夫 監修:講談社, 2016.10 寄生虫ビジュアル図鑑 : 危険度・症状で知る人に寄生する生物／濱田, 篤郎, 1955-,濱田篤郎 監修:誠文堂新光社, 2014.11 Medical Parasitology, E.K. Markel (ed), Saunders (2006) Diagnostic Medical Parasitology, L. S. Gracia, ASN Press (2001) Manson's Tropical Diseases, P. E. C. Manson-Bahr & D. R. Bell, Bailliere Tindall Entomology in Human and Animal Health, Harwood & James Cases in Human Parasitology, Judith S. Heelan, Am Soc Microbiol, (2004)
他科目との関連 医学科2年生の「感染基礎」、医学科3年生の「社会医学」と相互に補完するので、総合的に学習、理解に努めること。
履修上の注意事項 試験終了後、採点結果の個別開示は行わない。また、再試験の結果により評価は確定する。
備考 対面講義を主に実施するが、状況に応じてオンライン講義を取り入れることもある。オンデマンド教材は Webclass 上に掲示するので、事前学習／復習に活用すること。 2023 年度のコース評価を受けて、オンデマンドの教材を webclass 上に掲載し、事前学習を促進する。
連絡先(メールアドレス) 石野 智子:tishino.vip@tmd.ac.jp
オフィスアワー 石野 智子:メールにて事前に連絡ののち、M&D タワーの 16 階 寄生虫学・熱帯医学分野の教授室にて

時間割番号	011045		
科目名	医動物学実習	科目ID	
担当教員	石野 智子, 新澤 直明, 馬場 みなみ, 長岡 ひかる[ISHINO Tomoko, SHINNZAWA Naoaki, BABA MINAMI, NAGAOKA HIKARU]		
開講時期	2024 年度後期	対象年次	2
実務経験のある教員による授業			
英文名: Medical Zoology			
主な講義場所 対面授業: 3号館5階実習室			
授業の目的、概要等 講義で対象疾患に関するアウトライン(病原体の形態学、生理・生化学、遺伝学、疫学、生活史、臨床所見、病理、診断、治療、予防など)を教授するので、実習により実際の病原体と宿主の病理を観察することを通じて、寄生虫疾患の理解を深めることが目的である。 実習は講義の内容を補完するものであり、講義で得た知識を実習で確認することが重要である。実習では永久標本だけではなく、生標本の供覧にも努めるので、“知識”と”実際”を統合して理解するように努める。			
授業の到達目標 (1) 病原寄生虫およびベクター生物を肉眼または顕微鏡で観察し、診断と鑑別の能力を修得する。 (2) 寄生虫感染における宿主病変を観察し、その臨床像と発症機序に関する考察ができるようになる。 (3) 寄生虫の保存標本や生鮮標本に接し、診断のために必要な標本取り扱いや試料処理の実際を経験する。 (4) 顕微鏡の取扱、観察方法を修得する。 a)線虫類の寄生虫の虫卵、成虫の形態を習得する。 b)吸虫類及び条虫類の成虫、虫卵の形態を習得する。 c)消化管寄生原虫類の形態を習得する。 d)マラリア原虫の同定を習得する。 e)組織寄生原虫の形態を習得する。 f)衛生動物の形態を習得する。 g)糞便検査法について習得する。 文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(令和4年度改訂版) https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/116/toushin/mext_01280.html PS-01-01)01,02 PS-01-03)06,13 医学科コンピテンシーよりこの科目で身につけるレベル [I-2-B]世界的に注目されている医学／歯学／健康に関する主たるトピックについて、議論できる [I-3-B]科学/医学/歯学専門用語/表現の理解/表記/発音ができる [II-1-A]医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる [II-3-B]臨床的あるいは科学的問題提起ができる [II-4-B]実習実験を実施して結果を得ることができる [II-5-B]実習実験により得られた結果の意義を、口頭あるいは書面で明確に説明できる [III-1-A]他者の貢献、時間、価値感、人格を尊重し、常に敬意を払って接することができる [III-9-A]個人の生活における責務と医学科での学習及び社会的な責務について、適切にバランスを取ることができる [III-10-A]自立と監督・指導の必要性との適切なバランスを常に保つことができる [III-12-A]メンタルストレスに直面した際、それを認識し、適切な解消処置をとれる			

[Ⅲ-14-A]時間厳守、信頼性、適切な準備、率先性、遂行能力を示すことができる

[Ⅲ-15-A]文書課題を、正確で判読しうる質にて作成し、規定期限内に提出できる

[Ⅲ-16-A]本学を含めた当該機関内規、法律、専門職社会内規範を遵守できる

[Ⅲ-17-A]常に、誠実さ、正直さ、確実さをもって行動できる

[Ⅲ-18-A]他者への良識を逸する振舞い(無礼、短気など)を認識し、助言を求め、今後起こさぬよう振舞いを修正することができる

[Ⅲ-19-B]情報やデータ収集におけるエラーを認識し、学習グループのメンバーや指導・監督者に報告できる

[Ⅲ-23-A]記述、プレゼンテーション、論文、および研究情報などの利用において、著作権を尊重し、それに沿って行動できる

[Ⅲ-26-A]自身の知識・能力・振舞いを批判的に省察し、長所と課題点を同定し、改善の為の学習目標を設定し、それを達成するのに適した学習活動に取り組むことができる

[Ⅲ-27-A]自身に対するフィードバックにもとづき省察し自己改善を実現できる

[Ⅲ-28-A]他人に建設的なフィードバックを適切な形で提示できる

[Ⅲ-29-A]ポートフォリオを活用して、課題設定を行い、自己学習・自己研鑽できる

[V-1-B]疾患の病因・病態・臨床徴候などの理解に必要な基礎医学知識を提示できる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	11/15	13:30-16:55	5 階学生 実習室	顕微鏡の使い方・線虫類 顕微鏡の使い方・線虫類	実習の説明、顕微鏡の使い方、蠕虫類の糞便内虫卵の観察、組織病変の観察	石野 智子, 新澤 直明, 長岡 ひかる, 馬場 みなみ	(到達目標)1、2、3、4(ab) (学習方法)グループでの実習 (その他)AL:顕微鏡を使った実技実習・討論
3-6	11/18	08:50-16:55	5 階学生 実習室	吸虫類・条虫類	蠕虫類の糞便内虫卵の観察、組織病変の観察、医学上重要な衛生動物の観察、魚類寄生線虫の観察	石野 智子, 新澤 直明, 長岡 ひかる, 馬場 みなみ	(到達目標)1、2、3、4(c,d,e) (学習方法)グループでの実習 (その他)AL:顕微鏡を使った実技実習・討論
7-10	11/19	08:50-16:55	5 階学生 実習室	消化器寄生原虫・マラリア原虫・組織寄生原虫・衛生動物学	消化管寄生原虫の観察、組織寄生原虫の永久標本観察、糞便検査法の実技	石野 智子, 新澤 直明, 長岡 ひかる, 馬場 みなみ	(到達目標)1、2、3、4(c,d,e,f) (学習方法)グループでの実習 (その他)AL:糞便検査の実技、顕微鏡を使った実技実習・討論
11-12	11/20	08:50-12:15	5 階学生 実習室	寄生虫疾患自主学習発表会	グループごとの自主学習発表会	石野 智子, 新澤 直明, 長岡 ひかる, 馬場 みなみ	(到達目標)1、2、3、4(g) (学習方法)グループでの実習、学習発表会 (その他)AL:グループによる学習発表
13	11/22	13:30-15:00	5 階学生 実習室	実習試験		石野 智子, 新澤 直明, 長岡 ひかる, 馬場 みなみ	

授業方法 事前に実習書をアップロードするので、実習内容を確認しておくこと。実習に際しては、WebClass 上に実習内容と観察の要点を解説した動画を上げておくので、予習を行い、指示された標本を観察してスケッチを行う。レポートは帰宅後に期日までに、教員の指示通りに提出を行う。非同期型学習として、デモ標本の動画の視聴やバーチャルスライドによる自主学習も併せて行う。
授業内容 様々な寄生虫疾患に関する、寄生虫標本・病理標本の観察や課題を行い、病態を理解する。また、実際に糞便検査等を行うことで、実技を習得する。
成績評価の方法 実習で観察した病原寄生虫、ベクター、宿主病変などに関する識別能力を以下の方法により評価する。 (1) 毎回提出する課題(レポート)による評価:20% (2) 各回の実習時に観察した実習試験による評価:80% * 実習に遅刻した場合にはレポート評価を減点する。
成績評価の基準 実習試験:実習で使用した標本を顕微鏡下で観察し、寄生虫名など、質問に応じて回答する。全問正解で80点となり、「成績評価」に示すように結果を最終評価の80%として用いる。 レポート:以下の項目を達成した場合が合格基準である。毎回のレポートを5段階で評価する。「成績評価」に示すように結果を最終評価の20%として用いる。 (1) 指示された寄生虫あるいは病変をもれなく観察したか。 (2) 寄生虫の形態的特徴を理解して観察したか。 (3) 講義をふまえ、寄生虫感染による宿主の病態を理解したか。 試験レポートを合わせた評価で、60%が達成されれば評価(B)となる。また、80%を達成した場合、評価は(A)となる。更に 90%を達成した場合は(A+)の評価となる。また、再試験にて合格した場合には評価(C)となる。
準備学習等についての具体的な指示 実習項目は講義が先行するので、各回の実習項目について講義資料などで事前に知識を整理しておくこと。実習ではただ単に標本を観察するのではなく、病原寄生虫の生活史や感染経路を意識し、病理標本については発症機序を念頭に置きながら、自らの知識を”確認し整理する”ことに努める。
試験の受験資格 正当な理由なく、実習を欠席した場合は実習試験の受験資格を与えない。 病気などでやむを得ず欠席/遅刻するときは事前あるいは事後に医師の診断書などを事務に提出すること。
教科書 特に指定しない。WebClass 上に実習書を配付しているので、適宜、授業資料、参考書を確認しながら実習を進めること。
参考書 図説人体寄生虫学／吉田 幸雄, 1925-,日本寄生虫学会,吉田幸雄 原著,日本寄生虫学会「図説人体寄生虫学」編集委員会 編:南山堂, 2021.3 標準医動物学 第2版／石井明,鎮西康雄,太田伸生,インアキラ,チンゼイ,スオオタノブオ.:医学書院, 2009-01-06 寄生虫学テキスト／上村清 [ほか] 著,上村, 清,木村, 英作,金子, 明丸山, 治彦,所, 正治,大槻, 均.:文光堂, 2019 Peters' atlas of tropical medicine and parasitology／Nabarro, Laura,Morris-Jones, Stephen,Moore, David A. J.,Laura Nabarro, Stephen Morris-Jones, David A.J. Moore:Elsevier, c2019 医動物学／吉田 幸雄, 1925-,有菌, 直樹, 1947-,山田, 稔,吉田幸雄, 有菌直樹, 山田稔 著:南山堂, 2023.2 絵でわかる寄生虫の世界／長谷川, 英男,小川, 和夫, 1949-,長谷川英男 著,小川和夫 監修:講談社, 2016.10 寄生虫ビジュアル図鑑:危険度・症状で知る人に寄生する生物／濱田, 篤郎, 1955-,濱田篤郎 監修:誠文堂新光社, 2014.11 Medical Parasitology, E.K. Markel (ed), Saunders (2006)

Diagnostic Medical Parasitology, L. S. Gracia, ASN Press (2001)

Manson's Tropical Diseases, P. E. C. Manson-Bahr & D. R. Bell, Bailliere Tindall

Entomology in Human and Animal Health, Harwood & James

履修上の注意事項

(1)実習開始時に全体説明があるので、必ず開始時間に白衣を着て着席していること。実習中は白衣を着用すること。(2)実習室では飲食・喫煙は厳禁とする。(3)飲食物を密閉できない状態で実習室に持ち込まない。実習机の上に置かないこと。標本を立体的に観察し特徴を捉えることが重要なので、必ず顕微鏡を見ながらスケッチをすること。教科書、授業資料の持ち込みを許可する。

備考

2023 年のコース評価を受けて、実習時間内でスケッチする量を適切に調整し、自主学習できるよう教材を準備するようにした。

連絡先(メールアドレス)

石野 智子:tishino.vip@tmd.ac.jp

オフィスアワー

石野 智子:メールにて事前に連絡ののち、M&D タワーの 16 階 寄生虫学・熱帯医学分野の教授室にて

時間割番号	011046Z1				
科目名	腫瘍学			科目ID	
担当教員	大橋 健一, 大西 威一郎, 山本 くらら[OOHASHI Kennichi, ONISHI IICHIRO, YAMAMOTO Kurara]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	2	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
主な講義場所 非同期型、同期型授業および対面実習					
授業の目的、概要等 がんは今や国民の 2 人に 1 人が罹患する疾患であり、3 人に 1 人はがんにより死亡する。がんの克服は臨床医のみならず、人類にとつての願いである。腫瘍学ブロックでは、腫瘍とは何かという問題に始まり、腫瘍の特徴を、病理学、分子生物学、疫学など、様々視点から基礎的な概説をすることを目的とする。また、講義に加えて、PBL や病理実習といったアクティブラーニングを通して、グループ内で協力して課題に取り組む姿勢を育みつつ、顕微鏡を用いた観察力を涵養することも目的とする。 診断や治療などの臨床的側面などの各論的内容については、この授業科目では取り扱わず、後に臨床各科や臨床実習等で取り扱われる。					
授業の到達目標 1) 腫瘍の発生原因・遺伝子変化について理解する。 2) 腫瘍の良性・悪性、上皮性・非上皮性について理解する。 3) 腫瘍の形態・浸潤・進展様式について理解する。 4) 癌の疫学について理解する。 5) 腫瘍マーカーについて理解する。 文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(令和 4 年度改訂版) https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/116/toushin/mext_01280.html PS-01-04)02,03,19,20,21,22,23 PS-03-04)01,06,07 医学科コンピテンシーよりこの科目で身につけるレベル [I-2-B]世界的に注目されている医学／歯学／健康に関する主たるトピックについて、議論できる [I-3-B]科学/医学/歯学専門用語/表現の理解/表記/発音ができる [II-1-A]医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる [II-2-B]基礎的および臨床的研究の倫理的事項に配慮して実習を行える [II-3-B]臨床的あるいは科学的問題提起ができる [II-4-B]実習実験を実施して結果を得ることができる [II-5-B]実習実験により得られた結果の意義を、口頭あるいは書面で明確に説明できる [III-1-A]他者の貢献、時間、価値感、人格を尊重し、常に敬意を払って接することができる [III-9-A]個人の生活における責務と医学科での学習及び社会的な責務について、適切にバランスを取ることができる [III-10-A]自立と監督・指導の必要性との適切なバランスを常に保つことができる [III-12-A]メンタルストレスに直面した際、それを認識し、適切な解消処置をとれる [III-14-A]時間厳守、信頼性、適切な準備、率先性、遂行能力を示すことができる [III-15-A]文書課題を、正確で判読しうる質にて作成し、規定期限内に提出できる [III-16-A]本学を含めた当該機関内規、法律、専門職社会内規範を遵守できる [III-17-A]常に、誠実さ、正直さ、確実さをもって行動できる [III-18-A]他者への良識を逸する振舞い(無礼、短気など)を認識し、助言を求め、今後起こさぬよう振舞いを修正することができる [III-19-B]情報やデータ収集におけるエラーを認識し、学習グループのメンバーや指導・監督者に報告できる [III-23-A]記述、プレゼンテーション、論文、および研究情報などの利用において、著作権を尊重し、それに沿って行動できる [III-26-A]自身の知識・能力・振舞いを批判的に省察し、長所と課題点を同定し、改善の為の学習目標を設定し、それを達成するのに適した					

学習活動に取り組むことができる

[Ⅲ-27-A]自身に対するフィードバックにもとづき省察し自己改善を実現できる

[Ⅲ-28-A]他人に建設的なフィードバックを適切な形で提示できる

[Ⅲ-29-A]ポートフォリオを活用して、課題設定を行い、自己学習・自己研鑽できる

[V-1-B]疾患の病因・病態・臨床徴候などの理解に必要な基礎医学知識を提示できる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	1/14	08:50-10:20	医学科講義室 1	腫瘍の形態と組織発生および発育・進展	大橋 健一	到達目標 2.3) 学習方法 対面講義
2	1/14	10:45-12:15	医学科講義室 1	癌のエピジェネティクス	秋山 好光	到達目標 1) 学習方法 対面講義
3	1/14	13:30-15:00	医学科講義室 1	がん宿主相互作用	田中 真二	到達目標 1) 学習方法 対面講義
4	1/14	15:25-16:55	遠隔授業 (非同期型)	白血病の病態解析と治療戦略	石川 文彦	到達目標 1,3,4) 学習方法 非同期型
5	1/14	17:15-18:45	遠隔授業 (非同期型)	発癌原因(ウイルスと癌)	倉田 盛人	到達目標 1,3) 学習方法 非同期型
6	1/15	08:50-10:20	医学科講義室 1	癌の疫学	伊藤 ゆり	到達目標 4) 学習方法 対面講義 大阪医科薬科大学 伊藤先生講義
7	1/15	10:45-12:15	医学科講義室 1	PBL1	山本 くらら	到達目標 1-5) 学習方法 グループディスカッション、課題抽出、発表 ※資料共有のためノートパソコンないし資料閲覧可能なサイズのタブレットを持参のこと。
8	1/16	08:50-10:20	医学科講義室 1	遺伝性疾患と腫瘍	島田 周	到達目標 1) 学習方法 対面講義
9	1/16	10:45-12:15	医学科講義室 1	PBL2	山本 くらら	到達目標 1-5) 学習方法 グループディスカッション、課題抽出、発表 ※資料共有のためノートパソコンないし資料閲覧可能なサイズのタブレットを持参のこと。
10	1/16	13:30-15:00	4 階学生	腫瘍の組織形態	倉田 盛人	病理組織観察を

			実習室			します。
11	1/16	15:25-16:55	遠隔授業 (非同期型)	遺伝子変化と癌	波多野 恵	到達目標 1) 学習方法 非同期型
12	1/17	08:50-10:20	遠隔授業 (非同期型)	腫瘍マーカー	東田 修二	到達目標 5) 学習方法 非同期型
13	1/17	10:45-12:15	遠隔授業 (非同期型)	発癌原因(放射線と癌)	吉村 亮一	到達目標 1,4) 学習方法 非同期型
14	1/17	13:30-15:00	遠隔授業 (非同期型)	PBL まとめ	石川 文彦	到達目標 1-5) 学習方法 グループディスカッション、課題抽出、発表 ※資料共有のためノートパソコンないし資料閲覧可能なサイズのタブレットを持参のこと。
15	1/17	15:25-16:55	4 階学生 実習室	悪性腫瘍の進展	山本 くらら	病理組織観察をします。
16	2/12	10:45-12:15	医学科講義室 1	本試験	山本 くらら	

授業方法

ブロック期間中3回の PBL を軸とし、講義によって腫瘍全般に関わる基礎知識を、また組織実習によって代表的な腫瘍の観察を補完する。

PBL、講義は対面ないしオンラインで行う。実習は、顕微鏡を用いて組織実習室で行う。

授業日程表に記載されている対面講義のほか、非同期での講義視聴(メールでの質疑応答可)により学習を行う。PBL でのディスカッションや課題発表、実習での顕微鏡観察等のアクティブラーニングが実施される。非同期オンデマンド講義も含め、これらは全て試験範囲内のものとする。

【非同期オンデマンド講義一覧】

発癌原因(放射線と癌)(腫瘍放射線医学 吉村亮一教授)

腫瘍マーカー(臨床検査医学 東田修二教授)

遺伝子変化と癌(分子腫瘍医学 波多野恵助教)

白血病の病態解析と治療戦略(包括病理学 石川文彦教授)

発癌原因(ウイルスと癌)(病理部 倉田准教授)

授業内容

授業は、対面、ZOOM 上で同期および非同期で、以下のように行う。

1) PBL(Problem-based learning):ブロック期間中3回実施される。症例シナリオを班内で討論し、課題抽出、課題発表を行う。抽出した課題は、次回の PBL 開始時に発表を行う。3 回目の PBL 終了時に、シナリオの解説を行う。

PBL を軸として、講義によって腫瘍全般に関わる基礎知識を、病理実習によって代表的な腫瘍の観察を補完する。

2)講義:腫瘍学について重要な分野について、各専門分野の教官より重要な点、トピックス等を解説する。

3)病理実習:腫瘍学について、腫瘍細胞の形態像、組織分類、深達度等を、実際の病理標本を用いて観察する。実習にあたっては、自学で進められるよう手引き書を配布する。実習中は、質問や疑問に対しては、教官が個別に対応する。

成績評価の方法 記述試験100%授業全般のうち重要事項について、記述式問題で行われる。試験は、授業中に示した内容またはそれと同レベル程度のも のを理解し、そのなかで腫瘍学として重要と思われることを説明できることが必要となる。			
成績評価の基準 大学の評価基準に基づく。 GPA 制度評価も参考のこと。			
評価	GP	目安	評価基準
A+	4		当該科目の到達目標 を期待された水準を超えて達成した(本試験 90 点以上)
A	3.5		当該科目の到達目標 を全て達成した(本試験 80 点以上)
B	3.0	(本試験合格レベル)	当該科目の到達目標を概 ね達成した(本試験 60 点以上)
C	2.0	(再試験合格レベル)	当該科目の到達目標のう ち最低限を達成した
D	1.0	(不合格)	当該科目の到達目 標を達成していない
F	0	(評価不能)	到達目標の達成度 を評価できない
準備学習等についての具体的な指示 腫瘍学は正常の組織。器官から生じる腫瘍性変化について深く知る学問であり、これを習得するためにはこれまでに学習した解剖学、組 織学、生理学等の基礎系分野の知識が必要不可欠である。そのため、これらの知識を再確認したうえで腫瘍学ブロックに取り組むことが 望まれる。			
試験の受験資格 本試験の受験資格は特に設けない。本試験では、PBL、講義、実習の内容を問うため、本試験受験にあたっては、それぞれ出席し、理解 しておくことが前提となる。PBL においては、出席ログを確認したうえで、議論や発表を評価し、本試験と合わせて評価に加えることもあ る。			
教科書 腫瘍の基礎的な解説はワインバーグの教科書が詳しいが、通読は負担が大きい。仲野徹の教科書は読み物、入門として読み進めてほし い。その他は病理学総論と臨床各科の教科書の腫瘍部分も参考にされたい。			
参考書 がんの生物学／ワインバーグ [著]武藤誠, 青木正博 訳Weinberg, Robert Allan, 1942-,武藤, 誠青木, 正博, 1962-,:南江堂, 2017 こわいもの知らずの病理学講義／仲野徹 著,仲野, 徹, 1957-,:晶文社, 2017 標準病理学／北川昌伸, 仁木利郎編集 ; 北川昌伸 [ほか] 執筆,北川, 昌伸,仁木, 利郎,坂本, 穆彦,:医学書院, 2015 ロビンス基礎病理学／Vinay Kumar, Abul K. Abbas, Jon C. Aster 原著,Kumar, Vinay,Abbas, Abul K.,Aster, Jon C.,Robbins, Stanley L. (Stanley Leonard),豊國, 伸哉,高橋, 雅英,:エルゼビア・ジャパン, 2018 外科病理学／深山正久, 森永正二郎編集主幹 ; 小田義直 [ほか] 編集,深山, 正久,森永, 正二郎,小田, 義直,坂元, 亨宇,松野, 吉宏,森谷, 卓也,:文光堂, 2020			
他科目との関連 病理学、内科学、外科学など腫瘍を扱う基礎・臨床学全般。			
備考			

コース評価アンケートに基づく改善計画ならびに変更項目

・昨年度はオンラインでの PBL にて、進め方に若干の混乱があったため、オンラインにて円滑に進められるように最初に説明を加える。
PBL、病理実習を通じてアクティブラーニングが実施される。

連絡先(メールアドレス)

大橋 健一 kohashi.pth1@tmd.ac.jp

オフィスアワー

大橋 健一:毎日 PM12:00-13:00 MD タワー15 階、人体病理学分野教授室

時間割番号	011390				
科目名	基礎医学実習		科目ID		
担当教員	磯村 宜和, 仁科 博史, 大石 由美子, 浅原 弘嗣, 田中 真二, 秋山 好光, 佐藤 荘, 白銀 勇太, ALAIN ANT ONIO RIOS, 川端 政則, 三枝 弘尚, 永田 将司, 小池 博之, 栗本 遼太, 千葉 朋希, 松島 隆英, 島田 周, 波多野 恵, 國吉 佳奈子, 光井 雄一, 武内 寛明, 林 隆也, 助川 明香, 平 理一郎[SOMURA Yoshikazu, NISHINA HIROSHI, OISHI Yumiko, ASAHARA HIROSHI, TANAKA SHINJI, AKYAMA YOSHIMITSU, SATOH Takashi, SHIROGANE Yuta, ALAIN Antonio Rios, KAWABATA Masanori, SAEGUSA HIRONAO, NAGATA MASASHI, KOIKE Hiroyuki, KURIMOTO Ryouta, CHIBA TOMOKI, MATSUSHIMA TAKAHIDE, SHIMADA SHU, HATANO Megumi, KUNIYOSHI Kanako, MITSUI Yuuichi, TAKEUCHI HIROAKI, HAYASHI Takaya, SUKEGAWA Sayaka, HIRA Riichirou]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	2	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				
基礎医学実習					
主な講義場所					
集合および実施場所は実習項目により異なる(3号館医学科学学生実習室、各担当分野の研究室など)。必ず事前に配布(WebClass に掲載)する実習テキストで集合場所等を確認しておくこと。毎回、担当教員が出欠を確認する。					
授業の目的、概要等					
基礎医学の各科目の授業等で学修した基礎知識を実験解析を通じて横断的に再確認するとともに、自らの実験解析の結果から生体の仕組みと働きを科学的に考察し、発表・討論できる力を養う。また、医学研究に必要な基本的な実験解析の手技と考え方を習得し、医学研究の最前線の現場を実体験する。ヒト検体や実験動物等を対象とする医学研究における倫理的な理念や規則にも理解も深める。					
授業の到達目標					
基礎医学科目で学習した知識を確認し、医学研究における基本的な実験手技と考え方を習得する。					
①医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる。					
②医学研究における基本的な実験・解析の手技を示すことができる。					
③実習で得た実験・解析の結果を解釈することにより、口述および記述にて基礎医学知識を説明できる。					
④医学研究に関連する法律、内規、社会的規範を遵守し、研究倫理に配慮することができる。					
⑤他者の貢献、価値観、時間を尊重し、専門職としての協調性、信頼性、率先性を示すことができる。					
文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(令和4年度改訂版)					
https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/116/toushin/mext_01280.html					
RE-01-01-02					
RE-01-02-01					
RE-01-02-02					
RE-02-01-01					
RE-03-03-01					
RE-03-03-03					
RE-03-04-01					
RE-04-01-02					
RE-05-01-01					
RE-05-02-02					
医学科コンピテンシーよりこの科目で身につけるレベル					
[I-2-B]世界的に注目されている医学／歯学／健康に関する主たるトピックについて、議論できる					
[I-3-B]科学/医学/歯学専門用語/表現の理解/表記/発音ができる					
[II-1-A]医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる					
[II-2-B]基礎的および臨床的研究の倫理的事項に配慮して実習を行える					
[II-3-B]臨床的あるいは科学的問題提起ができる					

[II-4-B]実習実験を実施して結果を得ることができる
 [II-5-B]実習実験により得られた結果の意義を、口頭あるいは書面で明確に説明できる
 [III-1-A]他者の貢献、時間、価値感、人格を尊重し、常に敬意を払って接することができる
 [III-9-A]個人の生活における責務と医学科での学習及び社会的な責務について、適切にバランスを取ることができる
 [III-10-A]自立と監督・指導の必要性との適切なバランスを常に保つことができる
 [III-12-A]メンタルストレスに直面した際、それを認識し、適切な解消処置をとれる
 [III-14-A]時間厳守、信頼性、適切な準備、率先性、遂行能力を示すことができる
 [III-15-A]文書課題を、正確で判読しうる質にて作成し、規定期限内に提出できる
 [III-16-A]本学を含めた当該機関内規、法律、専門職社会内規範を遵守できる
 [III-17-A]常に、誠実さ、正直さ、確実さをもって行動できる
 [III-18-A]他者への良識を逸する振舞い(無礼、短気など)を認識し、助言を求め、今後起こさぬよう振舞いを修正することができる
 [III-19-B]情報やデータ収集におけるエラーを認識し、学習グループのメンバーや指導・監督者に報告できる
 [III-23-A]記述、プレゼンテーション、論文、および研究情報などの利用において、著作権を尊重し、それに沿って行動できる
 [III-26-A]自身の知識・能力・振舞いを批判的に省察し、長所と課題点を同定し、改善の為に学習目標を設定し、それを達成するのに適した学習活動に取り組むことができる
 [III-27-A]自身に対するフィードバックにもとづき省察し自己改善を実現できる
 [III-28-A]他人に建設的なフィードバックを適切な形で提示できる
 [III-29-A]ポートフォリオを活用して、課題設定を行い、自己学習・自己研鑽できる
 [V-1-B]疾患の病因・病態・臨床徴候などの理解に必要な基礎医学知識を提示できる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-4	12/2	08:50-16:55	医学科講義室 1, 5 階学生実習室 6 階 学生実習室 各研究室	1.基本実習(共通)-(1)	実習ガイダンスの後に実習グループに分かれて実習を開始する。	磯村 宜和 平 理一郎 三枝 弘尚, A LAIN ANTO NIO RIOS, 川端 政則, 浅原 弘嗣 栗本 遼太 松島 隆英 千葉 朋希, 田中 真二, 秋山 好光 波多野 恵 島田 周, 大 石 由美子, 小池 博之 仁科 博史 佐藤 莊 光 井 雄一, 國 吉 佳奈子, 永田 将司	基礎医学の研究に共通して必要となる実験解析の手法やルールを習得する。(到達目標①～⑤)
5-8	12/3	08:50-16:55	医学科講義室 1, 5 階学生実習室 6 階 学生実習室 各研究室	1.基本実習(共通)-(2)／ 2.基本実習(生理学・薬理学)-(1)	生理学:「心電図・筋電図・脳波」／ 薬理学:「薬理学シミュレーション」	磯村 宜和 平 理一郎 三枝 弘尚, A LAIN ANTO NIO RIOS, 川端 政則, 浅原 弘嗣	基礎系各科目(2～4)で必修の実習を通じて基本的概念の理解をより深める。(到達目標①～⑤)

						栗本 遼太 松島 隆英 千葉 朋希 秋山 好光 波多野 恵 島田 周, 大 石 由美子 小池 博之 仁科 博史 佐藤 莊 光 井 雄一, 國 吉 佳奈子 永田 将司 田中 真二	
9-10	12/4	08:50-12:15	医学科講 義室 1, 5 階学生実 習室 6 階 学生実習 室 各研 究室	2.基本実習(生理学・薬理 学)-(2)	同	磯村 宜和 仁科 博史 平 理一郎 三枝 弘尚, A LAIN ANTO NIO RIOS, 川端 政則 永田 将司	同(到達目標①～ ⑤)
11-14	12/5	08:50-16:55	医学科講 義室 1, 5 階学生実 習室 6 階 学生実習 室 各研 究室	3.基本実習(分子遺伝学・ 衛生学)-(1)(2)	分子遺伝学:「細胞培養」/「遺伝子 クローニング、PCR 反応の理解と 実践」/「プラスミドの制限酵素処 理とアガロースゲル電気泳動」/ 衛生学:「変異原性物質試験」	浅原 弘嗣 秋山 好光 栗本 遼太 波多野 恵 島田 周, 松 島 隆英, 千 葉 朋希, 田 中 真二	同(到達目標①～ ⑤)
15-18	12/6	08:50-16:55	医学科講 義室 1, 5 階学生実 習室 6 階 学生実習 室 各研 究室	4.基本実習(生化学・免疫 学)-(1)(2)	生化学:「タンパク質の定量」/ 免疫学:「細胞培養」/「正常のマウ ス個体の免疫細胞の解析」	大石 由美子 小池 博之 佐藤 莊 光 井 雄一, 國 吉 佳奈子	同(到達目標①～ ⑤)
19-20	12/9	08:50-12:15	医学科講 義室 1, 5 階学生実 習室 6 階 学生実習 室 各研 究室	5.応用実習(選択科目) ※システムの関係上、 時限で担当教員を分け ているが基本 8:50-16: 55 である。集合場所や 時間は必ず事前に webclass の実習テキスト にて確認する事。	生理学:「行動解析と脳活動測定」 / 生化学:「実践・パルク RNA シ ークエンス解析 又は シングル セルトランスクリプトーム解析」(続 く)	助川 明香, 林 隆也, 磯 村 宜和, 平 理一郎, ALAI N ANTONIO RIOS, 川端 政則, 浅原 弘嗣, 栗本 遼太, 松島 隆英, 千葉 朋希, 田中 真二, 小池 博之, 佐藤	基礎医学の知識 と手技を活かして 実際の専門的研 究の進め方を体 験する(生理学、 生化学、分子遺 伝学、衛生学、免 疫学、ウイルス学 のいずれかを選 択)。(到達目標① ～⑤)

						莊 光井 雄 一, 國吉 佳 奈子, 武内 寛明, 白銀 勇太	
21-22	12/9	13:30-16:55	5 階学生 実習室	5.応用実習(選択科目) ※システムの関係上、 時限で担当教員を分け ているが基本 8:50-16: 55 である。集合場所や 時間は必ず事前に webclass の実習テキスト にて確認する事。		田中 真二, 秋山 好光 波多野 恵, 島田 周	基礎医学の知識 と手技を活かして 実際の専門的研 究の進め方を体 験する(生理学、 生化学、分子遺 伝学、衛生学、免 疫学、ウイルス学 のいずれかを選 択)。(到達目標① ～⑤)
23-24	12/10	08:50-12:15	医学科講 義室 1, 5 階学生実 習室 6 階 学生実習 室 各研 究室	同 ※システムの関 係上、時限で担当教員 を分けているが基本 8: 50-16:55 である。集合 場所や時間は必ず事前 に webclass の実習テキ ストにて確認する事。	分子遺伝学:「糖尿病薬標的遺伝 子のクローニング」/「培養細胞へ の遺伝子導入と薬剤投与」/「遺伝 子発現解析(qPCR 法)」/「タンパ ク質発現の評価(ウェスタンブロッ ト法)」/「糖尿病関連 RNA シーク エンス解析」/「糖尿病疾患モデル マウスの作成及び治療」(続く)	助川 明香, 林 隆也, 磯 村 宜和, 平 理一郎, ALAI N ANTONIO RIOS, 川端 政則, 浅原 弘嗣, 栗本 遼太, 松島 隆英, 千葉 朋希, 大石 由美子, 小池 博之, 佐藤 莊 光井 雄 一, 國吉 佳 奈子, 武内 寛明, 白銀 勇太	同(到達目標①～ ⑤)
25-26	12/10	13:30-16:55	5 階学生 実習室	同 ※システムの関 係上、時限で担当教員 を分けているが基本 8: 50-16:55 である。集合 場所や時間は必ず事前 に webclass の実習テキ ストにて確認する事。	分子遺伝学:「糖尿病薬標的遺伝 子のクローニング」/「培養細胞へ の遺伝子導入と薬剤投与」/「遺伝 子発現解析(qPCR 法)」/「タンパ ク質発現の評価(ウェスタンブロッ ト法)」/「糖尿病関連 RNA シーク エンス解析」/「糖尿病疾患モデル マウスの作成及び治療」(続く)	秋山 好光, 田中 真二, 波多野 恵, 島田 周	同(到達目標①～ ⑤)
27	12/11	08:50-10:20	医学科講 義室 1, 5 階学生実 習室 6 階 学生実習 室 各研 究室	同 ※システムの関 係上、時限で担当教員 を分けているが基本 8: 50-12:15 である。集合 場所や時間は必ず事前 に webclass の実習テキ ストにて確認する事。	衛生学:「微生物を用いた変異原性 物質試験」/ 免疫学:「疾患モデ ルマウスの個体の免疫学的解析」 / ウイルス学	助川 明香, 林 隆也, 磯 村 宜和, 平 理一郎, ALAI N ANTONIO RIOS, 川端 政則, 浅原 弘嗣, 栗本	同(到達目標①～ ⑤)

						遼太 松島 隆英 千葉 朋希 大石 由美子 小池 博之 佐藤 莊 光井 雄 一 國吉 佳 奈子 武内 寛明 白銀 勇太	
28	12/11	10:45-12:15	5 階学生 実習室	同 ※システムの関 係上、時限で担当教員 を分けているが基本 8: 50-12:15 である。集合 場所や時間は必ず事前 に webclass の実習テキ ストにて確認する事。	衛生学:「微生物を用いた変異原性 物質試験」／ 免疫学:「疾患モデ ルマウスの個体の免疫学的解析」 ／ ウイルス学	田中 真二 秋山 好光 波多野 恵 島田 周	同(到達目標①～ ⑤)
29-30	12/12	08:50-12:15	医学科講 義室 1, 5 階学生実 習室 6 階 学生実習 室 各研 究室	同 ※システムの関 係上、時限で担当教員 を分けているが基本 8: 50-16:55 である。集合 場所や時間は必ず事前 に webclass の実習テキ ストにて確認する事。	同	助川 明香, 林 隆也, 磯 村 宜和 平 理一郎 ALAI N ANTONIO RIOS, 川端 政則 浅原 弘嗣 栗本 遼太 松島 隆英 千葉 朋希 大石 由美子 小池 博之 佐藤 莊 光井 雄 一 國吉 佳 奈子 武内 寛明 白銀 勇太	同(到達目標①～ ⑤)
31-32	12/12	13:30-16:55	5 階学生 実習室	同 ※システムの関 係上、時限で担当教員 を分けているが基本 8: 50-16:55 である。集合 場所や時間は必ず事前 に webclass の実習テキ ストにて確認する事。	同	田中 真二 秋山 好光 波多野 恵 島田 周	同(到達目標①～ ⑤)
33-34	12/13	08:50-12:15	医学科講 義室 1, 5 階学生実 習室 6 階 学生実習 室 各研 究室	同 ※システムの関 係上、時限で担当教員 を分けているが基本 8: 50-16:55 である。集合 場所や時間は必ず事前 に webclass の実習テキ ストにて確認する事。	同	助川 明香, 林 隆也, 磯 村 宜和 平 理一郎 ALAI N ANTONIO RIOS, 川端 政則 浅原 弘嗣 栗本	同(到達目標①～ ⑤)

						遼太 松島 隆英 千葉 朋希 大石 由美子 小池 博之 佐藤 莊 光井 雄 一 國吉 佳 奈子 武内 寛明 白銀 勇太	
35-36	12/13	13:30-16:55	5 階学生 実習室	同 ※システムの関 係上、時限で担当教員 を分けているが基本 8: 50-16:55 である。集合 場所や時間は必ず事前 に webclass の実習テキ ストにて確認する事。	同	田中 真二 秋山 好光 波多野 恵 島田 周	同(到達目標①～ ⑤)
37-38	12/16	08:50-12:15	医学科講 義室 1, 5 階学生実 習室 6 階 学生実習 室 各研 究室	同 ※システムの関 係上、時限で担当教員 を分けているが基本 8: 50-16:55 である。集合 場所や時間は必ず事前 に webclass の実習テキ ストにて確認する事。	同	助川 明香, 林 隆也, 磯 村 宜和 平 理一郎 ALAI N ANTONIO RIOS, 川端 政則 浅原 弘嗣 栗本 遼太 松島 隆英 千葉 朋希 大石 由美子 小池 博之 佐藤 莊 光井 雄 一 國吉 佳 奈子 武内 寛明 白銀 勇太	同(到達目標①～ ⑤)
39-40	12/16	13:30-16:55	5 階学生 実習室	同 ※システムの関 係上、時限で担当教員 を分けているが基本 8: 50-16:55 である。集合 場所や時間は必ず事前 に webclass の実習テキ ストにて確認する事。	同	田中 真二 秋山 好光 波多野 恵 島田 周	同(到達目標①～ ⑤)
41-42	12/17	08:50-12:15	医学科講 義室 1, 5 階学生実 習室 6 階 学生実習 室 各研 究室	同 ※システムの関 係上、時限で担当教員 を分けているが基本 8: 50-16:55 である。集合 場所や時間は必ず事前 に webclass の実習テキ ストにて確認する事。	同	助川 明香, 林 隆也, 磯 村 宜和 平 理一郎 ALAI N ANTONIO RIOS, 川端 政則 浅原 弘嗣 栗本	同(到達目標①～ ⑤)

						遼太 松島 隆英 千葉 朋希 大石 由美子 小池 博之 佐藤 莊 光井 雄 一 國吉 佳 奈子 武内 寛明 白銀 勇太	
43-44	12/17	13:30-16:55	5 階学生 実習室	同 ※システムの関 係上、時限で担当教員 を分けているが基本 8: 50-16:55 である。集合 場所や時間は必ず事前 に webclass の実習テキ ストにて確認する事。	同	田中 真二 秋山 好光 波多野 恵 島田 周	同(到達目標①～ ⑤)
45	12/18	08:50-10:20	医学科講 義室 1, 5 階学生実 習室 6 階 学生実習 室 各研 究室	同 ※システムの関 係上、時限で担当教員 を分けているが基本 8: 50-12:15 である。集合 場所や時間は必ず事前 に webclass の実習テキ ストにて確認する事。	同	助川 明香, 林 隆也, 磯 村 宜和 平 理一郎 ALAI N ANTONIO RIOS, 川端 政則 浅原 弘嗣 栗本 遼太 松島 隆英 千葉 朋希 大石 由美子 小池 博之 佐藤 莊 光井 雄 一 國吉 佳 奈子 武内 寛明 白銀 勇太	同(到達目標①～ ⑤)
46	12/18	10:45-12:15	5 階学生 実習室	同 ※システムの関 係上、時限で担当教員 を分けているが基本 8: 50-12:15 である。集合 場所や時間は必ず事前 に webclass の実習テキ ストにて確認する事。	同	田中 真二 秋山 好光 波多野 恵 島田 周	同(到達目標①～ ⑤)
47-48	12/19	08:50-12:15	医学科講 義室 1, 5 階学生実 習室 6 階 学生実習 室 各研 究室	同 ※システムの関 係上、時限で担当教員 を分けているが基本 8: 50-16:55 である。集合 場所や時間は必ず事前 に webclass の実習テキ ストにて確認する事。	同	助川 明香, 林 隆也, 磯 村 宜和 平 理一郎 ALAI N ANTONIO RIOS, 川端 政則 浅原 弘嗣 栗本	同(到達目標①～ ⑤)

						遼太 松島 隆英 千葉 朋希 大石 由美子 小池 博之 佐藤 莊 光井 雄 一 國吉 佳 奈子 武内 寛明 白銀 勇太	
49-50	12/19	13:30-16:55	5 階学生 実習室	同 ※システムの関 係上、時限で担当教員 を分けているが基本 8: 50-16:55 である。集合 場所や時間は必ず事前 に webclass の実習テキ ストにて確認する事。	同	田中 真二 秋山 好光 波多野 恵 島田 周	同(到達目標①～ ⑤)
51-52	12/20	08:50-12:15	医学科講 義室 1, 5 階学生実 習室 6 階 学生実習 室 各研 究室	同 ※システムの関 係上、時限で担当教員 を分けているが基本 8: 50-16:55 である。集合 場所や時間は必ず事前 に webclass の実習テキ ストにて確認する事。	実習成果発表	助川 明香, 林 隆也, 磯 村 宜和 平 理一郎 ALAI N ANTONIO RIOS, 川端 政則 浅原 弘嗣 栗本 遼太 松島 隆英 千葉 朋希 大石 由美子 小池 博之 佐藤 莊 光井 雄 一 國吉 佳 奈子 武内 寛明 白銀 勇太	応用実習(選択科 目)の成果を実習 グループ内の班 単位で発表し討 論し合う。(到達目 標①～⑤)
53-54	12/20	13:30-16:55		同 ※システムの関 係上、時限で担当教員 を分けているが基本 8: 50-16:55 である。集合 場所や時間は必ず事前 に webclass の実習テキ ストにて確認する事。	実習成果発表	田中 真二 秋山 好光 波多野 恵 島田 周	応用実習(選択科 目)の成果を実習 グループ内の班 単位で発表し討 論し合う。(到達目 標①～⑤)

授業方法

実習は3週間にわたり月～金曜日の午前・午後に実施する(8:50 集合～17:00 頃まで:水は午前のみ)。

第 1 週は、1.基本実習(共通)、2.基本実習(生理学・薬理学)、3.基本実習(分子遺伝学・衛生学)、4.基本実習(生化学・免疫学)の実習項目に参加する。履修者(2年生)を二分し、午前午後の入れ替え制で全員が同一内容を実習する。

第 2 週と第 3 週は、5.応用実習(選択科目)として各担当分野(生理学、生化学、分子遺伝学、衛生学、免疫学、ウイルス学)のいずれかを選択し、専門的な実習科目に2週間参加する。最終日には学年全体で応用実習の成果を発表する。選択する実習科目は履修者の希望を優

先するが、各分野の受け入れ人数には制約があり担当教員間で協議し調整することになる。そのため希望が通らないことがあるが、指定された実習科目に積極的に参加すること。

※実習時間は 8:50 集合、17:00 頃解散を原則とするが、実習の特性上、解散時間の延長が避けられないことがある。当日は実習直後にアルバイトなどの予定を入れないように極力配慮すること。

※《重要》研究実践プログラムを履修している者は、本科目の第 2-3 週の応用実習として、研究実践プログラムの受け入れ研究室でプログラムに沿った指導を受けることを推奨する。この時間をぜひ有効活用してほしい。

授業内容

本欄記載の実習内容は変更することがある。最新の实習テキストを必ず確認し、医学教務係や担当教員の指示に従うこと。

1.【基本実習(共通)】(第 1 週)

基礎医学の研究に共通して必要となる実験解析の手技やルールを習得する。

(例 試料保管、試薬調整、ピペット等操作、器具洗浄、無菌操作、動物取扱い、廃棄方法、研究倫理等) 3 号館実習室(5,6 階)

2.【基本実習(生理学・薬理学)】(第 1 週)

基礎系各科目(2~4)で必修の実習を通じて基本的概念の理解をより深める。

《生理学》3 号館実習室(5 階)

「心電図・筋電図・脳波」ヒト被験者の心電図と筋電図と脳波の測定を実習する。

《薬理学》3 号館実習室(6 階)

「薬理学シミュレーション」薬理学の基本的な項目(用量反応曲線、競合的阻害剤、薬物動態など)についてコンピュータシミュレーションにより学習する。

3.【基本実習(分子遺伝学・衛生学)】(第 1 週)

《分子遺伝学》3 号館実習室(5 階)

「細胞培養」参加学生全員が培養細胞の観察と継代を行い、細胞を扱う実験の基礎を学ぶ。／「遺伝子クローニング、PCR 反応の理解と実践」PCR プライマーの設計、PCR 法の実践を行う。／「プラスミドの制限酵素処理とアガロースゲル電気泳動」制限酵素の理解とプラスミドへの制限酵素処理、ライゲーション反応を通してプラスミドの設計、作成を行う。

《衛生学》3 号館講義室(2 階)

「変異原性物質試験」衛生学に関する変異原性物質とその検出法および統計解析について理解する。講義と実習形式(ソフトなど使用)を予定している。

4.【基本実習(生化学・免疫学)】(第 1 週)

《生化学》3 号館実習室(5 階)

「タンパク質の定量」

《免疫学》3 号館実習室(5 階)・M&Dタワー17 階 免疫学分野

「細胞培養」疾患モデル実施のための細胞の培養の観察と継代を行い、細胞を扱う実験の基礎を学ぶ。／「正常のマウス個体の免疫細胞の解析」正常なマウスから免疫細胞が多く存在している臓器の回収・免疫細胞の調整・flow cytometer による免疫学的解析を実施することにより、免疫細胞の基礎的解析を学ぶ。

5.【応用実習(選択科目)】(第 2~3 週)

基礎医学の知識と手技を活かして実際の専門的研究の進め方を体験する(生理学、生化学、分子遺伝学、衛生学、免疫学、ウイルス学(未定)のいずれかを選択)。研究実践プログラム履修者は当該受け入れ研究室での研究活動を推奨する。最終日に応用実習で学んだ成果を学年全体で発表し合う。

《生理学》M&D タワー17 階 細胞生理学分野

「行動解析と脳活動測定」マウス/ラット(またはヒト被験者)の行動解析や脳活動測定を試み、脳機能(運動発現、記憶学習、行動選択など)に関与する大脳皮質や大脳基底核などの神経活動を測定し解析する。神経科学の研究手法の種類と用途や原理を学び、実験に使用するデバイスの作成を体験する(電子工作・3D プリンタなど)

《生化学》3 号館実習室(5 階)・M&D タワー18 階 病態代謝解析学分野

「実践・バルク RNA シークエンス解析 又は シングルセルトランスクリプトーム解析」データベースに登録されている RNA-seq または シングルセル RNA-seq データから興味のあるデータセットを選ぶ。基本的な解析法を学び、実践する。

《分子遺伝学》M&D タワー25 階 システム発生再生医学分野

「糖尿病薬標的遺伝子のクローニング」糖尿病薬標的遺伝子をプラスミドへ導入するクローニングを行い、遺伝子導入実験の準備を行う。／「培養細胞への遺伝子導入と薬剤投与」ヒト培養細胞へプラスミドによる遺伝子導入及び糖尿病薬の薬剤投与を行う。／「遺伝子発現解析 (qPCR 法)」細胞株から RNA の回収、逆転写法、qPCR 法を行い、遺伝子導入や薬剤投与による遺伝子発現変化を解析する。／「タンパク質発現の評価 (ウェスタンブロット法)」細胞株からタンパク質の回収、ウェスタンブロット法を行い、遺伝子導入や薬剤投与によるタンパク質発現変化を解析する。／「糖尿病関連 RNA シークエンス解析」公共データベースから糖尿病関連 RNA シークエンスを入手し、トランスクリプトーム解析 (GO 解析含)を行う。／「糖尿病疾患モデルマウスの作成及び治療」STZ 投与による糖尿病モデルマウスを作製し、糖尿病の病態を採血・尿検査等で検証する。さらに経口血糖降下薬の連日投与をこない、治療効果を検証する。

《衛生学》3 号館実習室(5 階)

「微生物を用いた変異原性物質試験」班ごとに菌培養、培地作成を含む変異原性物質試験(エームス試験)の全操作を行う。2週目は基礎編として様々な変異原性物質と代謝活性化作用を学ぶ。3週目は応用編として各班で身近な生活用品(食品添加物や嗜好品など)や化学物質について話し合い、実際にそれらのエームス試験を行う。全員 PC 持参のこと。

《免疫学》3 号館実習室(5 階)・M&D タワー17 階 免疫学分野

「疾患モデルマウスの個体の免疫学的解析」正常なマウスから免疫細胞が多く存在している臓器の回収・免疫細胞の調整・flow cytometer による免疫学的解析を実施することにより、免疫細胞の基礎的解析を学ぶ。更に cell sorter を用いて目的の免疫細胞を回収後、定量性 PCR にて免疫細胞の性質の変化を確認する。

《ウイルス学》M&D タワー17 階 ウイルス制御学分野・ハイリスク感染症研究マネジメント学分野

「ウイルス感染実習・細菌学実習」ウイルスを複数の培養細胞に感染させ、結果を基にウイルス増殖を制御する宿主因子について考察する。また、手の常在菌の培養実験を行う。／「融合アッセイ」ウイルスタンパク質を培養細胞に一過性に発現させ、細胞融合を観察する。結果を基に膜融合の制御機構について考察する。／「ドライ解析」感染症に関するドライ解析を実施する。3班に分かれて3日間ごとに異なる実習細目を実施する。」

※実習場所、時間、持参するもの(実習テキスト、白衣、名札、筆記用具、ノート PC など)は事前に実習テキストで確認し、担当教員の指示に従うこと。

※担当教員の許可なく録画・録音したり、実験装置や試料に触れたりしないこと。

※実習で得た実験解析データは適正に管理し、成果発表やレポート作成に使用すること。

成績評価の方法

成績評価は応用実習(選択科目)の担当教員が課すレポートの作成内容を採点することにより実施する。実習全日程への参加がレポート提出の資格を得る前提であり、レポートの完成形を期限内に提出することが採点の対象となる前提である。レポートの難易度や分量は実習科目間で不公平が生じないように配慮する。なお、本人の出欠状況や最終日の発表状況を総合的に考慮し、教員協議のうえで評価を加減することがある。

※応用実習として研究実践プログラムの受け入れ研究室にて活動した者は、指導教員の承諾を得て当該研究課題に関するレポートを提出すること。

成績評価の基準

履修者本人が実習に参加したうえで、実習テキストや担当教員が指示するレポートの書き方に基づき、序論、方法、結果、考察、文献などの各項を適切に記述し、不備や不足がみられないことを合格の基準とする(評価「B」60 点/100 点満点)。レポートの内容が優れている場合や実習への顕著な積極性が認められる場合には「A」以上の高い評価を与える。実習中の実験解析の成否や先進性の有無は評価に直結するものではない。

※締切日を過ぎて提出されたレポートは、不可(不合格)または大幅な減点に処する場合がある。

※レポートの内容に大きな不備や不足が認められれば、当該レポートの再提出を課すことがある。

※他班や他学年の実習データを流用するなどの不正(捏造、改ざん、盗用)が発覚した場合には、不可に処すなど厳正に対処する。

準備学習等についての具体的な指示

事前に配布(WebClass に掲載)する実習テキストの実施内容と注意事項を熟読しておくこと。

初回の実習講義にて具体的な実施内容と注意事項を説明するので必ず出席すること。

各実習項目に関する実施内容を予め理解しておき、必要に応じて各科目の授業で得た基礎知識を教科書やノート等で十分に確認してから実習に参加すること。実習項目によっては特別な用具(ノート PC など)の持参が必要なため事前に準備しておくこと。

試験の受験資格

本科目では筆記試験は実施せず、実習期間後の期限内に提出されたレポート課題の作成内容により成績評価する。実習期間の全日程の参加をもってレポートを提出する資格が与えられる。

※正当な欠席の理由がない限り、すべての実習項目に本人が参加する必要がある。

※正当な理由により欠席した実習項目に関しては、担当教員に補講等の指示を仰ぐこと。

※欠席、遅刻、早退の状況は速やかに医学教務係と担当教員に連絡すること。

※なお、本科目の履修には事前に本学の基礎研究 ID 等の受講および修了が必要となる。

他科目との関連

本科目は、生理学、薬理学、生化学、分子遺伝学、感染学、免疫学などの基礎医学科目の授業で習得した知識を実習体験により再確認するものであり、その他の基礎医学科目(組織学、人体解剖学、神経科学、医動物学など)とも密接に関連する。また本科目で習得した知識と手技はあらゆる臨床科目と研究実習(プロジェクトセメスター・研究実践プログラム)に活かされるものである。

履修上の注意事項

本シラバスの各欄に記載した注意事項を十分に理解したうえで履修すること。

備考

本科目は 2024 年度に新規に開講する。履修者アンケートや担当教員の意見に基づいて改善点があれば次年度以降に積極的に反映する予定である。

連絡先(メールアドレス)

磯村 宜和 isomura.phy2@tmd.ac.jp

大石 由美子 oishi.yumiko@tmd.ac.jp

秋山 好光 yakiyama.monc@tmd.ac.jp

仁科 博史 nishina.dbio@mri.tmd.ac.jp

佐藤 荘 satoh.mbch@tmd.ac.jp

浅原 弘嗣 asahara.syst@tmd.ac.jp

田中 真二 tanaka.monc@tmd.ac.jp

白銀 勇太 shirogane.yuta@tmd.ac.jp

オフィスアワー

磯村 宜和 平日朝10時～夕方6時まで

※授業の内容に関する質問は、各回の担当教員に直接尋ねてください。

※試験・レポートに関することは、なるべく科目責任者(磯村)にまとめて問い合わせ、各担当教員に直接尋ねることは極力避けてください。

大石 由美子 事前にメールアドレスまでご連絡をお願いいたします

秋山 好光 事前に必ず連絡して下さい。

電話: 03-5803-5184

場所: M&D タワー 18 階 南側 S1859

仁科 博史 毎週木曜日 AM.10:00-12:00 M&D タワー 21 階 セミナー室

浅原 弘嗣 事前に下記アドレスまでご連絡をお願いいたします。

田中 真二 事前に必ず連絡して下さい。

電話: 03-5803-5184

場所: M&D タワー 18 階 南側 S1859

白銀 勇太 メールにて事前に連絡ののち、M&D タワーの 17 階 ウイルス制御学分野の教授室にて

時間割番号	011400						
科目名	医療と AI・ビッグデータ応用			科目 ID			
担当教員	中林 潤, 木下 淳博, 石丸 美穂, 曹 日丹, 角 勇樹, 平川 晃弘, 清水 秀幸, 徳永 伸一, 森田 久美子, 土田 優美, 河原 智樹, 竹内 康雄, 須藤 毅顕, 中山 まどか[NAKABAYASHI Junn, KINOSHITA ATSUHIRO, ISHIMARU MIHO, SOU Hitann, SUMI YUKI, HIRAKAWA Akihiro, SHIMIZU Hideyuki, TOKUNAGA SHINICHI, MORITA KUMIKO, TSUCHIDA Yuumi, KAWAHARA Tomoki, TAKEUCHI YASUO, SUDOU Takeaki, NAKAYAMA Madoka]						
開講時期	2024 年度前期	対象年次	2	単位数	1		
実務経験のある教員による授業							
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表 2-1)							
主な講義場所 同期型遠隔授業							
授業の目的、概要等 AI・データサイエンスの価値を理解し、将来的に医療分野におけるデータサイエンスを活用した AI 技術研究を自らあるいは企業などと共同で推進するために必要な実践力を身に付ける							
授業の到達目標 ・データサイエンスを実践するために必要な数理モデルの理論的背景を概説できる ・データサイエンスを実践するために必要な AI モデルの理論的背景を概説できる ・データサイエンスを実践するために必要な前処理を行うことができる ・AI の基本的なモデルのプログラムを作成できる ・教師あり機械学習と教師なし機械学習の違いを説明できる ・機械学習を活用し、課題解決につなげることができる							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/25	10:45-11:30		データセットの読み込み	データセットの読み込みと画像データの理解	須藤 毅顕	“keras のデータセットを読み込むことができる MNIST の構成を理解し説明できる”
2	4/25	11:40-12:25		データセットの可視化と加工	画像データの可視化と学習の前処理	須藤 毅顕	“MNIST の画像を図示することができる” “モデルに入力するデータの前処理ができる”
3	5/9	10:45-11:30		データセットの可視化と加工 2	画像データの可視化と学習の前処理	須藤 毅顕	“MNIST の画像を図示することができる” “モデルに入力するデータの前処理ができる”
4	5/9	11:40-12:25		MLP(Multi layer perceptron)①	MLP 推論の基本的概念	須藤 毅顕	“MLP の概念を説明できる” “MLP の学習を実施できる”

5	5/16	10:45-11:30		MLP②	学習の基本的概念	須藤 毅頭	学習過程を理解し、MLPのモデルを改変できる
6	5/16	11:40-12:25		CNN(Convolutional Neural Network)	CNN の基本的概念	須藤 毅頭	CNN の概念を説明できる
7	5/30	10:45-11:30		CNN②	CNN の基本的演習	須藤 毅頭	“学習結果を可視化することができる”“学習済みのモデルを評価できる”
8	5/30	11:40-12:25		データ拡張	画像処理におけるデータ拡張の基本的概念と基本演習	須藤 毅頭	“データ拡張の概念を説明できる”“データ拡張を実施できる”
9	6/20	10:45-11:30		画像分類(グループ演習)	CIFAR10 を用いたグループ演習	須藤 毅頭	“CIFAR10 の構成を理解し説明できる”“CIFAR10 を用いてデータの前処理、MLP、CNN が実践できる”
10	6/20	11:40-12:25		自然言語処理と ChatGPT	自然言語処理の概論と ChatGPT の導入	須藤 毅頭	“自然言語処理の基本的概念を説明できる”“ChatGPT を使い方を説明出来る”
11	7/4	10:45-11:30		言語モデル-生成 AI 概論(講義)	言語モデルの基本的概念(講義)	清水 秀幸	言語モデルの基本的概念を説明できる
12	7/4	11:40-12:25		自然言語処理演習(NLP)①	Transformers の pipeline による基本演習	須藤 毅頭	Transformers を用いて NLP の推論を実行できる
13	7/11	10:45-11:30		自然言語処理演習②	Transformers の Tokenizer による基本演習	須藤 毅頭	Transformers を用いて NLP の学習を実行できる
14	7/11	11:40-12:25		教師なし機械学習-次元削減	次元削減の概論と基本演習	須藤 毅頭	教師なし学習の次元削減について概念を説明できる
15	7/18	10:45-11:30		教師なし機械学習-クラスタリング	クラスタリングの概論と基本演習	須藤 毅頭	教師なし学習のクラスタリングについて概念を説明できる
16	7/18	11:40-12:25		AI 総論	AI の応用例の紹介、AI 総論(講義)	須藤 毅頭	世の中の AI の動向と応用例につ

							いて説明できる
授業方法 ・講義と Python を用いたプログラミング演習を Zoom で行う。 ・本科目の 1 コマでグループ演習を予定している。グループ演習は、非同期で受講する場合は 1 人で取り組んでも差し支えない。							
授業内容 ・AI 総論(医療 AI、最新 AI 技術) ・データの読み込み(MNIST、load_data()、配列操作) ・データセットの理解と加工(繰り返し、one-hot encoding) ・多層パーセプトロン①(重み、ニューロン、活性化関数) ・多層パーセプトロン②(学習、エポック、正解率と誤差) ・多層パーセプトロン③(損失関数、誤差逆伝播法) ・畳み込みニューラルネットワーク①(畳み込み、プーリング) ・その他応用演習							
成績評価の方法 ・各講義及び演習後の課題により成績評価を行う。 ・試験は実施しない。 ・課題が提出されない場合は、当該授業を欠席したこととして扱うのみならず、当該課題は 0 点として評価するので注意すること。 ・医学科の学生は最終回の課題提出期限までに、「M2 コース評価アンケート 2024」の「2024 年度「医療と AI・ビッグデータ応用」コース評価」に回答していることを最終評価の条件とする ・歯学科の学生は最終回の課題提出期限までに、「歯学科授業評価アンケートコース 2024」の「医療と AI・ビッグデータ応用」に回答していることを最終評価の条件とする							
準備学習等についての具体的な指示 ・webclass にあげている動画教材を活用して予習・復習に役立てること。							
試験の受験資格 ・webclass の必修 IT 基礎研修のスタートアップ編および情報セキュリティ編を受講しテストに合格していることを単位取得の条件とする。							
参考書 ・東京大学のデータサイエンティスト育成講座：Python で手を動かして学ぶデータ分析／中山浩太郎 監修、塚本邦尊、山田典一、大澤文孝 著、中山、浩太郎、塚本、邦尊、山田、典一、大沢、文孝、1973-、: マイナビ出版、2019 ・データサイエンスの基礎／濱田悦生著；狩野裕編、濱田、悦生、狩野、裕、講談社サイエンティフィク、: 講談社、2019 ・Python3 スキルアップ教科書／辻真吾、小林秀幸、鈴木庸氏、細川康博/技術評論社 ・みんなの Python 第4版/柴田淳/SB Creative ・新しい人工知能の教科書/多田智史、石井一夫/翔泳社 ・いちばんやさしいディープラーニング入門教室/谷岡広樹、廉鑫/ソーテック社 ・医療 AI とディープラーニングシリーズ 医用画像ディープラーニング入門 /藤田広志/オーム社 ・Python によるディープラーニング Francois Chollet/マイナビ出版							
備考 課題は WebClass 上での提出のみを採点対象とし、授業担当者への個別メールでの対応は原則受け付けない							
連絡先(メールアドレス) 須藤 毅頭t-sudo.ioe@tmd.ac.jp							
オフィスアワー 須藤 毅頭毎週火曜日 AM.11:00-PM.5:00 湯島キャンパス 1 号館東 3 階 教育メディア開発学分野研究室							

時間割番号	011057Z1				
科目名	臨床医学導入			科目ID	
担当教員	立石 宇貴秀, 東田 修二[TATEISHI UKIHIIDE, TODA SHUJI]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	2	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
主な講義場所 遠隔授業(非同期型)					
授業の目的、概要等 臨床各ブロックの導入として、画像診断に関する総論的な講義を中心に学習を進める。					
授業の到達目標 1)画像診断検査の意義と原理を説明できる 2)各モダリティ毎に臨床意義と検査適応や被ばくについて説明できる 3)各領域毎に代表的疾患の診断プロセスを理解できる 文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(令和4 年度改訂版) https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/116/toushin/mext_01280.html PS-02-05)03 PS-02-10)03 PS-03-06)01,02,03,04,05,06,07,08 CS-02-04)07,15,16 CM-02-01)01,02 CM-02-02)01 CM-02-03)01,02,03,04 医学科コンピテンシーよりこの科目で身につけるレベル Ⅰ-2-B]世界的に注目されている医学／歯学／健康に関する主たるトピックについて、議論できる Ⅰ-3-B]科学/医学/歯学専門用語/表現の理解/表記/発音ができる Ⅱ-1-A]医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる Ⅱ-3-B]臨床的あるいは科学的問題提起ができる Ⅲ-1-A]他者の貢献、時間、価値感、人格を尊重し、常に敬意を払って接することができる Ⅲ-9-A]個人の生活における責務と医学科での学習及び社会的な責務について、適切にバランスを取ることができる Ⅲ-12-A]メンタルストレスに直面した際、それを認識し、適切な解消処置をとれる Ⅲ-14-A]時間厳守、信頼性、適切な準備、率先性、遂行能力を示すことができる Ⅲ-15-A]文書課題を、正確で判読しうる質にて作成し、規定期限内に提出できる Ⅲ-16-A]本学を含めた当該機関内規、法律、専門職社会内規範を遵守できる Ⅲ-18-A]他者への良識を逸する振舞い(無礼、短気など)を認識し、助言を求め、今後起こさぬよう振舞いを修正することができる Ⅲ-23-A]記述、プレゼンテーション、論文、および研究情報などの利用において、著作権を尊重し、それに沿って行動できる Ⅲ-26-A]自身の知識・能力・振舞いを批判的に省察し、長所と課題点を同定し、改善の為の学習目標を設定し、それを達成するのに適した学習活動に取り組むことができる Ⅲ-27-A]自身に対するフィードバックにもとづき省察し自己改善を実現できる Ⅲ-28-A]他人に建設的なフィードバックを適切な形で提示できる Ⅲ-29-A]ポートフォリオを活用して、課題設定を行い、自己学習・自己研鑽できる Ⅴ-1-A]基礎医学の知識を疾患の病因・病態・臨床徴候などの理解に応用できる Ⅴ-2-B]頻度の高い疾患について、疫学/病因/病理/病態/症候/予後を説明できる Ⅴ-3-C]症候／問題の原因評価において用いられる評価法についての知識(適応／合併症／限界)を提示できる					

[V-4-B]頻度の高い疾患に対する治療法(薬物療法、非薬物療法の双方を含む)に関する知識を提示できる
[V-7-B]頻度の高い疾病についての予防戦略についての知識を提示できる
[VI-8-D]臨床推論にもとづく診断過程を説明できる
[VI-9-D]患者から基本的情報を収集・統合し、病歴の標準書式にまとめることができる
[VI-11-C]成人の身体診察を、基本的要素ごとに行える
[VI-15-D]正常所見を説明できる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	1/20	08:50-10:20	遠隔授業 (非同期型)	放射線診断総論	立石 宇貴秀	到達目標】1), 2), 3) 【学習方法】非同期ビデオ
2	1/20	10:45-12:15	遠隔授業 (非同期型)	IVRと消化管診断	岸野 充浩	到達目標】1), 2), 3) 【学習方法】非同期ビデオ
3	1/20	13:30-15:00	遠隔授業 (非同期型)	13:30-14:15 検査医学総論、 14:15-15:00 検体検査(血液学的検査、生化学検査、免疫学的検査・尿検査・遺伝子検査、感染症検査)	伊藤 真以 東田 修二	【到達目標】1), 2), 3)【学習方法】非同期ビデオ【その他】この時間帯に視聴する必要はありません。検体検査は視聴に約4時間を要し、明日のRCPCの事前学習になるので、早めに視聴してください。
4	1/21	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	8:50-9:35「米国の最先端病院での臨床検査」(佐々木宏治 准教授、MD Anderson Cancer Center)、9:35-10:20 Reversed clinico-pathological conference (東田)	東田 修二	【到達目標】6)【学習方法】遠隔講義、アクティブラーニング【その他】前半:米国の最先端病院に勤務する医師による講義と質疑応答を行う。後半:事前に学習してきた症例の検査結果の解釈について、討論を行う。
5	1/21	10:45-12:15	遠隔授業 (同期型)	輸血総論	梶原 道子	【到達目標】4) 【学習方法】遠隔講義
6	1/21	13:30-15:00	遠隔授業 (同期型)	生理検査	叶内 匡	【到達目標】5) 【学習方法】遠隔講義
7	1/22	08:50-10:20	遠隔授業 (非同期型)	中枢神経画像診断	横山 幸太	到達目標】1), 2), 3) 【学習方法】非同期ビデオ

8	1/22	10:45-12:15	遠隔授業 (非同期型)	体幹部画像診断	土屋 純一	到達目標】1), 2), 3) 【学習方法】非同 期ビデオ
9	2/13	13:30-15:00	医学科講 義室 1	13:30-14:30 評価(筆記試験)臨床 検査医学 14:40-16:00 評価 (筆記試験)放射線診断学	伊藤 真以 足立 拓也	

授業方法

講義(本年は非同期授業の予定)

授業内容

「臨床医学導入」の授業スケジュール表を参照

成績評価の方法

画像診断に関して行った全ての講義において教員が話した内容(WebClass の資料に記載されていない内容も含む)、とくに総論、中枢神経、体幹部の各モダリティについて筆記試験(MCQ のマークシート方式)で評価する。英文による問題も含まれる。

成績評価の基準

100 点換算で 60 点以上を合格とする。60 点以上を B とし(評価 B GP3.0 レベル以上)、得点の分布などを勘案し、点数に応じて、A、A+ の評価を付する。

準備学習等についての具体的な指示

放射線科の画像診断は学習範囲が広いため、総論、中枢神経、体幹部の各モダリティについて参考図書などを用い予め予習をしておく。

試験の受験資格

出席はとらないので、受験資格には関与しない。なお、授業中に、授業内容の理解を問うクイズ形式の小テスト(授業を聞いていれば答えられる程度の内容)を行うことがある。同様の内容が最終日に行う試験に出題されることがあるため、しっかりと取り組むこと。

教科書

医療系のための画像診断・核医学検査ベーシック／立石宇貴秀:イーサイトヘルスケア, 2018

参考書

医療系のための画像診断・核医学検査ベーシック／立石宇貴秀:イーサイトヘルスケア, 2018

履修上の注意事項

放射線科の画像診断は学習範囲が広いため、参考図書などを用い講義内容を補足し理解を深める。

備考

放射線科の画像診断は学習範囲が広いため、参考図書などを用い事前学習が必要。
ミニケースでアクティブラーニングによる参加型授業を行うため事前学習が必要。
質問等はメールにて連絡すること。アドレスは radiology.mrad@tmd.ac.jp。

連絡先(メールアドレス)

立石 宇貴秀:radiology.mrad@tmd.ac.jp
東田 修二:tohda.mlab@tmd.ac.jp

オフィスアワー

立石 宇貴秀:毎週月～金 9:30～16:00 M&D タワー9 階 S964 室 放射線科医局
東田 修二:毎週火曜日 AM 9:00-PM 18:00 M&D タワー10 階南 臨床検査医学教授室

時間割番号	011062Z		
科目名	臨床医学導入(臨床検査医学)	科目ID	
担当教員	東田 修二, 伊藤 真以[TODA SHUJI, ITO MAI]		
開講時期	2024 年度後期	対象年次	2
実務経験のある教員による授業			
主な講義場所 遠隔授業(同期型)、遠隔授業(非同期型)			
授業の目的、概要等 臨床各ブロックの導入として、臨床検査に関する総論的な講義を中心に学習を進める。臨床検査に関連するミニケースを提示し、講義で扱った知識の応用力をつける。RCPC(Reversed Clinico-Pathological Conference)により、さまざまな検査結果を統合的に解釈し、討論する能力を養う。アメリカの先進病院に勤務する医師によるオンライン講義も行う。			
授業の到達目標 文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(令和4年度改訂版) https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/116/toushin/mext_01280.html PS-02-05)03 PS-02-10)03 PS-03-06)01,02,03,04,05,06,07,08 CS-02-04)07,15,16 CM-02-01)01,02 CM-02-02)01 CM-02-03)01,02,03,04 1)検査の基準値、カットオフ値、感度、特異度の意味を説明できる。 2)血液学的検査、生化学検査、免疫学的検査、尿・便検査、遺伝子検査の結果を解釈できる。 3)感染症(細菌、ウイルス)検査の適応を説明し、結果を解釈できる。 4)輸血検査の結果の解釈と、血液製剤の種類と使い分け、副作用を説明できる。 5)心電図、呼吸機能検査、超音波検査、神経生理検査の結果を解釈できる。 6)臨床検査の所見を総合的に解釈できる。			
授業方法 同期型遠隔授業 1)講義 2)提示症例をもとにした討論(ミニケース)によるアクティブラーニングを行う 3)提示症例の事前学習と討論(RCPC)によるアクティブラーニングを行う 非同期型遠隔授業 1)講義			
授業内容 「臨床医学導入」の授業スケジュール表を参照			
成績評価の方法 2/13(木)に筆記試験で評価する。臨床検査医学の全ての講義の中で、教員が話した内容(WebClass 上の資料に記載されていない内容も含むことがある)について、MCQ のマークシート方式で問う。1領域あたり 10 問前後で、合計約 75 問を出題する予定である。英文による問題も含まれる。			
成績評価の基準 100 点換算で 60 点以上を合格とする。60 点以上を B とし、得点の分布などを勘案し、点数に応じて、A、A+の評価を付する。			
準備学習等についての具体的な指示			

これまでに学んだ基礎医学(生化学、免疫学、細菌・ウイルス学、生理学、解剖学など)のうち、臨床検査に関わる内容を復習しておく。
試験の受験資格 出席はとらないので、受験資格には関与しない。なお、授業中に、授業内容の理解を問う試問を行うことがあり、これを 2/13(木)に行う試験の成績の加点に用いることがある。
参考書 標準臨床検査医学 第5版／高木 康 監修,山田 俊幸 編集,大西 宏明 編集,高木 康,山田 俊幸,大西 宏明,:医学書院, 2023-02-13 臨床検査ガイド：これだけは必要な検査のすすめかた・データのよみかた／大西宏明 [ほか] 編,大西 宏明,:文光堂, 2020 今日の臨床検査／櫻林郁之介 監修,矢富裕 廣畑俊成, 山田俊幸, 石黒厚至 編集,池田均 [ほか] レビューア,池田均 [ほか] 執筆,桜林, 郁之介, 1942-,矢富, 裕,廣畑, 俊成,山田, 俊幸, 1960-,石黒, 厚至,:南江堂, 2021 ウイントロブ臨床血液学アトラス／ダグラス C.カチャック, ジャン V.ヒルシュマン編；奈良信雄監訳・訳；東田修二, 星百合子 訳,Tkachuk, Douglas C.,Hirschmann, Jan V.,奈良, 信雄,東田, 修二,星, 百合子,:メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2008 臨床検査のガイドライン JSLM 2021：検査値アプローチ/症候/疾患／日本臨床検査医学会ガイドライン作成委員会 編集,日本臨床検査医学会,:日本臨床検査医学会, 2021 内科診断学／福井次矢 奈良信雄編集,福井, 次矢,奈良, 信雄,:医学書院, 2016 血液細胞アトラス／通山薫 張替秀郎編,通山, 薫,張替, 秀郎,:文光堂, 2018 Reversed C.P.C.による臨床検査データ読み方トレーニング／熊坂一成 [ほか]編,熊坂, 一成, 1948-,:日本医事新報社, 2005
他科目との関連 基礎医学、臨床医学のすべての分野と関連するので、他科目の知識を応用して学習する。
履修上の注意事項 1)RCPC でアクティブラーニングを行うので、事前学習が必要である。 2)講義内容に対する質問があれば、東田(tohda.mlab@tmd.ac.jp)へメール連絡すること。必要に応じ、当方で担当教員へ転送する。
連絡先(メールアドレス) 東田 修二:tohda.mlab@tmd.ac.jp
オフィスアワー 東田 修二:毎週火曜日 AM 9:00-PM 18:00 M&D タワー10 階南 臨床検査医学教授室

時間割番号	011063Z		
科目名	臨床医学導入(放射線科)	科目ID	
担当教員	立石 宇貴秀, 吉村 亮一, 岸野 充浩[TATEISHI UKIHIDE, YOSHIMURA RYOICHI, KISHINO Mitsuhiro]		
開講時期	2024 年度後期	対象年次	2
実務経験のある教員による授業			
主な講義場所 遠隔授業(非同期型)			
授業の目的、概要等 臨床各ブロックの導入として、画像診断に関する総論的な講義を中心に学習を進める。			
授業の到達目標 1)画像診断検査の意義と原理を説明できる 2)各モダリティ毎に臨床意義と検査適応や被ばくについて説明できる 3)各領域毎に代表的疾患の診断プロセスを理解できる 文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(令和4 年度改訂版) https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/116/toushin/mext_01280.html PS-02-05)03 PS-02-10)03 PS-03-06)01,02,03,04,05,06,07,08 CS-02-04)07,15,16 CM-02-01)01,02 CM-02-02)01 CM-02-03)01,02,03,04 医学科コンピテンシーよりこの科目で身につけるレベル Ⅰ-2-B]世界的に注目されている医学／歯学／健康に関する主たるトピックについて、議論できる Ⅰ-3-B]科学/医学/歯学専門用語/表現の理解/表記/発音ができる Ⅱ-1-A]医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる Ⅱ-3-B]臨床的あるいは科学的問題提起ができる Ⅲ-1-A]他者の貢献、時間、価値感、人格を尊重し、常に敬意を払って接することができる Ⅲ-9-A]個人の生活における責務と医学科での学習及び社会的な責務について、適切にバランスを取ることができる Ⅲ-12-A]メンタルストレスに直面した際、それを認識し、適切な解消処置をとれる Ⅲ-14-A]時間厳守、信頼性、適切な準備、率先性、遂行能力を示すことができる Ⅲ-15-A]文書課題を、正確で判読しうる質にて作成し、規定期限内に提出できる Ⅲ-16-A]本学を含めた当該機関内規、法律、専門職社会内規範を遵守できる Ⅲ-18-A]他者への良識を逸する振舞い(無礼、短気など)を認識し、助言を求め、今後起こさぬよう振舞いを修正することができる Ⅲ-23-A]記述、プレゼンテーション、論文、および研究情報などの利用において、著作権を尊重し、それに沿って行動できる Ⅲ-26-A]自身の知識・能力・振舞いを批判的に省察し、長所と課題点を同定し、改善の為の学習目標を設定し、それを達成するのに適した学習活動に取り組むことができる Ⅲ-27-A]自身に対するフィードバックにもとづき省察し自己改善を実現できる Ⅲ-28-A]他人に建設的なフィードバックを適切な形で提示できる Ⅲ-29-A]ポートフォリオを活用して、課題設定を行い、自己学習・自己研鑽できる Ⅴ-1-A]基礎医学の知識を疾患の病因・病態・臨床徴候などの理解に応用できる Ⅴ-2-B]頻度の高い疾患について、疫学/病因/病理/病態/症候/予後を説明できる Ⅴ-3-C]症候／問題の原因評価において用いられる評価法についての知識(適応／合併症／限界)を提示できる			

[V-4-B]頻度の高い疾患に対する治療法(薬物療法、非薬物療法の双方を含む)に関する知識を提示できる [V-7-B]頻度の高い疾病についての予防戦略についての知識を提示できる [VI-8-D]臨床推論にもとづく診断過程を説明できる [VI-9-D]患者から基本的情報を収集・統合し、病歴の標準書式にまとめることができる [VI-11-C]成人の身体診察を、基本的要素ごとに行える [VI-15-D]正常所見を説明できる
授業方法 講義(本年は非同期授業の予定)
授業内容 「臨床医学導入」の授業スケジュール表を参照
成績評価の方法 画像診断に関して行った全ての講義において教員が話した内容(WebClass の資料に記載されていない内容も含む)、とくに総論、中枢神経、体幹部の各モダリティについて筆記試験(MCQ のマークシート方式)で評価する。英文による問題も含まれる。
成績評価の基準 100 点換算で 60 点以上を合格とする。60 点以上を B とし(評価 B GP3.0 レベル以上)、得点の分布などを勘案し、点数に応じて、A、A+ の評価を付する。
準備学習等についての具体的な指示 放射線科の画像診断は学習範囲が広い、総論、中枢神経、体幹部の各モダリティについて参考図書などを用い予め予習をしておく。
試験の受験資格 出席はとらないので、受験資格には関与しない。なお、授業中に、授業内容の理解を問うクイズ形式の小テスト(授業を聞いていれば答えられる程度の内容)を行うことがある。同様の内容が最終日に行う試験に出題されることがあるため、しっかりと取り組むこと。
教科書 医療系のための画像診断・核医学検査ベーシック／立石宇貴秀:イーサイトヘルスケア, 2018
参考書 医療系のための画像診断・核医学検査ベーシック／立石宇貴秀:イーサイトヘルスケア, 2018
履修上の注意事項 放射線科の画像診断は学習範囲が広い、参考図書などを用い講義内容を補足し理解を深める。
備考 放射線科の画像診断は学習範囲が広い、参考図書などを用い事前学習が必要。 質問等はメールにて連絡すること。アドレスは radiology.mrad@tmd.ac.jp。
連絡先(メールアドレス) 立石 宇貴秀 radiology.mrad@tmd.ac.jp
オフィスアワー 立石 宇貴秀:毎週月～金 9:30～16:00 M&D タワー9 階 S964 室 放射線科医局

時間割番号	011058Z1				
科目名	循環器		科目ID		
担当教員	笹野 哲郎[SASANO TETSUO]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	2	単位数	3
実務経験のある教員による授業					

授業の到達目標

① 基礎医学の知識が、臨床医学においてどのように使われているのかを学ぶ

② 症候学、身体診察の基本について学ぶ

③ 各論において、各疾患の病態、検査や治療の具体的な方法について学ぶ

文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(令和4年度改訂版)

https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/116/toushin/mext_01280.html

GE-01-01)01,02,03,04,05,06

GE-01-04)04,05

PS-01-03)14,33

PS-01-04)14

PS-02-06)01,02,03,04,05

PS-02-14)03

PS-03-02)03

PS-03-04)21

PS-03-05)02,04

IT-01-02)01

CS-01-01)01,02

CS-01-02)01,02,03,04,05

CS-02-01)01,02

CS-02-02)01,02

CS-02-03)01,02,03,04,05,06,07

CS-02-04)01,02,04,05,06,08,09,11,12,15,16,18

CS-03-01)01

CS-03-02)01

CS-03-03)01,02,05

CS-03-06)01,02

CS-05-04)02

CM-01-01)01,02

CM-02-02)01

IP-01-03)01

医学科コンピテンシーよりこの科目で身につけるレベル

[I-2-B]世界的に注目されている医学／歯学／健康に関する主たるトピックについて、議論できる

[I-3-B]科学/医学/歯学専門用語/表現の理解/表記/発音ができる

[II-1-A]医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる

[II-3-B]臨床的あるいは科学的問題提起ができる

[III-1-A]他者の貢献、時間、価値感、人格を尊重し、常に敬意を払って接することができる

[III-9-A]個人の生活における責務と医学科での学習及び社会的な責務について、適切にバランスを取ることができる

[III-12-A]メンタルストレスに直面した際、それを認識し、適切な解消処置をとれる

[III-14-A]時間厳守、信頼性、適切な準備、率先性、遂行能力を示すことができる

[III-15-A]文書課題を、正確で判読しうる質にて作成し、規定期限内に提出できる

[Ⅲ-16-A] 本学を含めた当該機関内規、法律、専門職社会内規範を遵守できる

[Ⅲ-18-A] 他者への良識を逸する振舞い(無礼、短気など)を認識し、助言を求め、今後起こさぬよう振舞いを修正することができる

[Ⅲ-23-A] 記述、プレゼンテーション、論文、および研究情報などの利用において、著作権を尊重し、それに沿って行動できる

[Ⅲ-26-A] 自身の知識・能力・振舞いを批判的に省察し、長所と課題点を同定し、改善の為の学習目標を設定し、それを達成するのに適した学習活動に取り組むことができる

[Ⅲ-27-A] 自身に対するフィードバックにもとづき省察し自己改善を実現できる

[Ⅲ-28-A] 他人に建設的なフィードバックを適切な形で提示できる

[Ⅲ-29-A] ポートフォリオを活用して、課題設定を行い、自己学習・自己研鑽できる

[Ⅳ-1-B] 書面にて、患者に関する臨床情報を統合し要約することができる

[Ⅴ-1-A] 基礎医学の知識を疾患の病因・病態・臨床徴候などの理解に応用できる

[Ⅴ-2-B] 頻度の高い疾患について、疫学/病因/病理/病態/症候/予後を説明できる

[Ⅴ-3-C] 症候／問題の原因評価において用いられる評価法についての知識(適応／合併症／限界)を提示できる

[Ⅴ-4-B] 頻度の高い疾患に対する治療法(薬物療法、非薬物療法の双方を含む)に関する知識を提示できる

[Ⅴ-7-B] 頻度の高い疾病についての予防戦略についての知識を提示できる

[Ⅵ-8-C] 主要な症候をきたす病態/疾患を列挙できる

[Ⅵ-15-C] 臨床実習の学習項目に含まれる異常所見と、その診断的意義を説明できる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	1/23	08:50-10:20	医学科講義室 1	循環器内科総論	笹野 哲郎	到達目標:①、② シラバスに記載した参考文献で予習をして臨むことが好ましい。
2	1/23	10:45-12:15	医学科講義室 1	身体診察	前嶋 康浩	到達目標:② シラバスに記載した参考文献で予習をして臨むことが好ましい。
3	1/23	13:30-15:00	遠隔授業(非同期型)	循環器生理基礎と心電図	笹野 哲郎	到達目標:① シラバスに記載した参考文献で予習をして臨むことが好ましい。
4	1/24	08:50-10:20	共用講義室 2	心電図(臨床)	河村 岩成	到達目標:②、③ シラバスに記載した参考文献で予習をして臨むことが好ましい。
5	1/24	10:45-12:15	共用講義室 2	循環器外科総論／病態生理と外科治療総論	藤田 知之	到達目標:② シラバスに記載した参考文献で予習をして臨むことが好ましい。

6	1/24	13:30-15:00	共用講義 室 2	心エコー検査	落田 美瑛	到達目標:②、③ シラバスに記載した参考文献で予習をして臨むことが好ましい。
7	1/24	15:25-16:55	遠隔授業 (非同期型)	虚血性心疾患Ⅰ(内科)	金子 英司	到達目標:①、② シラバスに記載した参考文献で予習をして臨むことが好ましい。
8	1/27	08:50-10:20	医学科講義 室 1	虚血性心疾患Ⅱ(内科)	米津 太志	到達目標:③ シラバスに記載した参考文献で予習をして臨むことが好ましい。
9	1/27	10:45-12:15	医学科講義 室 1	先天性心疾患Ⅰ	山口 洋平	到達目標:②、③ シラバスに記載した参考文献で予習をして臨むことが好ましい。
10	1/27	13:30-15:00	医学科講義 室 1	不整脈Ⅰ(基礎)	古川 哲史	到達目標:① シラバスに記載した参考文献で予習をして臨むことが好ましい。
11	1/28	08:50-10:20	医学科講義 室 1	心不全	杉山 知代	到達目標:③ シラバスに記載した参考文献で予習をして臨むことが好ましい。
12	1/28	10:45-12:15	医学科講義 室 1	循環器領域の遺伝子疾患	江花 有亮	到達目標:① シラバスに記載した参考文献で予習をして臨むことが好ましい。
13	1/28	13:30-15:00	医学科講義 室 1	虚血性心疾患Ⅲ(外科)	長岡 英気	到達目標:②、③ シラバスに記載した参考文献で予習をして臨むことが好ましい。
14	1/28	15:25-16:55	遠隔授業 (非同期型)	心筋疾患Ⅱ(臨床)	前嶋 康浩	到達目標:①、② シラバスに記載した参考文献で予習をして臨むことが好ましい。

15	1/28	17:15-18:45	遠隔授業 (非同期 型)	心筋疾患Ⅰ(基礎)	井原 健介	到達目標:① シ ラバスに記載した 参考文献で予習 をして臨むことが 好ましい。
16	1/29	08:50-10:20	医学科講 義室 1	先天性心疾患Ⅱ	山口 洋平	到達目標:③ シ ラバスに記載した 参考文献で予習 をして臨むことが 好ましい。
17	1/29	10:45-12:15	医学科講 義室 1	大動脈疾患	梅本 朋幸	到達目標:③ シ ラバスに記載した 参考文献で予習 をして臨むことが 好ましい。
18	1/30	08:50-10:20	医学科講 義室 1	心筋疾患Ⅰ(基礎)	木村 彰方	到達目標:① シ ラバスに記載した 参考文献で予習 をして臨むことが 好ましい。
19	1/30	10:45-12:15	医学科講 義室 1	肺循環	篠岡 太郎	到達目標:③ シ ラバスに記載した 参考文献で予習 をして臨むことが 好ましい。
20	1/30	13:30-15:00	遠隔授業 (非同期 型)	心臓カテーテル検査、 電気生理検査	滝川 正晃	到達目標:③ シ ラバスに記載した 参考文献で予習 をして臨むことが 好ましい。
21	1/31	08:50-10:20	遠隔授業 (非同期 型)	弁膜症(内科)	平澤 憲祐	到達目標:③ シ ラバスに記載した 参考文献で予習 をして臨むことが 好ましい。
22	1/31	10:45-12:15	遠隔授業 (非同期 型)	感染性心内膜炎・心膜疾 患	平澤 憲祐	到達目標:③ シ ラバスに記載した 参考文献で予習 をして臨むことが 好ましい。
23	1/31	13:30-15:00	共用講義 室 2	不整脈Ⅲ(頻脈)	宮崎 晋介	到達目標:②、③ シラバスに記載し た参考文献で予 習をして臨むこと が好ましい。

24	1/31	15:25-16:55	遠隔授業 (非同期 型)	弁膜症 外科治療	藤田 知之	到達目標:③ シ ラバスに記載した 参考文献で予習 をして臨むことが 好ましい。
25	1/31	17:15-18:45	遠隔授業 (非同期 型)	不整脈Ⅱ(徐脈)	山本 佑	到達目標:①、② シラバスに記載し た参考文献で予 習をして臨むこと が好ましい。
26	2/3	08:50-10:20	医学科講 義室 1	動脈疾患Ⅰ	山本 洋平	到達目標:②、③ シラバスに記載し た参考文献で予 習をして臨むこと が好ましい。
27	2/3	10:45-12:15	医学科講 義室 1	CT、MRI、心筋シンチ、 PET	田尾 進	到達目標:① シ ラバスに記載した 参考文献で予習 をして臨むことが 好ましい。
28	2/3	13:30-15:00	医学科講 義室 1	先天性心疾患Ⅳ(心エコ ー、カテーテル治療)	石井 卓	到達目標:③ シ ラバスに記載した 参考文献で予習 をして臨むことが 好ましい。
29	2/3	15:25-16:55	遠隔授業 (非同期 型)	小児循環器外科 治療	川畑 拓也	到達目標:③ シ ラバスに記載した 参考文献で予習 をして臨むことが 好ましい。
30	2/3	17:15-18:45	遠隔授業 (非同期 型)	先天性心疾患Ⅲ 成人先 天性心疾患	落田 美瑛	到達目標:②、③ シラバスに記載し た参考文献で予 習をして臨むこと が好ましい。
31	2/4	08:50-10:20	医学科講 義室 1	体外循環、補助循環、人 工心臓、心臓移植	藤原 立樹	到達目標:③ シ ラバスに記載した 参考文献で予習 をして臨むことが 好ましい。
32	2/4	10:45-12:15	医学科講 義室 1	動脈疾患Ⅰ	工藤 敏文	到達目標:③ シ ラバスに記載した 参考文献で予習 をして臨むことが 好ましい。

33	2/4	13:30-15:00	遠隔授業 (非同期 型)	動脈疾患Ⅱ	工藤 敏文	到達目標:③ シ ラバスに記載した 参考文献で予習 をして臨むことが 好ましい。
34	2/4	17:15-18:45	遠隔授業 (非同期 型)	循環器疾患と疫学	濱谷 陸太	到達目標:① シ ラバスに記載した 参考文献で予習 をして臨むことが 好ましい。
35	2/14	10:45-12:15	医学科講 義室 1	評価 試験	山本 佑	

授業方法

このコースは循環器疾患の具体的な症例を通じて、情報収集、検査、治療計画立案などの臨床的考え方を学び、もって問題探求、問題解決力を養うことを目的としている。臨床的な観点から循環器疾患の成り立ち、病態、診断法、治療法を講義する。後半は臨床講義として症例を通じて臨床的な考え方も含めて学ぶ。講義は対面による双方向性の講義と、オンデマンドで学習する講義によるアクティブラーニングを併用して行う。

授業内容

授業スケジュール参照

成績評価の方法

コース終了後に筆記試験を行う。

成績評価の基準

筆記試験の成績により可否を評価する。筆記試験にて60%以上の得点を得た場合に合格(B判定)とし、B以上の評価については点数に応じて行う。

準備学習等についての具体的な指示

循環器疾患に関連した解剖学、病理学、生理学、生化学、薬理学等に関する基礎的知識を再確認しておくこと。

試験の受験資格

授業明細に授業日程と内容の詳細を載せてある。ブロック全体で試験を行い、単位判定を行う。

出席は取らないが、すべての講義項目が試験範囲となるので、可能な限り講義に参加することが望ましい。

オンデマンドの講義もカリキュラムの一環で、試験の内容に含まれるので十分に学習すること。

構成ユニット

対面講義と、オンデマンドの講義を組み合わせで行う。

教科書

Braunwald's heart disease : a textbook of cardiovascular medicine / edited by Douglas P. Zipes, Peter Libby, Robert O. Bonow, Douglas L. Mann, Gordon F. Tomaselli, founding editor and online editor Eugene Braunwald, Zipes, Douglas P., Libby, Peter, Bonow, Robert O., Mann, Douglas L., Tomaselli, Gordon F., Braunwald, Eugene, 192 : Elsevier, 2019

Harrison's principles of internal medicine / editors, J. Larry Jameson ... [et al.], Jameson, J. Larry, Fauci, Anthony S., Kasper, Dennis L., Hauser, Stephen L., Longo, D. L., Loscalzo, Joseph, : McGraw-Hill Education, 2018

参考書

心臓病の病態生理 : ハーバード大学テキスト/レオナルド S. リリー [編] ; 川名正敏, 川名陽子訳 Lilly, Leonard S., 川名, 正敏, 川名, 陽子, : メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2012

ハリソン内科学/ハリソン [原編] ; ダン L. ロンゴ ほか編 ; 福井次矢 日本語版監修 ; 黒川清 日本語版監修, ハリソン, ダン, L. ロンゴ, 福井, 次矢, 黒川, 清, : メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2013

内科学/矢崎義雄総編集 ; 伊藤貞嘉 [ほか] 編集, 矢崎, 義雄, 伊藤, 貞嘉, : 朝倉書店, 2013

Pathophysiology of heart disease : a collaborative project of medical students and faculty / editor Leonard S. Lilly, Lilly, Leonard S., : Wolters Kluwer Health / Lippincott Williams & Wilkins, 2011

Hurst's the heart / editors, Valentin Fuster, Richard A. Walsh, Robert A. Harrington ; associate editors, Sharon A. Hunt ... [et al.], Hurst, John Willis, Fuster, Valentin, Walsh, Richard A., Harrington, Robert S., : McGraw-Hill Medical, 2011

循環器病学：基礎と臨床：カラー版／川名正敏 [ほか] 編,川名, 正敏,北風, 政史,小室, 一成,室原, 豊明,山崎, 力,山下, 武志,:西村書店, 2010

Beyond heart sounds(日本語版)：音と動画による新しい身体診察トレーニング／John Michael Criley, David Gerard Criley, Stuart Ross Criley 著；森 経春 訳,Criley, J. Michael,Criley, David,Criley, Stuart Ross,森, 経春,:南江堂, 2001

Bates' guide to physical examination and history taking／Bickley, Lynn S.,Szilagyi, Peter G.,Bates, Barbara,:Wolters Kluwer Health/Lippincott Williams & Wilkins, 2013

Heart sounds 動画と心音による循環器疾患診断へのアプローチ：日本語版／John Michael Criley, David Gerard Criley, Stuart Ross Criley 著,森経春 訳,Criley, J. Michael,Criley, David,Criley, Stuart Ross,森, 経春,:南江堂, 2006

備考

2023 年度のコース評価を受け、オンデマンドの講義内容を大幅に増やした。

連絡先(メールアドレス)

笹野 哲郎:sasano.cvm@tmd.ac.jp M&D タワー13 階南西角

オフィスアワー

笹野 哲郎オフィスアワーは特に定めませんが、事前連絡してから訪問すること。

時間割番号	011040				
科目名	東洋医学			科目ID	
担当教員	山脇 正永[YAMAWAKI Masanaga]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	3	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				
主な講義場所 全ての講義は対面形式とします。授業は原則医学科講義室 2 にて実施しますが、変更のある場合は事前に連絡します。 最新情報は WebClass を確認してください。					
授業の目的、概要等 本講義は、臨床実習及び臨床研修において必要となる東洋医学の基本的知識の修得を目指します。東洋医学は西洋医学とは根本的に異なる医学体系を持っていますが、本コースでは西洋医学との関連性に重点を置いて学修します。本コースを通じてさらに東洋医学体系に興味を持った学生には advanced コースも紹介します。					
授業の到達目標 到達目標は、以下である。 1. わが国の医療における代替医療としての東洋医学の位置づけを理解できる 2. 主な和漢薬(漢方薬)の適応、薬理作用を概説できる。 3. 東洋医学の基礎的な概念を概説できる。 文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(令和4年度版) CS-02-04-05 CS-02-04-06 CS-02-04-07 CS-02-04-14 CS-02-04-25 CS-05-05-02 PS-01-03-32 PS-01-03-33 GE-01-01-01 GE-01-01-02 GE-01-01-03 GE-01-01-04 GE-01-01-05 GE-01-01-06 GE-01-01-07 GE-01-06-02 医学科コンピテンシーよりこの科目で身につけるレベル [I-2-B]世界的に注目されている医学／歯学／健康に関する主たるトピックについて、議論できる [I-3-B]科学/医学/歯学専門用語/表現の理解/表記/発音ができる [II-1-A]医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる [II-3-B]臨床的あるいは科学的問題提起ができる [III-1-A]他者の貢献、時間、価値感、人格を尊重し、常に敬意を払って接することができる [III-9-A]個人の生活における責務と医学科での学習及び社会的な責務について、適切にバランスを取ることができる [III-12-A]メンタルストレスに直面した際、それを認識し、適切な解消処置をとれる [III-14-A]時間厳守、信頼性、適切な準備、率先性、遂行能力を示すことができる [III-15-A]文書課題を、正確で判読しうる質にて作成し、規定期限内に提出できる [III-16-A]本学を含めた当該機関内規、法律、専門職社会内規範を遵守できる					

Ⅲ-18-A)他者への良識を逸する振舞い(無礼、短気など)を認識し、助言を求め、今後起こさぬよう振舞いを修正することができる

Ⅲ-23-A)記述、プレゼンテーション、論文、および研究情報などの利用において、著作権を尊重し、それに沿って行動できる

Ⅲ-26-A)自身の知識・能力・振舞いを批判的に省察し、長所と課題点を同定し、改善の為の学習目標を設定し、それを達成するのに適した学習活動に取り組むことができる

Ⅲ-27-A)自身に対するフィードバックにもとづき省察し自己改善を実現できる

Ⅲ-28-A)他人に建設的なフィードバックを適切な形で提示できる

Ⅲ-29-A)ポートフォリオを活用して、課題設定を行い、自己学習・自己研鑽できる

V-1-B)疾患の病因・病態・臨床徴候などの理解に必要な基礎医学知識を提示できる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/2	15:50-17:10	医学科講義室2	漢方医学入門	石田和之教授(中央大)による東洋医学概論	山脇 正永
2	4/10	15:50-17:10	医学科講義室2	漢方の基礎理論	新井 信教授(東海大学)による講義	山脇 正永
3	4/24	15:50-17:10	医学科講義室2	脳神経内科と漢方	石田和之教授(中央大学)による講義	山脇 正永
4	5/1	10:30-11:50	医学科講義室2	消化器疾患の漢方治療	新井 信教授(東海大学)による講義	山脇 正永
5	5/1	12:50-14:10	医学科講義室2	漢方医学の基礎研究から臨床への応用まで		岡本 健太郎
6	5/1	14:20-15:40	医学科講義室2	鍼灸治療	蛭子慶三講師(東京女子医科大学)による講義	山脇 正永
7	5/1	15:50-17:10	医学科講義室2	女性と漢方	木村容子教授(東京女子医科大学)による講義	山脇 正永
8	5/17	10:30-11:50	医学科講義室2	試験		赤石 雄

授業方法

- ・全て対面授業の予定です。
- ・各回授業終了後に確認用小テストを実施します。小テストをもって出席の確認としますが、その成績は教科の成績には影響しません。ただし、小テストの内容は最終試験にも関連するので、よく復習をしておいてください。
- ・小テストは、講義中に解答していただきます。授業中に Webclass にアクセスできる端末(パソコンなど)を持参してください。
- ・授業方法については、反転授業、バズセッション等を採用しアクティブラーニングを活用します。

授業内容

授業は下記のスケジュールにて実施します。各回の授業内容は授業明細に示してあります。

- ①2024.4.2.火曜日 5限
- ②2024.4.9.火曜日 5限
- ③2024.4.10.水曜日 5限
- ④2024.4.24.水曜日 5限
- ⑤2024.5.1.水曜日 3限
- ⑥2024.5.1.水曜日 4限
- ⑦2024.5.1.水曜日 5限

成績評価の方法

- ・東洋医学の評価は、5 月 19 日金曜日 2 限目に実施する筆記試験によって行います。すべての問題は多肢選択式問題で構成します。確認用小テストをよく復習しておいてください。
- ・出席点も最終判定に加味します。

成績評価の基準

- ・出席点 30%、試験 70%の配分で最終成績とする。

準備学習等についての具体的な指示

講義後にその内容を復習し理解を深めるために Webclass 上での小テストを行います。事前に教科書等で予習をしておいてください。確認用小テストについては、毎回復習用教材として活用するとともに、次回への予習教材としても使用できます。特に最終試験については、確認用小テストをよく復習しておいてください。 全ての講義終了後に確認用小テストをまとめた資料を webclass にアップする予定です。
試験の受験資格 以下が、5 月 17 日に行われる定期試験並びに追・再試験を受験する資格となります。 ・講義の 2/3 以上出席(小テストの回答をもって出席とします)すること
教科書 基本がわかる漢方医学講義／日本漢方医学教育協議会,日本漢方医学教育協議会 編:羊土社, 2020.12
参考書 医学生のための漢方医学／安井, 広迪,安井廣迪 著:東洋学術出版社, 2021.2 実践漢方診察：脈診・舌診・腹診基本マスター／千福, 貞博,千福貞博 著:新興医学出版社, 2018.9
備考 今年度から講師の入れ替えとなります。これまでの皆さんの意見を反映してプログラムを作成していますが、更なる改善をめざしていますので、忌憚のない意見をお願いします。

時間割番号	011046				
科目名	腫瘍学			科目ID	
担当教員	大西 威一郎, 山本 くらら, 大橋 健一[ONISHI IICHIRO, YAMAMOTO Kurara, OOHASHI Kennichi]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	3	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				
主な講義場所 非同期型、同期型授業および対面実習					
授業の目的、概要等 がんは今や国民の 2 人に 1 人が罹患する疾患であり、3 人に 1 人はがんにより死亡する。がんの克服は臨床医のみならず、人類にとつての願いである。腫瘍学ブロックでは、腫瘍とは何かという問題に始まり、腫瘍の特徴を、病理学、分子生物学、疫学など、様々視点から基礎的な概説をすることを目的とする。また、講義に加えて、PBL や病理実習といったアクティブラーニングを通して、グループ内で協力して課題に取り組む姿勢を育みつつ、顕微鏡を用いた観察力を涵養することも目的とする。 診断や治療などの臨床的側面などの各論的内容については、この授業科目では取り扱わず、後に臨床各科や臨床実習等で取り扱われる。					
授業の到達目標 1) 腫瘍の発生原因・遺伝子変化について理解する。 2) 腫瘍の良性・悪性、上皮性・非上皮性について理解する。 3) 腫瘍の形態・浸潤・進展様式について理解する。 4) 癌の疫学について理解する。 5) 腫瘍マーカーについて理解する。 文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(令和 4 年度改訂版) https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/116/toushin/mext_01280.html PS-01-04)02,03,19,20,21,22,23 PS-03-04)01,06,07 医学科コンピテンシーよりこの科目で身につけるレベル [I-2-B]世界的に注目されている医学／歯学／健康に関する主たるトピックについて、議論できる [I-3-B]科学/医学/歯学専門用語/表現の理解/表記/発音ができる [II-1-A]医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる [II-2-B]基礎的および臨床的研究の倫理的事項に配慮して実習を行える [II-3-B]臨床的あるいは科学的問題提起ができる [II-4-B]実習実験を実施して結果を得ることができる [II-5-B]実習実験により得られた結果の意義を、口頭あるいは書面で明確に説明できる [III-1-A]他者の貢献、時間、価値感、人格を尊重し、常に敬意を払って接することができる [III-9-A]個人の生活における責務と医学科での学習及び社会的な責務について、適切にバランスを取ることができる [III-10-A]自立と監督・指導の必要性との適切なバランスを常に保つことができる [III-12-A]メンタルストレスに直面した際、それを認識し、適切な解消処置をとれる [III-14-A]時間厳守、信頼性、適切な準備、率先性、遂行能力を示すことができる [III-15-A]文書課題を、正確で判読しうる質にて作成し、規定期限内に提出できる [III-16-A]本学を含めた当該機関内規、法律、専門職社会内規範を遵守できる [III-17-A]常に、誠実さ、正直さ、確実さをもって行動できる [III-18-A]他者への良識を逸する振舞い(無礼、短気など)を認識し、助言を求め、今後起こさぬよう振舞いを修正することができる [III-19-B]情報やデータ収集におけるエラーを認識し、学習グループのメンバーや指導・監督者に報告できる					

Ⅲ-23-A]記述、プレゼンテーション、論文、および研究情報などの利用において、著作権を尊重し、それに沿って行動できる

Ⅲ-26-A]自身の知識・能力・振舞いを批判的に省察し、長所と課題点を同定し、改善の為の学習目標を設定し、それを達成するのに適した学習活動に取り組むことができる

Ⅲ-27-A]自身に対するフィードバックにもとづき省察し自己改善を実現できる

Ⅲ-28-A]他人に建設的なフィードバックを適切な形で提示できる

Ⅲ-29-A]ポートフォリオを活用して、課題設定を行い、自己学習・自己研鑽できる

V-1-B]疾患の病因・病態・臨床徴候などの理解に必要な基礎医学知識を提示できる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	5/2	12:50-14:10	医学科講義室2	腫瘍の形態と組織発生および発育・進展		大橋 健一	到達目標 2,3) 学習方法…対面講義
2	5/2	14:20-15:40	医学科講義室2	白血病の病態解析と治療戦略		石川 文彦	到達目標 2,3) 学習方法 対面講義、質問はメールにて受付
3	5/2	15:50-17:10	医学科講義室2	発癌原因<ウイルスと癌>		倉田 盛人	到達目標 1) 学習方法 対面講義、質問はメールにて受付
4	5/7	09:00-10:20	遠隔授業(非同期型)	発癌原因<放射線と癌>		吉村 亮一	到達目標 1) 学習方法 講義視聴、質問はメールにて受付
5	5/7	10:30-11:50	医学科講義室2	PBL1		山本 くらら	到達目標 1-5) 学習方法 グループディスカッション、課題抽出、発表 ※資料共有のためノートパソコンないし資料閲覧可能なサイズのタブレットを持参のこと。
6	5/7	12:50-14:10	遠隔授業(非同期型)	腫瘍マーカー		東田 修二	到達目標 5) 学習方法 講義視聴、質問はメールにて受付
7	5/7	14:20-15:40	遠隔授業(非同期型)	がん宿主相互作用		田中 真二	到達目標 1) 学習方法 講義視聴、質問はメールにて受付

8	5/8	09:00-10:20	医学科講義室2	癌の疫学		藤原 武男	到達目標 4) 学習方法 対面講義、質問はメールにて受付 大阪医科薬科大学 伊藤先生講義
9	5/8	10:30-11:50	医学科講義室2	PBL2		山本 くらら	到達目標 1-5) 学習方法 グループディスカッション、課題抽出、発表 ※資料共有のためノートパソコンないし資料閲覧可能なサイズのタブレットを持参のこと。
10	5/8	12:50-14:10	遠隔授業(非同期型)	遺伝子変化と癌		波多野 恵	到達目標 1) 学習方法 講義視聴、質問はメールにて受付
11	5/8	14:20-15:40	遠隔授業(非同期型)	遺伝性疾患と腫瘍		島田 周	到達目標 1) 学習方法 講義視聴、質問はメールにて受付
12	5/9	12:50-14:10	遠隔授業(非同期型)	癌のエピジェネティクス		秋山 好光	到達目標 1) 学習方法 講義視聴、質問はメールにて受付
13	5/9	14:20-15:40	医学科講義室2	PBL まとめ		山本 くらら	到達目標 1-5) 学習方法 グループディスカッション、課題抽出、発表 ※資料共有のためノートパソコンないし資料閲覧可能なサイズのタブレットを持参のこと。
14-15	5/10	09:00-11:50	4 階学生実習室	実習:腫瘍の組織形態		倉田 盛人	9:30-11:50 とします。病理組織観察をします。
16-17	5/10	12:50-15:40	4 階学生実習室	実習:悪性腫瘍の進展		國枝 純子	12:50-15:00 とします。病理組織観察をします。
18	5/17	14:20-15:40	医学科講義室2	本試験		山本 くらら	

授業方法

ブロック期間中 3 回の PBL を軸とし、講義によって腫瘍全般に関わる基礎知識を、また組織実習によって代表的な腫瘍の観察を補完する。

PBL は対面で行い、実習は顕微鏡を用いて組織実習室で行う。 2024 年度は、講義は対面および非同期で行う。メールでの質疑応答、PBL でのディスカッションや課題発表、実習での顕微鏡観察等のアクティブラーニングが実施される。																															
授業内容 授業は対面での同期および非同期で、以下のように行う。 1) PBL(Problem-based learning):ブロック期間中3回実施される。症例シナリオを班内で討論し、課題抽出、課題発表を行う。抽出した課題は、次回の PBL 開始時に発表を行う。3 回目の PBL 終了時に、シナリオの解説を行う。 PBL を軸として、講義によって腫瘍全般に関わる基礎知識を、病理実習によって代表的な腫瘍の観察を補完する。 2)講義:腫瘍学について重要な分野について、各専門分野の教官より重要な点、トピックス等を解説する。 3)病理実習:腫瘍学について、腫瘍細胞の形態像、組織分類、深達度等を、実際の病理標本を用いて観察する。実習にあたっては、自学で進められるよう手引き書を配布する。実習中は、質問や疑問に対しては、教官が個別に対応する。																															
成績評価の方法 記述試験:100%:授業全般のうち重要事項について、記述式問題で行われる。試験は、授業中に示した内容またはそれと同レベル程度のものを理解し、そのなかで腫瘍学として重要と思われることを説明できることが必要となる。																															
成績評価の基準 大学の評価基準に基づく。 GPA 制度評価も参考のこと。 <table> <tr> <th>評価</th><th>GP</th><th>目安</th><th>評価基準</th></tr> <tr> <td>A+</td><td>4</td><td></td><td>当該科目の到達目標を期待された水準を超えて達成した(本試験 90 点以上)</td></tr> <tr> <td>A</td><td>3.5</td><td></td><td>当該科目の到達目標を全て達成した (本試験 80 点以上)</td></tr> <tr> <td>B</td><td>3.0</td><td>(本試験合格レベル)</td><td>当該科目の到達目標を概ね達成した (本試験 60 点以上)</td></tr> <tr> <td>C</td><td>2.0</td><td>(再試験合格レベル)</td><td>当該科目の到達目標のうち最低限を達成した</td></tr> <tr> <td>D</td><td>1.0</td><td>(不合格)</td><td>当該科目の到達目標を達成していない</td></tr> <tr> <td>F</td><td>0</td><td>(評価不能)</td><td>到達目標の達成度を評価できない</td></tr> </table>				評価	GP	目安	評価基準	A+	4		当該科目の到達目標を期待された水準を超えて達成した(本試験 90 点以上)	A	3.5		当該科目の到達目標を全て達成した (本試験 80 点以上)	B	3.0	(本試験合格レベル)	当該科目の到達目標を概ね達成した (本試験 60 点以上)	C	2.0	(再試験合格レベル)	当該科目の到達目標のうち最低限を達成した	D	1.0	(不合格)	当該科目の到達目標を達成していない	F	0	(評価不能)	到達目標の達成度を評価できない
評価	GP	目安	評価基準																												
A+	4		当該科目の到達目標を期待された水準を超えて達成した(本試験 90 点以上)																												
A	3.5		当該科目の到達目標を全て達成した (本試験 80 点以上)																												
B	3.0	(本試験合格レベル)	当該科目の到達目標を概ね達成した (本試験 60 点以上)																												
C	2.0	(再試験合格レベル)	当該科目の到達目標のうち最低限を達成した																												
D	1.0	(不合格)	当該科目の到達目標を達成していない																												
F	0	(評価不能)	到達目標の達成度を評価できない																												
準備学習等についての具体的な指示 腫瘍学は正常の組織。器官から生じる腫瘍性変化について深く知る学問であり、これを習得するためにはこれまでに学習した解剖学、組織学、生理学等の基礎系分野の知識が必要不可欠である。そのため、これらの知識を再確認したうえで腫瘍学ブロックに取り組むことが望まれる。																															
試験の受験資格 本試験の受験資格は特に設けない。本試験では、PBL、講義、実習の内容を問うため、本試験受験にあたっては、それぞれ出席し、理解																															

しておくことが前提となる。PBL においては、出席ログを確認したうえで、議論や発表を評価し、本試験と合わせて評価に加えることもある。
教科書 腫瘍の基礎的な解説はワインバーグの教科書が詳しいが、通読は負担が大きい。仲野徹の教科書は読み物、入門として読み進めてほしい。その他は病理学総論と臨床各科の教科書の腫瘍部分も参考にされたい。
参考書 がんの生物学／ワインバーグ [著]武藤誠, 青木正博 訳Weinberg, Robert Allan, 1942-,武藤 誠,青木, 正博, 1962-,:南江堂, 2017 こわいもの知らずの病理学講義／仲野徹 著,仲野, 徹, 1957-,:晶文社, 2017 標準病理学／北川昌伸, 仁木利郎編集 ; 北川昌伸 [[ほか] 執筆,北川, 昌伸,仁木, 利郎,坂本, 穆彦,:医学書院, 2015 ロビンス基礎病理学／Vinay Kumar, Abul K. Abbas, Jon C. Aster 原著,Kumar, Vinay,Abbas, Abul K.,Aster, Jon C.,Robbins, Stanley L. (Stanley Leonard),豊國, 伸哉,高橋, 雅英,:エルゼビア・ジャパン, 2018 外科病理学／深山正久, 森永正二郎編集主幹 ; 小田義直 [[ほか] 編集,深山, 正久,森永, 正二郎,小田, 義直,坂元, 亨宇,松野, 吉宏,森谷, 卓也,:文光堂, 2020
他科目との関連 病理学、内科学、外科学など腫瘍を扱う基礎・臨床学全般。
備考 コース評価アンケートに基づく改善計画ならびに変更項目 ・昨年度はオンラインでの PBL であったが、今年度はより活発なディスカッションができるよう対面に変更した。 PBL 病理実習を通じてアクティブラーニングが実施される。
連絡先(メールアドレス) 大橋 健一kohashi.pth1@tmd.ac.jp
オフィスアワー 大橋 健一:毎日 PM12:00-13:00 MD タワー15 階、人体病理学分野教授室

時間割番号	011048		
科目名	法医学	科目ID	
担当教員	鵜沼 香奈[UNUMA KANA]		
開講時期	2024 年度前期	対象年次	3
実務経験のある教員による授業	該当する		
主な講義場所			
講義は遠隔もしくは対面で行う(担当者により異なるので注意)。遠隔の場合同期(Zoom)、または、非同期(Webclass でのオンデマンド)。			
授業の目的、概要等			
法医学の社会的役割について理解する。			
法医学は基礎法医学な内容と臨床法医学的な内容がある。			
前者は死体現象、損傷、中毒、血液型、など。			
後者は死因の判断、異状死届出、死因究明制度、虐待、など。			
授業の到達目標			
1) 基礎的な法医学についての知識・理解			
2) 異状死についての理解と判断			
3) 我が国の死因究明制度についての理解			
4) 最新・応用的な法医学知識の理解			
<参考>			
文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(令和4年度改訂版)			
https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/116/toushin/mext_01280.html			
CS-02-04)04			
CS-03-03)01			
CS-03-04)01			
SO-03-01)01,02,03,04,05			
SO-05-01)01,02,03,04			
医学科コンピテンシーよりこの科目で身につけるレベル			
[I-2-B]世界的に注目されている医学／歯学／健康に関する主たるトピックについて、議論できる			
[I-3-B]科学/医学/歯学専門用語/表現の理解/表記/発音ができる			
[II-1-A]医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる			
[II-3-B]臨床的あるいは科学的問題提起ができる			
[II-4-B]実習実験を実施して結果を得ることができる			
[II-5-B]実習実験により得られた結果の意義を、口頭あるいは書面で明確に説明できる			
[III-1-A]他者の貢献、時間、価値感、人格を尊重し、常に敬意を払って接することができる			
[III-8-C]患者との関係(情報漏洩、親密性、金品授受など)において適切な距離を維持する必要性を説明できる			
[III-9-A]個人の生活における責務と医学科での学習及び社会的な責務について、適切にバランスを取ることができる			
[III-10-A]自立と監督・指導の必要性との適切なバランスを常に保つことができる			
[III-12-A]メンタルストレスに直面した際、それを認識し、適切な解消処置をとれる			
[III-14-A]時間厳守、信頼性、適切な準備、率先性、遂行能力を示すことができる			
[III-15-A]文書課題を、正確で判読しうる質にて作成し、規定期限内に提出できる			
[III-16-A]本学を含めた当該機関内規、法律、専門職社会内規範を遵守できる			
[III-17-A]常に、誠実さ、正直さ、確実さをもって行動できる			

[Ⅲ-18-A]他者への良識を逸する振舞い(無礼、短気など)を認識し、助言を求め、今後起こさぬよう振舞いを修正することができる
 [Ⅲ-19-B]情報やデータ収集におけるエラーを認識し、学習グループのメンバーや指導・監督者に報告できる
 [Ⅲ-23-A]記述、プレゼンテーション、論文、および研究情報などの利用において、著作権を尊重し、それに沿って行動できる
 [Ⅲ-26-A]自身の知識・能力・振舞いを批判的に省察し、長所と課題点を同定し、改善の為の学習目標を設定し、それを達成するのに適した学習活動に取り組むことができる
 [Ⅲ-27-A]自身に対するフィードバックにもとづき省察し自己改善を実現できる
 [Ⅲ-28-A]他人に建設的なフィードバックを適切な形で提示できる
 [Ⅲ-29-A]ポートフォリオを活用して、課題設定を行い、自己学習・自己研鑽できる
 [V-5-B]社会医学の知識を提示できる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/3	09:00-10:20	遠隔授業 (非同期型)	損傷(1)	損傷総論、生活反応	上村 公一	【到達目標】1) 【学習方法】非同期ビデオ(第2回の講義の後に視聴した方がよい) 【事前学習】Webclasにて多肢選択式問題に回答(上村先生は非常勤講師)
2	4/3	10:30-11:50	医学科講義室2	法医学総論 死体現象	法医学の歴史、意義 早期・晩期・特殊死体現象	上村 公一	【到達目標】1) 【学習方法】対面 【事前学習】法医学の授業全体の説明あり。
3	4/4	12:50-14:10	遠隔授業 (非同期型)	窒息	窒息総論・各論(縊頸、絞頸、扼頸、溺死、その他)	鵜沼 香奈	【到達目標】1) 【学習方法】非同期ビデオ 【事前学習】 Webclasにて多肢選択式問題に回答
4	4/4	14:20-15:40	遠隔授業 (非同期型)	環境異常(焼死、凍死、その他)、性	(焼死、凍死、その他)(胎児・嬰兒、性犯罪)	鵜沼 香奈	【到達目標】1) 【学習方法】非同期ビデオ 【事前学習】 Webclasにて多肢選択式問題に回答
5	4/4	15:50-17:10	遠隔授業 (非同期型)	銃創、虐待(小児、老人)		鵜沼 香奈	【到達目標】1) 【学習方法】非同期ビデオ 【事前学習】WebClass 動画視聴 多肢選択式問題に回答
6	4/8	09:00-10:20	遠隔授業 (非同期型)	損傷(2)	鋭器・鈍器損傷・交通外傷	上村 公一	【到達目標】1) 【学習方法】非同期ビデオ 【事前学習】WebClass 動

							画視聴 多肢選択式問題に回答
7	4/8	10:30-11:50	医学科講義室2	法医学画像診断(死後CT、レントゲン) 担当教員:榎野陽介 非常勤講師	死後CT,レントゲン Autopsy Imaging	榎野 陽介	【到達目標】1)4) 【学習方法】対面 【事前学習】(榎野先生は非常勤講師)
8	4/9	09:00-10:20	医学科講義室2	法医学(歯科法医学)	法医学(歯科法医学)の研究領域および身元確認のための基礎的な歯の解剖学的知識・治療所見	櫻田 宏一	【到達目標】1)4) 【学習方法】対面 【事前学習】(櫻田先生は本学歯学部所属)
9	4/9	10:30-11:50	医学科講義室2	個人識別	骨からの物体検査	宇都野 創	【到達目標】1)4) 【学習方法】対面 【事前学習】(宇都野先生は本学歯学部所属)
10	4/10	09:00-10:20	医学科講義室2	損傷(3)	頭部外傷	新井 信隆	【到達目標】1)4) 【学習方法】対面 【事前学習】(新井先生は非常勤講師)
11	4/10	10:30-11:50	遠隔授業(非同期型)	臨床法医学	生体の傷の鑑定	鵜沼 香奈	【到達目標】1)4) 【学習方法】非同期ビデオ 【事前学習】WebClass 動画視聴 多肢選択式問題に回答
12	4/15	09:00-10:20	遠隔授業(非同期型)	死因究明制度	異状死体の取扱 死因究明基本法	上村 公一	【到達目標】1,2,3) 【学習方法】非同期ビデオ 【事前学習】WebClass 動画視聴 多肢選択式問題に回答
13	4/15	10:30-11:50	医学科講義室2	中毒学(1)	総論(中毒学一般と乱用薬物)	秋 利彦	【到達目標】1) 【学習方法】対面 【事前学習】
14	4/15	12:50-14:10	医学科講義室2	中毒学(2)	各論(薬物分析)	船越 丈司	【到達目標】1) 【学習方法】対面 【事前学習】
15	4/15	14:20-15:40	医学科講義室2	中毒学(3)	依存性薬物 トピック	秋 利彦, 船越 丈司	【到達目標】1)4) 【学習方法】対面 【事前学習】
16	4/15	15:50-17:10	遠隔授業(非同期型)	中毒学(4)	各論(アルコール医学)	上村 公一	【到達目標】1)4) 【学習方法】非同期ビデオ 【事前学習】WebClass 動画視聴 多肢選択式問題に回答

							(上村先生は非常勤講師)
17	5/13	10:30-11:50	医学科講義室 2	法医学試験		秋 利彦、鵜沼 香奈、船越 文司	筆記試験

授業方法

- ・系統的講義
- ・出席を確認しない
- ・同期型講義では、それまでの講義内容(非同期型・同期型の両者)を理解していることを前提とする。

非同期型:Webclass でのオンデマンド。Webclass 上の設問に回答する。

同期型:・対面もしくは遠隔講義(Zoom 等)を使う。それまで行われた非同期授業の質問に答える。アクティブラーニングとして、班分けによる討議やブレイクアウトルームを活用する。

授業内容

法医学分野教員、法歯学分野教員、外部講師による講義。

授業スケジュールに各回の授業内容は示してある。

成績評価の方法

試験成績(120 分の筆記試験)を基本とするが、受講態度の熱心さなども加点の評価対象になる。

筆記試験:大まかな配点は、選択式(40 点)、記述式(50 点)、死体検案書作成(10 点)

成績評価の基準

講義は筆記試験(100 点満点)とする。

原則として、筆記試験は素点で評価する。60～69 点が GP における「B」。

授業に対する取り組みが熱心な場合(質問、法医学的な問題点の提起、など)、「B」より上に評価することがある。

総合評価

評価のウェイトは、「講義:70%」、「実習:30%」とする。

準備学習等についての具体的な指示

解剖学の知識が必要。

基本的な人体の解剖学用語を理解しておく。

試験の受験資格

特に出席は取りません。しかし、試験はすべての授業項目から出しますので、病気等でやむを得ず欠席した場合は、Webclass に掲載の講義スライド・動画で自習してください。出席を取らない分、試験では厳しく評価します。

参考書

現代の法医学／永野耐造、若杉長英 編集、永野、耐造、1931-2016、若杉、長英、1938-1996、:金原出版、1998

NEW エssenシャル法医学 = NEW ESSENTIALS OF FORENSIC MEDICINE／高取健彦 監修、長尾正崇 編、高取、健彦、1938-、長尾、正崇、:医歯薬出版、2019

New 法医学・医事法／勝又義直、鈴木修 編、カマタシノオ、スギオサム、:南江堂、2008-04-05

標準法医学 第7版／石津日出雄、高津光洋 監、池田典昭 他編、イヅツヒデオ、カヅアキヒロ、イケダノリアキ、:医学書院、2013-01-01

Knight's forensic pathology／Pekka Saukko, Bernard Knight,Saukko, Pekka J,Knight, Bernard,:CRC Press, 2016

厚生労働省 令和3年度版死亡診断書(死体検案書)記入マニュアル

下記のアドレスからダウンロードできます

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/manual/>

他科目との関連

6 年生「包括医療統合教育」で 3 コマ講義(臨床法学的、最近の法律改正を含む)があります(現行カリキュラム)。

履修上の注意事項

授業で使う解剖症例の写真について、外部に流出させないよう、秘密を保持すること。

備考

・法医学は医学の中で最も写真撮影の機会が多い領域であり、写真撮影は診断や証拠保全に極めて重要です。Zoom 講義、Webclass の講義、配付資料いずれも、実際の解剖症例の写真の使用は極力控えており、多くは教科書から用いる、写真提示前にはスライドで注意マークを入れるなど配慮していますが、苦手な方は目を伏せる、スライドを飛ばすなど個々で対応してください。

・質問窓口は鵜沼准教授(unumlegm@tmd.ac.jp)です。

時間割番号	011049		
科目名	法医学実習	科目ID	
担当教員	鵜沼 香奈[UNUMA KANA]		
開講時期	2024 年度前期	対象年次	3
実務経験のある教員による授業	該当する		
主な講義場所 実習室(3号館5階 学生実習室) 講義室(3号館3階 医学科講義室2)			
授業の目的、概要等 1) 法医学基本的物体検査の理解・実習 2) 死因判断 3) 死体検案書作成演習 (1)法医学症例検討・死体検案書の作成(演習) (2)DNA 多型の理解、薬毒物の毒性の理解(実習)			
授業の到達目標 文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(令和4年度改訂版) https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/116/toushin/mext_01280.html CS-03-03)01 CS-03-04)01 SO-03-01)02,03 医学科コンピテンシーよりこの科目で身につけるレベル [I-2-B]世界的に注目されている医学／歯学／健康に関する主たるトピックについて、議論できる [I-3-B]科学/医学/歯学専門用語/表現の理解/表記/発音ができる [II-1-A]医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる [II-3-B]臨床的あるいは科学的問題提起ができる [II-4-B]実習実験を実施して結果を得ることができる [II-5-B]実習実験により得られた結果の意義を、口頭あるいは書面で明確に説明できる [III-1-A]他者の貢献、時間、価値感、人格を尊重し、常に敬意を払って接することができる [III-8-C]患者との関係(情報漏洩、親密性、金品授受など)において適切な距離を維持する必要性を説明できる [III-9-A]個人の生活における責務と医学科での学習及び社会的な責務について、適切にバランスを取ることができる [III-10-A]自立と監督・指導の必要性との適切なバランスを常に保つことができる [III-12-A]メンタルストレスに直面した際、それを認識し、適切な解消処置をとれる [III-14-A]時間厳守、信頼性、適切な準備、率先性、遂行能力を示すことができる [III-15-A]文書課題を、正確で判読しうる質にて作成し、規定期限内に提出できる [III-16-A]本学を含めた当該機関内規、法律、専門職社会内規範を遵守できる [III-17-A]常に、誠実さ、正直さ、確実さをもって行動できる [III-18-A]他者への良識を逸する振舞い(無礼、短気など)を認識し、助言を求め、今後起こさぬよう振舞いを修正することができる [III-19-B]情報やデータ収集におけるエラーを認識し、学習グループのメンバーや指導・監督者に報告できる [III-23-A]記述、プレゼンテーション、論文、および研究情報などの利用において、著作権を尊重し、それに沿って行動できる [III-26-A]自身の知識・能力・振舞いを批判的に省察し、長所と課題点を同定し、改善の為の学習目標を設定し、それを達成するのに適した			

Ⅲ-27-A) 自身に対するフィードバックにもとづき省察し自己改善を実現できる
Ⅲ-28-A) 他人に建設的なフィードバックを適切な形で提示できる
Ⅲ-29-A) ポートフォリオを活用して、課題設定を行い、自己学習・自己研鑽できる
Ⅳ-5-B) 社会医学の知識を提示できる

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-5	4/22	09:00-17:10	5 階学生 実習室 医学科講 義室 2	症例検討・死体検案書作成(演習)/ DNA 多型・薬物(実習)	症例検討・死体検案書作成(演習) /DNA 多型・薬物(実習)	秋 利彦, 鵜 沼 香奈, 船 越 丈司	【到達目標】1,2,3) 【学習方法】演習 / 実習 <2 班に分ける> 午前: 自習 午後:A 班 演習 講義室 B 班 実習 実習 室
6-9	4/23	10:30-17:10	5 階学生 実習室 医学科講 義室 2	DNA 多型・薬物(実習)/ 症例検討・死体検案書作成(演習) <内容は班ごとに前日と入れ換え >	DNA 多型・薬物(実習)/ 症例検討・死体検案書作成(演習) <内容は班ごとに前日と入れ換え>	秋 利彦, 鵜 沼 香奈, 船 越 丈司	【到達目標】1,2,3) 【学習方法】演習 / 実習 <2 班に分ける> 午前: 自習 午後:A 班 実習 実習室 B 班 演習 講義 室 <内容は班 ごとに前日と入れ 換え>

全体を 2 班に分ける。
班ごとの (1)、(2) の実習。
(1) 法医学症例の検討・死体検案書の作成 → 講義室で症例検討。
(2) DNA 多型の理解、薬毒物の毒性の理解 → 実習室での実習。一部の実習手順は事前に weblab に動画をアップロードするので、実習までに視聴し、理解しておくこと。

実習参加、実習レポート提出。レポート(死体検案書)提出。

実習・演習への出席(全回出席が必須)。
死体検案書の作成。
指定された実習レポート提出。

出席数、実習参加態度、レポートの内容。レポート提出期限の遵守。

全回出席の上、レポート等を提出し、レポートの内容が指示された事項について記載されていれば「B」とする。レポート内容、実習態度が優れているものは「B」より上の評価とする。

実習・演習すべてについて、出席・参加が必須です(重要)。

試験の受験資格

実習・演習のすべてに出席すること(2024 年度は 2 回)

登校 実習 2 回

参考書

厚生労働省 令和 5 年度版死亡診断書(死体検案書)記入マニュアル

下記のアドレスからダウンロードできます

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/manual/>

履修上の注意事項

白衣着用

時間割番号	011107				
科目名	行動科学			科目ID	
担当教員	岡田 幸之[OKADA TAKAYUKI]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	3	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				
主な講義場所 医学科講義室 2					
授業の目的、概要等 行動科学とは、人間の個人・社会行動、あるいは人間の心の働きである知性・感情・意思(知・情・意)に焦点を当てながら、人間を全人的により深く理解しようと試みる学際的な理論体系の学問領域である。行動科学は医歯学教育の中の「臨床系」と「基礎系」という分類の枠を超えた、横断的、学際的な領域を形成。人間の医学生物学的側面を扱う基礎学問と同様、行動科学は人間特有の心理・社会的側面を重視しており、人間を理解しなければならない医療者にとっては必須の学科目といえる。					
授業の到達目標 到達目標は以下の通りである。 1)人の行動と心理を理解するための基礎的な知識と考え方を学ぶ。 2)臨床現場において実践できる、人の行動変容に関する理論・因子・技法について学ぶ。 文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(令和4 年度改訂版) https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/116/toushin/mext_01280.html GE-01-05)01,02 GE-03-01)01,03 GE-03-02)02 GE-03-05)01 GE-04-02)03 CM-01-01)01,02,03,04,05 CM-02-02)01 IP-02-02)02 SO-04-01)01 SO-06-01)03 医学科コンピテンシーよりこの科目で身につけるレベル [I-2-B]世界的に注目されている医学／歯学／健康に関する主たるトピックについて、議論できる [I-3-B]科学/医学/歯学専門用語/表現の理解/表記/発音ができる [II-1-A]医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる [II-3-B]臨床的あるいは科学的問題提起ができる [III-1-A]他者の貢献、時間、価値感、人格を尊重し、常に敬意を払って接することができる [III-4-C]患者の、文化、人種、年齢、社会経済的状況、性別、性嗜好、信仰、障害、その他の多様性に配慮した対応を説明できる [III-4-C]文化的信条や慣習が専門職としての対人関係に与える影響を説明できる [III-8-C]患者との関係(情報漏洩、親密性、金品授受など)において適切な距離を維持する必要性を説明できる [III-9-A]個人の生活における責務と医学科での学習及び社会的な責務について、適切にバランスを取ることができる [III-12-A]メンタルストレスに直面した際、それを認識し、適切な解消処置をとれる [III-14-A]時間厳守、信頼性、適切な準備、率先性、遂行能力を示すことができる [III-15-A]文書課題を、正確で判読しうる質にて作成し、規定期限内に提出できる [III-16-A]本学を含めた当該機関内規、法律、専門職社会内規範を遵守できる [III-18-A]他者への良識を逸する振舞い(無礼、短気など)を認識し、助言を求め、今後起こさぬよう振舞いを修正することができる [III-21-B]守秘義務と患者プライバシーに関して説明できる					

[Ⅲ-23-A]記述、プレゼンテーション、論文、および研究情報などの利用において、著作権を尊重し、それに沿って行動できる
 [Ⅲ-26-A]自身の知識・能力・振舞いを批判的に省察し、長所と課題点を同定し、改善の為の学習目標を設定し、それを達成するのに適した学習活動に取り組むことができる
 [Ⅲ-27-A]自身に対するフィードバックにもとづき省察し自己改善を実現できる
 [Ⅲ-28-A]他人に建設的なフィードバックを適切な形で提示できる
 [Ⅲ-29-A]ポートフォリオを活用して、課題設定を行い、自己学習・自己研鑽できる
 [Ⅳ-6-B]患者の様々な背景や文化がどれだけ医者・患者間のコミュニケーションに影響するかを説明できる
 [Ⅳ-7-B]重大で繊細な難しいトピック(sexual history、疾患名告知、退院計画議論、ターミナルケアなど)について患者や患者家族と議論する際に、配慮すべき点や重要な点を説明できる
 [Ⅳ-9-C]患者中心の医療について説明できる
 [Ⅴ-5-B]社会医学の知識を提示できる
 [Ⅴ-6-B]世界の保健・医療関連事象の推移と地域分布を説明できる
 [Ⅵ-27-B]医薬品、医療機器の安全管理体制を説明できる
 [Ⅶ-2-C]急性期、慢性期、および長期的ケアを含む医療の向上に向けた、様々な専門分野の協力にもとづくアプローチについて、説明できる
 [Ⅶ-3-C]病院、診療所、福祉施設など、様々な診療提供システム・機関の役割を説明できる
 [Ⅶ-5-B]医療体制の主な構成要素(患者、多職種にわたる医療供給者、医療機関、保険者、行政、医療産業(製薬会社等)、診療報酬、薬価)について、役割・意義を説明できる
 [Ⅶ-6-B]医療アクセス、コスト、資源分配など、医療政策の重要な概念とそれらの関係、そして診療への影響を説明できる
 [Ⅶ-7-B]医療制度や医療提供体制が、医療の質と量へ与える影響(特に異なる背景の患者間の格差、例:地域、年齢、医師の配置)を、説明できる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/1	12:50-14:10	医学科講義室2	生涯発達	佐々木 祥乃	【到達目標】1, 2 【学習方法】対面講義【アクティブラーニングの種類】なし
2	4/2	12:50-14:10	医学科講義室2	ストレス(心理)	安藤 久美子	【到達目標】1, 2 【学習方法】対面講義【アクティブラーニングの種類】なし
3	4/2	14:20-15:40	医学科講義室2	ストレス(環境)と健康	布施 泰子	【到達目標】1, 2 【学習方法】対面講義【アクティブラーニングの種類】なし
4	4/8	12:50-14:10	医学科講義室2	行動のアセスメント	藤野 純也	【到達目標】1, 2 【学習方法】対面講義【アクティブラーニングの種類】なし
5	4/8	14:20-15:40	医学科講義室2	行動の脳科学と理論	高橋 英彦	【到達目標】1, 2 【学習方法】対面講義【アクティブラーニングの種類】なし
6	4/10	12:50-14:10	医学科講義室2	ヘルスコミュニケーション	土井 理美	【到達目標】1, 2

			義室 2	ン		【学習方法】対面 講義【アクティブラーニングの種類】 Q&A、ロールプレイ
7	4/10	14:20-15:40	遠隔授業 (同期型)	異文化対応力:文化と行動	上里 彰仁	【到達目標】1, 2 【学習方法】遠隔 授業(同期型)【アクティブラーニングの種類】講義内 調査(個人回答システム)とフィードバック
8	4/12	09:00-10:20	遠隔授業 (非同期型)	社会と健康	藤原 武男	【到達目標】1, 2 【学習方法】遠隔 授業(非同期型) 【アクティブラーニングの種類】なし
9	4/12	10:30-11:50	医学科講 義室 2	行動変容の技法	布施 泰子	【到達目標】1, 2 【学習方法】対面 講義【アクティブラーニングの種類】 グループディスカッション、ロールプレイ
10	4/24	09:00-10:20	医学科講 義室 2	対人関係	田村 昶紘	【到達目標】1, 2 【学習方法】対面 講義【アクティブラーニングの種類】 Q&A
11	4/26	10:30-11:50	医学科講 義室 2	動機付け	竹林 裕直	【到達目標】1, 2 【学習方法】対面 講義【アクティブラーニングの種類】 なし
12	4/30	15:50-17:10	医学科講 義室 2	個人差	中村 啓信	【到達目標】1, 2 【学習方法】対面 講義【アクティブラーニングの種類】 なし
13	5/13	14:20-15:40	医学科講 義室 2	試験	岡田 幸之	

授業方法

講義室での対面講義、ならびに Zoom を用いた同期型の WEB 講義を併用する。Web 講義ではアクティブラーニングは制限されるが、可能な範囲で実施していく(備考欄を参照)。

授業内容

(別表を参照)

成績評価の方法

選択肢形式の紙ベースの最終試験で行う。
成績評価の基準 最終試験における(100点満点の)60点以上を以てB基準を満たしたと判定、すなわち合格とする。Bより上の評価については、聴講態度や最終試験の点数などを参照し、総合的に判断する。
準備学習等についての具体的な指示 受講前に各科のシラバスを熟読し、内容を理解しておくこと。不明な点があったら、オフィス時間内に(9:00-17:00)担当者に質問をして、確認しておくこと。
試験の受験資格 特に出席は取りません。しかし、試験はすべての授業項目から出題しますので、病気等でやむを得ず欠席した場合は、Webclass に掲載の講義スライド・動画で自習してください。出席を取らない分、試験では厳しく評価します。
教科書 行動医学テキスト：behavioral medicine／日本行動医学会編 日本行動医学会 野村, 忍 堤, 明純 島津, 明人 中尾, 睦宏 吉内, 一浩: 中外医学社, 2015
参考書 さらに勉強したい方は、米国の定番の教科書の日本語訳版である 健康行動学 その理論、研究、実践の最新動向 木原雅子ら訳 メディカル・サイエンス・インターナショナル を参考書にあげる
履修上の注意事項 授業を効率良く、かつ効果的に受けるために、基礎知識の復習および当該領域を予習した上でその授業に臨むことが必要である。行動科学の学習目標は知識の獲得ではなく、態度変容にある。そのため、学生が自ら“積極的に”授業に臨むことが望ましい。
備考 2023年度のコース評価を受けての変更点: 特になし 学生からの質問窓口: 精神科 田村 赳紘 (tamupsysc@tmd.ac.jp)
連絡先(メールアドレス) 岡田 幸之 takayukiok.psyc@tmd.ac.jp
オフィスアワー 岡田 幸之: 毎週火曜日 PM5:00-PM9:00 M&D タワー25 階 精神行動医科学(犯罪精神医学研究室)

時間割番号	011050				
科目名	衛生学			科目ID	
担当教員	田中 真二[TANAKA SHINJI]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	3	単位数	1.5
実務経験のある教員による授業	該当する				
主な講義場所 3号館3階 医学科講義室2					
授業の目的、概要等 衛生学は、医学を基礎医学、臨床医学、社会医学に大別すると社会医学に入り、臨床医学を治療医学と考えれば、衛生学は予防医学と考えることができる。すなわち、衛生学は 人間をとりまく自然的、社会的環境要因と健康との関連を考究し、疾病の予防、早期発見および健康の維持推進に役立てようとする学問である。衛生学では単に疾病を治療するだけでなく、疾病の背後にある種々の自然的・社会的要因をも考察して対応できる能力を養成することを目標とする。					
授業の到達目標 衛生学は常に新たな内容が付加されるため、最新のデータを常に把握する必要がある。講義は総論のみならず、その分野の最先端の研究および教育を行なっている先生を非常勤講師として招いて行われるため、最新の知識を得ることができる。講義資料は WebClass に掲示するため、授業前に予習しておくことが望ましい。 到達目標として、以下の点をあげる。 1) 衛生学の基礎的知識を習得できる。 2) がんの原因になりやすい生活習慣要因について説明できる 3) 環境要因とがんの関係および職業がんについて説明できる 4) 環境要因が健康に及ぼす影響を説明できる。 5) 感染症、食品衛生、生活習慣病、放射線影響、スポーツ医学など多岐に渡って最新の知見を習得できる。 文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(令和4年度改訂版) https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/116/toushin/mext_01280.html GE-02-02)05 GE-03-01)02 GE-04-01)03,04,06 PS-03-03)18 SO-01-01)03 SO-01-03)01,02 SO-01-04)03 SO-01-05)02 SO-02-02)02 SO-05-02)02,03					
医学科コンピテンシーよりこの科目で身につけるレベル [I-2-B]世界的に注目されている医学／歯学／健康に関する主たるトピックについて、議論できる [I-3-B]科学/医学/歯学専門用語/表現の理解/表記/発音ができる [II-1-A]医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる [II-3-B]臨床的あるいは科学的問題提起ができる					

[II-4-B]実習実験を実施して結果を得ることができる
 [II-5-B]実習実験により得られた結果の意義を、口頭あるいは書面で明確に説明できる
 [III-1-A]他者の貢献、時間、価値感、人格を尊重し、常に敬意を払って接することができる
 [III-8-C]患者との関係(情報漏洩、親密性、金品授受など)において適切な距離を維持する必要性を説明できる
 [III-9-A]個人の生活における責務と医学科での学習及び社会的な責務について、適切にバランスを取ることができる
 [III-10-A]自立と監督・指導の必要性との適切なバランスを常に保つことができる
 [III-12-A]メンタルストレスに直面した際、それを認識し、適切な解消処置をとれる
 [III-14-A]時間厳守、信頼性、適切な準備、率先性、遂行能力を示すことができる
 [III-15-A]文書課題を、正確で判読しうる質にて作成し、規定期限内に提出できる
 [III-16-A]本学を含めた当該機関内規、法律、専門職社会内規範を遵守できる
 [III-17-A]常に、誠実さ、正直さ、確実さをもって行動できる
 [III-18-A]他者への良識を逸する振舞い(無礼、短気など)を認識し、助言を求め、今後起こさぬよう振舞いを修正することができる
 [III-19-B]情報やデータ収集におけるエラーを認識し、学習グループのメンバーや指導・監督者に報告できる
 [III-23-A]記述、プレゼンテーション、論文、および研究情報などの利用において、著作権を尊重し、それに沿って行動できる
 [III-26-A]自身の知識・能力・振舞いを批判的に省察し、長所と課題点を同定し、改善の為に学習目標を設定し、それを達成するのに適した学習活動に取り組むことができる
 [III-27-A]自身に対するフィードバックにもとづき省察し自己改善を実現できる
 [III-28-A]他人に建設的なフィードバックを適切な形で提示できる
 [III-29-A]ポートフォリオを活用して、課題設定を行い、自己学習・自己研鑽できる
 [V-5-B]社会医学の知識を提示できる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/3	12:50-14:10	医学科講義室2	衛生学序論、生活習慣とがん	Webclass に資料がある。	田中 真二	【到達目標】1), 2), 3) 【学習方法】対面講義 【その他】講義の最後にテーマ研究と実習の説明を行う。
2	4/3	14:20-15:40	医学科講義室2	感染症と実地疫学	Webclass に資料がある。	砂川 富正	【到達目標】1), 5) 【学習方法】対面講義 【その他】非常勤講師(国立感染症研究所実地疫学研究センター長)。講義時に質疑応答の時間を設ける。
3	4/5	09:00-10:20	医学科講義室2	化学物質の環境リスク評価	Webclass に資料がある。	小野 恭子	【到達目標】1), 4) 【学習方法】対面講義 【その他】非常勤講師(産業技術総合研究所安全科学研究部門)。講義時に質疑応答の時間を設ける。
4	4/5	10:30-11:50	医学科講義室2	ヒ素の環境汚染と健康影響	Webclass に資料がある。	平野 靖史郎	【到達目標】1), 4), 5) 【学習方法】対

							面講義 【その他】非常勤講師 (国立環境研究所 環境リスク・健康 領域)。講義時に 質疑応答の時間 を設ける。
5	4/9	12:50-14:10	医学科講 義室 2	食品衛生	Webclass に資料がある。	三宅 司郎	【到達目標】1), 5) 【学習方法】対面 講義 【その他】 非常勤講師(麻布 大学生命・環境科 学部 食品生命科 学科教授)。講義 時に質疑応答の 時間を設ける。
6	4/9	14:20-15:40	医学科講 義室 2	環境放射線・原子力災害 医療	Webclass に資料がある。	中村 和正	【到達目標】1), 4), 5) 【学習方法】対 面講義 【その他】 非常勤講師 (浜松医科大学放 射線腫瘍学講座 教授)。講義時に 質疑応答の時間 を設ける。
7	4/11	12:50-14:10	医学科講 義室 2	生活習慣と動脈硬化	Webclass に資料がある。	大石 由美子	【到達目標】1), 4), 5) 【学習方法】対 面講義 【その他】 非常勤講師 (東京医科歯科大 学病態代謝解析 学教授)。講義時 に質疑応答の時 間を設ける。
8	4/11	14:20-15:40	医学科講 義室 2	職業がん	Webclass に資料がある。	田中 真二	【到達目標】1), 2), 3), 4) 【学習方 法】対面講義 【その他】講義時 に質疑応答の時 間を設ける。
9	4/25	12:50-14:10	医学科講 義室 2	アクティブラーニング	テーマ研究—環境とがん 1	田中 真二 秋山 好光 波多野 恵 島田 周	【到達目標】1), 2), 3), 4), 5) 【学習方 法】アクティブラー ニング 【その 他】班に分け、発 表会を行う。
10	4/25	14:20-15:40	医学科講 義室 2	アクティブラーニング	テーマ研究—環境とがん 2	田中 真二 秋山 好光 波多野 恵 島田 周	【到達目標】1), 2), 3), 4), 5) 【学習方 法】アクティブラー ニング 【その

							他]班に分け、発表会を行う。
11	4/25	15:50-17:10	医学科講義室2	アクティブラーニング	テーマ研究—環境とがん3	田中 真二 秋山 好光 島田 周 波 多野 恵	【到達目標】1), 2), 3), 4), 5) 【学習方法】アクティブラーニング 【その他】他]班に分け、発表会を行う。
12	4/26	09:00-10:20	医学科講義室2	スポーツ医学と予防	Webclass に資料がある。	柳下 和慶	【到達目標】1), 5) 【学習方法】対面講義 【その他】東京医科歯科大学スポーツ医歯学診療センター長。講義時に質疑応答の時間を設ける。
13	5/15	10:30-11:50	医学科講義室2	試験		田中 真二 秋山 好光 島田 周 波 多野 恵	

授業方法

衛生学講義は全て対面授業として行われ、その内容は総論的講義と、学内外の第一人者による講義からなる。

アクティブラーニングとして講義期間中に「環境とがん」を対象としたテーマ研究の課題を与える。学生は7～8人のグループに別れて、各課題について調査・研究を行い、発表内容をスライドにまとめる。4月25日(木)の3コマで各班10分間の発表を行う。テーマ研究の各コマの最後に総合討論と総括を行う。学生間での質疑応答を活発に行うため、原則として全てに出席することとする。テーマ研究の課題に関する具体的な内容(衛生学実習の説明を含む)は、衛生学講義1(4月3日、水、12:50-14:10)の後半部分で説明する。

担当者(講義内容とキーワード)

教授:田中真二(生活習慣とがん、職業がん、衛生学実習)

講師:秋山好光(テーマ研究:環境とがん、衛生学実習)

助教:島田 周(テーマ研究:環境とがん、衛生学実習)

助教:波多野 恵(テーマ研究:環境とがん、衛生学実習)

非常勤講師:砂川富正(感染症と実地疫学)、小野恭子(化学物質の環境リスク評価)、平野靖史郎(ヒ素の環境汚染と健康影響)、三宅司郎(食品衛生)、中村和正(環境放射線・原子力災害医療)、大石由美子(生活習慣と動脈硬化)、柳下和慶(スポーツ医学と予防)

授業内容

授業スケジュール参照

成績評価の方法

衛生学は講義(筆答試験)と実習にそれぞれ合格することが必要である。評価のウエイトは講義70%、実習30%とする。講義に関しては、筆答試験で学習成果を問う。筆答試験は60点以上が合格の基準であり、それに満たない場合は再試験の対象となる。

衛生学実習は原則として全てに出席し、期日までに実習レポートを提出することが合格基準となる。実習への取組状況・レポート・発表、出席などで総合判定する。正当な理由なく実習を欠席したものは衛生学筆答試験の受験資格を失うので注意すること。

成績評価の基準

筆答試験は60点以上を合格とし、それに満たない場合は再試験の対象となる。試験の成績およびテーマ研究発表内容の合計が衛生学(講義)の評価となる。

衛生学は講義と実習からなるため、講義、実習、テーマ研究発表内容などを加えて総合評価し、60%に達すればGPにおけるB成績基準

達成とみなす。また 80%以上は A、90%以上は A+とする。
準備学習等についての具体的な指示 WebClass に掲載した講義資料で予習しておく。また指定した教科書、参考書を読んでおく。 次の講義の担当者の専門とその関連するキーワードをもとに、基本的な事項を理解しておく。 授業のキーワード:悪性腫瘍、環境発がん、職業がん、生活習慣要因、環境リスク、ヒ素、感染症、食品衛生、化学物質、循環器病、放射線影響、予防医学、スポーツ医学、変異原性試験
試験の受験資格 講義は全て対面授業とする。講義の録画は行わないため、後日視聴することはできない。また試験はすべての授業項目から出す。出席を取らない分、試験では厳しく評価する。 4 月 25 日 (木)のアクティブラーニング及び衛生学実習は班員との共同作業であるため、原則として全てに出席すること。やむを得ない事情により欠席や遅刻がある場合、その事情とともにアクティブラーニング・実習前に科目責任者または医学教務係にメールで連絡すること。連絡できない場合は電話でも良いが、後日必ずメール連絡すること。これらが十分な対応が行われたと判断された場合には、レポートなどで対応を行うこととする。正当な理由なくアクティブラーニング・実習を欠席した者は 5 月 15 日(水)に行われる衛生学定期試験の受験資格を失うので注意すること。
構成ユニット 教授:田中真二 講師:秋山好光 助教:島田 周 助教:波多野 恵
教科書 国民衛生の動向 2023/2024, 厚生労働統計協会
参考書 NEW 予防医学・公衆衛生学／岸玲子 監修,小泉昭夫, 馬場園明, 今中雄一, 武林亨 編集,岸, 玲子, 1947-,小泉, 昭夫, 1952-,馬場園, 明,今中, 雄一, 1961-,;南江堂, 2018 「がん生物学イラストレイテッド」第2版 渋谷正史、湯浅保仁編集、羊土社、2019
他科目との関連 「公衆衛生学」および「社会医学」と最も強く関連するが、その他の基礎・社会医学科目とも関連する。
履修上の注意事項 講義中のスクリーンの撮影は禁止する。教材、参考資料および実習書は全て著作物であるため、著作権の関係上、外部に流出することがないように注意すること。
備考 全て対面授業とする。各講義の先生方は衛生学分野で最先端の研究および教育を行なっているので、より専門的かつ最新の知見を習得できる良い機会である。講義の最後にも質疑応答の時間を設けるようにした。 またテーマ研究発表会では他班の発表内容についての理解を深めるため、本年度は発表スライドの webclass 登録の締め切りを早め、予習できるようにした。また各コマの最後に討論時間、および3コマ目の最後には総括の時間を設けるようにした。
参照ホームページ 厚生労働省:http://www.mhlw.go.jp/ 国立感染症研究所:http://www.niid.go.jp/niid/ja/

時間割番号	011051		
科目名	衛生学	科目ID	
担当教員			
開講時期	2024 年度前期	対象年次	3
実務経験のある教員による授業	該当する		
主な講義場所			
3 号館 3 階 医学科講義室 2			
授業の目的、概要等			
衛生学は、医学を基礎医学、臨床医学、社会医学に大別すると社会医学に入り、臨床医学を治療医学と考えれば、衛生学は予防医学と考えることができる。すなわち、衛生学は 人間をとりまく自然的、社会的環境要因と健康との関連を考究し、疾病の予防、早期発見および健康の維持推進に役立てようとする学問である。衛生学では単に疾病を治療するだけでなく、疾病の背後にある種々の自然的・社会的要因をも考察して対応できる能力を養成することを目標とする。			
授業の到達目標			
衛生学は常に新たな内容が付加されるため、最新のデータを常に把握する必要がある。講義は総論のみならず、その分野の最先端の研究および教育を行なっている先生を非常勤講師として招いて行われるため、最新の知識を得ることができる。講義資料は WebClass に掲示するため、授業前に予習しておくことが望ましい。			
到達目標として、以下の点をあげる。			
1) 衛生学の基礎的知識を習得できる。			
2) がんの原因になりやすい生活習慣要因について説明できる			
3) 環境要因とがんの関係および職業がんについて説明できる			
4) 環境要因が健康に及ぼす影響を説明できる。			
5) 感染症、食品衛生、生活習慣病、放射線影響、スポーツ医学など多岐に渡って最新の知見を習得できる。			
文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(令和4 年度改訂版)			
https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/116/toushin/mext_01280.html			
GE-02-02)05			
GE-03-01)02			
GE-04-01)03,04,06			
PS-03-03)18			
SO-01-01)03			
SO-01-03)01,02			
SO-01-04)03			
SO-01-05)02			
SO-02-02)02			
SO-05-02)02,03			
医学科コンピテンシーよりこの科目で身につけるレベル			
[I-2-B]世界的に注目されている医学／歯学／健康に関する主たるトピックについて、議論できる			
[I-3-B]科学/医学/歯学専門用語/表現の理解/表記/発音ができる			
[II-1-A]医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる			
[II-3-B]臨床的あるいは科学的問題提起ができる			

Ⅱ-4-B]実習実験を実施して結果を得ることができる Ⅱ-5-B]実習実験により得られた結果の意義を、口頭あるいは書面で明確に説明できる Ⅲ-1-A]他者の貢献、時間、価値感、人格を尊重し、常に敬意を払って接することができる Ⅲ-8-C]患者との関係(情報漏洩、親密性、金品授受など)において適切な距離を維持する必要性を説明できる Ⅲ-9-A]個人の生活における責務と医学科での学習及び社会的な責務について、適切にバランスを取ることができる Ⅲ-10-A]自立と監督・指導の必要性との適切なバランスを常に保つことができる Ⅲ-12-A]メンタルストレスに直面した際、それを認識し、適切な解消処置をとれる Ⅲ-14-A]時間厳守、信頼性、適切な準備、率先性、遂行能力を示すことができる Ⅲ-15-A]文書課題を、正確で判読しうる質にて作成し、規定期限内に提出できる Ⅲ-16-A]本学を含めた当該機関内規、法律、専門職社会内規範を遵守できる Ⅲ-17-A]常に、誠実さ、正直さ、確実さをもって行動できる Ⅲ-18-A]他者への良識を逸する振舞い(無礼、短気など)を認識し、助言を求め、今後起こさぬよう振舞いを修正することができる Ⅲ-19-B]情報やデータ収集におけるエラーを認識し、学習グループのメンバーや指導・監督者に報告できる Ⅲ-23-A]記述、プレゼンテーション、論文、および研究情報などの利用において、著作権を尊重し、それに沿って行動できる Ⅲ-26-A]自身の知識・能力・振舞いを批判的に省察し、長所と課題点を同定し、改善の為に学習目標を設定し、それを達成するのに適した学習活動に取り組むことができる Ⅲ-27-A]自身に対するフィードバックにもとづき省察し自己改善を実現できる Ⅲ-28-A]他人に建設的なフィードバックを適切な形で提示できる Ⅲ-29-A]ポートフォリオを活用して、課題設定を行い、自己学習・自己研鑽できる Ⅳ-5-B]社会医学の知識を提示できる

授業方法

1. 衛生学講義は全て対面授業として行われ、その内容は総論的講義と、学内外の第一人者による講義からなる。アクティブラーニングとして講義期間中に「環境とがん」を対象としたテーマ研究の課題を与える。学生は7～8人のグループに別れて、各課題について調査・研究を行い、発表内容をスライドにまとめる。4月25日(木)の3コマで各班10分間の発表を行う。テーマ研究の各コマの最後に総合討論と総括を行う。学生間での質疑応答を活発に行うため、原則として全てに出席することとする。テーマ研究の課題に関する具体的な内容(衛生学実習の説明を含む)は、衛生学講義1(4月3日、水、12:50-14:10)の後半部分で説明する。

2. 担当者(講義内容とキーワード)

教授: 田中真二(生活習慣とがん、職業がん、衛生学実習)

講師: 秋山好光(テーマ研究: 環境とがん、衛生学実習)

助教: 島田 周(テーマ研究: 環境とがん、衛生学実習)

助教: 波多野 恵(テーマ研究: 環境とがん、衛生学実習)

非常勤講師: 砂川富正(感染症と実地疫学)、小野恭子(化学物質の環境リスク評価)、平野靖史郎(ヒ素の環境汚染と健康影響)、三宅司郎(食品衛生)、中村和正(環境放射線・原子力災害医療)、大石由美子(生活習慣と動脈硬化)、柳下和慶(スポーツ医学と予防)

授業内容

授業スケジュール参照

成績評価の方法

衛生学(講義)の評価は筆答試験によって行う。筆答試験は、授講義内容を理解し、そのなかで衛生学として重要と思われることを説明できることを必要とする。試験はすべての授業項目が対象となり、基本多肢選択問題、記述式問題および応用記述問題からなる。テーマ研究発表内容と提出物も評価対象となる。

成績評価の基準

筆答試験は60点以上を合格とし、それに満たない場合は再試験の対象となる。試験の成績およびテーマ研究発表内容の合計が衛生学(講義)の評価となる。

衛生学は講義と実習からなるため、講義、実習、テーマ研究発表内容などを加えて総合評価し、60%に達すればGPにおけるB成績基準達成とみなす。また80%以上はA、90%以上はA+とする。

準備学習等についての具体的な指示 WebClass に掲載した講義資料で予習しておく。また指定した教科書、参考書を読んでおく。 今回の講義の担当者の専門とその関連するキーワードをもとに、基本的な事項を理解しておく。 授業のキーワード:悪性腫瘍、環境発がん、職業がん、生活習慣要因、環境リスク、ヒ素、感染症、食品衛生、化学物質、循環器病、放射線影響、予防医学、スポーツ医学、変異原性試験
試験の受験資格 講義は全て対面授業とする。講義の録画は行わないため、後日視聴することはできない。また試験はすべての授業項目が対象となり、出席を取らない分、試験では厳しく評価する。 4月25日(木)のアクティブラーニング及び衛生学実習は班員との共同作業であるため、原則として全てに出席すること。やむを得ない事情により欠席や遅刻がある場合、その事情とともにアクティブラーニング・実習前に科目責任者または医学教務係にメールで連絡すること。連絡できない場合は電話でも良いが、後日必ずメール連絡すること。これらが十分な対応が行われたと判断された場合には、レポートなどで対応を行うこととする。正当な理由なくアクティブラーニング・実習を欠席した者は5月15日(水)に行われる衛生学定期試験の受験資格を失うので注意すること。
構成ユニット 教授:田中真二 講師:秋山好光 助教:島田 周 助教:波多野 恵
教科書 国民衛生の動向 2023/2024, 厚生労働統計協会
参考書 NEW 予防医学・公衆衛生学／岸玲子 監修,小泉昭夫, 馬場園明, 今中雄一, 武林亨 編集,岸, 玲子, 1947-,小泉, 昭夫, 1952-,馬場園, 明,今中, 雄一, 1961-,:南江堂, 2018 「がん生物学イラストレイテッド」第2版 渋谷正史、湯浅保仁編集、羊土社、2019
他科目との関連 「公衆衛生学」および「社会医学」と最も強く関連するが、その他の基礎・社会医学科目とも関連する。
履修上の注意事項 講義中のスクリーンの撮影は禁止する。教材、参考資料および実習書は全て著作物であるため、著作権の関係上、外部に流出することがないように注意すること。
備考 全て対面授業とする。各講義の先生方は衛生学分野で最先端の研究および教育を行なっているので、より専門的かつ最新の知見を習得できる良い機会である。講義の最後にも質疑応答の時間を設けるようにした。 またテーマ研究発表会では他班の発表内容についての理解を深めるため、本年度は発表スライドの webclass 登録の締め切りを早め、予習できるようにした。また各コマの最後に討論時間、および3コマ目の最後には総括の時間を設けるようにした。
参照ホームページ 厚生労働省:http://www.mhlw.go.jp/ 国立感染症研究所:http://www.niid.go.jp/niid/ja/

時間割番号	011052		
科目名	衛生学実習	科目ID	
担当教員	田中 真二[TANAKA SHINJI]		
開講時期	2024 年度前期	対象年次	3
実務経験のある教員による授業	該当する		
主な講義場所			
3号館5階 学生実習室			
授業の目的、概要等			
衛生学実習として化学物質などに突然変異を引き起こす性質があるかどうかを調べるため、変異原性試験を行う。微生物を用いた変異原性試験はエームス試験とも呼ばれ、化学物質などの遺伝毒性およびがん原性を予測する目的で広く実施されている。化学物質の有害性の調査は労働安全衛生規則でも定められており、各種の化学物質などの変異原性を調べることは、ヒトの健康の保持・増進のために重要である。			
授業の到達目標			
到達目標は以下とする。			
1) 実習を通して、変異原性試験の実験技術の習得ができ、得られた結果の解釈および口頭説明ができる。			
2) 変異原性物質調査を通して、化学物質の有害性や食品中の有害物質について説明できる。			
文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(令和4年度改訂版)			
https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/116/toushin/mext_01280.html			
GE-03-01)02			
GE-04-01)06			
PS-01-04)20			
SO-02-02)03,04			
SO-02-03)02,03,04			
医学科コンピテンシーよりこの科目で身につけるレベル			
Ⅰ-2-B)世界的に注目されている医学／歯学／健康に関する主たるトピックについて、議論できる			
Ⅰ-3-B)科学/医学/歯学専門用語/表現の理解/表記/発音ができる			
Ⅱ-1-A)医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる			
Ⅱ-3-B)臨床的あるいは科学的問題提起ができる			
Ⅱ-4-B)実習実験を実施して結果を得ることができる			
Ⅱ-5-B)実習実験により得られた結果の意義を、口頭あるいは書面で明確に説明できる			
Ⅲ-1-A)他者の貢献、時間、価値感、人格を尊重し、常に敬意を払って接することができる			
Ⅲ-8-C)患者との関係(情報漏洩、親密性、金品授受など)において適切な距離を維持する必要性を説明できる			
Ⅲ-9-A)個人の生活における責務と医学科での学習及び社会的な責務について、適切にバランスを取ることができる			
Ⅲ-10-A)自立と監督・指導の必要性との適切なバランスを常に保つことができる			
Ⅲ-12-A)メンタルストレスに直面した際、それを認識し、適切な解消処置をとれる			
Ⅲ-14-A)時間厳守、信頼性、適切な準備、率先性、遂行能力を示すことができる			
Ⅲ-15-A)文書課題を、正確で判読しうる質にて作成し、規定期限内に提出できる			
Ⅲ-16-A)本学を含めた当該機関内規、法律、専門職社会内規範を遵守できる			
Ⅲ-17-A)常に、誠実さ、正直さ、確実さをもって行動できる			
Ⅲ-18-A)他者への良識を逸する振舞い(無礼、短気など)を認識し、助言を求め、今後起こさぬよう振舞いを修正することができる			
Ⅲ-19-B)情報やデータ収集におけるエラーを認識し、学習グループのメンバーや指導・監督者に報告できる			

Ⅲ-23-A]記述、プレゼンテーション、論文、および研究情報などの利用において、著作権を尊重し、それに沿って行動できる
 Ⅲ-26-A]自身の知識・能力・振舞いを批判的に省察し、長所と課題点を同定し、改善の為の学習目標を設定し、それを達成するのに適した学習活動に取り組むことができる
 Ⅲ-27-A]自身に対するフィードバックにもとづき省察し自己改善を実現できる
 Ⅲ-28-A]他人に建設的なフィードバックを適切な形で提示できる
 Ⅲ-29-A]ポートフォリオを活用して、課題設定を行い、自己学習・自己研鑽できる
 V-5-B]社会医学の知識を提示できる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-4	4/16	10:30-17:10	5 階学生 実習室	10:30-11:50 衛生学実習 (自習・課題学習) 12:50-17:10 衛生学実習	変異原性試験 変異原性物質調査	田中 真二 秋山 好光 島田 周 波 多野 恵	【到達目標】1), 2) 【学習方法】実習 【その他】具体的な説明は4月3日の衛生学講義1-後半で説明する。 12:50 に実習室に集合すること。
5-8	4/17	10:30-17:10	5 階学生 実習室	10:30-11:50 衛生学実習 (自習・課題学習) 12:50-17:10 衛生学実習	変異原性試験 変異原性物質調査	田中 真二 秋山 好光 島田 周 波 多野 恵	【到達目標】1), 2) 【学習方法】実習 【その他】12:50 に実習室に集合すること。
9-11	4/18	12:50-17:10	5 階学生 実習室	12:50-17:10 衛生学実習	変異原性試験(まとめ) 変異原性物質調査	田中 真二 秋山 好光 島田 周 波 多野 恵	【到達目標】1), 2) 【学習方法】実習 【その他】12:50 までに実習室に集合すること
12-15	4/19	10:30-17:10	5 階学生 実習室	10:30-11:50 衛生学実習 (自習・課題学習) 12:50-17:10 衛生学実習	変異原性試験(まとめ) 変異原性物質調査	田中 真二 秋山 好光 島田 周 波 多野 恵	【到達目標】1), 2) 【学習方法】実習 【その他】12:50 に実習室に集合すること

授業方法

衛生学実習として実施する変異原性試験は、化学物質の変異原性についてサルモネラ菌を使って調べる試験であり、寒天培地作成、菌の培養から判定までを実習期間内で行う。学生が密になることを避けるため学年を2つに分けて実施する。さらに7～8名のグループに別れて行う。実験を含む実習は午後のセッションから行われるため、午前中の実習はその予習時間に当てる。具体的な開始時間と終了時間については班毎に指示する。

実習期間中に課題学習として、変異原性物質調査として文献検索を行い、その成果をまとめる。

衛生学実習に関する具体的な内容は、衛生学講義1(4月3日、水、12:50-14:10)の後半で説明するので、必ず出席すること。

授業のキーワード: 悪性腫瘍、環境発がん、変異原性試験

授業内容

1. 衛生学実習は変異原性試験を行う。

2. 担当者

教授: 田中真二

講師:秋山好光 助教:島田 周 助教:波多野 恵
成績評価の方法 衛生学実習は原則として全てに出席し、期日までに実習レポートを提出することが合格基準となる。実習への取組状況、レポート内容、口頭発表、実習態度、実習への参加で総合的に判定する。 実習レポートは各自が班内で得られた結果についてまとめること、および変異原性物質調査を行った成果もレポートにまとめることとする。 正当な理由なく実習を欠席したものは衛生学筆答試験の受験資格を失うので注意すること。
成績評価の基準 衛生学実習は出席およびレポートの期限内提出が合格基準であり、レポート内容や口頭発表などにより評価が加算される。実習の出席条件を満たさない場合やレポートの未提出の場合、定期試験は受けられないので注意すること。 衛生学は講義と実習からなるため、講義、実習、テーマ研究発表内容などを加えて総合評価し、60%に達すれば GP における B 成績基準達成とみなす。また 80%以上は A、90%以上は A+とする。
準備学習等についての具体的な指示 指定した教科書、参考書および WebClass に掲載した実習書を読み、基本的事項を理解しておく。
試験の受験資格 次の全てを満たす場合、5 月 15 日(水)に行われる定期試験および追試・再試験を受験する資格となる。 衛生学実習は、班員との共同作業であるため、原則として全てに出席すること。実習時間内に出席確認を行う。無断欠席や無断早退があった場合には、出席の要件を満たさないとみなすことがある。実習レポートは期限内に提出することが必須である。特別に勘案すべき事情により欠席や遅刻がある場合、その事情とともに実習前に科目責任者または医学教務係にメールで連絡すること。連絡ができない場合は電話でも良いが、後日必ずメール連絡すること。これらが十分な対応が行われたと判断された場合には、レポートなどで対応を行うこととする。正当な理由なく実習を欠席した者は衛生学定期試験の受験資格を失うので注意すること。
構成ユニット 教授:田中真二 講師:秋山好光 助教:島田 周 助教:波多野 恵
参考書 NEW 予防医学・公衆衛生学／岸玲子 監修,小泉昭夫, 馬場園明, 今中雄一, 武林亨 編集,岸, 玲子, 1947-,小泉, 昭夫, 1952-,馬場園, 明,今中, 雄一, 1961-,;南江堂, 2018 衛生試験法・要説 金原出版、2005 年版、日本薬学会編 国民衛生の動向 2023/2024, 厚生労働統計協会
他科目との関連 「公衆衛生学」および「社会医学」と最も強く関連するが、その他の基礎・社会医学科目とも関連する。
履修上の注意事項 実習は実験を行うため、白衣を持参すること。また印刷した実習書の配布は行わないので、各自、印刷またはコンピュータにダウンロードして実習中に閲覧できるようにしておくこと。 教材、参考資料および実習書は全て著作物であるため、著作権の関係上、外部に流出することがないように注意すること。
備考 実習は変異原性試験を少人数グループに分けて行っている。培地作りから菌培養、判定までの全ての操作を行うことで学生からの評価が高かったため、本年度も変異原性試験を行うことにした。また変異原性試験として色々な物質を調べたいとの意見があり、可能な限り検討する予定である。
参照ホームページ

厚生労働省:<http://www.mhlw.go.jp/>

国立感染症研究所:<http://www.niid.go.jp/niid/ja/>

時間割番号	011055		
科目名	公衆衛生学(M3)	科目ID	
担当教員	藤原 武男, 谷 友香子[FUJIWARA Takeo, TANI Yukako]		
開講時期	2024 年度前期	対象年次	3
実務経験のある教員による授業	該当する		
主な講義場所 3 号館 3 階 医学科講義室 1&2			
授業の目的、概要等 人々の健康に寄与する要因が多岐にわたることを理解すること。 人間集団を対象として、健康ないし疾病の決定要因について研究し、健康問題のコントロールに応用する学問である疫学の原理・研究方法について学び、理解すること。 科学論文を読み、「クリティカル・アプレイザル」(批判的吟味)をする能力を獲得すること。 臨床症例において社会的背景の存在を認識し、それに関する知識を獲得すること。 これらの知識を活用し、臨床現場における本質的な問題解決能力を獲得すること。			
授業の到達目標 1) 人々の健康に寄与する要因が多岐にわたることを理解する。 2) 疫学の原理・研究方法について学び、説明できる。 3) 健康問題のコントロールに関する知識を獲得する。 4) 科学論文を読み、クリティカル・アプレイザル(批判的吟味)ができる。 文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(令和4年度改訂版) https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/116/toushin/mext_01280.html PR-01-02)01 GE-01-04)01,02,03,04,05 GE-01-05)01 GE-02 GE-02-01)01,02 GE-02-02)01,04,05 GE-02-03)02 GE-02-04)01,02 GE-03-01)02 GE-03-05)01,02,03,04,05,06,07 GE-04-01)01,03,04,05,06,07 GE-04-02)01,02,03 RE-03-02)01 RE-04-01)03 PS-03-03)18 CS-05-03)01 IP-02-03)02 IP-02-04)01 SO-01-01)03 SO-01-02)02,03 SO-01-03)01,02,03,04,05,06 SO-01-04)01,02,03 SO-01-05)02,03			

SO-02-01)01,02
SO-02-02)02,03,04,05
SO-03-01)05
SO-04-01)01,02
SO-04-02)01
SO-04-06)01
SO-05-01)01,02,03,04,06
SO-05-02)01,02,03
SO-06-01)01,02

医学科コンピテンシーよりこの科目で身につけるレベル

[I-2-B]世界的に注目されている医学／歯学／健康に関する主たるトピックについて、議論できる

[I-3-B]科学/医学/歯学専門用語/表現の理解/表記/発音ができる

[II-1-A]医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる

[II-3-B]臨床的あるいは科学的問題提起ができる

[II-4-B]実習実験を実施して結果を得ることができる

[II-5-B]実習実験により得られた結果の意義を、口頭あるいは書面で明確に説明できる

[III-1-A]他者の貢献、時間、価値感、人格を尊重し、常に敬意を払って接することができる

[III-8-C]患者との関係(情報漏洩、親密性、金品授受など)において適切な距離を維持する必要性を説明できる

[III-9-A]個人の生活における責務と医学科での学習及び社会的な責務について、適切にバランスを取ることができる

[III-10-A]自立と監督・指導の必要性との適切なバランスを常に保つことができる

[III-12-A]メンタルストレスに直面した際、それを認識し、適切な解消処置をとれる

[III-13-B]医学生としての健康管理(予防接種を含む)の重要性を説明できる

[III-14-A]時間厳守、信頼性、適切な準備、率先性、遂行能力を示すことができる

[III-15-A]文書課題を、正確で判読しうる質にて作成し、規定期限内に提出できる

[III-16-A]本学を含めた当該機関内規、法律、専門職社会内規範を遵守できる

[III-17-A]常に、誠実さ、正直さ、確実さをもって行動できる

[III-18-A]他者への良識を逸する振舞い(無礼、短気など)を認識し、助言を求め、今後起こさぬよう振舞いを修正することができる

[III-19-B]情報やデータ収集におけるエラーを認識し、学習グループのメンバーや指導・監督者に報告できる

[III-21-A]患者情報の守秘義務を守り、患者のプライバシーを尊重できる

[III-23-A]記述、プレゼンテーション、論文、および研究情報などの利用において、著作権を尊重し、それに沿って行動できる

[III-26-A]自身の知識・能力・振舞いを批判的に省察し、長所と課題点を同定し、改善の為の学習目標を設定し、それを達成するのに適した学習活動に取り組むことができる

[III-27-A]自身に対するフィードバックにもとづき省察し自己改善を実現できる

[III-28-A]他人に建設的なフィードバックを適切な形で提示できる

[III-29-A]ポートフォリオを活用して、課題設定を行い、自己学習・自己研鑽できる

[IV-9-C]患者中心の医療について説明できる

[V-5-B]社会医学の知識を提示できる

[V-6-B]世界の保健・医療関連事象の推移と地域分布を説明できる

[V-7-B]頻度の高い疾病についての予防戦略についての知識を提示できる

[V-8-B]様々な集団や場に特有の健康問題を説明できる

[VI-3-B]研究デザインや統計的手法についての知識を提示できる

[VI-25-C]感染患者隔離の対応に関する法的根拠を説明できる

[VII-5-B]医療体制の主な構成要素(患者、多職種にわたる医療供給者、医療機関、保険者、行政、医療産業(製薬会社等)、診療報酬、薬価)について、役割・意義を説明できる

[VII-6-B]医療アクセス、コスト、資源分配など、医療政策の重要な概念とそれらの関係、そして診療への影響を説明できる

[VII-7-B]医療制度や医療提供体制が、医療の質と量へ与える影響(特に異なる背景の患者間の格差、例:地域、年齢、医師の配置)を、説明できる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/2	09:00-10:20	医学科講義室2	ケーススタディ	Case study;「社会疫学」上下巻	藤原 武男	【到達目標】1) 【学習方法】グループ討論/対面講義
2	4/2	10:30-11:50	医学科講義室2	疫学	「社会疫学」上下巻	谷 友香子	【到達目標】1)2)4) 【学習方法】グループ討論/対面講義
3	4/5	12:50-14:10	医学科講義室2	Critical appraisal 1		藤原 武男, 那波 伸敏, 森田 彩子, 谷 友香子, 山岡 祐衣, 西村 久明	【到達目標】1)2)4) 【学習方法】グループ討論/対面講義
4	4/5	14:20-15:40	医学科講義室2	システムティックレビュー		藤原 武男, 谷 友香子, 山岡 祐衣, 河原 智樹	【到達目標】1)2)4) 【学習方法】グループ討論/対面講義
5	4/12	12:50-14:10	医学科講義室2	グローバルヘルス		中村 桂子	【到達目標】1)3) 【学習方法】対面講義
6	4/12	14:20-15:40	医学科講義室2	公衆衛生学とAIの接点、その学び方		清水 秀幸	【到達目標】1)3) 【学習方法】対面講義
7	4/24	10:30-11:50	医学科講義室2	Critical appraisal 2		藤原 武男, 那波 伸敏, 森田 彩子, 谷 友香子, 山岡 祐衣, 西村 久明	【到達目標】1)2)4) 【学習方法】グループ討論/対面講義
8	4/24	12:50-14:10	医学科講義室2	障害児医療		高橋わか, 谷友香子	【到達目標】1)3) 【学習方法】対面講義/全体討論
9	4/24	14:20-15:40	医学科講義室2	ゲノム疫学	DPC;「社会疫学」上下巻	田中 敏博	【到達目標】1)3) 【学習方法】対面講義
10	4/26	12:50-14:10	医学科講義室2	歯科疫学	「社会疫学」上下巻	相田 潤	【到達目標】1)3) 【学習方法】対面講義
11	4/26	14:20-15:40	医学科講義室2	たばこ・がん対策	「社会疫学」上下巻	片野田 耕太	【到達目標】1)3) 【学習方法】対面講義
12	4/26	15:50-17:10	医学科講義室2	ライフコース疫学	「社会疫学」上下巻	藤原 武男	【到達目標】1) 【学習方法】対面講義
13	4/30	09:00-10:20	医学科講義室2	児童虐待		山田 不二子	【到達目標】1)3)

			義室 2				【学習方法】対面 講義
14	4/30	10:30-11:50	医学科講 義室 2	空間疫学と GIS		高橋 邦彦	【到達目標】1)3) 【学習方法】対面 講義
15	4/30	12:50-14:10	医学科講 義室 2	医療行政		岡田 就将	【到達目標】1)3) 【学習方法】対面 講義
16	4/30	14:20-15:40	医学科講 義室 2	Critical appraisal 3		藤原 武男, 那波 伸敏, 森田 彩子, 谷 友香子, 山岡 祐衣, 西村 久明	【到達目標】1)2)4) 【学習方法】グル ープ討論/対面講 義
17	5/15	14:20-15:40	医学科講 義室 2	公衆衛生学試験	〈科目別アンケート※〉	谷 友香子	

授業方法

全日程同期型対面授業を行う。

4月2日、5日、24日、30日は、講義室にて講義とグループワークを実施する。

4月5日、24日、30日のグループワークではクリティカル・アプレイザルを実施する。

4月5日のシステムティックレビューの講義では、システムティックレビューの方法を実演する。グループワークでは、テーマの設定や検索式の作成等を行う。

上記のグループワークでは、4月2日の講義内容(谷友香子:疫学)を把握している必要があるため、講義内容を復習してから望むこと。

質問やコメントについては講義中に答えるか、メールにて対応する。

〈レポート課題〉

下記の授業のうち、前半の1-5から2つ、後半の6-11から3つの合計5つを選んで講義の中で興味を持ったことについてその理由とともにレポートを300字以上で作成し、5月9日までに提出すること。(試験の受験資格)なお、講義内容をまとめただけのレポートは認めない。

前半

1. 谷友香子:疫学
2. 中村桂子:グローバルヘルス
3. 清水秀幸:公衆衛生学とAIの接点、その学び方
4. 高橋ちか:障害児医療
5. 田中敏博:ゲノム疫学

後半

6. 相田潤:歯科疫学
7. 片野田耕太:たばこ・がん対策
8. 藤原武男:ライフコース疫学
9. 山田不二子:児童虐待
10. 高橋邦彦:空間疫学とGIS
11. 岡田就将:医療行政

〈システムティックレビュー課題〉

2人以上のグループでシステムティックレビューを行い、5月19日までに提出すること。(成績評価)

授業内容

授業スケジュールに各回の授業内容は示してある。
成績評価の方法 提出課題(システムティックレビュー)ならびに最終日に実施される筆記試験によって行う 1)提出課題(システムティックレビュー) 40 点 2)筆記試験 60 点 (記述式問題)
成績評価の基準 提出課題ならびに筆記試験の結果から、次のように行う。 1) と2)の合計が 60 点以上の場合に合格とし、合計点をこの科目の評価とする。
準備学習等についての具体的な指示 事前に Webclass にアップした資料(論文、著作、教科書のチャプター等)がある場合、しっかり読んでおくこと。
試験の受験資格 以下が、定期試験ならびに追・再試験を受験する資格となる。 ・課されたレポートを提示された期限までに提出すること。(8割以上の提出率が必要) 特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合は、その事情とともに、締め切り期日が過ぎる前までに科目責任者または医学教務係にメールのように日時の記録が残る形で連絡することを必須とする。連絡できないような特別な事情があったとあとで判断された場合はその限りではない。これらの十分な対応がおこなわれていたと判断された場合には、事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。
教科書 社会疫学 上/リサ・F.バークマン,Berkman, Lisa F.,河内, 一郎,Glymour, M. Maria,高尾, 総司,藤原, 武男,近藤, 尚己,:大修館書店, 2017-09 社会疫学 下/リサ・F.バークマン,Berkman, Lisa F.,河内, 一郎,Glymour, M. Maria,高尾, 総司,藤原, 武男,近藤, 尚己,:大修館書店, 2017-09
参考書 Oxford Textbook of Public Health (5 ed.)/Roger Detels, Robert Beaglehole, Mary Ann Lansang, and Martin Gulliford:Oxford University Press, 2011 Maxey-Rosenau-Last Public Health and Preventive Medicine (15 ed.)/Robert Wallace:McGraw-Hill Medical, 2007 A Dictionary of Epidemiology. 6th ed./International Epidemiological Association:Oxford University Press, 2014 厚生指針 増刊 国民衛生の動向/厚生労働統計協会:厚生労働統計協会 厚生労働白書/厚生労働省:日経印刷, 毎年 医学からみた「幸福は人に伝わる」/藤原武男:潮出版社
他科目との関連 公衆衛生学は典型的な社会医学であるから、基礎医学、臨床医学の各科目と深く関係する。系別講義「行動科学」、「衛生学」、「医動物学」、「法医学」とは特に密接に関連する。
備考 参考資料等、教材はすべて著作物であり、著作権の関係上、外部に流出することのないように十分気を付けること。 昨年のアンケートよりの改善点 システムティックレビューについてもう少し説明が欲しいということだったため、詳細を説明する時間を確保した。

時間割番号	011057					
科目名	臨床医学導入			科目ID		
担当教員	東田 修二, 立石 宇貴秀[TODA SHUJI, TATEISHI UKIHIDE]					
開講時期	2024 年度前期	対象年次	3	単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する					
授業の詳細は、臨床医学導入(放射線診断学)と臨床医学導入(臨床検査医学)のそれぞれのシラバスを参照してください。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	5/20	09:00-10:20	遠隔授業 (非同期型)	9:00-9:40 検査医学総論 9:40-10:20 血液学的検査	伊藤 真以 東田 修二	【到達目標】1), 2) 【学習方法】非同期ビデオ 【その他】非同期型なので、この時間帯に視聴する必要はありません。
2	5/20	10:30-11:50	遠隔授業 (非同期型)	生化学検査	東田 修二	【到達目標】2) 【学習方法】非同期ビデオ 【その他】非同期型なので、この時間帯に視聴する必要はありません。
3	5/20	12:50-14:10	遠隔授業 (同期型)	輸血総論	梶原 道子	【到達目標】4) 【学習方法】遠隔講義
4	5/20	14:20-15:40	遠隔授業 (同期型)	画像診断入門	立石 宇貴秀	【到達目標】1) 【学習方法】遠隔講義
5	5/21	09:00-10:20	遠隔授業 (同期型)	血管、IVR	岸野 充浩	【到達目標】2),3) 【学習方法】遠隔講義
6	5/21	10:30-11:50	遠隔授業 (同期型)	生理検査	叶内 匡	【到達目標】5) 【学習方法】遠隔講義
7	5/21	12:50-14:10	遠隔授業 (同期型)	腹部・骨盤部	横山 幸太	【到達目標】2),3) 【学習方法】遠隔講義
8	5/21	14:20-15:40	遠隔授業 (非同期型)	免疫学的検査・尿検査・遺伝子検査	東田 修二	【到達目標】2) 【学習方法】非同期ビデオ 【その他】非同期型なので、この時間帯に視聴する必要はありません。
9	5/22	09:00-10:20	遠隔授業 (同期型)	9:00-9:40 「米国の最先端病院での臨床検査」(佐々木宏治 准教	東田 修二	【到達目標】6)【学習方法】遠隔講

				授、MD Anderson Cancer Center)、9:40-10:20 Reversed clinico-pathological conference (東田)		義、アクティブラーニング【その他】前半:アメリカの先進病院の医師による講義と質疑応答を行う。後半:事前に提示され学習してきた症例の検査結果の解釈について討論を行う。
10	5/22	10:30-11:50	遠隔授業 (同期型)	胸部	山鹿 絵美	【到達目標】2),3) 【学習方法】遠隔講義
11	5/22	12:50-14:10	遠隔授業 (同期型)	乳腺	町田 洋一	【到達目標】3) 【学習方法】遠隔講義
12	5/22	14:20-15:40	遠隔授業 (同期型)	中枢神経	大山 潤	【到達目標】2),3) 【学習方法】遠隔講義
13	5/23	12:50-14:10	遠隔授業 (同期型)	腹膜	磯貝 純	【到達目標】3) 【学習方法】遠隔講義
14	5/23	14:20-15:40	遠隔授業 (非同期型)	感染症検査	東田 修二	【到達目標】3) 【学習方法】非同期ビデオ 【その他】非同期型なので、この時間帯に視聴する必要はありません。
15	5/23	15:50-17:10		予備枠		
16	5/27	09:00-10:20	遠隔授業 (同期型)	ミニケース(放射線診断)	藤岡 友之	ミニケースによるアクティブラーニング
17	5/27	10:30-11:50		自習		
18	5/27	12:50-14:10	医学科講義室 2	評価(筆記試験) 臨床検査医学	伊藤 真以	
19	5/27	14:20-15:40	医学科講義室 2	評価(筆記試験) 放射線診断学	足立 拓也	

連絡先(メールアドレス)

オフィスアワー

時間割番号	011062		
科目名	臨床医学導入(臨床検査医学)	科目ID	
担当教員	東田 修二[TODA SHUJI]		
開講時期	2024 年度前期	対象年次	3
実務経験のある教員による授業	該当する		
主な講義場所 遠隔授業(同期型)、遠隔授業(非同期型)			
授業の目的、概要等 臨床各ブロックの導入として、臨床検査に関する総論的な講義を中心に学習を進める。臨床検査に関連するミニケースを提示し、講義で扱った知識の応用力をつける。RCPC(Reversed Clinico-Pathological Conference)により、さまざまな検査結果を統合的に解釈し、討論する能力を養う。アメリカの先進病院に勤務する医師によるオンライン講義も行う。			
授業の到達目標 文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(令和4年度改訂版) https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/116/toushin/mext_01280.html PS-02-05)03 PS-02-10)03 PS-03-06)01,02,03,04,05,06,07,08 CS-02-04)07,15,16 CM-02-01)01,02 CM-02-02)01 CM-02-03)01,02,03,04 1)検査の基準値、カットオフ値、感度、特異度の意味を説明できる。 2)血液学的検査、生化学検査、免疫学的検査、尿・便検査、遺伝子検査の結果を解釈できる。 3)感染症(細菌、ウイルス)検査の適応を説明し、結果を解釈できる。 4)輸血検査の結果の解釈と、血液製剤の種類と使い分け、副作用を説明できる。 5)心電図、呼吸機能検査、超音波検査、神経生理検査の結果を解釈できる。 6)臨床検査の所見を総合的に解釈できる。			
授業方法 同期型遠隔授業 1)講義 2)提示症例をもとにした討論(ミニケース)によるアクティブラーニングを行う 3)提示症例の事前学習と討論(RCPC)によるアクティブラーニングを行う 非同期型遠隔授業 1)講義			
授業内容 「臨床医学導入」の授業スケジュール表を参照			
成績評価の方法 5/27(月)に筆記試験で評価する。臨床検査医学の全ての講義の中で、教員が話した内容(WebClass 上の資料に記載されていない内容も含むことがある)について、MCQ のマークシート方式で問う。講義 1 コマあたり 10 問前後を出題し、合計約 75 問の予定である。英文による問題も含まれる。			
成績評価の基準 100 点換算で 60 点以上を合格とする。60 点以上を B とし、得点の分布などを勘案し、点数に応じて、A、A+の評価を付する。			
準備学習等についての具体的な指示			

これまでに学んだ基礎医学(生化学、免疫学、細菌・ウイルス学、生理学、解剖学など)のうち、臨床検査に関わる内容を復習しておく。
試験の受験資格 出席はとらないので、受験資格には関与しない。なお、授業中に、授業内容の理解を問う試問を行うことがあり、これを 5/27(月)に行う試験の成績の加点に用いることがある。
参考書 標準臨床検査医学／高木 康, 1951-, 山田 俊幸, 1960-, 大西 宏明, 高木康 監修, 山田俊幸, 大西宏明 編集, 山田俊幸 [ほか] 執筆: 医学書院, 2023.2 臨床検査ガイド : これだけは必要な検査のすすめかた・データのよみかた／大西宏明 [ほか] 編, 大西 宏明, : 文光堂, 2020 今日の臨床検査／櫻林郁之介 監修, 矢富裕, 廣畑俊成, 山田俊幸, 石黒厚至 編集, 池田均 [ほか] レビュアー, 池田均 [ほか] 執筆, 櫻林郁之介, 1942-, 矢富 裕, 廣畑 俊成, 山田 俊幸, 1960-, 石黒 厚至, : 南江堂, 2021 ウィントロブ臨床血液学アトラス／ダグラス C. カチャック, ジャン V. ヒルシュマン編 ; 奈良信雄監訳・訳 ; 東田修二, 星百合子 訳, Tkachuk, Douglas C., Hirschmann, Jan V., 奈良 信雄, 東田 修二, 星 百合子, : メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2008 臨床検査のガイドライン JSLM 2021 : 検査値アプローチ/症候/疾患／日本臨床検査医学会ガイドライン作成委員会 編集, 日本臨床検査医学会, : 日本臨床検査医学会, 2021 内科診断学／福井次矢, 奈良信雄編集, 福井 次矢, 奈良 信雄, : 医学書院, 2016 血液細胞アトラス／通山薫, 張替秀郎編, 通山 薫, 張替 秀郎, : 文光堂, 2018 Reversed C.P.C.による臨床検査データ読み方トレーニング／熊坂一成 [ほか] 編, 熊坂 一成, 1948-, : 日本医事新報社, 2005
他科目との関連 基礎医学、臨床医学のすべての分野と関連するので、他科目の知識を応用して学習する。
履修上の注意事項 1) RCPC でアクティブラーニングを行うので、事前学習が必要である。 2) 講義内容に対する質問があれば、東田(tohda.mlab@tmd.ac.jp)へメール連絡すること。必要に応じ、当方で担当教員へ転送する。
連絡先(メールアドレス) 東田 修二: tohda.mlab@tmd.ac.jp
オフィスアワー 東田 修二: 毎週火曜日 AM 9:00-PM 18:00 M&D タワー10 階南 臨床検査医学教授室

時間割番号	011063		
科目名	臨床医学導入(放射線科)	科目ID	
担当教員	立石 宇貴秀[TATEISHI UKIHide]		
開講時期	2024 年度前期	対象年次	3
実務経験のある教員による授業	該当する		
主な講義場所 遠隔授業(同期型)、遠隔授業(非同期型)			
授業の目的、概要等 臨床各ブロックの導入として、画像診断に関する総論的な講義を中心に学習を進める。画像診断に関連するミニケースを提示し、講義で扱った知識の応用をはかる。			
授業の到達目標 1)画像診断検査の意義と原理を説明できる 2)各モダリティ毎に臨床意義と検査適応や被ばくについて説明できる 3)各領域毎に代表的疾患の診断プロセスを理解できる 文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(令和4 年度改訂版) https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/116/toushin/mext_01280.html PS-02-05)03 PS-02-10)03 PS-03-06)01,02,03,04,05,06,07,08 CS-02-04)07,15,16 CM-02-01)01,02 CM-02-02)01 CM-02-03)01,02,03,04 医学科コンピテンシーよりこの科目で身につけるレベル [I-2-B]世界的に注目されている医学／歯学／健康に関する主たるトピックについて、議論できる [I-3-B]科学/医学/歯学専門用語/表現の理解/表記/発音ができる [II-1-A]医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる [II-3-B]臨床的あるいは科学的問題提起ができる [III-1-A]他者の貢献、時間、価値感、人格を尊重し、常に敬意を払って接することができる [III-9-A]個人の生活における責務と医学科での学習及び社会的な責務について、適切にバランスを取ることができる[III-12-A]メンタルストレスに直面した際、それを認識し、適切な解消処置をとれる [III-14-A]時間厳守、信頼性、適切な準備、率先性、遂行能力を示すことができる [III-15-A]文書課題を、正確で判読しうる質にて作成し、規定期限内に提出できる [III-16-A]本学を含めた当該機関内規、法律、専門職社会内規範を遵守できる [III-18-A]他者への良識を逸する振舞い(無礼、短気など)を認識し、助言を求め、今後起こさぬよう振舞いを修正することができる [III-23-A]記述、プレゼンテーション、論文、および研究情報などの利用において、著作権を尊重し、それに沿って行動できる[III-26-A]自身の知識・能力・振舞いを批判的に省察し、長所と課題点を同定し、改善の為の学習目標を設定し、それを達成するのに適した学習活動に取り組むことができる [III-27-A]自身に対するフィードバックにもとづき省察し自己改善を実現できる [III-28-A]他人に建設的なフィードバックを適切な形で提示できる [III-29-A]ポートフォリオを活用して、課題設定を行い、自己学習・自己研鑽できる [V-1-A]基礎医学の知識を疾患の病因・病態・臨床徴候などの理解に応用できる			

[V-2-B]頻度の高い疾患について、疫学/病因/病理/病態/症候/予後を説明できる [V-3-C]症候／問題の原因評価において用いられる評価法についての知識(適応／合併症／限界)を提示できる [V-4-B]頻度の高い疾患に対する治療法(薬物療法、非薬物療法の双方を含む)に関する知識を提示できる [V-7-B]頻度の高い疾患についての予防戦略についての知識を提示できる [VI-8-D]臨床推論にもとづく診断過程を説明できる [VI-9-D]患者から基本的情報を収集・統合し、病歴の標準書式にまとめることができる [VI-11-C]成人の身体診察を、基本的要素ごとに行える [VI-15-D]正常所見を説明できる
授業方法 1)講義(本年は同期授業の予定) 2)症例提示をもとにした討論でミニケースによるアクティブラーニング
授業内容 「臨床医学導入」の授業スケジュール表を参照
成績評価の方法 画像診断に関して行った全ての講義において教員が話した内容(WebClass の資料に記載されていない内容も含む)について、金曜午後に筆記試験(MCQ のマークシート方式)で評価する。英文による問題も含まれる。
成績評価の基準 100 点換算で 60 点以上を合格とする。60 点以上を B とし(評価 B GP3.0 レベル以上)、得点の分布などを勘案し、点数に応じて、A、A+ の評価を付する。
準備学習等についての具体的な指示 放射線科の画像診断は学習範囲が広いため、参考図書などを用い予め予習をしておく。
試験の受験資格 出席はとらないので、受験資格には関与しない。なお、授業中に、授業内容の理解を問う小テスト(授業を聞いていれば答えられる程度の内容)を行うことがあり、これを最終日に行う試験の成績の加点に用いることがある。
教科書 医療系のための画像診断・核医学検査ベーシック／立石宇貴秀:イーサイトヘルスケア, 2018
参考書 医療系のための画像診断・核医学検査ベーシック／立石宇貴秀:イーサイトヘルスケア, 2018
履修上の注意事項 放射線科の画像診断は学習範囲が広いため、参考図書などを用い予め予習をしておく。
備考 放射線科の画像診断は学習範囲が広いため、参考図書などを用い事前学習が必要。 ミニケースでアクティブラーニングによる参加型授業を行うため事前学習が必要。質問等はメールにて連絡すること。アドレスは radiology.mrad@tmd.ac.jp。
連絡先(メールアドレス) 立石 宇貴秀 radiology.mrad@tmd.ac.jp
オフィスアワー 立石 宇貴秀:毎週月～金 9:30～16:00 M&D タワー9 階 S964 室 放射線科医局

時間割番号	011058				
科目名	循環器		科目ID		
担当教員	笹野 哲郎[SASANO TETSUO]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	3	単位数	3
実務経験のある教員による授業	該当する				
主な講義場所 医学科講義室 2					
授業の到達目標 ① 基礎医学の知識が、臨床医学においてどのように使われているのかを学ぶ ② 症候学、身体診察の基本について学ぶ ③ 各論において、各疾患の病態、検査や治療の具体的な方法について学ぶ ④ ミニケースを用いて、臨床分野において医学知識を応用する方法を学ぶ 文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(令和4 年度改訂版) https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/116/toushin/mext_01280.html GE-01-01)01,02,03,04,05,06 GE-01-04)04,05 PS-01-03)14,33 PS-01-04)14 PS-02-06)01,02,03,04,05 PS-02-14)03 PS-03-02)03 PS-03-04)21 PS-03-05)02,04 IT-01-02)01 CS-01-01)01,02 CS-01-02)01,02,03,04,05 CS-02-01)01,02 CS-02-02)01,02 CS-02-03)01,02,03,04,05,06,07 CS-02-04)01,02,04,05,06,08,09,11,12,15,16,18 CS-03-01)01 CS-03-02)01 CS-03-03)01,02,05 CS-03-06)01,02 CS-05-04)02 CM-01-01)01,02 CM-02-02)01 IP-01-03)01 医学科コンピテンシーよりこの科目で身につけるレベル [I-2-B]世界的に注目されている医学／歯学／健康に関する主たるトピックについて、議論できる [I-3-B]科学/医学/歯学専門用語/表現の理解/表記/発音ができる [II-1-A]医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる [II-3-B]臨床的あるいは科学的問題提起ができる [III-1-A]他者の貢献、時間、価値感、人格を尊重し、常に敬意を払って接することができる					

[Ⅲ-9-A]個人の生活における責務と医学科での学習及び社会的な責務について、適切にバランスを取ることができる

[Ⅲ-12-A]メンタルストレスに直面した際、それを認識し、適切な解消処置をとれる

[Ⅲ-14-A]時間厳守、信頼性、適切な準備、率先性、遂行能力を示すことができる

[Ⅲ-15-A]文書課題を、正確で判読しうる質にて作成し、規定期限内に提出できる

[Ⅲ-16-A]本学を含めた当該機関内規、法律、専門職社会内規範を遵守できる

[Ⅲ-18-A]他者への良識を逸する振舞い(無礼、短気など)を認識し、助言を求め、今後起こさぬよう振舞いを修正することができる

[Ⅲ-23-A]記述、プレゼンテーション、論文、および研究情報などの利用において、著作権を尊重し、それに沿って行動できる

[Ⅲ-26-A]自身の知識・能力・振舞いを批判的に省察し、長所と課題点を同定し、改善の為の学習目標を設定し、それを達成するのに適した学習活動に取り組むことができる

[Ⅲ-27-A]自身に対するフィードバックにもとづき省察し自己改善を実現できる

[Ⅲ-28-A]他人に建設的なフィードバックを適切な形で提示できる

[Ⅲ-29-A]ポートフォリオを活用して、課題設定を行い、自己学習・自己研鑽できる

[Ⅳ-1-B]書面にて、患者に関する臨床情報を統合し要約することができる

[Ⅴ-1-A]基礎医学の知識を疾患の病因・病態・臨床徴候などの理解に応用できる

[Ⅴ-2-B]頻度の高い疾患について、疫学/病因/病理/病態/症候/予後を説明できる

[Ⅴ-3-C]症候／問題の原因評価において用いられる評価法についての知識(適応／合併症／限界)を提示できる

[Ⅴ-4-B]頻度の高い疾患に対する治療法(薬物療法、非薬物療法の双方を含む)に関する知識を提示できる

[Ⅴ-7-B]頻度の高い疾病についての予防戦略についての知識を提示できる

[Ⅵ-8-C]主要な症候をきたす病態/疾患を列挙できる

[Ⅵ-15-C]臨床実習の学習項目に含まれる異常所見と、その診断的意義を説明できる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	5/28	09:00-10:20	医学科講義室2	循環器内科総論	笹野 哲郎	到達目標:①、② シラバスに記載した参考文献で予習をして臨むことが好ましい。
2	5/28	10:30-11:50	医学科講義室2	循環器生理基礎と心電図	笹野 哲郎	到達目標:② シラバスに記載した参考文献で予習をして臨むことが好ましい。
3	5/28	12:50-14:10	医学科講義室2	身体診察	前嶋 康浩	到達目標:① シラバスに記載した参考文献で予習をして臨むことが好ましい。
4	5/28	14:20-15:40	医学科講義室2	心エコー検査	落田 美瑛	到達目標:②、③ シラバスに記載した参考文献で予習をして臨むことが好ましい。
5	5/28	15:50-17:10	医学科講義室2	循環器外科総論/病態生理と外科治療総論	藤田 知之	到達目標:①、② シラバスに記載した参考文献で予習をして臨むことが好ましい。
6	5/29	09:00-10:20	医学科講義室2	心筋疾患I(基礎)	井原 健介	到達目標:① シラバスに記載した参考文献で予習をして臨むことが好ましい。

			義室 2			ラパスに記載した参考文献で予習をして臨むことが好ましい。
7	5/29	10:30-11:50	医学科講義室 2	心筋疾患Ⅱ(臨床)	前嶋 康浩	到達目標:① シラパスに記載した参考文献で予習をして臨むことが好ましい。
8	5/29	12:50-14:10	医学科講義室 2	心電図(臨床)	河村 岩成	到達目標:②、③ シラパスに記載した参考文献で予習をして臨むことが好ましい。
9	5/29	14:20-15:40	医学科講義室 2	循環器外科総論／病態生理と外科治療総論	江花 有亮	到達目標:① シラパスに記載した参考文献で予習をして臨むことが好ましい。
10	5/31	09:00-10:20	医学科講義室 2	心不全	杉山 知代	到達目標:③ シラパスに記載した参考文献で予習をして臨むことが好ましい。
11	5/31	10:30-11:50	医学科講義室 2	虚血性心疾患Ⅰ(内科)	金子 英司	到達目標:③ シラパスに記載した参考文献で予習をして臨むことが好ましい。
12	5/31	12:50-14:10	医学科講義室 2	虚血性心疾患Ⅱ(内科)	米津 太志	到達目標:③ シラパスに記載した参考文献で予習をして臨むことが好ましい。
13	5/31	14:20-15:40	遠隔授業(同期型)	弁膜症(内科)	平澤 憲祐	到達目標:③ シラパスに記載した参考文献で予習をして臨むことが好ましい。
14	5/31	15:50-17:10	遠隔授業(同期型)	感染性心内膜炎・心膜疾患	平澤 憲祐	到達目標:③ シラパスに記載した参考文献で予習をして臨むことが好ましい。
15	6/3	09:00-10:20	医学科講義室 2	CT、MRI、心筋シンチ、PET	田尾 進	到達目標:②、③ シラパスに記載した参考文献で予習をして臨むことが好ましい。

16	6/3	10:30-11:50	医学科講義室2	先天性心疾患Ⅰ	山口 洋平	到達目標:②、③ シラバスに記載した参考文献で予習をして臨むことが好ましい。
17	6/3	14:20-15:40	医学科講義室2	不整脈Ⅰ(基礎)	古川 哲史	到達目標:③ シラバスに記載した参考文献で予習をして臨むことが好ましい。
18	6/4	09:00-10:20	医学科講義室2	先天性心疾患Ⅳ(心エコー、カテーテル治療)	石井 卓	到達目標:③ シラバスに記載した参考文献で予習をして臨むことが好ましい。
19	6/4	10:30-11:50	医学科講義室2	動脈疾患Ⅰ	工藤 敏文	到達目標:②、③ シラバスに記載した参考文献で予習をして臨むことが好ましい。
20	6/4	12:50-14:10	医学科講義室2	動脈疾患Ⅱ	工藤 敏文	到達目標:③ シラバスに記載した参考文献で予習をして臨むことが好ましい。
21	6/4	15:50-17:10	医学科講義室2	弁膜症 外科治療	藤田 知之	到達目標:③ シラバスに記載した参考文献で予習をして臨むことが好ましい。
22	6/5	09:00-10:20	遠隔授業(同期型)	循環器疾患と疫学	濱谷 陸太	到達目標:① シラバスに記載した参考文献で予習をして臨むことが好ましい。
23	6/5	10:30-11:50	医学科講義室2	先天性心疾患Ⅱ	山口 洋平	到達目標:③ シラバスに記載した参考文献で予習をして臨むことが好ましい。
24	6/5	14:20-15:40	医学科講義室2	肺循環	篠岡 太郎	到達目標:③ シラバスに記載した参考文献で予習をして臨むことが好ましい。

25	6/5	15:50-17:10	医学科講義室2	心臓カテーテル検査、電気生理検査	滝川 正晃	到達目標:③ シラバスに記載した参考文献で予習をして臨むことが好ましい。
26	6/6	12:50-14:10	医学科講義室2	小児循環器外科 治療	川畑 拓也	到達目標:③ シラバスに記載した参考文献で予習をして臨むことが好ましい。
27	6/6	14:20-15:40	医学科講義室2	不整脈Ⅱ(徐脈)	山本 佑	到達目標:③ シラバスに記載した参考文献で予習をして臨むことが好ましい。
28	6/6	15:50-17:10	医学科講義室2	不整脈Ⅲ(頻脈)	宮崎 晋介	到達目標:③ シラバスに記載した参考文献で予習をして臨むことが好ましい。
29	6/10	09:00-10:20	医学科講義室2	静脈疾患・リンパ疾患	山本 洋平	到達目標:③ シラバスに記載した参考文献で予習をして臨むことが好ましい。
30	6/10	10:30-11:50	医学科講義室2	ミニケース1 息切れ	松田 祐治	到達目標:④ グループワークもしくは課題発表
31	6/10	12:50-14:10	医学科講義室2	ミニケース2 めまい、動悸	西村 卓郎	到達目標:④ グループワークもしくは課題発表
32	6/11	09:00-10:20	医学科講義室2	大動脈疾患	梅本 朋幸	到達目標:③ シラバスに記載した参考文献で予習をして臨むことが好ましい。
33	6/11	10:30-11:50	医学科講義室2	ミニケース7 失神	後藤 健太郎	到達目標:④ グループワークもしくは課題発表
34	6/11	12:50-14:10	医学科講義室2	ミニケース3 間欠性跛行	工藤 敏文	到達目標:④ グループワークもしくは課題発表
35	6/11	14:20-15:40	医学科講義室2	ミニケース4 腹痛	工藤 敏文	到達目標:④ グループワークもしくは課題発表
36	6/11	15:50-17:10	医学科講義室2	虚血性心疾患Ⅲ(外科)	長岡 英気	到達目標:③ シラバスに記載した参考文献で予習をして臨むことが

						好ましい。
37	6/12	09:00-10:20	医学科講義室2	体外循環、補助循環、人工心臓、心臓移植	藤原 立樹	到達目標:③ シラバスに記載した参考文献で予習をして臨むことが好ましい。
38	6/12	12:50-14:10	医学科講義室2	ミニケース6 背部痛	大石 清寿	到達目標:④ グループワークもしくは課題発表
39	6/12	14:20-15:40	医学科講義室2	先天性心疾患Ⅲ 成人先天性心疾患	落田 美瑛	到達目標:③ シラバスに記載した参考文献で予習をして臨むことが好ましい。
40	6/12	15:50-17:10	医学科講義室2	ミニケース5 胸痛	山上 洋介	到達目標:④ グループワークもしくは課題発表
41	6/13	14:20-15:40	医学科講義室2	ミニケース8 チアノーゼ	石井 卓	到達目標:④ グループワークもしくは課題発表
42	6/14	14:20-15:40	医学科講義室2	評価 試験	山本 佑	

授業方法

このコースは循環器疾患の具体的な症例を通じて、情報収集、検査、治療計画立案などの臨床的思考方を学び、もって問題探求、問題解決力を養うことを目的としている。臨床的な観点から循環器疾患の成り立ち、病態、診断法、治療法を講義する。後半は臨床講義として症例を通じて臨床的な考え方も含めて学ぶ。症例検討を行う講義に関しては学生側に事前に発表資料を用意してもらった参加型のアクティブラーニングも取れ入れていく。

授業内容

授業スケジュール参照

成績評価の方法

コース終了後に筆記試験を行う。

成績評価の基準

筆記試験の成績により可否を評価する。筆記試験にて60%以上の得点を得た場合に合格(B判定)とし、B以上の評価については点数に応じて行う。

ミニケースに参加した学生については、担当教員による積極性・予備学習の評価を入れて、筆記試験の点数に加点する。ミニケース加点は、最終評価を100点満点として最大10点。

準備学習等についての具体的な指示

循環器疾患に関連した解剖学、病理学、生理学、生化学、薬理学等に関する基礎的知識を再確認しておくこと。学生の積極的な参加が求められるコースである。ミニケースは循環器ブロック開始時に、各講義の担当者3名を決定する。担当学生は講義教員と連絡を取り合い、講義内容の指示を受けること。

試験の受験資格

授業明細に授業日程と内容の詳細を載せてある。ブロック全体で試験を行い、単位判定を行う。

出席は取らないが、すべての講義項目が試験範囲となるので、可能な限り講義に参加することが望ましい。

構成ユニット

対面講義と、遠隔講義を行う。

教科書

Braunwald's heart disease : a textbook of cardiovascular medicine / edited by Douglas P. Zipes, Peter Libby, Robert O. Bonow, Douglas L. Mann, Gordon F. Tomaselli, founding editor and online editor Eugene Braunwald, Zipes, Douglas P., Libby, Peter, Bonow, Robert O., Mann, Douglas L., Tomaselli, Gordon F., Braunwald, Eugene, 192 : Elsevier, 2019

Harrison's principles of internal medicine／editors, J. Larry Jameson ... [et al.],Jameson, J. Larry,Fauci, Anthony S.,Kasper, Dennis L.,Hauser, Stephen L.,Longo, D. L.,Loscalzo, Joseph.:McGraw-Hill Education, 2018
参考書 心臓病の病態生理：ハーバード大学テキスト／レオナルド S. リリー [編]；川名正敏, 川名陽子訳Lilly, Leonard S.,川名, 正敏,川名, 陽子.:メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2012 ハリソン内科学／ハリソン [原編]；ダンL ロンゴ ほか編；福井次矢 日本語版監修；黒川清 日本語版監修,ハリソン,ダン, L ロンゴ, 福井, 次矢,黒川, 清.:メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2013 内科学／矢崎義雄総編集；伊藤貞嘉 [ほか] 編集,矢崎, 義雄,伊藤, 貞嘉.:朝倉書店, 2013 Pathophysiology of heart disease : a collaborative project of medical students and faculty／editor Leonard S. Lilly,Lilly, Leonard S.,:Wolters Kluwer Health/Lippincott Williams & Wilkins, 2011 Hurst's the heart／editors, Valentin Fuster, Richard A. Walsh, Robert A. Harrington ; associate editors, Sharon A. Hunt ... [et al.],Hurst, John Willis,Fuster, Valentin,Walsh, Richard A.,Harrington, Robert S.,:McGraw-Hill Medical, 2011 循環器病学：基礎と臨床：カラー版／川名正敏 [ほか] 編,川名, 正敏,北風, 政史,小室, 一成,室原, 豊明,山崎, 力,山下, 武志.:西村書店, 2010 Beyond heart sounds(日本語版)：音と動画による新しい身体診察トレーニング／John Michael Criley, David Gerard Criley, Stuart Ross Criley 著；森 経春 訳,Criley, J. Michael,Criley, David,Criley, Stuart Ross,森, 経春.:南江堂, 2001 Bates' guide to physical examination and history taking／Bickley, Lynn S.,Szilagyi, Peter G.,Bates, Barbara.:Wolters Kluwer Health/Lippincott Williams & Wilkins, 2013 Heart sounds 動画と心音による循環器疾患診断へのアプローチ：日本語版／John Michael Criley, David Gerard Criley, Stuart Ross Criley 著,森経春 訳,Criley, J. Michael,Criley, David,Criley, Stuart Ross,森, 経春.:南江堂, 2006
備考 2023 年度のコース評価を受け、なるべく理解をしやすくなるように授業の順番を工夫した。併せて、同系統の講義はなるべく同日か近い日程で受けられるように授業計画を設計した。
連絡先(メールアドレス) 笹野 哲郎:sasano.cvm@tmd.ac.jp M&D タワー13 階南西角
オフィスアワー 笹野 哲郎オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡してから訪問すること。

時間割番号	011059				
科目名	呼吸器			科目ID	
担当教員	宮崎 泰成 古澤 春彦[MIYAZAKI YASUNARI, FURUSAWA Haruhiko]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	3	単位数	2
実務経験のある教員による授業	該当する				
呼吸器					
主な講義場所					
当ブロックのすべての講義、ミニケース、病理実習、TBL は、対面授業もしくはオンライン授業(同期または非同期)として行う。					
授業の目的、概要等					
総論的な知識として構造、機能、症候、画像、外科総論を学習し、各論として主要な成人呼吸器疾患および小児呼吸器疾患、肺移植を含む外科治療を学習する。また病理学的理解を深めるために腫瘍と非腫瘍について病理実習を行う。					
授業の到達目標					
①頻度の高い疾患について疫学/病因/病理/病態/症候/予後を説明できる。					
②頻度の高い疾患/問題の原因評価において、評価法についての知識(適応/合併症/限界))を応用できる。					
③頻度の高い疾患に対する治療法(薬物療法、非薬物療法の双方を含む)に関する知識を提示できる。					
上記のうち、①を最低限の到達目標とする。					
文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(令和4 年度改訂版)					
https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/116/toushin/mext_01280.html					
GE-01-01)03,04					
GE-01-04)05					
PS-01-03)06,12,33					
PS-02-02)01,02,03,05					
PS-02-03)01,03,04					
PS-02-04)03					
PS-02-06)02,05					
PS-02-07)01,02,03,05					
PS-02-08)03,04					
PS-02-09)01,05					
PS-02-17)05					
PS-03-02)01,02,05					
PS-03-03)01,02,04,06,07,10,11,17,18					
PS-03-04)01,04,05,06,07,08,13,23,24,25,26,27					
PS-03-05)04					
CS-02-02)01,02					
CS-02-03)07					
CS-02-04)01,10,12,13,17					
CM-02-02)01					
IP-01-03)01					

医学科コンピテンシーよりこの科目で身につけるレベル

[I-2-B]世界的に注目されている医学／歯学／健康に関する主たるトピックについて、議論できる

[I-3-B]科学/医学/歯学専門用語/表現の理解/表記/発音ができる

[II-1-A]医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる

[II-3-B]臨床的あるいは科学的問題提起ができる

[III-1-A]他者の貢献、時間、価値感、人格を尊重し、常に敬意を払って接することができる

[III-9-A]個人の生活における責務と医学科での学習及び社会的な責務について、適切にバランスを取ることができる

[III-12-A]メンタルストレスに直面した際、それを認識し、適切な解消処置をとれる

[III-14-A]時間厳守、信頼性、適切な準備、率先性、遂行能力を示すことができる

[III-15-A]文書課題を、正確で判読しうる質にて作成し、規定期限内に提出できる

[III-16-A]本学を含めた当該機関内規、法律、専門職社会内規範を遵守できる

[III-18-A]他者への良識を逸する振舞い(無礼、短気など)を認識し、助言を求め、今後起こさぬよう振舞いを修正することができる

[III-23-A]記述、プレゼンテーション、論文、および研究情報などの利用において、著作権を尊重し、それに沿って行動できる

[III-26-A]自身の知識・能力・振舞いを批判的に省察し、長所と課題点を同定し、改善の為に学習目標を設定し、それを達成するのに適した学習活動に取り組むことができる

[III-27-A]自身に対するフィードバックにもとづき省察し自己改善を実現できる

[III-28-A]他人に建設的なフィードバックを適切な形で提示できる

[III-29-A]ポートフォリオを活用して、課題設定を行い、自己学習・自己研鑽できる

[IV-1-B]書面にて、患者に関する臨床情報を統合し要約することができる

[V-1-A]基礎医学の知識を疾患の病因・病態・臨床徴候などの理解に応用できる

[V-2-B]頻度の高い疾患について、疫学/病因/病理/病態/症候/予後を説明できる

[V-3-C]症候／問題の原因評価において用いられる評価法についての知識(適応／合併症／限界)を提示できる

[V-4-B]頻度の高い疾患に対する治療法(薬物療法、非薬物療法の双方を含む)に関する知識を提示できる

[V-7-B]頻度の高い疾病についての予防戦略についての知識を提示できる

[VI-8-C]主要な症候をきたす病態/疾患を列挙できる

[VI-15-C]臨床実習の学習項目に含まれる異常所見と、その診断的意義を説明できる

[VI-25-B]患者隔離の必要な感染症につき、感染経路や症候、予後、予防・治療を説明できる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	7/8	09:00-10:20	医学科講義室2	呼吸器の臨床解剖学	到達目標:D6-1)①②③ 学習方法:講義(小テストまたはレポートあり): 呼吸器についての基本的な解剖学的事項の復習と、臨床的に重要と考えられる事項の確認	秋田 恵一	小テストをウェブクラス内にあげておくので、解答すること。また、リアクションペーパーについてもウェブクラス内にあげておくので任意ですが回答すること。期限は当日の23時59分までとする。
2	7/8	10:30-11:50	医学科講義室2	胸部画像検査	到達目標:D6-2)① 学習方法:講義	角 勇樹	到達度は1週目の呼吸器ブロック期間終了後に行われるTBLの結果で評価する
3	7/8	12:50-14:10	医学科講義室2	外科(総論・肺癌)	到達目標:D6-4)-(9) 学習方法:講義	大久保 恵一	到達度は1週目の呼吸器ブロック

							期間終了後に行われるTBLの結果で評価する
4	7/8	14:20-15:40	医学科講義室2	小児科領域の呼吸器疾患	到達目標:D-6-4) 学習方法:学習方法:講義	石井 卓	到達度は1週目の呼吸器ブロック期間終了後に行われるTBLの結果で評価する
5	7/8	15:50-17:10	医学科講義室2	抗酸菌症	到達目標:D-6-4)-(2)③、④ 学習方法:講義:肺結核と非結核性抗酸菌症について必要な基本的知識を身につける	榊原 里江	到達度は1週目の呼吸器ブロック期間終了後に行われるTBLの結果で評価する
6	7/9	09:00-10:20		予備枠	予備枠		
7	7/9	10:30-11:50	遠隔授業(非同期型)	COPD・DPB・LAM	到達目標:D-6-(3) 学習方法:講義	立石 知也	到達度は1週目の呼吸器ブロック期間終了後に行われるTBLの結果で評価する
8	7/9	12:50-14:10	医学科講義室2	呼吸機能検査・動脈血ガス分析	到達目標:D-6-1)④-⑨ 学習方法:講義	古澤 春彦	到達度は1週目の呼吸器ブロック期間終了後に行われるTBLの結果で評価する
9	7/9	14:20-15:40	医学科講義室2	肺炎	到達目標:D-6-4)-(2) 学習方法:講義	白井 剛	到達度は1週目の呼吸器ブロック期間終了後に行われるTBLの結果で評価する
10	7/9	15:50-17:10		予備枠			
11	7/10	09:00-10:20	医学科講義室2	肺癌	到達目標:D-6-4)-(9) 学習方法:講義	本多 隆行	到達度は1週目の呼吸器ブロック期間終了後に行われるTBLの結果で評価する
12	7/10	10:30-11:50	医学科講義室2	サルコイドーシス・過敏性肺炎	到達目標:D-6-4)-(5) 学習方法:講義・演習	岡本 師	到達度は1週目の呼吸器ブロック期間終了後に行われるTBLの結果で評価する
13-14	7/10	12:50-15:40	4 階学生実習室	病理実習(腫瘍)	到達目標:D-6-4)-(9) 学習方法:実習	桐村 進	到達度は1週目の呼吸器ブロック期間終了後に行われるTBLの結果で評価する
15	7/10	15:50-17:10		予備枠			
16	7/11	12:50-14:10	医学科講義室2	外科(縦隔腫瘍・胸膜疾患)	到達目標:D-6-4)-(8) 学習方法:講義	石橋 洋則	到達度は1週目の呼吸器ブロック期間終了後に行

							われるTBLの結果で評価する
17	7/11	14:20-15:40	医学科講義室2	肺真菌症・日和見感染	到達目標:D-6-4)-(2) 学習方法:講義	白井 剛	到達度は1週目の呼吸器ブロック期間終了後に行われるTBLの結果で評価する
18	7/11	15:50-17:10		予備枠			
19	7/12	09:00-10:20		予備枠			
20	7/12	10:30-11:50		予備枠			
21-22	7/12	12:50-15:40	医学科講義室2	TBL	第1週目の授業内容について学習目標到達度を評価する。	宮崎 泰成	主に症例形式の応用問題にチームで解答する。
23	7/12	15:50-17:10		予備枠			
24	7/16	09:00-10:20	遠隔授業(非同期型)	肺循環障害	到達目標:D-6-4)-(3)④ 学習方法:講義	立石 知也	到達度は2週目の呼吸器ブロック期間終了後に行われるTBLの結果で評価する
25	7/16	10:30-11:50	医学科講義室2	異常呼吸	到達目標:D-6-3) 学習方法:講義	島田 翔	到達度は2週目の呼吸器ブロック期間終了後に行われるTBLの結果で評価する
26	7/16	12:50-14:10	遠隔授業(非同期型)	気管支喘息	到達目標:D-6-4)-(3)③ 学習方法:講義	高澤 聖子	到達度は2週目の呼吸器ブロック期間終了後に行われるTBLの結果で評価する
27	7/16	14:20-15:40	医学科講義室2	特発性間質性肺炎・膠原病肺	到達目標:D-6-4)-(4) 学習方法:講義	宮崎 泰成	到達度は2週目の呼吸器ブロック期間終了後に行われるTBLの結果で評価する
28	7/16	15:50-17:10	医学科講義室2	気管支拡張症・無気肺・PAP	到達目標:D-6-4)-(8) 学習方法:講義	石塚聖洋	到達度は2週目の呼吸器ブロック期間終了後に行われるTBLの結果で評価する
29	7/17	09:00-10:20	医学科講義室2	二次性間質性肺炎・好酸球性肺炎	到達目標:D-6-4)-(3) ③④⑥⑦ 学習方法:講義	古澤 春彦	到達度は2週目の呼吸器ブロック期間終了後に行われるTBLの結果で評価する
30	7/17	10:30-11:50	医学科講義室2	ミニケース	討論	本多 隆行	到達度は2週目の呼吸器ブロック期間終了後に行われるTBLの結果で評価する

31-32	7/17	12:50-15:40	4 階学生 実習室	病理実習(非腫瘍)	到達目標:D-6-4) 学習方法:実 習(レポートあり)	桐村 進	レポートあり(レ ポート提出が試 験受験資格の要 件となる)到達度 は呼吸器ブロック 期間終了後に行 われるTBLの結 果を加味して評価 する
33	7/17	15:50-17:10		予備枠			
34	7/18	12:50-14:10	医学科講 義室 2	外科(肺疾患・周術期)	到達目標:D-6-4)-(3)③ 学習方 法:講義	分島 良	到達度は 2 週目 の呼吸器ブロック 期間終了後に行 われるTBLの結 果で評価する
35	7/18	14:20-15:40	医学科講 義室 2	肺移植	到達目標:D-6-4) 学習方法:講 義	板東 徹	到達度は 2 週目 の呼吸器ブロック 期間終了後に行 われるTBLの結 果で評価する
36	7/18	15:50-17:10		予備枠			
37-38	7/19	12:50-15:40	医学科講 義室 2	TBL	第 2 週目の授業内容について学 習目標到達度を評価する。	宮崎 泰成	主に症例形式の 応用問題にチー ムで解答する。
39-43	7/22	09:00-17:10		予備枠			
44-48	7/23	09:00-17:10		予備枠			
49-53	7/24	09:00-17:10		予備枠			
54-56	7/25	12:50-17:10		予備枠			
57-61	7/26	09:00-17:10		予備枠			

授業方法

対面、および同期または非同期授業であるかは、授業明細を参照のこと。

○非同期授業:特に視聴時間の指定はないが、全体の流れを理解しやすくするために日時を指定してある。1 週目に配置されている内容は、1 週目の金曜午後の TBL で到達度を評価するのでそれまでに視聴を終えておくこと。TBL 受験資格として特に出席は取らないが、レポート・小テストは 2 週目の金曜日 TBL 終了時まで提出すること。ただし担当教員が個別に締め切りを定めている場合はそれに従う。質問についてはウェブクラスで問い合わせること。

○同期授業:Zoom により行われる。同期授業については試験についての質問などはその授業時間内に行うこと。

試験(TBL)についての個別の質問には答えることは出来ない。

○対面授業:講義室により行われる。同期授業と同様、試験(TBL)についての質問などはその授業時間内に行うこと。試験についての個別の質問には答えることは出来ない。また、新型コロナウイルスの蔓延状況によっては急遽オンライン授業となる可能性もある。その際は事前に連絡を行う。

○アクティブラーニングとして、講義、ミニケース、病理実習のいずれについても 1 週目、2 週目の金曜に行われる TBL を行い、知識の再確認と学習達成度の評価・確認を行う。また、授業によっては、レポートや小テストによる学習達成度の確認を行う。

授業内容

授業明細も参照されたい。

2 週の講義のうち、1 週目は、呼吸器疾患を理解するための基礎知識の確認、呼吸器診療において多くを占める腫瘍性疾患、感染症を中心に学習する。2 週目は小児の呼吸器疾患、その他の呼吸器疾患について学習する。

成績評価の方法

原則として成績評価は TBL の点数(個人問題およびグループ問題)にて行う。場合により小テスト、レポートの評価を加味する。

成績評価の基準

原則として、東京医科歯科大学試験規則に則り、1 週目、2 週目の TBL の点数を合計し、100 点満点で換算し 60 点以上を合格(GP におけるB判定以上)とし、特に優秀な者を A とする。また、小テストやレポートの内容も加味する。
準備学習等についての具体的な指示 第 1 学年で履修した医学導入、第 2 学年で履修した人体解剖学、生理学、組織学、薬理学、感染・基礎について、呼吸器を理解するという観点で見直し、関連すると思われる内容を復習すること。
試験の受験資格 成績は第1週、第2週金曜日の TBL(個人問題およびグループ問題)にて評価する。TBL 受験資格として特に出席は取らないが、レポート・小テストは2週目の金曜日 TBL 終了時まで提出すること。ただし担当教員が個別に締め切りを定めている場合はそれに従う。特別な事情などがあり、期日までに課題を完成することができない場合は、必ず期日の前に科目責任者または医学教務係にメールなど日時が記録に残る形で連絡すること。緊急時は一旦は電話連絡でもよいが、事後に必ずメールもすること。その他、科目責任者がやむを得ない事情があったと判断するときは後日のレポート等で受験資格を認めることがある。
教科書 シンプル呼吸器学／興梧博次 編集:南江堂, 2015 内科学: カラー版／門脇孝, 永井良三 総編集:西村書店, 2012 全部見える呼吸器疾患／玉置淳 監修:成美堂出版, 2013 図解呼吸器内科学テキスト／長瀬隆英, 永田泰白 編著:中外医学社, 2006 呼吸器病学／金澤寛, 永田真, 前野敏孝 編集:丸善出版, 2012
参考書 肺癌診療ガイドラインー悪性胸膜中皮腫・胸腺腫瘍含むー 2022 年版／日本肺癌学会 編集,日本肺癌学会,:金原出版, 2022-12-07 COPD(慢性閉塞性肺疾患)診断と治療のためのガイドライン／日本呼吸器学会 COPD ガイドライン第6版作成委員会 編集,日本呼吸器学会,:日本呼吸器学会, 2022 喘息予防・管理ガイドライン = Asthma prevention and management guidelines／日本アレルギー学会喘息ガイドライン専門部会 監修,「喘息予防・管理ガイドライン 2021」作成委員 作成,日本アレルギー学会,:協和企画, 2021
履修上の注意事項 私語を慎み、講義の妨げとなる行為は行わないこと。試験(TBL)に関する質問等がある場合は授業中に質問すること。
備考 1 週目と2週目に分けて TBL を行ったところ理解が深まったとの意見が複数あったため今年度も TBL は 2 回にわけて行うこととした。
連絡先(メールアドレス) 宮崎 泰成miyazaki.pilm@tmd.ac.jp
オフィスアワー 宮崎 泰成毎週月～金曜日(平日) AM.8.30-PM.5.30 (内線 5950) MD タワー13 階呼吸器内科教授室 呼吸器内科病棟・外来

時間割番号	011060				
科目名	消化器			科目ID	
担当教員	岡本 隆一[OKAMOTO RYUICHI]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	3	単位数	3
実務経験のある教員による授業	該当する				
主な講義場所					
授業日程参照					
授業の目的、概要等					
消化器疾患に関して Clinical Clerkship に対応しうる総合的な能力を磨き、信頼される医師となるための基礎を形成することを目標とする。学生自ら問題点を抽出し、科学的・理論的にその問題点を理解することによって、消化器系疾患の病因・病態生理を学習することを目的とする。また、理解した病因・病態生理をもとに、各疾患の診断・治療についても理解する。本ブロックでは扱う臓器の範囲が広いので、各種の講義と討論型学習を組み合わせ、内容を補完しあうようにした。扱う疾患としては消化器系疾患の全てを網羅する。その上で、関連した病理学、解剖学、生理学、生化学、薬理学、微生物学、画像診断学などに関しても含まれている。なお、各疾患の診断・治療に関しては、4年次以降の PCC、Clinical Clerkship でさらに詳しく学習し習得することになる。					
授業の到達目標					
1. 消化器系疾患の病態生理を理解し、説明できる。					
2. 消化器系疾患の病態生理に基づいて、疾患の症候、経過、治療法について理解し、説明できる。					
(目標到達に必要な条件)					
・ 各講義で強調して扱った内容を理解し、説明できる。					
・ 各講義で取り上げた疾患について、授業で強調された部分を中心として、病態生理の基礎知識、及び各種の全国共通試験でも問われるような基礎的知識について理解し、説明できる。					
・ CBT で問われる内容と同程度の理解が得られている。					
文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(令和4年度改訂版)					
https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/116/toushin/mext_01280.html					
GE-01-04)03,05					
PS-01-03)07					
PS-02-08)01,02,03,05					
PS-02-14)01					
PS-03-01)02,03					
PS-03-04)01,04,05,06,07,08,14,23,24,25,27					
PS-03-05)15					
CS-01-02)03					
CS-02-02)01,02					
CS-02-04)01,10,13,19,20,21,22,23,24,25,26,27					
CS-03-02)01					
CS-03-03)01					
SO-02-02)05					
医学科コンピテンシーよりこの科目で身につけるレベル					

[I-2-B]世界的に注目されている医学／歯学／健康に関する主たるトピックについて、議論できる

[I-3-B]科学/医学/歯学専門用語/表現の理解/表記/発音ができる

[II-1-A]医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる

[II-3-B]臨床的あるいは科学的問題提起ができる

[III-1-A]他者の貢献、時間、価値感、人格を尊重し、常に敬意を払って接することができる

[III-9-A]個人の生活における責務と医学科での学習及び社会的な責務について、適切にバランスを取ることができる

[III-12-A]メンタルストレスに直面した際、それを認識し、適切な解消処置をとれる

[III-14-A]時間厳守、信頼性、適切な準備、率先性、遂行能力を示すことができる

[III-15-A]文書課題を、正確で判読しうる質にて作成し、規定期限内に提出できる

[III-16-A]本学を含めた当該機関内規、法律、専門職社会内規範を遵守できる

[III-18-A]他者への良識を逸する振舞い(無礼、短気など)を認識し、助言を求め、今後起こさぬよう振舞いを修正することができる

[III-23-A]記述、プレゼンテーション、論文、および研究情報などの利用において、著作権を尊重し、それに沿って行動できる

[III-26-A]自身の知識・能力・振舞いを批判的に省察し、長所と課題点を同定し、改善の為の学習目標を設定し、それを達成するのに適した学習活動に取り組むことができる

[III-27-A]自身に対するフィードバックにもとづき省察し自己改善を実現できる

[III-28-A]他人に建設的なフィードバックを適切な形で提示できる

[III-29-A]ポートフォリオを活用して、課題設定を行い、自己学習・自己研鑽できる

[IV-1-B]書面にて、患者に関する臨床情報を統合し要約することができる

[V-1-A]基礎医学の知識を疾患の病因・病態・臨床徴候などの理解に応用できる

[V-2-B]頻度の高い疾患について、疫学/病因/病理/病態/症候/予後を説明できる

[V-3-C]症候／問題の原因評価において用いられる評価法についての知識(適応／合併症／限界)を提示できる

[V-4-B]頻度の高い疾患に対する治療法(薬物療法、非薬物療法の双方を含む)に関する知識を提示できる

[V-7-B]頻度の高い疾病についての予防戦略についての知識を提示できる

[VI-8-C]主要な症候をきたす病態/疾患を列举できる

[VI-15-C]臨床実習の学習項目に含まれる異常所見と、その診断的意義を説明できる

[VI-25-B]患者隔離の必要な感染症につき、感染経路や症候、予後、予防・治療を説明できる

[VI-26-C]針刺し事故、針刺し切創等による感染症感染につき、感染経路や症候、予後、予防・治療を説明できる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	6/17	09:00-10:20	医学科講義室 2	肝胆膵解剖学	基本的な解剖学的事項の復習と、臨床的に重要と考えられる事項の確認を行う。【質問への対応】WebClass にあがるリアクションペーパーの中で受け付ける。各単元開始から 2 日目の 20 時までには書かれたものについては、WebClass にビデオにて回答する。	秋田 恵一	到達目標:1、 学習方法:対面講義、その他:授業中に問題を出したり、症例の提示などを行う。
2	6/17	10:30-11:50	医学科講義室 2	肝胆膵導入 ウイルス性肝炎	実習中に各々質疑応答に対応	朝比奈 靖浩	到達目標:1及び2、 学習方法:対面授業、その他:講義途中で症例検討のクイズなどを行う
3	6/17	12:50-14:10	遠隔授業(非同期型)	非ウイルス性肝炎	【質問への対応】講義視聴の後一定期間(1 週間)メールで質問を受け付ける	金子 俊	到達目標:1及び2、 学習方法:非同期ビデオ、その他:動画視聴後小テストを解く(全問)

							正解まで視聴完了とならない)
4	6/17	14:20-15:40	遠隔授業 (非同期型)	肝硬変	【質問への対応】講義視聴の後一定期間(1週間)メールで質問を受け付ける	中川 美奈	到達目標:1及び2、学習方法:非同期ビデオ、その他:動画視聴後小テストを解く(全問正解まで視聴完了とならない)
5-6	6/18	09:00-11:50	4 階学生 実習室	病理実習(肝胆膵)	実習中に各々質疑応答に対応	田口 登和子	到達目標:1、学習方法:実習、その他:組織学実習室にて組織標本の検鏡と解説
7	6/18	12:50-14:10	遠隔授業 (非同期型)	原発性肝癌・転移性肝癌	【質問への対応】講義視聴の後一定期間(1週間)メールで質問を受け付ける	赤星 径一	到達目標:1及び2、学習方法:非同期ビデオ、その他:動画視聴後小テストを解く(全問正解まで視聴完了とならない)
8	6/18	14:20-15:40	遠隔授業 (非同期型)	肝臓の生理学 集中討論	【質問への対応】講義視聴の後一定期間(1週間)メールで質問を受け付ける	工藤 篤	到達目標:1及び2、学習方法:非同期ビデオ、その他:動画視聴後小テストを解く(全問正解まで視聴完了とならない)
9	6/19	09:00-10:20	遠隔授業 (非同期型)	膵臓癌/NEN その他の腫瘍	【質問への対応】講義視聴の後一定期間(1週間)メールで質問を受け付ける	小野 宏晃	到達目標:1及び2、学習方法:非同期ビデオ、その他:動画視聴後小テストを解く(全問正解まで視聴完了とならない)
10	6/19	10:30-11:50	遠隔授業 (非同期型)	胆道癌	【質問への対応】講義視聴の後一定期間(1週間)メールで質問を受け付ける	上田 浩樹	到達目標:1及び2、学習方法:非同期ビデオ、その他:動画視聴後小テストを解く(全問正解まで視聴完了とならない)
11	6/19	12:50-14:10	遠隔授業 (非同期型)	膵良性疾患	【質問への対応】講義視聴の後一定期間(1週間)メールで質問を受け付ける	小林 正典	到達目標:1及び2、学習方法:非同期ビデオ、その他:動画視聴後小テストを解く(全問正解まで視聴完了とならない)
12	6/19	14:20-15:40	遠隔授業	胆道良性疾患	【質問への対応】講義視聴の後一	小林 正典	到達目標:1及び

			(非同期型)		定期間(1週間)メールで質問を受け付ける		2、学習方法:非同期ビデオ、その他:動画視聴後小テストを解く(全問正解まで視聴完了とならない)
13	6/20	12:50-14:10	遠隔授業 (非同期型)	肝胆膵腫瘍の化学療法	【質問への対応】講義視聴の後一定期間(1週間)メールで質問を受け付ける	加納 嘉人	到達目標:1及び2、学習方法:非同期ビデオ、その他:動画視聴後小テストを解く(全問正解まで視聴完了とならない)
14	6/20	14:20-15:40	遠隔授業 (非同期型)	薬物性肝障害	【質問への対応】講義視聴の後一定期間(1週間)メールで質問を受け付ける	村川 美也子	到達目標:1及び2、学習方法:非同期ビデオ、その他:動画視聴後小テストを解く(全問正解まで視聴完了とならない)
15	6/21	10:30-11:50	医学科講義室2	外科診断学・症候学、肝胆膵悪性腫瘍 ミニケース	実習中に各々質疑応答に対応	赤星 径一	到達目標:1及び2、学習方法:グループ討論、その他:ケーススタディを用いたFGD、発表、講義中に課題提出
16	6/21	12:50-14:10	医学科講義室2	肝炎 肝硬変 ミニケース	実習中に各々質疑応答に対応	中川 美奈 三好 正人	到達目標:1及び2、学習方法:グループ討論、その他:ケーススタディを用いたFGD、発表、講義中に課題提出
17	6/24	09:00-10:20	医学科講義室2	下部消化管の臨床解剖学	基本的な解剖学的事項の復習と、臨床的に重要と考えられる事項の確認を行う。【質問への対応】WebClass にあげるリアクションペーパーの中で受け付ける。各单元開始から2日目の20時までに書かれたものについては、WebClass にビデオにて回答する。	秋田 恵一	到達目標:1、学習方法:対面講義、その他:授業中に問題を出したり、症例の提示などを行う。
18	6/24	10:30-11:50	医学科講義室2	下部消化管の生理学的特性	【質問への対応】その場で対応します	根本 泰宏	到達目標:1、学習方法:対面講義
19	6/24	12:50-14:10	遠隔授業 (非同期型)	下部消化管の機能障害	【質問への対応】講義視聴の後一定期間(1週間)メールで質問を受け付ける	河本 亜美	到達目標:2、学習方法:非同期ビデオ、その他:動画視聴後小テストを解く(全問正解

							まで視聴完了とならない)
20	6/24	14:20-15:40	遠隔授業 (非同期型)	下部消化管の画像検査	【質問への対応】講義視聴の後一定期間(1週間)メールで質問を受け付ける	竹中 健人	到達目標:1、学習方法:非同期ビデオ、その他:動画視聴後小テストを解く(全問正解まで視聴完了とならない)
21	6/25	09:00-10:20	遠隔授業 (非同期型)	多彩な腸疾患	【質問への対応】講義視聴の後一定期間(1週間)メールで質問を受け付ける	水谷 知裕	到達目標:2、学習方法:非同期ビデオ、その他:動画視聴後小テストを解く(全問正解まで視聴完了とならない)
22	6/25	10:30-11:50	遠隔授業 (非同期型)	炎症性腸疾患の病態	【質問への対応】講義視聴の後一定期間(1週間)メールで質問を受け付ける	岡本 隆一	到達目標:1及び2、学習方法:非同期ビデオ、その他:動画視聴後小テストを解く(全問正解まで視聴完了とならない)
23	6/25	12:50-14:10	遠隔授業 (非同期型)	炎症性腸疾患の臨床	【質問への対応】講義視聴の後一定期間(1週間)メールで質問を受け付ける	藤井 俊光	到達目標:2、学習方法:非同期ビデオ、その他:動画視聴後小テストを解く(全問正解まで視聴完了とならない)
24	6/25	14:20-15:40	遠隔授業 (非同期型)	小腸疾患	【質問への対応】講義視聴の後一定期間(1週間)メールで質問を受け付ける	大塚 和朗	到達目標:2、学習方法:非同期ビデオ、その他:動画視聴後小テストを解く(全問正解まで視聴完了とならない)
25	6/26	09:00-10:20	医学科講義室2	下部消化管腫瘍1(大腸がん総論:疫学、発生、検査)	大腸癌に関する総論【質問への対応】その場で対応します	佐々木 恵	到達目標:2、学習方法:対面講義
26	6/26	10:30-11:50	医学科講義室2	下部消化管腫瘍2(大腸がんの治療について)	大腸癌の外科的治療について【質問への対応】その場で対応します	山内 慎一	到達目標:2、学習方法:対面講義
27	6/26	12:50-14:10	医学科講義室2	虫垂炎・痔瘻痔核・イレウス	虫垂炎・痔瘻痔核・イレウスの診断と治療について【質問への対応】その場で対応します	花岡 まりえ	到達目標:2、学習方法:対面講義
28	6/26	14:20-15:40	医学科講義室2	ストマ(人工肛門)について	人工肛門について【質問への対応】その場で対応します	高岡 亜弓	到達目標:2、学習方法:対面講義

29	6/26	15:50-17:10	医学科講義室2	下部消化管疾患(ミニケース)	症例を通じて検査や鑑別診断などをグループワークで学習する【質問への対応】その場で対応します	日比谷 秀爾	到達目標:2、 学習方法:グループ討論、その他:グループワーク、学生に鑑別診断やクイズの答えを募集
30	6/27	12:50-14:10	遠隔授業(非同期型)	遺伝性大腸癌・GIST/NET	【質問への対応】講義視聴の後一定期間(1週間)メールで質問を受け付ける	加納 嘉人	到達目標:2、 学習方法:非同期ビデオ、その他:動画視聴後小テストを解く(全問正解まで視聴完了とならない)
31	6/27	14:20-15:40	遠隔授業(非同期型)	大腸癌の化学療法	【質問への対応】講義視聴の後一定期間(1週間)メールで質問を受け付ける	末永 光邦	到達目標:2、 学習方法:非同期ビデオ、その他:動画視聴後小テストを解く(全問正解まで視聴完了とならない)
32-33	6/28	12:50-15:40	4 階学生実習室	病理実習(下部消化管)	主要疾患の病理について【質問への対応】実習中に各々質疑応答に対応します。	國枝 純子	到達目標:1、 学習方法:実習、その他:組織学実習室にて組織標本の検鏡と解説
34	7/1	09:00-10:20	医学科講義室2	上部消化管の臨床解剖学	基本的な解剖学的事項の復習と、臨床的に重要と考えられる事項の確認を行う。【質問への対応】WebClass にあがるリアクションペーパーの中で受け付ける。各单元開始から2日目の20時までには書かれたものについては、WebClass にビデオにて回答する。	秋田 恵一	到達目標:1、 学習方法:対面講義、その他:授業中に問題を出したり、症例の提示などを行う。
35	7/1	10:30-11:50	遠隔授業(非同期型)	胃癌の病態生理	胃癌の病態生理【質問への対応】講義視聴の後一定期間(1週間)メールで質問を受け付ける	奥野 圭祐	到達目標:1及び2、 学習方法:非同期ビデオ、その他:動画視聴後小テストを解く(全問正解まで視聴完了とならない)
36	7/1	12:50-14:10	医学科講義室2	食道癌の病態生理	食道癌の病態生理【質問への対応】講義の後、直接質問を受け付ける	藤原 尚志	到達目標:1及び2、 学習方法:対面講義
37-38	7/1	14:20-17:10	4 階学生実習室	病理実習(上部消化管)	主要疾患の病理について【質問への対応】組織学実習室にて各自対応します		到達目標:1、 学習方法:実習、その他:組織学実習室にて組織標本の検鏡と解説
39	7/2	09:00-10:20	遠隔授業	胃癌の内視鏡治療	胃癌の内視鏡治療【質問への対	福田 将義	到達目標:1及び

遠隔・非同期型の講義、討論型アクティブラーニング(対面型または遠隔・非同期型)、病理実習(対面型または遠隔・非同期型)などにより構成される。討論型アクティブラーニングにおいては、グループにより議論して回答する内容も含まれるので、学生各々が積極的に講義・討論へ参加し、自己学習を行うこと。
授業内容 授業スケジュール参照。 ミニケース、病理実習、集中討論などの講義では討論主体のアクティブラーニングが実施される。 各講義への積極的な参加によって、学習効率はより高くなるものと期待する。
成績評価の方法 知識を確かめるための筆記試験を最終日に実施する。
成績評価の基準 ・ 単位判定は3週間全体で行う。 ・ 最終日に行われる筆記試験において6割の得点を合格基準とする。 ・ 筆記試験は各講義で強調して扱った内容に関する問題が6割以上含まれ、全問題に均等に配点する (Bより上の評価を受けるための基準) 筆記試験の合格基準に加え、講義への参加、アクティブラーニング、事後課題への対応を加味する。
準備学習等についての具体的な指示 消化器領域の解剖学・生理学について復習しておくこと。 学生各々が積極的に講義・討論へ参加し、自己学習をすること。各々の自己学習の程度によって達成度が左右されるので、積極的・効率的な学習が達成できるよう期待します。 教科書・参考書は内科学・外科学の一般的なものを下記に示しますが、授業で直接用いるのではなく、これらは自己学習のために利用して下さい。
試験の受験資格 ・ 出席の有無を確認しないが、試験は全て授業項目から出題する。このため、対面型及び同期型・非同期型講義に積極的に参加し事後課題に対応すること。 ・ 病気などの特別な事情がある場合は医学教務係及び科目責任者に連絡すること。
教科書 Harrison's principles of internal medicine (第21版)／editors, J. Larry Jameson ... [et al.], Jameson, J. Larry, Fauci, Anthony S., Kasper, Dennis L., Hauser, Stephen L., Longo, D. L., Loscalzo, Joseph.; McGraw-Hill Education, 2022 内科学 = Asakura internal medicine (第12版)／矢崎義雄, 小室一成 総編集 渥美達也, 神田隆, 神田善伸, 木下芳一, 須永眞司, 竹内靖博, 竹原徹郎, 南学正臣, 長谷川好規, 松本哲哉, 楽木宏実, 綿田裕孝 編集 矢崎, 義雄, 1938-, 小室, 一成, 1957-, 渥美, 達也, 神田, 隆, 1956-, 神田, 善伸, 1967-, 木下, 芳一, 1955-, 須永, 眞司, 竹内, 靖博, 竹原, 徹郎, 1959-, 南学, 正臣, 1964-, 長谷川, 好規, 松本, 哲哉, 1962-, 楽木, 宏実, 綿田, 裕孝.; 朝倉書店, 2022 NEW 外科学 = NEW Surgery (改訂第3版)／出月康夫, 古瀬彰, 杉町圭蔵 編 出月, 康夫, 1934-, 古瀬, 彰, 1936-, 杉町, 圭蔵, 1938-, 南江堂, 2012 臨床外科学／森岡恭彦 編集；川島康生 編集；森昌造 編集；水戸迪郎 編集 森岡, 恭彦, 川島, 康生, 森, 昌造, 水戸, 迪郎.; 朝倉書店, 2006 ハリソン内科学 第5版 Vol.2／デニス L. カスパー ほか 編 福井次矢, 黒川清 日本語版監 デニス L. カスパー, フクヰツギヤ, クロカワキヨシ.; メディカルサイエンス・インターナショナル, 2017 注:教科書と下記に示す参考書の区別は特にしていない
参考書 Sleisenger and Fordtran's gastrointestinal and liver disease : pathophysiology, diagnosis, management／editors, Mark Feldman, Lawrence S. Friedman, Lawrence J. Brandt, Feldman, Mark, Friedman, Lawrence S. (Lawrence Samuel), Brandt, Lawrence J.; Elsevier, 2021 標準外科学／田邊稔, 池田徳彦, 大木隆生 編集 北野, 正剛, 坂井, 義治, 田邊, 稔 (外科学), 池田, 徳彦, 大木, 隆生.; 医学書院, 2022 新臨床外科学／武藤徹一郎, 幕内雅敏 監修 川崎誠治, 佐野俊二, 名川弘一, 野口眞三郎, 平田公一 編.; 医学書院, 2006 Schiff's Diseases of the Liver 12th ed.／Eugene R. Schiff; Wiley, 2017 Schwartz's Principles of Surgery 11th edition／F. Charles Brunicaudi; McGraw-Hill Education, 2019 Sabiston Textbook of Surgery: The Biological Basis of Modern Surgical Practice, 20th ed.／Courtney M. Townsend Jr.; Saunders, 2016

TNM 悪性腫瘍分類カラーアトラス／Philip Rubin, John T.Hansen [著],杉原健一, 秋田恵一 監訳,Rubin, Philip, 1927-,Hansen, John T,杉原, 健一, 1938-,秋田, 恵一, 1962-,.:丸善出版, 2014 食道アカラシア取扱い規約 日本食道学会 編 ISBN 978-4307203005 第4版 胃食道逆流症(GERD)診療ガイドライン 2021 改訂第3版 日本消化器病学会 編 ISBN 978-4-524-22741-9 食道癌診断・治療ガイドライン 日本食道学会編 金原出版 ISBN 978-4-307-20453-8 (2022) 臨床・病理食道癌取扱い規約 日本食道学会編 金原出版 ISBN 978-4-307-20461-3 (2022 年第12版) H.pylori 感染の診断と治療のガイドライン 2016 改訂版 先端医学社 ISBN 978-4865501964 胃癌取扱い規約(第15版)日本胃癌学会編 ISBN 978-4307203753 胃癌治療ガイドライン 医師用 (2021 年7月改訂 第6版)日本胃癌学会編 ISBN 978-4307204286 炎症性腸疾患(IBD)診療ガイドライン 2020 改訂第2版 日本消化器病学会編 ISBN 978-4-524-22706-8 大腸癌治療ガイドライン医師用 2022 年版 大腸癌研究会 編 ISBN 978-4-307-20437-8 遺伝性大腸癌診療ガイドライン 2020 年版 大腸癌研究会 編 ISBN 978-4-307-20415-6 肝硬変診療ガイドライン 2020 日本消化器病学会編 ISBN 978-4524225453 科学的根拠に基づく肝癌診療ガイドライン 日本肝臓学会 編 ISBN 978-4307204408 (2021) 年版 エビデンスに基づいた胆道癌診療ガイドライン【改訂第3版】日本肝胆膵外科学会胆道癌診療ガイドライン作成委員会 編 ISBN 978-4865173239 科学的根拠に基づく膵癌診療ガイドライン 日本膵臓学会膵癌診療ガイドライン改訂委員会編 ISBN 978-4307204545(2022) 大腸癌取扱い規約【第9版】. 大腸癌研究会(編) 金原出版、2018 年 原発性肝癌取扱い規約 日本肝癌研究会編 金原出版 ISBN 978-4-307-20394-4 (2019 年第6版補訂版) 膵癌取扱い規約【第8版】. 日本膵臓学会(編) 金原出版、978-4-307-20473-6 胆道癌取扱い規約【第7版】. 日本肝胆膵外科学会(編) 金原出版、978-4-307-20426-2
その他、関連した解剖学、生理学、生化学、病理学、薬理学で用いられている教科書
他科目との関連 解剖学、生理学、生化学、病理学、薬理学、画像診断学
履修上の注意事項 学生各々が積極的に授業に参加し、自己学習をすること。各々の自己学習の程度によって達成度が左右されるので、積極的・効率的な学習が達成できるよう期待します。
備考 2023 年度のコース評価を受け 2024 年度は授業方法の見直しと日程の変更を行なった。担当者連絡先は Webclass 参照
参照ホームページ 難治性疾患等政策研究事業 難治性炎症性腸管障害に関する調査研究班 http://www.ibdjapan.org

時間割番号	011061				
科目名	体液制御・泌尿器			科目ID	
担当教員	内田 信一, 藤井 靖久[UCHIDA SHINICHI, FUJII YASUHISA]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	3	単位数	3
実務経験のある教員による授業	該当する				
主な講義場所 腎臓内科は 3 号館「医学科講義室 2」にて対面授業を行う。 泌尿器科は、対面授業については 3 号館「医学科講義室 2」にて行う。非同期授業は WebClass にてオンライン配信する。					
授業の目的、概要等 腎臓内科領域においては、体液制御機構など腎臓機能の基礎から多様な腎疾患について病態生理を主として学ぶ。第 1 週に講義と病理実習により基本的知識を取得し、第2週はこれらの知識をもとに実際の症例における病態生理をPBL(問題基盤型学習)、ミニケース(ケーススタディー)を通して学ぶ。 泌尿器科領域においては、主な領域(腫瘍、排尿生理、結石・感染、生殖生理等)についての系統講義、および泌尿器腫瘍の病理実習により、医学生として必要な知識を身につける。ミニケースにより、系統講義や病理実習で身につけた知識を統合させ、討論する力を養う。					
授業の到達目標 1)腎、泌尿器領域疾患の病態生理を理解する。 2)病態生理に基づいて、疾患の症候、経過、治療法を理解する。					
文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(令和 4 年度改訂版) https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/116/toushin/mext_01280.html					
腎臓内科 GE-01-01)01,02,03,04,05,06 GE-01-04)01,02,05 PS-01-04)14 PS-02-02)02,04,05 PS-02-03)05 PS-02-04)05 PS-02-06)01,02,05 PS-02-07)02,05 PS-02-09)01,02,03,04,05 PS-02-10)02 PS-02-14)01,03,05 PS-03-02)01,02,03,04,05 PS-03-05)02,03 CS-01-01)02 CS-01-02)04,05 CS-02-01)01,02 CS-02-02)01,02 CS-02-03)01,02,03,04,05,07 CS-02-04)01,41,42,43,44 CS-03-06)01,02					

CM-02-02)01

IP-01-03)01

泌尿器科

PS-02-09)01,03,05

PS-02-10)01,05

PS-02-14)01,05

PS-03-03)01,02,04,06,07,18

PS-03-04)01,04,05,06,07,08,15,23,24,25,26,27

CS-02-02)01,02

CS-02-04)01

医学科コンピテンシーよりこの科目で身につけるレベル

[I-2-B]世界的に注目されている医学／歯学／健康に関する主たるトピックについて、議論できる

[I-3-B]科学/医学/歯学専門用語/表現の理解/表記/発音ができる

[II-1-A]医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる

[II-3-B]臨床的あるいは科学的問題提起ができる

[III-1-A]他者の貢献、時間、価値感、人格を尊重し、常に敬意を払って接することができる

[III-9-A]個人の生活における責務と医学科での学習及び社会的な責務について、適切にバランスを取ることができる

[III-12-A]メンタルストレスに直面した際、それを認識し、適切な解消処置をとれる

[III-14-A]時間厳守、信頼性、適切な準備、率先性、遂行能力を示すことができる

[III-15-A]文書課題を、正確で判読しうる質にて作成し、規定期限内に提出できる

[III-16-A]本学を含めた当該機関内規、法律、専門職社会内規範を遵守できる

[III-18-A]他者への良識を逸する振舞い(無礼、短気など)を認識し、助言を求め、今後起こさぬよう振舞いを修正することができる

[III-23-A]記述、プレゼンテーション、論文、および研究情報などの利用において、著作権を尊重し、それに沿って行動できる

[III-26-A]自身の知識・能力・振舞いを批判的に省察し、長所と課題点を同定し、改善の為の学習目標を設定し、それを達成するのに適した学習活動に取り組むことができる

[III-27-A]自身に対するフィードバックにもとづき省察し自己改善を実現できる

[III-28-A]他人に建設的なフィードバックを適切な形で提示できる

[III-29-A]ポートフォリオを活用して、課題設定を行い、自己学習・自己研鑽できる

[IV-1-B]書面にて、患者に関する臨床情報を統合し要約することができる

[V-1-A]基礎医学の知識を疾患の病因・病態・臨床徴候などの理解に応用できる

[V-2-B]頻度の高い疾患について、疫学/病因/病理/病態/症候/予後を説明できる

[V-3-C]症候／問題の原因評価において用いられる評価法についての知識(適応／合併症／限界)を提示できる

[V-4-B]頻度の高い疾患に対する治療法(薬物療法、非薬物療法の双方を含む)に関する知識を提示できる

[V-7-B]頻度の高い疾病についての予防戦略についての知識を提示できる

[VI-8-C]主要な症候をきたす病態/疾患を列挙できる

[VI-15-C]臨床実習の学習項目に含まれる異常所見と、その診断的意義を説明できる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	10/1	09:00-10:20	医学科講義室2	コース説明・基礎医学復習テスト	飯盛 聡一郎	【到達目標】1), 2) 【学習方法】対面講義 【事前学習】各自生理学教科書の体液制御に関する部分や腎・泌尿器に関す

						る解剖学的知識をあらかじめ自習・復習しておくこと。
2	10/1	10:30-11:50	医学科講義室 2	腎疾患症候・検査	原 悠	【到達目標】1), 2) 【学習方法】対面講義 【事前学習】web class の事前配布資料
3	10/1	12:50-14:10	医学科講義室 2	電解質制御1	森 崇寧	【到達目標】1), 2) 【学習方法】対面講義 【事前学習】web class の事前配布資料
4	10/1	14:20-15:40	医学科講義室 2	電解質制御2	森 崇寧	【到達目標】1), 2) 【学習方法】対面講義 【事前学習】web class の事前配布資料
5	10/2	09:00-10:20	医学科講義室 2	尿細管疾患・嚢胞性腎疾患	須佐 紘一郎	【到達目標】1), 2) 【学習方法】対面講義 【事前学習】web class の事前配布資料
6	10/2	10:30-11:50	医学科講義室 2	急性腎障害	萬代 新太郎	【到達目標】1), 2) 【学習方法】対面講義 【事前学習】web class の事前配布資料
7	10/2	12:50-14:10	医学科講義室 2	輸液療法	安藤 史顕	【到達目標】1), 2) 【学習方法】対面講義 【事前学習】web class の事前配布資料
8	10/2	14:20-15:40	医学科講義室 2	慢性腎臓病	蘇原 映誠	【到達目標】1), 2) 【学習方法】対面講義 【事前学習】web class の事前配布資料
9	10/3	12:50-14:10	医学科講義室 2	腎炎・ネフローゼ1	内藤 省太郎	【到達目標】1), 2) 【学習方法】対面講義 【事前学習】web class の事前配布資料
10	10/3	14:20-15:40	医学科講義室 2	腎炎・ネフローゼ2	内藤 省太郎	【到達目標】1), 2) 【学習方法】対面講義 【事前学習】web class の事前配布資料

11	10/4	09:00-10:20	医学科講義室2	二次性腎疾患1	飯盛 聡一郎	【到達目標】1), 2) 【学習方法】対面講義 【事前学習】web class の事前配布資料
12	10/4	10:30-11:50	医学科講義室2	二次性腎疾患2	飯盛 聡一郎	【到達目標】1), 2) 【学習方法】対面講義 【事前学習】web class の事前配布資料
13-14	10/4	12:50-15:40	遠隔授業(同期型)	病理実習	木脇 祐子	病理実習
15-17	10/7	09:00-14:10	医学科講義室2	PBL	飯盛 聡一郎	【到達目標】1), 2) 【学習方法】グループ討論 【事前学習】web class の事前配布資料
18	10/7	14:20-15:40	医学科講義室2	酸・塩基平衡異常	森 雄太郎	【到達目標】1), 2) 【学習方法】対面講義 【事前学習】web class の事前配布資料
19	10/8	09:00-10:20	医学科講義室2	血液浄化・腎移植	内藤 省太郎	【到達目標】1), 2) 【学習方法】対面講義 【事前学習】web class の事前配布資料
20	10/8	10:30-11:50	医学科講義室2	ミニケース1	藤木 珠美	【到達目標】1), 2) 【学習方法】対面講義 【事前学習】web class の事前配布資料
21-22	10/8	12:50-15:40	医学科講義室2	PBL 発表	飯盛 聡一郎	【到達目標】1), 2) 【学習方法】課題発表 全体討論 【事前学習】web class の事前配布資料
23	10/9	09:00-10:20	医学科講義室2	ミニケース2	菊池 寛昭	【到達目標】1), 2) 【学習方法】対面講義 【事前学習】web class の事前配布資料
24	10/9	10:30-11:50	医学科講義室2	PBL 総括	飯盛 聡一郎	【到達目標】1), 2) 【学習方法】対面講義 【事前学習】web class の事前配布資料
25	10/9	12:50-14:10	遠隔授業	腎癌	田中 一	【到達目標】1), 2)

			(非同期型)			【学習方法】非同期ビデオ 【事前学習】泌尿器に関する生理学・解剖学についての自習・復習 【その他】質問は hjtauro@tmd.ac.jp
26-27	10/9	14:20-17:10	遠隔授業 (非同期型)	感染・結石・救急	早稲田 悠馬	【到達目標】1), 2) 【学習方法】非同期ビデオ 【事前学習】泌尿器に関する生理学・解剖学についての自習・復習 【その他】質問は wase.uro@tmd.ac.jp
28	10/10	12:50-14:10	医学科講義室 2	ミニケース(腎癌)	田中 一	【到達目標】1), 2) 【学習方法】対面講義、全体討論 【事前学習】対応する非同期授業の Webclass 動画視聴
29	10/10	14:20-15:40	医学科講義室 2	ミニケース(結石)	早稲田 悠馬	【到達目標】1), 2) 【学習方法】対面講義、全体討論 【事前学習】対応する非同期授業の Webclass 動画視聴
30	10/11	09:00-10:20	遠隔授業 (非同期型)	蓄排尿 前立腺肥大・尿路閉塞	藤原 基裕	【到達目標】1), 2) 【学習方法】非同期ビデオ 【事前学習】泌尿器に関する生理学・解剖学についての自習・復習 【その他】質問は fukuuro@tmd.ac.jp
31	10/11	10:30-11:50	遠隔授業 (非同期型)	精巣腫瘍・陰茎癌	小林 正貴	【到達目標】1), 2) 【学習方法】非同期ビデオ 【事前学習】泌尿器に関する生理学・解剖学についての自習・復習 【その他】質問は kobauro@tmd.ac.jp

32	10/11	12:50-13:40	医学科講義室2	ミニケース(蓄排尿)	藤原 基裕	【到達目標】1), 2) 【学習方法】対面講義、全体討論 【事前学習】対応する非同期授業のWebclass 動画視聴
33	10/11	13:50-14:40	医学科講義室2	ミニケース(精巣腫瘍)	小林 正貴	【到達目標】1), 2) 【学習方法】対面講義、全体討論 【事前学習】対応する非同期授業のWebclass 動画視聴
34	10/11	14:50-15:40	遠隔授業(非同期型)	副腎腫瘍	中村 祐基	【到達目標】1), 2) 【学習方法】非同期ビデオ 【事前学習】泌尿器に関する生理学・解剖学についての自習・復習 【その他】質問は nakamura.uro@tmd.ac.jp
35	10/15	09:00-09:50	医学科講義室2	低侵襲手術	藤井 靖久	【到達目標】1), 2) 【学習方法】対面講義 【事前学習】泌尿器に関する生理学・解剖学についての自習・復習 【その他】質問は y-fujii.uro@tmd.ac.jp
36	10/15	10:00-10:50	医学科講義室2	臓器温存治療	藤井 靖久	【到達目標】1), 2) 【学習方法】対面講義 【事前学習】泌尿器に関する生理学・解剖学についての自習・復習 【その他】質問は y-fujii.uro@tmd.ac.jp
37	10/15	11:00-11:50	医学科講義室2	ミニケース(副腎腫瘍)	中村 祐基	【到達目標】1), 2) 【学習方法】対面講義、全体討論 【事前学習】対応する非同期授業のWebclass 動画

						視聴
38	10/15	12:50-14:10	遠隔授業 (非同期型)	尿路上皮癌	吉田 宗一郎	【到達目標】1), 2) 【学習方法】非同期ビデオ 【事前学習】泌尿器に関する生理学・解剖学についての自習・復習 【その他】質問は s-yoshida.uro@tmd.ac.jp
39	10/15	14:20-15:40	遠隔授業 (非同期型)	前立腺癌	福田 翔平	【到達目標】1), 2) 【学習方法】非同期ビデオ 【事前学習】泌尿器に関する生理学・解剖学についての自習・復習 【その他】質問は shouro@tmd.ac.jp
40-41	10/16	09:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	病理実習	木脇 祐子	病理実習
42	10/16	12:50-14:10	医学科講義室2	ミニケース(尿路上皮癌)	吉田 宗一郎	【到達目標】1), 2) 【学習方法】対面講義、全体討論 【事前学習】対応する非同期授業の Webclass 動画視聴
43	10/16	14:20-15:40	医学科講義室2	ミニケース(前立腺癌)	福田 翔平	【到達目標】1), 2) 【学習方法】対面講義、全体討論 【事前学習】対応する非同期授業の Webclass 動画視聴
44	10/17	12:50-14:10	遠隔授業 (非同期型)	男性不妊・先天異常	石川 雄大	【到達目標】1), 2) 【学習方法】非同期ビデオ 【事前学習】泌尿器に関する生理学・解剖学についての自習・復習 【その他】質問は ishikawa.uro@tmd.ac.jp
45	10/17	14:20-15:40	遠隔授業 (非同期型)	性機能	早稲田 悠馬	【到達目標】1), 2) 【学習方法】非同期ビデオ 【事前学習】泌尿器に関する

						する生理学・解剖学についての自習・復習 【その他】質問は s-matsuuro@tmd.ac.jp
46-47	10/18	09:00-11:50		休講		
48	10/18	12:50-14:10	医学科講義室 2	腎臓内科・病理試験	飯盛 聡一郎	【到達目標】1), 2) 【事前学習】講義、ミニケース、PBL、実習内容
49	10/18	14:20-15:40	医学科講義室 2	泌尿器科・病理試験	中村 祐基	【到達目標】1), 2) 【事前学習】講義、ミニケース、実習内容

授業方法

方法:講義、病理実習、PBL、ミニケース

腎臓内科の講義はすべて対面講義を予定している。PBL ではグループ討論および全体討論を予定している。

泌尿器科の講義は、非同期での系統講義と、対面での講義およびミニケース（講義＋全体討論）にて行う。非同期授業は WebClass でのオンライン配信によって行い、原則 1 週間前までにアップロードされるビデオを各自閲覧して学習する。質問対応についてはそれぞれの担当教員にメールして質問する（授業明細にメールアドレスを記載）。対面でのミニケースの事前学習として、対応する非同期授業の学習を終えておくことが理解を深めるために必須である。

病理実習はバーチャルスライドをサーバー上で操作し行う。

PBL はグループディスカッションを行い、バーチャルスライドにて病理所見を確認する。

講義時に解説や質問への回答を行い、バーチャルスライドと実習資料は実習開始日から試験日まで公開する。

授業内容

授業スケジュール参照

成績評価の方法

腎臓内科領域は最終日の試験によって評価し、基礎医学復習確認テスト、PBL での積極性、ミニケースでの学習状況を加点する。

泌尿器科領域は、講義・ミニケースでの学習状況を最終日の試験で評価する。

病理実習の内容は、各腎臓内科・泌尿器科の最終試験の中で試験を行う。

ブロック全体としての評価は腎臓内科 40 点、泌尿器科 40 点、病理 20 点とする。

不正が発覚した場合、アンプロフェッショナルな行為として懲戒の対象となるため、受験資格の取り消しも含め厳正に対処する。

成績評価の基準

60 点以上を合格とし、科目評価基準点として 60 点（評価 B）を与える。合格したなかで得点に応じて、A、A+などの評価を与える。

準備学習等についての具体的な指示

ブロック初日に基礎医学復習の確認テストを行うので、各自生理学教科書の体液制御に関する部分や腎・泌尿器に関する解剖学的知識をあらかじめ自習・復習しておくこと。

試験の受験資格

出席は試験の受験資格の要件としないが、試験問題は授業で取り扱った内容および PBL・ミニケースでの検討内容を中心に作成されるため、病気等でやむを得ず欠席した場合は、WebClass に掲載の講義スライドで自習すること。

教科書

専門医のための腎臓病学／内山 聖, 1948-富野 康日己, 1949-今井 裕一, 1951-柏原 直樹,金子 一成,南学 正臣, 1964-柳田 素子, 内山聖, 富野康日己, 今井裕一 監修,柏原直樹, 金子一成, 南学正臣, 柳田素子 編集:医学書院, 2023.6

プロフェッショナル腎臓病学／南学 正臣, 1964-南学正臣 編著:中外医学社, 2020.9

Campbell-Walsh-Wein urology／Campbell, Meredith F. (Meredith Fairfax),Walsh, Patrick C.,Wein, Alan J.,Partin, Alan W,Dmochowski, Roger R.,Kavoussi, Louis R.,Peters, Craig (Craig Andrew), :Elsevier, 2021

ベッドサイド泌尿器科学 = Bedside Urology／吉田修 監修,小川修, 岡田裕作, 荒井陽一, 寺地敏郎, 松田公志, 笥善行, 羽瀧友則 編集,吉田, 修, 1935-,小川, 修,岡田, 裕作, 1948-,荒井, 陽一, 1953-,.:南江堂, 2013

WHO Classification of Tumours, 5th ed., Vol.8 Urinary & Male Genital Tumours／WHO Classification of Tumours Editorial Board:WORLD HEALTH ORGANIZATION, 2022

ISBN 9784885637315

書名 血液透析診療指針

著者名 岡田一義

出版社 東京医学社

出版年 2021

ISBN:9784883787203

書名:泌尿器病理診断アトラス : 臨床と病理の対話で学ぶ

著者名:賀本敏行, 都築豊徳 編著,賀本, 敏行,都築, 豊徳,

出版社:総合医学社

出版年:2021

参考書

エビデンスに基づくCKD 診療ガイドライン／日本腎臓学会,日本腎臓学会 編集:東京医学社, 2023.6

腎臓内科レジデントマニュアル／今井, 圓裕, 1955-,丸山, 彰一,猪阪, 善隆,今井圓裕, 丸山彰一, 猪阪善隆 編著:診断と治療社, 2024.1

腎生検病理アトラス = Kidney biopsy-atlas and text／日本腎病理協会,日本腎臓学会,日本腎病理協会, 日本腎臓学会編集:東京医学社, 2017.8

ロボット支援手術／土谷順彦担当編集委員 ; 荒井陽一 [ほか] 編集委員,土谷, 順彦,荒井, 陽一,高橋, 悟,山本, 新吾,:メジカルビュー社, 2018

腹腔鏡手術／荒井陽一担当編集委員,荒井, 陽一,:メジカルビュー社, 2018

オープンサージャリー／土谷順彦担当編集委員,土谷, 順彦,:メジカルビュー社, 2019

エンドウロロジー／山本新吾担当編集委員,山本, 新吾,:メジカルビュー社, 2018

尿失禁・女性泌尿器科手術／高橋悟担当編集委員,高橋, 悟,:メジカルビュー社, 2020

尿路変向・再建術／荒井陽一担当編集委員,荒井, 陽一,:メジカルビュー社, 2019

陰茎・陰囊・アンドロロジーの手術／高橋悟担当編集委員,高橋, 悟,:メジカルビュー社, 2021

ISBN 9784830620652

書名 ケースで学ぶ 実践! 水・電解質診療

著者名 和田健彦

出版社 文光堂

出版年 2022

ISBN 9784525258016

書名 ジョーシキ!腎病理診断エッセンシャル

著者名 城謙輔

出版社 南山堂

出版年 2020

ISBN 9784885637223

書名 腎生検ガイドブック 2020

著者名 日本腎臓学会腎生検ガイドブック改訂委員会

出版社 東京医学社

出版年 2020

過活動膀胱診療ガイドライン 第3版 日本排尿機能学会・日本泌尿器科学会 編 リッチヒルメディカル 2022年

泌尿器外傷診療ガイドライン 2022年版 日本泌尿器科学会 編 医学図書出版 2022年

尿路管理を含む泌尿器科領域における感染制御ガイドライン 第2版 日本泌尿器科学会尿路管理を含む泌尿器科領域における感染制御ガイドライン作成委員会 編 メディカルレビュー社 2022年

陰茎癌診療ガイドライン 2021 年版 日本泌尿器科学会 編 医学図書出版 2021 年
 夜間頻尿診療ガイドライン 第 2 版 日本排尿機能学会・日本泌尿器科学会 編 リッチヒルメディカル 2020 年
 女性下部尿路症状診療ガイドライン 第 2 版 日本排尿機能学会・日本泌尿器科学会 編 リッチヒルメディカル 2019 年
 膀胱癌診療ガイドライン 2019 年版 日本泌尿器科学会 編 医学図書出版 2019 年
 間質性膀胱炎・膀胱痛診療ガイドライン 2019 年版 日本間質性膀胱炎研究会・日本泌尿器科学会 編 リッチヒルメディカル 2019 年
 前立腺がん検診ガイドライン 2018 年版 日本泌尿器科学会 編 メディカルレビュー社 2018 年
 ED 診療ガイドライン 日本性機能学会・日本泌尿器科学会 編 リッチヒルメディカル 2018 年
 腎癌診療ガイドライン 2017 年版 日本泌尿器科学会 編 メディカルレビュー社 2018 年
 男性下部尿路症状・前立腺肥大症ガイドライン 日本泌尿器科学会 編 リッチヒルメディカル 2017 年
 前立腺癌診療ガイドライン 2016 年版 日本泌尿器科学会 編 メディカルレビュー社 2016 年
 精巣腫瘍診療ガイドライン 2015 年版 日本泌尿器科学会 編 金原出版 2015 年
 腎盂・尿管癌診療ガイドライン 2014 年版 日本泌尿器科学会 編 メディカルレビュー社 2014 年
 尿路結石診療ガイドライン 第 2 版 2013 年版 日本泌尿器科学会・日本泌尿器内視鏡学会・日本尿路結石症学会 編 金原出版 2013 年

前立腺癌取扱い規約 第 5 版 日本泌尿器科学会・日本病理学会・日本医学放射線学会 編 メディカルレビュー社 2022 年 ISBN 978-4-7792-2657-1
 腎盂・尿管・膀胱癌取扱い規約 第 2 版 日本泌尿器科学会・日本病理学会・日本医学放射線学会・日本臨床腫瘍学会 編 医学図書出版 2021 年 ISBN 978-4-86517-427-4
 腎癌取扱い規約 第 5 版 日本泌尿器科学会・日本病理学会・日本医学放射線学会 編 メディカルレビュー社 2021 年 ISBN 978-4-7792-2289-4
 精巣腫瘍取扱い規約 第 4 版 日本泌尿器科学会・日本病理学会・日本医学放射線学会・日本臨床腫瘍学会 編 金原出版 2018 年 ISBN 978-4-307-43061-6
 副腎腫瘍取扱い規約 第 3 版 日本泌尿器科学会・日本病理学会・日本医学放射線学会・日本内分泌学会 編 金原出版 2015 年 ISBN 978-4-307-43056-2

備考

PBL に参加しない学生に対して、真面目に討論して発表資料を作成した学生より不公平という指摘があったため、PBL の出席と積極性については評価の対象としている。
 成績評価が分からないという意見があったため、より具体的にした。
 系統講義に関して非同期型授業の併用を求める指摘があったため、一部の授業を非同期型に変更した。

連絡先(メールアドレス)

内田 信一:suchida.kid@tmd.ac.jp
 藤井 靖久:y-fujii.uro@tmd.ac.jp

時間割番号	011064				
科目名	内分泌・代謝			科目ID	
担当教員	山田 哲也[YAMADA Tetsuya]				
開講時期	2024 年度通年	対象年次	3	単位数	2
実務経験のある教員による授業	該当する				
主な講義場所 オンラインによる遠隔講義/非同期授業					
授業の目的、概要等 「ホルモン」の分泌・代謝・作用とエネルギー代謝調節機構、それらの破綻により発症する内分泌・代謝疾患の成因・診断・治療/予防について習得することを目的とする。					
授業の到達目標 1)内分泌器官とホルモンに関する基本知識の習得 2)生体の恒常性維持機構に関する理解 3)内分泌疾患および代謝疾患の病態生理の把握 4)内分泌器官の形態学と画像診断学の基本原理の理解 5)ホルモンの生化学、生理学、薬理学、分子生物学に関する知識の習得 6)各臓器別内分泌疾患の特徴と治療法の理解 7)代謝疾患(糖尿病、脂質異常症など)の原因と治療法の把握 文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(令和4年度改訂版) https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/116/toushin/mext_01280.html GE-01-04)05 GE-03-04)02,03,04 PS-02-03)01,02,03,04,05 PS-02-05)01,02,03 PS-02-06)02 PS-02-17)02,03,04,05 PS-03-01)02,03 PS-03-05)08,15 IT-01-02)01 CS-01-01)01,02,03 CS-01-02)01,02,03,04,05, CS-02-01)01,02 CS-02-02)01,02,03,04 CS-02-03)04,07 CS-02-04)01,19,20,21,22,23,24,25,26,27,49 CS-03-02)01 CS-03-03)01,02 CS-03-06)01,02 CS-05-04)02 CM-01-01)01,02					

医学科コンピテンシーよりこの科目で身につけるレベル

[I-2-B]世界的に注目されている医学／歯学／健康に関する主たるトピックについて、議論できる

[I-3-B]科学/医学/歯学専門用語/表現の理解/表記/発音ができる

[II-1-A]医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる

[II-3-B]臨床的あるいは科学的問題提起ができる

[III-1-A]他者の貢献、時間、価値感、人格を尊重し、常に敬意を払って接することができる

[III-9-A]個人の生活における責務と医学科での学習及び社会的な責務について、適切にバランスを取ることができる

[III-12-A]メンタルストレスに直面した際、それを認識し、適切な解消処置をとれる

[III-14-A]時間厳守、信頼性、適切な準備、率先性、遂行能力を示すことができる

[III-15-A]文書課題を、正確で判読しうる質にて作成し、規定期限内に提出できる

[III-16-A]本学を含めた当該機関内規、法律、専門職社会内規範を遵守できる

[III-18-A]他者への良識を逸する振舞い(無礼、短気など)を認識し、助言を求め、今後起こさぬよう振舞いを修正することができる

[III-23-A]記述、プレゼンテーション、論文、および研究情報などの利用において、著作権を尊重し、それに沿って行動できる

[III-26-A]自身の知識・能力・振舞いを批判的に省察し、長所と課題点を同定し、改善の為の学習目標を設定し、それを達成するのに適した学習活動に取り組むことができる

[III-27-A]自身に対するフィードバックにもとづき省察し自己改善を実現できる

[III-28-A]他人に建設的なフィードバックを適切な形で提示できる

[III-29-A]ポートフォリオを活用して、課題設定を行い、自己学習・自己研鑽できる

[IV-1-B]書面にて、患者に関する臨床情報を統合し要約することができる

[V-1-A]基礎医学の知識を疾患の病因・病態・臨床徴候などの理解に応用できる

[V-2-B]頻度の高い疾患について、疫学/病因/病理/病態/症候/予後を説明できる

[V-3-C]症候/問題の原因評価において用いられる評価法についての知識(適応/合併症/限界)を提示できる

[V-4-B]頻度の高い疾患に対する治療法(薬物療法、非薬物療法の双方を含む)に関する知識を提示できる

[V-7-B]頻度の高い疾病についての予防戦略についての知識を提示できる

[VI-8-C]主要な症候をきたす病態/疾患を列挙できる

[VI-15-C]臨床実習の学習項目に含まれる異常所見と、その診断的意義を説明できる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	12/2	09:00-10:20		自習		
2	12/2	10:30-11:50		自習		
3	12/2	12:50-14:10	遠隔授業 (同期型)	内分泌学総論	池田 賢司	
4	12/2	14:20-15:40		自習		
5	12/2	15:50-17:10		予備枠		
6	12/3	09:00-10:20		自習		
7	12/3	10:30-11:50		自習		
8	12/3	12:50-14:10	遠隔授業 (同期型)	糖尿病・代謝疾患総論 病態と増加の背景	山田 哲也	
9	12/3	14:20-15:40	遠隔授業 (同期型)	糖尿病の成因・診断・病 態解析・検査	山田 哲也	
10	12/3	15:50-17:10		予備枠		
11	12/4	09:00-10:20	遠隔授業 (同期型)	糖尿病の慢性合併症(細 小血管障害)	山田 哲也	
12	12/4	10:30-11:50	遠隔授業	糖尿病の治療法	山田 哲也	

			(同期型)			
13	12/4	12:50-14:10		自習		
14	12/4	14:20-15:40		自習		
15	12/4	15:50-17:10		予備枠		
16	12/5	12:50-14:10	遠隔授業 (非同期型)	骨カルシウム代謝	辻本 和峰	
17	12/5	14:20-15:40	遠隔授業 (同期型)	糖尿病治療薬総論	山田 哲也	
18	12/5	15:50-17:10		予備枠		
19	12/6	09:00-10:20		自習		
20	12/6	10:30-11:50		自習		
21	12/6	12:50-14:10	遠隔授業 (同期型)	ホルモン受容体異常症	杉山 徹	
22	12/6	14:20-15:40	遠隔授業 (非同期型)	高血圧	柴 久美子	
23	12/6	15:50-17:10		予備枠		
24	12/9	09:00-10:20	遠隔授業 (同期型)	肥満とやせ	菅波 孝祥	
25	12/9	10:30-11:50	遠隔授業 (同期型)	骨代謝からみた内分泌代謝学	竹内 靖博	
26	12/9	12:50-14:10	遠隔授業 (同期型)	副腎疾患1	村上 正憲	
27	12/9	14:20-15:40	遠隔授業 (同期型)	副腎疾患2	村上 正憲	
28	12/9	15:50-17:10		予備枠		
29	12/10	09:00-10:20		自習		
30	12/10	10:30-11:50		自習		
31	12/10	12:50-14:10	遠隔授業 (同期型)	視床下部・下垂体疾患1	池田 賢司	
32	12/10	14:20-15:40	遠隔授業 (同期型)	視床下部・下垂体疾患2	池田 賢司	
33	12/10	15:50-17:10		予備枠		
34	12/11	09:00-10:20	遠隔授業 (同期型)	甲状腺疾患1	橋本 貢士	
35	12/11	10:30-11:50	遠隔授業 (同期型)	甲状腺疾患2	橋本 貢士	
36	12/11	12:50-14:10	遠隔授業 (同期型)	臨床栄養学	南 勲	
37	12/11	14:20-15:40	遠隔授業 (同期型)	多発性内分泌腫瘍とホルモン産生腫瘍	泉山 肇	
38	12/11	15:50-17:10		予備枠		
39	12/12	12:50-14:10	遠隔授業 (同期型)	TBL	池田 賢司	TBL
40	12/12	14:20-15:40	遠隔授業 (非同期型)	脂質代謝異常	小宮 力	
41	12/12	15:50-17:10		予備枠		

時間割番号	011065				
科目名	血液・腫瘍		科目ID		
担当教員	森 毅彦[MORI Takehiko]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	3	単位数	2
実務経験のある教員による授業	該当する				
教員によっては出席を取る可能性あり。 試験は全ての授業項目から出るため、欠席した場合は、WebClass に掲載の講義スライドで自習すること。					
主な講義場所 主にオンラインによる遠隔講義(同期・非同期)					
授業の目的、概要等 血液内科学(成人および小児)・放射線治療学・臨床腫瘍学・緩和ケア心身医療学・病理学において医師・専門医として活躍できる基礎的知識を習得すること。造血器全般の成り立ちと働きを理解する。					
授業の到達目標 1)血算・凝固検査の見方とそこから想定される病態を理解する。 2)各血液疾患(成人および小児)の病態、診断、治療法を理解する。 3)悪性腫瘍(造血器腫瘍を含む)に対するがん薬物療法、がんゲノム診療を理解する。 4)悪性腫瘍(造血器腫瘍を含む)に対する放射線治療学の原理、効果、副作用などを理解する。 5)緩和ケアに関する基礎を習得する。 6)血液疾患・悪性腫瘍の病理学の知識を習得する。 7)悪性腫瘍患者における緩和ケア、心身医療の基礎を習得する。					
文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(令和4 年度改訂版) https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/116/toushin/mext_01280.html					
GE-01-06)01,02,03,04,05 GE-03-06)02,03,04,05,06 PS-02-02)01,02,03,04,05 PS-02-06)02 PS-02-07)01 PS-02-12)01,02,03,04 PS-02-14)05 PS-03-02)02,04 PS-03-04)01,04,05,06,07,08,09,23,24,25,26,27 CS-01-02)02 CS-02-02)01,02,03,04 CS-02-03)07 CS-02-04)01,09,10,12,13,15,41,44,49 CS-03-01)01 CS-03-03)01					
医学科コンピテンシーよりこの科目で身につけるレベル [I-2-B]世界的に注目されている医学／歯学／健康に関する主たるトピックについて、議論できる [I-3-B]科学/医学/歯学専門用語/表現の理解/表記/発音ができる [II-1-A]医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる					

[II-3-B]臨床的あるいは科学的問題提起ができる

[III-1-A]他者の貢献、時間、価値感、人格を尊重し、常に敬意を払って接することができる

[III-9-A]個人の生活における責務と医学科での学習及び社会的な責務について、適切にバランスを取ることができる

[III-12-A]メンタルストレスに直面した際、それを認識し、適切な解消処置をとれる

[III-14-A]時間厳守、信頼性、適切な準備、率先性、遂行能力を示すことができる

[III-15-A]文書課題を、正確で判読しうる質にて作成し、規定期限内に提出できる

[III-16-A]本学を含めた当該機関内規、法律、専門職社会内規範を遵守できる

[III-18-A]他者への良識を逸する振舞い(無礼、短気など)を認識し、助言を求め、今後起こさぬよう振舞いを修正することができる

[III-23-A]記述、プレゼンテーション、論文、および研究情報などの利用において、著作権を尊重し、それに沿って行動できる

[III-26-A]自身の知識・能力・振舞いを批判的に省察し、長所と課題点を同定し、改善の為に学習目標を設定し、それを達成するのに適した学習活動に取り組むことができる

[III-27-A]自身に対するフィードバックにもとづき省察し自己改善を実現できる

[III-28-A]他人に建設的なフィードバックを適切な形で提示できる

[III-29-A]ポートフォリオを活用して、課題設定を行い、自己学習・自己研鑽できる

[IV-1-B]書面にて、患者に関する臨床情報を統合し要約することができる

[V-1-A]基礎医学の知識を疾患の病因・病態・臨床徴候などの理解に応用できる

[V-2-B]頻度の高い疾患について、疫学/病因/病理/病態/症候/予後を説明できる

[V-3-C]症候/問題の原因評価において用いられる評価法についての知識(適応/合併症/限界)を提示できる

[V-4-B]頻度の高い疾患に対する治療法(薬物療法、非薬物療法の双方を含む)に関する知識を提示できる

[V-7-B]頻度の高い疾病についての予防戦略についての知識を提示できる

[VI-8-C]主要な症候をきたす病態/疾患を列挙できる

[VI-15-C]臨床実習の学習項目に含まれる異常所見と、その診断的意義を説明できる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-5	10/30	09:00-17:10					
6-8	10/31	12:50-17:10					
9	11/1	09:00-10:20					
10	11/1	10:30-11:50					
11	11/1	12:50-14:10					
12	11/1	14:20-15:40	遠隔授業 (同期型)	血液疾患概論・赤血球系疾患-1 貧血(造血不全以外)		森 毅彦	【到達目標】1)2) 【学習方法】講義 視聴
13	11/1	15:50-17:10	遠隔授業 (同期型)	赤血球系疾患-2 造血不全・MDS		田中 圭祐	【到達目標】1)2) 【学習方法】講義 視聴
14	11/5	09:00-10:20					
15	11/5	10:30-11:50	遠隔授業 (同期型)	白血球系疾患-1 骨髄増殖性腫瘍		長尾 俊景	【到達目標】1)2) 【学習方法】講義 視聴
16	11/5	12:50-14:10	遠隔授業 (同期型)	白血球系疾患-2 急性白血病		森 毅彦	【到達目標】1)2) 【学習方法】講義 視聴
17	11/5	14:20-15:40	遠隔授業 (同期型)	リンパ系疾患-1 悪性リンパ腫		森 毅彦	【到達目標】1)2) 【学習方法】講義 視聴
18	11/5	15:50-17:10	遠隔授業 (同期型)	リンパ系疾患-2 多発性骨髄腫と類縁疾患等		吉藤 康太	

19	11/6	09:00-10:20	遠隔授業 (非同期型)	病理講義		山本 浩平	【到達目標】1)2)6) 【学習方法】講義 視聴
20	11/6	10:30-11:50	遠隔授業 (非同期型)	骨髄(白血球)系疾患-小児		高木 正稔	【到達目標】1)2) 【学習方法】講義 視聴
21	11/6	12:50-14:10	遠隔授業 (非同期型)	凝固・止血異常(小児)		磯田 健志	【到達目標】1)2) 【学習方法】講義 視聴
22	11/6	14:20-15:40	遠隔授業 (非同期型)	赤血球系疾患-小児血液		神谷 尚宏	【到達目標】1)2) 【学習方法】講義 視聴
23	11/6	15:50-17:10	遠隔授業 (同期型)	放射線治療総論		長野 拓也	【到達目標】4) 【学習方法】講義 視聴
24	11/7	12:50-14:10	遠隔授業 (非同期型)	放射線生物学		三浦 雅彦	【到達目標】4) 【学習方法】講義 視聴
25	11/7	14:20-15:40	遠隔授業 (同期型)	放射線治療各論-1		松原 大五郎	【到達目標】4) 【学習方法】講義 視聴
26	11/7	15:50-17:10					
27	11/8	09:00-10:20	遠隔授業 (同期型)	血液疾患に対する最新の治療		梅澤 佳央	【到達目標】1)2) 【学習方法】講義 視聴
28	11/8	10:30-11:50	遠隔授業 (同期型)	造血幹細胞移植		森 毅彦	【到達目標】1)2) 【学習方法】講義 視聴
29	11/8	12:50-14:10	遠隔授業 (同期型)	放射線治療各論-2		桑原 宏文	【到達目標】4) 【学習方法】講義 視聴
30-31	11/8	14:20-17:10	4 階学生 実習室	病理実習		山本 浩平	【到達目標】6) 【学習方法】講義 視聴
32	11/11	09:00-10:20	遠隔授業 (同期型)	臨床腫瘍学総論		浜本 康夫	【到達目標】3) 【学習方法】講義 視聴
33	11/11	10:30-11:50	遠隔授業 (非同期型)	臨床腫瘍学各論(1)		末永 光邦	【到達目標】3) 【学習方法】講義 視聴
34	11/11	12:50-14:10	遠隔授業 (非同期型)	臨床腫瘍学各論(2)		加納 嘉人	【到達目標】3) 【学習方法】講義 視聴
35	11/11	14:20-15:40	遠隔授業 (同期型)	ケーススタディー (小児科)		磯田 健志	【到達目標】1)2) 【学習方法】グループ議論あるいは全体議論
36	11/11	15:50-17:10					
37	11/12	09:00-10:20	遠隔授業	緩和ケア・心身医療科		野里 洵子	【到達目標】5)7)

			(同期型)	(1)			【学習方法】講義 視聴
38	11/12	10:30-11:50	遠隔授業 (同期型)	緩和ケア・心身医療科 (2)		佐藤 信吾	【到達目標】5)7) 【学習方法】講義 視聴
39	11/12	12:50-14:10	遠隔授業 (同期型)	血液疾患の合併症		森 毅彦	【到達目標】1)2) 【学習方法】講義 視聴
40	11/12	14:20-15:40	遠隔授業 (同期型)	凝固・止血異常(成人)		小山 高敏	【到達目標】1)2) 【学習方法】講義 視聴
41	11/12	15:50-17:10					
42	11/13	09:00-10:20	遠隔授業 (同期型)	血液細胞の見方と血液 疾患の特殊検査		東田 修二	【到達目標】1)2) 【学習方法】講義 視聴
43	11/13	10:30-11:50					
44-45	11/13	12:50-15:40	遠隔授業 (同期型)	ケーススタディー(成人)		森 毅彦	【到達目標】1)2) 【学習方法】グル ープ議論あるい は全体議論
46	11/13	15:50-17:10	遠隔授業 (同期型)	がんゲノム診療総論		池田 貞勝	【到達目標】3) 【学習方法】講義 視聴
47-48	11/14	12:50-15:40					
49	11/14	15:50-17:10					
50	11/15	09:00-10:20	その他	自習			【到達目標】自習 のため該当なし 【学習方法】自習
51	11/15	10:30-11:50	その他	自習			【到達目標】自習 のため該当なし 【学習方法】自習
52	11/15	12:50-13:50		評価(60分)	試験	森 毅彦	
53	11/15	14:20-15:40					

授業方法

同期型を基本とするが、一部に非同期配信型(事前に録画した動画)で行う。

講義によっては事前の課題提示を行うことで、アクティブラーニングの時間を設け、学生側からのプレゼン・説明を求め、教員がコメントを追加しながら理解を深める。

授業内容

成人および小児の良性血液疾患(再生不良性貧血、溶血性貧血、鉄欠乏性貧血、特発性血小板減少性紫斑病、先天性免疫不全症など)、血液悪性腫瘍(慢性白血病、急性白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、骨髄異形成症候群など)、止血・血栓に関わる疾患(先天性凝固異常症、DIC など)

臨床腫瘍学(がん化学療法、分子標的薬、がんゲノム診療)

(がんに対する)放射線治療

緩和ケア・心身医療

病理学(血液疾患・腫瘍)

成績評価の方法

試験の形式は以下の通り。

血液内科: マルチ・チョイス問題

放射線治療学: マルチ・チョイス問題 小児血液: マルチ・チョイス問題 臨床腫瘍学・がんゲノム診療: マルチ・チョイス問題 病理学: マルチ・チョイス問題 緩和ケア・心身医療学: マルチ・チョイス問題 教員により出席をとった場合には出席も評価対象とする。
成績評価の基準 試験合計得点により判定する。臨床実習を行う準備として、十分なレベルに到達していることが確認できたことをもって、合格(B判定)とする。その上で、成績に応じて加点し、AあるいはA+判定とする。
準備学習等についての具体的な指示 各専門の教科書を読み予習する。授業に出席し、講義を聞き、知識を深める。教科書に立ち返り学んだことを復習し、知識を更に深める。
試験の受験資格 出席率は試験受験の要件とはしない。全員に受験資格あり。
モジュールの単位判定 下記の「成績評価」によって単位の取得の判定をする。
教科書 ハーバード大学テキスト血液疾患の病態 メディカルサイエンス社 造血器腫瘍診療ガイドライン 2018 年版補訂版 日本血液学会編 (オンライン有り) 小児血液・腫瘍学 日本小児血液・がん学会編 診断と治療社 2015 年初版 放射線治療計画ガイドライン 2020 年版(オンライン有り) 新版 がん緩和ケアガイドブック 日本医師会監修 専門家をめざす人のための緩和医療学(改訂第2版)(日本緩和医療学会)
備考 前年までからの改善点: ケーススタディーに対する評価が高かったため、その要素を増やす。講義スライドの upload のタイミングを早める、不具合のある動画の修正等を行う。
連絡先(メールアドレス) 森 毅彦: 森毅彦 mori.hema@tmd.ac.jp
オフィスアワー 森 毅彦: プログラムにより異なるので、受講前に担当教員に確認すること。

時間割番号	011066				
科目名	一般外科		科目ID		
担当教員	絹笠 祐介[KINUGASA Yuusuke]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	3	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				
授業の目的、概要等					
外科的諸疾患についての考え方と、診断と外科的治療の基本原則の理解をはかる。					
● 病因・病態論、診断法、手術適応、手術術式、周術期管理を主として学ぶ。					
● 外科学の歴史のほか、医の倫理、インフォームド・コンセント、生活の質(Quality of life: QOL)についても、外科の立場でふれる。					
授業の到達目標					
1) 外科系の臨床実習(clinical clerkship)に必要な知識を習得する。					
2) 腹部所見の記載法など、外科診断学の基本的事項を説明できる					
3) 周術期の生体反応(侵襲、代謝・栄養、創傷治癒など)について説明できる					
4) 主な消化器・一般外科の疾患の外科的治療について説明できる					
5) 主な消化器・一般外科の疾患の周術期管理について説明できる					
6) 外科におけるインフォームド・コンセントの意義について説明できる					
文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(令和4年度改訂版)					
https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/116/toushin/mext_01280.html					
GE-01-04)03,04					
PS-01-03)33					
PS-02-02)01					
PS-02-06)02,05					
PS-02-08)01,02,03,04,05					
PS-02-09)01					
PS-02-10)05					
PS-02-13)01,02,03,05					
PS-02-14)05					
PS-03-01)05,06,07,08					
PS-03-03)02,07					
PS-03-04)01,04,05,06,07,08,10,13,14,17,20,23,24,25,26,27					
PS-03-05)15					
CS-01-02)02,03					
CS-02-02)01,02					
CS-02-03)06,07					
CS-02-04)01,05,10,13,14,19,20,21,22,23,24,25,26,27,34,35					
CS-03-02)01					
CS-03-03)01					
SO-02-02)05					

医学科コンピテンシーよりこの科目で身につけるレベル

[I-2-B]世界的に注目されている医学／歯学／健康に関する主たるトピックについて、議論できる

[I-3-B]科学/医学/歯学専門用語/表現の理解/表記/発音ができる

[II-1-A]医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる

[II-3-B]臨床的あるいは科学的問題提起ができる

[III-1-A]他者の貢献、時間、価値感、人格を尊重し、常に敬意を払って接することができる

[III-9-A]個人の生活における責務と医学科での学習及び社会的な責務について、適切にバランスを取ることができる

[III-12-A]メンタルストレスに直面した際、それを認識し、適切な解消処置をとれる

[III-14-A]時間厳守、信頼性、適切な準備、率先性、遂行能力を示すことができる

[III-15-A]文書課題を、正確で判読しうる質にて作成し、規定期限内に提出できる

[III-16-A]本学を含めた当該機関内規、法律、専門職社会内規範を遵守できる

[III-18-A]他者への良識を逸する振舞い(無礼、短気など)を認識し、助言を求め、今後起こさぬよう振舞いを修正することができる

[III-23-A]記述、プレゼンテーション、論文、および研究情報などの利用において、著作権を尊重し、それに沿って行動できる

[III-26-A]自身の知識・能力・振舞いを批判的に省察し、長所と課題点を同定し、改善の為に学習目標を設定し、それを達成するのに適した学習活動に取り組むことができる

[III-27-A]自身に対するフィードバックにもとづき省察し自己改善を実現できる

[III-28-A]他人に建設的なフィードバックを適切な形で提示できる

[III-29-A]ポートフォリオを活用して、課題設定を行い、自己学習・自己研鑽できる

[IV-1-B]書面にて、患者に関する臨床情報を統合し要約することができる

[V-1-A]基礎医学の知識を疾患の病因・病態・臨床徴候などの理解に応用できる

[V-2-B]頻度の高い疾患について、疫学/病因/病理/病態/症候/予後を説明できる

[V-3-C]症候／問題の原因評価において用いられる評価法についての知識(適応／合併症／限界)を提示できる

[V-4-B]頻度の高い疾患に対する治療法(薬物療法、非薬物療法の双方を含む)に関する知識を提示できる

[V-7-B]頻度の高い疾病についての予防戦略についての知識を提示できる

[VI-8-C]主要な症候をきたす病態/疾患を列挙できる

[VI-15-C]臨床実習の学習項目に含まれる異常所見と、その診断的意義を説明できる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	10/22	09:00-10:20	医学科講義室2	ヘルニア	ヘルニア	谷岡 利朗	【到達目標】 4) 【学習方法】対面講義 【その他】講義中に各々質疑応答に対応。質問は講義後もメールで受け付ける。
2	10/22	10:30-11:50	医学科講義室2	血管の外科	止血・凝固、創傷治癒	山本 洋平	【到達目標】 3) 4) 5) 【学習方法】対面講義 【その他】講義中に各々質疑応答に対応。質問は講義後もメールで受け付ける。
3	10/22	12:50-14:10	医学科講義室2	胃・十二指腸の外科	手術合併症・術後障害	徳永 正則	【到達目標】 4) 5) 【学習方法】対面講義 【その他】講義中に各々質

							疑応答に対応。 質問は講義後もメールで受け付ける。
4	10/22	14:20-15:40	医学科講義室2	インフォームド・コンセント	インフォームド・コンセント	佐藤 信吾	【到達目標】 6) 【学習方法】対面講義 【その他】講義中に各々質疑応答に対応。 質問は講義後もメールで受け付ける。
5	10/22	15:50-17:10	医学科講義室2	肝臓・胆嚢・膵臓の外科(1)	肝胆膵悪性腫瘍の研究	田中 真二	【到達目標】 4) 【学習方法】対面講義 【その他】講義中に各々質疑応答に対応。 質問は講義後もメールで受け付ける。
6	10/23	09:00-10:20	医学科講義室2	肝臓・胆嚢・膵臓の外科(2)	肝移植医療	赤星 径一	【到達目標】 4) 【学習方法】対面講義 【その他】講義中に各々質疑応答に対応。 質問は講義後もメールで受け付ける。
7	10/23	10:30-11:50	医学科講義室2	乳腺の外科	乳腺の外科	小田 剛史	【到達目標】 4)5) 【学習方法】対面講義 【その他】講義中に各々質疑応答に対応。 質問は講義後もメールで受け付ける。
8	10/23	12:50-14:10	医学科講義室2	食道・横隔膜の外科	食道・横隔膜の外科	藤原 尚志	【到達目標】 4)5) 【学習方法】対面講義 【その他】講義中に各々質疑応答に対応。 質問は講義後もメールで受け付ける。
9	10/23	14:20-15:40	医学科講義室2	小腸・大腸の外科(1)	炎症性腸疾患の外科治療	花岡 まりえ	【到達目標】 4)5) 【学習方法】対面講義 【その他】講義中に各々質疑応答に対応。 質問は講義後もメールで受け付ける。

							ールで受け付け る。
10	10/23	15:50-17:10	医学科講 義室 2	小児の外科	小児の外科	岡本 健太郎	【到達目標】 4) 5) 【学習方法】対面 講義 【その他】 講義中に各々質 疑応答に対応。 質問は講義後もメ ールで受け付け る。
11	10/24	12:50-14:10	医学科講 義室 2	肝臓・胆嚢・膵臓の外科 (3)	肝胆膵ミニケース	小野 宏晃	【到達目標】 4) 5) 【学習方法】対面 講義 【その他】 講義中に各々質 疑応答に対応。 質問は講義後もメ ールで受け付け る。
12	10/24	14:20-15:40	医学科講 義室 2	侵襲・代謝・栄養	侵襲・代謝・栄養	小郷 泰一	【到達目標】 3) 【学習方法】対面 講義 【その他】 講義中に各々質 疑応答に対応。 質問は講義後もメ ールで受け付け る。
13	10/24	15:50-17:10	医学科講 義室 2	急性腹症	急性腹症	佐々木 恵	【到達目標】 1) 2) 3) 4) 【学習方法】 対面講義 【その 他】講義中に各々 質疑応答に対 応。質問は講義 後もメールで受け 付ける。
14	10/25	09:00-10:20	遠隔授業 (非同期 型)	小腸・大腸の外科(2)	大腸癌の外科治療	絹笠 祐介	【到達目標】 4) 5) 【学習方法】遠隔 授業(非同期型) 【その他】質問は メールで受け付 ける。
15-18	10/25	10:30-17:10		予備枠			
19	10/28	09:00-10:20		予備枠			
20	10/28	10:30-11:50	医学科講 義室 2	評価(筆記試験)	評価(筆記試験)	小郷 泰一	
21-23	10/28	12:50-17:10		予備枠			
24-28	10/29	09:00-17:10		予備枠			

授業方法

- 各テーマごとに講義 and/or ミニケース方式にて行う。
- 講義は対面、Zoom を使用した遠隔(同期型)講義、WebClass に講義動画を一定期間アップロードする遠隔(非同期型)講義のいずれか

の方式で行う。特に対面では講義中に適宜質疑応答を行うことでアクティブラーニングを実施する。 ● 同期型講義では、チャット機能を用いた質疑応答、個人課題の提出などにより講義内容の理解を深める。 ● 非同期型講義では、動画視聴後に WebClass にて多肢選択式問題に回答することなどにより、講義内容の理解を深める。 ● 各テーマの冒頭に基礎医学の復習を行う。
授業内容 (別表参照)
成績評価の方法 全受講範囲を対象とした試験を行う。講義、下記教科書、参考書の内容から出題される。 素点で 60 点以上(100 点満点)を合格とする。
成績評価の基準 講義の出席確認は行わないが、試験で厳しく評価する。素点で 60 点以上(100 点満点)を合格とする。 試験は主に講義内容から出題されるため、講義への積極的参加により、B 判定以上の評価(合格)を受けることが可能となる。
準備学習等についての具体的な指示 基礎医学の復習は各テーマ毎にその冒頭で行われるが、基礎医学カリキュラム及び消化器・循環器ブロックで履修した基礎医学部分を 通読してから本ブロックを受講すること。 また、受講後には同日中に教科書・参考書の関連領域を通読し、復習・理解しておくことが望ましい。
試験の受験資格 すべての学生が、2024 年 10 月 28 日に行われる試験、ならびに追・再試験を受験する資格をもつ。
教科書 標準外科学 第 15 版／北野正剛 監修 坂井義治、田邊稔、池田徳彦 編集:医学書院, 2019 新臨床外科学 第 4 版／武藤徹一郎 幕内雅敏 監修,川崎誠治, 佐野俊二, 名川弘一, 野口眞三郎, 平田公一 編:医学書院, 2006 NEW 外科学 = NEW Surgery 第 3 版／出月康夫, 古瀬彰, 杉町圭蔵 編:南江堂, 2012 臨床外科学1・2・3／森岡 恭彦／編集,川島 康生／編集,森 昌造／編集,水戸 勉郎／編集:朝倉書店, 2006 TNM 悪性腫瘍分類カラーアトラス 原書 2 版／Philip Rubin, John T.Hansen [著],杉原健一, 秋田恵一 監訳:丸善出版, 2014 ● 標準小児外科学【第 7 版】高松英夫、福澤正洋(監修)、医学書院、2017 ● スタンダード小児外科手術 田口智章、岩中督(監修)、メジカルビュー社、2013 ● ブラッシュアップ急性腹症【第 2 版】窪田忠夫(著)、中外医学社、2018 ● Sabiston Textbook of Surgery: The Biological Basis of Modern Surgical Practice 21th ed. Saunders, USA 2022 ● Schwartz's Principles of Surgery 11th ed. McGraw-Hill Professional, USA 2019 ● Clinical Oncology : A Multi- Disciplinary Approach for Physicians & Students 10th ed. Saunders, USA 2014
参考書 食道癌診療ガイドライン 2022 年版／日本食道学会 編,日本食道学会,:金原出版, 2022 胃癌治療ガイドライン : 医師用／日本胃癌学会編,日本胃癌学会,:金原出版, 2021 大腸癌治療ガイドライン 医師用 2022 年版／大腸癌研究会 編集,大腸癌研究会,:金原出版, 2022 遺伝性大腸癌診療ガイドライン 2020 年版／大腸癌研究会 編:金原出版, 2020 乳癌診療ガイドライン ①治療編 ②疫学・診断編／日本乳癌学会 編,日本乳癌学会,:金原出版, 2019 肝癌診療ガイドライン 2021 年版／日本肝臓学会 編,日本肝臓学会,:金原出版, 2021 エビデンスに基づいた胆道癌診療ガイドライン 改訂第 3 版／日本肝胆膵外科学会胆道癌診療ガイドライン作成委員会 編:医学図書出版, 2019 膵癌診療ガイドライン 2022 年版／日本膵臓学会膵癌診療ガイドライン改訂委員会 編,日本膵臓学会,:金原出版, 2022 IPMN 国際診療ガイドライン 2017 年版 日本語版／国際膵臓学会ワーキンググループ [代表:田中雅夫]:医学書院, 2018 TNM 悪性腫瘍の分類 第 8 版 日本語版／L.H.Sobin, M.K.Gospodarowicz, Ch.Wittekind 編,UICC 日本委員会 TNM 委員会 訳,Sobin, L. H.Gospodarowicz, Mary K,Wittekind, Christian,国際対がん連合日本委員会,:金原出版, 2017 ● 肝内胆管癌診療ガイドライン. 日本肝癌研究会(編) 金原出版、2021 年 ● 十二指腸癌診療ガイドライン. 十二指腸癌診療ガイドライン作成委員会(編) 金原出版、2021 年 ● 転移性肝がん診療ガイドライン. 日本肝胆膵外科学会(編) 医学図書出版、2021 年 ● 食道癌取り扱い規約【第 12 版】. 日本食道学会(編) 金原出版、2022 年 ● 胃癌取り扱い規約【第 15 版】. 日本胃癌学会(編) 金原出版、2017 年 ● 大腸癌取り扱い規約【第 9 版】. 大腸癌研究会(編) 金原出版、2018 年 ● 乳癌取り扱い規約【第 18 版】. 日本乳癌学会(編) 金原出版、2018 年

● 原発性肝癌取扱い規約【第 6 版補訂版】. 日本肝癌研究会(編) 金原出版、2019 年 ● 膵癌取扱い規約【第 8 版】. 日本膵臓学会(編) 金原出版、2023 年 ● 胆道癌取扱い規約【第 7 版】. 日本肝胆膵外科学会(編) 金原出版、2021 年 ● 膵・消化管神経内分泌腫瘍(NEN)診療ガイドライン 2019 年【第 2 版】. 日本神経内分泌腫瘍研究会(編) 金原出版、2019 年
履修上の注意事項 講義中に講義動画の撮影・録画を禁止する。講義資料や参考資料などは著作権の問題があるので、受講登録者以外に公開することを禁ずる。 各授業の講義担当者は以下の通り。担当者は変更となる場合がある。 ・田邊 稔 胆膵外科学分野 教授(肝胆膵外科)tana.msrg@tmd.ac.jp ・絹笠 祐介 消化管外科学分野 教授(大腸・肛門外科)kinugasa.srg1@tmd.ac.jp ・徳永 正則 消化管外科学分野(胃外科)tokunaga.srg1@tmd.ac.jp ・小田 剛史 乳線外科 oda.srg2@tmd.ac.jp ・小野 宏晃 肝胆膵外科学分野(肝胆膵外科)ono.msrg@tmd.ac.jp ・花岡 まりえ 消化管外科学分野(大腸・肛門外科) hana.srg1@tmd.ac.jp ・岡本健太郎 総合外科学分野(小児外科) okasrg2@tmd.ac.jp ・山本 洋平 末梢血管外科 y-yamamoto.srg1@tmd.ac.jp ・谷岡 利朗 消化管外科学分野(胃外科) tanioka.srg1@tmd.ac.jp ・佐々木 恵 消化管外科学分野(大腸・肛門外科)sasaki.srg1@tmd.ac.jp ・藤原尚志 消化管外科学分野(食道外科) fujisrg1@tmd.ac.jp
備考 「手術ビデオが勉強になった」「動画が多用されていて理解が深まった」との学生からの意見が多く認められ、2023 年度の各分野講義に反映させる。
参照ホームページ ● Minds(マインズ)医療情報サービス http://minds.jcqhc.or.jp/n/top.php ● がん情報サービス http://ganjoho.jp/public/index.html ● REICIST ガイドライン改訂版 ver.1.1 http://www.jcog.jp/doctor/tool/recistv11.html ● Common Terminology Criteria for Adverse Events (CTCAE) ver. 4.0 http://www.jcog ● 世界医師会の主な宣言等 http://www.med.or.jp/jma/jma_infoactivity/jma_activity/000503.html
連絡先(メールアドレス) 絹笠 祐介kinugasa.srg1@tmd.ac.jp

時間割番号	011067				
科目名	神経科学・臨床			科目ID	
担当教員	前原 健寿, 高橋 英彦, 横田 隆徳[MAEHARA TAKETOSHI, TAKAHASHI Hidehiko, YOKOTA TAKANORI]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	3	単位数	4
実務経験のある教員による授業	該当する				
授業の目的、概要等					
授業は神経解剖学、神経化学、神経生理学などの基礎的知識の復習に引き続き、教員による講義を行う。その他にも TBL や学生が数名でグループを作り実際の症例を担当し自ら授業を行う臨床講義の形式もある。いずれも学生自身の自主的・積極的な参加が前提となっている。本授業は単独で存在しているわけではなく、すでに学習した基礎神経科学からこれから学ぶクリニカル・クラークシップにいたる一連の授業の一つであり、修了時には主な神経疾患に対する基本的臨床能力を修得できていることを目指している。					
授業の到達目標					
1. 神経系と神経疾患の特徴について説明できる。 2. 診断と検査の基本(神経症状の診察方法)を説明できる。					
文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(令和4 年度改訂版) https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/116/toushin/mext_01280.html					
GE-01-04)05 GE-03-04)02,03,04 PS-02-03)01,02,03,04,05 PS-02-05)01,02,03 PS-02-06)02 PS-02-17)02,03,04,05 PS-03-01)02,03 PS-03-05)08,15 IT-01-02)01 CS-01-01)01,02,03 CS-01-02)01,02,03,04,05 CS-02-01)01,02 CS-02-02)01,02,03,04 CS-02-03)04,07 CS-02-04)01,19,20,21,22,23,24,25,26,27,49 CS-03-02)01 CS-03-03)01,02 CS-03-06)01,02 CS-05-04)02 CM-01-01)01,02 CM-03-01)03					
医学科コンピテンシーよりこの科目で身につけるレベル					
[I-2-B]世界的に注目されている医学／歯学／健康に関する主たるトピックについて、議論できる					
[I-3-B]科学/医学/歯学専門用語/表現の理解/表記/発音ができる					
[II-1-A]医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる					
[II-3-B]臨床的あるいは科学的問題提起ができる					
[III-1-A]他者の貢献、時間、価値感、人格を尊重し、常に敬意を払って接することができる					

[Ⅲ-7-C]ラポールについて説明できる

[Ⅲ-9-A]個人の生活における責務と医学科での学習及び社会的な責務について、適切にバランスを取ることができる

[Ⅲ-12-A]メンタルストレスに直面した際、それを認識し、適切な解消処置をとれる

[Ⅲ-14-A]時間厳守、信頼性、適切な準備、率先性、遂行能力を示すことができる

[Ⅲ-15-A]文書課題を、正確で判読しうる質にて作成し、規定期限内に提出できる

[Ⅲ-16-A]本学を含めた当該機関内規、法律、専門職社会内規範を遵守できる

[Ⅲ-18-A]他者への良識を逸する振舞い(無礼、短気など)を認識し、助言を求め、今後起こさぬよう振舞いを修正することができる

[Ⅲ-23-A]記述、プレゼンテーション、論文、および研究情報などの利用において、著作権を尊重し、それに沿って行動できる

[Ⅲ-26-A]自身の知識・能力・振舞いを批判的に省察し、長所と課題点を同定し、改善の為に学習目標を設定し、それを達成するのに適した学習活動に取り組むことができる

[Ⅲ-27-A]自身に対するフィードバックにもとづき省察し自己改善を実現できる

[Ⅲ-28-A]他人に建設的なフィードバックを適切な形で提示できる

[Ⅲ-29-A]ポートフォリオを活用して、課題設定を行い、自己学習・自己研鑽できる

[Ⅳ-1-B]書面にて、患者に関する臨床情報を統合し要約することができる

[Ⅴ-1-A]基礎医学の知識を疾患の病因・病態・臨床徴候などの理解に応用できる

[Ⅴ-2-B]頻度の高い疾患について、疫学/病因/病理/病態/症候/予後を説明できる

[Ⅴ-3-C]症候／問題の原因評価において用いられる評価法についての知識(適応／合併症／限界)を提示できる

[Ⅴ-4-B]頻度の高い疾患に対する治療法(薬物療法、非薬物療法の双方を含む)に関する知識を提示できる

[Ⅴ-7-B]頻度の高い疾病についての予防戦略についての知識を提示できる

[Ⅵ-8-C]主要な症候をきたす病態/疾患を列挙できる

[Ⅵ-15-C]臨床実習の学習項目に含まれる異常所見と、その診断的意義を説明できる

[Ⅶ-2-C]急性期、慢性期、および長期的ケアを含む医療の向上に向けた、様々な専門分野の協力にもとづくアプローチについて、説明できる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	9/2	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	ブロックガイダンス	神経ブロックの3科での講義について概説する。	杉原 玄一、 鈴木 基弘 清水 一秀	【到達目標】1, 2 【学習方法】遠隔講義
2-3	9/2	10:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	基礎ミニテスト、復習(神経解剖)	基礎ミニテスト、復習: 提出された解答で出席を確認する。	清水 一秀	【到達目標】1, 2 【学習方法】遠隔講義
4	9/2	12:50-13:40	医学科講義室2	精神科 精神科概説	精神科の疾患、検査、治療などを概説する。	高橋 英彦	【到達目標】1, 2 【学習方法】対面講義 【アクティブラーニングの種類】Q&A
5	9/2	13:50-14:40	医学科講義室2	脳神経外科 脳外科概説	脳神経外科学の疾患、検査、治療などを概説する。	前原 健寿	【到達目標】1, 2 【学習方法】対面講義
6	9/2	14:50-15:40	医学科講義室2	脳神経内科 脳神経内科概説	脳神経内科の疾患、検査、治療などを概説する。	服部 高明	【到達目標】1, 2 【学習方法】対面講義
7	9/2	15:50-16:40		予備枠			
8	9/3	09:00-09:50	医学科講義室2	検査(2)生理検査 (伝導検査、他)		赤座 実穂	【到達目標】2 【学習方法】対面講義
9	9/3	10:00-10:50	医学科講義室2	検査(1)機能(脳波、て)	脳神経外科の機能疾患における	前原 健寿	【到達目標】2

			義室2	んかん)	検査について概説する。		【学習方法】対面 講義
10	9/3	11:00-11:50	医学科講 義室2	検査(2)画像検査-1 (CT,MRI,SPECT,PET)	脳神経外科で頻用される画像検査 について概説する(前半)	原 祥子	【到達目標】2 【学習方法】対面 講義
11	9/3	12:50-13:40		自習			
12	9/3	13:50-14:40	医学科講 義室2	血管内治療概説	脳血管内治療の最先端を概説す る。	壽美田 一貴	【到達目標】1、2 【学習方法】対面 講義
13	9/3	14:50-15:40	遠隔授業 (同期型)	脳神経内科 認知症1		三條 伸夫	【到達目標】1、2 【学習方法】対面 講義
14	9/3	15:50-16:40		予備枠			
15-16	9/4	09:00-10:50	医学科講 義室2	精神科 児童精神科	児童精神科対象の精神障害、神経 発達症(知的発達症、自閉スペク ラム症、注意欠如多動症等)につ いて概説する。	佐々木 祥乃	【到達目標】1、2 【学習方法】対面 講義 【アクティ ブラーニングの 種類】Q&A
17	9/4	11:00-11:50	医学科講 義室2	検査(2)画像検査-2 (CT,MRI,SPECT,PET)	脳神経外科で頻用される画像検査 について概説する(後半)	田中 洋次	【到達目標】2 【学習方法】対面 講義
18-20	9/4	12:50-15:40	医学科講 義室2	脳神経内科 診察と症候 学		石黒 太郎	【到達目標】2 【学習方法】対面 講義
21	9/4	15:50-16:40		予備枠			
22-23	9/5	12:50-14:40	医学科講 義室2	脳神経内科 臨床講義5 (認知症)	担当学生が指導医の指導の下で 実際の症例を診察し、ビデオを用 いてプレゼンテーションと疾患に 関する考察を全体で行う。	西田 陽一郎	【到達目標】 【学 習方法】臨床講義
24	9/5	14:50-15:40	医学科講 義室2	脳神経内科 感染症		融 衆太	
25	9/5	15:50-16:40		予備枠			
26	9/6	09:00-09:50	医学科講 義室2	脳神経外科 脳梗塞の 外科		阿部 大数	【到達目標】1、2 【学習方法】対面 講義
27	9/6	10:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	脳神経外科 小児奇形		原 祥子	【到達目標】1、2 【学習方法】対面 講義
28	9/6	11:00-11:50	医学科講 義室2	脳神経内科 虚血性脳 血管障害1		一條 真彦	【到達目標】1、2 【学習方法】対面 講義
29-30	9/6	12:50-14:40	医学科講 義室2	脳神経内科 臨床講義3 (脱髄)	担当学生が指導医の指導の下で 実際の症例を診察し、ビデオを用 いてプレゼンテーションと疾患に 関する考察を全体で行う。Zoom 視 聴履歴(入退出時刻)で出席確認を する。	横手 裕明	【到達目標】1、2 【学習方法】臨床 講義
31	9/6	14:50-15:40	医学科講 義室2	脳神経内科 (脱髄性疾 患)		横手 裕明	【到達目標】1、2 【学習方法】対面

							講義
32	9/9	09:00-09:50		自習	自習		【学習方法】自習
33-34	9/9	10:00-11:50	医学科講義室2	急性期脳梗塞の血管内治療		平井 作京	【到達目標】1, 2 【学習方法】対面講義
35-36	9/9	12:50-14:40	医学科講義室2	精神科 気分障害	気分障害(抑うつ症、双極症等)について概説する。	小林 七彩 四手井 友紀	【到達目標】1, 2 【学習方法】対面講義 【アクティブラーニングの種類】Q&A
37	9/9	14:50-15:40	医学科講義室2	精神科 睡眠障害	睡眠・覚醒障害等について概説する。	平井 伸英	【到達目標】1, 2 【学習方法】対面講義 【アクティブラーニングの種類】Q&A
38	9/9	15:50-16:40		予備枠			
39	9/10	09:00-09:50	医学科講義室2	精神科 症状精神病 リエゾン	症状精神病(身体疾患等による精神障害)、他科とのリエゾン、精神科コンサルテーション等について概説する。	竹内 崇	【到達目標】1, 2 【学習方法】対面講義 【アクティブラーニングの種類】Q&A
40-41	9/10	10:00-11:50	医学科講義室2	精神科 統合失調症	統合失調スペクトラム症等について概説する。	高木 俊輔	【到達目標】1, 2 【学習方法】対面講義 【アクティブラーニングの種類】Q&A
42-44	9/10	12:50-15:40	医学科講義室2	脳神経外科 脳腫瘍		田村 郁	【到達目標】1, 2 【学習方法】対面講義
45	9/10	15:50-16:40	医学科講義室2	精神科 パーソナリティ障害(パーソナリティ症)	パーソナリティ症等について概説する。	中村 啓信	【到達目標】1, 2 【学習方法】対面講義 【アクティブラーニングの種類】Q&A
46	9/11	09:00-09:50	医学科講義室2	脳神経内科 炎症性筋疾患・傍腫瘍性症候群・神経筋接合部疾患		富満 弘之	【到達目標】1, 2 【学習方法】対面講義
47	9/11	10:00-10:50	医学科講義室2	脳神経外科 頭部外傷		稲次 基希	【到達目標】1, 2 【学習方法】対面講義
48	9/11	11:00-11:50	医学科講義室2	脳神経外科 定位脳手術		稲次 基希	【到達目標】1, 2 【学習方法】対面講義
49-50	9/11	12:50-14:40	医学科講義室2	脳神経内科 臨床講義2 (PD)	担当学生が指導医の指導の下で実際の症例を診察し、ビデオを用いてプレゼンテーションと疾患に関する考察を全体で行う。	服部 高明	【到達目標】1, 2 【学習方法】臨床講義
51	9/11	14:50-15:40	医学科講義室2	脳神経内科 認知症(AD以外)		大久保 卓哉	【到達目標】1, 2 【学習方法】対面

							講義
52	9/11	15:50-16:40		予備枠			
53	9/12	12:50-13:40	医学科講義室 2	基礎ミニテスト、復習(生理)	基礎ミニテストと神経生理の復習の講義。提出された解答で出席を確認する。	吉岡 耕太郎	【到達目標】1 【学習方法】対面講義
54	9/12	13:50-14:40	医学科講義室 2	脳神経内科 錐体外路疾患		市川 忠	【到達目標】1, 2 【学習方法】対面講義
55	9/12	14:50-15:40	医学科講義室 2	脳神経内科 虚血性脳血管障害 2		鈴木 基弘	【到達目標】1, 2 【学習方法】対面講義
56	9/12	15:50-16:40		予備枠			
57-59	9/13	09:00-11:50	遠隔授業(同期型)	病理実習(感染症、脱髄性疾患、神経変性疾患)	感染症、脱髄性疾患、神経変性疾患における病理学的診断の実習を行う。	新宅 洋	【到達目標】1 【学習方法】対面講義
60-62	9/13	12:50-15:40	遠隔授業(同期型)	病理実習(脳腫瘍・血管障害)	脳腫瘍・血管障害における病理学的診断の実習を行う。	新宅 洋	【到達目標】1 【学習方法】対面講義
63	9/17	09:00-09:50	共用講義室 2	精神科 神経症性障害	神経症圏の障害(不安症、強迫症、解離症、身体症状症、食行動症、摂食症等)について概説する	田村 越紘	【到達目標】1, 2 【学習方法】対面講義 【アクティブラーニングの種類】Q&A
64	9/17	10:00-10:50	共用講義室 2	精神科 精神医学トピックス	精神医学研究と精神科臨床に関する最新のトピックスをとりあげて概説する。	杉原 玄一	【到達目標】1, 2 【学習方法】対面講義 【アクティブラーニングの種類】Q&A
65	9/17	11:00-11:50	共用講義室 2	精神科 認知症(BPSD)	神経認知障害の行動心理症状 Behavioral and psychological symptoms of dementia について概説する。	古田 光	【到達目標】1, 2 【学習方法】対面講義 【アクティブラーニングの種類】Q&A
66	9/17	12:50-13:40	共用講義室 2	未破裂脳動脈瘤と動静脈シャントの脳血管内治療		壽美田 一貴	【到達目標】1, 2 【学習方法】対面講義
67-68	9/17	13:50-15:40	共用講義室 2	精神科 精神医学に必要な神経科学、基礎ミニテスト	ミニテストと神経生理の復習。提出された解答で出席を確認する。	塩飽 裕紀	【到達目標】1, 2 【学習方法】対面講義 【アクティブラーニングの種類】ミニテスト
69	9/17	15:50-16:40		予備枠			
70	9/18	09:00-09:50	医学科講義室 2	脳神経外科 意識障害		河野 能久	【到達目標】1, 2 【学習方法】対面講義
71	9/18	10:00-10:50	医学科講義室 2	脳神経外科 脳出血		河野 能久	【到達目標】1, 2 【学習方法】対面講義
72	9/18	11:00-11:50	医学科講義室 2	脳神経外科 くも膜下出		河野 能久	【到達目標】1, 2

			義室 2	血			【学習方法】対面 講義
73-74	9/18	12:50-14:40	医学科講 義室 2	脳神経内科 臨床講義1 (MND)	担当学生が指導医の指導の下で 実際の症例を診察し、ビデオを用 いてプレゼンテーションと疾患に 関する考察を全体で行う。	永田 哲也	【到達目標】1, 2 【学習方法】対面 講義(臨床講義)
75	9/18	14:50-15:40	医学科講 義室 2	脳神経内科: ALS		永田 哲也	【到達目標】1, 2 【学習方法】対面 講義
76	9/18	15:50-16:40	医学科講 義室 2	脳神経内科 末梢神経 障害		入岡 隆	【到達目標】1, 2 【学習方法】対面 講義
77	9/19	12:50-13:40	医学科講 義室 2	脳神経内科 機能疾患 ①(頭痛、めまい)		鎌田 智幸	【到達目標】1, 2 【学習方法】対面 講義
78	9/19	13:50-14:40	医学科講 義室 2	脳神経内科 Guillain-Barre 症候群		叶内 匡	【到達目標】1, 2 【学習方法】対面 講義
79	9/19	14:50-15:40	医学科講 義室 2	脳神経内科 小脳障害		石川 欽也	【到達目標】1, 2 【学習方法】対面 講義
80	9/19	15:50-16:40	医学科講 義室 2	脳神経内科 筋疾患		桑原 宏哉	【到達目標】1, 2 【学習方法】対面 講義
81-83	9/20	09:00-11:50	医学科講 義室 2	TBL(脳外科)	グループで症例検討を行う。提出 された解答で出席確認をする。	稲次 基希, 原 祥子	【到達目標】1, 2 【学習方法】TBL 対面講義
84-85	9/20	13:50-15:40	医学科講 義室 2	脳神経内科 臨床講義4 (SCD/MSA)	担当学生が指導医の指導の下で 実際の症例を診察し、ビデオを用 いてプレゼンテーションと疾患に 関する考察を全体で行う。	桑原 宏哉	【到達目標】1, 2 【学習方法】臨床 講義
86	9/20	15:50-16:40		予備枠			
87	9/24	09:00-09:50		自習	自習		【学習方法】自習
88	9/24	10:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	精神科 ストレス関連障 害	心的外傷およびストレス因関連症 について概説する。	安藤 久美子	【到達目標】1, 2 【学習方法】対面 講義 (2024 年度 は講義室の事情 により遠隔授業) 【アクティブラー ニングの種類】Q& A
89	9/24	11:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	精神科 CBL 気分障害	気分障害(抑うつ症、双極症等)の 症例に関する CBL をおこなう。	小林 七彩, 四手井 友紀	【到達目標】1, 2 【学習方法】CBL (2024 年度は講義 室の事情により 遠隔授業) 【アク ティブラーニング の種類】CBL、Q &A

90	9/24	12:50-13:40	遠隔授業 (同期型)	精神科 CBL 統合失調 症	統合失調スペクトラム症の症例に 関する CBL をおこなう。	高木 俊輔	【到達目標】1, 2 【学習方法】CBL (2024 年度は講義 室の事情により 遠隔授業) 【アク ティブラーニング の種類】CBL、Q &A
91	9/24	13:50-14:40		自習	自習		【学習方法】自習
92-93	9/24	14:50-16:40	遠隔授業 (同期型)	精神科 精神科医療と法 律	精神科医療における法律、制度に ついて概説する。	岡田 幸之	【到達目標】1, 2 【学習方法】対面 講義 (2024 年度 は講義室の事情 により遠隔授業) 【アクティブラーニ ングの種類】Q& A
94	9/25	09:00-09:50	医学科講 義室 2	精神科 物質依存と行動 嗜癖	物質関連症と嗜癖症について概 説する。	治徳 大介	【到達目標】1, 2 【学習方法】対面 講義 【アクティ ブラーニングの 種類】Q&A
95	9/25	10:00-10:50	医学科講 義室 2	精神科 CBL 物質依存 と行動嗜癖	物質関連症と嗜癖症の症例に関 する CBL をおこなう。	治徳 大介	【到達目標】1, 2 【学習方法】CBL 【アクティブラーニ ングの種類】Q& A
96	9/25	11:00-11:50	医学科講 義室 2	精神科 CBL 神経症性 障害、ストレス関連障害	心的外傷およびストレス因関連症 の症例に関する CBL をおこなう。	宮島 美穂	【到達目標】1, 2 【学習方法】CBL 【アクティブラーニ ングの種類】Q& A
97-99	9/25	12:50-15:40	医学科講 義室 2	精神科 学生発表	提出された資料で出席確認をす る。	杉原 玄一	【到達目標】1, 2 【学習方法】学生 発表
100	9/25	15:50-16:40		予備枠			
101-1 03	9/26	13:50-16:40	医学科講 義室 2	脳神経内科(TBL)	グループで症例検討を行う。提出 された解答で出席確認をする。	佐野 達彦	【到達目標】1, 2 【学習方法】TBL 対面講義
104-1 06	9/27	12:50-15:40	医学科講 義室 2	試験		岡田 幸之 西田 陽一郎 清水 一秀	

授業方法

講義、実習

同期／非同期授業のハイブリッドで構成するとともに、アクティブラーニングを実施する。

非同期授業についての質問は、メールで担当教員に問い合わせること(担当教員からの回答は、原則として医学教務係を通じて全員に配信する)。

授業内容

(別表を参照)

成績評価の方法 ◆精神科は、出席 30 点(ミニテスト、学生発表のみ)、ミニテスト 20 点、学生発表 20 点、最終テスト 30 点の合計 100 点満点。 ◆脳神経外科は、出席 20 点(基礎ミニテスト、TBL のみ)、ミニテスト 10 点、TBL 30 点、最終テスト 40 点の合計 100 点満点。 ◆脳神経内科は、ミニテスト 5 点、TBL 20 点、最終テスト 50 点、臨床講義の出席 5 点 x5 回、臨床講義発表(内容により+αの加点)の 100 点満点。 3 科合計 300 点の 60%以上の計 180 点を合格(B)とする。 これに加え、講義や実習の参加態度などに応じて A、A+の評価を与える。 なお、「神経科学・臨床」の最終合格のためには 3 科目すべての本試験(または追試験、再試験)の受験を必須とする。
成績評価の基準 最終試験、ミニテスト、TBL の確認テスト、学生発表、臨床講義の出席など
準備学習等についての具体的な指示 受講前に各科のシラバスを熟読し、内容を理解しておくこと。不明な点があったら、オフィス時間内に各科の担当者に質問をして、確認しておくこと。TBL の受講前には、指定項目を必ず予習すること。
試験の受験資格 各科下記の講義等で出席を確認する。 出席確認方法については授業明細スケジュールの備考欄を確認すること。 原則として下記の全ての講義等に出席すること。ただし、特別な事情があり欠席する場合には事前に医学教務係に必要書類をつけて連絡すること。正当な理由なく下記の講義を欠席した場合、最終試験の受験資格を失う場合がある。 ◆脳神経外科 ミニテスト、TBL ◆脳神経内科 ミニテスト、TBL、臨床講義 ◆精神科 ミニテスト、学生発表
参考書 医学生・研修医のための脳神経内科／神田、隆、1956-、神田隆 著：中外医学社、2021.10 ベッドサイドの神経の診かた／田崎 義昭／著、斎藤 佳雄／著、田崎 義昭、斎藤：南山堂、2016 脳神経外科学 = Neurosurgery／太田富雄 原著、松谷雅生、野崎和彦 編集、太田、富雄、1931-、松谷、雅生、1942-、野崎、和彦、1957-、金芳堂、2021 標準精神医学／尾崎、紀夫、三村、将、1957-、水野、雅文、1961-、尾崎紀夫、三村将、水野雅文、村井俊哉 編集：医学書院、2018.3 カプラン臨床精神医学テキスト：DSM-5 診断基準の臨床への展開／Sadock, Benjamin J, 1933-, Sadock, Virginia A, Ruiz, Pedro, 1936-, 井上、令一、1932-, 四宮、滋子、田宮、聡、1961-, ベンジャミン J. サドック、バージニア A サドック、ペドロ ルイス 編著、井上令一 監修、四宮滋子、田宮聡 監訳：メディカル・サイエンス・インターナショナル、2016.5 DSM-5-TR 精神疾患の分類と診断の手引／米国精神医学会、日本精神神経学会、高橋、三郎、1930-、大野、裕、1950-、染矢、俊幸、1958-、神庭、重信、1954-、尾崎、紀夫、三村、将、1957-、村井、俊哉、中尾、智博、American Psychiatric Association [編]、日本精神神経学会 日本語版用語監修、高橋三郎、大野裕 監訳、染矢俊幸、神庭重信、尾崎紀夫、三村将、村井俊哉、中尾智博 訳：医学書院、2023.9 神経内科ハンドブック：鑑別診断と治療 = Handbook of neurology／水野美邦編集、水野、美邦、：医学書院、2016 脳卒中治療ガイドライン 2021〔改訂 2023〕／日本脳卒中学会脳卒中ガイドライン委員会、日本脳卒中学会脳卒中ガイドライン委員会編集：協和企画、2023.8 頭部外傷治療・管理のガイドライン 第 4 版／日本脳神経外科学会、日本脳神経外傷学会、日本脳神経外科学会、日本脳神経外傷学会 監修、頭部外傷治療・管理のガイドライン作成委員会 編集：医学書院、2019.10 Central Nervous System Tumours (WHO Classification of Tumours 5th Ed.)／WHO Classification of Tumours Editorial Board、世界保健機関、国際癌研究機関、International Agency for Research on Cancer、World Health Organization、2022
履修上の注意事項

授業を効率よく、効果的に受けるためには、基礎知識を復習し、予定の部分を予習したうえで授業に臨むことが必要である。また成績評価には TBL などの active learning の成績も重要視している。学生自ら積極的に授業に参加することが必要である。

備考

脳神経内科:TBL 内テストおよび最終テストでは、講義で扱った内容に沿って出題する。コース評価に基づき、教科書レベルの問題も出題するが、講義を受講しなければ正解にたどり着きづらい問題も出題される。臨床講義は担当学生(募集します)が、指導医の指導の下で、実際の症例を診察し、ビデオを用いてプレゼンテーションをする(もし適した症例がない場合は診療録を参照の上作成することもある)。臨床講義の出席も評価対象となっており、担当学生にはさらに加点される。臨床講義では授業内で担当教員より出席簿にて確認する。

脳神経外科:全講義終了後の本試験とは別のミニテスト、TBL での評価も加味する。予習への取り組みの評価と、講義内容の理解を深めることを目的とする。

精神科: アクティブラーニングに関しては、グループ学習での発表を実施する。

昨年度の学生へのアンケートは概ね良好な結果であり、当年度も大きな変更はなく進める。出席を取る講義を明示し、最終試験の受験資格を明確化した。また参考文献の一部を最新版に update した。

参照ホームページ

脳神経内科:専用のシラバスを作成し、ホームページに随時アップデートする予定

脳神経外科疾患情報ページ <http://square.umin.ac.jp/neuroinf/index.html>

精神科情報ページ 日本うつ病学会 <http://www.secretariat.ne.jp/jsmd/>

日本臨床精神神経薬理学会 <http://www.jscnp.org/>

連絡先(メールアドレス)

前原 健寿:maehara.nsrg@tmd.ac.jp

横田 隆徳:tak-yokota.nuro@tmd.ac.jp

高橋 英彦:hidepsyc@tmd.ac.jp

オフィスアワー

前原 健寿:3 号館 12 階

横田 隆徳:3 号館 12 階

高橋 英彦:3 号館 13 階 適宜 調整する

時間割番号	011068				
科目名	骨・関節・脊椎			科目ID	
担当教員	吉井 俊貴[YOSHII TOSHITAKA]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	3	単位数	2
実務経験のある教員による授業	該当する				
主な講義場所					
医学科講義室2、オンラインによる遠隔講義					
授業の目的、概要等					
高齢社会を迎えて、健康寿命の重要性が知られるようになった。整形外科は身体の運動機能維持を目標とする診療科であり、高齢者の健康寿命延伸は総合診療的側面を持つことから、すべての医師が整形外科的素養を身に着ける必要性がある。また、そもそも整形外科の診療範囲は腰痛や外傷など非常に身近な症候から幅広くカバーしており、日常の外来診療や救急外来においては患者にとって最も身近な外科領域である。そこでは手術治療だけでなく保存治療も重要な手段であり、身体の運動機能を維持するためにやはりすべての医師がその基本を把握している必要がある。そして長寿高齢化がより進んでいく本邦においては、生命予後のみならず機能予後を改善する整形外科に対する社会的要求は今後一層高まっていく事が見込まれる。 そこで本学整形外科の授業では、まず一般整形外科の観点で基本的な診療が行える事を第一の目標とする。これを達成するために多岐にわたる整形外科の分野における授業を対面または非同期オンラインで行う。また知識をさらに深めるためにミニケースを行う。また、知識の確認とアクティブラーニングを目的に TBL を行う。 それぞれの領域における臨床的な基礎知識から最先端の研究に至るまで、幅広い講義を準備した。疾患概念・診断・治療の知識から、本学卒業生に相応しい先端知識・最新研究まで学習が出来ることを目標とする。					
授業の到達目標					
本授業では、 1.骨関節脊椎の機能と障害に関して、その背景から深く理解する、 2.基本的な整形外科疾患の診断から治療までの概略を把握する、 3.運動機能の維持・向上に対し高まる社会ニーズに応えられよう運動器領域の基礎的知識を身に着ける、 4.嚥下を含めた運動機能維持を目的とするリハビリテーション医学の基本的考え方を学ぶ、 事を目標とする。 到達目標は、ミニケースの課題に対する評価が 3 以上(4 段階)、TBL/本試験 60%以上の正答率とする。					
文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(令和4 年度改訂版) https://www.mext.go.jp/content/20230207-mxt_igaku-000026049_00001.pdf					
PS-02-03-01					
PS-02-03-02					
PS-02-03-03					
PS-02-05-01					
PS-02-05-02					
PS-02-05-03					
PS-02-05-04					
PS-02-05-05					
PS-02-06-02					
PS-03-02-02					
PS-03-04-12					
PS-03-05-13					
GE-03-01-03					
GE-03-05-03					
GE-03-05-04					

GE-03-05-05
CS-02-02-01
CS-02-02-02
CS-02-04-01
CS-02-04-20
CS-02-04-45
CS-02-04-46
CS-02-04-47
CS-02-04-48
CS-03-02-01

医学科コンピテンシーよりこの科目で身につけるレベル

[I-2-B]世界的に注目されている医学／歯学／健康に関する主たるトピックについて、議論できる

[I-3-B]科学/医学/歯学専門用語/表現の理解/表記/発音ができる

[II-1-A]医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる

[II-3-B]臨床的あるいは科学的問題提起ができる

[III-1-A]他者の貢献、時間、価値感、人格を尊重し、常に敬意を払って接することができる

[III-9-A]個人の生活における責務と医学科での学習及び社会的な責務について、適切にバランスを取ることができる

[III-12-A]メンタルストレスに直面した際、それを認識し、適切な解消処置をとれる

[III-14-A]時間厳守、信頼性、適切な準備、率先性、遂行能力を示すことができる

[III-15-A]文書課題を、正確で判読しうる質にて作成し、規定期限内に提出できる

[III-16-A]本学を含めた当該機関内規、法律、専門職社会内規範を遵守できる

[III-18-A]他者への良識を逸する振舞い(無礼、短気など)を認識し、助言を求め、今後起こさぬよう振舞いを修正することができる

[III-23-A]記述、プレゼンテーション、論文、および研究情報などの利用において、著作権を尊重し、それに沿って行動できる

[III-26-A]自身の知識・能力・振舞いを批判的に省察し、長所と課題点を同定し、改善の為に学習目標を設定し、それを達成するのに適した学習活動に取り組むことができる

[III-27-A]自身に対するフィードバックにもとづき省察し自己改善を実現できる

[III-28-A]他人に建設的なフィードバックを適切な形で提示できる

[III-29-A]ポートフォリオを活用して、課題設定を行い、自己学習・自己研鑽できる

[IV-1-B]書面にて、患者に関する臨床情報を統合し要約することができる

[V-1-A]基礎医学の知識を疾患の病因・病態・臨床徴候などの理解に応用できる

[V-2-B]頻度の高い疾患について、疫学/病因/病理/病態/症候/予後を説明できる

[V-3-C]症候/問題の原因評価において用いられる評価法についての知識(適応/合併症/限界)を提示できる

[V-4-B]頻度の高い疾患に対する治療法(薬物療法、非薬物療法の双方を含む)に関する知識を提示できる

[V-7-B]頻度の高い疾病についての予防戦略についての知識を提示できる

[VI-8-C]主要な症候をきたす病態/疾患を列挙できる

[VI-15-C]臨床実習の学習項目に含まれる異常所見と、その診断的意義を説明できる

[VII-2-C]急性期、慢性期、および長期的ケアを含む医療の向上に向けた、様々な専門分野の協力にもとづくアプローチについて、説明できる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	12/16	12:50-14:10	医学科講義室2	整形外科 総論		吉井 俊貴	1-4.に関する総論的講義、講義室で聴講し学習。
2	12/16	14:20-15:40	医学科講義室2	脊椎Ⅱ(頸椎疾患・脊髄腫瘍)		平井 高志	主に頸椎領域の12.3.に関する講義。講義室で聴講し学習。
3	12/16	15:50-17:10	遠隔授業	脊椎Ⅰ(腰椎疾患・脊柱)		松倉 遊	主に腰椎領域の

			(非同期型)	変形・脊椎外傷			12.3に関する講義。非同期オンラインで聴講し学習。
4	12/17	09:00-10:20	医学科講義室2	ミニケース1		江川 聡	脊椎領域の1-2に関するオンサイトのミニケース。授業の最後に出席確認をかねた課題を与える。
5	12/17	10:30-11:50	医学科講義室2	骨軟部腫瘍 がんゲノム医療		船内 雄生	主に骨軟部腫瘍領域の12.3に関する講義。オンサイトで聴講し学習。
6	12/17	12:50-14:10	医学科講義室2	骨粗鬆症 診断・投薬・手術		猪瀬 弘之	主に骨粗鬆症領域の12.3に関する講義。オンサイトで聴講し学習。
7	12/17	14:20-15:40	遠隔授業(非同期型)	整形外科基礎科学8筋・靱帯の分子生物学		浅原 弘嗣	3.の基礎分野に関する講義。非同期オンラインで聴講し学習。
8	12/18	09:00-10:20	遠隔授業(非同期型)	転移性骨腫瘍		佐藤 信吾	主に骨転移領域の12.3に関する講義。非同期オンラインで聴講し学習。
9	12/18	10:30-11:50	遠隔授業(非同期型)	末梢神経障害		黒岩 智之	主に末梢神経領域の12.3に関する講義。非同期オンラインで聴講し学習。
10	12/18	12:50-14:10	医学科講義室2	外傷(骨折治療の原則と骨盤・下肢外傷)		王 耀東	主に外傷領域の12.3に関する講義。オンサイトで聴講し学習。
11	12/18	14:20-15:40	医学科講義室2	ミニケース腫瘍・外傷		船内 雄生 加来 拓実	骨軟部腫瘍、転移性骨腫瘍、外傷領域に関するオンサイトのミニケース。授業の最後に出席確認をかねた課題を与える。
12	12/19	12:50-14:10	遠隔授業(非同期型)	感染症・炎症性疾患		中村 智祐	主に骨軟部感染・炎症性疾患領域の12.3に関する

							講義。非同期オンラインで聴講し学習。
13	12/19	14:20-15:40	遠隔授業 (非同期型)	整形外科基礎科学 骨・関節・脊椎 解剖		二村 昭元	1-4の基礎に存在する解剖学の講義。非同期オンラインで聴講し学習。
14	12/20	09:00-10:20	医学科講義室2	TBL		瀬川 裕子、 船内 雄生、 山田 賢太郎	1週目に出た全内容に関するTBL。個人試験の回答有無により出席を確認する。
15	12/20	10:30-11:50	医学科講義室2	特別講義 スポーツ活動の社会的意義		室伏 広治	3の内容を中心とした特別講義。オンラインで聴講し学習。
16	12/23	09:00-10:20	医学科講義室2	整形外科基礎科学 軟骨代謝・再生医学		関矢 一郎	3の基礎分野に関する講義。オンラインで聴講し学習。
17	12/23	10:30-11:50	医学科講義室2	膝関節Ⅰ(加齢性疾患)		中川 裕介	主に膝変性領域の1.2.3に関する講義。オンラインで聴講し学習。
18	12/23	12:50-14:10	遠隔授業 (非同期型)	足の外科		片倉 麻衣	主に足の外科領域の1.2.3に関する講義。非同期オンラインで聴講し学習。
19	12/23	14:20-15:40	遠隔授業 (非同期型)	膝関節Ⅱ(外傷性疾患)		古賀 英之	主に膝外傷領域の1.2.3に関する講義。非同期オンラインで聴講し学習。
20	12/23	15:50-17:10	遠隔授業 (非同期型)	上肢Ⅰ(肩・肘関節疾患とスポーツ整形)		二村 昭元	上肢領域に特化した1-4の基礎に存在する解剖学の講義。非同期オンラインで聴講し学習。
21	12/24	09:00-10:20	遠隔授業 (非同期型)	上肢Ⅱ(手外科・上肢外傷)		佐々木 亨	主に手の外科領域の1.2.3に関する講義。非同期オンラインで聴講し学習。
22	12/24	10:30-11:50	医学科講義室2	ミニケース膝足		大関 信武	膝関節領域の1-2に関するオンラインサイトのミニケー

							ス。授業の最後 に出席確認をか ねた課題を与え る。
23	12/24	12:50-14:10	医学科講 義室 2	高気圧酸素医学		柳下 和慶	主に高気圧酸素 領域の 1-3.に関 する講義。オンサ イトで聴講し学 習。
24	12/24	14:20-15:40	医学科講 義室 2	成人股関節疾患		宮武 和正	主に股関節領域 の 1.2.3.に関する 講義。オンサイ トで聴講し学習。
25	12/24	15:50-17:10	医学科講 義室 2	ミニケース上肢		山口 玲子	上肢領域に関す るオンサイトのミ ニケース。授業 の最後に出席確 認をかねた課題 を与える。
26	12/25	09:00-10:20	遠隔授業 (非同期 型)	リハビリテーションⅠ		酒井 朋子	4.に関する講義。 非同期オンライン で聴講し学習。
27	12/25	10:30-11:50	遠隔授業 (非同期 型)	リハビリテーションⅡ		酒井 朋子	4.に関する講義。 非同期オンライン で聴講し学習。
28	12/25	12:50-14:10	遠隔授業 (非同期 型)	ミニケースリハビリ		平尾 昌之	リハビリ領域に関 するオンサイトの ミニケース。授業 の最後に出席確 認をかねた課題 を与える。
29	12/25	14:20-15:40	医学科講 義室 2	小児整形		瀬川 裕子	主に小児整形領 域の 1.2.3.に関す る講義。オンサイ トで聴講し学習。
30	12/26	09:00-10:20	医学科講 義室 2	ミニケース股関節・小児		高田 亮平, 山口 玲子	股関節・小児領域 に関するオンサ イトのミニケー ス。授業の最後 に出席確認をか ねた課題を与え る。
31	12/26	10:30-11:50	医学科講 義室 2	TBL		佐々木 亨, 瀬川 裕子, 星野 傑 平 尾 昌之	2週目に出た全内 容に関する TBL。 個人試験の回答 有無により出席を 確認する。
32	12/27	12:50-14:10	医学科講 義室 2	評価(試験)		瀬川 裕子, 船内 雄生	全講義内容を出 題範囲とした試

時間割番号	011069				
科目名	皮膚・アレルギー・膠原病			科目ID	
担当教員	保田 晋助, 沖山 奈緒子, 佐々木 広和[YASUDA Shinnsuke, OKIYAMA NAOKO, SASAKI Hirokazu]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	3	単位数	2
実務経験のある教員による授業	該当する				
主な講義場所					
学生講義室または、その時の社会情勢により Zoom, WebClass で実施。また、元々、非同期として用意されている講義もあり。					
授業の目的、概要等					
第一週(皮膚・アレルギー)					
解剖学、病理組織学、生理学、生化学、そして免疫・アレルギー学などの基礎医学の知識を応用し、皮膚疾患・アレルギー疾患の病態生理の理解を目指す。皮膚疾患は、皮膚構造から皮膚科診断学、各論として免疫アレルギー疾患、遺伝性疾患、腫瘍、感染症、物理的障害などを網羅する。アレルギー疾患では、呼吸器・鼻・眼など他臓器のアレルギー疾患を併せて扱い、免疫アレルギー疾患を包括的に学習する。授業では適宜アンケート形式のアクティブラーニング(イマキクなどを活用)を行う。アレルギー疾患については、臨床例を通じたアンケート形式のアクティブラーニング(イマキクなどを活用)も行い、疾患についての基本的知識や、患者を診察するための考え方を習得することを目的とした授業を行う。					
第二週(膠原病・リウマチ内科)					
学生が膠原病・リウマチ性疾患の臨床を学ぶにおいて、特に重要な膠原病・リウマチ性疾患または疾患群について、それらの病態生理／臨床免疫学的側面の理解、そしてプレクリニカルクラークシップにおける頻度の高い症候へのアプローチの学習の基盤となる考え方の習得を支援し、各膠原病・リウマチ性疾患または疾患群に関する概念・病因・症候・治療について概説し、学生が将来臨床に応用できる知識と考え方を自己主導的に習得するのを支援する。					
授業の到達目標					
1) 皮膚疾患、アレルギー疾患、膠原病・リウマチ性疾患の病態生理を理解すること。					
2) 病態生理に基づいて、疾患の症候、経過、診断、治療について理解すること。					
文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(令和4年度改訂版)					
https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/116/toushin/mext_01280.html					
PS-02-02)05					
PS-02-04)01,02,03,05					
PS-02-05)02,03,05					
PS-02-06)05					
PS-02-07)02,05					
PS-02-09)05					
PS-02-16)05					
PS-03-02)01,02,05					
PS-03-05)02,03,04,12,13					
CS-01-02)02					
CS-02-02)01,02					
CS-02-04)01					
CS-03-03)04					

医学科コンピテンシーよりこの科目で身につけるレベル

Ⅰ-2-B]世界的に注目されている医学／歯学／健康に関する主たるトピックについて、議論できる

Ⅰ-3-B]科学/医学/歯学専門用語/表現の理解/表記/発音ができる

Ⅱ-1-A]医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる

Ⅱ-3-B]臨床的あるいは科学的問題提起ができる

Ⅲ-1-A]他者の貢献、時間、価値感、人格を尊重し、常に敬意を払って接することができる

Ⅲ-9-A]個人の生活における責務と医学科での学習及び社会的な責務について、適切にバランスを取ることができる

Ⅲ-12-A]メンタルストレスに直面した際、それを認識し、適切な解消処置をとれる

Ⅲ-14-A]時間厳守、信頼性、適切な準備、率先性、遂行能力を示すことができる

Ⅲ-15-A]文書課題を、正確で判読しうる質にて作成し、規定期限内に提出できる

Ⅲ-16-A]本学を含めた当該機関内規、法律、専門職社会内規範を遵守できる

Ⅲ-18-A]他者への良識を逸する振舞い(無礼、短気など)を認識し、助言を求め、今後起こさぬよう振舞いを修正することができる

Ⅲ-23-A]記述、プレゼンテーション、論文、および研究情報などの利用において、著作権を尊重し、それに沿って行動できる

Ⅲ-26-A]自身の知識・能力・振舞いを批判的に省察し、長所と課題点を同定し、改善の為の学習目標を設定し、それを達成するのに適した学習活動に取り組むことができる

Ⅲ-27-A]自身に対するフィードバックにもとづき省察し自己改善を実現できる

Ⅲ-28-A]他人に建設的なフィードバックを適切な形で提示できる

Ⅲ-29-A]ポートフォリオを活用して、課題設定を行い、自己学習・自己研鑽できる

Ⅳ-1-B]書面にて、患者に関する臨床情報を統合し要約することができる

Ⅴ-1-A]基礎医学の知識を疾患の病因・病態・臨床徴候などの理解に応用できる

Ⅴ-2-B]頻度の高い疾患について、疫学/病因/病理/病態/症候/予後を説明できる

Ⅴ-3-C]症候／問題の原因評価において用いられる評価法についての知識(適応／合併症／限界)を提示できる

Ⅴ-4-B]頻度の高い疾患に対する治療法(薬物療法、非薬物療法の双方を含む)に関する知識を提示できる

Ⅴ-7-B]頻度の高い疾病についての予防戦略についての知識を提示できる

Ⅵ-8-C]主要な症候をきたす病態/疾患を列挙できる

Ⅵ-15-C]臨床実習の学習項目に含まれる異常所見と、その診断的意義を説明できる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	11/18	09:00-09:50	医学科講義室2	皮膚の構造・機能・役割	飯田 忠恒	【到達目標】1)
2	11/18	10:00-10:50	医学科講義室2	皮膚科診断学	沖山 奈緒子	【到達目標】1), 2) 【学習】ポイントとなるところの Q&A を交えたアクティブラーニング
3	11/18	11:00-11:50	医学科講義室2	皮膚自己免疫疾患(水疱症)	沖山 奈緒子	【到達目標】1), 2) 【学習】ポイントとなるところの Q&A を交えたアクティブラーニング
4	11/18	12:50-13:40	医学科講義室2	肉芽腫症・代謝性疾患	並木 剛	【到達目標】1), 2)
5	11/18	13:50-14:40	医学科講義室2	皮膚血管障害	沖山 奈緒子	【到達目標】1), 2) 【学習】ポイントとなるところの Q&A を交えたアクティ

						ブラーニング
6	11/18	14:50-15:40	遠隔授業 (非同期型)	角化のメカニズムと角化異常症	樋口 哲也	【到達目標】1), 2)
7	11/18	15:50-16:40		予備枠		
8	11/19	09:00-09:50	医学科講義室2	皮膚悪性腫瘍	並木 剛	【到達目標】1), 2)
9	11/19	10:00-10:50	医学科講義室2	皮膚感染症Ⅰ	沖山 奈緒子	【到達目標】1), 2) 【学習】ポイントとなるところの Q&A を交えたアクティブラーニング
10	11/19	11:00-11:50	医学科講義室2	皮膚感染症Ⅱ	沖山 奈緒子	【到達目標】1), 2) 【学習】ポイントとなるところの Q&A を交えたアクティブラーニング
11	11/19	12:50-13:40	医学科講義室2	物理化学的障害	竹下 八菜	【到達目標】1), 2) 【学習】ポイントとなるところの Q&A を交えたアクティブラーニング
12	11/19	13:50-14:40	医学科講義室2	母斑と母斑症	西澤 綾	【到達目標】1), 2) 【学習】ポイントとなるところの Q&A を交えたアクティブラーニング
13	11/19	14:50-15:40	医学科講義室2	皮膚良性腫瘍	西澤 綾	【到達目標】1), 2) 【学習】ポイントとなるところの Q&A を交えたアクティブラーニング
14	11/19	15:50-16:40		予備枠		
15	11/20	09:00-09:50	医学科講義室2	ダーモスコピーの診方	並木 剛	【到達目標】1)
16	11/20	10:00-10:50	医学科講義室2	色素性疾患	並木 剛	【到達目標】1), 2)
17	11/20	11:00-11:50	医学科講義室2	皮膚感染症Ⅲ	渡邊 京子	【到達目標】1), 2) 【学習】ポイントとなるところの Q&A を交えたアクティブラーニング
18	11/20	12:50-13:40	遠隔授業 (同期型)	免疫学復習	長谷川 温彦	【到達目標】1), 2)
19	11/20	13:50-14:40	医学科講義室2	皮膚アレルギー疾患Ⅰ	岩本 雄太郎	【到達目標】1), 2)
20	11/20	14:50-15:40	医学科講義室2	薬疹・薬物障害	岩本 雄太郎	【到達目標】1), 2)
21	11/20	15:50-16:40		予備枠		

22	11/21	12:50-13:40	遠隔授業 (非同期 型)	皮膚アレルギー疾患Ⅱ	宇賀神 つか さ	【到達目標】1), 2)
23	11/21	13:50-14:40	医学科講 義室 2	食物・薬物アレルギー (アナフィラキシー) case-based	沖山 奈緒子	【到達目標】1), 2) 【学習】 case-based で Q&A を交えたア クティブラーニン グ
24	11/21	14:50-15:40	医学科講 義室 2	鼻眼アレルギー	鈴木 康弘	【到達目標】1), 2)
25	11/21	15:50-16:40		予備枠		
26	11/22	09:00-09:50		自習		
27	11/22	10:00-10:50		自習		
28	11/22	11:00-11:50		自習		
29	11/22	12:50-14:10	医学科講 義室 2	試験(非免疫学的疾患・ アレルギー疾患)	並木 剛 沖 山 奈緒子, 竹下 八菜	【到達目標】1), 2)
30-32	11/22	13:50-16:40		予備枠		
33	11/25	09:00-10:20	医学科講 義室 2	膠原病総論・全身性エリ テマトーデス①	保田 晋助	【到達目標】1), 2)
34	11/25	10:30-11:50	医学科講 義室 2	全身性エリテマ トーデ ス②	保田 晋助	【到達目標】1), 2) 【学習】症例を用 いた Q&A による 双方向講義
35	11/25	12:50-14:10	医学科講 義室 2	膠原病研究と治療薬	山本 晃央	【到達目標】1), 2)
36	11/25	14:20-15:40	医学科講 義室 2	膠原病・皮膚 病理実習	三浦 圭子	【到達目標】1), 2) 【学習】kahoot の 投票機能を用い た双方向講義
37	11/25	15:50-17:10	遠隔授業 (非同期 型)	脊椎関節炎	佐々木 広和	【到達目標】1), 2)
38	11/26	09:00-10:20	遠隔授業 (非同期 型)	強皮症・混合性結合組織 病	長谷川 久紀	【到達目標】1), 2)
39	11/26	10:30-11:50	医学科講 義室 2	膠原病の皮膚症状	沖山 奈緒子	【到達目標】1), 2) 【学習】ポイントと なるところの Q&A を交えたアクティ ブラーニング
40	11/26	12:50-14:10	医学科講 義室 2	中型大型血管炎・リウマ チ性多発筋痛症	齋藤 鉄也	【到達目標】1), 2)
41	11/26	14:20-15:40	医学科講 義室 2	成人 Still 病・ベーチェッ ト病・結晶性関節炎	梅澤 夏佳	【到達目標】1), 2)
42	11/26	15:50-17:10	医学科講 義室 2	小型血管炎	長坂 憲治	【到達目標】1), 2)
43	11/27	09:00-10:20	医学科講	小児膠原病	森 雅亮	【到達目標】1), 2)

			義室 2			
44	11/27	10:30-11:50	医学科講 義室 2	多発性筋炎・皮膚筋炎	木村 直樹	【到達目標】1), 2) 【学習】症例を用いた Q&A による双方向講義（遠隔授業になった場合は、Zoom の投票機能を用いた双方向講義）
45	11/27	12:50-14:10	医学科講 義室 2	シェーグレン症候群・IgG4 関連疾患	細矢 匡	【到達目標】1), 2)
46	11/27	14:20-15:40	医学科講 義室 2	関節リウマチ①	保田 晋助	【到達目標】1), 2)
47	11/27	15:50-17:10	医学科講 義室 2	関節リウマチ②	萩山 裕之	【到達目標】1), 2) 【学習】症例を用いた Q&A による双方向講義
48	11/29	09:00-10:20		休講		
49	11/29	10:30-11:50		休講		
50	11/29	12:50-14:10		休講		
51	11/29	14:20-15:40		休講		
52	11/29	15:50-17:10	医学科講 義室 2	試験	佐々木 広和 岩井 秀之 長谷川 久紀	【到達目標】1), 2)

授業方法

スライドを使った講義。講義室での対面もしくは、Zoom, WebClass で実施。講義中に担当教員から学生指名により口頭討議、Zoom のアンケート機能を用いた小問出題などにより理解を深める。

なお、非同期の講義に質問がある場合は、講義の担当教官にメールで質問可能です。

ただし、11 月 22 日(金)および 11 月 29(金)試験当日の質問は当日中に返答できない可能性が高いですので、質問は前日までをお願いします。

授業内容

(別表を参照)

成績評価の方法

学習到達度評価を試験を用いて行う。

成績評価の基準

成績評価の基準は以下の通りとする。

【B 判定】到達目標を概ね達成したと判断される場合:参考教科書と授業内容の基本的な事柄について試験を行い、概ね 6 割以上の正解

【A 判定】到達目標を全て達成したと判断される場合:参考教科書と授業内容の基本的な事柄について試験を行い、概ね 8 割以上の正解

【A+判定】A 判定レベルにあり、さらに獲得した知識を用いて症例における診断的評価や治療法選択の提案、それらの妥当性の検討などを行えるレベルにあると判断される場合

準備学習等についての具体的な指示

基礎医学の免疫学にて学習した内容を確認しておくこと。

試験の受験資格

特に出席は取らない。ただし、試験は全て講義内容から出すため、可能な限り授業に参加することが望ましい。

教科書

第一週(皮膚・アレルギー)

大塚藤男著、上野賢一原著「皮膚科学」金芳堂出版

岩月啓監修「標準皮膚科学」医学書院

西山茂夫著「皮膚病アトラス」文光堂

清水宏著「あたらしい皮膚科学」中山書店 第二週(膠原病・リウマチ内科) ハリソン内科学第5版(原著第19版);メディカル・サイエンス・インターナショナル 発行年 2017 年
参考書 第一週(皮膚・アレルギー) 「現代皮膚科学体系」中山書店 「Rook's Textbook of Dermatology」 John Wiley & Sons, Inc. 「Fitzpatrick's Dermatology in General Medicine」 MCGRAW-HILL EDUCATION 「Lever's Histopathology of the Skin」 WOLTERS KLUWER 第二週(膠原病・リウマチ内科) リウマチ病学テキスト改訂第2版、診断と治療社 発行年 2016 年 ワシントンマニュアル(WM)リウマチ科コンサルト;メディカル・サイエンス・インターナショナル 発行年 2006 年
履修上の注意事項 ブロック前半の皮膚科担当週の方は、試験時間を確保できるよう、金曜の講義は1～3限は休講にしています。
備考 【コース評価アンケートに基づく改善計画ならびに変更】 講義の中で症例問題を扱って欲しいとの意見があり、可能な範囲で講義の題材に具体的症例を取り込むようにした。 講義スライドをアップして欲しいという要望がありましたので、各講義担当者に、時期がきたら講義資料を web class に up するように周知します。 【アクティブラーニングについて】 講義中に担当教員から学生指名により口頭討議、Zoom のアンケート機能を用いた小問出題など
連絡先(メールアドレス) 保田 晋助:syasuda.rheu@tmd.ac.jp 沖山 奈緒子:okiy.derm@tmd.ac.jp 佐々木 広和:sasaki.rheu@tmd.ac.jp
オフィスアワー 沖山 奈緒子:月～金曜日 AM10:00 – 13:00 M&D タワー10 階 N-1007(皮膚科教授)室 佐々木 広和:平日 AM9:00-17:00, M&D タワー13F 膠原病・リウマチ内科

時間割番号	011070				
科目名	感染・臨床		科目ID		
担当教員	具 芳明, 原田 壮平, 田頭 保彰, 大曲 貴夫, 栗田 崇史, 古市 美穂子, 氏家 無限, 井手 聡, 佐藤 ルブナ, 塚田 訓久, 岡本 耕[GU Yoshiaki, HARADA Souhei, TAGASHIRA Yasuaki, OOMAGARI Norio, KURITA Takashi, FURUICHI Mihoko, UJIE Mugenn, IDE SATOSHI, SATOU Rubuna, TSUKADA Kunihisa, OKAMOTO Kou]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	3	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				
主な講義場所					
内容や講師の都合に応じてオンラインによる遠隔講義と対面講義を行う。					
授業の目的、概要等					
臨床感染症学として、臓器横断的に考えた感染症の特徴、診断、治療の概要を学ぶ。					
授業の到達目標					
到達目標は以下のとおりである。					
1. 臨床感染症学の基本的な知識を身に付けること。					
2. 基本知識に基づいて自ら考え、調べて対処するプロセスを理解し実践すること。					
3. 感染症に関連する社会的な課題と臨床現場での取り組みを理解すること。					
4. 感染症診療の基本を理解することがあらゆる診療科において必須であると理解すること。					
アクティブラーニングは、非同期型の講義動画、講義資料、教科書・参考書などで十分に予習して参加することが望ましい。					
文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(令和4 年度改訂版)					
https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/116/toushin/mext_01280.html					
PS-01-03)06,12					
PS-02-02)02					
PS-02-07)05					
PS-02-08)05					
PS-03-02)02					
PS-03-03)01,02,03,04,05,06,07,09,10,11,16,17,18					
PS-03-05)02,03					
CS-02-02)01,02					
CS-02-03)07					
CS-02-04)01,02					
医学科コンピテンシーよりこの科目で身につけるレベル					
[I-2-B]世界的に注目されている医学／歯学／健康に関する主たるトピックについて、議論できる					
[I-3-B]科学/医学/歯学専門用語/表現の理解/表記/発音ができる					
[II-1-A]医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる					
[II-3-B]臨床的あるいは科学的問題提起ができる					

[Ⅲ-1-A]他者の貢献、時間、価値感、人格を尊重し、常に敬意を払って接することができる
 [Ⅲ-9-A]個人の生活における責務と医学科での学習及び社会的な責務について、適切にバランスを取ることができる
 [Ⅲ-12-A]メンタルストレスに直面した際、それを認識し、適切な解消処置をとれる
 [Ⅲ-14-A]時間厳守、信頼性、適切な準備、率先性、遂行能力を示すことができる
 [Ⅲ-15-A]文書課題を、正確で判読しうる質にて作成し、規定期限内に提出できる
 [Ⅲ-16-A]本学を含めた当該機関内規、法律、専門職社会内規範を遵守できる
 [Ⅲ-18-A]他者への良識を逸する振舞い(無礼、短気など)を認識し、助言を求め、今後起こさぬよう振舞いを修正することができる
 [Ⅲ-23-A]記述、プレゼンテーション、論文、および研究情報などの利用において、著作権を尊重し、それに沿って行動できる
 [Ⅲ-26-A]自身の知識・能力・振舞いを批判的に省察し、長所と課題点を同定し、改善の為に学習目標を設定し、それを達成するのに適した学習活動に取り組むことができる
 [Ⅲ-27-A]自身に対するフィードバックにもとづき省察し自己改善を実現できる
 [Ⅲ-28-A]他人に建設的なフィードバックを適切な形で提示できる
 [Ⅲ-29-A]ポートフォリオを活用して、課題設定を行い、自己学習・自己研鑽できる
 [Ⅳ-1-B]書面にて、患者に関する臨床情報を統合し要約することができる
 [Ⅴ-1-A]基礎医学の知識を疾患の病因・病態・臨床徴候などの理解に応用できる
 [Ⅴ-2-B]頻度の高い疾患について、疫学/病因/病理/病態/症候/予後を説明できる
 [Ⅴ-3-C]症候／問題の原因評価において用いられる評価法についての知識(適応／合併症／限界)を提示できる
 [Ⅴ-4-B]頻度の高い疾患に対する治療法(薬物療法、非薬物療法の双方を含む)に関する知識を提示できる
 [Ⅴ-7-B]頻度の高い疾病についての予防戦略についての知識を提示できる
 [Ⅵ-8-C]主要な症候をきたす病態/疾患を列挙できる
 [Ⅵ-15-C]臨床実習の学習項目に含まれる異常所見と、その診断的意義を説明できる
 [Ⅵ-24-B]感染に対する標準予防策(Standard precaution)を説明できる
 [Ⅵ-25-B]患者隔離の必要な感染症につき、感染経路や症候、予後、予防・治療を説明できる
 [Ⅵ-26-C]針刺し事故、針刺し創等による感染症感染につき、感染経路や症候、予後、予防・治療を説明できる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	8/26	09:00-09:50	遠隔授業 (非同期型)	感染症総論	具 芳明	【到達目標】1,3,4 【学習方法】遠隔講義
2	8/26	10:00-10:50	医学科講義室 2	感染症の診かた・考え方	具 芳明	【到達目標】1,3,4 【学習方法】対面講義
3	8/26	11:00-11:50	医学科講義室 2	抗菌薬総論	高松 茜	【到達目標】1,3,4 【学習方法】対面講義
4	8/26	12:50-13:40	遠隔授業 (非同期型)	臨床微生物総論	栗田 崇史	【到達目標】1,2,3,4 【学習方法】遠隔講義
5	8/26	13:50-14:40	遠隔授業 (非同期型)	医療関連感染症	田頭 保彰	【到達目標】1,3,4 【学習方法】遠隔講義
6	8/26	14:50-15:40	遠隔授業 (非同期型)	院内の発熱マネジメント	田頭 保彰	【到達目標】1,3,4 【学習方法】遠隔講義
7	8/27	09:00-09:50	遠隔授業 (非同期型)	風邪診療と AMR 対策	具 芳明	【到達目標】1,3,4 【学習方法】遠隔講義

8	8/27	10:00-10:50	医学科講義室2	小児の感染症(小児ワクチンを含む)(1)	古市 美穂子	【到達目標】1,3,4 【学習方法】対面講義
9	8/27	11:00-11:50	医学科講義室2	小児の感染症(小児ワクチンを含む)(2)	古市 美穂子	【到達目標】1,3,4 【学習方法】対面講義
10	8/27	12:50-13:40	医学科講義室2	臨床的に問題となる耐性菌	原田 壮平	【到達目標】1,3,4 【学習方法】対面講義
11	8/27	13:50-14:40	医学科講義室2	性感染症	岡本 耕	【到達目標】1,3,4 【学習方法】遠隔講義
12	8/27	14:50-15:40	遠隔授業(非同期型)	輸入感染症	佐藤 ルブナ	【到達目標】1,3,4 【学習方法】遠隔講義
13	8/28	09:00-09:50	遠隔授業(非同期型)	免疫不全と感染症	岡本 耕	【到達目標】1,3,4 【学習方法】遠隔講義
14	8/28	10:00-10:50	医学科講義室2	HIV 感染症	塚田 訓久	【到達目標】1,3,4 【学習方法】対面講義
15	8/28	11:00-11:50	医学科講義室2	COVID-19 と感染症健康危機管理	大曲 貴夫	【到達目標】1,3,4 【学習方法】対面講義
16	8/28	12:50-13:40	医学科講義室2	ワクチン(成人)	氏家 無限	【到達目標】1,3,4 【学習方法】対面講義
17	8/28	13:50-14:40	医学科講義室2	グループ討論	具 芳明	【到達目標】1,2,3,4 【学習方法】グループ討論
18	8/28	14:50-15:40	医学科講義室2	グループ討論	具 芳明	【到達目標】1,2,3,4 【学習方法】グループ討論
19	8/29	12:50-13:40	医学科講義室2	グループ討論(発表)	具 芳明	【到達目標】1,2,3,4 【学習方法】グループ討論
20	8/29	13:50-14:40	医学科講義室2	グループ討論(発表)	具 芳明	【到達目標】1,2,3,4 【学習方法】グループ討論
21	8/29	14:50-15:40	医学科講義室2	予備枠		
22	8/30	12:50-13:40	医学科講義室2	テスト	具 芳明	

授業方法

内容や講師によって遠隔講義(非同期型、同期型)または対面講義を行う。課題についてグループで討論、検討し発表するアクティブラーニングを併用する。アクティブラーニングは対面または遠隔(同期型)で行う。

非同期型講義の質問は WebClass 上で答える。その他の質問方法については講師が講義で示す場合がある。

授業内容

(別表を参照)変更の可能性があるため、最新版を必ず確認すること

成績評価の方法 テスト(70%) ・多岐選択式問題 アクティブラーニング(グループ討論)(30%) ・アクティブラーニングとしてグループ討論を複数回設定する。 ・グループ討論への参加とグループ発表の内容を評価対象とする。 ・各グループでパワーポイントファイルを作成して提出する。 ・各自のレポート提出は不要。 グループ討論に参加できない場合は、各回の開始までのその事情とともに医学教務係にメールなど日時の記録が残る形で連絡することを必須とする。緊急の場合は電話でもよいが、その後メールはすること。連絡ができない特別な事情があったと後に判断された場合はその限りではない。これらの対応が行われていたと判断された場合は、事情に応じてレポート等での対応を行うこととする。
成績評価の基準 B 基準:上記評価で合計で 60%以上を目安とする。 B より上の評価:上記評価で合計 80%以上を目安とする。
準備学習等についての具体的な指示 講義の前に下記に示した教科書、参考書の該当する項目を読んでおくことが望ましい。
試験の受験資格 試験の受験資格は特に設けない。
教科書 ハリソン内科学／デニス Lカスパー ほか 編福井次矢, 黒川清 日本語版監修,:メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2017
参考書 レジデントのための感染症診療マニュアル : Principles & Practice／青木眞 執筆,青木 真(1953ー),:医学書院, 2020 The Washington manual infectious diseases subspecialty consult／editors, Nigar Kirmani, Michael J. Durkin, Stephen Y. Liang,Kirmani, Nigar,Durkin, Michael J. (Michael Joseph),Liang, Stephen Y,:Wolters Kluwer, 2020 プロの対話から学ぶ感染症／岩田健太郎 [[ほか] 著,岩田, 健太郎,青柳, 有紀,岡, 秀昭,本田, 仁,:メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2020 研修医のための内科診療ことはじめ : 救急・病棟リファレンス／杉田陽一郎著,杉田, 陽一郎,塩尻, 俊明,:羊土社, 2022
他科目との関連 内科系外科系を問わず、すべての臨床系科目と関連がある。疾患について理解を深めるためには病原体の知識が必要であり、細菌学、ウイルス学、寄生虫学の知識は随時遡って復習や再学習する必要がある。
備考 アクティブラーニングは提示された課題に対するグループ討論とその発表によって行う。 コース評価アンケートに基づく改善計画ならびに変更項目 ・講義資料はあらかじめアップロードする ・講義時間はすべて 50 分単位である。

時間割番号	011071				
科目名	頭頸部・臨床		科目ID		
担当教員	堤 剛, 原田 浩之, 朝蔭 孝宏, 大野 京子, 森 弘樹[TSUTSUMI TAKESHI, HARADA HIROYUKI, ASAKAGE TAKAHIRO, ONO KYOKO, MORI HIROKI]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	3	単位数	4
実務経験のある教員による授業	該当する				
授業科目名英訳:Head and Neck Clinical Medicine					
主な講義場所					
COVID-19 の感染状況により、オンラインで行う場合がある。					
授業の目的、概要等					
頭頸部にはいわゆる五感と総称される視覚、嗅覚、聴平衡覚、味覚、触覚や、呼吸、構音、咀嚼、嚥下、発声などの重要な機能を持つ臓器が多数存在している。これらの機能は複雑に絡み合っており、ひとつが障害をきたすとその他の機能も影響を受け、日常生活の質に重大な影響を及ぼす。そういった複雑な頭頸部領域に生ずる疾患について理解するためには、ブロック形式で一括して当該領域について集中的に学ぶ事が非常に効率的で、かつその理解や習得の程度も深まると考えられる。3 年次に行われる当ブロックにおいては、医歯学両学部を有する東京医科歯科大学の特徴を生かし、医学部と歯学部の学生が共に学習し、議論し、隣接領域の理解を深める事を目的とする。					
授業の到達目標					
①頭頸部領域の構造と機能の理解					
②頭頸部領域の疾患の基本的な知識の理解					
③頭頸部領域の疾患の診断と治療の理解					
④これらを利用した臨床推論が可能となること					
文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(令和4 年度改訂版)					
https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/116/toushin/mext_01280.html					
PS-02-03)02					
PS-02-08)01					
PS-02-16)01,02,03,04,05					
PS-03-04)19					
CS-02-02)01,02					
CS-02-04)01					
医学科コンピテンシーよりこの科目で身につけるレベル					
Ⅰ-2-B]世界的に注目されている医学／歯学／健康に関する主たるトピックについて、議論できる					
Ⅰ-3-B]科学/医学/歯学専門用語/表現の理解/表記/発音ができる					
Ⅱ-1-A]医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる					
Ⅱ-3-B]臨床的あるいは科学的問題提起ができる					
Ⅲ-1-A]他者の貢献、時間、価値感、人格を尊重し、常に敬意を払って接することができる					
Ⅲ-9-A]個人の生活における責務と医学科での学習及び社会的な責務について、適切にバランスを取ることができる					
Ⅲ-12-A]メンタルストレスに直面した際、それを認識し、適切な解消処置をとれる					
Ⅲ-14-A]時間厳守、信頼性、適切な準備、率先性、遂行能力を示すことができる					
Ⅲ-15-A]文書課題を、正確で判読しうる質にて作成し、規定期限内に提出できる					
Ⅲ-16-A]本学を含めた当該機関内規、法律、専門職社会内規範を遵守できる					
Ⅲ-18-A]他者への良識を逸する振舞い(無礼、短気など)を認識し、助言を求め、今後起こさぬよう振舞いを修正することができる					
Ⅲ-23-A]記述、プレゼンテーション、論文、および研究情報などの利用において、著作権を尊重し、それに沿って行動できる					
Ⅲ-26-A]自身の知識・能力・振舞いを批判的に省察し、長所と課題点を同定し、改善の為の学習目標を設定し、それを達成するのに適した					

学習活動に取り組むことができる

[Ⅲ-27-A]自身に対するフィードバックにもとづき省察し自己改善を実現できる

[Ⅲ-28-A]他人に建設的なフィードバックを適切な形で提示できる

[Ⅲ-29-A]ポートフォリオを活用して、課題設定を行い、自己学習・自己研鑽できる

[Ⅳ-1-B]書面にて、患者に関する臨床情報を統合し要約することができる

[Ⅳ-4-B]多学科チームのすべてのメンバーと、敬意を払って効果的な議論ができる

[Ⅴ-1-A]基礎医学の知識を疾患の病因・病態・臨床徴候などの理解に応用できる

[Ⅴ-2-B]頻度の高い疾患について、疫学/病因/病理/病態/症候/予後を説明できる

[Ⅴ-3-C]症候／問題の原因評価において用いられる評価法についての知識(適応／合併症／限界)を提示できる

[Ⅴ-4-B]頻度の高い疾患に対する治療法(薬物療法、非薬物療法の双方を含む)に関する知識を提示できる

[Ⅴ-7-B]頻度の高い疾病についての予防戦略についての知識を提示できる

[Ⅴ-9-B]診療上必要な歯科医学の知識を提示できる

[Ⅴ-10-B]全身疾患と口腔疾患の関連を説明できる

[Ⅵ-8-C]主要な症候をきたす病態/疾患を列挙できる

[Ⅵ-15-C]臨床実習の学習項目に含まれる異常所見と、その診断的意義を説明できる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	1/6	10:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	オリエンテーション 基礎医学復習テスト		堤 剛, 山口久美子	Zoom, Webclass で実施
3	1/6	12:50-13:40	遠隔授業 (同期型)	耳鼻咽喉科 耳鼻咽喉科学総論 手術解剖		堤 剛	授業の到達目標①
4	1/6	13:50-14:40	遠隔授業 (同期型)	耳鼻咽喉科 耳科学(解剖・生理)		堤 剛	授業の到達目標①
5	1/6	14:50-15:40	遠隔授業 (非同期型)	耳鼻咽喉科 (めまい・平衡障害)		堤 剛	授業の到達目標②③
6	1/6	15:50-16:40		予備枠			
7	1/7	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	耳鼻咽喉科 AL 耳科学 (めまい・平衡障害)		堤 剛	Active Learning (ケーススタディ) 授業の到達目標④
8	1/7	10:00-10:50		耳鼻咽喉科 Prep.Time (聴覚障害)	ALに向けての自習	川島 慶之	
9	1/7	11:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	耳鼻咽喉科 AL 耳科学 (聴覚障害)		川島 慶之	授業の到達目標②③
10	1/7	12:50-13:40	遠隔授業 (非同期型)	耳鼻咽喉科 耳科学(外耳・中耳・顔面神経)		伊藤 卓	WebClass で実施 授業の到達目標②③
11	1/7	13:50-14:40		耳鼻咽喉科 Prep.Time (口腔・咽頭・唾液腺)	ALに向けての自習	本田 圭司	授業の到達目標②③
12	1/7	14:50-15:40	遠隔授業 (同期型)	耳鼻咽喉科 AL 口腔・咽頭・唾液腺		本田 圭司	Active Learning (ケーススタディ) 授業の到達目標④
13	1/7	15:50-16:40		予備枠			
14	1/8	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	耳鼻咽喉科 ミニケース		伊藤 卓	国家試験問題を利用した参加型

							講義 授業の到達目標④
15	1/8	10:00-10:50		耳鼻咽喉科 Prep.Time (喉頭)	ALに向けての自習	竹田 貴策	Active Learning (ケーススタディ) 授業の到達目標 ④
16	1/8	11:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	耳鼻咽喉科 AL 喉頭		竹田 貴策	Active Learning (ケーススタディ) 授業の到達目標 ④
17	1/8	12:50-13:40	遠隔授業 (同期型)	耳鼻咽喉科 めまい・平衡障害の病態生理		高橋 真有	授業の到達目標 ①②③
18	1/8	13:50-14:40	遠隔授業 (非同期型)	耳鼻咽喉科 鼻科学		西尾 綾子	授業の到達目標 ②③
19	1/8	14:50-15:40	遠隔授業 (同期型)	耳鼻咽喉科 嚥下・救急・気道管理		堤 剛	授業の到達目標 ④
20	1/8	15:50-16:40		予備枠			
21	1/9	12:50-13:40	遠隔授業 (同期型)	頭頸部領域の臨床解剖 1(頸部)		秋田 恵一	
22	1/9	13:50-14:40	遠隔授業 (同期型)	頭頸部領域の臨床解剖 2(頭蓋底)		秋田 恵一	
23	1/9	14:50-15:40	遠隔授業 (同期型)	上・中咽頭の腫瘍		野村 文敬	
24	1/10	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	頭頸部外科学総論		朝蔭 孝宏	
25	1/10	10:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	口腔の腫瘍		朝蔭 孝宏	
26	1/10	11:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	下咽頭・喉頭の腫瘍		大野 十央	
27	1/10	12:50-13:40	遠隔授業 (同期型)	頭蓋底腫瘍・脳神経		河野 能久	
28	1/10	13:50-14:40	遠隔授業 (同期型)	鼻副鼻腔・頭蓋底の腫瘍		有泉 陽介	
29	1/10	14:50-15:40	遠隔授業 (同期型)	頭頸部外科 ミニケース		有泉 陽介	
30	1/14	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	形成外科総論		森 弘樹	Webclass で実施
31	1/14	10:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	形成外科 顔面領域の構造と外傷		石田 直也	Webclass で実施
32	1/14	11:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	形成外科 創傷外科		森 弘樹	Webclass で実施
33	1/14	12:50-13:40	遠隔授業 (同期型)	頭頸部癌の放射線治療		吉村 亮一	
34	1/15	11:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	唾液腺の腫瘍		清川 佑介	
35	1/15	12:50-13:40	遠隔授業 (同期型)	甲状腺腫瘍		岡田 隆平	
36	1/15	13:50-14:40	遠隔授業	形成外科 組織再建の		田中 顕太郎	Webclass で実施

			(同期型)	基本概念			
37-38	1/15	14:50-16:40		予備枠			
39-41	1/16	12:50-17:10	遠隔授業 (同期型)	頭頸部病理実習		山本 浩平, 栢森 高 伊 藤 崇	
42	1/17	11:00-11:50	医学科講 義室 1, 医学科講 義室 2	頭頸部外科試験		大野 十央 山口 久美子	
43	1/17	12:50-13:40	医学科講 義室 1, 医学科講 義室 2	耳鼻咽喉科 試験		堤 剛, 川島 慶之 伊藤 卓 本田 圭 司, 西尾 綾 子	
44	1/20	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	口腔外科総論		依田 哲也	授業の到達目標 ①
45	1/20	10:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	顎口腔の外傷		依田 哲也	授業の到達目標 ②③
46	1/20	11:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	顎口腔の悪性腫瘍		原田 浩之	授業の到達目標 ②③
47	1/20	12:50-13:40	遠隔授業 (同期型)	形成外科 頭頸部再建・ 頭蓋底再建		田中 顕太郎	Webclass で実施
48	1/20	13:50-14:40	遠隔授業 (同期型)	形成外科 皮膚軟部腫 瘍		田中 顕太郎	Webclass で実施
49	1/20	14:50-15:40	遠隔授業 (同期型)	形成外科 手足・体幹の 先天異常と外傷		石田 直也	Webclass で実施
50	1/21	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	形成外科 熱傷の局所 治療と瘢痕ケロイド		植村 法子	Webclass で実施
51	1/21	10:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	形成外科 顔面・頭部領 域の先天異常		植村 法子	Webclass で実施
52	1/21	11:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	形成外科 乳房再建・美 容外科		森 弘樹	Webclass で実施
53	1/21	12:50-13:40	遠隔授業 (同期型)	歯科矯正治療		小川 卓也	授業の到達目標 ②③
54	1/21	13:50-14:40	遠隔授業 (同期型)	口腔顎顔面の先天性疾 患と顎顔面変形症		森田 圭一	授業の到達目標 ②③
55	1/21	14:50-15:40	遠隔授業 (同期型)	顎口腔の良性腫瘍およ び嚢胞		黒嶋 雄志	授業の到達目標 ②③
56	1/22	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	顎関節疾患		儀武 啓幸	授業の到達目標 ②③
57	1/22	10:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	口腔粘膜疾患		津島 文彦	授業の到達目標 ②③
58	1/22	11:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	歯・歯周疾患と全身との 関係		新田 浩	授業の到達目標 ②③
59	1/22	13:50-14:40	遠隔授業 (同期型)	口腔外科ミニケース		釘本 琢磨	Active Learning (班に分かれての ケーススタディ) 授業の到達目標 ④

60	1/22	14:50-15:40	遠隔授業 (非同期型)	患者参加型講義		釘本 琢磨	Webclass で実施
61	1/23	12:50-14:10	遠隔授業 (同期型)	形成外科 ミニケース①		矢野 智之	Active Learning (班に分かれての ケーススタディ)
62	1/23	14:20-15:40	遠隔授業 (同期型)	形成外科 ミニケース②		石田 直也	Active Learning (班に分かれての ケーススタディ)
63	1/24	09:00-09:50	医学科講 義室 1, 医学科講 義室 2	形成外科 試験		植村 法子, 石田 直也	
64	1/24	10:00-10:50	医学科講 義室 1, 医学科講 義室 2	口腔外科・歯科 試験		津島 文彦	
65	1/27	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	眼科序論		五十嵐 多恵	
66	1/27	10:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	眼科検査方法・色覚		五十嵐 多恵	
67	1/27	11:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	小児眼科・未熟児眼		五十嵐 多恵	
68	1/27	12:50-13:40	遠隔授業 (同期型)	網膜剥離・糖尿病網膜症		堀江 真太郎	
69	1/27	13:50-14:40	遠隔授業 (同期型)	眼症候学		堀江 真太郎	
70	1/27	14:50-15:40	遠隔授業 (同期型)	屈折異常・調節障害		浦本 賢吾	
71	1/28	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	救急疾患		高橋 知成	
72	1/28	10:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	神経眼科		吉田 武史	
73	1/28	11:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	ぶどう膜炎		鴨居 功樹	
74-76	1/28	12:50-15:40		予備枠			
77	1/29	10:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	緑内障		吉田 武史	
78	1/29	11:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	斜視・弱視		大野 明子	
79	1/29	12:50-13:40	遠隔授業 (同期型)	角膜		佐野 研二	
80	1/29	13:50-14:40	遠隔授業 (同期型)	網膜疾患		浦本 賢吾	
81	1/29	14:50-15:40	遠隔授業 (同期型)	白内障		高瀬 博	
82	1/30	12:50-14:10	遠隔授業 (同期型)	眼科ミニケース	ケーススタディー	大野 京子	Active Learning (ケーススタディ ー)

83	1/30	14:20-15:40	遠隔授業 (同期型)	眼科ミニケース	ケーススタディー	鴨居 功樹	Active Learning (班に分かれての ケーススタディ)
84	1/31	09:00-09:50	医学科講 義室 1, 医学科講 義室 2	眼科 試験		高瀬 博, 高 橋 知成	

授業方法

講義 68 回(基礎医学復習テスト、ミニケース、患者参加型講義、active learning 含む)

病理実習 1 回

試験 5 回)

耳鼻咽喉科の AL (active learning)と表記のある講義については、あらかじめ提示した query を予習 (preparation time にて) し、講義はすべて班ごとの case study と discussion 形式で行う。query に対するレポート提出を受け付ける(任意だが試験後の救済に使用する)。

配信型の講義については WebClass からの視聴をすること。

授業内容

ブロック開始時に頭頸部領域全般についての基礎医学の復習テストを行い、これまで学んできた基礎的事項の理解度を再評価する。当ブロックの講義を行う主たる診療科は、耳鼻咽喉科(第1週)、頭頸部外科(第2週)、形成外科(第2～3週)、口腔外科・歯科(第3週)、眼科(第4週)であるが、適宜関連する他科、即ち、臨床解剖(第2週)、放射線科(第2週)、脳外科(第2週)といった他科の協力も得てこれらの領域の講義も複合的に取り入れ、理解を深める手助けとする。なお、形成外科については、その診療範囲は全身であるため、講義、試験とも、頭頸部領域のみでなく全身を対象としたものになる。また、第2週には医科歯科合同の病理実習を行い、各週の後半には主たる診療科のアクティブラーニングやミニケースを行い、臨床推論の基礎と実際を学んで行く。第2～4週の最終日(金曜日)には医歯学融合教育支援センターの協力を得て TBL を行って学習内容の理解の確認を行うと共に、知識の統合的な理解を深める。ただし本年度は試験会場の都合から通常の試験とする。

成績評価の方法

講義や実習の態度、基礎復習テストおよび5回の試験(英語での出題を含む)による総合成績で評価する。

耳鼻咽喉科の AL 講義については、レポート提出は任意だが成績判定に加味する場合がある。

成績評価の基準

5回の試験の配点は均等とし、個々の試験において合格基準(60点以上)を満たす事がブロック合格の条件となる。これを越えたものを B 評価以上とする。A+および A 評価は試験の点数にて行う。不合格の科に関して再試験を行う。不合格の場合の再試験は、当ブロック終了翌月の3月に行われる「頭頸部・臨床」再試験によって行う。「基礎医学復習テスト」についても成績判定に利用することがある。なお、試験の受験資格については講義の7割以上の出席を要件とするが、出席確認ができないため自己申告とする。

準備学習等についての具体的な指示

- ・頭頸部基礎の知識がある前提で講義を行う。頭頸部臨床ブロックの開始前には必ず頭頸部基礎の復習をすること。
- ・直前に講義に関する情報を追加することがあるので、教務課からのメールおよび WebClass 上の連絡事項を確認すること。
- ・時間割表で授業内容を確認し、教科書の関連項目に目を通して授業に出席すること

試験の受験資格

出席は確認しない。

教科書

新耳鼻咽喉科学／切替一郎 原著,野村恭也 監修,加我君孝 編集,南山堂, 2013

標準形成外科学／平林慎一 監修,鈴木茂彦,岡崎睦 編集,平林, 慎一, 1951-,鈴木, 茂彦,岡崎, 睦:医学書院, 2019

最新口腔外科学 第5版／榎本昭二他:医歯薬出版, 2017

現代の眼科学／吉田晃敏, 谷原秀信 編,所敬 監修,金原出版, 2012

参考書

イラスト手術手技のコツ耳鼻咽喉科・頭頸部外科／村上泰, 久育男 監修,小川郁, 河田了, 岸本誠司, 春名眞一 編集,村上, 泰, 1935-,久, 育男, 1949-,小川, 郁, 1955-,河田, 了,岸本, 誠司, 1948-,:東京医学社, 2017

がんを見逃さない : 頭頸部癌診療の最前線／岸本誠司 専門編集:中山書店, 2013

Essentials of Plastic Surgery, 3rd ed.／Jeffrey E. Janis:GEORG THIEME VERLAG, 2022

Operative Oral and Maxillofacial Surgery／John D. Langdon, Peter A. Brennan:Hodder Education, 2011

動画でみるみるわかる眼科検査テクニック：基本手順から疾患の捉え方まで、検査のすべてが、みえる、わかる、できる／松本長太 監修、前田裕子 編著、メディカ出版、2013
Clinical ophthalmology／Jack J. Kanski, Bradley Bowling:Elsevier Saunders, 2011
ENG アトラス = Atlas of Electronystagmography：めまい・平衡機能障害診断のために／小松崎篤 著、小松崎 篤, 1933-, 医学書院, 2017
病気がみえる／医療情報科学研究所／編集、メディックメディア, 2020-12
標準耳鼻咽喉科・頭頸部外科学／大森 孝一、野中 学、小島 博己、大森孝一、野中学、小島博己 編集、医学書院, 2022.3

履修上の注意事項

講義、実習、試験は基本的に対面で実施するが、COVID-19 の感染状況によってはリモートとなる。大人数での講義・実習となるので、これらを円滑に進めるため、時間厳守とし、担当教員の業務遂行にも協力していただきたい。

備考

【科目責任者】堤 剛(耳鼻咽喉科学)、原田 浩之(顎口腔腫瘍外科学分野)

問い合わせ先(担当教員)を以下に記載します。

耳鼻咽喉科:川島 慶之:kawashima.oto@tmd.ac.jp

頭頸部外科:大野 十央:ohno.hns@tmd.ac.jp

形成外科:植村 法子:noriplas@tmd.ac.jp

口腔外科:釘本 琢磨:kugimoto.osur@tmd.ac.jp

眼科:大野 京子:k.ohno.oph@tmd.ac.jp

人体病理:山本 浩平:yamamoto.pth2@tmd.ac.jp

口腔病理:布川 裕規:yfukawa.mpa@tmd.ac.jp

参照ホームページ

日本耳鼻咽喉科学会ホームページ <http://www.jibika.or.jp/>

日本頭頸部癌学会ホームページ <http://www.jshnc.umin.ne.jp/>

日本形成外科学会ホームページ <http://www.jsprs.or.jp/>

日本口腔外科学会ホームページ <http://www.jsoms.or.jp/>

日本眼科学会ホームページ <http://www.nichigan.or.jp/index.jsp>

<http://lib.tmd.ac.jp/e-service/e-books.html>

時間割番号	011072A				
科目名	総合診療・地域医療			科目ID	
担当教員	橋本 正良[HASHIMOTO MASAYOSHI]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	3	単位数	2
実務経験のある教員による授業	該当する				
主な講義場所 講義:対面 又は Zoom-Webclass による授業(同期型・非同期型) 実習:大学内、その他 実習(early exposure):地域の医療機関に訪問、またはZOOMIによるインターラクティブな会話					
授業の目的、概要等 実際に地域で展開されている医療などを知り、地域住民のニーズに合致した医療や多職種連携(医科歯科連携を含む)を理解し、全人的医療を実現させる総合診療、地域包括ケア、そして地域共生社会の重要性を認識できるようにする。					
授業の到達目標 1.日本の医療の問題とその対策について説明できる。 2.総合診療やプライマリ・ケアの機能とその重要性を説明できる。 3.病院総合医の概要や役割について説明できる。 4.高齢者医療の全体像や重要な点について説明できる。 5.多職種連携の概要と医師の役割を説明できる 6.病診連携の概要を説明できる。 7.高齢者医療・老年医学の研究の概要を理解できる。 8.高齢者特有の症候(老年症候群・フレイルなど)の概要を説明できる 9.効果的な患者教育を説明できる。 10.臨床推論の手法の概要を理解し説明できる。 11.家庭医の役割を理解し概要を説明できる。 12.患者中心の医療の概要を説明できる。 13.臨床倫理の原則や実践の手法を説明できる。 14.地域住民が求めている医療やそのシステムを認識できる。 文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(令和4年度改訂版) https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/116/toushin/mext_01280.html 医学科コンピテンシーよりこの科目で身につけるレベル [I-2-B]世界的に注目されている医学／歯学／健康に関する主たるトピックについて、議論できる [I-3-B]科学/医学/歯学専門用語/表現の理解/表記/発音ができる [II-1-A]医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる [II-3-B]臨床的あるいは科学的問題提起ができる [III-1-A]他者の貢献、時間、価値感、人格を尊重し、常に敬意を払って接することができる [III-2-C]専門職にある者としての立場を理解している [III-8-C]患者との関係(情報漏洩、親密性、金品授受など)において適切な距離を維持する必要性を説明できる [III-9-A]個人の生活における責務と医学科での学習及び社会的な責務について、適切にバランスを取ることができる [III-12-A]メンタルストレスに直面した際、それを認識し、適切な解消処置をとれる [III-14-A]時間厳守、信頼性、適切な準備、率先性、遂行能力を示すことができる [III-15-A]文書課題を、正確で判読しうる質にて作成し、規定期限内に提出できる [III-16-A]本学を含めた当該機関内規、法律、専門職社会内規範を遵守できる					

Ⅲ-17-A]常に、誠実さ、正直さ、確実さをもって行動できる

Ⅲ-18-A]他者への良識を逸する振舞い(無礼、短気など)を認識し、助言を求め、今後起こさぬよう振舞いを修正することができる

Ⅲ-21-A]患者情報の守秘義務を守り、患者のプライバシーを尊重できる

Ⅲ-23-A]記述、プレゼンテーション、論文、および研究情報などの利用において、著作権を尊重し、それに沿って行動できる

Ⅲ-26-A]自身の知識・能力・振舞いを批判的に省察し、長所と課題点を同定し、改善の為に学習目標を設定し、それを達成するのに適した学習活動に取り組むことができる

Ⅲ-27-A]自身に対するフィードバックにもとづき省察し自己改善を実現できる

Ⅲ-28-A]他人に建設的なフィードバックを適切な形で提示できる

Ⅲ-29-A]ポートフォリオを活用して、課題設定を行い、自己学習・自己研鑽できる

Ⅳ-1-B]書面にて、患者に関する臨床情報を統合し要約することができる

Ⅳ-4-B]多学科チームのすべてのメンバーと、敬意を払って効果的な議論ができる

Ⅳ-6-B]患者の様々な背景や文化がどれだけ医者-患者間のコミュニケーションに影響するかを説明できる

Ⅴ-1-A]基礎医学の知識を疾患の病因・病態・臨床徴候などの理解に応用できる

Ⅴ-2-B]頻度の高い疾患について、疫学/病因/病理/病態/症候/予後を説明できる

Ⅴ-3-C]症候/問題の原因評価において用いられる評価法についての知識(適応/合併症/限界)を提示できる

Ⅴ-4-B]頻度の高い疾患に対する治療法(薬物療法、非薬物療法の双方を含む)に関する知識を提示できる

Ⅴ-7-B]頻度の高い疾病についての予防戦略についての知識を提示できる

Ⅴ-10-B]全身疾患と口腔疾患の関連を説明できる

Ⅵ-8-C]主要な症候をきたす病態/疾患を列挙できる

Ⅵ-12-A]高齢者の機能的評価を行える

Ⅵ-15-C]臨床実習の学習項目に含まれる異常所見と、その診断的意義を説明できる

Ⅶ-2-B]多学科チームでの仮想症例を通したチーム医療学習の場で、多職種よりなるチーム医療を成立させる医療・福祉システムを活用できる。

Ⅶ-3-B]仮想症例検討において、病院、診療所、福祉施設など、様々な診療提供システム・機関を活用できる

Ⅶ-5-B]医療体制の主な構成要素(患者、多職種にわたる医療供給者、医療機関、保険者、行政、医療産業(製薬会社等)、診療報酬、薬価)について、役割・意義を説明できる

Ⅶ-6-A]医療保険、コスト、医療の質、そして医療アクセスを考慮した診療を、指導/監督のもとで実践できる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	2/3	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	日本の総合診療のあり方		橋本 正良	到達目標:1、2 学習方法:遠隔講義
2	2/3	10:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	老年医学のエッセンス・研究		秋下 雅弘	到達目標:7 学習方法:遠隔講義
3	2/3	11:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	摂食嚥下リハビリテーション		中根 綾子	到達目標 8
4-6	2/3	12:50-15:40	遠隔授業 (同期型)	高齢者疑似体験実習		本村 一朗	到達目標 8
7-9	2/3	12:50-15:40	第1 総合診療室	口腔ケア実習		鈴木 瞳 吉田 直美	到達目標5
10	2/4	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	在宅歯科医からみた要介護高齢者の状況		猪原 健	
11	2/4	10:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	社会保障と医療と経済		相田 潤	
12	2/4	11:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	在宅医療の実践と研究		山中 崇	到達目標:4 学習方法:遠隔講義

							義、グループ討 論
13	2/4	12:50-13:40	遠隔授業 (同期型)	家庭医療学総論		篠原 孝宏	到達目標:11
14	2/4	13:50-14:40	遠隔授業 (同期型)	多職種連携と病診連携		福原 真理	到達目標:5、6
15	2/4	14:50-15:40	遠隔授業 (同期型)	地域医療総論1 介護 保険/医療・介護・福祉の 連携		木村 琢磨	到達目標:2、5、6
16	2/4	15:50-16:40	遠隔授業 (同期型)	地域医療総論2 生活 と医療の橋渡し		木村 琢磨	到達目標:6、12、 14
17-18	2/5	09:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	高齢者歯科		水口 俊介	到達目標5
19	2/5	11:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	周術期口腔管理		松尾 浩一郎	到達目標5
20	2/5	12:50-13:40	遠隔授業 (同期型)	高齢者の栄養管理		豊島 瑞枝	到達目標:9 学 習方法:遠隔講 義、グループ討 論
21	2/5	13:50-14:40	遠隔授業 (同期型)	高齢者医療総論		馬淵 卓	到達目標:4、8
22	2/5	14:50-15:40	遠隔授業 (同期型)	患者教育		馬淵 卓	到達目標:9、12
23	2/5	15:50-16:40	遠隔授業 (同期型)	地域社会と地域医療 — 認知機能低下への 対応、意思決定支援—		福原 真理	到達目標:4、8、 14
24-26	2/6	12:50-15:40	遠隔授業 (同期型)	高齢者疑似体験実習		本村 一朗	到達目標 8
27-29	2/6	12:50-15:40	第1 総合 診療室	口腔ケア実習		鈴木 瞳 吉 田 直美	到達目標5
30-36	2/7	09:00-17:10	外部病院 等	学外実習(1 回目)	※集合・終了時間は配属施設によ り異なる(別途周知する)	馬淵 卓	到達目標:4、14
37-43	2/10	09:00-17:10	外部病院 等	学外実習(2 回目)	※集合・終了時間は配属施設によ り異なる(別途周知する)	馬淵 卓	到達目標:4、14
44	2/12	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	臨床推論①(診断方法・ バイアスなど)		赤石 雄	到達目標:10
45	2/12	10:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	臨床推論②(症例ベース の実践)		赤石 雄	到達目標:10
46	2/12	11:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	地域を診る		川越 正平	到達目標:14 学 習方法:遠隔講義
47-48	2/12	12:50-17:10	遠隔授業 (同期型)	病理実習		倉田 盛人	
49	2/13	12:50-13:40	遠隔授業 (同期型)	病院総合医		山田 徹	到達目標:3
50	2/13	13:50-14:40	遠隔授業 (同期型)	難しい診療方針をどう扱 うか		山田 徹	到達目標:12、13
51	2/13	14:50-15:40	遠隔授業 (同期型)	地域医療構想		石田 岳史	到達目標:1、2、 14
52	2/13	15:50-16:40	遠隔授業	地域包括ケアシステム		石田 岳史	到達目標:1、2、

一,岸本, 暢将,佐地, 勉,福井, 次矢,井部, 俊子,山内, 豊明,:メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2015 在宅医療バイブル : 家庭医療学,老年医学,緩和医療学の 3 領域からアプローチする／川越正平 編著,川越 正平, 1966-,:日本医事新報社, 2018
参考書 老年歯科医学 第2版／森戸光彦, 山根源之, 櫻井薫, 羽村章, 下山和弘, 柿木保明編集 ; 森戸光彦 [ほか] 執筆 = Gerodontology,森戸, 光彦,山根, 源之,櫻井, 薫(歯学),羽村, 章,下山, 和弘,柿木, 保明,:医歯薬出版, 2022
履修上の注意事項 服装 各施設において適切と考えられる服装について注意すること。
備考 アクティブラーニングを配慮し、講義は一部を除き同期型とし、また実習もできる限り参加型としている。
参照ホームページ

時間割番号	011009		
科目名	医歯学基盤教育(生命倫理Ⅰ)	科目ID	
担当教員	吉田 雅幸[YOSHIDA MASAYUKI]		
開講時期	2024 年度2年通年	対象年次	3
実務経験のある教員による授業	該当する		
授業の目的、概要等			
なぜ人は後で倫理的問題になるとは気付かずに、行動をおこなってしまうのか、あるいはするべき事に気付かず(あるいは気付いても)おこなわないままにしてしまうのか。 医学生、歯学生、医師、歯科医師をはじめとした医療者には、医療を担うにふさわしい倫理感覚を持つことが期待される。医療現場では、倫理的問題に対して組織的に対処するシステムがある程度構築されており、個人の資質による倫理的問題が生じる余地は減っている。しかし、わが国の医療関連法は基本的には性善説で成り立っており、個人の資質による倫理的問題が生じる余地は大きく残されている。また、システム自体が暴走した場合には、最後の砦になるのは個人の倫理感覚のみである。したがって、生命倫理においてはシステムについて学ぶだけでなく、これまでに培った自らの個別的倫理感覚をシステムとの関係の中で、どのように生かすのか、あるいは抑えるのかを考察・構築する必要がある。 第2学年においては、医療者としての視点および倫理観について導入と総論的事項について学習する。第3学年および第4学年において、医療および研究における具体的事例とともにその倫理的問題点とシステムの対応について学習し、医療チームの一員たるプロフェッショナルとして持つべき視点とそれにふさわしい倫理的思考を構築する。			
授業の到達目標			
医学生、歯学生、医師あるいは歯科医師として求められる実践的倫理判断の養成を図る。これまでに培った個別的文献型倫理学から発展させ、医療チームの一員たるプロフェッショナルとして持つべき視点を構築する。すなわち、将来実際に経験することになる医療や研究の現場の具体的事例について、単に批評するだけでは済まされず、実際に判断し、指示を出し、さらにその責任を取らなければならない立場にある医師および歯科医師の持つべき倫理的思考過程について学習し、応用し自ら考えることでそれを構築・実践する。 文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(令和4 年度改訂版) https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/116/toushin/mext_01280.html			
PR-01-01)01,02			
PR-01-02)01			
PR-02-01)01			
PR-02-02)01,02			
PR-04-01)01,02,03			
GE-01-02)01			
GE-01-03)01,02			
GE-01-06)04,05			
RE-01-02)02			
RE-03-01)01			
RE-03-03)01,02,03			
RE-05-02)01			
CS-02			
CS-03-03)01,02,03,04			
CS-05-03)02			
CS-05-05)02			
CS-05-06)02			
CM-01-02)01,02			
CM-02-01)01,02			
CM-02-02)01			
CM-02-03)01,02,03,04			
CM-03-01)01,02,03			

CM-03-02)01,02

IP-02

IP-02-02)01

IP-02-04)01

SO-04-05)01

SO-05-01)01

医学科コンピテンシーよりこの科目で身につけるレベル

[I-2-B]世界的に注目されている医学／歯学／健康に関する主たるトピックについて、議論できる

[I-3-B]科学/医学/歯学専門用語/表現の理解/表記/発音ができる

[II-3-B]臨床的あるいは科学的問題提起ができる

[III-1-A]他者の貢献、時間、価値感、人格を尊重し、常に敬意を払って接することができる

[III-9-A]個人の生活における責務と医学科での学習及び社会的な責務について、適切にバランスを取ることができる

[III-12-A]メンタルストレスに直面した際、それを認識し、適切な解消処置をとれる

[III-14-A]時間厳守、信頼性、適切な準備、率先性、遂行能力を示すことができる

[III-15-A]文書課題を、正確で判読しうる質にて作成し、規定期限内に提出できる

[III-16-A]本学を含めた当該機関内規、法律、専門職社会内規範を遵守できる

[III-17-B]常に、誠実さ、正直さ、確実さをもって行動する必要性を理解している

[III-18-A]他者への良識を逸する振舞い(無礼、短気など)を認識し、助言を求め、今後起こさぬよう振舞いを修正することができる

[III-21-B]守秘義務と患者プライバシーに関して説明できる

[III-22-C]インフォームドコンセントの重要性およびその過程を説明できる

[III-23-B]著作権侵害にあたる行動を列挙できる

[III-24-B]利益相反および回避するための行動を説明できる

[III-25-B]企業との関係における倫理的な側面につき説明できる

[III-26-A]自身の知識・能力・振舞いを批判的に省察し、長所と課題点を同定し、改善の為の学習目標を設定し、それを達成するのに適した学習活動に取り組むことができる

[III-27-A]自身に対するフィードバックにもとづき省察し自己改善を実現できる

[III-28-A]他人に建設的なフィードバックを適切な形で提示できる

[III-29-A]ポートフォリオを活用して、課題設定を行い、自己学習・自己研鑽できる

[IV-4-C]多学科チームでの学習の場で、敬意を払って会話し、チームに貢献し学習できる

[IV-6-B]患者の様々な背景や文化がどれだけ医者-患者間のコミュニケーションに影響するかを説明できる

[IV-7-B]重大で繊細な難しいトピック(sexual history、疾患名告知、退院計画議論、ターミナルケアなど)について患者や患者家族と議論する際に、配慮すべき点や重要な点を説明できる

[IV-9-C]患者中心の医療について説明できる

[VI-3-B]研究デザインや統計的手法についての知識を提示できる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/4	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	生命倫理 I ー3	医の倫理「医科診療に潜む倫理的 問題」	石井 秀人、 江花 有亮	②医療倫理 配 布資料を参照の こと
2	4/11	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	生命倫理 I ー4	医の倫理「歯科診療に関わる倫理 的事項」	濱 洋平、江 花 有亮	②医療倫理 配 布資料を参照の こと
3	4/18	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	生命倫理 I ー5	医の倫理「保険診療・診療報酬と倫 理的問題」	藍 真澄、江 花 有亮	②医療倫理 配 布資料を参照の こと
4	4/25	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	生命倫理 I ー6	医の倫理「医療事故と法的問題」	横野 恵、江 花 有亮	②医療倫理 配 布資料を参照の

詳細は別授業日程表のとおり。担当講師は、医療のさまざまな領域で活動する専門医、専門職の講師をはじめとして、医療以外の分野で活動している実務者にもそれぞれの立場からみた医療や研究について、すなわち他職種や医療者以外の倫理観を含めて問題提起あるいは情報提供を得て、医療者・研究者の倫理について実践的な講義を展開する。
成績評価の方法 講義への出席を単位取得の必要条件とし、第3学年前期と第4学年前期の2回実施する到達度評価甲・乙の点数を中心に、適宜実施する小テストおよび小レポート、プレゼンテーションおよびディスカッションへの参加、素行等をもとにあわせて総合的に評価する。
成績評価の基準 第3学年前期と第4学年前期の2回実施する到達度評価甲・乙の点数、適宜実施する小テストおよび小レポートの点数(医師および歯科医師の持つべき視点と倫理的思考過程について習得し、応用し自ら考えることができているかどうか)が 70 点以上の場合に合格(A+, A, B)とする。プレゼンテーションおよびディスカッションへの参加の教員評価(積極的に参加しているか、適切な関与をおこなっているか)等を合計し、尚、試験を受けない場合や反プロフェッショナル行為(不正なコピー、試験の不正、出席の不正)がみられた場合は成績に関わらず不合格とする(F)。
準備学習等についての具体的な指示 あらかじめ講義のトピックスについて配布資料や動画、参考図書、インターネット等で調べて、そのトピックスに関連する倫理的問題に対して自分なりの見解をもって講義に臨むことが好ましい。
試験の受験資格 講義への出席が、講義時間数の3分の2以上であること。第3学年前期の到達度評価甲については、第2学年から第3学年前期の到達度評価甲前までの講義のうち2/3以上の出席であること。第4学年前期の到達度評価乙については、第3学年前期の到達度評価甲後から第4学年前期の到達度評価乙までのうち、2/3以上の出席であること。各回の講義についての出席の要件は、ZOOM 履歴と小レポートを通して確認する。
教科書 教科書は使用せず、レジュメ・資料等をそのつど配布する。
参考書 The Oxford textbook of clinical research ethics / edited by Ezekiel J. Emanuel ... [et al.], Emanuel, Ezekiel J., : Oxford University Press, 2008 Principles and practice of clinical research / edited by John I. Gallin, Frederick P. Ognibene, Gallin, John I., Ognibene, Frederick P., : Elsevier / AP, 2012 Principles of Biomedical Ethics / Tom L. Beauchamp, James F. Childress : Oxford Univ Pr, 2019 生命医学倫理 / トム・Lビーチャム, ジェイムズ・F.チルドレス著 ; 立木教夫, 足立智孝監訳 Beauchamp, Tom L., Childress, James F., 立木, 教夫, 足立, 智孝, : 麗澤大学出版会, 2009 入門・医療倫理 / 赤林朗 編 赤林, 朗, 1958-, : 勁草書房, 2005
履修上の注意事項 授業責任者からの連絡は、WebClass で行うので確認すること。「到達度評価甲」「到達度評価乙」の回では、到達度を測る。定期試験は実施しないが、進級のためには全授業回数(2限連続は2回)の2/3以上の出席が必要であり、到達度評価は必須である。医師、歯科医師といった医療者に期待される倫理観を培うために、それぞれの講義時に自ら系統的に考えることが最も重要である。各回の講義について遅刻、早退は系統的に問題に対処する趣旨に反するため、原則的に認めない。また、出席等の手続きについての不正に対しては、医療者に期待される倫理観から著しく外れることから、厳正に対処する。
備考 ○問い合わせ先(講義担当教員) (教員名)(診療科・分野) 吉田 雅幸: オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡してから訪問すること。 水口 俊介: 随時 江花 有亮: ebnyksk.bec@tmd.ac.jp

時間割番号	011073						
科目名	医歯学基盤教育(臨床統計Ⅱ)		科目ID				
担当教員	小池 竜司, 能登 洋, 水口 俊介, 濱 洋平, 駒ヶ嶺 友梨子[KOIKE RYUJI, NOTO HIROSHI, MINAKUCHI SHIYUNSUKE, HAMA YOHEI, KOMAGAMINE YURIKO]						
開講時期	2024 年度通年	対象年次	3				
実務経験のある教員による授業	該当する						
主な講義場所 オンラインによる遠隔講義							
授業の目的、概要等 医学・歯学の診療・研究において必要とされる統計学の臨床的意義と応用法(問題定式化・問題解決)を学ぶ 臨床統計Ⅲ 終了時まで、実験デザインの基礎を学び、プロジェクトセメスターで臨床研究を行う際の研究基盤をつくる							
授業の到達目標 1) エビデンスを正しく読解・活用できる実践技能を習得する。 2) 実際の英文論文の批判的吟味ができ、具体的な臨床研究の作り方の理解ができることを目標とする。 。 医学科コンピテンシーよりこの科目で身につけるレベル [I-2-B]世界的に注目されている医学／歯学／健康に関する主たるトピックについて、議論できる [I-3-B]科学/医学/歯学専門用語/表現の理解/表記/発音ができる [II-3-B]臨床的あるいは科学的問題提起ができる [III-1-A]他者の貢献、時間、価値感、人格を尊重し、常に敬意を払って接することができる [III-9-A]個人の生活における責務と医学科での学習及び社会的な責務について、適切にバランスを取ることができる [III-12-A]メンタルストレスに直面した際、それを認識し、適切な解消処置をとれる [III-14-A]時間厳守、信頼性、適切な準備、率先性、遂行能力を示すことができる [III-15-A]文書課題を、正確で判読しうる質にて作成し、規定期限内に提出できる [III-16-A]本学を含めた当該機関内規、法律、専門職社会内規範を遵守できる [III-18-A]他者への良識を逸する振舞い(無礼、短気など)を認識し、助言を求め、今後起こさぬよう振舞いを修正することができる [III-23-A]記述、プレゼンテーション、論文、および研究情報などの利用において、著作権を尊重し、それに沿って行動できる [III-26-A]自身の知識・能力・振舞いを批判的に省察し、長所と課題点を同定し、改善の為の学習目標を設定し、それを達成するのに適した学習活動に取り組むことができる [III-27-A]自身に対するフィードバックにもとづき省察し自己改善を実現できる [III-28-A]他人に建設的なフィードバックを適切な形で提示できる [III-29-A]ポートフォリオを活用して、課題設定を行い、自己学習・自己研鑽できる [IV-4-C]多学科チームでの学習の場で、敬意を払って会話し、チームに貢献し学習できる [VI-1-B]情報技術を利用し、関連する情報源/エビデンスを発見できる [VI-2-B]臨床上の問題を明確化できる [VI-3-B]研究デザインや統計的手法についての知識を提示できる [VI-4-B]医学的介入(予防/治療)に関するエビデンス吟味に用いられる用語(NNT, NNH など)を説明できる [VI-5-C]入手したエビデンスのレベルを正確に説明できる [VI-6-B]診療ガイドラインにアクセスし、仮想症例の検討に活用できる [VI-7-B]診断に関するエビデンス吟味に用いられる用語(感度、特異度、尤度比など)を説明できる							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他

1	8/29	10:05-10:55	遠隔授業 (同期型)	臨床統計Ⅱ－1	エビデンスの読解・活用	能登 洋	【到達目標】1)、2) 【学習方法】講義 聴講 【その他】 授業中にZoom 投票機能を利用して クイズに答える。 また、授業終了時にWebClass にて 小テストに解答する。
2	8/29	11:10-12:00	遠隔授業 (同期型)	臨床統計Ⅱ－2	エビデンスの読解・活用	能登 洋	【到達目標】1)、2) 【学習方法】講義 聴講 【その他】 授業中にZoom 投票機能を利用して クイズに答える。 また、授業終了時にWebClass にて 小テストに解答する。
3	9/5	10:05-10:55	遠隔授業 (同期型)	臨床統計Ⅱ－3	エビデンスの読解・活用	能登 洋	【到達目標】1)、2) 【学習方法】講義 聴講 【その他】 授業中にZoom 投票機能を利用して クイズに答える。 また、授業終了時にWebClass にて 小テストに解答する。
4	9/5	11:10-12:00	遠隔授業 (同期型)	臨床統計Ⅱ－4	エビデンスの読解・活用	能登 洋	【到達目標】1)、2) 【学習方法】講義 聴講 【その他】 授業中にZoom 投票機能を利用して クイズに答える。 また、授業終了時にWebClass にて 小テストに解答する。
5	9/12	10:05-10:55	遠隔授業 (同期型)	臨床統計Ⅱ－5	エビデンスの読解・活用	能登 洋	【到達目標】1)、2) 【学習方法】講義 聴講 【その他】 授業中にZoom 投票機能を利用して クイズに答える。 また、授業終了時にWebClass にて 小テストに解答する。

6	9/19	10:05-10:55	遠隔授業 (同期型)	臨床統計Ⅱ－6	エビデンスの読解・活用	能登 洋	【到達目標】1)、2) 【学習方法】講義 聴講 【その他】 授業中にZoom 投票機能を利用してクイズに答える。 また、授業終了時にWebClass にて小テストに解答する。
7	9/26	10:05-10:55	遠隔授業 (同期型)	臨床統計Ⅱ－7	エビデンスの読解・活用	能登 洋	【到達目標】1)、2) 【学習方法】講義 聴講 【その他】 授業中にZoom 投票機能を利用してクイズに答える。 また、授業終了時にWebClass にて小テストに解答する。
8	10/3	10:05-10:55	遠隔授業 (非同期型)	臨床統計Ⅱ－8	臨床研究 1	濱 洋平	【到達目標】1)、2) 【学習方法】講義 聴講(授業時間内に聴講)、演習
9	10/3	11:10-12:00	遠隔授業 (非同期型)	臨床統計Ⅱ－9	臨床研究 2	駒ヶ嶺 友梨子	【到達目標】1)、2) 【学習方法】講義 聴講(授業時間内に聴講)、演習
10	10/17	10:05-10:55	遠隔授業 (同期型)	臨床統計Ⅱ－10	診療ガイドライン・メタアナリシス	能登 洋	【到達目標】1)、2) 【学習方法】講義 聴講 【その他】 授業中にZoom 投票機能を利用してクイズに答える。 また、授業終了時にWebClass にて小テストに解答する。
11	10/24	10:05-10:55	遠隔授業 (同期型)	臨床統計Ⅱ－11	EBM の実践	能登 洋	【到達目標】1)、2) 【学習方法】講義 聴講 【その他】 授業中にZoom 投票機能を利用してクイズに答える。 また、授業終了時にWebClass にて小テストに解答する。
12	11/7	10:05-10:55	医学科講義室 1,	臨床統計Ⅱ－12	応用演習	能登 洋 水口 俊介	【到達目標】1)、2) 【学習方法】演習

			医学科講義室 2			
授業方法						
医歯学融合の講義・演習による。						
Zoom を使用したオンラインによる遠隔講義(同期型または非同期型)を行い、出席はその視聴記録で確認する(アクセス記録の有無で判定)。						
同期型・非同期型いずれの講義も授業後に録画を再視聴できる。						
同期授業中にクイズやアンケートを Zoom の投票機能を利用して行う。						
同期授業中の質疑応答は Zoom チャット機能を利用する。授業後の質疑応答はメールを利用して行う。						
Webclass にはオンラインリアクションペーパーとして講義の小テストの解答や感想・質問・コメント等を記入するページを用意する。質問は匿名で扱い、次回授業や Webclass にて回答する。授業内容以外のことを記載してもよく、有効活用して欲しい。						
授業内容						
関連・診断・治療・予防に関する EBM(論文実践)を、授業中の Zoom 投票機能やオンラインリアクションペーパー/小テストなども多用して学習・復習する(授業スケジュール参照)						
成績評価の方法						
応用演習(テスト)を主として評価する(約 90%)。小テスト回答や積極性や出席数についても適宜勘案する(約 10%)。						
授業中のクイズ・アンケートは出席数の計算にカウントしないが、回答率を積極性として勘案する。積極性はそのほかに授業態度なども含む。授業後の小テストは出席点として加味したり Zoom トラブル時の出席カウント代替法として利用したりする。小テストは学生の理解度を把握する目的なのでその得点は成績に関係しない。						
成績評価の基準						
上記の応用演習による得点および小テスト回答や積極性や出席数による得点を合計し、100 点満点に換算して 60 点以上の場合に合格とする。						
60 点以上の得点をそのまま当科目の最終評価点とする。						
成績評価・追試・再試については、上記成績評価(計 100%)に基づき、原則として東京医科歯科大学試験規則に従う。						
準備学習等についての具体的な指示						
教科書および Web Class 上にアップロードされる資料等を活用して予習・復習に役立てること。						
生協での教科書販売については生協に直接問い合わせること。教科書は授業前に購入しておくことが望ましい。						
試験の受験資格						
臨床統計Ⅰ単位取得済みであること(履修上の注意事項参照)						
本学規定のとおり、ブロック全体で 2/3 以上の出席と試験での合格評価を履修要件とする。出席数の計算に関しては、視聴履歴(アクセス記録の有無で判定)と小テスト回答数を確認し、従来と同じ規定に基づいて出欠席を判定する。						
特別に勘案すべき事情により指示が達成できない場合や授業に出席できない場合には、その事情とともに締め切り期日前、ならびに授業の始まる前までに科目責任者または教務係にメールなどで日時の記録が残る形で連絡すること。緊急の場合は電話でもよいが、その後メール連絡すること。連絡ができないような特別な事情があったと後で判断された場合はその限りでない。これらの十分な対応が行われていたと判断された場合には、事情に応じてレポートなどでの対応を行う。						
教科書						
スッキリわかる臨床統計はじめの一步：統計のイロハからエビデンスの読み解き方・活かし方まで／能登、洋.;羊土社、2018						
参考書						
日常診療にすぐに使える臨床統計学：ベストな診断と治療ができる!／能登、洋.;羊土社、2011						
他科目との関連						
グローバルコミュニケーション・生命倫理と相互関連した講義内容である。						
履修上の注意事項						
・予習課題について事前連絡することがあるため、WebClass を受講前に確認すること ・遠隔授業法(同期型/非同期型)が変更になることがあるため、WebClass を受講前に確認すること ・「応用演習」の回では到達度を測る目的で試験を実施する。 ・進級条件は原則として東京医科歯科大学試験規則に従う。 ・各講義の遅刻・早退は原則的に認めない。また、出席手続きやなどの不正に対しては厳正に対処						

する. ・講義動画. 講義資料・参考資料などは著作権の問題があるため, 受講登録者以外に公開することを禁ずる.

備考

昨年からの改善点:スライドフォーマットや配色を実用性の高いものにする.

連絡先(メールアドレス)

能登 洋

時間割番号	011074						
科目名	医歯学基盤教育(グローバル・コミュニケーションⅡ)		科目ID				
担当教員	JANELLE RENEE MOROSS[JANELLE RENEE MOROSS]						
開講時期	2024 年度通年	対象年次	3				
実務経験のある教員による授業	該当する						
主な講義場所							
クラス分け A-H: 遠隔授業(同期型), Zoom ID/Passcode はクラスによって異なる。(WebClass 参照)							
授業の目的、概要等							
本学は、基本理念の一つに「国際性と指導力を備えた人材の育成」を掲げている。グローバル化が進む昨今、世界の共通言語である英語は、医学・歯学研究の最先端におけるコミュニケーションおよび情報発信ツールにとどまらず、国家・地域レベルでの健康向上のために医療をリードし、そして世界標準に沿った質の高い医療・歯科医療を提供するための情報収集・意見交換ツールとして、必要不可欠である。したがって、本学の基本理念達成には、世界規模で注目されている医療・健康問題に精通し、論理的な思考のもとに意見を持ち、国際舞台で世界共通言語である英語で議論を行うのに必要な「適切な基準や根拠に基づく、論理的で、偏りのない思考」、いわゆる「クリティカルシンキング」ができなくてはならない。そこで、本科目においては、到達目標を以下のように設定する。そして、並行して進む医歯学専門教育、生命倫理教育、臨床統計教育と本科目の学習内容を可能な範囲でリンクさせることにより、双方に対しての更なる学習動機づけおよび学習効果向上を図り、21 世紀の医療を担い、リードする医師、歯科医師に共通して必要とされる基盤資質の修得のための学習機会を提供する。							
授業の到達目標							
1) 適切な基準や根拠に基づく、論理的で、偏りのない思考(クリティカルシンキング)ができる。							
2) 世界共通言語である英語により発信される医学関連情報に対して、1)にもとづく吟味・口頭または文書での効果的な情報発信・議論ができる。							
3) 世界の医療・健康事情の把握とそれによる広い視野を持つ。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	5/2	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	Class overview, Debate Basics-ORE practice (WebClass に資料がある)	少人数制の医療トピックに関するディスカッションとディベート。	JANELLE R ENEE MOR OSS, 長谷川 久紀	【到達目標】1) 2) 3) 【学習方法】グループ討論 【その他】個人の予習
2	5/9	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	Free Dental Care: Pros & Cons Practice, On-demand quiz on WebClass (WebClass に資料がある)	少人数制の医療トピックに関するディスカッションとディベート。	JANELLE R ENEE MOR OSS, 長谷川 久紀	【到達目標】1) 2) 3) 【学習方法】グループ討論 【その他】個人の予習、小テストは WebClass で行う(オンデマンド)
3	6/13	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	Upper GI: Barium vs endoscopy, On-demand quiz on WebClass (WebClass に資料がある)	少人数制の医療トピックに関するディスカッションとディベート。	JANELLE R ENEE MOR OSS, 長谷川 久紀	【到達目標】1) 2) 3) 【学習方法】グループ討論 【その他】個人の予習、小テストは WebClass で行う(オンデマンド)
4	6/20	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	Hypo vs Hyperthyroidism, On-demand quiz on WebClass (WebClass に	少人数制の医療トピックに関するディスカッションとディベート。	JANELLE R ENEE MOR OSS, 長谷川	【到達目標】1) 2) 3) 【学習方法】グループ討論 【そ

				資料がある)		久紀	の他)個人の予 習、小テストは WebClass で行う (オンデマンド)
5	6/27	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	Exercise and Frailty, On-demand quiz on WebClass (Materials on WebClass)	少人数制の医療トピックに関する ディスカッションとディベート。	JANELLE R ENEE MOR OSS, 長谷川 久紀	【到達目標】1) 2) 3) 【学習方法】グ ループ討論 【そ の他)個人の予 習、小テストは WebClass で行う (オンデマンド)
6	7/4	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	Percutaneous Endogastric Tube (PEG), On-demand quiz on WebClass (WebClass に 資料がある)	少人数制の医療トピックに関する ディスカッションとディベート。	JANELLE R ENEE MOR OSS, 長谷川 久紀	【到達目標】1) 2) 3) 【学習方法】グ ループ討論 【そ の他)個人の予 習、小テストは WebClass で行う (オンデマンド)
7	7/11	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	COPD, On-demand quiz on WebClass (WebClass に資料がある)	少人数制の医療トピックに関する ディスカッションとディベート。	JANELLE R ENEE MOR OSS, 長谷川 久紀	【到達目標】1) 2) 3) 【学習方法】グ ループ討論 【そ の他)個人の予 習、小テストは WebClass で行う (オンデマンド)
8	7/18	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	Leukemia, , On-demand quiz on WebClass (Materials on WebClass)	少人数制の医療トピックに関する ディスカッションとディベート。	JANELLE R ENEE MOR OSS, 長谷川 久紀	【到達目標】1) 2) 3) 【学習方法】グ ループ討論 【そ の他)個人の予 習、小テストは WebClass で行う (オンデマンド)
9	7/25	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	Presentation/ Q&A Practice (all groups)	全グループプレゼンテーション・ Q&A 教員のフィードバック	JANELLE R ENEE MOR OSS, 長谷川 久紀	1)プレゼンのスキ ルアップして
10	7/25	10:05-10:55	遠隔授業 (同期型)	Presentation/ Q&A Practice (all groups)	全グループプレゼンテーション・ Q&A 教員のフィードバック	JANELLE R ENEE MOR OSS, 長谷川 久紀	1)プレゼンのスキ ルアップして
11	8/29	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	Oral Cancer, On-demand quiz on WebClass (WebClass に資料があ る)	少人数制の医療トピックに関する ディスカッションとディベート。	JANELLE R ENEE MOR OSS, 長谷川 久紀	【到達目標】1) 2) 3) 【学習方法】グ ループ討論 【そ の他)個人の予 習、小テストは WebClass で行う (オンデマンド)
12	9/5	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	Autonomy, On-demand quiz on WebClass (WebClass に資料があ	少人数制の医療トピックに関する ディスカッションとディベート。	JANELLE R ENEE MOR OSS, 長谷川	【到達目標】1) 2) 3) 【学習方法】グ ループ討論 【そ

				る)		久紀	の他)個人の予 習、小テストは WebClass で行う (オンデマンド)
13	9/12	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	Renal Function, On-demand quiz on WebClass (WebClass に資料がある)	少人数制の医療トピックに関する ディスカッションとディベート。	JANELLE R ENEE MOR OSS, 長谷川 久紀	【到達目標】1) 2) 3) 【学習方法】グ ループ討論 【そ の他)個人の予 習、小テストは WebClass で行う (オンデマンド)
14	9/19	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	Prostate Cancer, On-demand quiz on WebClass (WebClass に資料がある)	少人数制の医療トピックに関する ディスカッションとディベート。	JANELLE R ENEE MOR OSS, 長谷川 久紀	【到達目標】1) 2) 3) 【学習方法】グ ループ討論 【そ の他)個人の予 習、小テストは WebClass で行う (オンデマンド)
15	9/26	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	Atopic Dermatitis, On-demand quiz on WebClass (WebClass に 資料がある)	少人数制の医療トピックに関する ディスカッションとディベート。	JANELLE R ENEE MOR OSS, 長谷川 久紀	【到達目標】1) 2) 3) 【学習方法】グ ループ討論 【そ の他)個人の予 習、小テストは WebClass で行う (オンデマンド)
16	10/3	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	Baby farming/ genetic design (WebClass に資 料がある)	少人数制の医療トピックに関する ディスカッションとディベート。	JANELLE R ENEE MOR OSS, 長谷川 久紀	【到達目標】1) 2) 3) 【学習方法】グ ループ討論 【そ の他)個人の予習
17	10/10	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	Presentation Group 1: Abortion policies in Japan, On-demand quiz on WebClass	Q&A. 教員のフィードバック	JANELLE R ENEE MOR OSS, 長谷川 久紀	1)プレゼンのスキ ルアップして、小 テストは WebClass で行う (オンデマンド)
18	10/10	10:05-10:55	遠隔授業 (同期型)	Genetic testing and abortion (WebClass に 資料がある)	少人数制の医療トピックに関する ディスカッションとディベート。	JANELLE R ENEE MOR OSS, 長谷川 久紀	【到達目標】1) 2) 3) 【学習方法】グ ループ討論 【そ の他)個人の予習
19	10/17	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	Hay Fever, On-demand quiz on WebClass (WebClass に資料があ る)	少人数制の医療トピックに関する ディスカッションとディベート。	JANELLE R ENEE MOR OSS, 長谷川 久紀	【到達目標】1) 2) 3) 【学習方法】グ ループ討論 【そ の他)個人の予 習、小テストは WebClass で行う (オンデマンド)
20	10/24	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	Chewing and Cognitive Function, On-demand quiz on WebClass (WebClass に資料があ る)	少人数制の医療トピックに関する ディスカッションとディベート。	JANELLE R ENEE MOR OSS, 長谷川 久紀	【到達目標】1) 2) 3) 【学習方法】グ ループ討論 【そ の他)個人の予 習、小テストは

							WebClass で行う (オンデマンド)
21	10/31	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	Presentation Group 2: Types of Diabetes, On-demand quiz on WebClass	Q&A 教員のフィードバック	JANELLE R ENEE MOR OSS, 長谷川 久紀	1)プレゼンのスキ ルアップして、小 テストは WebClass で行う (オンデマンド)
22	10/31	10:05-10:55	遠隔授業 (同期型)	Diabetes Testing (WebClass に資料があ る)	少人数制の医療トピックに関する ディスカッションとディベート。	JANELLE R ENEE MOR OSS, 長谷川 久紀	【到達目標】1) 2) 3) 【学習方法】グ ループ討論 【そ の他】個人の予習
23	11/14	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	Presentation Group 3: How flu vaccine is made, On-demand quiz on WebClass	Q&A 教員のフィードバック	JANELLE R ENEE MOR OSS, 長谷川 久紀	1)プレゼンのスキ ルアップして、小 テストは WebClass で行う (オンデマンド)
24	11/14	10:05-10:55	遠隔授業 (同期型)	Flu Shots (WebClass に 資料がある)	少人数制の医療トピックに関する ディスカッションとディベート。	JANELLE R ENEE MOR OSS, 長谷川 久紀	【到達目標】1) 2) 3) 【学習方法】グ ループ討論 【そ の他】個人の予習
25	11/21	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	Presentation Group 4: HIV testing in Japan, On-demand quiz on WebClass	Q&A 教員のフィードバック	JANELLE R ENEE MOR OSS, 長谷川 久紀	1)プレゼンのスキ ルアップして、小 テストは WebClass で行う (オンデマンド)
26	11/21	10:05-10:55	遠隔授業 (同期型)	HIV (WebClass に資料が ある)	少人数制の医療トピックに関する ディスカッションとディベート。	JANELLE R ENEE MOR OSS, 長谷川 久紀	【到達目標】1) 2) 3) 【学習方法】グ ループ討論 【そ の他】個人の予習
27	11/28	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	Presentation Group 5: Cholecystectomy and gallstones, On-demand quiz on WebClass	Q&A 教員のフィードバック	JANELLE R ENEE MOR OSS, 長谷川 久紀	1)プレゼンのスキ ルアップして、小 テストは WebClass で行う (オンデマンド)
28	11/28	10:05-10:55	遠隔授業 (同期型)	Cholesterol (WebClass に 資料がある)	少人数制の医療トピックに関する ディスカッションとディベート。	JANELLE R ENEE MOR OSS, 長谷川 久紀	【到達目標】1) 2) 3) 【学習方法】グ ループ討論 【そ の他】個人の予習
29	12/5	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	Presentation Group 6: What is LGBT?, On-demand quiz on WebClass	Q&A 教員のフィードバック	JANELLE R ENEE MOR OSS, 長谷川 久紀	1)プレゼンのスキ ルアップして、小 テストは WebClass で行う (オンデマンド)
30	12/5	10:05-10:55	遠隔授業 (同期型)	LGBTQ+ Medical Disparities (WebClass に資料がある)	少人数制の医療トピックに関する ディスカッションとディベート。	JANELLE R ENEE MOR OSS, 長谷川 久紀	【到達目標】1) 2) 3) 【学習方法】グ ループ討論 【そ の他】個人の予習
31	12/12	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	Providing Quality Care to LGBT patients	少人数制の医療トピックに関する ディスカッションとディベート。	JANELLE R ENEE MOR	【到達目標】1) 2) 3) 【学習方法】グ

				(WebClass に資料がある)		OSS, 長谷川久紀	ループ討論 【その他】個人の予習
32	12/12	10:05-10:55	遠隔授業 (同期型)	Role-play and discussion	少人数制の医療トピックに関するディスカッションとディベート。	JANELLE R ENEE MOR OSS, 長谷川久紀	【到達目標】1) 2) 3) 【学習方法】グループ討論 【その他】個人の予習
33	12/19	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	口頭試験+エッセイ (WebClass に資料がある)	個人口頭試験+エッセイ	JANELLE R ENEE MOR OSS, 長谷川久紀	1)スピーキングとライティングの能力を発揮する
34	12/19	10:05-10:55	遠隔授業 (同期型)	口頭試験+エッセイ (WebClass に資料がある)	個人口頭試験+エッセイ	JANELLE R ENEE MOR OSS, 長谷川久紀	1)スピーキングとライティングの能力を発揮する
35	1/9	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	Giving Bad News (WebClass に資料がある)	少人数制の医療トピックに関するディスカッションとディベート。	JANELLE R ENEE MOR OSS, 長谷川久紀	【到達目標】1) 2) 3) 【学習方法】グループ討論 【その他】個人の予習

授業方法

授業における全ての学習活動は英語で行われる。

1. 少人数グループ討論/アクティブラーニングを中心

医歯学専門知識修得ステージ/生命倫理および臨床統計学習内容に合わせたトピック・論点を選定し、2 から 4 人ずつの小グループにて議論を行う。毎回 Native level speaker(s)を講師兼 Moderator/facilitator として配する。議論のプロダクトを、文書または口頭にて発表する機会も用意する。クリティカルシンキングのための導入および振り返り機会を適宜用意する。※注: 生徒は TOEFLスコアと学習意欲の証明に基づいてクラス分けされる。学生が授業のレベルを上下に変えたいという希望がある場合は、その理由を明記したメッセージをこのコースのディレクターに送ることで調整される場合もある。

2. 医学関連英語語彙・フレーズの習得

医歯学専門知識習得ステージに合わせたスケジュールを組み、発音も重視した学習を行う。毎回あらかじめ学習内容を指定し、WebClass において (オンデマンド) 小テストという形で学習度の確認を行う。

授業内容

授業スケジュール参照

成績評価の方法

最終成績は以下にもとづき判定される。

- ・ (オンデマンド) 小テストスコア
- ・ Class participation (議論/ 宿題)
- ・ 口頭試験+エッセイ
- ・ 任意作文

成績評価の基準

最終成績は下記比重による。

- ・ (オンデマンド) 小テストスコア (15%)
- ・ Class participation (議論/ 宿題) (60%)

※ 注: グループディスカッションの準備と参加に基づいて、各セッションの成績が (10 点満点) 与えられる。

- ・ 最後のセッションでの口頭試験+エッセイ (25%)
- ・ Optional essays (bonus)

B 以上の評価を得るためには、授業に%以上出席し、クラスのディスカッション (各回 5~10 点評価) に積極的に参加し、語彙の小テストを受けて合格点を取り、最終課の口頭試験・作文で良い成績を取ることが必要です。

準備学習等についての具体的な指示

指示に従い小テストのための学習およびグループ議論、ディベート、口頭プレゼンテーションの準備をしてくる。その際、科目担当者からの指示(文書・口頭)に従うと共に、指定される資料だけでなく、インターネットなどを用いて議論を深めるために役立つ他資料や情報を主体的に収集し、準備に努めること。

小テストは授業中には行われません。授業当日の24時間前から授業の開始時間までに、WebClassで受験してください。

試験の受験資格

試験の受験資格

本科目においては最終試験は行わないが、成績評価は「出席」、「討論の参加」、「毎週の小テスト」、「口頭試験とエッセイ」によって評価される。なお、本科目は「出席」を非常に重視しており、出席が以下に定める条件に足らず、不合格となった場合、留年となる。合格/進級のための出席関連必要条件、出欠確認方法および出欠ルール、最終警告通知を以下の通りとする。

【合格/進級のための出席関連必要条件】

・「欠席」が全セッションの3分の1以下であることを必要条件とする(十分条件ではない)。

・病気等による欠席は、診断書が提出されたとしても欠席として扱われる。

【出欠確認方法】

・本科目では授業を通して担当講師が出欠を確認する。出欠状況は毎セッション終了後にデータ整理後 DreamCampus と WebClass に掲示する。

・出欠状況について授業責任者側から個別に連絡・注意することはしないため、各自で確認し適切に行動すること。確固たる証拠にもとづく事実相違がある場合は、授業責任者に相談すること。

【出欠ルール】

・授業開始時より授業終了時まで在室した場合を「出席」とする。

・授業開始時に在室していなかったが授業開始後10分以内に入室し、授業終了時まで在室した場合を「遅刻」とし、「遅刻」3回を「欠席」1回とカウントする。

・授業開始後10分経過時以降の入室(または授業終了時まで入室なし)、または、入室時間に限らず授業終了の前に退室した場合は、「欠席」とする。

【欠席過多による「最終警告通知」】

・あと1回の欠席で不合格となる場合、TMDU メールに「最終警告通知」が送付される。

・「最終警告通知」には必ず返信し、通知される内容に従い、必ず担当教員と面談すること。

※注:「最終警告通知」に返答がない場合、保護者に通知がいくので注意すること。

※本学より学生各自に割り当てられたメールアドレス(学籍番号下6桁に+ds@tmdac.jp/ms@tmdac.jp)宛に送られる連絡を速やかに確実に確認し対応することは、本学学生の義務です。指示を守れなかった場合に、「メールをみていなかった」は理由になりませんので、短い間隔で定期的に確実にチェックし、対応するようにしてください。

参考書

WebClass 参照

履修上の注意事項

本科目は「出席」を非常に重視しており、出席が条件に足りない場合、不合格(留年)となる。遅刻は本人の学習の妨げになるほか、同じグループのメンバーの学習にも大きな迷惑となることから、厳しく取扱う。講師が出席と参加を確認できるよう、ズームセッション中、学生は常にカメラをオンにして下さい。インターネット接続が不十分等、カメラをオンにすることで参加やグループディスカッションが著しく損なわれる場合は、講師に口頭ないしはチャットで通知する必要があります。そのような通知なしにカメラをオンにしていない学生は「欠席」とみなされます。前期・後期の授業終了後、科目についてのアンケートを webclass で実施する。アンケートに回答しない場合は、定期試験の可否を含む成績が webclass に表示されない。 昨年のアンケートよりの改善点: 前年のアンケートに基づき、改善点を都度検討し、今後の運用に生かしている。

備考

学生や教員からのフィードバックに基づくコースの改善

連絡先(メールアドレス)

JANELLE RENEE MOROSS: jmoross.isc@tmd.ac.jp

オフィスアワー

JANELLE RENEE MOROSS: 予約をしたい方は電子メールを送ってください。

時間割番号	011076				
科目名	生殖・発達			科目ID	
担当教員	宮坂 尚幸[MIYASAKA NAOYUKI]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	4	単位数	4
実務経験のある教員による授業	該当する				
Obstetrics and gynecology Pediatrics					
授業の目的、概要等					
産科、婦人科【悪性腫瘍・生殖内分泌、女性医学+婦人科良性疾病+感染症】の基礎を講義形式で学ぶ。また産科、婦人科上記 3 領域について、アクティブラーニングにより深く学んでいく。					
「小児疾患」の基礎を非同期授業で学ぶ。各専門分野についてアクティブラーニングで学ぶとともに、TBL にて小児の縦断・横断的疾患について総合討議をしながら学んでゆく。					
授業の到達目標					
1)小児の発達を理解できる。					
2)小児科における主要な病気、病態を理解できる。					
3)小児科を取り巻く社会的背景、小児科にかかわる先端医療の知識に触れる。					
1)女性の生殖・内分泌機能、妊娠の成立過程についての基礎を確認・理解する。					
2)月経異常・不妊症の原因について、原因検索のためのアプローチ・治療法を学び・理解する。					
3)妊娠から分娩に至るまでの正常・異常な経過について理解・説明することができる。					
4)女性生殖器における症性腫瘍・感染性疾患・女性特有の加齢性変化について病態を理解し、説明できる。					
5)女性生殖器の悪性腫瘍について病態・検査方法・治療を理解し、説明できる。					
文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(令和4年度改訂版)					
https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/116/toushin/mext_01280.html					
CS-01-02)03					
CS-02-01)01,02					
CS-02-02)01,02					
CS-02-03)04,06,07					
CS-02-04)01,20,21,22,23,24					
CS-03-02)01					
CS-03-03)01					
CS-03-06)01,02					
GE-03-02)06					
GE-03-03)01,02					
GE-03-04)01,02,03,04					
PS-01-03)06,12					
PS-02-02)01,02,03,05					
PS-02-03)05					
PS-02-09)01,02,03,04,05					
PS-02-10)01,02,03,05					
PS-02-11)01,02,03,04,05					
PS-03-02)02					

PS-03-04)01,04,05,06,07,08,16,23,24,25,26

PS-03-05)02,03

SO-01-03)05

医学科コンピテンシーよりこの科目で身につけるレベル

[I-2-B]世界的に注目されている医学／歯学／健康に関する主たるトピックについて、議論できる

[I-3-B]科学/医学/歯学専門用語/表現の理解/表記/発音ができる

[II-1-A]医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる

[II-3-B]臨床的あるいは科学的問題提起ができる

[III-1-A]他者の貢献、時間、価値感、人格を尊重し、常に敬意を払って接することができる

[III-9-A]個人の生活における責務と医学科での学習及び社会的な責務について、適切にバランスを取ることができる

[III-12-A]メンタルストレスに直面した際、それを認識し、適切な解消処置をとれる

[III-14-A]時間厳守、信頼性、適切な準備、率先性、遂行能力を示すことができる

[III-15-A]文書課題を、正確で判読しうる質にて作成し、規定期限内に提出できる

[III-16-A]本学を含めた当該機関内規、法律、専門職社会内規範を遵守できる

[III-18-A]他者への良識を逸する振舞い(無礼、短気など)を認識し、助言を求め、今後起こさぬよう振舞いを修正することができる

[III-23-A]記述、プレゼンテーション、論文、および研究情報などの利用において、著作権を尊重し、それに沿って行動できる

[III-26-A]自身の知識・能力・振舞いを批判的に省察し、長所と課題点を同定し、改善の為の学習目標を設定し、それを達成するのに適した学習活動に取り組むことができる

[III-27-A]自身に対するフィードバックにもとづき省察し自己改善を実現できる

[III-28-A]他人に建設的なフィードバックを適切な形で提示できる

[III-29-A]ポートフォリオを活用して、課題設定を行い、自己学習・自己研鑽できる

[IV-1-B]書面にて、患者に関する臨床情報を統合し要約することができる

[V-1-A]基礎医学の知識を疾患の病因・病態・臨床徴候などの理解に応用できる

[V-2-B]頻度の高い疾患について、疫学/病因/病理/病態/症候/予後を説明できる

[V-3-C]症候／問題の原因評価において用いられる評価法についての知識(適応／合併症／限界)を提示できる

[V-4-B]頻度の高い疾患に対する治療法(薬物療法、非薬物療法の双方を含む)に関する知識を提示できる

[V-7-B]頻度の高い疾病についての予防戦略についての知識を提示できる

[VI-8-C]主要な症候をきたす病態/疾患を列举できる

[VI-13-A]小児の成長／発達の評価を行える

[VI-15-C]臨床実習の学習項目に含まれる異常所見と、その診断的意義を説明できる

[VI-25-B]患者隔離の必要な感染症につき、感染経路や症候、予後、予防・治療を説明できる

[VII-2-C]急性期、慢性期、および長期的ケアを含む医療の向上に向けた、様々な専門分野の協力にもとづくアプローチについて、説明できる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/1	12:50-14:10	遠隔授業 (非同期型)	総論1:小児医療の現状	講義形式(非同期オンデマンド)	鹿島田 彩子, 高木 正稔	【到達目標】1)3) 【学習方法】 WebClass 動画視聴/小テスト全問 正解まで解答
2	4/1	14:20-15:40	遠隔授業 (非同期型)	総論2:小児の診療・予防接種	講義形式(非同期オンデマンド)	磯田 健志, 高澤 啓 神 谷 尚宏	【到達目標】1)3) 【学習方法】 WebClass 動画視聴/小テスト全問 正解まで解答
3	4/2	09:00-10:20	遠隔授業 (非同期型)	遺伝疾患	講義形式(非同期オンデマンド)	鹿島田 健一	【到達目標】1)2) 【学習方法】 WebClass 動画視聴

							聴/小テスト全問 正解まで解答
4	4/2	10:30-11:50	遠隔授業 (非同期 型)	神経 ①	講義形式(非同期オンデマンド)	水野 朋子	【到達目標】1)2) 【学習方法】 WebClass 動画視 聴/小テスト全問 正解まで解答
5	4/2	12:50-14:10	遠隔授業 (非同期 型)	内分泌・代謝 ①	講義形式(非同期オンデマンド)	鹿島田 健一	【到達目標】1)2) 【学習方法】 WebClass 動画視 聴/小テスト全問 正解まで解答
6	4/2	14:20-15:40	遠隔授業 (非同期 型)	新生児 ①	講義形式(非同期オンデマンド)	杉江 学	【到達目標】1)2) 【学習方法】 WebClass 動画視 聴/小テスト全問 正解まで解答
7	4/3	09:00-10:20	遠隔授業 (非同期 型)	血液腫瘍・小児がん・終 末期医療・AYA	講義形式(非同期オンデマンド)	高木 正稔	【到達目標】1)2) 【学習方法】 WebClass 動画視 聴/小テスト全問 正解まで解答
8	4/3	10:30-11:50	遠隔授業 (非同期 型)	感染症・免疫不全症 ①	講義形式(非同期オンデマンド)	金兼 弘和	【到達目標】1)2) 【学習方法】 WebClass 動画視 聴/小テスト全問 正解まで解答
9	4/3	12:50-14:10	遠隔授業 (非同期 型)	循環器 ①	講義形式(非同期オンデマンド)	石井 卓	【到達目標】1)2) 【学習方法】 WebClass 動画視 聴/小テスト全問 正解まで解答
10	4/3	14:20-15:40	遠隔授業 (非同期 型)	膠原病 ①	講義形式(非同期オンデマンド)	清水 正樹	【到達目標】1)2) 【学習方法】 WebClass 動画視 聴/小テスト全問 正解まで解答
11	4/4	12:50-14:10	遠隔授業 (非同期 型)	呼吸器・救急	講義形式(非同期オンデマンド)	山口 洋平	【到達目標】1)2) 【学習方法】 WebClass 動画視 聴/小テスト全問 正解まで解答
12	4/4	14:20-15:40	遠隔授業 (非同期 型)	腎臓①	講義形式(非同期オンデマンド)	伊良部 仁	【到達目標】1)2) 【学習方法】 WebClass 動画視 聴/小テスト全問 正解まで解答
13	4/5	09:00-10:20	遠隔授業 (非同期	移行期医療	講義形式(非同期オンデマンド)	丸 光恵	【到達目標】1)3) 【学習方法】

			型)				WebClass 動画視聴/小テスト全問正解まで解答
14	4/5	10:30-11:50	遠隔授業 (非同期型)	消化器	講義形式(非同期オンデマンド)	高木 正稔 伊藤 一之 清水 正樹	【到達目標】1)2) 【学習方法】 WebClass 動画視聴/小テスト全問正解まで解答
15	4/5	12:50-14:10	遠隔授業 (非同期型)	小児外科	講義形式(非同期オンデマンド)	岡本 健太郎	【到達目標】1)2) 【学習方法】 WebClass 動画視聴/小テスト全問正解まで解答
16	4/5	14:20-15:40	遠隔授業 (非同期型)	アレルギー	講義形式(非同期オンデマンド)	石川 史	【到達目標】1)2) 【学習方法】 WebClass 動画視聴/小テスト全問正解まで解答
17	4/5	15:50-17:10		自習	自習		アクティブラーニング課題のまとめと提出(4/10 実施分締め切り日)
18	4/8	09:00-10:20	アクティブラーニング教室	周産期ハイブリッド(産科)	講義形式	関口 将軌	【到達目標】3) 【学習方法】講義形式
19	4/8	10:30-11:50	アクティブラーニング教室	周産期ハイブリッド(小児科)	アクティブラーニング	杉江 学	【到達目標】1)2) 【学習方法】アクティブラーニング形式
20-21	4/8	12:50-15:40	アクティブラーニング教室	自習	自習		アクティブラーニング課題のまとめと提出(4/11 実施分締め切り日)
22	4/9	09:00-10:20	遠隔授業 (非同期型)	小児精神	講義形式(非同期オンデマンド)	佐々木 祥乃	【到達目標】1)2) 【学習方法】 WebClass 動画視聴/小テスト全問正解まで解答
23	4/9	10:30-11:50	遠隔授業 (非同期型)	在宅医療	講義形式(非同期オンデマンド)	前田 浩利	【到達目標】1)3) 【学習方法】 WebClass 動画視聴/小テスト全問正解まで解答
24	4/9	12:50-14:10	遠隔授業 (非同期型)	虐待	講義形式(非同期オンデマンド)	大森 多恵	【到達目標】1)3) 【学習方法】 WebClass 動画視聴/小テスト全問正解まで解答
25	4/9	14:20-15:40	遠隔授業	小児歯科	講義形式(非同期オンデマンド)	岩本 勉	【到達目標】1)2)

			(非同期型)				【学習方法】 WebClass 動画視聴/小テスト全問正解まで解答
26	4/9	15:50-17:10		自習	自習		アクティブラーニング課題のまとめと提出(4/12 実施分締め切り日)
27	4/10	09:00-10:20	アクティブラーニング教室	神経 ②	アクティブラーニング	水野 朋子	【到達目標】1)2)3) 【学習方法】事前に作成した資料を発表、質疑応答 【事前学習】事前課題を指定日までに提出、 Webclass 動画視聴/小テスト全問回答
28	4/10	10:30-11:50	アクティブラーニング教室	循環器②	アクティブラーニング	石井 卓	【到達目標】1)2)3) 【学習方法】事前に作成した資料を発表、質疑応答 【事前学習】事前課題を指定日までに提出、 Webclass 動画視聴/小テスト全問回答
29	4/10	12:50-14:10	アクティブラーニング教室	新生児 ②	アクティブラーニング	杉江 学	【到達目標】1)2)3) 【学習方法】事前に作成した資料を発表、質疑応答 【事前学習】事前課題を指定日までに提出、 Webclass 動画視聴/小テスト全問回答
30	4/10	14:20-15:40	アクティブラーニング教室	感染症・免疫不全症 ②	アクティブラーニング	金兼 弘和	【到達目標】1)2)3) 【学習方法】事前に作成した資料を発表、質疑応答 【事前学習】事前課題を指定日までに提出、 Webclass 動画視聴/小テスト全問回答
31	4/11	12:50-14:10	医学科講義室 1	内分泌・代謝 ②	アクティブラーニング	鹿島田 健一	【到達目標】1)2)3) 【学習方法】事前

							に作成した資料を 発表、質疑応答 【事前学習】事前 課題を指定日まで に提出、 Webclass 動画視 聴/小テスト全問 回答
32	4/11	14:20-15:40	医学科講 義室 1	血液腫瘍・小児がん・終 末期医療・AYA	アクティブラーニング	高木 正稔	【到達目標】1)2)3) 【学習方法】事前 に作成した資料 を発表、質疑応答 【事前学習】事前 課題を指定日まで に提出、 Webclass 動画視 聴/小テスト全問 回答
33	4/12	10:30-11:50	医学科講 義室 1	膠原病・腎臓 ②	アクティブラーニング	清水 正樹	【到達目標】1)2)3) 【学習方法】事前 に作成した資料 を発表、質疑応答 【事前学習】事前 課題を指定日まで に提出、 Webclass 動画視 聴/小テスト全問 回答
34-35	4/12	12:50-15:40	医学科講 義室 1	TBL	TBL	高木 正稔	【到達目標】1)2) 【学習方法】20 問 の知識問題(個人 解答)、20 問の応 用問題(グループ 解答) 【事前学 習】4/11 までにす べての Webclass 動画視聴/小テス ト全問回答してお く
36	5/7	09:00-10:20	アクティ ブラーニ ング教室	妊娠の生理と検査1	講義形式	関口 将軌	【到達目標】 1)2)4)5) 【学習方 法】講義を受け、 講義後は参考図 書を使用して理解 を深める
37	5/7	10:30-11:50	アクティ ブラーニ ング教室	妊娠の生理と検査2	講義形式	関口 将軌	【到達目標】 1)2)4)5) 【学習方 法】講義を受け、 講義後は参考図 書を使用して理解

							を深める
38	5/7	12:50-14:10	アクティ ブラーニ ング教室	婦人科診断(症候・検査)	講義形式	吉木 尚之	【到達目標】 1)2)4)5) 【学習方法】講義を受け、講義後は参考図書を使用して理解を深める
39	5/7	14:20-15:40	アクティ ブラーニ ング教室	婦人科治療(薬物・手術)	講義形式	吉木 尚之	【到達目標】 1)2)4)5) 【学習方法】講義を受け、講義後は参考図書を使用して理解を深める
40	5/7	15:50-17:10	アクティ ブラーニ ング教室	正常分娩・産褥・新生児1	講義形式	宮坂 尚幸	【到達目標】 1)2)4)5) 【学習方法】講義を受け、講義後は参考図書を使用して理解を深める
41	5/8	09:00-10:20	アクティ ブラーニ ング教室	正常分娩・産褥・新生児2	講義形式	宮坂 尚幸	【到達目標】 1)2)4)5) 【学習方法】講義を受け、講義後は参考図書を使用して理解を深める
42-43	5/8	10:30-14:10	アクティ ブラーニ ング教室	不妊 1, 2	講義形式	櫻井 香織	【到達目標】 1)2)4)5) 【学習方法】講義を受け、講義後は参考図書を使用して理解を深める
44-45	5/8	14:20-17:10	アクティ ブラーニ ング教室	性周期と月経異常 受精と着床	講義形式	齊藤 和毅	【到達目標】 1)2)4)5) 【学習方法】講義を受け、講義後は参考図書を使用して理解を深める
46	5/9	14:20-15:40	アクティ ブラーニ ング教室	妊娠の異常1	講義形式	羅 ことい	【到達目標】 1)2)4)5) 【学習方法】講義を受け、講義後は参考図書を使用して理解を深める
47	5/9	15:50-17:10	アクティ ブラーニ ング教室	妊娠の異常2	講義形式	羅 ことい	【到達目標】 1)2)4)5) 【学習方法】講義を受け、講義後は参考図書を使用して理解を深める

48	5/10	14:20-15:40	アクティ ブラーニ ング教室	分娩の異常1	講義形式	不殿 絢子	【到達目標】 1)2)4)5) 【学習方 法】講義を受け、 講義後は参考図 書を使用して理解 を深める
49	5/10	15:50-17:10	アクティ ブラーニ ング教室	分娩の異常2	講義形式	不殿 絢子	【到達目標】 1)2)4)5) 【学習方 法】講義を受け、 講義後は参考図 書を使用して理解 を深める
50	5/13	09:00-10:20	アクティ ブラーニ ング教室	婦人科悪性腫瘍 1(子 宮頸癌)	講義形式	大島 乃里子	【到達目標】 1)2)4)5) 【学習方 法】講義を受け、 講義後は参考図 書を使用して理解 を深める
51	5/13	10:30-11:50	アクティ ブラーニ ング教室	婦人科悪性腫瘍 3(卵 巣癌)	講義形式	大島 乃里子	【到達目標】 1)2)4)5) 【学習方 法】講義を受け、 講義後は参考図 書を使用して理解 を深める
52	5/13	12:50-14:10	アクティ ブラーニ ング教室	婦人科悪性腫瘍 2(子 宮体癌)	講義形式	若菜 公雄	【到達目標】 1)2)4)5) 【学習方 法】講義を受け、 講義後は参考図 書を使用して理解 を深める
53-54	5/13	14:20-17:10	アクティ ブラーニ ング教室	婦人科悪性腫瘍アクティ ブラーニング	アクティブラーニング	郡 悠介	【到達目標】5) 【学習方法】事前 に作成した資料 を発表、質疑応答
55	5/14	12:50-14:10	アクティ ブラーニ ング教室	生殖補助医療	講義形式	岩原 由樹	【到達目標】 1)2)4)5) 【学習方 法】講義を受け、 講義後は参考図 書を使用して理解 を深める
56-57	5/14	14:20-17:10	アクティ ブラーニ ング教室	産科アクティブラーニン グ	アクティブラーニング	宮坂 尚幸	【到達目標】3) 【学習方法】事前 に作成した資料 を発表、質疑応答
58-59	5/15	09:00-11:50	4 階学生 実習室	病理実習(婦人科 悪性 腫瘍)	アクティブ・ラーニング	桐村 進	【到達目標】1)4)5) 【学習方法】実習
60	5/15	12:50-14:10	アクティ ブラーニ ング教室	婦人科良性腫瘍	講義形式	岩原 由樹	【到達目標】 1)2)4)5) 【学習方 法】講義を受け、

							講義後は参考図書を使用して理解を深める
61	5/15	14:20-15:40	アクティブラーニング教室	婦人科感染症	講義形式	廣瀬 明日香	【到達目標】1)2)4)5) 【学習方法】講義を受け、講義後は参考図書を使用して理解を深める
62	5/15	15:50-17:10	アクティブラーニング教室	女性医学	講義形式	廣瀬 明日香	【到達目標】1)2)4)5) 【学習方法】講義を受け、講義後は参考図書を使用して理解を深める
63	5/16	09:00-10:20	アクティブラーニング教室	生殖機能	講義形式	石川 智則	【到達目標】1)2)4)5) 【学習方法】講義を受け、講義後は参考図書を使用して理解を深める
64-65	5/16	10:30-14:10	アクティブラーニング教室	生殖内分泌アクティブラーニング	アクティブラーニング	光井 潤一郎	【到達目標】1)2) 【学習方法】事前に作成した資料を発表、質疑応答
66-67	5/16	14:20-17:10	アクティブラーニング教室	女性医学アクティブラーニング	アクティブラーニング	寺内 公一	【到達目標】1)2)4)5) 【学習方法】事前に作成した資料を発表、質疑応答
68	5/17	10:30-11:50	医学科講義室 1	試験(小児科)	試験	高木 正稔 磯田 健志	試験 対面
69	5/17	12:50-14:10	医学科講義室 1	産婦人科 試験	試験	宮坂 尚幸	試験 対面

授業方法

産婦人科:対面授業による講義、アクティブラーニング、

【講義】産科、婦人科悪性腫瘍、生殖内分泌、女性ヘルスケアの4領域の対面授業による講義が行われる。

【周産期ハイブリッド】小児科と連携して(4月中旬に)対面授業を行い、理解を深める。

【アクティブラーニング・症例発表などの授業】

授業の前に前もって症例、問題を配布し、学生主導で問題の解答をみつけていく授業。

・授業の流れ

全学年学生を16チームにわけ、各チームにチームリーダーが割り当てられる。

チーム分けとチームリーダーは、4月初旬を目安に情報を伝える。

学生は各チームで協力し課題にとりくむ。3領域で発表するチームが割り当てられる。

各分野で割り当てられなかったチームは授業に参加して質問があれば発表チームに対して質問する。チームリーダーはチームをとりまとめ、期限までに発表スライドを完成させ、担当教官に送付する。

(1)婦人科悪性腫瘍症例(アクティブラーニング)(AからEチームが発表)

婦人科悪性腫瘍症例の詳細を、4月中頃をめどにwebClassに掲載もしくはメールでチームリーダーに送付する。期日までにスライドを完成させ、担当教員メールあてに送付する。

(2)生殖内分泌症例(アクティブラーニング)(F～K チームが発表)

不妊患者症例の詳細を、4 月中頃をめどに webClass に掲載もしくはメールでチームリーダーに送付する。期日までにスライドを完成させ、担当教員メールあてに送付する。

(3)女性医学症例(アクティブラーニング)(L～P チームが発表)

女性医学症例の詳細を、4 月中頃をめどに webClass に掲載もしくはメールでチームリーダーに送付する。期日までにスライドを完成させ、教員メールあてに送付する。

(4)産科症例

産科の症例の詳細を、4 月中頃をめどに webclass に掲載もしくはメールで送付する。

チームリーダーはグループで話し合い、期日までに解答を準備し、必要あればスライドを完成させ、必要あれば期日までに教員メールあてに送付する(スライド作成は必須ではない)。

・アクティブラーニング担当教員連絡先

腫瘍:郡悠介先生 k-yucrm@tmd.ac.jp

生殖内分泌:光井潤一郎先生 jmticrm@tmd.ac.jp

女性医学:寺内公一先生 m.terauchi.gyne@tmd.ac.jp

産科:宮坂尚幸教授 n.miyasaka.gyne@tmd.ac.jp

【質問の受付方法】

質問は対面授業のため、授業終了後に担当教官に直接質問してもらう。

授業後に質問できなかった場合は、授業担当教官にメールで連絡をとり質問する。

小児科

(1)非同期型授業、(2)対面授業によるアクティブラーニング(AL)、(3)対面授業によるチーム基盤型学習(TBL)

(1)非同期型授業

非同期講義の授業を視聴し、講義後小テストを全問正解まで解答することで受講資格とする。

各専門領域は①新生児、②内分泌・代謝、③神経、④感染症・免疫不全症、⑤血液腫瘍・小児がん、⑥循環器、⑦腎・膠原病となる。

①から⑦の各専門領域のアクティブラーニング課題提出日までに視聴を済ませておく。

その他の非同期講義は割り当てられた時間を実施するか、小児科講義終了日(4/12)までに視聴を完了することで受講資格とする。

自習のための動画・資料の閲覧は定期試験のある 5/17 までとする。

(2)アクティブラーニング(AL)(対面)

対面授業は講義室内にて AL 形式で行う。

受講学生を 6-7 人の 16 グループに分ける。

①新生児、②内分泌・代謝、③神経、④感染症・免疫不全症、⑤血液腫瘍・小児がん、⑥循環器、⑦腎・膠原病の AL では提出課題の記載・発表内容を評価し加点する。

各グループで各専門領域①～⑦の課題担当者を決定すること。必ず各自が 1 課題を担当できるよう割り振りをお願いします。

例

A グループ

a さん①新生児

b さん②内分泌・代謝

c さん③神経

d さん④感染症・免疫不全症

e さん⑤血液腫瘍・小児がん

fさん⑥循環器

gさん⑦腎・膠原病

各専門領域の講義では4つの課題を用意する。

PPTスライドに記載を行い、提出をする。

AL内で発表の機会があった場合に各課題担当者がプレゼンテーションできるように準備しておくこと。

ALの事前課題はWebclass内に掲示する。

各専門領域①～⑦事前課題の提出期限と開催日は以下の通りとする。

提出期限 — 開催日

4/5(金) — 4/10(水)

4/8(月) — 4/11(木)

4/9(火) — 4/12(金)

(3)チーム基盤型学習(TBL)

グループセッションは16グループに分ける。

アクティブラーニング教室にて対面で行う。

20問の知識問題(個人解答)

20問の応用問題(グループ解答)

各々20点満点で採点し合計点がTBLの点数となる。

・質問の受付方法

非同期授業で質問が生じた場合には、Webclassの質問掲示板を介して終了後1週間ないしは(4/19)まで受け付ける。

アクティブラーニング、TBLで生じた質問は適宜挙手ないしはチャット(オンラインの場合)で受け付ける。終了後に生じた質問はWebclassの質問掲示板を介して4/19まで受け付ける。

学内講師の担当分野を以下に示す(敬称略)。

鹿島田健一:遺伝疾患、内分泌・代謝

水野朋子:神経

鹿島田彩子:成長・発達・健診

岡本健太郎:小児外科

伊良部仁:腎臓

高木正稔:栄養・学校保健、血液腫瘍、小児がん・終末期医療・AYA

神谷尚宏:診察

高澤啓:検査

磯田健志:予防接種

石井卓:小児の診察・検査、循環器

杉江学:新生児、胎児医療・DOHaD

伊藤一之:消化器疾患

山口洋平:呼吸器・救急

金兼弘和:細菌感染症、ウイルス感染症

金兼弘和:免疫不全症

清水正樹:腎・膠原病、炎症性腸疾患

授業内容

(別表を参照)

成績評価の方法

産婦人科:

アクティブラーニングでの発言と授業態度、ブロック定期試験の総合成績で評価する。

小児科:

非同期授業の受講後に小テストを行う、アクティブラーニング、TBL、ブロック定期試験

アクティブラーニングの提出物・発表内容を評価する。

アクティブラーニング、TBL 授業における積極性と内容を加味する。

筆記試験の成績を総合して評価する。

成績評価の基準

産婦人科:

ブロック定期試験の点数が 60 点以上を履修要項とする。

ブロック定期試験の点数に加えアクティブラーニングでの発言と授業態度が良のものを B 判定とする。

ブロック定期試験の点数に加えアクティブラーニングでの発言と授業態度が非常によいと評価されたものを A 判定とする。

小児科:

非同期授業の受講と小テスト(10%)、アクティブラーニング(20%)、TBL(10%)、ブロック定期試験(60%)の成績で評価する

非同期型授業と小テスト、アクティブラーニングの提出物及び参加、TBL への参加、ブロック定期試験の点数が基準に達していたら B 判定となる。

A 以上の点数は非同期授業、アクティブラーニング、TBL、ブロック定期試験を総合して評価する。

準備学習等についての具体的な指示

講義開始前に、これまで学習した基礎医学の分野で「生殖・発達」と特に関連の深い「生命と遺伝」について復習をしておくこと。また、「解剖学」「生理学」等の各分野についても、「生殖・発達」と関連する部分の復習をしておくことが望ましい。

小児科

小児は「小さい大人」ではない。内科疾患と対比してその相違につき予習しておくこと。また、講義を受けるにあたり、教科書に出てくる疾患名だけでも目を通し、内科学では学習しない小児特有の疾患があることを理解し、当日の講義に臨むこと。

講義では数多くある小児のすべての疾患については触れない。自主学習によって卒業までに習得しておくべきすべての知識を学ぶ必要がある。ブロック定期試験は卒業までに習得しておくべきすべての知識を対象とするので、自習時間を活用し、非同期講義で行われる小テスト、アクティブラーニング用の提出課題の準備、ブロック定期試験のための学習を行うこと。

なおアクティブラーニング課題、および動画・講義資料について、Webclass(遅くとも3月下旬)に提示する。

試験の受験資格

ブロック全体で試験を行い、単位判定を行う。

原則として、ブロック全体で授業時間数の 2/3 以上の履修(本学試験細則による定期試験の受験資格)、および試験での合格評価を履修要件とする。

授業時間数の履修をどのように評価するかは、科目責任者に一任される。

産婦人科は、出席を試験の受験資格の要件としないが、試験はすべての授業項目から出題されるので病気などでやむを得ず欠席した場合は、Webclass 掲載の講義スライドで自習をすること。

小児科は、非同期型授業は講義後の小テストを全問正解となるまで解答することで受講資格とする(成績評価の 10%を占める)。同期型授業は、関連する非同期授業を受講し、事前課題を提出し対面のアクティブラーニング(AL)に出席することで受講資格とする(成績評価の 20%を占める)。チーム基盤型学習(TBL)に参加することで受講資格とする(成績評価の 10%を占める)。80 分の講義は 1 コマとして計算し、本試験は出席数にカウントしない。

上記の機械的計算で出席数が 2/3 に満たない場合、履修とみなすには下記の課題要件を満たすことを求める。

課題要件: 欠席した全ての授業に関して、教官が指定する論述課題の提出を求める。全ての課題を提出し、かつ、課題の内容を採点し、

講義担当分野で構成するブロック成績判定会議でこれらの結果に基づき、課題を提出できたと判定されること。	
教科書 小児科学／加藤元博 編集:文光堂, 2023.4 標準小児科学／原寿郎 監修,高橋孝雄, 細井創, 齋藤昭彦 編集,高橋孝雄 [ほか] 執筆,原, 寿郎, 1953-,高橋, 孝雄, 1957-,細井, 創,齋藤, 昭彦,:医学書院, 2022 ネルソン小児科学／ネルソン [原著],Robert M. Kliegman, Bonita F. Stanton, Joseph W.St. Geme III, Nina F. Schor, Richard E. Behrman 原著 編集,衛藤義勝 監修,五十嵐隆, 井田博幸, 大澤真木子, 清水俊明, 高橋孝雄 編,Nelson, Waldo Emerson, 1898-1997,Kliegman, Robert,Stanton, Bonita,St. Geme, Joseph W. 3,衛藤, 義勝, 1942-:エルゼビア・ジャパン, 2015 Rudolph's pediatrics／editor-in-chief, Mark W. Kline,Kline, Mark W.,:McGraw-Hill Education, 2018 標準産科婦人科学／綾部琢哉, 板倉敦夫編,綾部, 琢哉,板倉, 敦夫,:医学書院, 2021	
参考書 プリンシプル産科婦人科学／武谷雄二, 上妻志郎, 藤井知行, 大須賀穰 監修,武谷, 雄二, 1947-,上妻, 志郎, 1953-,藤井, 知行, 1957-,:メジカルビュー社, 2014 :医学書院 産婦人科の参考書: 「産婦人科研修の必修知識」日本産科婦人科学会 編 「臨床研修イラストレイテッド 3. 基本手技[診察と検査]」奈良信雄 編 羊土社 2011 年 「女性診療科 最新超音波診断」関谷隆夫・石原楷輔 著 永井書店 「婦人科疾患の MRI 診断」富樫かおり 著 医学書院 「産科婦人科用語集・用語解説集」日本産科婦人科学会 編 金原出版 「産婦人科診療ガイドライン 産科編 2020」日本産科婦人科学会 編 「産婦人科診療ガイドライン 婦人科外来編 2020」日本産科婦人科学会 編 「新生児蘇生法テキスト 改訂第 2 版」田村正徳 著 メジカルビュー社 「MFICU マニュアル」メディカ出版 「生殖医療の必須知識」日本生殖医学会 「子宮頸癌治療ガイドライン」日本婦人科腫瘍学会 編 金原出版 「子宮頸癌取り扱い規約」日本産科婦人科学会 編 金原出版 「子宮体癌治療ガイドライン」日本婦人科腫瘍学会 編 金原出版 「子宮体癌取り扱い規約」日本産科婦人科学会 編 金原出版 「卵巣がん・卵管癌・腹膜癌治療ガイドライン」日本婦人科腫瘍学会編 金原出版 「卵巣腫瘍取り扱い規約」日本産科婦人科学会 編 金原出版 「遺伝性乳癌卵巣癌症候群診療ガイドライン」JOHBOC 編 金原出版 “WHO Classification Tumors of the Breast and Female Genital Organs” A. Tavassoli & Peter Devilee “Clinical Gynecologic Oncology” Di Saia “Principles and Practice of Gynecologic Oncology, 5th ed.” Richard R. Baraket, Maurie Markman, Marcus E. Randall 小児科:総論、各論について、下記の参考サイトを参照のこと	
履修上の注意事項 教科書などの成書に書かれていることは自学自習可能である。従って当ブロックでは誕生(出生)からの発達過程の生理的病的過程を成長という視点で捉え、性的成熟過程および妊娠出産という生命の一連の流れのダイナミズムを理解するうえでの見方・考え方を修得するよう心がけ、教科書では把握できないことがらに対して問題意識をもって学習に当たってほしい。	
備考 産婦人科 産婦人科の主要4領域(産科、婦人科腫瘍、生殖内分泌、女性ヘルスケア)を広く学んでもらえるよう工夫しました。 産科、婦人科 3 領域にアクティブラーニングをとりいれ、4 月中頃をめどに教務から詳細連絡(チーム分け、チームリーダーなど)があります。 チームリーダーは必要があればアクティブラーニング担当教官に連絡をしてください。 (詳細は授業方法参考)	

・アクティブラーニング担当教員連絡先

腫瘍: 郡悠介先生 k-yucrm@tmd.ac.jp

生殖内分泌: 光井潤一郎先生 jmticrm@tmd.ac.jp

女性医学: 寺内公一先生 m.terauchi.gyne@tmd.ac.jp

産科: 宮坂尚幸教授 n.miyasaka.gyne@tmd.ac.jp

参照ホームページ

産婦人科診療ガイドライン 産科編 2020 PDF (書籍は 2023 年が最新です。)

https://minds.jcqh.or.jp/docs/gi_pdf/G0001189/4/pregnancy_delivery_and_neonates.pdf

産婦人科診療ガイドライン 婦人科外来編 2020 PDF (書籍は 2023 年が最新です。)

https://minds.jcqh.or.jp/docs/gi_pdf/G0001188/4/gynecologic_disease.pdf

<http://www.jsog.or.jp/activity/guideline.html>

<http://www.jsog.or.jp/>

<http://www.cancer.gov/>

<http://www.nccn.org/index.asp>

<http://www.uptodate.com/home/clinicians/specialties/pediatrics.html>

【小児科参考サイト】

ワクチン: http://www.jpeds.or.jp/modules/activity/index.php?content_id=263 日本小児科学会

<https://www.know-vpd.jp/> know VPD

感染症: <https://www.niid.go.jp/niid/ja/> 国立感染症研究所

<https://www.cdc.gov/> CDC

疾患総論: <https://www.shouman.jp/> 小児慢性特定疾病情報センター

<https://www.uptodate.com/contents/search> UpToDate

OMIM: <https://www.omim.org/> あらゆる遺伝性疾患の検索が可能

救急: <http://kodomo-qq.jp/> 日本小児科学会

https://www.convention-access.com/jsep/special_page/2020_manual.html 日本小児救急医学会

原発性免疫不全症候群: <https://csl-info.com/e-meneki/pid/>

小児血液・腫瘍ガイドライン: <https://www.jspho.org/journal/guideline.html>

National Cancer Institute: <https://www.cancer.gov/publications/pdq/information-summaries/pediatric-treatment>

内分泌: <http://jspe.umin.jp/medical/gui.html> 日本小児内分泌学会

神経: https://www.childneuro.jp/modules/general/index.php?content_id=4 日本小児神経学会

新生児: <https://www.ncpr.jp/e-learning.html> NCPR(新生児蘇生法)

<https://www.ncpr.jp/pdf/elearning-release.pdf> NCPR ログイン PW

<http://jsnhd.or.jp/info/INFORMATION.html> 新生児育成医学会

循環器: https://www.j-circ.or.jp/cms/wp-content/uploads/2020/02/JCS2018_Yasukochi.pdf 日本循環器学会(特に p16-26 の総論部分は、先天性心疾患の病態理解の一助になるといいます)

リウマチ性疾患: <https://www.printo.it/pediatric-rheumatology/JP/info/JP> 小児リウマチ国際研究機関

小児外科: <http://www.jsps.or.jp/disease-to-treat> 日本小児外科学会

時間割番号	011077				
科目名	救急・麻酔		科目ID		
担当教員	内田 篤治郎[UCHIDA TOKUJIRO]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	4	単位数	2
実務経験のある教員による授業	該当する				
主な講義場所					
最終日の試験は対面式でおこなう。					
＜集中治療部＞					
非同期授業は各自実施すること。同期授業と試験は対面で実施する。場所は授業日程を参照。					
授業の目的、概要等					
＜救急科＞					
近年はジェネラルな臨床能力よりも、専門に特化した質の高い診療が求められる傾向にあるが、どの患者に対しても初期対応ができること、全身管理の基礎を理解していることは全ての臨床医において必須の能力といえる。					
このブロック講義では、救急医学、麻酔学、集中治療学の授業を通して、救急診療、全身管理の基礎を習得することを第一の目的としている。実臨床に直結する知識の習得を目指す。					
それぞれが現時点で思い描く目標とする臨床医像とリンクさせながら、積極的に参加する姿勢を期待する。					
＜麻酔領域＞					
麻酔医学を実践するのに必要な基礎知識を習得し、周術期管理や集中治療領域における診療を理解できるようになることが本ブロックの目的である。					
＜集中治療領域＞					
ICU での重症患者の管理には、救急科、麻酔科の講義で取り扱われた内容が関係するだけでなく、人工呼吸管理や、二次性脳障害を予防するための神経集中治療への理解が求められる。また、予後不良患者への終末期医療といった倫理的課題への対処や、ICU 退室患者の社会復帰の妨げとなる集中治療後症候群についても十分に理解しておく必要がある。加えて近年、小児を専門的に扱う Pediatric Intensive Care Unit (PICU)や術後超急性期の患者管理を専門的に行う Post Anesthesia Care Unit (PACU)といった専門性の高いユニットや、病棟患者の重症化の兆候を早期に察知・介入し ICU への入室を防ぐ Risk Assessment System (RAS)/Rapid Response System (RRS)といった取り組みが発展している。					
集中治療領域の講義では、救急科、麻酔科の講義で扱わないが集中治療において重要な事柄を講義テーマとし、最後に反転授業として症例をもとに患者の全身管理の整理の仕方を学習する。この内容は臨床実習に進んだ際に実地で行われている内容が良く理解できるようになることを目的とし、ICU で治療を受けている重症患者のみならず、一般病棟での患者診療にも活かせる内容である。					
授業の到達目標					
＜救急科＞					
到達目標は以下の通りである。					
生命や機能的予後に係わる、緊急を要する病態や疾病、外傷に対して適切な対応を学ぶ。					
・バイタルサインの把握ができる。					
・重症度及び緊急度の把握ができる。					
・初期介入(ABCDE アプローチ)を理解する。					
・心肺蘇生の理論的背景と実践について理解する。					
・ショックの診断と治療を理解する。初期輸液を含む初期対応を学ぶ。					
・中毒・熱傷を含む頻度の高い救急疾患の初期治療を学ぶ。					
・全ての医療者に必要な災害時の救急医療体制を理解する。					
・外傷初期診療について学ぶ。					
＜麻酔領域＞					

- ①麻酔薬の薬理作用、適応、有害事象、投与時の注意事項について理解している
- ②全身麻酔を行うために必要な解剖、薬剤、医療機器について理解している
- ③気管挿管を含む気道確保法を理解している
- ④区域麻酔について適応、禁忌となる合併症について理解している
- ⑤循環を構成する臓器の生理学的特徴を理解し、それを麻酔管理へ応用できる
- ⑥血液製剤および血漿分画製剤の種類と適応について理解し、輸血療法の概要を把握する
- ⑦麻酔を行う上で必要な手術についての理解を深める
- ⑧周術期における全身管理の必要性和実際について学習する

<集中治療領域>

到達目標は以下のとおりである。

- 1) 全身状態を ABCD で説明でき、介入方法がわかる。
- 2) ABCDEF バンドルがわかる。
- 3) 人工呼吸と自然呼吸の違いがわかる。
- 4) 人工呼吸器設定の基本がわかる。
- 5) ARDS の定義と呼吸管理の原則が説明できる。
- 6) 二次性脳障害を予防するための神経集中治療の原則が説明できる。
- 7) 小児集中治療の特殊性及び成人集中治療との共通点がわかる。
- 8) PACU の役割、術後急性期患者の診療上の注意点を説明できる。
- 9) 集中治療症候群の概要を理解し、その予防策をあげることができる。
- 10) 急性期患者に求められる終末期医療がわかる。
- 11) 倫理的事柄を多職種で話し合うための基本知識がわかる。

<救急>

文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(令和4年度改訂版)

https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/116/toushin/mext_01280.html

CM-01-01)01,02

CM-02-02)01

CS-01-01)01,02

CS-01-02)01,02,03,04,05

CS-02-01)01,02

CS-02-02)01,02

CS-02-03)01,02,03,04,05,06,07

CS-02-04)01,02,04,05,06,07,08,09,10,11,12,13,14,15,16,17,18,21,22,23,24,25,26,27,28,29,30,31,32,33,34,35,36,38,39,40,45,46,47,48

CS-03-01)01

CS-03-02)01

CS-03-03)01,02,03,04,05

CS-03-05)02

CS-03-06)01,02

CS-05-04)02

GE-01-01)01,02,03,04,05,06,07

GE-01-04)01,02,03,04,05

GE-01-06)01,02,03,04,05

GE-02-03)02

GE-02-04)01,02

GE-03-05)05,07

GE-03-06)01,03,04,05

IP-01-03)01

IT-01-02)01

PS-01-03)06,12,14,33

PS-02-02)02,04
PS-02-03)02,05
PS-02-04)01
PS-02-05)02,05
PS-02-06)01,02,05
PS-02-07)02,05
PS-02-08)02,04,05
PS-02-09)01,05
PS-02-10)02
PS-02-11)02
PS-02-15)02
PS-02-16)05
PS-03-02)02,03
PS-03-03)01,02,03,04,05,06,07,09,10,11,16,17,18
PS-03-05)02,03,04,05,06,07,08,09,10,11,12,13,15
SO-01-04)04
SO-02-02)05

医学科コンピテンシーよりこの科目で身につけるレベル

[I-2-B]世界的に注目されている医学／歯学／健康に関する主たるトピックについて、議論できる

[I-3-B]科学/医学/歯学専門用語/表現の理解/表記/発音ができる

[II-1-A]医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる

[II-3-B]臨床的あるいは科学的問題提起ができる

[III-1-A]他者の貢献、時間、価値感、人格を尊重し、常に敬意を払って接することができる

[III-9-A]個人の生活における責務と医学科での学習及び社会的な責務について、適切にバランスを取ることができる

[III-12-A]メンタルストレスに直面した際、それを認識し、適切な解消処置をとれる

[III-14-A]時間厳守、信頼性、適切な準備、率先性、遂行能力を示すことができる

[III-15-A]文書課題を、正確で判読しうる質にて作成し、規定期限内に提出できる

[III-16-A]本学を含めた当該機関内規、法律、専門職社会内規範を遵守できる

[III-18-A]他者への良識を逸する振舞い(無礼、短気など)を認識し、助言を求め、今後起こさぬよう振舞いを修正することができる

[III-23-A]記述、プレゼンテーション、論文、および研究情報などの利用において、著作権を尊重し、それに沿って行動できる

[III-26-A]自身の知識・能力・振舞いを批判的に省察し、長所と課題点を同定し、改善の為の学習目標を設定し、それを達成するのに適した学習活動に取り組むことができる

[III-27-A]自身に対するフィードバックにもとづき省察し自己改善を実現できる

[III-28-A]他人に建設的なフィードバックを適切な形で提示できる

[III-29-A]ポートフォリオを活用して、課題設定を行い、自己学習・自己研鑽できる

[IV-1-B]書面にて、患者に関する臨床情報を統合し要約することができる

[V-1-A]基礎医学の知識を疾患の病因・病態・臨床徴候などの理解に応用できる

[V-2-B]頻度の高い疾患について、疫学/病因/病理/病態/症候/予後を説明できる

[V-3-C]症候／問題の原因評価において用いられる評価法についての知識(適応／合併症／限界)を提示できる

[V-4-B]頻度の高い疾患に対する治療法(薬物療法、非薬物療法の双方を含む)に関する知識を提示できる

[V-7-B]頻度の高い疾病についての予防戦略についての知識を提示できる

[VI-8-C]主要な症候をきたす病態/疾患を列挙できる

[VI-15-C]臨床実習の学習項目に含まれる異常所見と、その診断的意義を説明できる

[VI-25-B]患者隔離の必要な感染症につき、感染経路や症候、予後、予防・治療を説明できる

[VI-26-C]針刺し事故、針刺し切創等による感染症感染につき、感染経路や症候、予後、予防・治療を説明できる

[VII-2-C]急性期、慢性期、および長期的ケアを含む医療の向上に向けた、様々な専門分野の協力にもとづくアプローチについて、説明できる

<麻酔・集中治療領域>

PS-01-03)32,33

PS-01-04)07,13,14

PS-02-09)01,02,03,04,05

PS-02-11)01,02,04,05

PS-02-12)03

PS-02-14)02,05

PS-03-05)02,03,04,05,12

IT-01-02)01

CS-01-02)03

CS-02-03)01,02,03,04,05,06,07

CS-02-04)04,05,06,07,08,09,12,21,22,23,24,25,26,27,28,29,30,31,32,33,36,38,40

CS-03-03)01

CS-05-04)02

医学科コンピテンシーよりこの科目で身につけるレベル

[I-2-B]世界的に注目されている医学／歯学／健康に関する主たるトピックについて、議論できる

[I-3-B]科学／医学／歯学専門用語／表現の理解／表記／発音ができる

[II-1-A]医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる

[II-3-B]臨床的あるいは科学的問題提起ができる

[III-1-A]他者の貢献、時間、価値感、人格を尊重し、常に敬意を払って接することができる

[III-9-A]個人の生活における責務と医学科での学習及び社会的な責務について、適切にバランスを取ることができる

[III-12-A]メンタルストレスに直面した際、それを認識し、適切な解消処置をとれる

[III-14-A]時間厳守、信頼性、適切な準備、率先性、遂行能力を示すことができる

[III-15-A]文書課題を、正確で判読しうる質にて作成し、規定期限内に提出できる

[III-16-A]本学を含めた当該機関内規、法律、専門職社会内規範を遵守できる

[III-18-A]他者への良識を逸する振舞い(無礼、短気など)を認識し、助言を求め、今後起こさぬよう振舞いを修正することができる

[III-23-A]記述、プレゼンテーション、論文、および研究情報などの利用において、著作権を尊重し、それに沿って行動できる

[III-26-A]自身の知識・能力・振舞いを批判的に省察し、長所と課題点を同定し、改善の為の学習目標を設定し、それを達成するのに適した学習活動に取り組むことができる

[III-27-A]自身に対するフィードバックにもとづき省察し自己改善を実現できる

[III-28-A]他人に建設的なフィードバックを適切な形で提示できる

[III-29-A]ポートフォリオを活用して、課題設定を行い、自己学習・自己研鑽できる

[IV-1-B]書面にて、患者に関する臨床情報を統合し要約することができる

[V-1-A]基礎医学の知識を疾患の病因・病態・臨床徴候などの理解に応用できる

[V-2-B]頻度の高い疾患について、疫学／病因／病理／病態／症候／予後を説明できる

[V-3-C]症候／問題の原因評価において用いられる評価法についての知識(適応／合併症／限界)を提示できる

[V-4-B]頻度の高い疾患に対する治療法(薬物療法、非薬物療法の双方を含む)に関する知識を提示できる

[V-7-B]頻度の高い疾病についての予防戦略についての知識を提示できる

[VI-8-C]主要な症候をきたす病態／疾患を列挙できる

[VI-15-C]臨床実習の学習項目に含まれる異常所見と、その診断的意義を説明できる

[VI-25-B]患者隔離の必要な感染症につき、感染経路や症候、予後、予防・治療を説明できる

[VI-26-C]針刺し事故、針刺し創等による感染症感染につき、感染経路や症候、予後、予防・治療を説明できる

[VII-2-C]急性期、慢性期、および長期的ケアを含む医療の向上に向けた、様々な専門分野の協力にもとづくアプローチについて、説明できる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方

							法・その他
1	4/15	09:00-10:20	医学科講義室 1	導入と救急初期診療 1	救急医学を概説する。救急初期診療の講義とその周辺知識を、講師と学生の双方向性のやりとりの中で確認する。また実際の現場での知識の応用についても学習する。	森下 幸治、 藤江 聡、白 石 淳、朝田 慎平	
2	4/15	10:30-11:50	医学科講義室 1	救急初期診療 2	救急初期診療における、バイタルサインの把握、初期介入(ABCDEアプローチ)と臨床推論について学習する。	藤江 聡、白 石 淳、朝田 慎平	
3	4/15	12:50-14:10	医学科講義室 1	ACP	救急医療現場では、限られた情報や時間のなかで、重大な意思決定を迫られる場面に遭遇する。緊急ACPの紹介やスキルの実践を行う。	関谷 宏祐	
4	4/15	14:20-15:40	医学科講義室 1	TBL(初期診療)	講義で学んだ内容についてTBL形式による試験を行い、知識の定着を図る。	藤江 聡、白 石 淳、朝田 慎平	
5	4/15	15:50-17:10	遠隔授業 (非同期型)	熱傷	緊急を要する感染症と体温異常を学習する。	森 周介	
6	4/16	09:00-10:20	アクティブラーニング教室	外傷総論	外傷初期診療について、特にprimary surveyである生理学的外傷重症度の把握と初期介入について学習する。	森下 幸治	
7	4/16	10:30-11:50	アクティブラーニング教室	外傷各論・Acute Care Surgery	外傷初期診療について、特にsecondary surveyである解剖学的外傷重症度の把握と治療について学習する。	小島 光暁	
8	4/16	12:50-14:10	アクティブラーニング教室	心肺蘇生	心肺蘇生の解剖生理学的な理論的背景と、実践について学習する。	藤江 聡	
9	4/16	14:20-15:40	アクティブラーニング教室	敗血症	敗血症診療の歴史、及び最新のガイドラインに基づいた敗血症の診断・治療の考え方とその実践について学習する。	松井 宏樹	
10	4/16	15:50-17:10	アクティブラーニング教室	環境障害・溺水	環境が影響する救急疾患である熱中症、低体温症、減圧症、凍傷、溺水などにつき病態生理、診断、治療について学習する。	谷澤 秀	
11	4/17	09:00-10:20	医学科講義室 2	災害医療	全ての医療者に必要な災害医療の基本的知識を学ぶ。	赤星 昂己	
12	4/17	10:30-11:50	医学科講義室 2	TBL(心肺蘇生・外傷)	講義で学んだ内容についてTBL形式による試験を行い、知識の定着を図る。活発な議論を期待している。	谷澤 秀、森 下 幸治、高 山 渉、藤江 聡	
13	4/17	12:50-14:10		予備枠	※講義が入る可能性があるため、他の予定を入れないこと。		

14	4/17	14:20-15:40	アクティブラーニング教室	多臓器不全	重症傷病における多臓器不全の概念について理解する。個別臓器における臓器不全の評価方法および治療法について理解する。	安達 朋宏	
15	4/17	15:50-17:10	情報検索室1	災害トリアージ	災害時におけるトリアージについて、実技形式の課題を行う。	大友 康裕 植木 穰 藤江 聡 沼沢 益行	
16	4/18	12:50-14:10	アクティブラーニング教室	ショック	生理学的な緊急事態であるショックの原因と分類と、輸液療法を含む初期対応を学習する。	高山 渉	
17	4/18	14:20-15:40	アクティブラーニング教室	中毒	中毒について、安全に配慮した初期対応と、トキシドロームから特異的治療に至るまでの診療の流れを学習する。	富田 夏子	
18	4/18	15:50-17:10	アクティブラーニング教室	輸液	輸液製剤や、救急外来での基本的な使用方法について学習する。	河原 直毅	
19-23	4/19	09:00-17:10	遠隔授業(同期型)	自習	自習		
24	4/22	09:00-09:50	アクティブラーニング教室	麻酔総論	1.麻酔学の概要 2.周術期管理の概要 3. コースにおける到達目標の概説	内田 篤治郎	
25	4/22	10:00-10:50	遠隔授業(非同期型)	全身麻酔に用いる薬	1.吸入麻酔薬 2.静脈麻酔薬 3. 筋弛緩薬と拮抗薬	阿久根 翼	【到達目標】① 麻酔薬の薬理作用、適応、有害事象、投与時の注意事項について理解している 【学習方法】非同期ビデオ
26	4/22	11:00-11:50	遠隔授業(非同期型)	区域麻酔	1. 脊柱管ブロックに関連する解剖 2. 脊髄くも膜下麻酔および硬膜外麻酔の原理、適応、生理学的変化、副作用 3. 末梢神経ブロック	北條 亜樹子	【到達目標】① 麻酔薬の薬理作用、適応、有害事象、投与時の注意事項について理解している④ 区域麻酔について適応、禁忌となる合併症について理解している 【学習方法】非同期ビデオ
27	4/22	12:50-13:40	遠隔授業(非同期型)	気道確保と呼吸管理	1. 気道確保のリスク評価 2. 手動的気道確保とマスク換気 3. 気管挿管 4. 気道確保困難とその対応 5. 気道確保の合併症 6. 人工呼吸の基礎	竹本 彩	【到達目標】③ 気管挿管を含む気道確保法を理解している⑤ 循環を構成する臓器の生理学的特徴を

							理解し、それを麻酔管理へ応用できる【学習方法】非同期ビデオ
28	4/22	13:50-14:40	遠隔授業 (非同期型)	循環生理・輸血・血液凝固	循環を構成する心臓・血液・血管などの周術期における生理学的特徴や術中管理における考え方について学習する。	内田 篤治郎	【到達目標】⑤循環を構成する臓器の生理学的特徴を理解し、それを麻酔管理へ応用できる⑥血液製剤および血漿分画製剤の種類と適応について理解し、輸血療法の概要を把握する【学習方法】非同期ビデオ
29	4/22	14:50-15:40	遠隔授業 (非同期型)	課題作成時間	4/22の1-5限の内容を踏まえて課題を作成する時間。作成した課題は4/23の1-2限で発表してもらいます。	仙頭 佳起	
30	4/23	09:00-09:50	アクティブラーニング教室	課題発表	4/22の6限で作成した課題を発表するための時間です。	仙頭 佳起	
31	4/23	10:00-10:50	アクティブラーニング教室	課題発表	4/22の6限で作成した課題を発表するための時間です。	仙頭 佳起	
32	4/23	11:00-11:50	遠隔授業 (非同期型)	成人における麻酔各論	心臓手術、呼吸器外科手術、脳外科手術の麻酔管理において考慮すべき重要なポイントを解説する。	山本 雄大	【到達目標】②全身麻酔を行うために必要な解剖、薬剤、医療機器について理解している⑤循環を構成する臓器の生理学的特徴を理解し、それを麻酔管理へ応用できる【学習方法】非同期ビデオ
33	4/23	12:50-13:40	遠隔授業 (非同期型)	術中緊急事態への対応	術中の緊急事態についての考え方をまとめ、対処の基本を学習する。	内田 篤治郎	【到達目標】⑤循環を構成する臓器の生理学的特徴を理解し、それを麻酔管理へ応用できる⑥血液製剤および血漿分画製剤の種類と適応について理解し、輸血療法の概要を把握する

							る【学習方法】 非同期ビデオ
34	4/23	13:50-14:40	遠隔授業 (非同期 型)	周術期管理 /Postanesthesia Care Unit	術前・術中・術後・社会復帰を包括 する周術期の管理と Postanesthesia Care Unit の役割に ついて学習する。	仙頭 佳起	【到達目標】⑧周 術期における全 身管理の必要性 と実際について 学習する【学習 方法】非同期ビデ オ
35	4/23	14:50-15:40	遠隔授業 (非同期 型)	課題作成時間	4/23 の 3-5 限の内容を踏まえて 課題を作成する時間。作成した課 題は 4/24 の 5-6 限で発表してもら います。	内田 篤治郎	
36	4/24	09:00-09:50	遠隔授業 (非同期 型)	小児麻酔	小児を対象とした麻酔管理におい て考慮すべき重要なポイントを解 説する。	遠山 悟史	【到達目標】②全 身麻酔を行うた めに必要な解剖、薬 剤、医療機器に ついて理解して いる⑦麻酔を行 う上で必要な手 術についての理 解を深める【学 習方法】非同期 ビデオ
37	4/24	10:00-10:50	遠隔授業 (非同期 型)	産科麻酔	妊婦を対象とした麻酔管理におい て考慮すべき重要なポイントを解 説する。	遠山 悟史	【到達目標】④区 域麻酔について 適応、禁忌とな る合併症につい て理解している⑦ 麻酔を行う上で 必要な手術につ いての理解を深 める【学習方法 】非同期ビデオ
38	4/24	11:00-11:50	遠隔授業 (非同期 型)	予備枠	※講義が入る可能性あり	内田 篤治郎	
39	4/24	12:50-13:40	遠隔授業 (非同期 型)	課題作成時間	4/23 の 3-5 限の内容を踏まえて 課題を作成する時間。作成した課 題は 4/24 の 5-6 限で発表してもら います。	内田 篤治郎	
40	4/24	13:50-14:40	アクティ ブラーニ ング教室	課題発表	4/23 の 6 限および 4/24 の 4 限で 作成した課題を発表するための時 間です。	内田 篤治郎	
41	4/24	14:50-15:40	アクティ ブラーニ ング教室	課題発表	4/23 の 6 限および 4/24 の 4 限で 作成した課題を発表するための時 間です。	内田 篤治郎	
42-44	4/25	12:50-15:40	その他 (医学科)	予備枠		内田 篤治郎	

45	4/26	09:00-09:50	遠隔授業 (非同期型)	人工呼吸器・ARDS	ARDS・急性呼吸不全に対する人工呼吸器管理と適応について学習する。	増田 孝広	【到達目標】1)人工呼吸と自然呼吸の違いがわかる。2)人工呼吸器設定の基本がわかる。3)ARDSの定義と呼吸管理の原則が説明できる。【学習方法】非同期ビデオ【備考】動画視聴/小テスト回答
46	4/26	10:00-10:50	遠隔授業 (非同期型)	神経集中治療	ICUにおける神経集中治療について学習する。	野田 浩太郎	【到達目標】1)二次性脳障害を予防するための神経集中治療の原則が説明できる。【学習方法】非同期ビデオ【備考】動画視聴/小テスト回答
47	4/26	11:00-11:50	遠隔授業 (非同期型)	小児集中治療	小児患者を対象とした集中治療について学習する。	壹岐 陽一	【到達目標】1)小児集中治療の特殊性及び成人集中治療との共通点がわかる。【学習方法】非同期ビデオ【備考】動画視聴/小テスト回答
48	4/26	12:50-13:40	遠隔授業 (非同期型)	Rapid Response System/Rapid Assessment System	Rapid Response System/Rapid Assessment System による、院内急変防止への取り組みを学ぶ。	三島 有華	【到達目標】RRS/RASの概要を理解し、その活用方法を説明できる。【学習方法】非同期ビデオ【備考】動画視聴/小テスト回答
49	4/26	13:50-14:40	アクティブラーニング教室	集中治療対面講義	冒頭に講義及び症例に基づいた課題提示を行う。授業の後半に課題の発表を行う。	野坂 宜之	【到達目標】1)全身状態を ABCD で説明でき、介入方法がわかる。2)ABCDEF バンドルがわかる。【学習方法】グループワーク【事前学習】4/26 1-4 限のビデオ
50	4/26	14:50-15:40	アクティブラーニング教室	集中治療対面講義	冒頭に講義及び症例に基づいた課題提示を行う。授業の後半に課題の発表を行う。	野坂 宜之	【到達目標】1)全身状態を ABCD で説明でき、介入方

							法がわかる。 2)ABCDEF バンドルがわかる。【学習方法】グループワーク【事前学習】4/26 1-4 限のビデオ
51	4/30	09:00-09:50	遠隔授業 (非同期型)	術後 ICU 管理	術後患者特有の集中治療管理上の注意点について学習する。	仙頭 佳起	【到達目標】 1)PACU の役割、術後急性期患者の診療上の注意点を説明できる。 【学習方法】非同期ビデオ【備考】動画視聴/小テスト回答
52	4/30	10:00-10:50	遠隔授業 (非同期型)	ICU における合併症予防・PICS-F	ICU で生じる合併症を解説するとともに、PICS-F を含む予防法について学習する。	野坂 宜之	【到達目標】集中治療後症候群の概要を理解し、その予防策をあげることができる。 【学習方法】非同期ビデオ【備考】動画視聴/小テスト回答
53	4/30	11:00-11:50	遠隔授業 (非同期型)	ICU における終末期医療・緩和ケア	ICU で終末期に至った患者に対する考え方と緩和ケアについて学習する。	塩田 修玄	【到達目標】1)急性期患者に求められる終末期医療がわかる。2)倫理的な事柄を多職種で話し合う基本知識がわかる。【学習方法】非同期ビデオ【備考】動画視聴/小テスト回答
54	4/30	12:50-13:40	アクティブラーニング教室	集中治療医学総論	集中治療医学の概要を学習する。	若林 健二	【到達目標】医学・医療において集中治療医学が果たす役割が理解できる。【学習方法】対面授業
55	4/30	13:50-14:40	アクティブラーニング教室	集中治療対面講義	冒頭に講義及び症例に基づいた課題提示を行う。授業の後半に課題の発表を行う。	若林 健二	【到達目標】1)全身状態を ABCD で説明でき、介入方法がわかる。 2)ABCDEF バンドルがわかる。【学習方法】グループワーク【事前学

							習]4/26 及び 4/28 1-4 限のビ デオ
56	4/30	14:50-15:40	アクティ ブラーニ ング教室	集中治療対面講義	冒頭に講義及び症例に基づいた 課題提示を行う。授業の後半に課 題の発表を行う。	若林 健二	【到達目標】1)全身 状態を ABCD で 説明でき、介入方 法がわかる。 2)ABCDEF バンド ルがわかる。【学 習方法】グループ ワーク【事前学 習】4/26 及び 4/28 1-4 限のビ デオ
57	5/2	12:50-14:10	医学科講 義室 1	試験(救急)	対面式で、各講義の内容に沿った 択一式の試験を行う。	森下 幸治	
58	5/2	14:20-15:40	医学科講 義室 1	試験(麻酔、集中治療)	対面式で、各講義の内容に沿った 記述式の試験を行う。	内田 篤治郎 若林 健二	

授業方法

同期型講義(遠隔もしくは対面)、もしくは非同期型遠隔講義を行う。

<救急>

基本的にはすべての講義を対面授業とする。

一部の講義を除き、同期型の講義を予定している。一般的な講義形式で行うものや、双方向型のもの、TBL などが含まれる。積極的な発言や質問、グループ内での活発な議論など、諸君らの能動的な参加を期待している。具体的な課題内容や評価方法などについては、それぞれの授業説明などを参照のこと。

なお、非同期型で行うものに関しては、指定された動画や講義資料、参考資料などを閲覧し、指定された課題に答えること。具体的な課題内容や提出方法等に関しては別途記載するのでそちらを参照されたい。質問等に関しては、Webclass 上の質問掲示板などでも受け付けるが、回答が少し遅くなる可能性に関しては了承頂きたい。

<麻酔科領域>

講義:各テーマごとに重要なことを中心に構成されている。特に重要な項目については、理解のきっかけとなる事例などの内容を提示するので、自分たちで学習を深めるべく議論を行い、整理をすることが求められる。

非同期講義:知っておくべき知識について、解説し、それぞれについて理解を深める

同期講義:知識に関する解説も行うが、フリーディスカッションの時間を設け、そこまで履修した授業内容に関するディスカッションを行う。重要な項目について、学生側からの解説を求め、教員がコメントを追加しながら理解を深める。

アクティブラーニング:上記フリーディスカッションで、反転授業の要素を取り入れる。

<集中治療領域>

・非同期型講義:前半 4 コマは指定された動画を閲覧し、小テストに回答する。後半 2 コマの同期型講義は、非同期型講義の内容を理解しているものとして行うため、事前に動画閲覧、小テストを実施しておくこと。小テストは理解のため繰り返し行い満点をとっておくことが望ましいが、成績には含まないため必須ではない。

・同期型講義:後半 2 コマを用いてアクティブ・ラーニングを行い、集中治療領域を通じた反転授業を実施する。1 コマにつき 1 症例を題材とし、履修した授業内容の重要な項目についてグループディスカッション及び発表を行う。ディスカッションの内容はスライド形式にまとめ、全グループから提出する。提出方法は授業時に説明する。

・質問方法:講義内容に質問がある場合は、質問担当教員の三島有華(ykmishima.icu@tmd.ac.jp)と、壱岐陽一(yikiccm@tmd.ac.jp)へ連絡する。回答は webclass 上、もしくは個別メールで回答する。

授業内容

授業明細を参照

成績評価の方法

<救急> 筆記試験と一部の TBL、トリアージの成績で評価する。 筆記試験(本試験)は多肢選択式で行う。
<麻酔・集中治療領域> 記述式試験:80～100 問程度の記述式試験を行う。
成績評価の基準 <救急> 試験と TBL、トリアージでの合格評価 60 点以上を履修要件とする。 <麻酔・集中治療領域> 試験成績により評価する。試験問題は授業の到達目標に達しているかを評価するもので、臨床実習を行う準備として、十分なレベルに到達していることが確認できたことをもって、合格とする。上記記述式試験にて 6 割以上の正解率を基準とする。それを上回る場合には加点が行われる。B の基準は 7 割、B より上の評価は 8 割とする。 設問に対する回答は正確なものでないと減点の対象とする。
準備学習等についての具体的な指示 <救急> 指定した教科書の基本的な内容について理解しておくこと <麻酔> 学習に関連した生理学・薬理学に関する内容など、すでに授業が行われているものについては、学習済みのものとして扱う。 麻酔学の臨床においては、実践入門書的な書籍も多数出ているので、教科書・参考書リストを参考にするとともに、準備学習をしておくことが望ましい。 <集中治療領域> 指定した教科書の他、以下のウェブページを参考に準備学習をすすめていただきたい。 ・当科が作成した非集中治療医向けの重症管理マニュアル: https://www.tmd-u-icu.jp/covid19tmdicu 新型コロナウイルス感染症を題材にしているが、集中治療管理の基本をまとめている。 ・重症患者管理教育ツール(集中治療を専門としない医療者用)(集中治療医療安全協議会作成): https://ccpat.net/9845-2/ 米国集中治療医学会が作成したツールの日本語版。動画やセルフチェック問題が掲載されており、さらに理解を深めたい場合に閲覧すると良い。
試験の受験資格 出席は特に試験の受験資格の要件としないが、試験はすべての授業項目から出るので、病気等でやむを得ず欠席した場合は、WebClass に掲載の講義スライドで自習すること。
教科書 標準救急医学 第 5 版／有賀徹 [ほか] 編有賀 徹坂本 哲也嶋津 岳士山口 芳裕横田 裕行,日本救急医学会,:医学書院, 2014 ミラー麻酔科学／ロナルド・D.ミラー 編武田純三 監修,:メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2007 Miller's anesthesia／edited by Ronald D. Miller,associate editors, Neal H. Cohen, Lars I. Eriksson, Lee A. Fleisher, Jeanine P. Wiener-Kronish, William L. Young,:Elsevier/Saunders, 2015 集中治療医学／一般社団法人日本集中治療医学会 編集,一般社団法人日本集中治療医学会,:Gakken, 2023-04-03 ICU ブック／ポール L.マリノ 著,稲田英一 監訳Marino, Paul L.稲田 英一, 1954-,,:メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2015
参考書 外傷初期診療ガイドライン JATEC 改訂第 6 版／日本外傷学会, 日本救急医学会 監修,日本外傷学会外傷初期診療ガイドライン改訂第 5 版編集委員会 編集,:へるす出版, 2021 救急診療指針 改訂第 5 版／日本救急医学会 監,日本救急医学会指導医・専門医制度委員会,日本救急医学会専門医認定委員会 編ニホンキョウキウイガクカイ,ニホンキョウキウイガクカイドワイセンモンイセドイイカイ,ニホンキョウキウイガクカイセンモンインテイイイカイ,:へるす出版, 2018 JRC 蘇生ガイドライン／日本蘇生協議会 監修,日本蘇生協議会,:医学書院, 2020 ICU 実践ハンドブック : 病態ごとの治療・管理の進め方／清水敬樹 編,清水 敬樹,:羊土社, 2019

PFCSS プロバイダーマニュアル／米国集中治療医学会 編,FCCS 運営委員会, JSEPTIC 監修,米国集中治療医学会,日本集中治療教育研究会,:FCCS 運営委員会, 2015

MGH 麻酔の手引／ピーターF.ダン ほかに編稲田英一 監訳:メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2010

ビジュアル麻酔の手引／アーサー アチャバヒアン, ルチル グプタ 編,大畑めぐみ, 本田完 監訳:メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2015

小児の麻酔／ロバート・ホルツマン, トーマス・マンキュソ, デビッド・ボラナー 編,蔵谷紀文 監訳,蔵谷紀文 [[ほか]訳:メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2011

麻酔科医として必ず知っておきたい周術期の循環管理：循環モニタリングの原理、各種測定法から手術別循環管理の実際とトラブルシューティングまで／国沢卓之 編:羊土社, 2016

麻酔科医として必ず知っておきたい周術期の呼吸管理：解剖生理から気道評価・管理、抜管トラブル、呼吸器系合併症の対策まで／磯野史朗 編:羊土社, 2017

ISBN 978-4880039077

書名 ペインクリニック治療指針 改訂第5版

著者 日本ペインクリニック学会治療指針検討委員会（編集）

出版社 真興交易医書出版部

出版年 2016

ISBN 1975174216

書名 Rogers' Textbook of Pediatric Intensive Care

著者 Donald H. Shaffner MD

出版社 LWW

出版年 2023 年

ISBN 9784815701277

書名 FCCS プロバイダーマニュアル

著者名 米国集中治療医学会 編集,集中治療医療安全協議会 監修,米国集中治療医学会,集中治療医療安全協議会,

出版社 集中治療医療安全協議会

出版年 2018

備考

コース評価アンケートに基づく改善計画ならびに変更項目

ガイドラインとの齟齬が一部にみられた為、講義内容を再考し編集した。

シラバスを救急・麻酔ロックで統合し、1科目のシラバスとした。

集中治療領域では、非同期型講義の内容、同期型講義の内容を昨年度より更新した。

時間割番号	011083		
科目名	公衆衛生学(M4)	科目ID	
担当教員			
開講時期	2024 年度前期	対象年次	4
実務経験のある教員による授業	該当する		
英文名:Public Health in Practice			
授業の目的、概要等			
公衆衛生の実践にかかわる情報に接し、公衆衛生の実践に必要な知識と技術を深める。 公衆衛生の研究の実践に役立つスキルを学ぶ。			
授業の到達目標			
1) 社会の問題を把握し、問題解決方法を考える力を獲得する。 2) 疫学の研究方法について学び、実践する。			
文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(令和4年度改訂版) https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/116/toushin/mext_01280.html CS-05-03)01 GE-01-04)01,02,03,04,05 GE-01-05)01 GE-02 GE-02-01)01,02 GE-02-02)01,04,05 GE-02-03)02 GE-02-04)01,02 GE-03-01)02 GE-03-05)01,02,03,04,05,06,07 GE-04-01)01,03,04,05,06,07 GE-04-02)01,02,03 IP-02-03)02 IP-02-04)01 PR-01-02)01 PS-03-03)18 RE-03-02)01 RE-04-01)03 SO-01-01)03 SO-01-02)02,03 SO-01-03)01,02,03,04,05,06 SO-01-04)01,02,03 SO-01-05)02,03 SO-02-01)01,02 SO-02-02)02,03,04,05 SO-02-03)02,03,04,05 SO-03-01)05 SO-04-01)01,02 SO-04-02)01 SO-04-06)01 SO-05-01)01,02,03,04,06			

SO-05-02)01,02,03

SO-06-01)01,02

医学科コンピテンシーよりこの科目で身につけるレベル

[I-2-B]世界的に注目されている医学／歯学／健康に関する主たるトピックについて、議論できる

[I-3-B]科学/医学/歯学専門用語/表現の理解/表記/発音ができる

[II-1-A]医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる

[II-3-B]臨床的あるいは科学的問題提起ができる

[II-4-B]実習実験を実施して結果を得ることができる

[II-5-B]実習実験により得られた結果の意義を、口頭あるいは書面で明確に説明できる

[III-1-A]他者の貢献、時間、価値感、人格を尊重し、常に敬意を払って接することができる

[III-8-C]患者との関係(情報漏洩、親密性、金品授受など)において適切な距離を維持する必要性を説明できる

[III-9-A]個人の生活における責務と医学科での学習及び社会的な責務について、適切にバランスを取ることができる

[III-10-A]自立と監督・指導の必要性との適切なバランスを常に保つことができる

[III-12-A]メンタルストレスに直面した際、それを認識し、適切な解消処置をとれる

[III-13-B]医学生としての健康管理(予防接種を含む)の重要性を説明できる

[III-14-A]時間厳守、信頼性、適切な準備、率先性、遂行能力を示すことができる

[III-15-A]文書課題を、正確で判読しうる質にて作成し、規定期限内に提出できる

[III-16-A]本学を含めた当該機関内規、法律、専門職社会内規範を遵守できる

[III-17-A]常に、誠実さ、正直さ、確実さをもって行動できる

[III-18-A]他者への良識を逸する振舞い(無礼、短気など)を認識し、助言を求め、今後起こさぬよう振舞いを修正することができる

[III-19-B]情報やデータ収集におけるエラーを認識し、学習グループのメンバーや指導・監督者に報告できる

[III-21-A]患者情報の守秘義務を守り、患者のプライバシーを尊重できる

[III-23-A]記述、プレゼンテーション、論文、および研究情報などの利用において、著作権を尊重し、それに沿って行動できる

[III-26-A]自身の知識・能力・振舞いを批判的に省察し、長所と課題点を同定し、改善の為に学習目標を設定し、それを達成するのに適した学習活動に取り組むことができる

[III-27-A]自身に対するフィードバックにもとづき省察し自己改善を実現できる

[III-28-A]他人に建設的なフィードバックを適切な形で提示できる

[III-29-A]ポートフォリオを活用して、課題設定を行い、自己学習・自己研鑽できる

[IV-9-C]患者中心の医療について説明できる

[V-5-B]社会医学の知識を提示できる

[V-6-B]世界の保健・医療関連事象の推移と地域分布を説明できる

[V-7-B]頻度の高い疾病についての予防戦略についての知識を提示できる

[V-8-B]様々な集団や場に特有の健康問題を説明できる

[VI-3-B]研究デザインや統計的手法についての知識を提示できる

[VI-25-C]感染患者隔離の対応に関する法的根拠を説明できる

[VII-5-B]医療体制の主な構成要素(患者、多職種にわたる医療供給者、医療機関、保険者、行政、医療産業(製薬会社等)、診療報酬、薬価)について、役割・意義を説明できる

[VII-6-B]医療アクセス、コスト、資源分配など、医療政策の重要な概念とそれらの関係、そして診療への影響を説明できる

[VII-7-B]医療制度や医療提供体制が、医療の質と量へ与える影響(特に異なる背景の患者間の格差、例:地域、年齢、医師の配置)を、説明できる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-5	5/20	09:00-17:10	アクティブラーニング教室 情報検索	公衆衛生学実習	調査実習グループ(調査票の作成方法の説明) データ分析グループ(調査票の説明、仮説の設定、使用する変数のリストアップ)	藤原 武男, 那波 伸敏, 森田 彩子, 谷 友香子,	【到達目標】1)2) 【学習方法】実習

			室1			伊角 彩 土 井 理美 西 村 久明 山 岡 祐衣	
6-10	5/21	09:00-17:10	アクティ ブラーニ ング教室 情報検索 室1	公衆衛生学実習	調査実習グループ(質問票の作 成、調査実施) 統計解析グルー プ(データクリーニング、変数作 成)	藤原 武男, 那波 伸敏 森田 彩子, 谷 友香子, 伊角 彩 土 井 理美 西 村 久明 山 岡 祐衣	【到達目標】1)2) 【学習方法】実習
11-15	5/22	09:00-17:10	アクティ ブラーニ ング教室 情報検索 室1	公衆衛生学実習	調査実習グループ(調査結果の集 計、解析) 統計解析グループ (記述統計)	藤原 武男, 那波 伸敏 森田 彩子, 谷 友香子, 伊角 彩 土 井 理美 西 村 久明 山 岡 祐衣	【到達目標】1)2) 【学習方法】実習
16-20	5/23	09:00-17:10	アクティ ブラーニ ング教室 情報検索 室1	公衆衛生学実習	調査実習グループ(調査結果の集 計、解析) 統計解析グループ(単変 量回帰分析)	藤原 武男, 那波 伸敏 森田 彩子, 谷 友香子, 伊角 彩 土 井 理美 西 村 久明 山 岡 祐衣	【到達目標】1)2) 【学習方法】実習
21-25	5/24	09:00-17:10	アクティ ブラーニ ング教室	公衆衛生学実習	プレゼンテーション	藤原 武男, 那波 伸敏 森田 彩子, 谷 友香子, 伊角 彩 土 井 理美 西 村 久明	【到達目標】1)2) 【学習方法】実習

授業方法

全日程について、対面型の授業を実施する。

学生は疫学調査、または疫学データ分析のいずれかを選択する。

前者を選んだ学生は、調査の立案、実施、解析を行い、レポートを提出する。

後者を選んだ学生は、既存の疫学データを用いて演習を実施し、レポートを提出する。

授業内容

授業スケジュール参照

成績評価の方法

公衆衛生学実習の評価は、実習への参加、レポートによって行う

1) 実習への出席・参加 30 点

2) レポート 70 点

個人ごとにレポートを提出する。

成績評価の基準

第一段階として、出席要件を満たすことが必要である。 出席要件を満たした上で、1)～2)の合計が 60 点以上の場合に合格とし(評価 B 以上とする)、合計点をこの科目の評価とする。
準備学習等についての具体的な指示 事前に Webclass にアップした資料(論文、著作、教科書のチャプター等)がある場合、しっかり読んでおくこと。
試験の受験資格 公衆衛生学実習の事前説明会に出席すること。 実習は原則として出席すること。(8割以上の出席が必要) 特別に勘案すべき事情があるために出席できない場合は、その事情とともに、実習開始前までに科目責任者または医学教務係にメールのように日時の記録が残る形で連絡することを必須とする。連絡できないような特別な事情があったとあとで判断された場合はその限りではない。これらの十分な対応がおこなわれていたと判断された場合には、事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。
教科書 社会疫学 上／リサ・F・バークマン,Berkman, Lisa F.,河内, 一郎,Glymour, M. Maria,高尾, 総司,藤原, 武男,近藤, 尚己,:大修館書店, 2017-09 社会疫学 下／リサ・F・バークマン, イチロー・カワチ, M・マリア・グリモール 編,高尾総司, 藤原武男, 近藤尚己 監訳,Berkman, Lisa F,Kawachi, Ichirō,Glymour, M. Maria,高尾, 総司,藤原, 武男,近藤, 尚己,:大修館書店, 2017
他科目との関連 公衆衛生学は典型的な社会医学であるから、基礎医学、臨床医学の各科目と深く関係する。系別講義「行動科学」、「衛生学」、「医動物学」、「法医学」とは特に密接に関連する。
備考 実習手順、参考資料等、教材はすべて著作物であり、著作権の関係上、外部に流出することのないように十分気を付けること。 昨年のアンケートよりの改善点 リサーチクエストのたてかたについて話す時間を確保する。学生の人数に対するチューターの人数を増やす。

時間割番号	011080		
科目名	医歯学基盤教育(生命倫理Ⅱ)	科目ID	
担当教員			
開講時期	2024 年度前期	対象年次	4
実務経験のある教員による授業	該当する		
授業の目的、概要等			
なぜ人は目につくことを過大評価してしまうのか、あるいは、先々のことを考えるのが難しく、現状維持をしてしまうのか。 医学生、歯学生、医師、歯科医師をはじめとした医療者には、医療を担うにふさわしい倫理感覚を持つことが期待される。医療現場では、倫理的問題に対して組織的に対処するシステムがある程度構築されており、個人の資質による倫理的問題が生じる余地は減っている。しかし、わが国の医療関連法は基本的には性善説で成り立っており、個人の資質による倫理的問題が生じる余地は大きく残されている。また、システム自体が暴走した場合には、最後の砦になるのは個人の倫理感覚のみである。したがって、生命倫理においてはシステムについて学ぶだけでなく、これまでに培った自らの個別的倫理感覚をシステムとの関係の中で、どのように生かすのか、あるいは抑えるのかを考察・構築する必要がある。 第4学年においては、医療および研究における具体的事例とともにその倫理的問題点とシステムの対応について学習し、プロジェクトゼミスターやクリニカルクラークシップなどの際に医療チームの一員たるプロフェッショナルとして持つべき視点とそれにふさわしい倫理的思考を構築する。			
授業の到達目標			
医学生、歯学生、医師あるいは歯科医師として求められる実践的倫理判断の養成を図る。これまでに培った個別的文献型倫理学から発展させ、医療チームの一員たるプロフェッショナルとして持つべき視点を構築する。すなわち、将来実際に経験することになる医療や研究の現場の具体的事例について、単に批評するだけでは済まされず、実際に判断し、指示を出し、さらにその責任を取らなければならない立場にある医師および歯科医師の持つべき倫理的思考過程について学習し、応用し自ら考えることでそれを構築・実践する。			
文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(令和4 年度改訂版)			
https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/116/toushin/mext_01280.html			
CM-01-02)01,02			
CM-02-01)01,02			
CM-02-02)01			
CM-02-03)01,02,03,04			
CM-03-01)01,02,03			
CM-03-02)01,02			
CS-02			
CS-03-03)01,02,03,04			
CS-05-03)02			
CS-05-05)02			
CS-05-06)02			
GE-01-02)01			
GE-01-03)01,02			
GE-01-06)04,05			
IP-02			
IP-02-02)01			
IP-02-04)01			
PR-01-01)01,02			
PR-01-02)01			
PR-02-01)01			
PR-02-02)01,02			
PR-04-01)01,02,03			
RE-01-02)02			

RE-03-01)01

RE-03-03)01,02,03

RE-05-02)01

SO-04-05)01

SO-05-01)01

医学科コンピテンシーよりこの科目で身につけるレベル

[I-2-B]世界的に注目されている医学／歯学／健康に関する主たるトピックについて、議論できる

[I-3-B]科学/医学/歯学専門用語/表現の理解/表記/発音ができる

[II-3-B]臨床的あるいは科学的問題提起ができる

[III-1-A]他者の貢献、時間、価値感、人格を尊重し、常に敬意を払って接することができる

[III-9-A]個人の生活における責務と医学科での学習及び社会的な責務について、適切にバランスを取ることができる

[III-12-A]メンタルストレスに直面した際、それを認識し、適切な解消処置をとれる

[III-14-A]時間厳守、信頼性、適切な準備、率先性、遂行能力を示すことができる

[III-15-A]文書課題を、正確で判読しうる質にて作成し、規定期限内に提出できる

[III-16-A]本学を含めた当該機関内規、法律、専門職社会内規範を遵守できる

[III-17-B]常に、誠実さ、正直さ、確実さをもって行動する必要性を理解している

[III-18-A]他者への良識を逸する振舞い(無礼、短気など)を認識し、助言を求め、今後起こさぬよう振舞いを修正することができる

[III-21-B]守秘義務と患者プライバシーに関して説明できる

[III-22-C]インフォームドコンセントの重要性およびその過程を説明できる

[III-23-B]著作権侵害にあたる行動を列挙できる

[III-24-B]利益相反および回避するための行動を説明できる

[III-25-B]企業との関係における倫理的な側面につき説明できる

[III-26-A]自身の知識・能力・振舞いを批判的に省察し、長所と課題点を同定し、改善の為に学習目標を設定し、それを達成するのに適した学習活動に取り組むことができる

[III-27-A]自身に対するフィードバックにもとづき省察し自己改善を実現できる

[III-28-A]他人に建設的なフィードバックを適切な形で提示できる

[III-29-A]ポートフォリオを活用して、課題設定を行い、自己学習・自己研鑽できる

[IV-4-C]多学科チームでの学習の場で、敬意を払って話し、チームに貢献し学習できる

[IV-6-B]患者の様々な背景や文化がどれだけ医者-患者間のコミュニケーションに影響するかを説明できる

[IV-7-B]重大で繊細な難しいトピック(sexual history、疾患名告知、退院計画議論、ターミナルケアなど)について患者や患者家族と議論する際に、配慮すべき点や重要な点を説明できる

[IV-9-C]患者中心の医療について説明できる

[VI-3-B]研究デザインや統計的手法についての知識を提示できる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/4	10:05-10:55	遠隔授業 (同期型)	生命倫理Ⅱ-1	研究倫理「臨床治験と倫理的問題」	小池 竜司, 江花 有亮	③研究倫理 配布資料を参照のこと
2	4/4	11:10-12:00	遠隔授業 (同期型)	生命倫理Ⅱ-2	研究倫理「ゲノム研究に関する倫理的問題」	江花 有亮	③研究倫理 配布資料を参照のこと
3	4/11	10:05-10:55	遠隔授業 (同期型)	生命倫理Ⅱ-3	研究倫理「再生医療と倫理的問題」	片野 尚子, 江花 有亮	③研究倫理 配布資料を参照のこと
4	4/11	11:10-12:00	遠隔授業 (同期型)	生命倫理Ⅱ-4	研究倫理「研究不正」	江花 有亮	③研究倫理 配布資料を参照のこと

							こと
5	5/9	09:00-09:50	医学科講義室 1	生命倫理Ⅱ－5	到達度評価・乙	江花 有亮	③研究倫理 配布資料を参照のこと
6	5/9	10:05-10:55	医学科講義室 1	生命倫理Ⅱ－6	研究倫理演習ワークショップ	江花 有亮	
7	5/9	11:10-12:00	医学科講義室 1	生命倫理Ⅱ－7	研究倫理演習ワークショップ	江花 有亮	

授業方法

動画教材・講義・グループワーク

同期授業と非同期授業を組み合わせる。事前に配布した資料、スライドやこれまでに作成された講義動画などを WebClass を通して配信する。これらをもとに学習し、同期授業では非同期授業で得た知識を用いて、積極的に問題解決に取り組む形式で実施する。

またアクティブラーニングとしては、自分が実際に考えることが重要であるため、グループワーク、討論、発表といった、単なる座学ではなく、参加型の講義形式も予定している。諸君の積極的な参加を期待している。

授業内容

詳細は別授業日程表のとおり。担当講師は、医療のさまざまな領域で活動する専門医、専門職の講師をはじめとして、医療以外の分野で活動している実務者にもそれぞれの立場からみた医療や研究について、すなわち他職種や医療者以外の倫理観を含めて問題提起あるいは情報提供を得て、医療者・研究者の倫理について実践的な講義を展開する。

成績評価の方法

講義への出席を単位取得の必要条件とし、第3学年前期と第4学年前期の2回実施する到達度評価甲・乙の点数を中心に、適宜実施する小テストおよび小レポート、プレゼンテーションおよびディスカッションへの参加、素行等をもとにあわせて総合的に評価する。

成績評価の基準

第3学年前期と第4学年前期の2回実施する到達度評価甲・乙の点数、適宜実施する小テストおよび小レポートの点数(医師および歯科医師の持つべき視点と倫理的思考過程について習得し、応用し自ら考えることができるかどうか)が 70 点以上の場合に合格(A+, A, B)とする。プレゼンテーションおよびディスカッションへの参加の教員評価(積極的に参加しているか、適切な関与をおこなっているか)等を合計し、尚、試験を受けない場合や反プロフェッショナル行為(不正なコピー、試験の不正、出席の不正)がみられた場合は成績に関わらず不合格とする(F)。

準備学習等についての具体的な指示

あらかじめ講義のトピックスについて配布資料や動画、参考図書、インターネット等で調べて、そのトピックスに関連する倫理的問題に対して自分なりの見解をもって講義に臨むことが好ましい。

試験の受験資格

講義への出席が、講義時間数の 3 分の 2 以上であること。第3学年前期の到達度評価甲については、第2学年から第3学年前期の到達度評価甲前までの講義のうち 2/3 以上の出席であること。第4学年前期の到達度評価乙については、第3学年前期の到達度評価甲後から第4学年前期の到達度評価乙までのうち、2/3 以上の出席であること。各回の講義についての出席の要件は、ZOOM 履歴と小レポートを通して確認する。

教科書

教科書は使用せず、レジュメ・資料等をそのつど配布する。

参考書

The Oxford textbook of clinical research ethics／edited by Ezekiel J. Emanuel ... [et al.], Emanuel, Ezekiel J.,: Oxford University Press, 2008

Principles and practice of clinical research／edited by John I. Gallin, Frederick P. Ognibene, Gallin, John I., Ognibene, Frederick P.,: Elsevier/AP, 2012

Principles of Biomedical Ethics／Tom L. Beauchamp, James F. Childress: Oxford Univ Pr, 2019

生命医学倫理／トム・Lビーチャム, ジェイムズ・F.チルドレス著; 立木教夫, 足立智孝監訳 Beauchamp, Tom L., Childress, James F., 立木, 教夫, 足立, 智孝, 麗澤大学出版会, 2009

入門・医療倫理／赤林朗 編 赤林, 朗, 1958-, 勁草書房, 2005

履修上の注意事項

授業責任者からの連絡は、WebClass で行うので確認すること。「到達度評価甲」「到達度評価乙」の回では、到達度を測る。定期試験は実施しないが、進級のためには全授業回数の2/3以上の出席が必要であり、到達度評価は必須である。医師、歯科医師とい

った医療者に期待される倫理観を培うために、それぞれの講義時に自ら系統的に考えることが最も重要である。各回の講義について遅刻、早退は系統的に問題に対処する趣旨に反するため、原則的に認めない。また、出席等の手続きについての不正に対しては、医療者に期待される倫理観から著しく外れることから、厳正に対処する。

備考

○問い合わせ先(講義担当教員)

(教員名) (診療科・分野)

吉田 雅幸: オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡してから訪問すること。

水口 俊介: 随時

江花 有亮: ebnysh.bec@tmd.ac.jp

時間割番号	011081		
科目名	医歯学基盤教育(臨床統計Ⅲ)	科目ID	
担当教員	小池 竜司, 能登 洋, 石丸 美穂, 佐藤 宏征, 須藤 毅顕, 中林 潤, 平川 晃弘, 水口 俊介[KOIKE RYUJI, NOTO HIROSHI, ISHIMARU MIHO, SATOU Hiroyuki, SUDOU Takeaki, NAKABAYASHI Junn, HIRAKAWA Akihiro, MINAKUCHI SHIYUNSUKE]		
開講時期	2024 年度前期	対象年次	4
実務経験のある教員による授業	該当する		
主な講義場所 オンラインによる遠隔授業			
授業の目的、概要等 臨床統計Ⅰ・Ⅱで学習した統計学の臨床的意義と応用法をもとに実臨床・臨床研究につながる発展学習を行う。具体的には、実データを解析して統計学的・臨床的解釈をする演習を行う。 臨床統計Ⅲ終了時までには、実験デザインの基礎を学び、プロジェクトセメスターで臨床研究を行う際の研究基盤をつくる。			
授業の到達目標 1)臨床的データを適切に解析・活用できる実践技能を習得する。 2)具体的な臨床研究の作り方の理解ができる。 3)数理・データサイエンス・AI教育の応用基礎レベルの習得をする。 医学科コンピテンシーよりこの科目で身につけるレベル [I-2-B]世界的に注目されている医学／歯学／健康に関する主たるトピックについて、議論できる [I-3-B]科学/医学/歯学専門用語/表現の理解/表記/発音ができる [II-3-B]臨床的あるいは科学的問題提起ができる [III-1-A]他者の貢献、時間、価値感、人格を尊重し、常に敬意を払って接することができる [III-9-A]個人の生活における責務と医学科での学習及び社会的な責務について、適切にバランスを取ることができる [III-12-A]メンタルストレスに直面した際、それを認識し、適切な解消処置をとれる [III-14-A]時間厳守、信頼性、適切な準備、率先性、遂行能力を示すことができる [III-15-A]文書課題を、正確で判読しうる質にて作成し、規定期限内に提出できる [III-16-A]本学を含めた当該機関内規、法律、専門職社会内規範を遵守できる [III-18-A]他者への良識を逸する振舞い(無礼、短気など)を認識し、助言を求め、今後起こさぬよう振舞いを修正することができる [III-23-A]記述、プレゼンテーション、論文、および研究情報などの利用において、著作権を尊重し、それに沿って行動できる [III-26-A]自身の知識・能力・振舞いを批判的に省察し、長所と課題点を同定し、改善の為に学習目標を設定し、それを達成するのに適した学習活動に取り組むことができる [III-27-A]自身に対するフィードバックにもとづき省察し自己改善を実現できる [III-28-A]他人に建設的なフィードバックを適切な形で提示できる [III-29-A]ポートフォリオを活用して、課題設定を行い、自己学習・自己研鑽できる [IV-4-C]多学科チームでの学習の場で、敬意を払って会話し、チームに貢献し学習できる [VI-1-B]情報技術を利用し、関連する情報源/エビデンスを発見できる [VI-2-B]臨床上の問題を明確化できる [VI-3-B]研究デザインや統計的手法についての知識を提示できる [VI-4-B]医学的介入(予防/治療)に関するエビデンス吟味に用いられる用語(NNT, NNH など)を説明できる [VI-5-C]入手したエビデンスのレベルを正確に説明できる [VI-6-B]診療ガイドラインにアクセスし、仮想症例の検討に活用できる [VI-7-B]診断に関するエビデンス吟味に用いられる用語(感度、特異度、尤度比など)を説明できる			
授業計画			

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/11	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	臨床統計Ⅲ－1	臨床研究の計画	能登 洋	【到達目標】1)、2) 【学習方法】講義 聴講 【その他】 授業中にZoom 投票機能を利用してクイズに答える。 また、授業終了時にWebClass にて小テストに解答する。
2-4	4/18	09:00-12:00	遠隔授業 (同期型)	臨床統計Ⅲ－2～4	データ解析・解釈演習1～3	中林 潤 能登 洋 須藤 毅 頭 石丸 美穂 佐藤 宏征 平川 晃弘	【到達目標】1)、2)、3) 【学習方法】講義聴講、実習 【その他】実習中に Zoom チャット機能で質疑応答に対応する。実習後も遠隔相談窓口を設ける。希望者は事前登録制の少人数セミナーに参加できる。
5-7	4/25	09:00-12:00	遠隔授業 (同期型)	臨床統計Ⅲ－5～7	データ解析・解釈演習4～6	中林 潤 平川 晃弘 能登 洋 須藤 毅 頭 石丸 美穂 佐藤 宏征	【到達目標】1)、2)、3) 【学習方法】講義聴講、実習 【その他】実習中に Zoom チャット機能で質疑応答に対応する。実習後も遠隔相談窓口を設ける。希望者は事前登録制の少人数セミナーに参加できる。
8-10	5/2	09:00-12:00	遠隔授業 (同期型)	臨床統計Ⅲ－8～10	データ解析・解釈演習7～9	中林 潤 能登 洋 須藤 毅 頭 石丸 美穂	【到達目標】1)、2)、3) 【学習方法】講義聴講、実習 【その他】実習中に Zoom チャット機能で質疑応答に対応する。実習後も遠隔相談窓口を設ける。希望者は事前登録制の少人数セミナーに参加できる。

							る。
授業方法							
医歯学融合の講義・演習による。							
Zoom を使用したオンラインによる遠隔講義(同期型)を行い、視聴確認(アクセス記録の有無で確認)とともに演習課題レポート提出によって出席と見なす。レポート提出期限は各授業や WebClass にて通達する。							
いずれの講義も授業後に録画を再視聴できる。							
授業中にクイズやアンケートを Zoom の投票機能を利用して行う。							
授業中の質疑応答は Zoom チャット機能を利用する。授業後の質疑応答はメールを利用したり Zoom による相談窓口を設置したりして行う。							
WebClass にはオンラインリアクションペーパーとして講義の小テストの解答や感想・質問・コメント等を記入するページを用意する。質問は匿名で扱い、次回授業や WebClass にて回答する。授業内容以外のことを記載してもよく、有効活用して欲しい。							
授業内容							
臨床研究法について							
オープンデータを利用したデータ管理・データ処理・データ加工・モデリングと評価・統計学のおよび臨床的解釈の仕方(TBL)							
希望者を対象に、少人数ゼミも授業時間の一部を利用して開催する。AI・機械学習・多変量解析応用・論文の読み方書き方の注意点などの hands-on 学習とディスカッションを行う。							
成績評価の方法							
科目責任者がレポートを主として評価する(約 90%)。							
小テスト回答や積極性についても勘案する(約 10%)。							
成績評価の基準							
統計学的解析・解釈のみならず、臨床的解釈・評価についても判定する。具体的には授業中に説明する。							
上記の応用演習・レポートによる得点および小テスト回答や積極性による得点を合計し、100 点満点に換算して 60 点以上の場合に合格とする。							
60 点以上の得点をそのまま当科目の最終評価点とする。							
レポート内容については電子的ツールでも分析し、剽竊が判明した場合には減点対象とする。							
成績評価・追試・再試については、上記成績評価(100%)に基づき、原則として東京医科歯科大学試験規則に従う。							
準備学習等についての具体的な指示							
教科書および WebClass 上にアップロードされる資料等を活用して予習・復習に役立てること。							
生協での教科書販売については生協に直接問い合わせること。教科書は授業前に購入しておくことが望ましい。							
試験の受験資格							
臨床統計Ⅰ・Ⅱ 単位取得済みであること(履修上の注意事項参照)							
本学規定のとおり、ブロック全体で 2/3 以上の出席とレポートでの合格評価を履修要件とする。出席数の計算に関しては、視聴履歴(アクセス記録の有無で判定)と小テストの回答数を確認し、従来と同じ規定に基づいて出欠席を判定する。4/18、4/25、5/2 の演習では、視聴履歴があればそれぞれ 3 コマ全出席とし、なければ 3 コマ欠席とする。							
特別に勘案すべき事情により指示が達成できない場合や授業に出席できない場合には、その事情とともに締め切り期日前、ならびに授業の始まる前までに科目責任者または教務係にメールなどで日時の記録が残る形で連絡すること。緊急の場合は電話でもよいが、その後メール連絡すること。連絡ができないような特別な事情があったと後で判断された場合はその限りでない。これらの十分な対応が行われていたと判断された場合には、事情に応じてレポートなどでの対応を行う。							
教科書							
スッキリわかる臨床統計はじめの一步：統計のイロハからエビデンスの読み解き方・活かし方まで／能登 洋、羊土社、2018							
参考書							
みんなの医療統計：12 日間で基礎理論と EZR を完全マスター!／新谷 歩、講談社、2016							
みんなの医療統計 多変量解析編 10 日間で基礎理論と EZR を完全マスター!／新谷 歩、講談社、2017							
日常診療にすぐに使える臨床統計学：ベストな診断と治療ができる!／能登 洋、羊土社、2011							

他科目との関連

グローバルコミュニケーション・生命倫理と相互関連した講義内容である。

履修上の注意事項

・予習課題について事前連絡することがあるため、WebClass を受講前に確認すること ・遠隔授業法が変更になることがあるため、WebClass を受講前に確認すること ・進級条件は原則として東京医科歯科大学試験規則に従う。 ・各講義の遅刻・早退は原則的に認めない。また、出席手続きやレポート内容などの不正に対しては厳正に対処する。 ・講義動画、講義資料・参考資料などは著作権の問題があるため、受講登録者以外に公開することを禁ずる。

備考

昨年からの改善点:データを一新する。発展コースを自由参加にする。

連絡先(メールアドレス)

能登 洋: hpnnytx@icloud.com

連絡先(メールアドレス)

能登 洋: hironoto@luke.ac.jp

時間割番号	011105		
科目名	包括医療統合教育①	科目ID	
担当教員	山脇 正永, 岡田 英理子, 鹿島田 彩子, 赤石 雄[YAMAWAKI Masanaga, OKADA ERIKO, KASHIMADA Ayako, AKAISHI Yuu]		
開講時期	2024 年度通年	対象年次	5
実務経験のある教員による授業	該当する		
主な講義場所			
すべて対面講義とする。アクティブラーニング教室または医学科実習室が中心だが、受講場所および、時間等の変更となる可能性もあるので、最新の時間割表を確認すること。			
授業の目的、概要等			
医学部の最終学年となる前の時間的余裕のある時期に、卒業後の医師・医学者のキャリアについて、様々な先輩たちの体験談等をもとに自身のオリエンテーションをつけることを目的とする。将来において自身が希望しているキャリアのみならず、様々なキャリア選択について視野を広げるとともに、キャリア実現に向けての課題、バリア等についても考察する。本授業のトピックとして、諸君が将来遭遇するであろう様々なライフイベントについても取り上げる。自らの将来を考察し自分自身と向き合う機会として本授業を活用していただきたい。			
授業の到達目標			
1. 医師のキャリア形成の概要について理解し、考察できる。			
2. 臨床研修制度、専門研修制度について概説できる。			
3. 大学院・留学・医局制度など自らのキャリア形成に寄与する情報を得て、考察する。			
4. 今後求められる医療について認識し、体得すべき医師の思考や技術等について考察できる。			
5. 海外での臨床医、臨床医以外の生き方など多様なキャリアを知り考察することができる。			
6. 自らの姿を客観的に理解し、将来のキャリア目標を考察することができる。			
7. 将来のライフイベントを認識し、それらに対して準備や心構えができる。			
8. 医師が知っておくべき、基本的なお金のリテラシーを学ぶ。			
文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(令和4年度改訂版)			
https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/116/toushin/mext_01280.html			
LL-01-01)01,02			
LL-01-02)01			
医学科コンピテンシーよりこの科目で身につけるレベル			
Ⅲ-1-A)他者の貢献、時間、価値感、人格を尊重し、常に敬意を払って接することができる			
Ⅲ-2-B)専門職にある者として適切な服装、衛生管理、言葉遣い、態度、行動を説明できる			
Ⅲ-3-B)専門職務非遂行時においても専門職種にふさわしい振舞いを説明できる			
Ⅲ-4-B)患者の、文化、人種、年齢、社会経済的状況、性別、性嗜好、信仰、障害、その他の多様性に配慮した対応が行える			
Ⅲ-9-A)個人の生活における責務と医学科での学習及び社会的な責務について、適切にバランスを取ることができる			
Ⅲ-10-A)自立と監督・指導の必要性との適切なバランスを常に保つことができる			
Ⅲ-12-A)メンタルストレスに直面した際、それを認識し、適切な解消処置をとれる			
Ⅲ-14-A)時間厳守、信頼性、適切な準備、率先性、遂行能力を示すことができる			
Ⅲ-15-A)文書課題を、正確で判読しうる質にて作成し、規定期限内に提出できる			
Ⅲ-16-A)本学を含めた当該機関内規、法律、専門職社会内規範を遵守できる			
Ⅲ-18-A)他者への良識を逸する振舞い(無礼、短気など)を認識し、助言を求め、今後起こさぬよう振舞いを修正することができる			
Ⅲ-20-A)他人による職務上の不正を認識し、省察やメンターや指導・監督者からの助言を得て倫理的に適切な対応を計画し、説明・遂行できる			
Ⅲ-21-B)守秘義務と患者プライバシーに関して説明できる			
Ⅲ-22-C)インフォームドコンセントの重要性およびその過程を説明できる			
Ⅲ-23-A)記述、プレゼンテーション、論文、および研究情報などの利用において、著作権を尊重し、それに沿って行動できる			
Ⅲ-24-B)利益相反および回避するための行動を説明できる			

[Ⅲ-25-B]企業との関係における倫理的な側面につき説明できる

[Ⅲ-26-A]自身の知識・能力・振舞いを批判的に省察し、長所と課題点を同定し、改善の為の学習目標を設定し、それを達成するのに適した学習活動に取り組むことができる

[Ⅲ-27-A]自身に対するフィードバックにもとづき省察し自己改善を実現できる

[Ⅲ-28-A]他人に建設的なフィードバックを適切な形で提示できる

[Ⅲ-29-A]ポートフォリオを活用して、課題設定を行い、自己学習・自己研鑽できる

[V-1-A]基礎医学の知識を疾患の病因・病態・臨床徴候などの理解に応用できる

[V-5-A]社会医学の知識を、医療・保健活動に応用できる

VI-4-A適切な用語を用いて、医学的介入の利点と欠点を説明できる

VII-5-A医療体制の主な構成要素の役割・意義を理解・考慮した診療を、指導/監督のもとで実践できる

[VII-6-A]医療保険、コスト、医療の質、そして医療アクセスを考慮した診療を、指導/監督のもとで実践できる

授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	5/28	16:00-17:00	医学科講義室 1	キャリア形成の考え方1 (総論・初期研修総論)	山脇正永先生総論、初期研修を振り返って:臨床医学教育開発学赤石雄先生 質疑応答	山脇 正永 赤石 雄	1.2.4.6.対面講義
2	6/25	16:00-17:00	医学科講義室 1	キャリア形成の考え方2 (専門研修)	専門研修の概要と専門研修を終了した先輩からの話:	岡田 英理子	1.2.4.6.対面講義
3	7/23	16:00-17:00	医学科講義室 1	キャリア形成の考え方3 (医局とは何か/臨床研究/留学)	現役医局長から医局制度についての解説と、医師のキャリア形成について具体的な事例なども交えながら学ぶ	岡田 英理子, 村川 美也子	1.2.3.4.対面講義
4	9/24	16:00-17:00	大学院特別講義室 遠隔授業(同期型)	キャリア形成の考え方4 (海外で臨床をする)	海外での臨床キャリア(University of Hawaii 現役 Resident 中田徹先生)	岡田 英理子	1.4.5 対面講義
5	10/22	16:00-17:00	医学科講義室 1	キャリア形成の考え方5 (大学院から基礎研究領域)	理化学研究所研究員の山下基生から Clinician Scientist としての魅力を学ぶ	鹿島田 彩子, 山下 基	1.3.4.5 対面講義
6	11/26	16:00-17:00	6 階学生実習室	キャリア形成の考え方6 (臨床医以外の生き方)	厚生労働省医系技官 佐野隆一郎先生	岡田 英理子, 佐野 隆一郎	1.3.4.5 対面講義
7	1/28	16:00-17:00	医学科講義室 1	キャリア形成の考え方7 (全学生に向けたライフイベントと医師の仕事)	ライフイベントについて	鹿島田 彩子, 三島 有華 山口 洋平	1.3.6.7 講義プラス 小グループ討論
8	2/25	16:00-17:00	6 階学生実習室	キャリア形成の考え方8 (ライフプラン FP・総括)	FP 小川浩子先生、山脇正永	山脇 正永 小川 浩子	1.6.7.8 講義プラス 小グループ討論

授業方法

講義室での対面講義合計 8 回の講義と討論。Buzz セッションなどを用いたアクティブラーニング形式も取り入れる。

期間:2024 年 5 月 28 日(火)から各月第 4 週目の火曜日 16 時 00 分から 17 時 00 分、2025 年 2 月 25 日(火)までの予定。(8 月と 12 月は休講)

ただし、変更の可能性もあるので最新の講義予定を必ず確認すること。

授業内容

卒業後の医師人生をいくつかのステージ、場面に分けて講義をおこなう。

1) キャリア選択の考え方:キャリア形成の基本的な考え方を学ぶ

2) 卒後 5 年:臨床研修、専門研修プログラム制度の仕組みや大学病院・一般病院の具体例について先輩医師から得る。

3) 卒後 10 年:キャリア支援組織としての大学医局について、専門研修後のキャリアを本学教員より実際の事例や留学なども交えながら

学ぶ。 4)海外で臨床医を行う先輩医師の姿を知る。 5)大学院から基礎研究領域での研究者を目指す Clinician Scientist/Scientific Clinician としての姿を知る。 6) 厚生労働省で社会の基盤を作る:少子高齢化とAIの進歩や高度な情報化社会による医療制度の変化などの具体例を知り、医師として社会基盤を作る臨床医以外の生き方についても学ぶ。 7)ライフイベント:出産・子育て・介護など男女とも直面する重大な影響を与えるライフイベントについて、環境を知り、経験談などを元に考察し解決方法を考えていく。 8) 資産形成:仕事を開始するにあたり、医師人生に詳しいファイナンシャルプランナーから、お金の基本的リテラシーを学ぶ。
成績評価の方法 包括医療統合教育①にて3分の2以上の出席が必要。 また、包括医療統合教育①および②をあわせて3分の2以上の出席が必須。 提出課題:”自分のキャリアに関する、今後10年間の目標とそれを達成するための方法について”を最終日に課す。提出されたレポートを評価する。 例)レポートでは今後1年間、その後2年間、その後の7年など、ステージ毎に目標を記し、その達成方法について述べること。 字数制限は600字以上1000字以内。 締め切りを過ぎたものは追加のレポートを課す。別課題で3000字の追加レポートを提出しないものは留年になることがあるので注意すること。 包括医療統合教育全体の成績は、次年度受講する包括医療統合教育②と合わせて評価する。
成績評価の基準 評価の大部分は課題提出で行う。 レポートでは基準以上記載されていればB以上とする。 期日までに課題を提出する自己管理能力が求められる。
準備学習等についての具体的な指示 講義の前には授業内容を確認すること。 将来の自らのキャリアについて、具体的に考え講義に臨むことが望ましい。
試験の受験資格 8回中6回の講義に出席することが求められる。 講義の際の小テストで出席を確認する。 臨床実習の関係で参加できない場合は個別に対応するので、事前にその旨申し出、欠席届を医学教務係に提出すること。
参考書 選択の科学：コロンビア大学ビジネススクール特別講義／Iyengar, Sheena,櫻井, 祐子, 1965-,シーナ・アイエンガー 著,櫻井祐子 訳:文藝春秋, 2010.11 君たちに伝えたい3つのこと：仕事と人生について科学者からのメッセージ／中山, 敬一, 1961-,中山敬一 著:ダイヤモンド社, 2010.7 デュアルキャリア・カップル：仕事と人生の3つの転換期を対話で乗り越える／Petriglieri, Jennifer,高山, 真由美,ジェニファー・ペトリリエリ 著,高山真由美 訳:英治出版, 2022.3 キャリア・アンカー：自分のほんとうの価値を発見しよう／Schein, Edgar H,金井, 寿宏, 1954-,エドガー・H.シャイン 著,金井壽宏 訳:白桃書房, 2003.6 難しいことはわかりませんが、お金の増やし方を教えてください!／山崎, 元, 1958-,大橋, 弘祐,山崎元, 大橋弘祐 著:文響社, 2023.12
備考 講義では海外で臨床を行う医師の話、基礎研究を行うキャリアの話を知りたいという希望が多く、2024年度は新たに機会を設けた。
連絡先(メールアドレス) 山脇 正永:myamawaki.merd@tmd.ac.jp 岡田 英理子:eriko.gast@tmd.ac.jp
オフィスアワー 山脇 正永:毎週金曜日12時～13時、その他でも随時受け付けます。事前にメールで連絡してください。 岡田 英理子:随時

時間割番号	011106		
科目名	包括医療統合教育②	科目ID	
担当教員	山脇 正永, 中川 美奈, 山口 久美子[YAMAWAKI Masanaga, NAKAGAWA MINA, YAMAGUCHI KUMIKO]		
開講時期	2024 年度前期	対象年次	6
実務経験のある教員による授業	該当する		
主な講義場所			
Zoom での遠隔講義および 3 号館での講義・実習とする。 最新情報は WebClass を確認すること。			
授業の目的、概要等			
わが国の高齢化に伴う疾病構造、医療構造の変化の中で、現代の医療・歯科医療は、様々な専門職種が連携したチームで実施されている。本授業は本学の医学部及び歯学部が参加する多職種連携教育(Inter-Professional Education: IPE)として実施する。医療・歯科医療において協働する保健・医療・福祉の専門職とその役割を相互に理解するとともに、共通する職業倫理や仕事に対する姿勢、多職種連携の重要性を学び、多職種連携の将来像を考察できることを目的とする。また、演習を通して医療者のプロフェッショナリズムについて考察しその自覚を持つことも期待される。 口腔医療、全身医療は飛躍的に進歩し複雑化しており、一方で高齢化に伴う口腔・歯科領域も含む多疾患併存(multimorbidity)や複雑な社会的背景(社会的フレイル等)を抱える患者の医療には、医療者、歯科医療者をはじめとする多職種間で協同する包括的医療が必要とされる。この観点から、本学では医療系総合大学の特性を生かし、学科横断的、講座横断的、及び学年縦断的な医歯学融合教育の礎を作る以下の 7 つの目的を掲げる。			
授業の到達目標			
① 診療において、他の専門職、患者および患者家族に配慮し良好な関係を築くとともに、専門職種にふさわしい振る舞いができる。 ② 基礎医学の知識をもとに疾患の病因・病態・臨床徴候などを十分理解し、臨床医学の知識をもとに頻度の高い疾患や重篤な病態などに対する評価・診断および治療計画の立案を適切に行える。 ③ 全身疾患と口腔疾患の関連を考慮した診断および治療計画の立案ができる。 ④ 高齢者包括的評価をおこなうことができる。 ⑤ 医療を取り巻く制度、資源や社会における医療福祉制度を理解する。 ⑥ 医学の様々な分野でフロンティアを切り開く創造能力を養う。 ⑦ メンタルストレスに直面した際の適切な自己管理、通常時の自己研鑽、自己学習ができる			
文部科学省 HP 医学教育モデル・コア・カリキュラム(令和 4 年度改訂版)			
https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/116/toushin/mext_01280.html			
LL-01-01)01,02			
LL-01-02)01			
医学科コンピテンシーよりこの科目で身につけるレベル			
Ⅲ-1-A)他者の貢献、時間、価値感、人格を尊重し、常に敬意を払って接することができる			
Ⅲ-2-B)専門職にある者として適切な服装、衛生管理、言葉遣い、態度、行動を説明できる			
Ⅲ-3-B)専門職務非遂行時においても専門職種にふさわしい振る舞いを説明できる			
Ⅲ-4-B)患者の、文化、人種、年齢、社会経済的状況、性別、性嗜好、信仰、障害、その他の多様性に配慮した対応が行える			
Ⅲ-9-A)個人の生活における責務と医学科での学習及び社会的な責務について、適切にバランスを取ることができる			
Ⅲ-10-A)自立と監督・指導の必要性との適切なバランスを常に保つことができる			
Ⅲ-12-A)メンタルストレスに直面した際、それを認識し、適切な解消処置をとれる			
Ⅲ-14-A)時間厳守、信頼性、適切な準備、率先性、遂行能力を示すことができる			
Ⅲ-15-A)文書課題を、正確で判読しうる質にて作成し、規定期限内に提出できる			
Ⅲ-16-A)本学を含めた当該機関内規、法律、専門職社会内規範を遵守できる			
Ⅲ-18-A)他者への良識を逸する振る舞い(無礼、短気など)を認識し、助言を求め、今後起こさぬよう振る舞いを修正することができる			
Ⅲ-20-A)他人による職務上の不正を認識し、省察やメンターや指導・監督者からの助言を得て倫理的に適切な対応を計画し、説明・遂行			

できる

[Ⅲ-21-B]守秘義務と患者プライバシーに関して説明できる

[Ⅲ-22-C]インフォームドコンセントの重要性およびその過程を説明できる

[Ⅲ-23-A]記述、プレゼンテーション、論文、および研究情報などの利用において、著作権を尊重し、それに沿って行動できる

[Ⅲ-24-B]利益相反および回避するための行動を説明できる

[Ⅲ-25-B]企業との関係における倫理的な側面につき説明できる

[Ⅲ-26-A]自身の知識・能力・振舞いを批判的に省察し、長所と課題点を同定し、改善の為の学習目標を設定し、それを達成するのに適した学習活動に取り組むことができる

[Ⅲ-27-A]自身に対するフィードバックにもとづき省察し自己改善を実現できる

[Ⅲ-28-A]他人に建設的なフィードバックを適切な形で提示できる

[Ⅲ-29-A]ポートフォリオを活用して、課題設定を行い、自己学習・自己研鑽できる

[Ⅳ-1-B]書面にて、患者に関する臨床情報を統合し要約することができる

[Ⅳ-4-B]多学科チームのすべてのメンバーと、敬意を払って効果的な議論ができる

[Ⅴ-1-A]基礎医学の知識を疾患の病因・病態・臨床徴候などの理解に応用できる

[Ⅴ-2-A]頻度の高い疾患について、疫学/病因/病理/病態/症候/予後の知識を診療に応用できる

[Ⅴ-3-A]様々な症候／問題の原因評価において、適切な評価法を選定し、所見を適切に解釈できる

[Ⅴ-4-A]様々な疾患に対する治療法(薬物療法、非薬物療法の双方を含む)に関する知識を診療に応用できる

[Ⅴ-5-A]社会医学の知識を、医療・保健活動に応用できる

[Ⅴ-7-A]頻度の高い疾病についての予防戦略についての知識を診療に応用できる

[Ⅴ-8-A]住民の健康状態を把握し、その向上及び増進のために必要な医療および保健指導を説明できる

[Ⅴ-9-A]歯科医学的側面を考慮した診療ができる

[Ⅴ-10-A]全身疾患と口腔疾患の関連を考慮した診療ができる

[Ⅵ-4-A]適切な用語を用いて、医学的介入の利点と欠点を説明できる

[Ⅵ-5-A]監督・指導のもとで、臨床判断に際し、関連するエビデンスの質を判断し、個々の患者への適用可能性を判断できる

[Ⅵ-6-A]診療ガイドラインにアクセスし、診療に活用できる

[Ⅵ-7-A]適切な用語を用いて、患者の疾患可能性にもとづく診断的検査の意義を検討できる

[Ⅵ-8-B]仮想症例の診断的評価に際し、臨床推論を行い、得られた情報から適切で漏れの無い鑑別疾患を挙げられ、適切な診断的検査法を選定でき、適切に検査所見を解釈でき、適切な臨床診断に到達することができる

[Ⅵ-12-A]高齢者の機能的評価を行える

[Ⅵ-15-A]診察において異常所見を認識・説明・記録でき、必要な病歴・診察を追加し、適切な鑑別疾患を列挙することができる

[Ⅵ-17-A]初診時診療録/入院時要約/週間要約/退院時要約を、適切なフォーマットに沿って、適切なプロブレムリスト構築のもと、臨床推論を SOAP 形式で反映させ、正確に記載できる

[Ⅵ-18-A]日々の診療録を、適切なフォーマットに沿って、日々の変化、適切な優先順位に配列したプロブレムリスト、そして臨床推論を SOAP 形式で反映させ、正確に記載できる

[Ⅵ-19-A]再来受診の際の診療録を、適切なフォーマットに沿って、前回受診時からの変化、適切な優先順位に配列したプロブレムリスト、そして臨床推論を SOAP 形式で反映させ、正確に簡潔に記載できる

[Ⅵ-23-A]診療の引き継ぎに際して、情報を効果的に伝えることができる

[Ⅵ-27-A]医療機関における医療安全管理体制の在り方を説明できる

[Ⅶ-2-B]多学科チームでの仮想症例を通したチーム医療学習の場で、多職種よりなるチーム医療を成立させる医療・福祉システムを活用できる。

[Ⅶ-3-B]仮想症例検討において、病院、診療所、福祉施設など、様々な診療提供システム・機関を活用できる

[Ⅶ-4-A]様々な情報源(かかりつけ医、家族、地域の福祉職員や、入院および外来診療録など)から関連する情報を効果的に取得し、診療に活用することができる

[Ⅶ-5-A]医療体制の主な構成要素の役割・意義を理解・考慮した診療を、指導/監督のもとで実践できる

[Ⅶ-6-A]医療保険、コスト、医療の質、そして医療アクセスを考慮した診療を、指導/監督のもとで実践できる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	6/24	09:00-10:20	遠隔授業	高齢者包括評価	金子 英司	④動画とクイズ

			(非同期型)			
2	6/24	10:30-11:50	遠隔授業 (同期型)	プライマリ・ケア	和田 忠志	①②③⑤講義と クイズ
3	6/24	13:00-14:10	医学科講 義室1	B型肝炎-感染被害拡大 と再発防止について考 える-(患者講演あり)	中川 美奈 山口 久美子	①⑤講演、グル ープ討論
4	6/24	14:20-15:40	医学科講 義室1	チーム医療入門 事前 討論	中川 美奈 金子 英司 山口 久美子	②③⑤グループ 討論
5-8	6/25	09:00-16:00	遠隔授業 (同期型)	チーム医療入門 ワー クショップ	山脇 正永 金子 英司 中川 美奈 山口 久美子 岡田 英理子 赤石 雄 沼 沢 益行	①②③④⑤グル ープ討論
9-13	6/26	09:00-16:30	遠隔授業 (同期型)	チーム医療入門 ワー クショップ	山脇 正永 金子 英司 中川 美奈 山口 久美子 鹿島田 彩子 沼沢 益行	①②③④⑤グル ープ討論
14	6/27	09:00-10:20	アクティ ブラーニ ング教室 遠隔授業 (同期型)	チームで臨床試験を 計画しよう	長堀 正和 神谷 尚宏	⑤⑥グループ討 論
15	6/27	10:30-11:50	アクティ ブラーニ ング教室 遠隔授業 (同期型)	チームで臨床試験を 計画しよう	長堀 正和 神谷 尚宏	⑤⑥グループ討 論
16	6/27	12:50-14:10	アクティ ブラーニ ング教室 遠隔授業 (同期型)	臨床法医学1 損傷の見 方	鵜沼 香奈	⑤講義、クイズ
17	6/27	14:20-15:40	アクティ ブラーニ ング教室 遠隔授業 (同期型)	臨床法医学2 異状死体 の取扱い	鵜沼 香奈	⑤講義、クイズ
18	6/28	09:00-10:20	アクティ ブラーニ ング教室	regulatory science1	GEARY ED WARD STE WART	⑥講義、途中クイ ズに答える
19	6/28	10:30-11:50	アクティ ブラーニ ング教室	regulatory science2	GEARY ED WARD STE WART	⑥講義、途中クイ ズに答える

20-21	6/28	12:50-15:40	5 階学生 実習室 6 階学生実 習室	医歯学連携実習	鶴田 潤, 中 川 美奈, 則 武 加奈子	①②③グループ 内で発表・討論を 行う
22	7/1	12:50-14:10	遠隔授業 (同期型)	医療保険	藍 真澄	⑤動画とクイズ
23	7/1	14:20-15:40	遠隔授業 (非同期 型)	メンタルヘルスを保つた めに	平井 伸英	⑦動画とクイズ

授業方法

Zoom による同期型/非同期型授業、対面での講義・グループワーク・実習とする。

講義・グループ討論・自己学習とプレゼンテーションほか授業によってさまざまな方法を用いる。

成績評価の方法

包括医療統合教育①および②をあわせて3分の2以上の出席が必須。

- 1) 講義終了後の課題(50%、時間数に応じて配分)
- 2) チーム医療入門終了後の課題(10%)
- 3) チーム医療入門グループ課題(5%)
- 4) チーム医療入門のチューターからの評価(5%)
- 5) 医歯学連携実習の事前及び終了後課題(5%)
- 6) B 型肝炎 一感染被害拡大と再発防止について考える一(患者講演あり)の課題(5%)

包括医療統合教育の成績としては、前年度提出したキャリア形成のレポート提出課題の成績(20%)と合わせて評価する。ただし()内の%は最終成績における%を示す。

成績評価の基準

提出された課題を採点し、チューターからの評価と合わせ、60%を超えれば B 以上の評価とし、評価は点数に応じて行う。

キャリア形成のレポートが未提出の場合は他の点数で 60%を超えていても不合格とする。

期日までに課題を提出する、自己管理能力が求められる。

準備学習等についての具体的な指示

- ・講義・講演の前には授業内容を確認し、予習しておくこと。
- ・チーム医療入門の前には WebClass「チーム医療入門」に用意された要項およびシナリオに目を通し、必要に応じて参考資料、補助教材を用い予習をおこなうこと。
- ・医歯学連携実習は WebClass「医歯学連携実習」に用意された事前学習資料に目を通し、期日までに「医歯学連携実習」のコースにて事前課題を提出すること。

試験の受験資格

以下の1)2)3)を達成した学生について、提出課題の内容に応じて成績判定を行う。

- 1) 2 日間のチーム医療入門に参加し、期日までに課題を提出する。
- 2) 医歯学連携実習に参加し、期日までに課題を提出する。
- 3) 「B 型肝炎 一感染被害拡大と再発防止について考える一(患者講演あり)」の講義に出席し、期日までに課題を提出する。

1)2)の出席確認はチューターが行う。長時間にわたりカメラオフミュートで応答がない場合は欠席とみなすことがある。

3)の出席は課題提出をもって確認する。

やむを得ず欠席する場合は、事前に教務係にメールで連絡をすること。欠席した時限数に応じて追加の実習及び試験形式の課題を課す。

教科書

患者中心の医療の方法／Maira Stewart [ほか] 原著；若手医師によるグローバルにプライマリ・ケアを考えるための翻訳研究会
訳 Stewart, Maira, Brown, Judith Belle, Weston, W. Wayne, McWhinney, Ian R., McWilliam, Carol L., Freeman, Thomas R., 葛西, 龍樹, 若手医師による
グローバルにプライマリ・ケアを考えるための翻訳研究会, 羊土社, 2021

履修上の注意事項 グループワークにおける遅刻や中座はグループメンバーおよび本人の学習の大きな妨げとなるので、正当な理由のない遅刻や中座は欠席とみなす。
備考 5 年次および 6 年次に行われる本科目は、2 つをあわせて 1 つの科目として評価する。 2023 年度のコース評価より、 オンデマンドを増やす希望があったため、可能な授業をオンデマンド化した。
参照ホームページ - チーム医療 全日本病院協会. chromextension://efaidnbmnnnibpcajpcgclefindmkaj/https://www.ajha.or.jp/guide/pdf/080821.pdf - 東京医科歯科大学版 口腔機能管理マニュアル. https://www.tmd.ac.jp/medhospital/topics/180905/index.html
連絡先(メールアドレス) 山脇 正永:myamawaki.merd@tmd.ac.jp
オフィスアワー 山脇 正永:毎週金曜日 12 時～13 時、その他でも随時受け付けます。事前にメールで連絡してください。

時間割番号	011600				
科目名	疫学基礎			科目ID	
担当教員					
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1～6	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
全て日本語で行う					
主な講義場所 アクティブラーニング教室(M&D タワー4 階図書館本館)					
授業の目的、概要等 授業目的 疫学の基礎を理解する。 概要 疫学の基礎を理解し、臨床研究論文を適切に解釈し執筆するための土台をつくる。					
授業の到達目標 臨床疫学研究を実施するにあたり必要となる疫学の知識を身に着ける。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	5/8	18:00-19:30	アクティ ブラーニ ング教室 遠隔授業 (同期型)	疫学概論	谷 友香子
2	5/15	18:00-19:30	アクティ ブラーニ ング教室 遠隔授業 (同期型)	疾患の測定、感度と特 異度	谷 友香子
3	5/22	18:00-19:30	アクティ ブラーニ ング教室 遠隔授業 (同期型)	疫学研究のデザイン、 生態学的研究	谷 友香子
4	5/29	18:00-19:30	アクティ ブラーニ ング教室 遠隔授業 (同期型)	交絡因子、妥当性と信頼 性	谷 友香子
5	6/5	18:00-19:30	アクティ ブラーニ ング教室	サンプリング、横断研究	谷 友香子
6	6/12	18:00-19:30	アクティ ブラーニ ング教室 遠隔授業 (同期型)	コホート研究、ケースコ ントロール研究	谷 友香子
7	6/19	18:00-19:30	アクティ ブラーニ	ランダム化比較試験、 バイアス	谷 友香子

			ング教室 遠隔授業 (同期型)			
8	6/26	18:00-19:30	アクティ ブラーニ ング教室 遠隔授業 (同期型)	Critical Appraisal	谷 友香子	

授業方法
科目担当者の講義による。

授業内容
別表のとおり。

成績評価の方法
8回のうち 5 回以上の出席が必要で、成績評価は提出レポート内容(50 点)と参加状況(50 点)を総合して評価する。

準備学習等についての具体的な指示
講義概要に示す各担当教員の講義内容について、下記に示す参考書や文献などを参照して事前に予習することを勧める。また、事前に動画視聴などが必要な授業があるので、注意すること。

参考書
日本疫学会, はじめて学ぶやさしい疫学 第 3 版 南江堂; 2018.
木原正博. 疫学 -医学的研究と実践のサイエンス. メディカルサイエンスインターナショナル. 2010
Gordis L. Epidemiology. 6th edition. Philadelphia: Elsevier; 2018

履修上の注意事項
講義への出席は必須である。また、課されたレポート等は必ず提出すること。

時間割番号	011610				
科目名	生物統計学基礎			科目ID	
担当教員	高橋 邦彦, 安齋 達彦[TAKAHASHI Kunihiro, ANZAI Tatsuhiko]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1～6	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
全て日本語で行う					
主な講義場所 アクティブラーニング教室(M&D タワー4 階図書館本館) (オンライン参加も可能)					
授業の目的、概要等					
授業目的 生物統計学の基礎を復習し理解する。					
概要 生物統計学の基本的な解析手法についての復習および理解を深め, 臨床疫学研究における適用について学習する。					
授業の到達目標 問題に応じて適切な統計手法を選択, 適用できるとともに, 解析結果を解釈できる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	5/7	18:00-19:30	アクティ ブラーニ ング教室 遠隔授業 (同期型)	生物統計学概論	高橋 邦彦, 安齋 達彦
2	5/14	18:00-19:30	アクティ ブラーニ ング教室 遠隔授業 (同期型)	平均の比較	高橋 邦彦, 安齋 達彦
3	5/21	18:00-19:30	アクティ ブラーニ ング教室 遠隔授業 (同期型)	頻度の比較	高橋 邦彦, 安齋 達彦
4	5/28	18:00-19:30	アクティ ブラーニ ング教室 遠隔授業 (同期型)	分散分析, 検定の多重 性, 多重比較	高橋 邦彦, 安齋 達彦
5	6/4	18:00-19:30	アクティ ブラーニ ング教室 遠隔授業 (同期型)	相関と回帰	高橋 邦彦, 安齋 達彦
6	6/11	18:00-19:30	アクティ ブラーニ ング教室 遠隔授業 (同期型)	交絡調整のための多変 量解析1:共分散分析, 重 回帰分析	高橋 邦彦, 安齋 達彦

7	6/18	18:00~19:30	アクティブラーニング教室 遠隔授業 (同期型)	交絡調整のための多変量解析 2:Mantel-Haenszel, ロジスティック回帰分析	高橋 邦彦 安齋 達彦
8	6/25	18:00~19:30	アクティブラーニング教室 遠隔授業 (同期型)	生存時間解析: Kaplan-Meier 法, ログラ ンク検定, Cox 比例ハザ ードモデル	高橋 邦彦 安齋 達彦

授業方法
科目担当者の講義による。

授業内容
別表のとおり。

成績評価の方法
成績評価は提出レポート内容(50%)と参加状況(50%)を総合して評価する。

準備学習等についての具体的な指示
講義概要に示す各担当教員の講義内容について、下記に示す参考書や文献などを参照して事前に予習することを勧める。

参考書

- ・古川俊之(監修), 丹後俊郎(著). 医学への統計学. 第3版. 朝倉書店. 2013.
- ・Pagano M, Gauvreau K. Principles of Biostatistics. 2nd ed. CRC Press. 2000.

時間割番号	011620				
科目名	生物統計学応用Ⅰ			科目ID	
担当教員	高橋 邦彦, 安齋 達彦, 星野 崇宏, 服部 聡, 野間 久史[TAKAHASHI Kunihiro, ANZAI Tatsuhiko, HOSHINO Takahiro, HATTORI Satoshi, NOMA Hisashi]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1～6	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
全て日本語で行う					
主な講義場所 アクティブラーニング教室(M&D タワー4 階図書館本館) (オンライン参加も可能)					
授業の目的、概要等 授業目的 生物統計学の発展的な内容であるベイズ統計学およびメタアナリシスについて理解する。 概要 生物統計学を応用した発展的な課題として、ベイズ統計学およびメタアナリシスの基本的事項と実践について学習する。					
授業の到達目標 ベイズ統計学を適用した推論、および少数例のメタアナリシスの実践を行うことができるようになる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/18	18:00-19:30	アクティブラーニング教室 遠隔授業 (同期型)	ベイズ統計学の基礎1	高橋 邦彦
2	9/25	18:00-19:30	アクティブラーニング教室 遠隔授業 (同期型)	ベイズ統計学の基礎2	安齋 達彦
3	10/2	18:00-19:30	アクティブラーニング教室 遠隔授業 (同期型)	メタアナリシスの基礎1	高橋 邦彦
4	10/9	18:00-19:30	アクティブラーニング教室 遠隔授業 (同期型)	メタアナリシスの基礎2	高橋 邦彦
5	10/16	18:00-19:30	アクティブラーニング教室 遠隔授業 (同期型)	ベイズアプローチによる因果効果推定と疫学への応用	星野 崇宏
6	10/23	18:00-19:30	アクティブラーニング教室	空間疫学研究におけるベイズ統計学の応用	高橋 邦彦

			遠隔授業 (同期型)		
7	11/6	18:00-19:30	アクティ ブラーニ ング教室 遠隔授業 (同期型)	メタアナリシスの実践1: ネットワークメタアナリ シス	野間 久史
8	11/20	18:00-19:30	アクティ ブラーニ ング教室 遠隔授業 (同期型)	メタアナリシスの実践2: 診断法のメタアナリシス	服部 聡

授業方法
科目担当者の講義による。

授業内容
別表のとおり。

成績評価の方法
成績評価は提出レポート内容(50%)と参加状況(50%)を総合して評価する。

準備学習等についての具体的な指示
講義概要に示す各担当教員の講義内容について、下記に示す参考書や文献などを参照して事前に予習することを勧める。

参考書

- ・Lesaffre E, Lawson AB. Bayesian Biostatistics. Wiley. 2012.
- ・Spiegelhalter DJ, Abrams KR, Myles JP. Bayesian Approaches to Clinical Trials and Health-Care Evaluation. Wiley. 2004.
- ・丹後俊郎, 横山徹爾, 高橋邦彦. 空間疫学への招待. 朝倉書店. 2007.
- ・丹後俊郎. 新版メタアナリシス入門. 朝倉書店. 2016.
- ・Borenstein M, et al. Introduction to Meta-Analysis. 2nd ed. Wiley. 2021.

時間割番号	011630				
科目名	生物統計学応用Ⅱ			科目ID	
担当教員	高橋 邦彦, 清水 秀幸, 安齋 達彦, 漆原 尚巳[TAKAHASHI Kunihiro, SHIMIZU Hideyuki, ANZAI Tatsuhiko, URUSHIHARA Hisashi]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1～6	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
全て日本語で行う					
主な講義場所 アクティブラーニング教室(M&D タワー4 階図書館本館) (オンライン参加も可能)					
授業の目的、概要等 授業目的 生物統計学の発展的な課題である薬剤疫学及び医療分野における AI の活用について理解する。 概要 生物統計学を応用した発展的な課題として, 薬剤疫学および医療分野における AI の活用について, その基本的事項と実践について学習する。					
授業の到達目標 薬剤疫学を適用した医薬品のリスク評価および医療分野における AI 分析結果の評価を行うことができるようになる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/17	18:00-19:30	アクティブラーニング教室 遠隔授業 (同期型)	薬剤疫学の研究デザインと評価指標(1)	高橋 邦彦
2	9/24	18:00-19:30	アクティブラーニング教室 遠隔授業 (同期型)	薬剤疫学の研究デザインと評価指標(2)	高橋 邦彦
3	10/1	18:00-19:30	アクティブラーニング教室 遠隔授業 (同期型)	薬剤のリスクマネージメントとシグナル検出	安齋 達彦
4	10/8	18:00-19:30	アクティブラーニング教室 遠隔授業 (同期型)	薬剤疫学研究の実践	漆原 尚巳
5	10/15	18:00-19:30	アクティブラーニング教室 遠隔授業 (同期型)	医療 AI のための基礎 (1)	高橋 邦彦, 安齋 達彦
6	10/22	18:00-19:30	アクティブラーニング教室 遠隔授業 (同期型)	医療 AI のための基礎 (2)	高橋 邦彦, 安齋 達彦

			ング教室 遠隔授業 (同期型)		
7	11/5	18:00-19:30	アクティ ブラーニ ング教室 遠隔授業 (同期型)	医療 AI の実践(1)	清水 秀幸
8	11/12	18:00-19:30	アクティ ブラーニ ング教室 遠隔授業 (同期型)	医療 AI の実践(2)	清水 秀幸

授業方法
科目担当者の講義による。

授業内容
別表のとおり。

成績評価の方法
成績評価は提出レポート内容(50%)と参加状況(50%)を総合して評価する。

準備学習等についての具体的な指示
講義概要に示す各担当教員の講義内容について、下記に示す参考書や文献などを参照して事前に予習することを勧める。

参考書

- ・くすりの適正使用協議会. 実例で学ぶ薬剤疫学の第一歩. レーダー出版センター. 2008.
- ・佐藤俊哉, 山口拓洋, 石黒智恵子(編). これからの薬剤疫学. 朝倉書店. 2021.
- ・景山茂, 久保田潔(編). 薬剤疫学の基礎と実践. 改訂第3版. ライフサイエンス出版. 2021.
- ・Naqa I, Murphy M (eds). Machine and Deep Learning in Oncology, Medical Physics and Radiology. Springer. 2022.

時間割番号	011640				
科目名	臨床試験方法論基礎			科目ID	
担当教員	平川 晃弘[HIRAKAWA Akihiro]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1～6	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
全て日本語で行う。					
主な講義場所 対面又は遠隔講義(ZOOM)					
授業の目的、概要等 授業目的 エビデンス創出に必要な臨床試験方法論の基本的考え方と臨床試験の計画と解析に必要な統計的事項を学習する。 概要 エビデンス創出に必要な臨床試験方法論の基本的考え方と臨床試験の計画と解析に必要な統計的事項(試験デザイン、ランダム化、盲検化、エンドポイント、解析対象集団、サンプルサイズ設計等)を体系的に学習する。					
授業の到達目標 研究目的や実施可能性を踏まえて、適切な臨床試験をデザインできるようになる。臨床試験の論文からそのエビデンスレベルを読み解けるようになる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	6/27	18:00-19:30	遠隔授業 (同期型)	臨床研究概論と様々な試験デザイン	平川 晃弘
2	7/2	18:00-19:30	遠隔授業 (同期型)	優越性試験と非劣性試験	平川 晃弘
3	7/4	18:00-19:30	遠隔授業 (同期型)	ランダム化と盲検化	平川 晃弘
4	7/9	18:00-19:30	遠隔授業 (同期型)	連続型・二値型エンドポイントとそのデータ解析法	平川 晃弘
5	7/11	18:00-19:30	遠隔授業 (同期型)	時間イベント型(生存時間)エンドポイントとそのデータ解析法	平川 晃弘
6	7/23	18:00-19:30	遠隔授業 (同期型)	解析対象集団と欠測データの処理(経時データ解析の基礎を含む)	平川 晃弘
7	7/25	18:00-19:30	遠隔授業 (同期型)	サンプルサイズ設計の考え方	平川 晃弘
8	7/30	18:00-19:30	遠隔授業 (同期型)	Innovative clinical trial methodology 入門	平川 晃弘
授業方法 科目担当者の講義による。					
授業内容 別表のとおり。					
成績評価の方法 8 回のうち 5 回以上の出席が必要で、成績評価は提出レポート内容(50 点)と参加状況(50 点)を総合して評価する。					
準備学習等についての具体的な指示 臨床試験方法論の基礎から学習するカリキュラムのため事前学習は必要としないが、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫					

理指針や ICH E9 (臨床試験のための統計的原則)を理解していることが望ましい。

参考書

”椿 広計 (編集), 佐藤 俊哉 (編集), 藤田 利治 (編集). これからの臨床試験—医薬品の科学的評価-原理と方法. 朝倉書店
内田一郎、芹生卓 (編集). (2022) 製薬医学入門:くすりの価値最大化をめざして. メディカル・サイエンス・インターナショナル”

時間割番号	011650				
科目名	臨床試験方法論応用			科目ID	
担当教員					
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1～6	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
全て日本語で行う。					
主な講義場所 対面又は/遠隔講義(ZOOM)					
授業の目的、概要等 授業目的 エビデンス創出に必要な臨床試験方法論の基本的考え方と臨床試験の計画と解析に必要な統計的事項を学習する。 概要 エビデンス創出に必要な臨床試験方法論の基本的考え方と臨床試験の計画と解析に必要な統計的事項(試験デザイン、ランダム化、盲検化、エンドポイント、解析対象集団、サンプルサイズ設計等)を体系的に学習する。					
授業の到達目標 研究目的や実施可能性を踏まえて、適切な臨床試験をデザインできるようになる。臨床試験の論文からそのエビデンスレベルを読み解けるようになる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/19	18:00-19:30	遠隔授業 (同期型)	中間解析と群逐次デザイン	平川 晃弘 佐藤 宏征
2	9/26	18:00-19:30	遠隔授業 (同期型)	アダプティブ臨床試験デザイン	平川 晃弘 佐藤 宏征
3	10/3	18:00-19:30	遠隔授業 (同期型)	ベイズ流臨床試験デザイン	平川 晃弘 佐藤 宏征
4	10/10	18:00-19:30	遠隔授業 (同期型)	がん臨床試験デザイン	平川 晃弘 佐藤 宏征
5	10/17	18:00-19:30	遠隔授業 (同期型)	マスタープロトコル試験	平川 晃弘 佐藤 宏征
6	10/24	18:00-19:30	遠隔授業 (同期型)	診断性能試験(ROC 解析による診断能評価)	平川 晃弘 佐藤 宏征
7	10/31	18:00-19:30	遠隔授業 (同期型)	予後・治療効果予測アルゴリズムの構築と検証法	平川 晃弘 佐藤 宏征
8	11/7	18:00-19:30	遠隔授業 (同期型)	これからの臨床試験(最近の話題)	平川 晃弘 佐藤 宏征
授業方法 科目担当者の講義による。					
授業内容 別表のとおり。					
成績評価の方法 8 回のうち 5 回以上の出席が必要で、成績評価は提出レポート内容(50 点)と参加状況(50 点)を総合して評価する。					
準備学習等についての具体的な指示 臨床試験方法論(基礎)を必ず受講すること。					
参考書 〃椿 広計(編集), 佐藤 俊哉(編集), 藤田 利治(編集). これからの臨床試験—医薬品の科学的評価-原理と方法. 朝倉書店					

時間割番号	011660				
科目名	口腔疫学基礎			科目ID	
担当教員					
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1～6	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
全て日本語で行う					
主な講義場所					
Zoom					
授業の目的、概要等					
授業目的					
歯科疫学の基礎を理解する。					
概要					
歯科口腔疾患の疫学の基礎を理解する。国際的なコンテキストを理解して論文がかけられる土台をつくる。					
授業の到達目標					
歯科・口腔保健分野で臨床疫学研究を実施するにあたり、基礎的な素養を身に着ける。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	7/1	18:00-19:30	遠隔授業 (同期型)	論文のコンテキスト: 歯科の記述疫学やEBMの理解	相田 潤
2	7/3	18:00-19:30	遠隔授業 (同期型)	観察研究を口腔保健領域の研究から理解する	相田 潤
3	7/8	18:00-19:30	遠隔授業 (同期型)	社会疫学を口腔保健領域の研究から理解する	木野 志保
4	7/10	18:00-19:30	遠隔授業 (同期型)	口腔保健分野のリアルワールドデータの解析	石丸 美穂
5	7/22	18:00-19:30	遠隔授業 (同期型)	口腔と全身の健康の関連とその批判	相田 潤
6	7/24	18:00-19:30	遠隔授業 (同期型)	既存データを利用した歯科疫学研究	松山 祐輔
7	7/29	18:00-19:30	遠隔授業 (同期型)	研究デザインを明確にした研究計画の立案	相田 潤
8	7/31	18:00-19:30	遠隔授業 (同期型)	研究計画発表	相田 潤
授業方法					
科目担当者の講義による。					
授業内容					
別表のとおり。					
成績評価の方法					
8回のうち5回以上の出席が必要で、成績評価は提出レポート内容(50点)と参加状況(50点)を総合して評価する。					
準備学習等についての具体的な指示					
講義概要に示す各担当教員の講義内容について、下記に示す参考書や文献などを参照して事前に予習することを勧める。また、事前に動画視聴などが必要な授業があるので、注意すること。					
履修上の注意事項					
講義への出席は必須である。また、課されたレポート等は必ず提出すること。					

時間割番号	011670				
科目名	疫学応用			科目ID	
担当教員					
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1～6	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
全て日本語で行う					
主な講義場所					
Zoom、図書館情報検索室 1 (M&D タワー4 階)					
授業の目的、概要等					
授業目的					
疫学の発展的な内容を理解する。					
概要					
疫学の発展的な内容を理解するために、統計ソフトを用いた解析の実際や発展的な内容を学習する。					
授業の到達目標					
疫学研究を実施するにあたり、発展的な知識や実践的な技術を身に着ける。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	10/4	18:00-19:30	遠隔授業 (同期型)	欠損値補完1	相田 潤
2	10/11	18:00-19:30	情報検索 室 1	欠損値補完2	相田 潤
3	10/18	18:00-19:30	遠隔授業 (同期型)	媒介分析と Structural Equation Modeling	伊角 彩、土 井 理美
4	10/21	18:00-19:30	情報検索 室 1	傾向スコアを利用した解 析1	谷 友香子
5	10/25	18:00-19:30	遠隔授業 (同期型)	マルチレベル分析	木野 志保
6	10/28	18:00-19:30	情報検索 室 1	傾向スコアを利用した解 析2	谷 友香子
7	11/1	18:00-19:30	遠隔授業 (同期型)	因果推論(DAG、IV、 RD、DID など)1	松山 祐輔
8	11/8	18:00-19:30	遠隔授業 (同期型)	因果推論(DAG、IV、 RD、DID など)2	木野 志保 石丸 美穂
授業方法					
科目担当者の講義による。					
授業内容					
別表のとおり。					
成績評価の方法					
8回のうち 5 回以上の出席が必要で、成績評価は提出レポート内容(50 点)と参加状況(50 点)を総合して評価する。					
準備学習等についての具体的な指示					
講義概要に示す各担当教員の講義内容について、下記に示す参考書や文献などを参照して事前に予習することを勧める。また、事前に動画視聴などが必要な授業があるので、注意すること。					
参考書					
Szklo M, Nieto FJ. 木原正博、木原雅子訳 アドバンスト分析疫学. メディカルサイエンスインターナショナル. 2020					
履修上の注意事項					
講義への出席は必須である。また、課されたレポート等は必ず提出すること。					

地域医療学習プログラム

時間割番号						
科目名	地域医療学習プログラム【茨城県】					
担当教員	石川 欽也					
開講時期	通年	対象年次	1～6			
英文名：						
主な講義場所 茨城県内各地						
授業の目的、概要等 セミナー等に出席し、茨城県の地域医療を取り巻く様々な課題について議論を行うとともに、将来勤務することとなる医師不足地域の医療機関等を実際に見学する。また、今後同じように地域医療を担うことになる他大学の地域枠修学生との交流を深める。						
授業の到達目標(SB0s) 茨城の地域医療への理解を深めるとともに仲間を作り、将来、茨城の地域医療を担う意欲と熱意を持つ。						
授業計画 ※日付・授業内容は予定であり、開催時に改めて通知する。						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	7～8 月頃		茨城県内	サマーセミナー(1～4 年)	病院見学、意見交換会等	茨城県地域医療支援センターキャリアコーディネーター、教育インストラクター等
			茨城県内	サマーセミナー(5 年)	グループディスカッション、病院見学、交流会	
			茨城県内	サマーセミナー(6 年)	症例発表会、講演会	
2	12 月下旬頃		茨城県内	修学生の集い	症例発表会、学生企画、交流会	
3	2～3 月頃		茨城県内	スプリングセミナー(1～5 年)	病院紹介(オンライン)	
授業方法 セミナー、グループディスカッション、交流会等による。						
授業内容 ・病院見学(研修医との意見交換含む) ・症例発表会または学生企画の聴講 ・他大学修学生や修学生医師、指導医等との交流						
成績評価の方法 セミナー等への出席状況及び欠席した場合に課せられるレポートの内容を踏まえ、年度毎に茨城県地域医療支援センターキャリアコーディネーター又は教育インストラクターが評価を行い、それを元に担当教員が最終判定する。						
成績評価の基準 毎年度3回開催(予定)されるサマーセミナー、修学生の集い、スプリングセミナーに合計で2／3以上の回数を出席すること。 ※欠席した場合には、レポート提出により出席とみなす。 ※6年生については、カリキュラム内の診療参加型臨床実習を茨城県内医療機関で1週間以上行った場合には、実習の評価に応じて、最大で2回出席相当の加点を行う。 ※令和元年度(2019 年度)スプリングセミナー、令和2年度(2020 年度)サマーセミナーについては、新型コロナウイルスの感染拡大を考慮し一律中止としたため、成績評価の対象外とする。						
準備学習などについての具体的な指示 必要に応じて、セミナー等の開催前に県から資料等を送付するため、開催日までに目を通しておくこと。						
試験の受験資格 本学医学部医学科試験内規に準じる。 なお、欠席した場合には、レポートの提出により出席扱いとする。						
教科書 なし						
参考書 なし						
他科目との関連 なし						

履修上の注意事項

- ・毎年度、開催されるセミナー及び修学生の集いのうち、2／3以上の出席が必要。
- ・セミナー等の日程のうち、一部のみ出席した場合の扱いについては、その都度、県が判断する。
- ・欠席した場合は、後日課されるテーマについてのレポートを提出することで出席とみなす。

備考

時間割番号					
科目名	地域医療学習プログラム【埼玉県】				
担当教員	橋本 正良				
開講時期	通年	対象年次	1～6		
英文名：					
主な講義場所 埼玉県内各地					
授業の目的、概要等 埼玉県が実施するオリエンテーションや医学生向けバスツアーに出席し、地域医療に対する意識を醸成するとともに、キャリア形成面談や臨床研修マッチング制度説明会を通して制度理解を深め、キャリアイメージを涵養する。また、今後埼玉県の地域医療を担う同僚となる他の奨学金貸与生との交流を深める。					
授業の到達目標(SBOs) 埼玉県の地域医療について理解し、将来埼玉県で医師としてどのようなキャリアを歩むかをイメージするとともに、他の奨学金貸与生との人脈を構築する。					
授業計画 ※日付は予定であり、開催時に改めて通知する。					
回	日付	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	2月頃	オンライン	埼玉県臨床研修病院合同説明会(1～6年)	説明会への参加とレポートの提出	埼玉県総合医局機構キャリアコーディネーター、埼玉県職員、病院担当者等
2	2月頃	—	学生生活及び学習状況確認(1年)	学生生活や自習の取組状況について、県にヒアリングシートを提出	
3	2～3月頃	埼玉県内もしくはオンライン	臨床研修マッチング制度説明会(5年)	マッチング制度説明会	
4	2～3月頃	埼玉県内もしくはオンライン	キャリア形成面談(6年)	将来希望する診療科やキャリアを確認	
5	3月頃 及び 8月頃	埼玉県内	医学生向けバスツアー(2～4年)	県内医療機関見学会	
6	随時	埼玉県内もしくはオンライン	奨学金貸与者交流会(1～6年)	学生交流会、地域医療教育センター見学会	
7	通年	—	地域医療を理解する～埼玉県の医療～(1～6年)	県が指定する動画教材の中から1つを選択・視聴し、レポートを提出	
8	通年	埼玉県内	埼玉県の病院見学(1～6年)	県内の病院を3ヶ所以上見学し、レポートを提出 ※必ず特定地域の公的医療機関を1ヶ所以上含めること	
9	未定	埼玉県内もしくはオンライン	女性医師キャリア形成支援イベント	イベントへの参加とレポートの提出 イベントの内容は未定(R4は12月に若手医師・医学生の働き方講演会(WEB)を実施)	
特定地域の公的医療機関(令和6年3月1日現在) 県立循環器・呼吸器病センター、秩父市立病院、東松山市立市民病院、深谷赤十字病院、済生会加須病院、小川赤十字病院、国民健康保険町立小鹿野中央病院					
授業方法 説明会、レポート提出、交流会等による。					

授業内容 ・動画視聴 ・病院見学 ・他大学修学生や修学生医師、指導医等との交流 ・キャリアコーディネーターとの面談															
成績評価の方法 参加・出席・レポートの提出で評価															
成績評価の基準 1年…必須題目に出席すること。 2年…必須題目に加え、選択題目の中から1以上の題目を選択し出席すること。 3年…必須題目に加え、選択題目の中から1以上の題目を選択し出席すること。 4年…必須題目に加え、選択題目の中から1以上の題目を選択し出席すること。 5年…必須題目に出席すること。 6年…必須題目に出席すること。 <table> <tr> <th>必須題目</th><th>選択題目</th></tr> <tr> <td>1年: 学生生活及び学習状況確認</td><td>・埼玉県臨床研修病院合同説明会(※2)</td></tr> <tr> <td>2年: 地域医療を理解する～埼玉県の医療～(※1)</td><td>・医学生向けバスツアー (2～4年のうち1回のみ選択可)</td></tr> <tr> <td>3年: 地域医療を理解する～埼玉県の医療～(※1)</td><td>・奨学金貸与者交流会</td></tr> <tr> <td>4年: 埼玉県臨床研修病院合同説明会(※2)</td><td>・地域医療を理解する～埼玉県の医療～(※1)</td></tr> <tr> <td>5年: 臨床研修マッチング制度説明会、埼玉県の病院見学(※2)</td><td>・埼玉県の病院見学(※2)</td></tr> <tr> <td>6年: キャリア形成面談</td><td>・女性医師キャリア形成支援イベント</td></tr> </table> ※1 テーマの重複は不可。 ※2 同年度中に必須題目と同じ題目を選択題目とすることは不可。		必須題目	選択題目	1年: 学生生活及び学習状況確認	・埼玉県臨床研修病院合同説明会(※2)	2年: 地域医療を理解する～埼玉県の医療～(※1)	・医学生向けバスツアー (2～4年のうち1回のみ選択可)	3年: 地域医療を理解する～埼玉県の医療～(※1)	・奨学金貸与者交流会	4年: 埼玉県臨床研修病院合同説明会(※2)	・地域医療を理解する～埼玉県の医療～(※1)	5年: 臨床研修マッチング制度説明会、埼玉県の病院見学(※2)	・埼玉県の病院見学(※2)	6年: キャリア形成面談	・女性医師キャリア形成支援イベント
必須題目	選択題目														
1年: 学生生活及び学習状況確認	・埼玉県臨床研修病院合同説明会(※2)														
2年: 地域医療を理解する～埼玉県の医療～(※1)	・医学生向けバスツアー (2～4年のうち1回のみ選択可)														
3年: 地域医療を理解する～埼玉県の医療～(※1)	・奨学金貸与者交流会														
4年: 埼玉県臨床研修病院合同説明会(※2)	・地域医療を理解する～埼玉県の医療～(※1)														
5年: 臨床研修マッチング制度説明会、埼玉県の病院見学(※2)	・埼玉県の病院見学(※2)														
6年: キャリア形成面談	・女性医師キャリア形成支援イベント														
準備学習などについての具体的な指示 各イベントの開催前に必要に応じて資料等を送付するため、開催日までに目を通しておくこと。															
試験の受験資格 本学医学部医学科試験内規に準じる。 なお、欠席した場合には、レポートの提出により出席扱いとする。															
教科書 なし															
参考書 なし															
他科目との関連 なし															
履修上の注意事項 ・一部のみ出席した場合の扱いについては、その都度、県が判断する。 ・欠席した場合は、後日県から課すテーマについてのレポートを提出することで出席とみなす。															
備考															

3時間割番号					
科目名		地域医療学習プログラム【長野県】			
担当教員		宮坂 尚幸			
開講時期		通年	対象年次	1～6	
英文名:					
主な講義場所					
信州大学医学部附属病院、同医学部講義室、東京医科歯科大学講義室、長野県内病院 等					
授業の目的、概要等					
長野県地域特別枠で入学した学生が、長野県が行う地域医療に関する研修会や長野県内の病院が実施する病院実習等に参加することにより、長野県内の地域医療に関する知識や技能を習得するとともに、将来、地域医療に従事する意識の醸成と県内への定着を図ることを目的とする。					
授業の到達目標(SB0s)					
本プログラムを通じて、長野県の地域医療の実情について理解を深め、将来、自身が貢献すべきことを思考するとともに、他の修学資金貸与学生や医師との連帯・協力意識を養う。					
授業計画 (具体的な日付は開催時に改めて通知予定)					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	2024.6	10:30	信州大学医学部附属病院	スタートアップセミナー	信州大学医学部地域医療推進学教室教員
2	2024.8	13:00	市立大町総合病院(予定)	地域医療の現場研修	担当医師他
3	2024.8	10:00	信州大学松本キャンパス	夏季交流会	信州大学医学部地域医療推進学教室教員
4	2024.10	10:30	東京医科歯科大学	秋季研修会	信州大学医学部地域医療推進学教室教員 外部講師
5	2024.10	10:00	信州大学医学部	女性医師キャリア形成支援イベント	信州大学医学部地域医療推進学教室教員 医師
9	2024.11	10:00	信州大学医学部	ブラッシュアップセミナー	信州大学医学部地域医療推進学教室教員 医師・修学資金貸与医師
6	2025.3	13:00	諏訪中央病院(予定)	春季研修会	信州大学医学部地域医療推進学教室教員 担当医師・修学資金貸与医師
7	未定 複数回	未定	東京ビッグサイト、 オンライン 等	病院合同説明会 (レジナビ等)	県内臨床研修指定病院担当職員
8	11 回 予定	別途 通知	動画視聴	地域枠セミナー	信州大学医学部地域医療推進学教室教員
11	随時	6 年通算 で 6 日	県内病院	病院実習	県内病院指導医

成績評価の基準

長野県が行う面談及び研修会に以下のとおり出席すること。

- ・面 談…毎年1回以上（2年生～6年生）
- ・研修会等…在学中を通じて「講義研修」については「標準時間換算 32 時間以上」、「実技研修」については「標準時間換算 33 時間以上」受講

(1) 標準時間 6 時間以上の講義研修(1日研修)には毎年度1回以上の出席を必須とする※¹

(2) 実技研修の機会に限定的であり、一部自ら計画すること※²

(3) 標準時間4時間以下の講義研修(半日研修)には、できるだけ受講することが望ましい。ただし、スタートアップセミナーと地域医療の現場研修会は1年次では必修とする(当該年度不参加の場合には、翌年度の参加が必要)。

※1:単年度において、この条件が満たされない場合には、長野県がテーマ等を指定する地域医療に関するレポート(2,000 字程度)を提出すること(6 年間のうち 2 回まで可)で出席に代えられる。

※2:個人で申し込む場合には、同一施設で 3 日以上(18 時間)の病院実習、6 年生については、大学カリキュラム内の臨床実習を長野県医療機関で行った場合は、3 日(18 時間)を上限として実技研修の受講とみなす。

準備学習などについての具体的な指示

信州保健医療総合計画(長野県のホームページで閲覧可)にて、長野県の医療に関して一定の知識を得ておくことが望ましい。

試験の受験資格

本学医学部医学科試験内規に準じる。

教科書

特になし

参考書

特になし

他科目との関連

特になし

履修上の注意事項

修学資金貸与医師や他大学の学生と交流することにより、縦と横のつながりを在学中から構築していくことが、将来、長野県の地域医療に従事する際に重要であることから、可能な限り各種セミナー、講演会等に出席することが望ましい。

また、長野県内の病院や地域医療の実情に直接触れることが重要であることから、県内病院で行う病院実習を積極的に活用すること。

備考

「成績評価の基準」に用いている「標準時間数」の基本的な考え方は以下の通り。なお、標準時間の換算に当たっては、研修内容等により実時間数に3分の2を乗じて換算する場合もある。

- ・標準時間6時間以上の研修(1日研修)…実時間4時間超8時間以内の研修
- ・標準時間4時間以下の研修(半日研修)…実時間2時間超4時間以内の研修

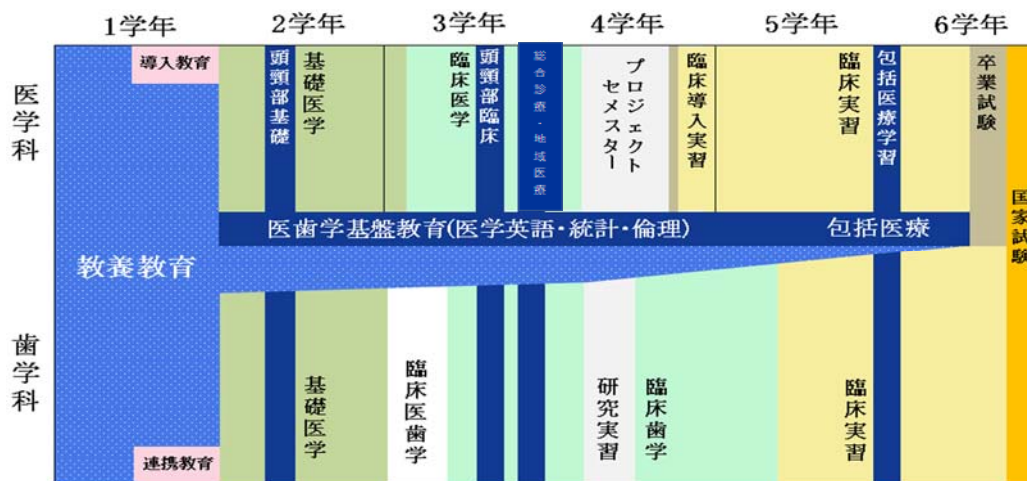
研究実践プログラム

時間割番号	011095				
科目名	研究実践プログラムⅠ～Ⅴ				
担当教員					
開講時期	前期	対象年次	2～6	単位数	10
英文名: Research Training Program					
授業の目的、概要等 第2学年開始時に、講義形式の教室(研究室)紹介を行い、その後配属先を登録する。 配属先分野で、授業時間外を利用して研究を実践する。 定期的に開催されるリサーチミーティングに参加して、学生同士で議論する。					
授業の到達目標 基礎医学分野のみならず、臨床医学分野に進んだ場合でも、医学者として研究を行う機会が多い。いわゆるトランスレーショナルリサーチを行うにも、強力な基礎研究力が必要である。そのためには、研究に興味がある学生は在学中から積極的に研究に触れることが大切である。本プログラムは医学科基礎系研究室、歯学系基礎研究室、生体材料工学研究所研究室、難治疾患研究所研究室が責任を持って学生を受け入れ、通常カリキュラムの時間外に実際の研究を指導する選択実習科目である。					
成績評価の方法 「研究実践プログラム」を選択科目として履修したい場合は、5月上旬(5日間程度)に設定された履修登録期間内に、医学教務係にて履修登録を行ってください。 「研究実践プログラム」は第2学年から第6学年まで履修することができますが、履修登録は毎年度行う必要があります。前年度履修していても翌年度履修登録を行わなければ辞退したものとみなします。 「研究実践プログラム」は毎年履修しても、一旦中断し、翌年度以降再度履修しても構いません。単位認定は毎年度末に行います(1年間の履修は2単位に相当)。					
準備学習などについての具体的な指示 それぞれの指導教員の指示に従う。					

【2022年度以前入学生のみ】

● 医歯学融合教育

ますます進む高齢化や医療の進歩および複雑化により、これからの医療には多職種間で連携・協調のとれた包括的医療が必要とされます。そこで本学では、医学部と歯学部を併せ持つ医療系総合大学としての特色を活かし、複数学科の学生がともに共通目標に向かって学ぶ融合教育カリキュラムを開発しました。具体的には、複数学科、特に医学科と歯学科の学生が卒業時に獲得しておくべき知識・技能・態度のうち、共通するものであり共同で学ぶことにより学習効果が高まるもの、そして将来の連携・協調のものと包括的医療提供のための基盤となるものを教育対象とし、以下のように6年間を通して様々な学習段階とともに教え合いながら学ぶ機会を創出しました。



● 医歯学基盤教育(2年次～4年次まで)

医学歯学を学ぶ上で基盤となる「英語」「臨床統計」「生命倫理」に関し、2年次から4年次にわたってともに学びます。従来「統計」「倫理」は医歯学専門教育の始まる前に行われていましたが、今回それらを関連する内容の専門教育と並行して配置し、そして内容をリンクさせることにより、学習効果を高める工夫を行いました。

● 頭頸部ブロック(2年次:頭頸部基礎(7月) 3年次:頭頸部臨床(1月))

頭頸部領域は、医師・歯科医師ともに診療にかかわる領域であり、医歯学生の両者にとっても非常に重要な領域です。医科および歯科の教員がそれぞれの得意分野を生かし、両学科の学生に同一の教育を行い、両学科の学生のより充実した学習につなげます。

2年次に行われる頭頸部基礎ブロックでは、頭頸部(頸から上の脳を除いた領域)に関する正常な構造・機能に関して、両学科の解剖学・生理学の教員が講義を行います。並行して2学科合同の実習を行い、知識の定着につなげます。

3年次に行われる頭頸部臨床ブロックでは、主として眼科・耳鼻咽喉科・頭頸部外科・形成外科・口腔外科の臨床5科の教員が臨床講義を行います。講義の形態として、患者参加型講義や症例基盤型学習機会なども用意される予定です。頭頸部領域の疾患を理解するうえで必要となる歯科・脳神経外科の講義の一部や頭頸部領域の病理実習もこの期間に含まれます。

● 総合診療・地域医療(旧老年医学)ブロック(3年次(2月))

高齢化が進む我が国の未来社会において、「高齢者」とその生理的変化、および、高齢者によくみられる病態を知ることは、医学科・歯学科両学生共に必須のこととなります。3年次に2週間で行われる総合診療・地域医療(旧老年医学)ブロックでは、医学科・歯学科合同の講義・実習を通じて高齢者について学びます。

● 包括医療学習(6年次)

6年次の最初に行われる包括医療学習では、専門知識・技能習得が進んだ医学部・歯学部の各学科最終学年の学生が一同に会し、各学科学生の混在する少人数グループ教育を行います。ここでは、症例シナリオをもとに、各学生がそれまでに学んだ知識・技能を振り返りながら統合・応用してグループとして共通の目標にむけて問題解決に取り組み、多職種間で連携・協調のとれた包括的医療を提供できる医療人となるための資質を養います。

【2022年度以前入学生のみ】

科目を履修して得られる能力
医学系コンピテンシーより

【2022年度以前入学生のみ】							医歯学基盤教育			頭頸部・基礎	頭頸部・臨床	総合診療・地域医療
							生命倫理	臨床統計	グローバル・コミュニケーション			
大領域	小領域	レベル	細目	レベル	細目							
国際人としての基盤	国際感覚/国際的視点	B	世界的に注目されている医学／歯学／健康に関する主たるトピックについて、議論できる			B	B	B	B	B	B	
	国際言語(英語)の運用力	B	科学/医学/歯学専門用語/表現の理解/表記/発音ができる			B	B	B	B	B	B	
医学/科学の発展への貢献	科学的探求	A	医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる						A	A	A	
		C	基礎的および臨床的研究の倫理的事項を説明できる			C						
		B	臨床的あるいは科学的問題提起ができる			B	B	B	B	B	B	
		B	実習実験を実施して結果を得ることができる						B			
		B	実習実験により得られた結果の意義を、口頭あるいは書面で明確に説明できる						B			
プロフェッショナリズム	品位、礼儀	A	他者の貢献、時間、価値感、人格を尊重し、常に敬意を払って接することができる			A	A	A	A	A	A	
		C	専門職にある者としての立場を理解している									C
	自己管理	A	メンタルストレスに直面した際、それを認識し、適切な解消を処置をとれる			A	A	A	A	A	A	
	患者との関係、職務上の優先性	C	患者との関係(情報漏洩、親密性、金品授受など)において適切な距離を維持する必要性を説明できる					C				C
		A	個人の生活における責務と医学科での学習及び社会的な責務について、適切にバランスを取ることができる			A	A	A	A	A	A	
		A	自立と監督・指導の必要性との適切なバランスを常に保つことができる						A			
	勤労習慣	A	時間厳守、信頼性、適切な準備、率先性、遂行能力を示すことができる			A	A	A	A	A	A	
		A	文書課題を、正確で判読しうる質にて作成し、規定期限内に提出できる			A	A	A	A	A	A	
	法規、機関内規、専門職社会内規範	A	本学を含めた当該機関内規、法律、専門職社会内規範を遵守できる			A	A	A	A	A	A	
	倫理	A	常に、誠実さ、正直さ、確実さをもって行動できる	B	常に、誠実さ、正直さ、確実さをもって行動する必要性を理解している	B				A		A
		A	他者への良識を逸する振舞い(無礼、短気など)を認識し、助言を求め、今後起こさぬよう振舞いを修正することができる			A	A	A	A	A	A	
		A	患者情報の守秘義務を守り、患者のプライバシーを尊重できる	B	守秘義務と患者プライバシーに関して説明できる	B		B				A
		C	インフォームドコンセントの重要性およびその過程を説明できる			C						
		A	記述、プレゼンテーション、論文、および研究情報などの利用において、著作権を尊重し、それに沿って行動できる	B	著作権侵害にあたる行動を列挙できる	BA	A	A	A	A	A	
		B	利益相反および回避するための行動を説明できる			B		B				
		B	企業との関係における倫理的な側面につき説明できる			B		B				
	振り返りを通した自己研鑽/生涯学習	A	自身の知識・能力・振舞いを批判的に省察し、長所と課題点を同定し、改善の為の学習目標を設定し、それを達成するのに適した学習活動に取り組むことができる			A	A	A		A	A	A
		A	自身に対するフィードバックにもとづき省察し自己改善を実現できる			A	A	A		A	A	A
		A	他人に建設的なフィードバックを適切な形で提示できる			A	A	A		A	A	A
		A	ポートフォリオを活用して、課題設定を行い、自己学習・自己研鑽できる			A	A	A		A	A	A

【2022年度以前入学生のみ】

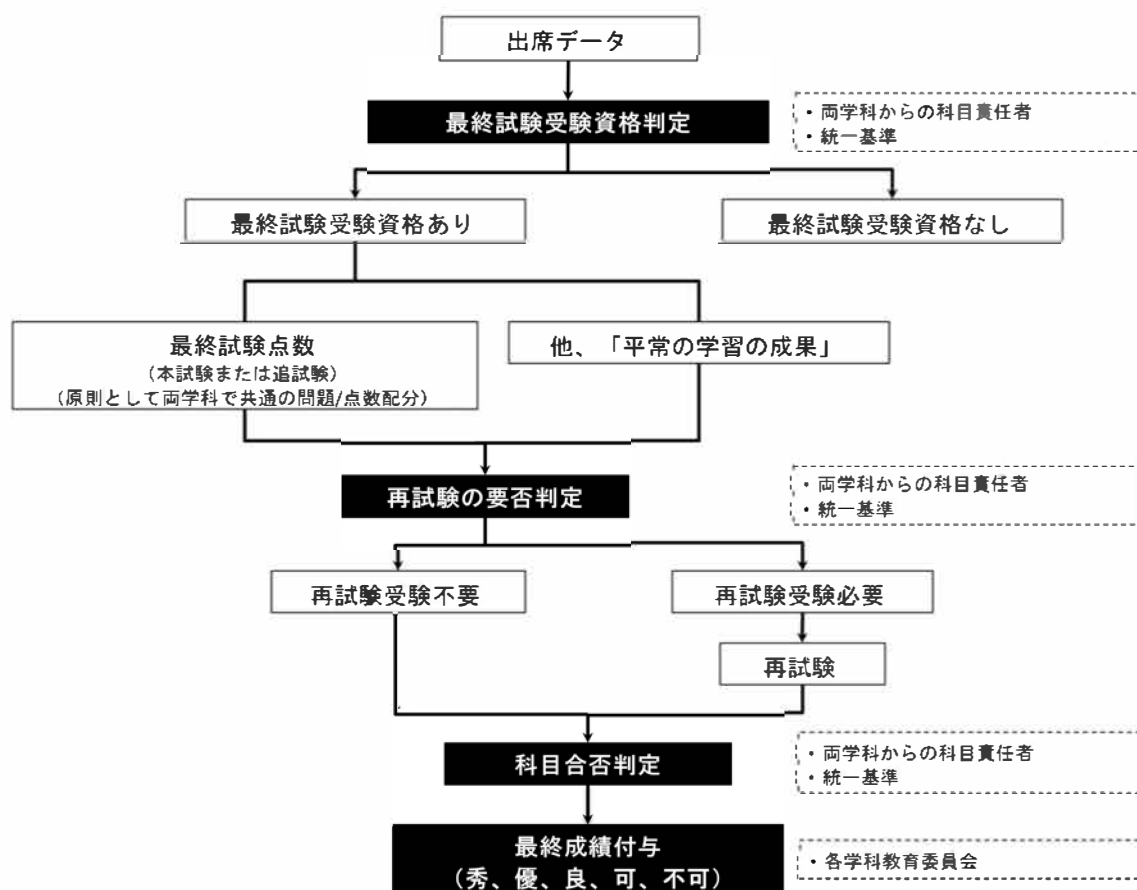
科目を履修して得られる能力
医学系コンピテンシーより

医歯学基盤教育				頭 頸 部 ・ 臨 床	頭 頸 部 ・ 臨 床	総 合 診 療 ・ 地 域 医 療
生 命 倫 理	臨 床 統 計	コ ミ ュ ニ ケー ション	グ ロー バル ・ ・ ・			

大領域	小領域	レベル	細目	レベル	細目						
コミュニケーション	医療チーム内/間コミュニケーション	B	書面にて、患者に関する臨床情報を統合し要約することができる							B	B
		B	多学科チームのすべてのメンバーと、敬意を払って効果的な議論ができる	C	多学科チームでの学習の場で、敬意を払って会話し、チームに貢献し学習できる	C	C	C	C	B	B
	患者および家族とのコミュニケーション	B	患者の様々な背景や文化がどれだけ医者・患者間のコミュニケーションに影響するかを説明できる			B		B			B
		B	重大で繊細な難しいトピック（sexual history、疾患名告知、退院計画議論、ターミナルケアなど）について患者や患者家族と議論する際に、配慮すべき点や重要な点を説明できる			B		B			
		C	患者中心の医療について説明できる			C		C			
知識とその応用	医学知識（基礎）	A	基礎医学の知識を疾患の病因・病態・臨床徴候などの理解に応用できる	B	疾患の病因・病態・臨床徴候などの理解に必要な基礎医学知識を提示できる				B	A	A
	医学知識（臨床）	B	頻度の高い疾患について、疫学/病因/病理/病態/症候/予後を説明できる							B	B
		C	症候／問題の原因評価において用いられる評価法についての知識（適応／合併症／限界）を提示できる							C	C
		B	頻度の高い疾患に対する治療法（薬物療法、非薬物療法の双方を含む）に関する知識を提示できる							B	B
	医療と社会	B	世界の健康の向上および増進のため、国際機関等の活動に参加する					B			
	予防と健康管理・増進	B	頻度の高い疾病についての予防戦略についての知識を提示できる							B	B
	歯科医学関連知識	B	診療上必要な歯科医学の知識を提示できる	C	歯科医学的側面を考慮した診療ができる				C	B	
		B	全身疾患と口腔疾患の関連を説明できる							B	B
診療の実践	EBM/臨床推論	B	診療上必要な歯科医学の知識を提示できる				B				
		A	臨床上の問題を明確化し、解決のために最適な情報源を選定できる	B	臨床上の問題を明確化できる		BA				
		A	臨床研究の吟味において、研究デザインや統計的手法についての知識を応用できる	B	研究デザインや統計的手法についての知識を提示できる	B	BA				
		A	適切な用語を用いて、医学的介入の利点と欠点を説明できる	B	医学的介入（予防/治療）に関するエビデンス吟味に用いられる用語（NNT、NNHなど）を説明できる		BA				
		B	仮想症例の臨床判断に際し、関連するエビデンスの質を判断できる	C	入手したエビデンスのレベルを正確に説明できる		CB				
		B	診療ガイドラインにアクセスし、仮想症例の検討に活用できる				B				
		A	適切な用語を用いて、患者の疾患可能性にもとづく診断的検査の意義を検討できる	B	診断に関するエビデンス吟味に用いられる用語（感度、特異度、尤度比など）を説明できる		BA				
		C	主要な症候をきたす病態/疾患を列挙できる							C	C
	身体診察	A	高齢者の機能的評価を行える								A
		C	臨床実習の学習項目に含まれる異常所見と、その診断的意義を説明できる							C	C
	医療・福祉制度の理解と応用	B	多学科チームでの仮想症例を通したチーム医療学習の場で、多職種よりなるチーム医療を成立させる医療・福祉システムを活用できる。								B
		B	仮想症例検討において、病院、診療所、福祉施設など、様々な診療提供システム・機関を活用できる								B
		B	医療体制の主な構成要素（患者、多職種にわたる医療供給者、医療機関、保険者、行政、医療産業（製薬会社等）、診療報酬、薬価）について、役割・意義を説明できる								B
		A	医療保険、コスト、医療の質、そして医療アクセスを考慮した診療を、指導/監督のもとで実践できる	B	医療アクセス、コスト、資源分配など、医療政策の重要な概念とそれらの関係、そして診療への影響を説明できる			B			A
		S	費用対効果研究、比較効果研究に関するエビデンスの批判的吟味ができ、診療への影響を説明できる				(S)				

医歯学融合教育科目における成績評価判定について

- 医歯学融合教育科目の受験資格判定、採点および合否判定は科目責任者が行う。
- 原則として、試験問題、採点および合否判定は両学科共通とする。
- 医学科・歯学科の各教育委員会で成績の判定をする。



コンピテンシー

大領域	小領域	細目(レベルS)	細目(レベルA=卒業時レベル)	細目(レベルB)	細目(レベルC)	細目(レベルD)
国際人としての基盤	一般教養		健康/医療/歯科医療に貢献する者として必要な、幅広い教養と豊かな感性を持つ			
	国際感覚/国際的視点	国際的視野を持った上で、実際に海外での活動(留学を含む)に参加する	世界的に注目されている医学/歯学/健康に関する主たるトピックについて精通するよう情報収集する習慣を有し、議論できる	世界的に注目されている医学／歯学／健康に関する主たるトピックについて、議論できる	世界的に注目されている医学／歯学／健康に関する主たるトピックについて、説明できる。	
	国際言語(英語)の運用力	海外での研究・臨床実習に参加することができる英語力を有する	医学/歯学における最新の情報を入手し、また発信できる英語力を有する	科学/医学/歯学専門用語/表現の理解/表記/発音ができる	非専門的(一般的)英語表現・英単語の表記・発音等ができる	
医学/科学の発展への貢献	科学的探求		医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる			
			基礎的および臨床的研究の倫理的事項に配慮して研究を実施できる	基礎的および臨床的研究の倫理的事項に配慮して実習を行える	基礎的および臨床的研究の倫理的事項を説明できる	
			未解決の臨床的あるいは科学的問題を認識し、仮説を立て、それを解決するための方法と資源を指導・監督のもとで見いだすことができる	臨床的あるいは科学的問題提起ができる		
			臨床や科学の興味ある領域での研究を、指導・監督のもとで実施できる	実習実験を実施して結果を得ることができる		
			自由研究で明らかになった新しい知見を、口頭および書面で明確に説明できる	実習実験により得られた結果の意義を、口頭あるいは書面で明確に説明できる		
プロフェッショナリズム	品位、礼儀		他者の貢献、時間、価値感、人格を尊重し、常に敬意を払って接することができる			
			専門職にある者として適切な服装、衛生管理、言葉遣い、態度、行動をとることができる	専門職にある者として適切な服装、衛生管理、言葉遣い、態度、行動を説明できる	専門職にある者としての立場を理解している	
			専門職務非遂行時においても、専門職種にふさわしい振舞いができる	専門職務非遂行時においても専門職種にふさわしい振舞いを説明できる		
	専門職としての対人関係		患者側要素に配慮した最適なアプローチにて、常に良好な医師・患者関係を築くことができる	患者の、文化、人種、年齢、社会経済的状況、性別、性嗜好、信仰、障害、その他の多様性に配慮した対応が行える	患者の、文化、人種、年齢、社会経済的状況、性別、性嗜好、信仰、障害、その他の多様性に配慮した対応を説明できる	
					文化的信条や慣習が専門職としての対人関係に与える影響を説明できる	
			患者および家族と、共感、敬意、思いやりをもって接することができる			
			医療における他の専門職との交流に際して、尊敬、共感、責任能力、信頼性、誠実さを示すことができる			
			診療において、患者や患者家族とのラポール構築のために必要な行動をとることができる	患者や患者家族とのラポール構築のために必要な行動を説明でき、同僚らに提示できる	ラポールについて説明できる	
	患者との関係、職務上の優先性		患者との関係(情報漏洩、親密性、金品授受など)における適切な距離を維持することが困難な場合あるいは維持できなかった場合に、それを認識でき、相談し、解決策や予防策を立てることができる	患者との関係(情報漏洩、親密性、金品授受など)において適切な距離を維持することができる	患者との関係(情報漏洩、親密性、金品授受など)において適切な距離を維持する必要性を説明できる	
			個人の生活における責務と医学科での学習及び社会的な責務について、適切にバランスを取ることができる			

大領域	小領域	細目(レベルS)	細目(レベルA=卒業時レベル)	細目(レベルB)	細目(レベルC)	細目(レベルD)
プロフェッショナリズム	患者との関係、職務上の優先性		自立と監督・指導の必要性との適切なバランスを常に保つことができる			
			臨床実習において、技能、知識、患者情報の欠如を認識し、必要に応じて援助を求めることができる			
	自己管理		メンタルストレスに直面した際、それを認識し、適切な解消処置をとれる	メンタルストレスやその対処法を説明できる		
			医療従事者の健康管理(予防接種を含む)を実践できる	医学生としての健康管理(予防接種を含む)の重要性を説明できる		
	勤労習慣		時間厳守、信頼性、適切な準備、率先性、遂行能力を示すことができる			
			文書課題を、正確で判読しうる質にて作成し、規定期限内に提出できる			
	法規、機関内規、専門職社会内規範		本学を含めた当該機関内規、法律、専門職社会内規範を遵守できる			
	倫理		常に、誠実さ、正直さ、確実さをもって行動できる	常に、誠実さ、正直さ、確実さをもって行動する必要性を理解している		
			他者への良識を逸する振舞い(無礼、短気など)を認識し、助言を求め、今後起こさぬよう振舞いを修正することができる			
			医療過誤、患者情報収集におけるエラーや、データの誤った説明などを、指導・監督者に報告できる	情報やデータ収集におけるエラーを認識し、学習グループのメンバーや指導・監督者に報告できる		
			他人による職務上の不正を認識し、省察やメンターや指導・監督者からの助言を得て倫理的に適切な対応を計画し、説明・遂行できる			
			患者情報の守秘義務を守り、患者のプライバシーを尊重できる	守秘義務と患者プライバシーに関して説明できる		
			臨床実習において、適切なインフォームドコンセントの取得に関与することができる	模擬患者から、インフォームドコンセントを取得することができる	インフォームドコンセントの重要性およびその過程を説明できる	
			記述、プレゼンテーション、論文、および研究情報などの利用において、著作権を尊重し、それに沿って行動できる	著作権侵害にあたる行動を列挙できる		
			利益相反が生じる可能性を認識し、適切に対処できる	利益相反および回避するための行動を説明できる		
			企業とは倫理的に適切な関係を保つことができる	企業との関係における倫理的な側面につき説明できる		
	振り返りを通した自己研鑽/生涯学習		自身の知識・能力・振舞いを批判的に省察し、長所と課題点を同定し、改善の為の学習目標を設定し、それを達成するのに適した学習活動に取り組むことができる			
			自身に対するフィードバックにもとづき省察し自己改善を実現できる	フィードバックの意義を説明でき、受容できる		

大領域	小領域	細目(レベルS)	細目(レベルA=卒業時レベル)	細目(レベルB)	細目(レベルC)	細目(レベルD)
プロフェッショナリズム	振り返りを通した自己研鑽/生涯学習		他人に建設的なフィードバックを適切な形で提示できる			
			ポートフォリオを活用して、課題設定を行い、自己学習・自己研鑽できる			
コミュニケーション	医療チーム内/間コミュニケーション		口頭および書面にて、患者に関する全ての臨床情報を統合し、わかりやすく要約することができる	書面にて、患者に関する臨床情報を統合し要約することができる		
			様々な状況において、問題解決のための適切なアプローチ法を用いて、患者情報を系統的に、正確に、かつ論理的に提示でき、関連する情報にもとづきアセスメント・プランを考察し提示できる	様々な状況(回診か、症例検討会か)(網羅的なプレゼンテーションが求められているのか、的を絞ったプレゼンテーションか)に即した形式で、患者情報を系統的に、正確に、かつ論理的に提示することができる	患者情報を系統的に、正確に、かつ論理的に提示することができる	
			診療録、指示書、処方箋などの書類を、正確で読みやすく、期限に遅れることなく作成することができる	診療録、指示書、処方箋の意義、記載内容、記載方法を説明できる		
			多職種チームのすべてのメンバーと、敬意を払って効果的な議論ができる	多学科チームのすべてのメンバーと、敬意を払って効果的な議論ができる	多学科チームでの学習の場で、敬意を払って会話し、チームに貢献し学習できる	
			診療の引き継ぎ(ローテーション終了時、転科、転院等)に際して、引き継ぐ診療チーム・診療提供者に、臨床情報を包括的、効果的かつ正確に提供することができる	外来/病棟勤務終了時に、完了したもの、中途のものを含めたすべての臨床情報と業務について、診療チームに効果的に報告することができる		
	患者および家族とのコミュニケーション		患者や患者家族と、誠実で、常に患者/患者家族をサポートする姿勢を保ちながら、コミュニケーションをとることができる	患者の様々な背景や文化がどれだけ医者-患者間のコミュニケーションに影響するかを説明できる		
			重大で繊細な難しいトピック(sexual history、疾患名告知、退院計画議論、ターミナルケアなど)についての患者や患者家族との議論に、診療チームの一員として参加する	重大で繊細な難しいトピック(sexual history、疾患名告知、退院計画議論、ターミナルケアなど)について患者や患者家族と議論する際に、配慮すべき点や重要な点を説明できる		
			監督・指導のもとに、患者や患者家族に提示すべき臨床所見/情報を列举・整理し、診療計画を作成し、指導教員に説明することができる			
			患者の病いの捉え方や、患者がケアにおいて最も重要だと考える案件を理解し対処できる	患者の病いの捉え方や、患者がケアにおいて最も重要だと考える案件を、患者から会話において聞き出すために効果的な技能を提示できる	患者中心の医療について説明できる	
知識とその応用	医学知識(基礎)		基礎医学の知識を疾患の病因・病態・臨床徴候などの理解に応用できる	疾患の病因・病態・臨床徴候などの理解に必要な基礎医学知識を提示できる		
	医学知識(臨床)		頻度の高い疾患について、疫学/病因/病理/病態/症候/予後の知識を診療に応用できる	頻度の高い疾患について、疫学/病因/病理/病態/症候/予後を説明できる		
			様々な症候／問題の原因評価において、適切な評価法を選定し、所見を適切に解釈できる	頻度の高い症候／問題の原因評価において、評価法についての知識(適応／合併症／限界)を応用できる	症候／問題の原因評価において用いられる評価法についての知識(適応／合併症／限界)を提示できる	
			様々な疾患に対する治療法(薬物療法、非薬物療法の双方を含む)に関する知識を診療に応用できる	頻度の高い疾患に対する治療法(薬物療法、非薬物療法の双方を含む)に関する知識を提示できる		
	医療と社会		社会医学の知識を、医療・保健活動に応用できる	社会医学の知識を提示できる		
		世界の健康の向上および増進のため、国際機関等の活動に参加する	世界の保健・医療課題を、疾病の発生状況、資源、制度、環境の視点から説明できる	世界の保健・医療関連事象の推移と地域分布を説明できる		

大領域	小領域	細目(レベルS)	細目(レベルA=卒業時レベル)	細目(レベルB)	細目(レベルC)	細目(レベルD)
知識とその応用	予防と健康管理・増進		頻度の高い疾病についての予防戦略についての知識を診療に応用できる	頻度の高い疾病についての予防戦略についての知識を提示できる		
		地域および行政機関等において、人々の健康の向上および増進のための活動に参加する	住民の健康状態を把握し、その向上及び増進のために必要な医療および保健指導を説明できる	様々な集団や場に特有の健康問題を説明できる		
	歯科医学関連知識		歯科医学的側面を考慮した診療ができる	診療上必要な歯科医学の知識を提示できる	顎・口腔領域の構造と機能を説明できる	
			全身疾患と口腔疾患の関連を考慮した診療ができる	全身疾患と口腔疾患の関連を説明できる		
診療の実践	EBM/臨床推論		臨床において、情報技術を利用し、適切な情報源/エビデンスを活用できる	情報技術を利用し、関連する情報源/エビデンスを発見できる	E-learning, 文献検索エンジンなどを利用できる	
			臨床上の問題を明確化し、解決のために最適な情報源を選定できる	臨床上の問題を明確化できる		
			臨床研究の吟味において、研究デザインや統計的手法についての知識を応用できる	研究デザインや統計的手法についての知識を提示できる		
			適切な用語を用いて、医学的介入の利点と欠点を説明できる	医学的介入(予防/治療)に関するエビデンス吟味に用いられる用語(NNT, NNHなど)を説明できる		
			監督・指導のもとで、臨床判断に際し、関連するエビデンスの質を判断し、個々の患者への適用可能性を判断できる	仮想症例の臨床判断に際し、関連するエビデンスの質を判断できる	入手したエビデンスのレベルを正確に説明できる	情報の信頼性および有用性について、批判的視点を持つ
			診療ガイドラインにアクセスし、診療に活用できる	診療ガイドラインにアクセスし、仮想症例の検討に活用できる		
			適切な用語を用いて、患者の疾患可能性にもとづく診断的検査の意義を検討できる	診断に関するエビデンス吟味に用いられる用語(感度、特異度、尤度比など)を説明できる		
			実際の症例の診断的評価に際し、臨床推論を行い、得られた情報から適切で漏れのない鑑別疾患を挙げられ、適切な診断的検査法を選定でき、適切に検査所見を解釈でき、適切な臨床診断に到達することができる	仮想症例の診断的評価に際し、臨床推論を行い、得られた情報から適切で漏れのない鑑別疾患を挙げられ、適切な診断的検査法を選定でき、適切に検査所見を解釈でき、適切な臨床診断に到達することができる	主要な症候をきたす病態/疾患を列挙できる	臨床推論にもとづく診断過程を説明できる
	病歴聴取		臨床実習の学習項目に挙げられる特定の状況(例、急性疼痛、高齢、小児、術前など)に応じた病歴を聴取できる	病歴聴取において、必要に応じて、患者/家族以外の情報源(プライマリケア提供医や、患者の診療に携わる他の医師・ケア提供者)も利用できる	病歴を網羅的に、系統立てて聴取し、標準書式にまとめることができる	患者から基本的情報を収集・統合し、病歴の標準書式にまとめることができる
			救急診療やコンサルテーション等に際して、臨床推論にもとづき、聴取すべき病歴要素を選定/調整し、的を絞った病歴聴取ができる			
	身体診察		身体診察を網羅的に、系統立てて、適切な順序で滑らかに効率よく行える	身体診察を網羅的に、系統立てて、適切な順序で行える	成人の身体診察を、基本的要素ごとに行える	
			高齢者の機能的評価を行える			
			小児の成長／発達の評価を行える			

大領域	小領域	細目(レベルS)	細目(レベルA=卒業時レベル)	細目(レベルB)	細目(レベルC)	細目(レベルD)
診療の実践	身体診察		状況に応じた、的を絞った身体診察を、効率よく行える	臨床推論にもとづき、実施すべき身体診察要素を選定し、行える		
			診察において異常所見を認識・説明・記録でき、必要な病歴・診察を追加し、適切な鑑別疾患を列挙することができる	臨床実習の学習項目に含まれる異常所見を認識し、口頭で説明し、記録できる	臨床実習の学習項目に含まれる異常所見と、その診断的意義を説明できる	正常所見を説明できる
	臨床手技		コアカリキュラムの学習項目としてあげられた臨床手技を実施できる	コアカリキュラムの学習項目としてあげられた臨床手技を呈示できる(シミュレータ/模擬患者などで)	コアカリキュラムの学習項目としてあげられた臨床手技の方法/適応/合併症を説明できる	
	診療録記載		初診時診療録/入院時要約/週間要約/退院時要約を、適切なフォーマットに沿って、適切なプロブレムリスト構築のもと、臨床推論をSOAP形式で反映させ、正確に記載できる	初診時診療録/入院時要約/週間要約/退院時要約を、適切なフォーマットに沿って、SOAP形式で、記載できる		
			日々の診療録を、適切なフォーマットに沿って、日々の変化、適切な優先順位に配列したプロブレムリスト、そして臨床推論をSOAP形式で反映させ、正確に記載できる	日々の診療録を、SOAP形式で記載できる		
			再来受診の際の診療録を、適切なフォーマットに沿って、前回受診時からの変化、適切な優先順位に配列したプロブレムリスト、そして臨床推論をSOAP形式で反映させ、正確に簡潔に記載できる	再来受診の際の診療録を、SOAP形式で記載できる		
	患者管理		監督・指導のもとで、急性・慢性疾患を患う患者の、外来・病棟診療での管理ができる			
			安全で質の高い医療の提供の為に、状況に応じて指導医による監督・指導の必要性を適切に判断でき、求めることができる			
			監督・指導のもとで、退院計画や患者教育を含めた疾患管理・予防計画の策定ができる			
			診療の引き継ぎに際して、情報を効果的に伝えることができる	様々なセッティングにおける診療の引き継ぎに際して、伝えるべき情報とその形を説明できる		
	医療安全		感染に対する標準予防策(Standard precaution)にしたがい、清潔操作を行うことができる	感染に対する標準予防策(Standard precaution)を説明できる		
			感染患者隔離の必要な状況、および対処方法を説明できる	患者隔離の必要な感染症につき、感染経路や症候、予後、予防・治療を説明できる	感染患者隔離の対応に関する法的根拠を説明できる	
			針刺し事故、針刺し切創等を予防でき、かつ遭遇した際に適切に対処できる	針刺し事故、針刺し切創等の予防および遭遇した際の対処を説明できる	針刺し事故、針刺し切創等による感染症感染症につき、感染経路や症候、予後、予防・治療を説明できる	
			医療機関における医療安全管理体制の在り方を説明できる	医薬品、医療機器の安全管理体制を説明できる		
様々な制度・資源を考慮した診療	医療機関内の制度・資源の理解と活用		医療機関内インフラ(医療情報、医学情報、様々な診療部門、運営/管理業務)を活用できる	医療機関内インフラ(医療情報、医学情報、様々な診療部門、運営/管理業務)を説明できる		

大領域	小領域	細目(レベルS)	細目(レベルA=卒業時レベル)	細目(レベルB)	細目(レベルC)	細目(レベルD)
様々な制度・資源を考慮した診療	医療・福祉制度の理解と応用		多職種よりなるチーム医療を成立させる医療・福祉制度を、指導/監督のもと、活用できる	多学科チームでの仮想症例を通したチーム医療学習の場で、多職種よりなるチーム医療を成立させる医療・福祉システムを活用できる。	急性期、慢性期、および長期的ケアを含む医療の向上に向けた、様々な専門分野の協力にもとづくアプローチについて、説明できる	診療チームを構成するメンバーを同定し、彼らの役割を説明できる
			臨床実習において、指導/監督のもとで、病院、診療所、福祉施設など、様々な診療提供システム・機関を活用できる	仮想症例検討において、病院、診療所、福祉施設など、様々な診療提供システム・機関を活用できる	病院、診療所、福祉施設など、様々な診療提供システム・機関の役割を説明できる	
			様々な情報源(かかりつけ医、家族、地域の福祉職員や、入院および外来診療録など)から関連する情報を効果的に取得し、診療に活用することができる			
			医療体制の主な構成要素の役割・意義を理解・考慮した診療を、指導/監督のもとで実践できる	医療体制の主な構成要素(患者、多職種にわたる医療供給者、医療機関、保険者、行政、医療産業(製薬会社等)、診療報酬、薬価)について、役割・意義を説明できる		
			医療保険、コスト、医療の質、そして医療アクセスを考慮した診療を、指導/監督のもとで実践できる	医療アクセス、コスト、資源分配など、医療政策の重要な概念とそれらの関係、そして診療への影響を説明できる		
		費用対効果研究、比較効果研究に関するエビデンスの批判的吟味ができ、診療への影響を説明できる	医療政策の有効性が吟味でき、診療への影響を説明できる	医療制度や医療提供体制が、医療の質と量へ与える影響(特に異なる背景の患者間の格差、例：地域、年齢、医師の配置)を、説明できる	医療政策形成過程を説明できる	

別表 科目を履修して得られる能力(医学科第1学年)
医学科コンピテンシーより

			医学導入
大領域	小領域	細目	
国際人としての基盤	国際感覚/国際的視点	世界的に注目されている医学／歯学／健康に関する主たるトピックについて、議論できる	B
	国際言語(英語)の運用力	非専門的(一般的)英語表現・英単語の表記・発音等ができる	C
医学/科学の発展への貢献	科学的探求	医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる	A
		臨床的あるいは科学的問題提起ができる	B
プロフェッショナリズム	品位、礼儀	他者の貢献、時間、価値感、人格を尊重し、常に敬意を払って接することができる	A
		専門職にある者としての立場を理解している	C
	専門職としての対人関係	医療における他の専門職との交流に際して、尊敬、共感、責任能力、信頼性、誠実さを示すことができる	A
		ラポールについて説明できる	C
	患者との関係、職務上の優先性	患者との関係(情報漏洩、親密性、金品授受など)において適切な距離を維持する必要性を説明できる	C
		個人の生活における責務と医学科での学習及び社会的な責務について、適切にバランスを取ることができる	A
		自立と監督・指導の必要性との適切なバランスを常に保つことができる	A
	自己管理	メンタルストレスやその対処法を説明できる	B
		医学生としての健康管理(予防接種を含む)の重要性を説明できる	B
	勤労習慣	時間厳守、信頼性、適切な準備、率先性、遂行能力を示すことができる	A
		文書課題を、正確で判読しうる質にて作成し、規定期限内に提出できる	A
	法規、機関内規、専門職社会内規範	本学を含めた当該機関内規、法律、専門職社会内規範を遵守できる	A
	倫理	常に、誠実さ、正直さ、確実さをもって行動する必要性を理解している	B
		他者への良識を逸する振舞い(無礼、短気など)を認識し、助言を求め、今後起こさぬよう振舞いを修正することができる	A
		患者情報の守秘義務を守り、患者のプライバシーを尊重できる	A
		記述、プレゼンテーション、論文、および研究情報などの利用において、著作権を尊重し、それに沿って行動できる	A
	振り返りを通した自己研鑽/生涯学習	自身の知識・能力・振舞いを批判的に省察し、長所と課題点を同定し、改善の為の学習目標を設定し、それを達成するのに適した学習活動に取り組むことができる	A
		フィードバックの意義を説明でき、受容できる	B
プロフェッショナリズム	振り返りを通した自己研鑽/生涯学習	他人に建設的なフィードバックを適切な形で提示できる	A
		ポートフォリオを活用して、課題設定を行い、自己学習・自己研鑽できる	A
コミュニケーション	患者および家族とのコミュニケーション	患者の様々な背景や文化がどれだけ医者-患者間のコミュニケーションに影響するかを説明できる	B
		重大で繊細な難しいトピック(sexual history、疾患名告知、退院計画議論、ターミナルケアなど)について患者や患者家族と議論する際に、配慮すべき点や重要な点を説明できる	B
		患者中心の医療について説明できる	C
知識とその応用	医療と社会	世界の保健・医療関連事象の推移と地域分布を説明できる	B
診療の実践	EBM/臨床推論	E-learning, 文献検索エンジンなどを利用できる	C
		情報の信頼性および有用性について、批判的視点を持つ	D
		臨床推論にもとづく診断過程を説明できる	D
	病歴聴取	患者から基本的情報を収集・統合し、病歴の標準書式にまとめることができる	D
様々な制度・資源を考慮した診療	医療機関内の制度・資源の理解と活用	医療機関内インフラ(医療情報、医学情報、様々な診療部門、運営/管理業務)を説明できる	B
	医療・福祉制度の理解と応用	診療チームを構成するメンバーを同定し、彼らの役割を説明できる	D
		病院、診療所、福祉施設など、様々な診療提供システム・機関の役割を説明できる	C
		医療政策形成過程を説明できる	C

別表 科目を履修して得られる能力(医学科第2学年)
医学科コンピテンシーより

					人体構造総論	細胞生物学	神経生理導入	生理学	組織学	人体解剖学	薬理学	生化学	分子遺伝学	神経解剖学	免疫学	神経科学・基礎	感染・基礎	東洋医学	病理学	医動物学
大領域	小領域	細 目	学習方法	レベル																
国際人としての基盤	国際感覚/国際的視点	世界的に注目されている医学／歯学／健康に関する主たるトピックについて、議論できる	講義	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
	国際言語(英語)の運用力	科学/医学/歯学専門用語/表現の理解/表記/発音ができる	講義	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
医学/科学の発展への貢献	科学的探求	医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる	講義・実習	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
		基礎的および臨床的研究の倫理的事項に配慮して実習を行える	実習	B				B	B	B	B			B	B	B	B		B	
		臨床的あるいは科学的問題提起ができる	講義・実習	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
		実習実験を実施して結果を得ることができる	実習	B				B	B	B	B	B	B	B	B	B	B		B	B
		実習実験により得られた結果の意義を、口頭あるいは書面で明確に説明できる	実習	B				B	B	B	B	B	B	B	B	B	B		B	B
プロフェッショナリズム	品位、礼儀	他者の貢献、時間、価値感、人格を尊重し、常に敬意を払って接することができる	講義・実習	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
	患者との関係、職務上の優先性	患者との関係(情報漏洩、親密性、金品授受など)において適切な距離を維持する必要性を説明できる	実習	C						C										
		個人の生活における責務と医学科での学習及び社会的な責務について、適切にバランスを取ることができる	講義・実習	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
		自立と監督・指導の必要性との適切なバランスを常に保つことができる	実習	A				A	A	A	A	A	A	A	A	A	A		A	A
	自己管理	メンタルストレスに直面した際、それを認識し、適切な解消処置をとれる	講義・実習	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
		医学生としての健康管理(予防接種を含む)の重要性を説明できる	講義	B											B		B			
	勤労習慣	時間厳守、信頼性、適切な準備、率先性、遂行能力を示すことができる	講義・実習	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
		文書課題を、正確で判読しうる質にて作成し、規定期限内に提出できる	講義・実習	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
	法規、機関内規、専門職社会内規範	本学を含めた当該機関内規、法律、専門職社会内規範を遵守できる	講義・実習	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
	倫理	常に、誠実さ、正直さ、確実さをもって行動できる	講義・実習	A				A	A	A	A	A	A	A	A	A	A		A	A
		情報やデータ収集におけるエラーを認識し、学習グループのメンバーや指導・監督者に報告できる	講義・実習	B				B	B	B	B	B	B	B	B	B	B		B	B
		他人による職務上の不正を認識し、省察やメンターや指導・監督者からの助言を得て倫理的に適切な対応を計画し、説明・遂行できる	講義・実習	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
		記述、プレゼンテーション、論文、および研究情報などの利用において、著作権を尊重し、それに沿って行動できる	講義・実習	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
	振り返りを通した自己研鑽/生涯学習	自身の知識・能力・振舞いを批判的に省察し、長所と課題点を同定し、改善の為の学習目標を設定し、それを達成するのに適した学習活動に取り組むことができる	講義・実習	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
		自身に対するフィードバックにもとづき省察し自己改善を実現できる	講義・実習	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
		他人に建設的なフィードバックを適切な形で提示できる	講義・実習	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
		ポートフォリオを活用して、課題設定を行い、自己学習・自己研鑽できる	講義・実習	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
知識とその応用	医学知識(基礎)	疾患の病因・病態・臨床徴候などの理解に必要な基礎医学知識を提示できる	講義・実習	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
診療の実践	EBM/臨床推論	E-learning, 文献検索エンジンなどを利用できる	講義・実習	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
	医療安全	患者隔離の必要な感染症につき、感染経路や症候、予後、予防・治療を説明できる	講義	B													B			
		針刺し事故、針刺し創等による感染症感染症につき、感染経路や症候、予後、予防・治療を説明できる	講義	C													C			

別表 科目を履修して得られる能力(医学科第3学年)
医学科コンピテンシーより

[illegible]

別表 科目を履修して得られる能力(医学科第3学年)
医学科コンピテンシーより

				腫瘍学	法医学	行動科学	衛生学	公衆衛生学	臨床医学導入	循環器	呼吸器	消化器	器液体制御・泌尿	内分泌・代謝	血液・腫瘍	一般外科	神経科学・臨床	骨・関節・脊椎	皮膚・アレルギ―・膠原病	感染・臨床
大領域	小領域	細目	レベル																	
プロフェッショナリズム	振返りを通した自己研鑽/生涯学習	他人に建設的なフィードバックを適切な形で提示できる	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
		ポートフォリオを活用して、課題設定を行い、自己学習・自己研鑽できる	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
コミュニケーション	医療チーム内/間コミュニケーション	書面にて、患者に関する臨床情報を統合し要約することができる	B							B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
	患者および家族とのコミュニケーション	患者の様々な背景や文化がどれだけ医者-患者間のコミュニケーションに影響するかを説明できる	B			B														
		重大で繊細な難しいトピック(sexual history、疾患名告知、退院計画議論、ターミナルケアなど)について患者や患者家族と議論する際に、配慮すべき点や重要な点を説明できる	B			B														
		患者中心の医療について説明できる	C			C		C												
知識とその応用	医学知識(基礎)	B: 疾患の病因・病態・臨床徴候などの理解に必要な基礎医学知識を提示できる A: 基礎医学の知識を疾患の病因・病態・臨床徴候などの理解に応用できる	BA	B					A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
	医学知識(臨床)	頻度の高い疾患について、疫学/病因/病理/病態/症候/予後を説明できる	B						B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
		症候／問題の原因評価において用いられる評価法についての知識(適応／合併症／限界)を提示できる	C						C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
		頻度の高い疾患に対する治療法(薬物療法、非薬物療法の双方を含む)に関する知識を提示できる	B						B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
	医療と社会	社会医学の知識を提示できる	B		B	B	B	B												
		B: 世界の保健・医療関連事象の推移と地域分布を説明できる A: 世界の保健・医療課題を、疾病の発生状況、資源、制度、環境の視点から説明できる	BA			BA		BA												
	予防と健康管理・増進	頻度の高い疾病についての予防戦略についての知識を提示できる	B					B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
		様々な集団や場に特有の健康問題を説明できる	B					B												
診療の実践	EBM/臨床推論	E-learning, 文献検索エンジンなどを利用できる	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
		研究デザインや統計的手法についての知識を提示できる	B					B												
		D: 臨床推論にもとづく診断過程を説明できる C: 主要な症候をきたす病態/疾患を列挙できる	DC						D	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
	病歴聴取	患者から基本的情報を収集・統合し、病歴の標準書式にまとめることができる	D						D											
	身体診察	成人の身体診察を、基本的要素ごとに行える	C						C											
		D: 正常所見を説明できる C: 臨床実習の学習項目に含まれる異常所見と、その診断的意義を説明できる	DC						D	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
	医療安全	感染に対する標準予防策(Standard precaution)を説明できる	B																	B
		C: 感染患者隔離の対応に関する法的根拠を説明できる B: 患者隔離の必要な感染症につき、感染経路や症候、予後、予防・治療を説明できる	CB					C			B	B								B
		C: 針刺し事故、針刺し切創等による感染症感染症につき、感染経路や症候、予後、予防・治療を説明できる B: 針刺し事故、針刺し切創等の予防および遭遇した際の対処を説明できる	CB									C								CB
診療の実践	医療安全	医薬品、医療機器の安全管理体制を説明できる	B			B														
		急性期、慢性期、および長期的ケアを含む医療の向上に向けた、様々な専門分野の協力にもとづくアプローチについて、説明できる	C			C											C	C		

別表 科目を履修して得られる能力(医学科第3学年)
医学科コンピテンシーより

[illegible]

別表 科目を履修して得られる能力(医学科第4学年)
医学科コンピテンシーより

				生殖・発達	救急・麻酔	自由選択学習	臨床導入実習
大領域	小領域	細目	レベル				
国際人としての基盤	国際感覚/国際的視点	A:世界的に注目されている医学/歯学/健康に関する主たるトピックについて精通するよう情報収集する習慣を有し、議論できる B:世界的に注目されている医学／歯学／健康に関する主たるトピックについて、議論できる	BA	B	B	A	
	国際言語(英語)の運用力	A:医学/歯学における最新の情報を入手し、また発信できる英語力を有する B:科学/医学/歯学専門用語/表現の理解/表記/発音ができる	BA	B	B	A	
医学/科学の発展への貢献	科学的探求	医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる	A	A	A	A	
		基礎的および臨床的研究の倫理的事項に配慮して研究を実施できる	A			A	
		A:未解決の臨床的あるいは科学的問題を認識し、仮説を立て、それを解決するための方法と資源を指導・監督のもとで見いだすことができる B:臨床的あるいは科学的問題提起ができる	BA	B	B	A	
		臨床や科学の興味ある領域での研究を、指導・監督のもとで実施できる	A			A	
		自由研究で明らかになった新しい知見を、口頭および書面で明確に説明できる	A			A	
プロフェッショナリズム	品位、礼儀	他者の貢献、時間、価値感、人格を尊重し、常に敬意を払って接することができる	A	A	A	A	A
		専門職にある者として適切な服装、衛生管理、言葉遣い、態度、行動を説明できる	B				B
		専門職務非遂行時においても専門職種にふさわしい振舞いを説明できる	B				B
	専門職としての対人関係	患者の、文化、人種、年齢、社会経済的状況、性別、性嗜好、信仰、障害、その他の多様性に配慮した対応が行える	B				B
		患者および家族と、共感、敬意、思いやりをもって接することができる	A				A
		医療における他の専門職との交流に際して、尊敬、共感、責任能力、信頼性、誠実さを示すことができる	A				A
		患者や患者家族とのラポール構築のために必要な行動を説明でき、同僚らに提示できる	B				B
プロフェッショナリズム	患者との関係、職務上の優先性	患者との関係(情報漏洩、親密性、金品授受など)において適切な距離を維持することができる	B				B
		個人の生活における責務と医学科での学習及び社会的な責務について、適切にバランスを取ることができる	A	A	A	A	A
		自立と監督・指導の必要性との適切なバランスを常に保つことができる	A			A	A
		臨床実習において、技能、知識、患者情報の欠如を認識し、必要に応じて援助を求めることができる	A				A
	自己管理	メンタルストレスに直面した際、それを認識し、適切な解消処置をとれる	A	A	A	A	A
		医学生としての健康管理(予防接種を含む)の重要性を説明できる	B				B
	勤労習慣	時間厳守、信頼性、適切な準備、率先性、遂行能力を示すことができる	A	A	A	A	A
		文書課題を、正確で判読しうる質にて作成し、規定期限内に提出できる	A	A	A	A	A
プロフェッショナリズム	法規、機関内規、専門職社会内規範	本学を含めた当該機関内規、法律、専門職社会内規範を遵守できる	A	A	A	A	A
	倫理	常に、誠実さ、正直さ、確実さをもって行動できる	A			A	A
		他者への良識を逸する振舞い(無礼、短気など)を認識し、助言を求め、今後起こさぬよう振舞いを修正することができる	A	A	A	A	A
		情報やデータ収集におけるエラーを認識し、学習グループのメンバーや指導・監督者に報告できる	B			B	
		他人による職務上の不正を認識し、省察やメンターや指導・監督者からの助言を得て倫理的に適切な対応を計画し、説明・遂行できる	A			A	
		守秘義務と患者プライバシーに関して説明できる	B				
		模擬患者から、インフォームドコンセントを取得することができる	B				B
		記述、プレゼンテーション、論文、および研究情報などの利用において、著作権を尊重し、それに沿って行動できる	A	A	A	A	A
		企業とは倫理的に適切な関係を保つことができる	A			A	
	振返りを通した自己研鑽/生涯学習	自身の知識・能力・振舞いを批判的に省察し、長所と課題点を同定し、改善の為の学習目標を設定し、それを達成するのに適した学習活動に取り組むことができる	A	A	A	A	A
		自身に対するフィードバックにもとづき省察し自己改善を実現できる	A	A	A	A	A
		他人に建設的なフィードバックを適切な形で提示できる	A	A	A	A	A
		ポートフォリオを活用して、課題設定を行い、自己学習・自己研鑽できる	A	A	A	A	A
コミュニケーション	医療チーム内/間コミュニケーション	書面にて、患者に関する臨床情報を統合し要約することができる	B	B	B		B
		患者情報を系統的に、正確に、かつ論理的に提示することができる	C				C

別表 科目を履修して得られる能力(医学科第4学年)
医学科コンピテンシーより

				生殖・発達	救急・麻酔	自由選択学習	臨床導入実習
大領域	小領域	細目	レベル				
コミュニケーション	医療チーム内/間コミュニケーション	診療録、指示書、処方箋などの書類を、正確で読みやすく、期限に遅れることなく作成することができる)	B				B
	患者および家族とのコミュニケーション	患者や患者家族と、誠実で、常に患者/患者家族をサポートする姿勢を保ちながら、コミュニケーションをとることができる	A				A
		重大で繊細な難しいトピック(sexual history、疾患告知、退院計画議論、ターミナルケアなど)について患者や患者家族と議論する際に、配慮すべき点や重要な点を説明できる	B				B
		患者の病いの捉え方や、患者がケアにおいて最も重要だと考える案件を、患者から会話において聞き出すために効果的な技能を提示できる	B				B
知識とその応用	医学知識(基礎)	基礎医学の知識を疾患の病因・病態・臨床徴候などの理解に応用できる	A	A	A	(A)	A
	医学知識(臨床)	頻度の高い疾患について、疫学/病因/病理/病態/症候/予後を説明できる	B	B	B		B
		B:頻度の高い症候／問題の原因評価において、評価法についての知識(適応／合併症／限界)を応用できる C:症候／問題の原因評価において用いられる評価法についての知識(適応／合併症／限界)を提示できる	CB	C	C		B
		頻度の高い疾患に対する治療法(薬物療法、非薬物療法の双方を含む)に関する知識を提示できる	B	B	B		B
	医療と社会	社会医学の知識を提示できる	B				B
	予防と健康管理・増進	頻度の高い疾病についての予防戦略についての知識を提示できる	B	B	B		B
		様々な集団や場に特有の健康問題を説明できる	B				B
	歯科医学関連知識	診療上必要な歯科医学の知識を提示できる	B				B
		全身疾患と口腔疾患の関連を説明できる	B				B
診療の実践	EBM/臨床推論	情報技術を利用し、関連する情報源/エビデンスを発見できる	B				B
		臨床上の問題を明確化し、解決のために最適な情報源を選定できる	A				A
		臨床研究の吟味において、研究デザインや統計的手法についての知識を応用できる	A				A
		適切な用語を用いて、医学的介入の利点と欠点を説明できる	A				A
		仮想症例の臨床判断に際し、関連するエビデンスの質を判断できる	B				B
		診療ガイドラインにアクセスし、仮想症例の検討に活用できる	B				B
		適切な用語を用いて、患者の疾患可能性にもとづく診断的検査の意義を検討できる	A				A
		B:仮想症例の診断的評価に際し、臨床推論を行い、得られた情報から適切で漏れない鑑別疾患を挙げられ、適切な診断的検査法を選定でき、適切に検査所見を解釈でき、適切な臨床診断に到達することができる C:主要な症候をきたす病態/疾患を列挙できる	CB	C	C		CB
	病歴聴取	A:臨床実習の学習項目に上げられる特定の状況(例、急性疼痛、高齢、小児、術前など)に応じた病歴を聴取できる B:病歴聴取において、必要に応じて、患者/家族以外の情報源(プライマリケア提供医や、患者の診療に携わる他の医師・ケア提供者)も利用できる C:病歴を網羅的に、系統立てて聴取し、標準書式にまとめることができる	CBA				CBA
		救急診療やコンサルテーション等に際して、臨床推論にもとづき、聴取すべき病歴要素を選定/調整し、的を絞った病歴聴取ができる	A				A
診療の実践	身体診察	B:身体診察を網羅的に、系統立てて、適切な順序で行える C:成人の身体診察を、基本的要素ごとに行える	CB				CB
		高齢者の機能的評価を行える	A				A
		小児の成長／発達の評価を行える	A	A			A
		臨床推論にもとづき、実施すべき身体診察要素を選定し、行える	B				B
		B:臨床実習の学習項目に含まれる異常所見を認識し、口頭で説明し、記録できる C:臨床実習の学習項目に含まれる異常所見と、その診断的意義を説明できる	CB	C	C		B
	臨床手技	B:コアカリキュラムの学習項目としてあげられた臨床手技を呈示できる(シミュレータ/模擬患者などで) C:コアカリキュラムの学習項目としてあげられた臨床手技の方法/適応/合併症を説明できる	CB				CB
	診療録記載	初診時診療録/入院時要約/週間要約/退院時要約を、適切なフォーマットに沿って、SOAP形式で、記載できる	B				B
		日々の診療録を、SOAP形式で記載できる	B				B
		再来受診の際の診療録を、SOAP形式で記載できる	B				B
	患者管理	様々なセッティングにおける診療の引き継ぎに際して、伝えるべき情報とその形を説明できる	B				B
診療の実践	医療安全	感染に対する標準予防策(Standard precaution)にしたがい、清潔操作を行うことができる	A				A
		患者隔離の必要な感染症につき、感染経路や症候、予後、予防・治療を説明できる	B	B	B		B

別表 科目を履修して得られる能力(医学科第4学年)
医学科コンピテンシーより

				生殖・発達	救急・麻酔	自由選択学習	臨床導入実習
大領域	小領域	細目	レベル				
診療の実践	医療安全	B:針刺し事故、針刺切創等の予防および遭遇した際の対処を説明できる C:針刺し事故、針刺切創等による感染症感染症につき、感染経路や症候、予後、予防・治療を説明できる	CB		C		B
		A:医療機関における医療安全管理体制の在り方を説明できる B:医薬品、医療機器の安全管理体制を説明できる	BA				BA
様々な制度・資源を考慮した診療	医療機関内の制度・資源の理解と活用	医療機関内インフラ(医療情報、医学情報、様々な診療部門、運営/管理業務)を説明できる	B				B
	医療・福祉制度の理解と応用	急性期、慢性期、および長期的ケアを含む医療の向上に向けた、様々な専門分野の協力にもとづくアプローチについて、説明できる	C	C	C		
		仮想症例検討において、病院、診療所、福祉施設など、様々な診療提供システム・機関を活用できる	B				B
		医療体制の主な構成要素の役割・意義を理解・考慮した診療を、指導/監督のもとで実践できる	A			(A)	
		医療保険、コスト、医療の質、そして医療アクセスを考慮した診療を、指導/監督のもとで実践できる	A			(A)	
		費用対効果研究、比較効果研究に関するエビデンスの批判的吟味ができ、診療への影響を説明できる	S			(S)	

別表 科目を履修して得られる能力(医学科第5・6学年)
医学科コンピテンシーより

				(医歯融合)包括医療 統合教育	臨床実習
大領域	小領域	細目	レベル		
国際人としての基盤	国際感覚/国際的視点	世界的に注目されている医学/歯学/健康に関する主たるトピックについて精通するよう情報収集する習慣を有し、議論できる	A		A
	国際言語(英語)の運用力	医学/歯学における最新の情報を入手し、また発信できる英語力を有する	A		A
医学/科学の発展への貢献		基礎的および臨床的研究の倫理的事項に配慮して実習を行える	B		B
プロフェッショナリズム	品位、礼儀	他者の貢献、時間、価値感、人格を尊重し、常に敬意を払って接することができる	A	A	A
		B:専門職にある者として適切な服装、衛生管理、言葉遣い、態度、行動を説明できる A:専門職にある者として適切な服装、衛生管理、言葉遣い、態度、行動をとることができる	BA	B	A
		B:専門職務非遂行時においても専門職種にふさわしい振舞いを説明できる A:専門職務非遂行時においても、専門職種にふさわしい振舞いができる	BA	B	A
	専門職としての対人関係	B:患者の、文化、人種、年齢、社会経済的状況、性別、性嗜好、信仰、障害、その他の多様性に配慮した対応が行える A:患者側要素に配慮した最適なアプローチにて、常に良好な医師・患者関係を築くことができる	BA	B	A
			BA	B	A
		患者および家族と、共感、敬意、思いやりをもって接することができる	A	A	A
		医療における他の専門職との交流に際して、尊敬、共感、責任能力、信頼性、誠実さを示すことができる	A	A	A
		診療において、患者や患者家族とのラポール構築のために必要な行動をとることができる	A		A
	患者との関係、職務上の優先性	患者との関係(情報漏洩、親密性、金品授受など)における適切な距離を維持することが困難な場合あるいは維持できなかった場合に、それを認識でき、相談し、解決策や予防策を立てることができる	A		A
		個人の生活における責務と医学科での学習及び社会的な責務について、適切にバランスを取ることができる	A	A	A
		自立と監督・指導の必要性との適切なバランスを常に保つことができる	A	A	A
		臨床実習において、技能、知識、患者情報の欠如を認識し、必要に応じて援助を求めることができる	A		A
	自己管理	メンタルストレスに直面した際、それを認識し、適切な解消処置をとれる	A	A	A
		医療従事者の健康管理(予防接種を含む)を実践できる	A		A
	勤労習慣	時間厳守、信頼性、適切な準備、率先性、遂行能力を示すことができる	A	A	A
		文書課題を、正確で判読しうる質にて作成し、規定期限内に提出できる	A	A	A
	法規、機関内規、専門職社会内規範	本学を含めた当該機関内規、法律、専門職社会内規範を遵守できる	A	A	A
	倫理	常に、誠実さ、正直さ、確実さをもって行動できる	A		A
		他者への良識を逸する振舞い(無礼、短気など)を認識し、助言を求め、今後起こさぬよう振舞いを修正することができる	A	A	A
		医療過誤、患者情報収集におけるエラーや、データの誤った説明などを、指導・監督者に報告できる	A	A	A
		他人による職務上の不正を認識し、省察やメンターや指導・監督者からの助言を得て倫理的に適切な対応を計画し、説明・遂行できる	A	A	A
		B:守秘義務と患者プライバシーに関して説明できる A:患者情報の守秘義務を守り、患者のプライバシーを尊重できる	BA	B	A
		C:インフォームドコンセントの重要性およびその過程を説明できる A:臨床実習において、適切なインフォームドコンセントの取得に関与することができる	CA	C	A
		記述、プレゼンテーション、論文、および研究情報などの利用において、著作権を尊重し、それに沿って行動できる	A	A	A
		B:利益相反および回避するための行動を説明できる A:利益相反が生じる可能性を認識し、適切に対処できる	BA	B	A
		B:企業との関係における倫理的な側面につき説明できる A:企業とは倫理的に適切な関係を保つことができる	BA	B	A
	振り返りを通した自己研鑽/生涯学習	自身の知識・能力・振舞いを批判的に省察し、長所と課題点を同定し、改善の為の学習目標を設定し、それを達成するのに適した学習活動に取り組むことができる	A	A	A
		自身に対するフィードバックにもとづき省察し自己改善を実現できる	A	A	A
		他人に建設的なフィードバックを適切な形で提示できる	A	A	A
		ポートフォリオを活用して、課題設定を行い、自己学習・自己研鑽できる	A	A	A
コミュニケーション	医療チーム内/間コミュニケーション	B:書面にて、患者に関する臨床情報を統合し要約することができる A:口頭および書面にて、患者に関する全ての臨床情報を統合し、わかりやすく要約することができる	BA	B	A

別表 科目を履修して得られる能力(医学科第5・6学年)
医学科コンピテンシーより

				(医歯薬)包括医療 統合教育	臨床実習
大領域	小領域	細目	レベル		
コミュニケーション	医療チーム内/間コミュニケーション	B:様々な状況(回診か、症例検討会か)(網羅的なプレゼンテーションが求められているのか、 的を絞ったプレゼンテーションか)に即した形式で、患者情報を系統的に、正確に、かつ論理的 に提示することができる A:様々な状況において、問題解決のための適切なアプローチ法を用いて、患者情報を系統的 に、正確に、かつ論理的に提示でき、関連する情報にもとづきアセスメント・プランを考察し提 示できる	BA		BA
		診療録、指示書、処方箋などの書類を、正確で読みやすく、期限に遅れることなく作成するこ とができる)	A		A
		B:多学科チームのすべてのメンバーと、敬意を払って効果的な議論ができる A:多職種チームのすべてのメンバーと、敬意を払って効果的な議論ができる	BA	B	A
		B:外来/病棟勤務終了時に、完了したもの、中途のものを含めたすべての臨床情報と業務につ いて、診療チームに効果的に報告することができる A:診療の引き継ぎ(ローテーション終了時、転科、転院等)に際して、引き継ぐ診療チーム・診 療提供者に、臨床情報を包括的、効果的かつ正確に提供することができる	BA		BA
	患者および家族とのコミュニケー ション	患者や患者家族と、誠実で、常に患者/患者家族をサポートする姿勢を保ちながら、コミュニ ケーションをとることができる	A		A
		B:重大で繊細な難しいトピック(sexual history、疾患名告知、退院計画議論、ターミナルケアな ど)について患者や患者家族と議論する際に、配慮すべき点や重要な点を説明できる A:重大で繊細な難しいトピック(sexual history、疾患名告知、退院計画議論、ターミナルケアな ど)についての患者や患者家族との議論に、診療チームの一員として参加する	BA		BA
		監督・指導のもとに、患者や患者家族に提示すべき臨床所見/情報を列挙・整理し、診療計画 を作成し、指導教員に説明することができる	A		A
		患者の病いの捉え方や、患者がケアにおいて最も重要だと考える案件を理解し対処できる	A		A
知識とその応用	医学知識(基礎)	基礎医学の知識を疾患の病因・病態・臨床徴候などの理解に応用できる	A	A	A
	医学知識(臨床)	頻度の高い疾患について、疫学/病因/病理/病態/症候/予後の知識を診療に応用できる	A	A	A
		様々な症候/問題の原因評価において、適切な評価法を選定し、所見を適切に解釈できる	A	A	A
		様々な疾患に対する治療法(薬物療法、非薬物療法の双方を含む)に関する知識を診療に応 用できる	A	A	A
	医療と社会	社会医学の知識を、医療・保健活動に応用できる	A	A	A
		世界の保健・医療課題を、疾病の発生状況、資源、制度、環境の視点から説明できる	A		A
	予防と健康管理・増進	頻度の高い疾病についての予防戦略についての知識を診療に応用できる	A	A	A
		住民の健康状態を把握し、その向上及び増進のために必要な医療および保健指導を説明で きる	A	A	A
	歯科医学関連知識	歯科医学的側面を考慮した診療ができる	A	A	A
		全身疾患と口腔疾患の関連を考慮した診療ができる	A	A	A
診療の実践	EBM/臨床推論	臨床において、情報技術を利用し、適切な情報源/エビデンスを活用できる	A		A
		臨床上の問題を明確化し、解決のために最適な情報源を選定できる	A		A
		臨床研究の吟味において、研究デザインや統計的手法についての知識を応用できる	A		A
		適切な用語を用いて、医学的介入の利点と欠点を説明できる	A	A	A
		監督・指導のもとで、臨床判断に際し、関連するエビデンスの質を判断し、個々の患者への適 用可能性を判断できる	A	A	A
		診療ガイドラインにアクセスし、診療に活用できる	A	A	A
		適切な用語を用いて、患者の疾患可能性にもとづく診断的検査の意義を検討できる	A	A	A
		B:仮想症例の診断的評価に際し、臨床推論を行い、得られた情報から適切で漏れのない鑑別 疾患を挙げられ、適切な診断的検査法を選定でき、適切に検査所見を解釈でき、適切な臨床 診断に到達することができる A:実際の症例の診断的評価に際し、臨床推論を行い、得られた情報から適切で漏れのない鑑 別疾患を挙げられ、適切な診断的検査法を選定でき、適切に検査所見を解釈でき、適切な臨 床診断に到達することができる	BA	B	A
	病歴聴取	臨床実習の学習項目に挙げられる特定の状況(例、急性疼痛、高齢、小児、術前など)に応じ た病歴を聴取できる	A		A
		救急診療やコンサルテーション等に際して、臨床推論にもとづき、聴取すべき病歴要素を選定 /調整し、的を絞った病歴聴取ができる	A		A
	身体診察	身体診察を網羅的に、系統立てて、適切な順序で滑らかに効率よく行える	A		A
		高齢者の機能的評価を行える	A	A	A

別表 科目を履修して得られる能力(医学科第5・6学年)
医学科コンピテンシーより

				(医歯薬)包括医療 統合教育	臨床実習
大領域	小領域	細目	レベル		
診療の実践	身体診察	小児の成長／発達の評価を行える	A		A
		状況に応じた、的を絞った身体診察を、効率よく行える	A		A
		診察において異常所見を認識・説明・記録でき、必要な病歴・診察を追加し、適切な鑑別疾患を列挙することができる	A	A	A
	臨床手技	コアカリキュラムの学習項目としてあげられた臨床手技を実施できる	A		A
	診療録記載	初診時診療録/入院時要約/週間要約/退院時要約を、適切なフォーマットに沿って、適切なプロブレムリスト構築のもと、臨床推論をSOAP形式で反映させ、正確に記載できる	A	A	A
		日々の診療録を、適切なフォーマットに沿って、日々の変化、適切な優先順位に配列したプロブレムリスト、そして臨床推論をSOAP形式で反映させ、正確に記載できる	A	A	A
		再来受診の際の診療録を、適切なフォーマットに沿って、前回受診時からの変化、適切な優先順位に配列したプロブレムリスト、そして臨床推論をSOAP形式で反映させ、正確に簡潔に記載できる	A	A	A
	患者管理	監督・指導のもとで、急性・慢性疾患を患う患者の、外来・病棟診療での管理ができる	A		A
		安全で質の高い医療の提供の為に、状況に応じて指導医による監督・指導の必要性を適切に判断でき、求めることができる	A		A
		監督・指導のもとで、退院計画や患者教育を含めた疾患管理・予防計画の策定ができる	A		A
		診療の引き継ぎに際して、情報を効果的に伝えることができる	A	A	A
	医療安全	感染に対する標準予防策(Standard precaution)にしたがい、清潔操作を行うことができる	A		A
		感染患者隔離の必要な状況、および対処方法を説明できる	A		A
		針刺し事故、針刺切創等を予防でき、かつ遭遇した際に適切に対処できる	A		A
		医療機関における医療安全管理体制の在り方を説明できる	A	A	A
様々な制度・資源を考慮した診療	医療機関内の制度・資源の理解と活用	医療機関内インフラ(医療情報、医学情報、様々な診療部門、運営/管理業務)を活用できる	A		A
	医療・福祉制度の理解と応用	B:多学科チームでの仮想症例を通したチーム医療学習の場で、多職種よりなるチーム医療を成立させる医療・福祉システムを活用できる。 A:多職種よりなるチーム医療を成立させる医療・福祉制度を、指導/監督のもと、活用できる	BA	B	A
		B:臨床実習において、指導/監督のもとで、病院、診療所、福祉施設など、様々な診療提供システム・機関を活用できる A:仮想症例検討において、病院、診療所、福祉施設など、様々な診療提供システム・機関を活用できる	BA	B	A
		様々な情報源(かかりつけ医、家族、地域の福祉職員や、入院および外来診療録など)から関連する情報を効果的に取得し、診療に活用することができる	A	A	A
		医療体制の主な構成要素の役割・意義を理解・考慮した診療を、指導/監督のもとで実践できる	A	A	A
		医療保険、コスト、医療の質、そして医療アクセスを考慮した診療を、指導/監督のもとで実践できる	A	A	A
		A:医療政策の有効性が吟味でき、診療への影響を説明できる S:費用対効果研究、比較効果研究に関するエビデンスの批判的吟味ができ、診療への影響を説明できる	(S)A	(S)	A

令和3年度
医学部医学科
学生周知事項

学 生 周 知 事 項

1. 連絡・通知

すべての告示、通知、連絡（試験関係、休講、講義室変更、奨学金関係、健康診断、授業料の納付、呼び出し等）は、Webclass（電子掲示板）により行います。

新たに掲示があった場合はメーリングリストで周知するので、1日に1回はメールを確認するよう心がけ、見落として不利益を被らないよう十分注意してください。

2. 電話等による学生の呼び出し

電話等による学生の呼び出しは、緊急かつ重大な場合以外には行わないので、各関係者に説明しておいてください。

3. 学生証

学生証は、本学の学生であることを証明するものです。

入学時に交付したものを6年間使用しますので、紛失や破損等しないよう大切に取り扱いってください。

なお、学生証は、定期試験受験時や通学定期券の購入時に提示を求められたら速やかに提示できるよう、常に携帯してください。

（1）再交付手続

学生証を紛失または破損した場合は、学務企画課（1号館西1階）に申し出て、再交付の手続きをとってください。再交付には費用を徴収し、再発行までに約1ヶ月近くかかりますので注意してください。

（2）返却

卒業、退学または除籍となった場合は、直ちに学生証を学務企画課へ返却してください。なお、返却できない場合は、再交付時と同様に実費を徴収します。

4. 証明書等

証明書等は、医学部医学教務掛にて発行するものと、自動発行機にて発行するものがあります。

（1）医学教務係（受付時間 8：30～17：15）

次に掲げるものは、医学教務係で発行しますので証明書交付願を提出してください。（交付は④を除き原則として交付願を受理した日の明後日となります。）

①成績証明書

②卒業見込証明書（第6学年在籍者のみ。）

③調査書

④英文の在学証明書（交付に1週間程度要します。）

⑤通学証明書（交通機関から請求された場合に限る。）

鉄道やバスの通学定期券を購入する場合は、住居の最寄り駅または大学の最寄り駅にて学生証を提示し、直接購入してください。

（2）自動発行機（利用時間 8：30～21：00）

在学証明書は、学生談話室（5号館4階）に設置されている「自動発行機」にて発行します。（問い合わせ先）学務企画課企画調査係（03-5803-5074）

5. 学生旅客運賃割引証（学割証）

（1）学生が課外活動や帰省などでJR線を利用する場合、乗車区間が片道100kmを超えるときに旅客運賃の割引（2割）受けることができます。

この制度は、修学上の経済的負担を軽減し、学校教育の振興に寄与することを目的とするものなので、計画的に使用すること。（年間使用限度は1人10枚、1回につき2枚までです。）

（2）次に掲げる行為があったときは、普通運賃の2倍の追徴金を徴収されるばかりでなく、本学の全学生に対する学割証の発行が停止されることがありますので、乱用または不正使用のないよう注意してください。

①他人名義の学割証を使って乗車券を購入したとき。

②名義人が乗車券を購入し、それを他人に使用させたとき。

③使用有効期間を経過したものを使用したとき。

（3）学割証は、学生談話室（5号館4階）に設置されている「自動発行機」にて発行します。（利用時間 8：30～21：00）

（問い合わせ先）学生支援事務室学生支援総括係（03-5803-5077）

6. 氏名・住所等の変更

本人または正副保証人の氏名または住所等（電話番号を含む。）に変更が生じた場合は、速やかに医学教務掛へ申し出て所定の手続きをとってください。

この手続きを怠った場合、大学から本人または保証人へ緊急に連絡する必要性が生じて、連絡が取れなくなる恐れがあるので注意してください。

7. 欠席、休学、復学、退学

（1）授業の欠席

病気または家庭の事情等で授業を欠席する（した）場合は、欠席届を医学教務係へ提出してください。（病気の場合は、必ず医師の診断書を添付してください。）

(2) 休学

病気その他の事由により、引き続き3ヶ月以上休学する場合は、休学願（保証人連署）を医学教務係へ提出し、学長の許可を受けてください。（病気の場合は、必ず医師の診断書を添付してください。）

なお、休学するにあたっては、事前に担任教員等と面談し、休学事由および休学によって生じる修学上の諸問題について十分相談してください。

また、休学を許可される期間は、通算して2年以内です。

（特別の事情があるときは、更に1年以内の休学が許可されることがあります。）

(3) 復学

休学している学生が、休学許可期間の途中または満了時に復学を希望する場合は、復学願（保証人連署）を医学教務係へ提出し、学長の許可を受けてください。（病気を理由に休学した場合は、復学可能である旨の医師の診断書を添付してください。）

疾病のため休学中の者が復学しようとするときは、保健管理センターを受診しなければなりません。

(4) 退学

病気その他の事由により、学業を継続することが困難となり、退学しようとする場合は、退学願（保証人連署）を医学教務係へ提出し、学長の許可を受けてください。なお、退学するにあたっては、事前に担任教員等と面談し、退学事由等について十分相談してください。

8. ロッカーの貸与

各人にロッカーを貸与します。（1年生は湯島キャンパスでの貸与はありません）
ロッカーでの盗難が多発していますので、貴重品等の管理は厳重にしてください。
また、各人の責による破損等については、各人の負担により原状に復してください。

9. 授業中（大学行事、課外授業を含む。）の事故等

入学時に加入した「学校教育災害傷害保険」（学研災）および「学生賠償責任保険」の対象となります。（詳細は「学生生活の手引き」を参照してください。）

なお、針刺し事故（B型・C型肝炎）が起こった場合は、医学教務係（03-5803-5120）へ連絡のうえ指示を受けた後、事故報告書を提出してください。

他人に対する針刺し事故については、上記の「学生賠償責任保険」保険の対象となります。

10. 遺失物および拾得物

学内での遺失物に関する問い合わせまたは拾得物の届け出は、下記のとおりです。

（1）講義室、実習室、ロッカー室・・・医学部医学教務係

(03-5803-5120)

(2) 上記(1)以外・・・・・・・・・・医学部総務課

(03-5803-5096)

11. その他

(1) クラブ、サークル等宛の郵便物等は、学生支援課の窓口で保管していますので、責任者は適宜確認してください。

なお、個人宛の郵便物等は、大学に配達されることがないようにお願いします。

(2) 事務の窓口

教務事務・・・・・・・・医学部医学教務係

(3号館6階・03-5803-5120)

授業料の納入・・・・・・・・財務部資金課収入管理係

(1号館西3階・03-5803-5048)

奨学金・授業料免除・・学生支援事務室学生支援総括係

(1号館西1階・03-5803-5077)

台風等の自然災害や交通機関運休による休講措置（湯島地区）

台風等の自然災害や交通機関運休に伴う湯島地区で行う授業、試験の休講措置等について

台風等の自然災害や交通機関運休に伴う授業の休講、試験の延長を決定した場合は、下記により本学のホームページ「学部・大学院」ニュース欄に掲載します。

○台風などで首都圏に直接災害が予想される場合

- ・ 午前の授業を休講、午前の試験を延期とする場合は、午前 6 時 3 0 分までに公示する。
- ・ 午後の授業を休講、午後の試験を延期とする場合は、午前 1 0 時までに公示する。
- ・ 夜間（午後 6 時以降）の授業を休講、夜間（午後 6 時以降）の試験を延期とする場合は、午後 4 時までに公示する。

○首都圏における交通機関（JR 及び大手私鉄・地下鉄など）が全面的に運転を休止している場合

- ・ 午前の授業を休講、午前の試験を延期とする場合は、午前 6 時 3 0 分までに公示する。
- ・ 午後の授業を休講、午後の試験を延期とする場合は、午前 1 0 時までに公示する。
- ・ 夜間（午後 6 時以降）の授業を休講、夜間（午後 6 時以降）の試験を延期とする場合は、午後 4 時までに公示する。

URL

<http://www.tmd.ac.jp/faculties/index.html>

諸 様 式

1 証明書交付願（自動発行機にて発行しているものを除く。）

証明書は、原則として請求日の翌日の午後以降発行する。（英文によるものを除く。）

2 住所・本籍地変更届

変更したことを証明する書類が必要です。（運転免許証、戸籍抄本）

3 改姓届（戸籍抄本添付）

4 保証人変更届

5 学生証紛失届・再交付願

6 紛失届

講義室，実習室，ロッカー室内での紛失物に関する届出

7 授業欠席届（病気の場合は「診断書」，忌引きの場合は「会葬状」添付）

病気その他特別な事情により授業を欠席する場合に提出。

8 追試験申請書（未提出者は，権利を喪失するので必ず提出すること。）

病気，他やむを得ない理由により定期試験を欠席した者は，原則当該定期試験終了後5日以内に医学教務係に提出

9 休学願

縦断チュートリアル担当教員又は教育委員の面談後，所定の欄に押印を受けてから提出

10 休学期間延長願

縦断チュートリアル担当教員又は教育委員の面談後，所定の欄に押印を受けてから提出

11 復学願

縦断チュートリアル担当教員又は教育委員の面談後，所定の欄に押印を受けてから提出

12 退学願

教育委員の面談後，所定の欄に押印を受けてから提出

医学部長	事務部長	次 長	課 長	課長補佐	掛 長	掛 員
専	専	専				

証 明 書 交 付 願

平成 年 月 日

医 学 部 長 殿

- ☐ 医学部医学科 第 学年
☐ 医学部保健衛生学科 第 学年
 (学専攻)
☐ 医学部医学科専攻生 (講座)
☐ 医学部保健衛生学科専攻生
 (学専攻)

学籍番号

氏 名 _____
(Name)

生年月日 昭和・平成 年 月 日生
(Date of Birth)

下記により証明書（和文・英文）の交付をお願いいたします。
(If you need English writing certificate, please feel free to ask the Educational Affairs Section.)

記

証明書の種類	枚 数	※証明書番号	請求理由及び提出先
1. 成績証明書			(請求理由)
2. 卒業見込証明書 (M6・N4・MT4のみ発行)			
3. 在学証明書 (英文及び専攻生のみ)			(提出先)
4. 在学期間証明 (専攻生のみ)			
5. 終了証明書 (専攻生のみ)			
6.			
7.			(備考)

- 注) 1. 「※証明書番号」欄は記入しないこと。
 2. 英文証明書を依頼する場合は、氏名欄にローマ字表記を合わせて記入すること。

医学部長	事務部長	次 長	課 長	課長補佐	掛 長	掛 員
専	専	専				

住 所 ・ 本 籍 地 変 更 届

平成 年 月 日

東京医科歯科大学医学部長 殿

- ☐ 医学部医学科 第 学年
- ☐ 医学部保健衛生学科 第 学年
(学専攻)
- ☐ 医学部医学科専攻生 (講座)
- ☐ 医学部保健衛生学科専攻生
(学専攻)

学籍番号

氏 名 _____

このたび、下記のとおり変更しましたのでお届けいたします。

記

変 更 者	☐ 本 人 ☐ 保 証 人								
☐ 住 所	〒 <table><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> - <table><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> TEL. _____								
☐ 本 籍 地									

注) 変更該当個所の□をチェックしてください

教務システム	債権変更	学 籍 簿	台 帳	名 簿

医学部長	事務部長	次 長	課 長	課長補佐	掛 長	掛 員
専	専	専				

改 姓 届

平成 年 月 日

東京医科歯科大学医学部長 殿

- ☐ 医学部医学科 第 学年
- ☐ 医学部保健衛生学科 第 学年
(学専攻)
- ☐ 医学部医学科専攻生 (講座)
- ☐ 医学部保健衛生学科専攻生
(学専攻)

学籍番号

氏 名 _____

このたび、下記のとおり改姓しましたのでお届けいたします。

記

(フリガナ) 旧 姓		(フリガナ) 新 姓	
(改姓理由)			

注) 戸籍抄本又は謄本を添付すること。

教務システム	債権変更	学 籍 簿	台 帳	名 簿

医学部長	事務部長	次長	課長	課長補佐	掛長	掛員
専	専	専				

保 証 人 変 更 届

平成 年 月 日

東京医科歯科大学医学部長 殿

- ☐ 医学部医学科 第 学年
- ☐ 医学部保健衛生学科 第 学年
(学専攻)
- ☐ 医学部医学科専攻生 (講座)
- ☐ 医学部保健衛生学科専攻生
(学専攻)

学籍番号

氏 名 _____ 印 _____

このたび、下記のとおり保証人（正・副）を変更しましたのでお届けいたします。

記

氏 名	(フリガナ) 印 年 月 日生	学生との関係	
		職 業	
		本 籍 地	
住 所	〒 - TEL. _____		

注）氏名欄に押印してください。

債 権 変 更	学 籍 簿

平成 年 月 日

保証人（住所）変更届出

経理責任者
国立大学法人 東京医科歯科大学財務施設部長 殿

平成 年度入学 第 学年

学 部 学 科
研 究 科
附属学校名 専攻名

学籍番号 第 号

氏 名 印

□ 連帯保証人（父母等）住所に変更がありましたのでお届けします。

変 更 前	
変 更 後	〒 Tel ()

□ 連 帯 保 証 人 を 変 更 し ま し た の で お 届 け し ま す 。

変 更 前	
変 更 後	上記の者の授業料債務について本人と連帯して、履行の責を負うことを保証します。 連帯保証人 フリガナ 氏 名 印 (学 生 と の 関 係 :) 住 所 〒 Tel ()

(該当する項目の□に、Vしてください。)

医学部長	事務部長	次 長	課 長	課長補佐	掛 長	掛 員
専	専	専				

学 生 証 紛 失 届 ・ 再 交 付 願

平成 年 月 日

東京医科歯科大学 長

- ☐ 医学部医学科 第 学年
☐ 医学部保健衛生学科 第 学年
 (学専攻)
☐ 医学部医学科専攻生 (講座)
☐ 医学部保健衛生学科専攻生
 (学専攻)

学籍番号

氏 名 _____

生年月日 昭和・平成 年 月 日生

下記のとおり、学生証を紛失いたしましたので再交付方よりお願いいたします。
 今後は、取り扱いに十分注意いたします。
 なお、紛失した学生証を発見したときは、直ちに返納いたします。

記

1. 日 時 : 平成 年 月 日 時 分頃

2. 場 所 : _____

3. 紛失したときの状況（具体的に記入すること。）

※ 過去の学生証発行状況（事務記入欄）

再交付1回目 : 平成 年 月 日
 再交付2回目 : 平成 年 月 日
 再交付3回目 : 平成 年 月 日

注) 専攻生は、写真（3×4cm）1枚を添付すること。

医学部長	事務部長	次 長	課 長	課長補佐	掛 長	掛 員
専	専	専				

紛 失 届

平成 年 月 日
医 学 部 長 殿

- ☐ 医学部医学科 第 学年
- ☐ 医学部保健衛生学科 第 学年
(学専攻)

学籍番号

氏 名 _____

下記のとおり、紛失しましたのでお届けいたします。

記

1. 紛失日時 : 平成 年 月 日 時 分頃

2. 紛失場所 :

3. 紛失物 :

4. 連絡先

医学部長	事務部長	次 長	課 長	課長補佐	掛 長	掛 員
専	専	専				

授 業 欠 席 届

平成 年 月 日

医 学 部 長 殿

☐ 医学部医学科 第 学年

☐ 医学部保健衛生学科 第 学年
(学専攻)

学籍番号

氏 名 _____

下記のとおりに、授業を 欠席します のでお届けいたします。
欠席しました

記

1. 欠席期間 自 平成 年 月 日

至 平成 年 月 日

2. 欠席理由（病気による場合は、医師の診断書を添付すること。）

医学部長	事務部長	次 長	課 長	課長補佐	掛 長	掛 員
専	専	専				

追 試 験 申 請 書

医 学 部 長 殿

平成 年 月 日

☐ 医学部医学科 第 学年

☐ 医学部保健衛生学科 第 学年
(学専攻)

学籍番号

氏 名 _____

下記のとおり定期試験を欠席しましたので、追試験を施行していただきますようお願いいたします。

記

1. 試験科目名 : _____ (教官名 : _____)

平成 年 月 日施行

2. 欠 席 理 由 (病気による場合は、医師の診断書を添付すること。)

休学願

平成 年 月 日

東京医科歯科大学長 殿

教授認印

医学部 (科 第 学年
学専攻)

学籍番号

(フリガナ)
本人氏名 _____ 印

保証人氏名 _____ 印

下記のとおり休学したいので、ご許可くださいますようお願いいたします。

記

1. 休学理由 ☐病気・怪我 ☐経済的理由 ☐出産・育児・介護 ☐その他 ()

2. 休学期間 自 平成 年 月 日
至 平成 年 月 日 (ヶ月)

3. 休学中の連絡先

本人	〒 <table border="1"><tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr></table> - <table border="1"><tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr></table> TEL. _____								
保証人	〒 <table border="1"><tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr></table> - <table border="1"><tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr></table> TEL. _____								

注) 1. 休学理由は、できるだけ具体的に記入してください。
2. 休学理由が、病気を理由とする場合は、医師の診断書を添付してください。

財務管理課収入管理掛照合欄	
前期授業料	後期授業料

休学期間延長願

平成 年 月 日

東京医科歯科大学長 殿

教授認印

医学部 (科 第 学年
学専攻)

学籍番号

(フリガナ)
本人氏名 _____ 印

保証人氏 名 _____ 印

下記のとおり休学期間を延長したいので、ご許可くださいますようお願いいたします。

記

1. 休学期間延長理由

2. 休学延長期間

平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日までのところ
平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日まで延長 (ヶ月)

3. 休学中の連絡先

本人	〒 <table border="1"><tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr></table> - <table border="1"><tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr></table> TEL. _____							
保証人	〒 <table border="1"><tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr></table> - <table border="1"><tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr></table> TEL. _____							

注) 1. 休学理由は、できるだけ具体的に記入してください。
2. 休学理由が、病気を理由とする場合は、医師の診断書を添付してください。

財務管理課収入管理掛照合欄	
前期授業料	後期授業料

復学願

平成 年 月 日

東京医科歯科大学長 殿

教授認印

医学部 科 第 学年
(学専攻)

学籍番号

(フリガナ)
本人氏名 印

保証人氏名 印

下記のとおり休学しておりましたが，平成 年 月 日付けで復学したいので，
ご許可くださいますようお願いいたします。

記

1. 休学理由

2. 休学許可期間 自 平成 年 月 日
 至 平成 年 月 日

注) 病気を理由として休学した場合は，医師の診断書を添付してください。

退学願

平成 年 月 日

東京医科歯科大学長 殿

教授認印

医学部 科 第 学年
(学専攻)

医学部 科 専攻生
(昭和・平成) 年 月入学
(学専攻)

学籍番号

(フリガナ)
本人氏名 _____ 印

保証人氏 名 _____ 印

下記のとおり退学したいので、ご許可くださいますようお願いいたします。

記

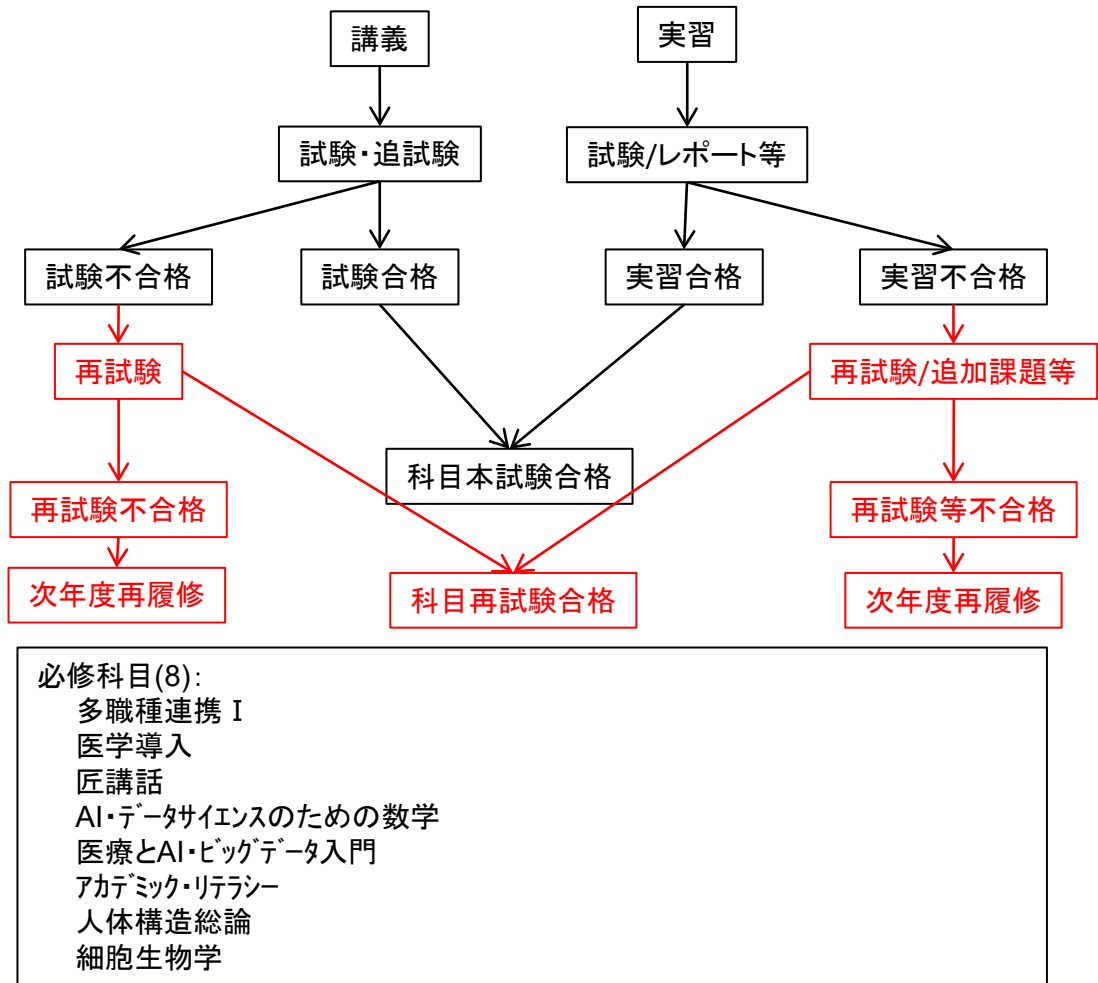
1. 退学理由

2. 退 学 日 平成 年 月 日付け

注) 退学理由は、できるだけ具体的に記入してください。

財務管理課収入管理掛照合欄	
前期授業料	後期授業料

第1学年進級判定(2023年度以降入学者)

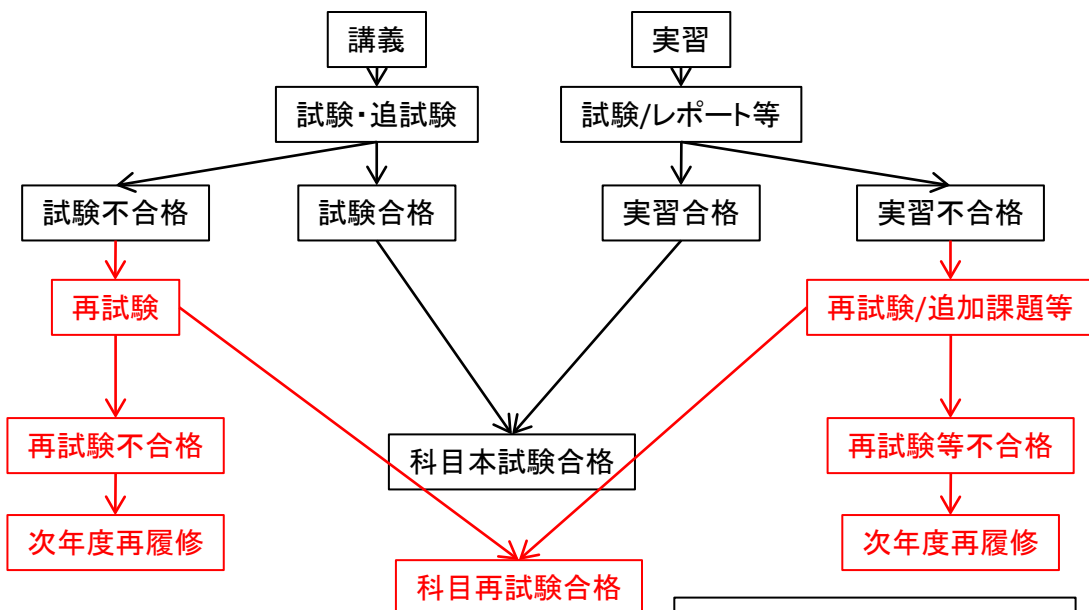


科目の合格には現在発表されている学科試験のみの合格ではなく、実習の合格も必要である。
再試験の合格判定を得るためには、上記8科目のうち5科目以上合格していることが必要になる。
* 科目本試験の不合格科目数が4科目以上になった時点で、当該年度の再試験はすべて無効となる。

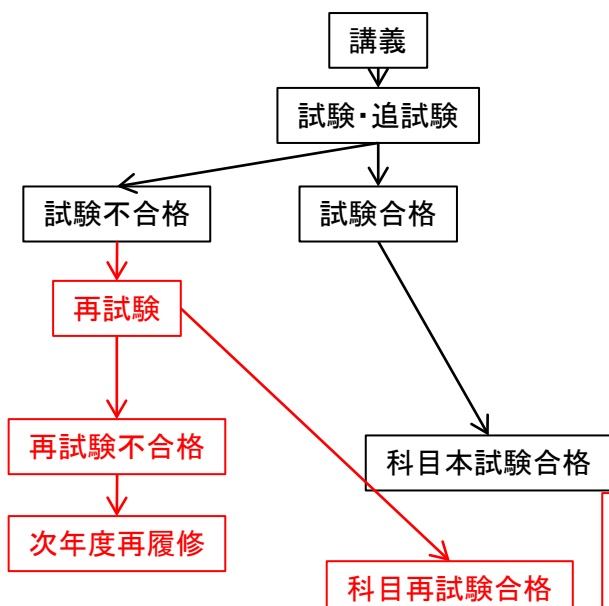
進級には8科目すべての合格が必要になる。
ただし、不合格の原因に特別な事情があり、次年度の科目に加えて再履修科目も履修できると教育委員会によって判断された学生は、仮進級が認められることがある。

第2学年進級判定(2023年度以降入学者)

実習がある科目



実習がない科目



実習あり(5):

神経解剖学
人体解剖学
組織学
医動物学
基礎医学実習

実習なし(12):

生理学
薬理学
生化学
分子遺伝学
免疫学
神経科学・基礎
感染・基礎
病理学
腫瘍学
医療とAI・ビッグデータ応用
臨床医学導入
循環器

(注)英語Ⅱ(1単位)は、第2学年から第6学年のいずれかで単位修得しなければ卒業できません。
但し、過半数規定の授業科目にはカウントしません。

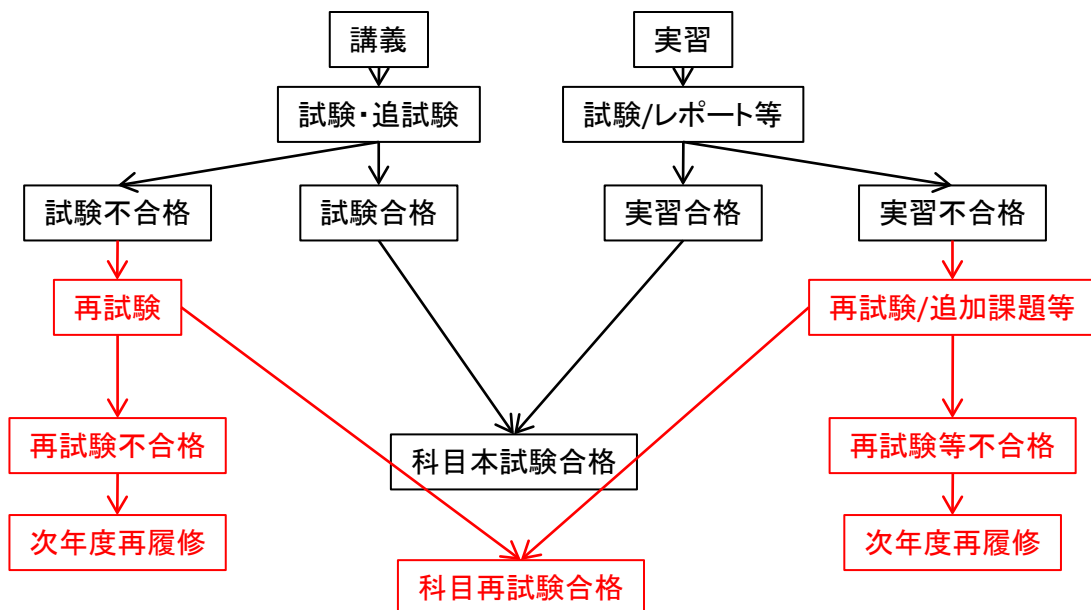
科目の合格には現在発表されている学科試験のみの合格ではなく、実習の合格も必要である。
再試験の合格判定を得るためには、上記17科目のうち10科目以上合格していることが必要になる。
* 科目本試験の不合格科目数が9科目以上になった時点で、当該年度の再試験はすべて**無効**となる。

進級には17科目すべての合格が必要になる。

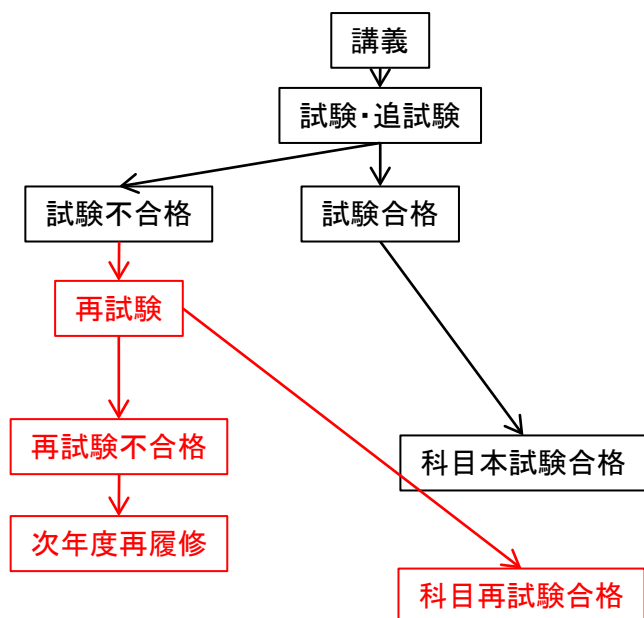
ただし、不合格の原因に特別な事情があり、次年度の科目に加えて再履修科目も履修できると教育委員会によって判断された学生は、仮進級が認められることがある。

第2学年進級判定(2022年度入学者)

実習がある科目



実習がない科目



実習あり(9):

神経解剖学
感染・基礎
人体解剖学
組織学
頭頸部・基礎
生理学
生化学
薬理学
医動物学

実習なし(10):

医歯学基盤教育(グローバル・コミュニケーション I)
医歯学基盤教育(臨床統計 I)
医歯学基盤教育(医療とAIビッグデータ応用)
神経科学・基礎
免疫学
細胞生物学
人体構造総論
神経生理導入
病理学
分子遺伝学

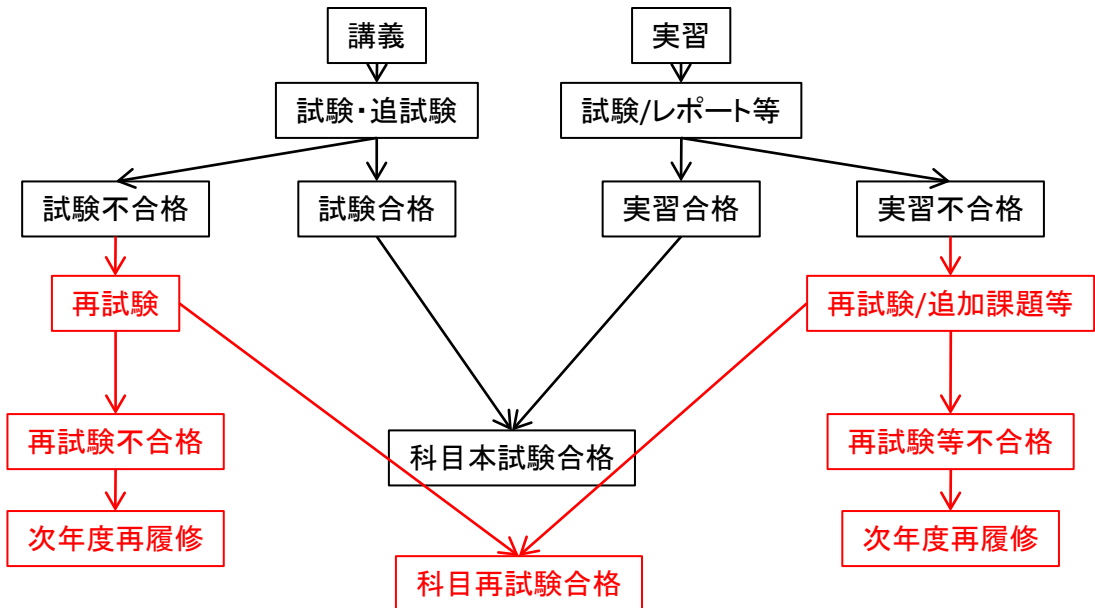
科目の合格には現在発表されている学科試験のみの合格ではなく、実習の合格も必要である。
再試験の合格判定を得るためには、上記19科目のうち9科目以上合格していることが必要になる。
* 科目本試験の不合格科目数が10科目以上になった時点で、当該年度の再試験はすべて**無効**となる。

進級には19科目すべての合格が必要になる。

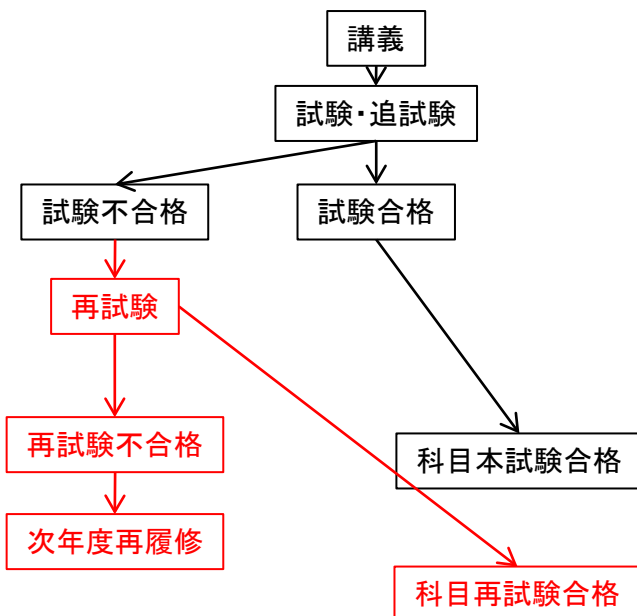
ただし、不合格の原因に特別な事情があり、次年度の科目に加えて再履修科目も履修できると教育委員会によって判断された学生は、仮進級が認められることがある。

第2学年進級判定(2021年度以前入学者)

実習がある科目



実習がない科目



実習あり(9):

神経解剖学
感染・基礎
人体解剖学
組織学
頭頸部・基礎
生理学
生化学
薬理学
医動物学

実習なし(9):

医歯学基盤教育(グローバル・コミュニケーション I)
医歯学基盤教育(臨床統計 I)
神経科学・基礎
免疫学
細胞生物学
人体構造総論
神経生理導入
病理学
分子遺伝学

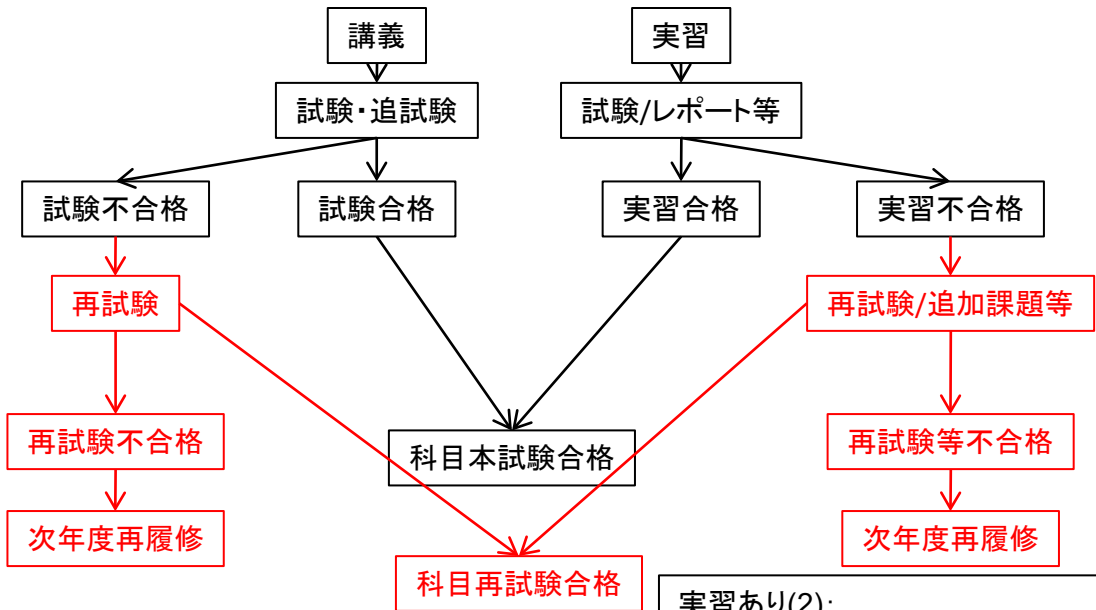
科目の合格には現在発表されている学科試験のみの合格ではなく、実習の合格も必要である。
再試験の合格判定を得るためには、上記18科目のうち10科目以上合格していることが必要になる。
* 科目本試験の不合格科目数が9科目以上になった時点で、当該年度の再試験はすべて**無効**となる。

進級には18科目すべての合格が必要になる。

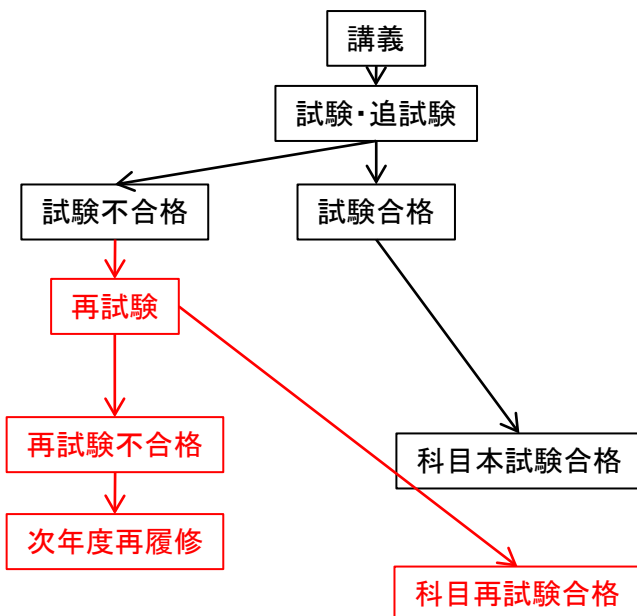
ただし、不合格の原因に特別な事情があり、次年度の科目に加えて再履修科目も履修できると教育委員会によって判断された学生は、仮進級が認められることがある。

第3学年進級判定(2022年度以前入学者)

実習がある科目



実習がない科目



実習あり(2):

法医学
衛生学

実習なし(21):

医歯学基盤教育(グローバル・コミュニケーションⅡ)
医歯学基盤教育(臨床統計Ⅱ)
医歯学基盤教育(生命倫理Ⅰ)
公衆衛生学(講義)
腫瘍学
神経科学・臨床
感染・臨床
循環器
消化器
呼吸器
体液制御・泌尿器
内分泌・代謝
血液・腫瘍
行動科学
頭頸部・臨床
総合診療・地域医療
皮膚・アレルギー・膠原病
一般外科
骨・関節・脊椎
東洋医学
臨床医学導入

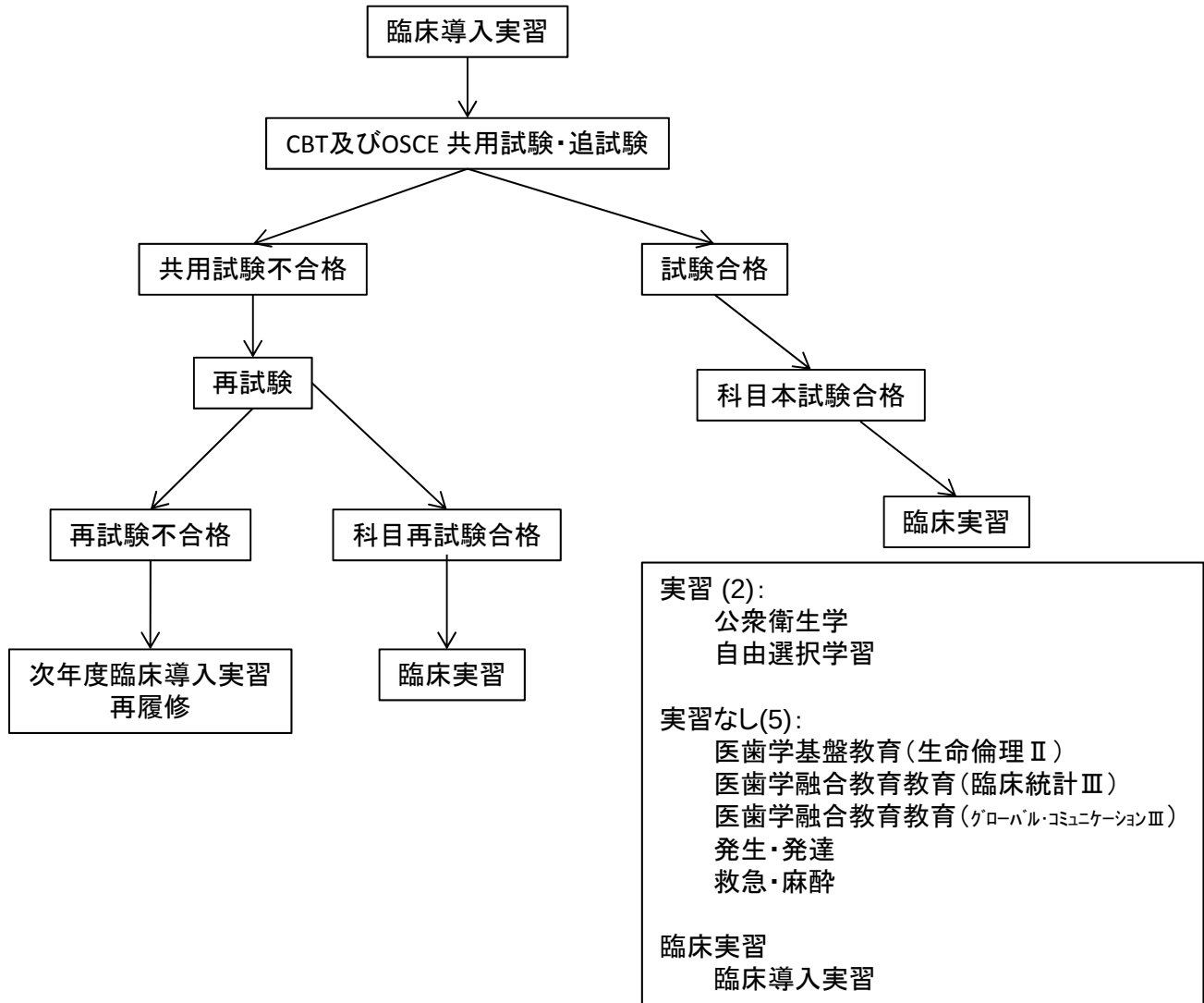
科目の合格には現在発表されている学科試験のみの合格ではなく、実習の合格も必要である。
再試験の合格判定を得るためには、上記23科目のうち12科目以上合格していることが必要になる。
* 科目本試験の不合格科目数が13科目以上になった時点で、当該年度の再試験はすべて無効となる。

進級には23科目すべての合格が必要になる。

ただし、不合格の原因に特別な事情があり、次年度の科目に加えて再履修科目も履修できると教育委員会によって判断された学生は、仮進級が認められることがある。

第4学年進級判定

臨床導入実習



科目の合格には現在発表されている学科試験のみの合格ではなく、実習の合格も必要である。
再試験の合格判定を得るためには、上記7科目のうち4科目以上合格していることが必要になる。
* 科目本試験の不合格科目数が4科目以上になった時点で、当該年度の再試験はすべて無効となる。

臨床導入実習に進むためには7科目すべての合格が必要になり、進級には7科目すべての合格と臨床導入実習及び共用試験(CBT・OSCE)の合格が必要になる。
臨床導入実習が不合格になった場合には、翌年、臨床導入実習を再履修し、共用試験を受験する必要がある。

湯島キャンパス・駿河台キャンパス



1 1号館西
【1号館・管理棟】

2 2号館
【2号館・附属教育施設等】

3 1号館東
【歯科学研究棟】

4 7号館
【歯学部校舎棟】

5 歯科棟北
【歯科棟】

6 歯科棟南
【歯科外来事務棟】

7 10号館
【総合教育研究棟】

8 旧3号館

9 医科A棟
【医科新棟】

10 医科B棟
【医科新棟】

11 3号館
【医歯学総合研究棟（I期棟）】

12 M&Dタワー
【医歯学総合研究棟（II期棟）】

13 5号館

14 6号館

15 8号館南
【共同研究棟】

16 8号館北
【RI実験施設棟】

17 生体材料工学研究所

18 難治疾患研究所駿河台棟

19 12号館
【駿河台臨床研究棟】

20 看護師宿舎
（レジデンス茗芳）